



アプリケーション プログラミング インターフェイス (API) リファレンス ガイド

RoomOS を実行しているシスコ コラボレーション デバイス向け 11.1

目次の項目はすべてハイパーリンクになっています。ハイパーリンクをクリックすると、対応する章に移動できます。メインセクション間を移動するには、上部のメニューバーのボタンを使用します。

このガイドは、主にデベロッパーとインテグレータを対象としています。RoomOS ソフトウェアを実行しているデバイスのアプリケーション プログラミング インターフェイス (API) を紹介し、パブリック API コマンド (xConfiguration、xCommand、および xStatus) のリファレンスガイドとして機能します。

このガイドは、オンプレミスサービス (Cisco Unified Communications Manager、VCS) に登録されているデバイスと、Webex クラウドサービスに登録されているデバイスの両方に適用されます。

デバイスは、次のとおりです。

Board シリーズ

- Board 55/55S、70/70S および 85S
- Board Pro 55 および 75

Desk シリーズ

- Desk Mini
- Desk
- Desk Pro

Room シリーズ

- Codec EQ
(Room Kit EQ および Room Kit EQ PTZ 4K バンドルを含む)
- Codec Plus
(Room Kit Plus、Room Kit Plus PTZ 4K、Room Kit Plus Precision 60、Room Kit Plus PTZ-12 バンドルを含む)
- Codec Pro
(Room Kit Pro、Room Kit Pro PTZ 4K、Room Kit Pro Precision 60 バンドルを含む)
- Room Bar
- Room Kit
- Room Kit Mini
- Room 55
- Room 55 Dual
- Room 70
- Room 70 G2
- Room 70 Panorama
- Room Panorama

目次

はじめに.....	3	HTTP を介したデバイスからのフィードバック	40
RoomOS ソフトウェアおよびユーザーマニュアル.....	4	フィードバックの登録.....	40
API リファレンスガイドについて	4	端末モードから XML への変換	41
Project Workplace.....	4	推奨事項と禁止事項	42
オンプレミスで登録済みのデバイス	4	xConfiguration コマンド	43
Webex で登録済みのデバイス.....	4	xConfiguration コマンドの説明	44
最新情報.....	5	xCommand コマンド	223
API について	24	xCommand コマンドの説明	224
シスコの利用規約.....	25	xStatus コマンド	365
API の基礎	26	xStatus コマンドの説明.....	366
API への接続.....	26	コマンドの概要	486
SSH	26	サポートされているコマンド マトリックス	487
HTTP/HTTPS	26	付録.....	548
WebSocket.....	26	接続解除原因タイプ	549
RS-232/ シリアル接続	27	シスコ Web サイト内のユーザマニュアル.....	550
イーサネット ポート.....	28		
ユーザー ロール.....	28		
パスフレーズ.....	28		
API 出力.....	29		
コマンドラインの使用	30		
API コマンド	30		
その他のコマンド	30		
コマンドライン ショートカット	31		
検索	31		
値のタイプと形式	31		
コマンド	32		
構成	32		
ステータス.....	32		
複数行コマンド	33		
同期 API 呼び出し.....	34		
イベント	35		
フィードバックのメカニズム	36		
フィードバック表現.....	36		
ターミナル接続	37		
HTTP XMLAPI 認証.....	38		
HTTP XMLAPI セッション認証.....	38		
ステータスと設定の取得	39		
コマンドとコンフィギュレーションの送信	39		

第 1 章 はじめに

RoomOS ソフトウェアおよびユーザーマニュアル

RoomOS は、デバイスがオンプレミスサービス (CUCM、VCS) および Webex クラウドサービスに登録されている場合、シスコ コラボレーション デバイスにインストールされるオペレーティングシステムです。

ソフトウェアの入手方法とユーザーマニュアルの入手先は、デバイスの登録先によって異なります。この API リファレンスガイドを含む一部のガイドは、登録に関係なく、すべてのデバイスに適用されます。

API リファレンスガイドについて

このガイドでは、デバイスの設定と動作を微調整および調整できる強力なアプリケーション プログラミング インターフェイスを紹介します。このガイドは、パブリック API コマンド (*xConfiguration*、*xCommand*、および *xStatus*。通常、単に *xAPI* コマンドと呼ばれます) の完全なリファレンスガイドでもあります。

どのコマンドが使用可能かは、デバイスタイプ、バックエンド (オンプレミス、クラウド) およびローカルユーザー (Admin、Audit、Integrator、Roomcontrol、User) のロールによって異なります。

コマンドの概要について詳しくは、「サポートされているコマンドマトリックス (487 ページ)」を参照してください。

Project Workplace

オフィスやミーティング ルームをビデオ会議用に整備する際にインスピレーションを得たり、ガイドラインを確認したりするには、次の Cisco Project Workplace を参照することをお勧めします。

▶ <https://www.cisco.com/go/projectworkplace>

オンプレミスで登録済みのデバイス

Software

オンプレミスで登録済みのデバイス用の RoomOS の新しいバージョンは、年に 3 ~ 4 回リリースされます。ソフトウェアは、シスコの Web サイトからダウンロードできます。

▶ <https://software.cisco.com/download/home>

リリースノート

デバイスをアップグレードする前に、ソフトウェアリリースノート (RoomOS 11) を参照することをお勧めします。

▶ <https://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/desktop-collaboration-experience-dx600-series/products-release-notes-list.html>

▶ <https://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/spark-room-kit-series/products-release-notes-list.html>

▶ <https://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/spark-board/products-release-notes-list.html>

その他のマニュアル

また、定期的にシスコの Web サイトにアクセスして、この API ガイドの最新バージョンや、デバイスに関するその他のマニュアルを確認することをお勧めします。

▶ <https://www.cisco.com/go/board-docs> (Board シリーズ)

▶ <https://www.cisco.com/go/desk-docs> (Desk シリーズ)

▶ <https://www.cisco.com/go/room-docs> (Room Series)

API ガイドは、[ドキュメント (Documentation)] をクリックし、[リファレンス (Reference)] > [コマンドリファレンス (Command References)] から検索できます。

付録の [User documentation on the Cisco web site](#) ナビゲーションガイドラインを参照してください。

Webex で登録済みのデバイス

Software

Webex クラウド登録デバイス用の RoomOS の新しいバージョンは、毎月リリースされます。ソフトウェアは、組織の Control Hub で設定されたデバイスに自動的にインストールされます。

リリースノート

Webex 展開の最新バージョンの新機能を見つけるには、Webex ヘルプセンターで「RoomOS デバイスの新機能」を参照することをお勧めします。

▶ <https://help.webex.com/article/6ger7db/>

この項目では、過去にリリースされた機能の概要や、近日中にリリース予定の機能の詳細についても紹介しています。

その他のマニュアル

WebexCloud サービスに登録されたデバイスの詳細については、以下の Webex ヘルプセンターのサイトを参照してください。

▶ <https://help.webex.com>

オンプレミスで登録済みのデバイスで説明したとおり、オンプレミスおよび Webex 登録済みデバイスの両方に対応する API ガイドおよびその他ガイドは、シスコ Web サイトにありますのでご注意ください。

最新情報

この章では、新機能と改善点の概要を説明し、新規、変更、および削除されたデバイス構成、コマンド、およびステータスをリストします。詳細については、ソフトウェアリリースノート (RoomOS11) を参照することをお勧めします。

RoomOS 11.1 の新機能および改善点

新商品

- Cisco Codec EQ (および Room Kit EQ および Room Kit EQ PTZ 4K バンドル) は、新しい RoomOS 11 ユーザーインターフェイスで利用できるようになりました。
完全なインテグレートオーディオ API およびオーディオ コンソール アプリケーションのロックを解除するには、Codec EQ は、オプション キー AVIntegrator が必要であるという点で Codec Pro とは異なります。
- Cisco Table Microphone Pro は、多方向デジタルイーサネットマイク (audio over IP) です。現在、Codec EQ、Codec Pro、および Room 70 G2 でサポートされています。以前と同様、Room 70 Panorama と Room Panorama でもサポートされています。

デフォルトとしての RoomOS 11 ユーザーインターフェイス

(Room Panorama および Room 70 Panorama を除くすべての製品)

RoomOS 11 ユーザーインターフェイスは、RoomOS 10.19 以降、オンプレミスデバイスのオプションエクスペリエンスとして利用できます。このリリースでは、RoomOS 11 が唯一のユーザーインターフェイスであり、以前はオンに切り換えるだけで使用できた機能が含まれています。

AirPlay *(Board 55/70 を除くすべての製品)*

AirPlay のサポートが追加されました。有効にすると、iPhone、iPad、Mac を接続して、画面の共有、共同作業、オーディオやビデオコンテンツの再生などを簡単に行うことができます。

Zoom ミーティングに参加する

(すべての製品)

ワンボタン機能 (OBTP) を使用するか、Zoom ボタンをタップして、ミーティング番号とパスフレーズを入力することで、Zoom ミーティングに参加するためのサポートが追加されました。

ホワイトボードの改善 *(Desk および Board シリーズ)*

ホワイトボード機能を強化し、形状の挿入、改良版の消しゴム、選択ツールなどの新しいツールを追加しました。形状認識ツールが拡張され、より多くの形状を処理できるようになりました。ホワイトボードに名前を付けたり、保存したホワイトボードを簡単に参照して選択することもできるようになりました。

常時カメラとマイクへのアクセス

(すべての製品)

マイクやカメラへのアクセスを毎回許可するのではなく、デフォルトで許可する Web アプリのリストを作成します。たとえば、WebRTC 会議に特定のサービスを使用する場合は、そのホストをリストに追加することで、ユーザーが WebRTC 会議を開始するたびに自動的にマイクとカメラへのアクセスを許可します。

このデフォルトのアクセスは、xAPI から付与されます。

管理パスフレーズの動作の変更点 *(すべての製品)*

管理パスフレーズの動作が変更されました。新しいデバイスでは、デフォルトの管理者パスフレーズ以外のパスフレーズを設定するまで、会議機能は無効になります。

デフォルトのパスフレーズは変更されていません。

RoomOS 11.1 での xConfiguration の変更

新しい xConfiguration

Apps WallpaperBundles HalfwakelImage (全製品)

Audio Input Ethernet [n] Channel [m] Level (Codec Pro, Room 70 G2, Room 70 Panorama, Room Panorama)

Audio Input Ethernet [n] Channel [m] Gain (Codec EQ)

Audio Input Ethernet [n] Channel [m] Mode (Codec EQ, Codec Pro, Room 70 G2, Room 70 Panorama, Room Panorama)

Audio Input Ethernet [n] Channel [m] Pan (Codec EQ, Codec Pro, Room 70 G2, Room 70 Panorama, Room Panorama)

Audio Input Ethernet [n] EchoControl Mode (Codec EQ, Codec Pro, Room 70 G2, Room 70 Panorama, Room Panorama)

Audio Input Ethernet [n] EchoControl NoiseReduction (Codec EQ, Codec Pro, Room 70 G2, Room 70 Panorama, Room Panorama)

Audio Input Ethernet [n] Equalizer ID (Codec EQ, Codec Pro, Room 70 G2, Room 70 Panorama, Room Panorama)

Audio Input Ethernet [n] Equalizer Mode (Codec EQ, Codec Pro, Room 70 G2, Room 70 Panorama, Room Panorama)

Audio Input Ethernet [n] Mode (Codec EQ, Codec Pro, Room 70 G2, Room 70 Panorama, Room Panorama)

Audio Input HDMI [1] Level (Board)

Audio Input HDMI [1] Mode (Board)

Audio Input HDMI [1] VideoAssociation MuteOnInactiveVideo (Board, Desk Pro)

Audio Input USB-C [1] VideoAssociation MuteOnInactiveVideo (Board Pro, Codec EQ, Desk, Desk Mini, Desk Pro, Room Bar)

Audio Input USBMicrophone [1] EchoControl Mode (Board Pro, Desk, Desk Mini, Desk Pro, Room 55, Room Bar, Room Kit, Room Kit Mini)

BYOD USBXapi (Desk, Desk Mini, Desk Pro)

Cameras Camera [n] IrCutFilter Mode (Board Pro, Codec EQ, Codec Plus, Room 55 Dual, Room 70, Codec Pro, Room 70 G2, Room 70 Panorama, Room Panorama)

Cameras Camera [n] IrCutFilter Threshold (Board Pro, Codec EQ, Codec Plus, Room 55 Dual, Room 70, Codec Pro, Room 70 G2, Room 70 Panorama, Room Panorama)

Cameras PresenterTrack CameraPosition Pan (Board Pro)

Cameras PresenterTrack CameraPosition Tilt (Board Pro)

Cameras PresenterTrack CameraPosition Zoom (Board Pro)

Cameras PresenterTrack Connector (Board Pro)

Cameras PresenterTrack Enabled (Board Pro)

Cameras PresenterTrack PresenterDetectedStatus (Board Pro)

Cameras PresenterTrack TriggerZone (Board Pro)

Cameras SpeakerTrack DefaultBehavior (全製品)

Conference CapsetFilter (全製品)

Conference MaxMultisiteReceiveRate (全製品)

[Conference MaxTotalReceiveCallRate](#) からパスを変更

Conference MaxMultisiteTransmitRate (全製品)

[Conference MaxTotalTransmitCallRate](#) からパスを変更

Conference PeopleFocus OnCall Mode (全製品)

Macros Diagnostics JavascriptErrors (全製品)

UserInterface CustomWallpaperOverlay (全製品)

[UserInterface WallpaperOverlay](#) からパスを変更

UserInterface Features Call JoinZoom (全製品)

UserInterface HomeScreen ダッシュボード (全製品)

[アプリのホーム画面ダッシュボード](#)からパスを変更

UserInterface RoomScheduler AmbientTemperature Show (全製品)

UserInterface RoomScheduler PeopleCount Current (全製品)

UserInterface RoomScheduler StatusWhenInUse (全製品)

Video DefaultLayoutFamily Local (全製品)

ビデオ デフォルトレイアウトファミリ ローカルコンテンツ (すべての製品)

Video Input AirPlay Beacon (Board 55/70 以外の全製品)

Video Input AirPlay DiscoveryInstructions NetworkName (Board 55/70 以外の全製品)

Video Input AirPlay DiscoveryInstructions ShowNetworkInfo (Board 55/70 以外の全製品)

Video Input AirPlay Mode (Board 55/70 以外の全製品)

Video Input AirPlay Password (Board 55/70 以外の全製品)

Video Input AirPlay SecurityMode (Board 55/70 以外の全製品)

Video Input Miracast Pin Length (全製品)

Zoom DefaultDomain (全製品)

Zoom DialStringOptions (全製品)

削除される xConfigurations

アプリホーム画面 ダッシュボード (全製品)

[UserInterface HomeScreen](#) ダッシュボードにパスを変更

Conference MaxTotalReceiveCallRate (全製品)

[Conference MaxMultisiteReceiveRate](#) にパスを変更

Conference MaxTotalTransmitCallRate (全製品)

[Conference MaxMultisiteTransmitRate](#) にパスを変更

UserInterface Concept Mode (*Board, Board Pro, Codec Pro, Desk Mini, Desk, Desk Pro, Room Bar, Room 55, Room 70 G2, Room Kit, Room Kit Mini*)

UserInterface WallpaperOverlay (全製品)

[UserInterface CustomWallpaperOverlay](#) にパスを変更

修正される xConfiguration

Conference FarEndControl Mode (全製品)

旧: デフォルト値: オン

新: デフォルト: Auto

旧: Off/On

新: Auto/Off/On

Conference MaxMultisiteReceiveRate (*Board*)¹

旧: デフォルト: 10000

新: デフォルト: 6000

旧: 整数 (64..10000)

新: 整数 (64..6000)

Conference MaxMultisiteReceiveRate (*Board Pro*)¹

旧: デフォルト: 10000

新: デフォルト: 15000

旧: 整数 (64..10000)

新: 整数 (64..15000)

Conference MaxMultisiteReceiveRate (*Desk, Desk Mini, Room Bar*)¹

旧: デフォルト: 6000

新: デフォルト: 15000

旧: 整数 (64..6000)

新: 整数 (64..15000)

Conference MaxMultisiteReceiveRate (*Room 70 Panorama, Room Panorama*)¹

旧: デフォルト: 20000

新: デフォルト: 15000

旧: 整数 (64..20000)

新: 整数 (64..15000)

Conference MaxMultisiteTransmitRate (*Board Pro, Desk, Desk Mini, Room Bar*)²

旧: デフォルト: 6000

新: デフォルト: 15000

旧: 整数 (64..6000)

新: 整数 (64..15000)

Conference MaxMultisiteTransmitRate (*Room 70 Panorama, Room Panorama*)²

旧: デフォルト: 20000

新: デフォルト: 15000

旧: 整数 (64..20000)

新: 整数 (64..15000)

Conference MaxReceiveCallRate (*Board Pro, Codec Pro, Desk, Desk Mini, Desk Pro, Room 70 G2, Room Bar*)

旧: 整数 (64..6000)

新: 整数 (64..20000)

Conference MaxTransmitCallRate (*Board, Board Pro, Codec Pro, Desk, Desk Mini, Desk Pro, Room 70 G2, Room Bar*)

旧: 整数 (64..6000)

新: 整数 (64..20000)

スタンバイサイネージ URL (全製品)

旧: 文字列 (0, 2000)

新: 文字列 (0, 2048)

タイムゾーン (すべての製品)

[valuespace](#) に追加: America/Ciudad_Juarez

UserInterface HomeScreen Peripherals WebApp URL (全製品)

旧: 文字列 (0, 255)

新: 文字列 (0, 2048)

UserInterface Kiosk URL (*Board, Board Pro, Desk, Desk Mini, Desk Pro*)

旧: 文字列 (0, 255)

新: 文字列 (0, 2048)

¹ これらの構成では、Conference MaxTotalReceiveCallRate からのパスも変更されています。

² これらの構成では、Conference MaxTotalTransmitCallRate からのパスも変更されています。

UserInterface OSD Output (*Board Pro, Codec Plus, Codec Pro, Room 55 Dual, Room 70, Room 70 G2, Room 70 Panorama, Room Panorama*)

旧: デフォルト: 1

新: デフォルト: 自動

Video Input Connector [2] CameraControl Camerald (*Board Pro*)

旧: デフォルト: 2

新: デフォルト: 3

Video Input Connector [3] CameraControl Camerald (*Board Pro*)

旧: デフォルト: 3

新: デフォルト: 2

Video Output Connector [2] HDCPPolicy (*Desk Pro*)

旧: オフ/オン

新: オン

Video Output Connector [2] HDCPPolicy (*Room 55*)

旧: デフォルト: オフ

新: デフォルト: オン

旧: オフ

新: オン

Video Selfview OnCall Duration (*全製品*)

旧: デフォルト: 10

新: デフォルト: 5

RoomOS 11.1 での xCommand の変更

新しい xCommand

AirPlay KeyEvent Back (Board 55/70 を除くすべての製品)

AirPlay KeyEvent Click (Board 55/70 を除くすべての製品)

AirPlay KeyEvent Down (Board 55/70 を除くすべての製品)

AirPlay KeyEvent FastForward (Board 55/70 を除くすべての製品)

AirPlay KeyEvent FastReverse (Board 55/70 を除くすべての製品)

AirPlay KeyEvent Left (Board 55/70 を除くすべての製品)

AirPlay KeyEvent Play (Board 55/70 を除くすべての製品)

AirPlay KeyEvent Right (Board 55/70 を除くすべての製品)

AirPlay KeyEvent Up (Board 55/70 を除くすべての製品)

AirPlay ResetPairedDevices (Board 55/70 を除くすべての製品)

Audio LocalInput Ethernet Deregister (Codec EQ, Codec Pro, Room 70 G2, Room 70 Panorama, Room Panorama)

Audio LocalInput Ethernet Register (Codec EQ, Codec Pro, Room 70 G2, Room 70 Panorama, Room Panorama)

Cameras PresenterTrack ClearPosition (Board Pro)

Cameras PresenterTrack Set (Board Pro)

Cameras PresenterTrack StorePosition (Board Pro)

Cameras SpeakerTrack Frames Activate (Board, Board Pro, Codec EQ, Codec Plus, Codec Pro, Room 55, Room 55 Dual, Room 70, Room 70 G2, Room Bar, Room Kit, Room Kit Mini, Room 70 Panorama, Room Panorama)

Cameras SpeakerTrack Frames Deactivate (Board, Board Pro, Codec EQ, Codec Plus, Codec Pro, Room 55, Room 55 Dual, Room 70, Room 70 G2, Room Bar, Room Kit, Room Kit Mini, Room 70 Panorama, Room Panorama)

UserInterface Presentation ExternalSource Add (Board)

UserInterface Presentation ExternalSource List (Board)

UserInterface Presentation ExternalSource Remove (Board)

UserInterface Presentation ExternalSource RemoveAll (Board)

UserInterface Presentation ExternalSource Select (Board)

UserInterface Presentation ExternalSource State Set (Board)

Video Graphics Clear (Desk)

Video Graphics Text Display (Desk)

Video Matrix Assign (Room Bar)

Video Matrix Reset (Room Bar)

Video Matrix Swap (Room Bar)

Video Matrix Unassign (Room Bar)

WebEngine MediaAccess Add (全製品)

WebEngine MediaAccess List (全製品)

WebEngine MediaAccess Remove (全製品)

WebEngine MediaAccess RemoveAll (全製品)

Zoom Join (全製品)

削除される xCommand

なし。

変更される xCommand

Audio LocalInput AddConnector (Codec Pro, Room 70 G2, Room 70 Panorama, Room Panorama)
valuespace に追加 : ConnectorType : AirPlay

Audio LocalInput RemoveConnector (Codec Pro, Room 70 G2, Room 70 Panorama, Room Panorama)
valuespace に追加 : ConnectorType : AirPlay

Audio LocalOutput AddConnector (Codec Pro, Room 70 G2, Room 70 Panorama, Room Panorama)
valuespace に追加 : ConnectorType : WebView

Audio LocalOutput RemoveConnector (Codec Pro, Room 70 G2, Room 70 Panorama, Room Panorama)
valuespace に追加 : ConnectorType : WebView

Audio VuMeter Start (Board Pro, Desk, Desk Mini, Desk Pro, Codec Pro, Codec Plus, Room Bar, Room Kit, Room Kit Mini, Room 55, Room 55 Dual, Room 70, Room 70 G2, Room 70 Panorama, Room Panorama)
valuespace に追加 : ConnectorType : USBMicrophone

Audio VuMeter Stop (Board Pro, Desk, Desk Mini, Desk Pro, Codec Pro, Codec Plus, Room Bar, Room Kit, Room Kit Mini, Room 55, Room 55 Dual, Room 70, Room 70 G2, Room 70 Panorama, Room Panorama)
valuespace に追加 : ConnectorType : USBMicrophone

Conference Call AuthenticationResponse (すべての製品)
旧 : ParticipantRole : 共同ホスト/ゲスト/ホスト/パネリスト/プレゼンタ
新 : ParticipantRole : ゲスト/ホスト/パネリスト

ダイヤル (*Board Pro, Codec EQ, Codec Pro, Desk, Desk Mini, Desk Pro, Room 70 G2, Room Bar*)

旧: CallRate: 整数 (64 ~ 6000)

新: CallRate: 整数 (64..20000)

Security Certificates Services Activate (*Room 70 Single*)

旧: 目的: 802.1X/監査/HTTPS/HttpClient/ペアリング/SIP/WebexIdentity

新: 目的: 802.1X/監査/HTTPS/HttpClient/HttpProxy/ペアリング/SIP/WebexIdentity

SystemUnit FactoryReset (*すべての製品*)

旧: 維持: 証明書/HTTP/LocalSetup/ネットワーク/プロビジョニング/SerialPort/Webex

新: 維持: 証明書/HTTP/LocalSetup/ネットワーク/プロビジョニング/RemoteSupportUser/
SerialPort/Webex

SystemUnit ProductPlatform Set (*Codec Pro, Room 70 G2, Room 70 Panorama, Room Panorama*)

旧: プラットフォーム: ROOM70D/ROOM70S

新: プラットフォーム: CODECPRO/ROOM70D/ROOM70S

SystemUnit ProductPlatform Set (*Codec Plus, Room 55 Dual, Room 70*)

旧: プラットフォーム: ROOM55D/ROOM70D/ROOM70S

新: プラットフォーム: CODECPLUS/ROOM55D/ROOM70D/ROOM70S

WebEngine DeleteStorage (*全製品*)

旧: タイプ: すべて/サイネージ/WebApps

新: タイプ: すべて/PersistentWebApp/サイネージ/WebApps

Webex Join (*全製品*)

新: ParticipantRole: ゲスト/ホスト/パネリスト

新: 個人識別番号: 文字列 (0, 32)

RoomOS 11.1 での xStatus の変更

新しい xStatus

Audio Input Connectors Ethernet[n] PeripheralId (Codec EQ, Codec Pro, Room 70 G2, Room 70 Panorama, Room Panorama)

Cameras PresenterTrack Availability (Board Pro)

Cameras PresenterTrack PresenterDetected (Board Pro)

Cameras PresenterTrack Status (Board Pro)

Cameras SpeakerTrack Frames Availability (全製品)

Cameras SpeakerTrack Frames Status (全製品)

UserInterface Features Call JoinZoom (全製品)

Video Input AirPlay Activity (Board 55/70 以外の全製品)

Video Input AirPlay Status (Board 55/70 以外の全製品)

Video Input Miracast PinAttemptsLeft (全製品)

Video Output Connector [n] HDCP State (全製品)

Video Output Webcam Mode (Desk Mini)

Video Output Webcam Status (Desk Mini)

削除される xStatuses

Video Output Connector [n] Hdcp (全製品)

修正される xStatuses

Conference Call [n] AuthenticationRequest (すべての製品)

旧: AnyHostPinOrGuestPin/GuestPin/HostPinOrGuest/HostPinOrGuestPin/None/PanelistPin

新: AnyHostPinOrGuestPin/GuestPin/HostPinOrGuest/HostPinOrGuestPin/None/PanelistPin/PanelistPinOrAttendeePin

Diagnostics Message [n] Type (すべての製品)

valuespace に追加: AirPlayBeacon/AirPlayProvisioningCertificates/CallHistoryConfiguration/CapsetFilterConfiguration/InternalXapiAccessDenied/MacrosErrorLogged/MacrosRuntimeActive/MacrosRuntimeHasHadCrash/MacrosRuntimeResponsiveness/MacrosRuntimeStopped/MiracastConfiguration/MiracastWpsPinLocked/PersistentWebAppFailedToLoad/PersistentWebAppTerminatedUnexpectedly/PoEStatus

valuespace から削除: KioskModeAllowance/KioskModeAvailabilityOnGUI/MacrosRuntimeStatus/MiracastPhoenixConfig

Peripherals ConnectedDevice [n] Location (全製品)

旧: InsideRoom/OutsideRoom

新: InsideRoom/NotSet/OutsideRoom

UserInterface WebView [n] Type (全製品)

旧: ECM/ECMSignIn/EmbeddedApp/Integration/Kiosk/None/Signage/WebApp/WebRTCMeeting

新: ECM/ECMSignIn/EmbeddedApp/Integration/Kiosk/None/PersistentWebApp/Signage/WebApp/WebRTCMeeting

RoomOS 10.19 の新機能および改善点

新製品

- Webex Room Bar (新しい RoomOS 11 UI エクスペリエンスを使用)

新しい RoomOS 11 UI エクスペリエンスを試用

(Codec Plus, Room 55 Dual, Room 70, Room 70 Panorama および Room Panorama 以外の全製品)**

このリリースでは、オンプレミスサービスに登録されているすべてのデバイスで RoomOS 11 UI エクスペリエンスを試用できます。デバイスの Web インターフェイスなどから、*UserInterface Concept Mode* の設定を **Compositor** に設定する必要があります。

RoomOS 11 については、ヘルプセンターの項目:▶
「RoomOS 11 での新しいユーザーエクスペリエンス」
(<https://help.webex.com/n01kjh1/>) を参照してください。

Miracast® を使用したワイヤレス共有

(Desk Hub 以外の全製品)*

クライアントを必要とせずに Windows コンピュータからワイヤレスコンテンツを共有するソリューションです。Miracast を使用するとデスクトップを共有できるため、プレゼンテーション中にプレゼンタビューを表示できます。これには、有線ネットワーク接続が必要です。

デバイスに就業時間を設定する (全製品)*

デバイスに就業時間を設定すると、通常の就業時間外にサインインなどの常時稼働機能をオフにすることができます。また、室内の動きを検出しただけで、デバイスが起動しないようにすることもできます。管理者は、機能のオン/オフの切り替え、時間の設定、スタンバイ/ウェイクアップの動作を構成できます。

ラップトップから会議

(Codec Plus, Codec Pro, Room Kit, Room 55, Room 70S, Room 70 G2)*

ラップトップから会議する際に、Room Series のデバイスを Web カメラ (スピーカーとマイク付き) として使用できるようになりました。これには、セットアップに Inogeni などの HDMI-to-USB コンバータ (キャプチャデバイス) が必要です。デバイスの UI から、カメラの制御、音量の調整、背景雑音の除去、オーディオ品質の最適化を行うことができます。

組み込みアプリケーション

(Desk Pro, Desk, Desk Mini, Board Series)*

ログインや別のツールへのコンテキストの切り替えを意識せずに、Webex ミーティング内でシームレスに Web アプリを操作できます。

組み込みアプリケーションのサポートにより、Webex デバイスの参加者は、会議中に開いたアプリを確認し、操作できます。参加者が Webex アプリを開始すると、デバイスが自動的に開き、アプリケーションにログインします。

パーソナルモードのデバイスで利用できます。

フレーム

(Board Series, Room Kit, Room Kit Mini, Room 55, Room Bar)*

会議室に数人が集まっているときは、カメラモードをフレームに変更すると、全員がよく見えるようになります。フレームモードでは、参加者の周囲の不要なスペースが切り取られ、最大 4 つのフレームで、人物がより近くに、均等なサイズで、同じ目線の高さに見えるように設定します。

人の存在機能

(Desk Pro, Desk, Desk Mini, Desk Hub)*

[ディレクトリ (Directory)], [お気に入り (Favorites)], [履歴 (Recents)] の 3 つのリストすべてで、デバイス本体から相手の存在を確認できるようになりました。人の存在機能では、Webex アプリ、ユーザーの Webex デバイスと電話の全体的な可用性を表示します。デバイスから [サイレント (Do Not Disturb)] ステータスまたはカスタムステータスを設定できます。

Webex Edge for Devices にリンクされたパーソナルモードのデバイスでのみ使用できます。

QR コードによるホットデスク

(Desk Pro, Desk, Desk Mini, Desk Hub)*

携帯電話で QR コードをスキャンして、ホットデスク用に構成された Desk Series のデバイスにサインインします。

Webex Edge for Devices にリンクされたデバイスでのみ使用できます。

イマーシブシェア

(Desk Pro, Desk, Desk Mini)*

デバイスは、クライアントから送信された受信側のイマーシブシェアを使用して、正しくレンダリングできます。

Webex アプリからイマーシブシェアを開始すると、Webex Edge for Devices にリンクされた Webex デバイスにも表示されるようになります。

* この機能には RoomOS 11 UI エクスペリエンスが必要です。現在、Board Pro、Desk Hub、Desk Mini、Room Bar でのみデフォルトになっています。他の製品で使用するには、*UserInterface Concept Mode* の構成を明示的に **Compositor** に設定する必要があります。

** Board Pro、Desk Hub、Desk Mini、Room Bar には、デフォルトで RoomOS 11 UI エクスペリエンスがインストールされています。これは、変更できません。

RoomOS 10.19 での xConfiguration の変更

新しい xConfiguration

Audio Microphones HdmiPassthrough MuteButton *(Codec Plus, Codec Pro, Room Kit, Room 55, Room 70 Single, Room 70 G2)*

Audio Microphones UsbPassthrough MuteButton *(Board Pro, Desk Mini, Desk, Desk Pro, Room Bar, Room Kit Mini)*

Audio Output Ethernet [1] Mode *(Codec Pro, Room 70 G2)*

BYOD QRCodePairing *(Desk Hub, Desk Mini, Desk, Desk Pro)*

Conference EmbeddedApp NotificationsOnly *(Board, Board Pro, Desk Mini, Desk, Desk Pro)*

Peripherals Pairing CiscoTouchPanels RemotePairing *(Desk Mini, Desk, Desk Pro)*

SystemUnit BroadcastName *(全製品)*

Time OfficeHours Enabled *(全製品)*

Time OfficeHours OutsideOfficeHours Standby AutoWakeup *(全製品)*

Time OfficeHours OutsideOfficeHours Standby Delay *(全製品)*

Time OfficeHours WorkDay End *(全製品)*

Time OfficeHours WorkDay Start

Time OfficeHours WorkWeek Friday *(全製品)*

Time OfficeHours WorkWeek Monday *(全製品)*

Time OfficeHours WorkWeek Saturday *(全製品)*

Time OfficeHours WorkWeek Sunday *(全製品)*

Time OfficeHours WorkWeek Thursday *(全製品)*

Time OfficeHours WorkWeek Tuesday *(全製品)*

Time OfficeHours WorkWeek Wednesday *(全製品)*

UserInterface Bookings Visibility TentativeMeetings *(すべての製品)*

UserInterface Concept Mode *(Codec Plus, Room 55 Dual, Room 70, Room 70 Panorama, Room Panorama を除く全製品)*

UserInterface Features Call HdmiPassthrough *(Codec Plus, Codec Pro, Room Kit, Room 55, Room 70 Single, Room 70 G2)*

UserInterface Features Call LayoutControls *(全製品)*

UserInterface Features Call ParticipantList *(全製品)*

UserInterface Features Call SelfviewControls *(全製品)*

UserInterface Features Call Webcam *(Board Pro, Room Bar, Room Kit Mini)*

UserInterface Help Tips *(Codec Plus, Codec Pro, Room Bar, Room Kit, Room Kit Mini, Room 55, Room 55 Dual, Room 70, Room 70 G2, Room 70 Panorama, Room Panorama)*

UserInterface MuteWarning *(全製品)*

UserInterface NameAndSiteLabels Mode *(全製品)*

Video Input Miracast Mode *(Desk Hub 以外の全製品)*

Video Output Connector [n] HDCPPolicy *(Board Pro, Codec Plus, Codec Pro, Desk Hub, Desk Pro, Room Bar, Room Kit, Room Kit Mini, Room 55, Room 55 Dual, Room 70, Room 70 G2, Room 70 Panorama, Room Panorama)*

Video Output HDMI Passthrough Allowed *(Codec Plus, Codec Pro, Room Kit, Room 55, Room 70 Single, Room 70 G2)*

Video Output HDMI Passthrough AutoDisconnect Delay *(Codec Plus, Codec Pro, Room Kit, Room 55, Room 70 Single, Room 70 G2)*

Video Output HDMI Passthrough AutoDisconnect Enabled *(Codec Plus, Codec Pro, Room Kit, Room 55, Room 70 Single, Room 70 G2)*

Video Output HDMI Passthrough OutputConnector *(Codec Plus, Codec Pro, Room Kit, Room 55, Room 70 Single, Room 70 G2)*

削除される xConfigurations

なし。

変更される xConfiguration

Audio Microphones NoiseRemoval Mode *(すべての製品)*

旧: デフォルト: 手動

新: デフォルト: 有効

Audio USB Mode *(Board Pro, Desk Hub, Desk Mini, Desk, Desk Pro, Room Bar, Room Kit, Room Kit Mini, Room 55)*

valuespace に追加: AdditionalSpeaker

タイムゾーン *(すべての製品)*

valuespace に追加: ヨーロッパ/キエフ

UserInterface Language *(すべての製品)*

valuespace に追加: ウクライナ語

Video Input Connector [2, 3] Visibility *(Desk, Desk Pro)*

旧: デフォルト: IfSignal

新: デフォルト: Always

Video Input Connector [2] Visibility *(Desk Mini)*

旧: デフォルト: IfSignal

新: デフォルト: Always

RoomOS 10.19 での xCommand の変更

新しい xCommand

Audio Microphones Passthrough Start *(Codec Plus, Codec Pro, Room Kit, Room 55, Room 70 Single, Room 70 G2)*

Audio Microphones Passthrough Start *(Codec Plus, Codec Pro, Room Kit, Room 55, Room 70 Single, Room 70 G2)*

Cameras SpeakerTrack BackgroundMode Activate *(Desk Hub 以外の全製品)*

Cameras SpeakerTrack BackgroundMode Deactivate *(Desk Hub 以外の全製品)*

Conference SkinTone *(全製品)*

[Conference Reaction Tone](#) から変更されたパス

UserInterface Extensions WebApp Save *(全製品)*

Video Output HDMI Passthrough Start *(Codec Plus, Codec Pro, Room Kit, Room 55, Room 70 Single, Room 70 G2)*

Video Output HDMI Passthrough Stop *(Codec Plus, Codec Pro, Room Kit, Room 55, Room 70 Single, Room 70 G2)*

削除される xCommand

Conference Reaction Tone *(全製品)*

[Conference SkinTone](#) へのパスを変更しました

Peripherals Pairing DeviceDiscovery Start *(全製品)*

変更される xCommand

Audio LocalInput Add *(Codec Pro, Room 70 G2, Room 70 Panorama, Room Panorama)*

旧: MixerMode: 自動/固定/FreqWeight/GainShared

新: MixerMode: 自動/固定/GainShared

Audio LocalInput AddConnector *(Codec Pro, Room 70 G2)*

旧: ConnectorType: ARC/HDMI/マイク/USBInterface/WebView

新: ConnectorType: ARC/イーサネット/HDMI/マイク/USBInterface/WebView

Audio LocalInput RemoveConnector *(Codec Pro, Room 70 G2)*

旧: ConnectorType: ARC/HDMI/マイク/USBInterface/WebView

新: ConnectorType: ARC/イーサネット/HDMI/マイク/USBInterface/WebView

Audio LocalInput Update *(Codec Pro, Room 70 G2, Room 70 Panorama, Room Panorama)*

旧: MixerMode: 自動/固定/FreqWeight/GainShared

新: MixerMode: 自動/固定/GainShared

Audio LocalOutput AddConnector *(Room 70 G2)*

旧: ConnectorType: ARC/HDMI/InternalSpeaker/回線/USBInterface

新: ConnectorType: ARC/イーサネット/HDMI/InternalSpeaker/回線/USBInterface

Audio LocalOutput AddConnector *(Codec Pro)*

旧: ConnectorType: ARC/HDMI/回線/USBInterface

新: ConnectorType: ARC/イーサネット/HDMI/回線/USBInterface

Audio LocalOutput RemoveConnector *(Room 70 G2)*

旧: ConnectorType: ARC/HDMI/InternalSpeaker/回線/USBInterface

新: ConnectorType: ARC/イーサネット/HDMI/InternalSpeaker/回線/USBInterface

Audio LocalOutput RemoveConnector *(Codec Pro)*

旧: ConnectorType: ARC/HDMI/回線/USBInterface

新: ConnectorType: ARC/イーサネット/HDMI/回線/USBInterface

Audio Sound Play *(全製品)*

valuespace に追加: サウンド: RecordingStart/WebexAssistantCapturingNotes

Audio VuMeter Start *(Codec Pro, Room 70 G2)*

旧: ConnectorType: マイク

新: ConnectorType: イーサネット/マイク

Audio VuMeter Stop *(Codec Pro, Room 70 G2)*

旧: ConnectorType: マイク

新: ConnectorType: イーサネット/マイク

Conference DoNotDisturb Activate (全製品)

旧: タイムアウト: 整数 (1..1440)

新: タイムアウト: 整数 (1..20160)

Conference ParticipantList Search (全製品)

追加されたパラメータ: PartialRosterId: 整数 (0..65534)

Conference Reaction Send (全製品)

削除されたパラメータ: ReactionTone

Macros Macro Activate (全製品)

旧: 名前: 文字列 (0, 255)

新: 名前: 文字列 (0, 250)

Macros Macro Deactivate (全製品)

旧: 名前: 文字列 (0, 255)

新: 名前: 文字列 (0, 250)

Macros Macro Get (全製品)

旧: 名前: 文字列 (0, 255)

新: 名前: 文字列 (0, 250)

Macros Macro Remove (全製品)

旧: 名前: 文字列 (0, 255)

新: 名前: 文字列 (0, 250)

Macros Macro Rename (全製品)

旧: 名前: 文字列 (0, 255)

新: 名前: 文字列 (0, 250)

旧: NewName: 文字列 (0, 255)

新: NewName: 文字列 (0, 250)

Macros Macro Roles Set (全製品)

旧: 名前: 文字列 (0, 255)

新: 名前: 文字列 (0, 250)

Macros Macro Save (全製品)

旧: 名前: 文字列 (0, 255)

新: 名前: 文字列 (0, 250)

Presentation Start (すべての製品)

valuespace に追加: PresentationSource: Miracast

Presentation Stop (全製品)

valuespace に追加: PresentationSource: Miracast/なし

SystemUnit SoftwareUpgrade (全製品)

旧: URL: 文字列 (0, 255)

新: URL: 文字列 (0, 1024)

UserInterface Extensions Panel Update (全製品)

追加されたパラメータ: ロケーション: HomeScreen/
CallControls/HomeScreenAndCallControls/Hidden

RoomOS 10.19 での xStatus の変更

新しい xStatus

- Audio Input Connectors Ethernet [n] Mute *(Codec Pro, Room 70 G2)*
- Audio Microphones NoiseRemoval *(全製品)*
- Audio Output Connectors HDMI [n] MicPassthrough *(Codec Plus, Codec Pro, Room Kit, Room 55, Room 70 Single, Room 70 G2)*
- Cameras SpeakerTrack BackgroundMode *(全製品)*
- Conference Call [n] SimultaneousInterpretation MixerLevel *(全製品)*
- Conference Call [n] SimultaneousInterpretation SelectedLanguage *(全製品)*
- MediaChannels Call [n] Channel [n] Netstat EndToEndDelay *(全製品)*
- MediaChannels Call [n] Channel [n] Netstat RoundTripTime *(全製品)*
- Network [n] Wifi KeyMgmt *(全製品)*
- SystemUnit BroadcastName *(全製品)*
- UserInterface Features Call Breakouts *(全製品)*
- UserInterface Features Call HdmiPassthrough *(Codec Plus, Codec Pro, Room Kit, Room 55, Room 70 Single, Room 70 G2)*
- UserInterface Features Call LayoutControls *(全製品)*
- UserInterface Features Call ParticipantList *(全製品)*
- UserInterface Features Call SelfviewControls *(全製品)*
- UserInterface Features Call Webcam *(Board Pro, Room Bar, Room Kit Mini)*
- Video Input Miracast Channel *(全製品)*
- Video Input Miracast Status *(全製品)*
- Video Output Connector [n] Hdcpc *(全製品)*
- Video Output HDMI Passthrough Status *(Codec Plus, Codec Pro, Room Kit, Room 55, Room 70 Single, Room 70 G2)*
- Webex DevicePersonalization Hotdesking SessionStatus *(全製品)*

削除される xStatuses

- Video Input Source [n] FormatType *(全製品)*

修正される xStatuses

- Diagnostics Message [n] Type *(すべての製品)*
 - [valuespace](#) に追加 : HttpProxyStatus/MiracastPhoenixConfig/StandbyCtrlOfficeHoursConfiguration/WebexQRCodeProximityConnectivity
- UserInterface WebView [n] Type *(Desk Hub 以外の全製品)*
 - 旧** : ECM/ECMSignIn/統合/キオスク/なし/サイネージ/WebApp/WebRTCMeeting
 - 新** : ECM/ECMSignIn/EmbeddedApp/統合/キオスク/None/サイネージ/WebApp/WebRTCMeeting

RoomOS 10.15 の新機能および改善点

キオスクモード (Board Pro, Desk Mini)*

キオスクモードでは、デバイスのホーム画面を、自分でホストして管理するカスタム Web アプリに置き換えることができます。これにより、デバイスを仮想の受付またはヘルプデスクに変えることができます。デバイスを意図した目的にのみ使用できるように、その他のユーザーインターフェイスはロックされます。

Microsoft OneDrive ホワイトボードを開く

(Board Pro, Desk Mini)*

デバイスの [ファイル (File)] ボタンから直接、Microsoft OneDrive ホワイトボードを保存および開くことができます。

Room Navigator の永続的な Web アプリ

(Room Navigator)

Room Navigator でサードパーティの Web アプリケーションを実行すると、会社のカスタムソリューションを統合して、会議室の予約管理や、職場のガイドラインや情報を伝達することができます。選択したアプリは、RoomOS のユーザーインターフェイスに代わり、Room Navigator の画面全体に表示されます。

永続的な Web アプリは、ネットワークを介してデバイスにペアリングされている Room Navigator でのみ使用できます。

Webex デバイスでの T3 アラーム検出 (全製品)

マクロとサードパーティの統合を使用することにより、デバイスでは外部 T3 火災警報器のオーディオ信号を認識し、xAPI でステータス変更をトリガーできます。本機能は、米国の業界標準のアラームパターンである T3 アラームのみをサポートします。

デバイスがアラームを検出することを保証するものではありません。この機能に頼って警報の意識を高めるべきではありませんし、他の安全やセキュリティ対策および文書に取って代わるものではありません。

人物フォーカス レイアウト オプション

(Board Pro, Desk Mini)*

人物フォーカスは、どのレイアウト群にも適用できるレイアウトオプションです。人物フォーカスでは、不要な背景を削除することにより、画面の領域を最適化します。

ホットデスク (Desk Mini, Desk Hub)*

ホットデスクは、Desk Series のデバイスでのみサポートされています。共有デバイスにサインインして予約すると、まるで個人のデバイスであるかのようなメリットが得られます。

デバイスがオンプレミスサービスに登録されている場合、ホットデスクをサポートするには、デバイスを Webex Edge for Devices にリンクする必要があります。

USB-C ケーブルによるペアリング

(Desk Pro, Webex Desk, Desk Mini, Desk Hub)*

超音波ペアリングの代わりに USB-C ケーブルを使用して、Desk Series のデバイスをペアリングできます。

デバイスがオンプレミスサービスに登録されている場合、この機能をサポートするには、デバイスを Webex Edge for Devices にリンクする必要があります。

マイクテスト (Desk Mini, Desk Hub, Board Pro)*

デバイスのユーザーインターフェイス (コントロールパネル) には、ミーティングを開始する前にマイクをテストできるコントロールがあります。ノイズの除去や音声の最適化など、さらに構成が必要かどうかを確認できます。自分自身を録音して録音を再生するか、継続的なテストを有効にするオプションがあります。

USB 転送 (Desk Hub)

BYOD USBForwarding 構成を使用すると、Desk Hub の USB-A ポートまたは左の USB-C Po-to (背面から見て) の USB 転送を On にできます。USB ポートに対して USB 転送が有効になっている場合、Desk Hub に接続されているコンピュータのみがそのポートに接続されている周辺機器を使用できます。Desk Hub 自体は、これらの周辺機器を見つけたり使用したりすることはできません。

一般的な使用例は、ラップトップで使用するキーボードとマウスを USB 転送が有効になっているポートに接続することです。または、ラップトップの周辺機器を画面の内蔵 USB ハブに接続し、画面を USB 転送が有効になっているポートに接続することもできます。どちらの場合も、これにより、デスクに行き来する際に、1 本のケーブル (青い USB-C) のみを接続および切断できます。これは、ホットデスクのシナリオでも便利です。

Changes to the Video Input Connector [n] Quality configuration (全製品)

このソフトウェアリリースでは、[シャープネス (Sharpness)] の動作を変更し、[自動 (Auto)] を追加しました。

- 新しい値の [自動 (Auto)] は、以前のリリースで動作していた [シャープネス (Sharpness)] と同じように動作します。最初に、[自動 (Auto)] によって可能な限り最高の解像度に近づけます。モーションが検出されると、自動的にエンコードが変更され、最高に近いフレームレートが得られます。
- [シャープネス (Sharpness)] を選択すると、ストリームでは可能な限り最高の解像度が得られますが、自動変更は行われません。
- 以前はデフォルトとして [シャープネス (Sharpness)] が設定されていたコネクタでは、デフォルト値が [自動 (Auto)] に変更されました。

デフォルト値を使用している場合は、変更気付かないはずです。ただし、この設定を明示的に [シャープネス (Sharpness)] に設定した場合、自動による動作は失われます。

* 一部の機能には RoomOS 11 UI エクスペリエンスが必要です。これは、現在 Board Pro, Desk Hub, Desk Mini でのみ使用されています。デバイスが Webex クラウドに登録されているか、クラウド管理ソフトウェアアップグレードを備えた Webex Edge for Devices にリンクされている場合、Board, Desk, Desk Pro, および Desk Limited Edition で RoomOS 11 UI エクスペリエンスを切り替えることができます。オンプレミスのみの展開では使用できません。

RoomOS 10.15 での xConfiguration の変更

新しい xConfiguration

Audio Microphones PhantomPower (Room 55 Dual, Room 70)

Audio Output Ethernet [1] Mode (Room 70 Panorama)

Audio Panning HeadsetAnalog BinauralProcessing (Desk Pro, Desk Limited Edition)

Audio Panning HeadsetAnalog Mode (Desk Pro, Desk Limited Edition)

Audio Panning HeadsetUSB BinauralProcessing (Desk, Desk Hub, Desk Mini, Desk Pro, Desk Limited Edition)

Audio Panning HeadsetUSB Mode (Desk, Desk Hub, Desk Mini, Desk Pro, Desk Limited Edition)

BYOD NFCPairing (Desk Hub)

Cameras Camera Brightness Mode (Desk Hub)

Cameras Camera [2..7] AssignedSerialNumber (Board Pro)

Files Services OneDrive TemporaryPersonalSignIn (Desk Hub 以外の全製品)

NetworkServices SNMP CommunityName (Desk, Board Pro, Desk Hub, Desk Mini)

NetworkServices SNMP Mode (Board Pro, Desk, Desk Hub, Desk Mini)

NetworkServices SNMP SystemContact (Desk, Board Pro, Desk Hub, Desk Mini)

NetworkServices SNMP SystemLocation (Desk, Board Pro, Desk Hub, Desk Mini)

NetworkServices Wifi Settings FrequencyBand (全製品)

Peripherals Pairing CiscoTouchPanels HttpProxy (Board, Board Pro, Codec Plus, Codec Pro, Room 55, Room 55 Dual, Room 70, Room 70 G2, Room Kit, Room Kit Mini, Room 70 Panorama, Room Panorama)

RoomAnalytics T3AlarmDetection Mode (全製品)

RoomAnalytics T3AlarmDetection Timeout (全製品)

Security Xapi WebSocket ApiKey Allowed (Desk Hub 以外の全製品)

USBC EthernetForwarding Mode (Desk Hub)

UserInterface Features Files Start (Board, Board Pro, Desk, Desk Mini, Desk Pro, Desk Limited Edition)

UserInterface HomeScreen Peripherals WebApp URL (Desk Hub を除くすべての製品)

UserInterface Kiosk Mode (Board, Board Pro, Desk, Desk Mini, Desk Pro, Desk Limited Edition)

UserInterface Kiosk URL (Board, Board Pro, Desk, Desk Mini, Desk Pro, Desk Limited Edition)

UserInterface LedControl Mode (すべての製品)

WebEngine Features Xapi Peripherals AllowedHosts Hosts (Desk Hub 以外の全製品)

Webex Hotdesking DefaultBookingEndTime (Desk, Desk Hub, Desk Mini, Desk Pro, Desk Limited Edition)

WebRTC Provider MicrosoftTeams CompatibilityMode (Board, Codec Plus, Codec Pro, Desk Pro, Desk Limited Edition, Room 55, Room 55 Dual, Room 70, Room 70 G2, Room Kit, Room Kit Mini, Room 70 Panorama, Room Panorama)

削除される xConfigurations

Cameras PresenterTrack CameraPosition Pan (Room 70 Panorama, Room Panorama)

Cameras PresenterTrack CameraPosition Tilt (Room 70 Panorama, Room Panorama)

Cameras PresenterTrack CameraPosition Zoom (Room 70 Panorama, Room Panorama)

Cameras PresenterTrack Connector (Room 70 Panorama, Room Panorama)

Cameras PresenterTrack Enabled (Room 70 Panorama, Room Panorama)

Cameras PresenterTrack PresenterDetectedStatus (Room 70 Panorama, Room Panorama)

Cameras PresenterTrack TriggerZone (Room 70 Panorama, Room Panorama)

修正される xConfiguration

Audio Input HDMI [n] Level (Board Pro, Codec Plus, Codec Pro, Desk, Desk Pro, Desk Limited Edition, Room 55, Room 55 Dual, Room 70, Room 70 G2, Room Kit, Room Kit Mini, Room 70 Panorama, Room Panorama)

旧: デフォルト: -10

新: デフォルト: -5

Audio Input USB-C [1] Level (Board Pro, Desk, Desk Hub, Desk Mini, Desk Pro, Desk Limited Edition)

旧: デフォルト: -10

新: デフォルト: -5

Video Input Connector [1] CameraControl Mode (Desk Hub)

旧: オフ/オン

新: オフ

Video Input Connector [2] CameraControl Mode (Desk Hub)

旧: デフォルト: オフ

新: デフォルト: オン

旧: オフ

新: Off/On

Video Input Connector [2] PreferredResolution (Board Pro)

旧: デフォルト: 3840_2160_30

新: デフォルト: 3840_2160_60

旧: 1920_1080_60/2560_1440_60/3840_2160_30

新: 1920_1080_60/2560_1440_60/3840_2160_30/3840_2160_60

Video Input Connector [1] PresentationSelection (*Desk Hub*)

旧: デフォルト: OnConnect

新: デフォルト: Desktop

Video Input Connector [1..2] Quality (*Desk Hub*)

Video Input Connector [1..3] Quality (*Codec Plus, Room 55 Dual, Room 70*)

Video Input Connector [2..2] Quality (*Board, Room Kit, Room Kit Mini*)

Video Input Connector [2..3] Quality (*Board Pro, Desk, Desk Mini, Desk Pro, Desk Limited Edition, Room 55*)

Video Input Connector [1..6] Quality (*Codec Pro, Room 70 G2, Room 70 Panorama, Room Panorama*)

旧: モーション/シャープネス

新: 自動/モーション/シャープネス

Video Input Connector [1] Quality (*Board, Desk Hub, Desk Mini, Room Kit, Room Kit Mini*)

Video Input Connector [1, 3] Quality (*Board Pro, Codec Plus, Desk, Desk Pro, Desk Limited Edition, Room 55, Room 55 Dual, Room 70*)

Video Input Connector [3..5] Quality (*Codec Pro, Room 70 G2, Room 70 Panorama, Room Panorama*)

旧: デフォルト: シャープネス

新: デフォルト: Auto

Video Output Connector [2] Resolution (*Desk Hub*)

旧: 1920_1080_50/1920_1080_60/1920_1200_50/1920_1200_60/2560_1440_60/3840_2160_30/3840_2160_60/自動

新: 自動

RoomOS 10.15 での xCommand の変更

新しい xCommand

Bluetooth Streaming Next (*Board Pro, Desk, Desk Mini, Desk Pro, Desk Limited Edition*)
Bluetooth Streaming Pause (*Board Pro, Desk, Desk Mini, Desk Pro, Desk Limited Edition*)
Bluetooth Streaming Play (*Board Pro, Desk, Desk Mini, Desk Pro, Desk Limited Edition*)
Bluetooth Streaming Previous (*Board Pro, Desk, Desk Mini, Desk Pro, Desk Limited Edition*)
Conference AdmitAll (全製品)
Conference EndMeeting (全製品)
Conference HardMute (全製品)
Conference Lock (全製品)
Conference MuteAll (全製品)
Conference MuteOnEntry (全製品)
Conference Reaction Disable (全製品)
Conference Reaction Enable (全製品)
Conference Reaction Send (全製品)
Conference Reaction Tone (全製品)
Network SNMP USM User Add (全製品)
Network SNMP USM User Delete (全製品)
Network SNMP USM User List (全製品)
Peripherals TouchPanel Configure (全製品)
UserInterface LedControl Color Set (全製品)
Webex Hotdesking SetSupport (*Desk, Desk Hub, Desk Mini, Desk Pro, Desk Limited Edition*)

削除される xCommand

Cameras PresenterTrack ClearPosition (*Room 70 Panorama, Room Panorama*)
Cameras PresenterTrack Set (*Room 70 Panorama, Room Panorama*)
Cameras PresenterTrack StorePosition (*Room 70 Panorama, Room Panorama*)

変更される xCommand

Audio LocalOutput AddConnector (*Room 70 Panorama*)
旧: ConnectorType: ARC/HDMI/InternalSpeaker/回線/USBInterface
新: ConnectorType: ARC/イーサネット/HDMI/InternalSpeaker/回線/USBInterface

Audio LocalOutput RemoveConnector (*Room 70 Panorama*)
旧: ConnectorType: ARC/HDMI/InternalSpeaker/回線/USBInterface
新: ConnectorType: ARC/イーサネット/HDMI/InternalSpeaker/回線/USBInterface

Audio VuMeter Start (*Room 70 Panorama, Room Panorama*)
旧: ConnectorId: 整数 (1..16)
新: ConnectorId: 整数 (1..8)

Audio VuMeter Start (*Board Pro*)
旧: ConnectorId: 整数 (1..7)
新: ConnectorId: 整数 (1..3)
旧: ConnectorType: マイク
新: ConnectorType: MicArray/マイク

Audio VuMeter Start (*Desk Pro, Desk Limited Edition*)
旧: ConnectorType: イーサネット/MicArray/マイク
新: ConnectorType: マイク

Audio VuMeter Start (*Codec Plus*)
旧: ConnectorType: イーサネット/MicArray/マイク
新: ConnectorType: マイク

Audio VuMeter Stop (*Room 70 Panorama, Room Panorama*)
旧: ConnectorId: 整数 (1..16)
新: ConnectorId: 整数 (1..8)

Audio VuMeter Stop (*Board Pro*)
旧: ConnectorId: 整数 (1..7)
新: ConnectorId: 整数 (1..3)
旧: ConnectorType: マイク
新: ConnectorType: MicArray/マイク

Audio VuMeter Stop (*Desk Pro, Desk Limited Edition*)
旧: ConnectorType: イーサネット/MicArray/マイク
新: ConnectorType: マイク

Audio VuMeter Stop *(Codec Plus)*

旧: ConnectorType: イーサネット/MicArray/マイク

新: ConnectorType: マイク

Conference ParticipantList Search *(全製品)*

旧: 制限: デフォルト: 200

新: 制限: デフォルト: 1000

HttpClient Delete *(全製品)*

旧: ヘッダー: 文字列 (0, 1536) [倍数 20]

新: ヘッダー: 文字列 (0, 3072) [倍数 20]

HttpClient Get *(すべての製品)*

旧: ヘッダー: 文字列 (0, 1536) [倍数 20]

新: ヘッダー: 文字列 (0, 3072) [倍数 20]

HttpClient Patch *(すべての製品)*

旧: ヘッダー: 文字列 (0, 1536) [倍数 20]

新: ヘッダー: 文字列 (0, 3072) [倍数 20]

HttpClient Post *(すべての製品)*

旧: ヘッダー: 文字列 (0, 1536) [倍数 20]

新: ヘッダー: 文字列 (0, 3072) [倍数 20]

HttpClient Put *(すべての製品)*

旧: ヘッダー: 文字列 (0, 1536) [倍数 20]

新: ヘッダー: 文字列 (0, 3072) [倍数 20]

Phonebook Contact Add *(すべての製品)*

旧: デバイス: モバイル/その他/電話/ビデオ

新: デバイス: モバイル/その他/電話/ビデオ/仕事

Phonebook ContactMethod Add *(全製品)*

旧: デバイス: モバイル/その他/電話/ビデオ

新: デバイス: モバイル/その他/電話/ビデオ/仕事

Phonebook ContactMethod Modify *(全製品)*

旧: デバイス: モバイル/その他/電話/ビデオ

新: デバイス: モバイル/その他/電話/ビデオ/仕事

UserInterface WebView Clear *(Desk Hub 以外の全製品)*

新: ターゲット: コントローラ/OSD/PersistentWebApp

UserInterface WebView Display *(Desk Hub 以外の全製品)*

新: モード: 全画面/モーダル

新: ターゲット: コントローラ/OSD/PersistentWebApp

UserManagement User Add *(全製品)*

旧: ロール: 任意パラメータ

新: ロール: 必須パラメータ

Video CEC Input KeyClick *(Board, Room Kit, Room Kit Mini)*

旧: ConnectorId: 整数 (1..2)

新: ConnectorId: 整数 (2..2)

Video CEC Input KeyClick *(Desk Mini)*

旧: ConnectorId: 整数 (1..2)

新: ConnectorId: 整数 (2..2)

Video CEC Input KeyClick *(Board Pro)*

旧: ConnectorId: 整数 (1..3)

新: ConnectorId: 整数 (2..3)

Video CEC Input KeyClick *(Desk, Desk Pro, Desk Limited Edition, Room 55)*

旧: ConnectorId: 整数 (1..3)

新: ConnectorId: 整数 (2..3)

Webex Registration Start *(全製品)*

新: 登録タイプ: ホットデスク/マニュアル/パーソナライゼーション

RoomOS 10.15 での xStatus の変更

新しい xStatus

Bluetooth Streaming Album *(Board Pro, Codec Pro, Desk, Desk Mini, Desk Pro, Desk Limited Edition, Room 70 G2, Room 70 Panorama, Room Panorama)*

Bluetooth Streaming Artist *(Board Pro, Codec Pro, Desk, Desk Mini, Desk Pro, Desk Limited Edition, Room 70 G2, Room 70 Panorama, Room Panorama)*

Bluetooth Streaming Duration *(Board Pro, Codec Pro, Desk, Desk Mini, Desk Pro, Desk Limited Edition, Room 70 G2, Room 70 Panorama, Room Panorama)*

Bluetooth Streaming State *(Board Pro, Codec Pro, Desk, Desk Mini, Desk Pro, Desk Limited Edition, Room 70 G2, Room 70 Panorama, Room Panorama)*

Bluetooth Streaming Title *(Board Pro, Codec Pro, Desk Mini, Desk, Desk Pro, Desk Limited Edition, Room 70 G2, Room 70 Panorama, Room Panorama)*

Conference Presentation LocalInstance [n] DirectShare *(Desk Hub)*

MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Audio Channels *(Desk Hub)*

MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Audio Protocol *(Desk Hub)*

MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Encryption *(Desk Hub)*

MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Netstat Bytes *(Desk Hub)*

MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Netstat ChannelRate *(Desk Hub)*

MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Netstat Jitter *(Desk Hub)*

MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Netstat LastIntervalLost *(Desk Hub)*

MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Netstat LastIntervalReceived *(Desk Hub)*

MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Netstat Loss *(Desk Hub)*

MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Netstat MaxJitter *(Desk Hub)*

MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Netstat Packets *(Desk Hub)*

MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Video FrameRate *(Desk Hub)*

MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Video Protocol *(Desk Hub)*

MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Video ResolutionX *(Desk Hub)*

MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Video ResolutionY *(Desk Hub)*

RoomAnalytics T3Alarm Detected *(全製品)*

UserInterface Features Files Start *(Board, Board Pro, Desk, Desk Mini, Desk Pro, Desk Limited Edition, Room Kit Mini)*

UserInterface LedControl Color *(全製品)*

Video Input DirectShare [n] Peer Address *(Desk Hub)*

Video Input DirectShare [n] Peer PeripheralID *(Desk Hub)*

Video Input DirectShare [n] Type *(Desk Hub)*

Video Output Webcam Mode *(Desk Hub)*

Video Output Webcam Status *(Desk Hub)*

削除される xStatuses

Cameras PresenterTrack Availability *(Room 70 Panorama, Room Panorama)*

Cameras PresenterTrack PresenterDetected *(Room 70 Panorama, Room Panorama)*

Cameras PresenterTrack Status *(Room 70 Panorama, Room Panorama)*

UserInterface Features Whiteboard Start *(Codec Plus, Codec Pro, Room Kit)*

修正される xStatuses

Diagnostics Message [n] Type *(すべての製品)*

valuespace に追加 : HotdeskConfiguration/HotdeskKioskExclusivity/
KioskSettingsMenuLockConfiguration/MacrosProvisioningStatus/
PersistentWebAppURLConfiguration/WebexNfcProximityConnectivity/
XapiApiKeyWebsocketHttpsDisabled

valuespace から削除 : SnmpAvailability

UserInterface WebView [n] Type *(Desk Hub 以外の全製品)*

旧 : ECM/ECMSignIn/Integration/None/Signage/WebApp/WebRTCMeeting

新 : ECM/ECMSignIn/Integration/Kiosk/None/Signage/WebApp/WebRTCMeeting

第 2 章

API について

シスコの利用規約

シスコのソフトウェアおよびクラウド サービスの利用には、以下の利用規約が適用されます。Cisco API の利用には、[Cisco Webex デベロッパーサービスの利用条件](#)が適用されます。

スケジュールされたミーティングへの参加機能に関して許可される商用利用

シスコ利用規約に加えて、次のユースケースでは、商用利用に、ワンボタン機能と同様のスケジュールされた会議参加体験の許可が別途必要です。これには、この機能の提供を目的とした外部ソースからのカレンダーデータでデバイスを更新する API の仕様が含まれます。たとえば、「xCommand Bookings Put」や「bookingsputxml」などの以前のプライベート API などが該当します。また、同じ機能を実現するためにそれ以外の API を使用する場合も、商用利用の許可が必要になります。

スケジュールされたミーティングへの参加機能を提供する場合は、許可されている商用利用の条件に従うか、非営利の利用とする必要があります。非営利の利用とは、直接か間接かを問わず、収入を生むサービスまたは製品の一部としての API の使用、またはそれを促進するための API の使用を伴うアクティビティとしてではなく、社内の事業運営としてのみ利用するものと定義されます。

非営利での利用に該当しない、スケジュールされたミーティングへの参加機能を提供するための利用には、シスコによる個別の許可が必要です。

シスコは、API を利用するためのライセンスを失効させる権利を有します。シスコは、許可されていない商用目的での利用であるか、または Webex デベロッパー サービス利用条件に違反しているかについて、独自の裁量により判断するものとします。自社の API 利用目的が許可の範囲内であるかどうかご質問がある場合、または許可の取得について問い合わせる場合は、devsupport@webex.com まで連絡してください。

API の基礎

この章では、デバイス API でサポートされるメカニズムが概説されます。

API へのアクセス方法、コマンド ラインの使用方法、および API 各部の用途を知ることができます。また、デバイス利用可能なフィードバック機能の使用方法も記載されています。

API は主に次の 4 つのグループから構成されています。

- ・ コマンド
- ・ 構成
- ・ ステータス
- ・ イベント

これらの 4 つのグループは階層的に構造化されており、関連機能を容易に見つけることができます。次の章で、すべてのコマンド、設定およびステータスの完全な一覧を確認できます。

注: コマンドは、デバイスがサードパーティのシステムと対話する方法に影響を与える可能性がある値を返します。これらはリリースごとに変更され、文書化されていません。

API への接続

デバイス API にアクセスするには、いくつかの方法があります。

- ・ SSH
- ・ HTTP/HTTPS
- ・ WebSocket
- ・ シリアル接続¹

選択する方法に関係なく、API の構造は同じです。用途に最も適した接続方法を選択してください。すべての製品に対してすべての方法が利用できないことに注意してください。

開始する前に、さまざまな方法についてこの項で確認してください。有効化する前に追加の設定変更が必要になる場合もあります。設定は、パスワードを除き Web インターフェイスの [設定 (Configuration)] メニューまたはコマンド ライン インターフェイスから設定できます。例は、コマンドライン インターフェイス用です。

SSH

SSH は安全な TCP/IP 接続であり、デバイスのデフォルトでは有効になっています。無効にできません。SSH 経由で API にアクセスするには、PuTTY などの SSH クライアントが必要です。

```
xConfiguration NetworkServices SSH Mode:  
<Off/On>
```

HTTP/HTTPS

HTTP/HTTPS はコネクションレス プロトコルなので、永続的接続はありません。HTTP を介して API と通信するには、複数の方法があります。

HTTP および HTTPS サービスを有効や無効にするには、デバイスで次の設定を行います。

```
xConfiguration NetworkServices HTTP Mode:  
<Off, HTTP+HTTPS, HTTPS>
```

接続中 (Connecting)

API を調べるには、Web ブラウザでデバイスの IP アドレスまたはホスト名を入力します。これにより Web インターフェイスが開き、メニュー セレクションにある [\[統合 \(Integration\)\]](#) > [\[開発者 API \(Developer API\)\]](#) から API のドキュメントを確認できます。HTTP POST および GET メソッドは、コマンドを実行して、デバイスからフィードバックを取得するために使用されます。これは、本書の「[HTTP の使用 \(38 ページ\)](#)」で説明されています。

WebSocket

WebSocket は、クライアントとデバイスの API 間の全二重通信チャンネルを提供するプロトコルです。API コマンドは、WebSocket を介して送信される前に、JSON-RPC オブジェクトに埋め込まれます。

WebSocket の使用を有効または無効にするには、次のように設定します。Websocket を使用する前に、WebSocket が HTTP に関連付けられているため、HTTP または HTTPS が有効になっています。

```
xConfiguration NetworkServices WebSocket:  
<Off, FollowHTTPService>  
  
xConfiguration NetworkServices HTTP Mode:  
<Off, HTTP+HTTPS, HTTPS>
```

WebSocket を介して JSON-RPC オブジェクトの API コマンドを伝える方法については、▶ [『WebSocket 経由の xAPI』](#) ガイドを参照してください。

¹ シリアル接続経由の API アクセスは、Room 55 Dual または Room 70 では使用できません。

RS-232/ シリアル接続

次の目的で、デバイスにシリアル接続を設定することができます。

- デバイスの API へのアクセス

デバイスタイプに応じて、API アクセスのシリアル接続は USB-A または COM ポート (D-SUB 9 または 3 ピンユーロブロック) を介して設定されます。²

- メンテナンスとサービス

障害状態から復旧するには、デバイスへのシリアル接続が必要になる場合があります。詳細については、該当製品の『管理者ガイド』を参照してください。

シリアル通信は、IP アドレス、ドメインネームシステム (DNS) またはネットワークなしでも使用できます。

シリアル通信はデフォルトで有効になっていますが、シリアルポートモードを [オフ (Off)] に設定することで無効にできます。³

```
xConfiguration SerialPort Mode: <Off/On>
```

ボーレートとその他のシリアルポートパラメータ

各デバイスタイプのコネクタタイプとシリアルポートパラメータについては、表を参照してください。

一部のデバイスタイプでは、さまざまなボーレートを使用できます。⁴ デバイスは大量のフィードバックを送信することができるため、接続をできるだけ最高レートに保つことを推奨します。長いケーブルを使用している場合など、状況によっては、ビットエラーを回避するために低いレートの使用が求められることがあります。

```
xConfiguration SerialPort BaudRate:
<9600/19200/38400/57600/115200>
```

新しいボーレートは、デバイスの再起動後に有効になります。

ログインとパスワード

セキュリティ上の理由から、パスワード入力要求はデフォルトでオンになっていますが、オフにすることもできます。

```
xConfiguration SerialPort LoginRequired:
<Off/On>
```

デバイス タイプ	コネクタ タイプ	ボーレート (bps)	その他のパラメータ
Room Bar Room Kit Mini Room Kit Room 55 Codec Plus Codec EQ Desk Pro Desk Desk Mini Board Pro	USB-A + RS-232 アダプタ	115200	データビット:8 パリティ:なし ストップビット:1 ハードウェアフロー制御:Off
Codec Pro Room 70 G2 Room Panorama Room 70 Panorama	COM (Euroblock, 3 ピン) 推奨 USB-A + RS-232 adapter	9600, 19200, 38400, 57600 または 115200 (デフォルト)	
Board 55, 70 Board 55S, 70S, 85S Room 55 Dual, Room 70	使用不可		

API アクセスのためのシリアル接続

² シリアル接続を介した API アクセスは、Room 55 Dual または Room 70 では使用できません。

³ Webex Board 55 および 70 (第 1 世代の Board) では、シリアル通信が常に有効になっています。無効にすることはできません。

⁴ デバイスの API へのアクセスに使用されるポートにのみ適用されます。専用のメンテナンスポート (micro USB) は常にデフォルトのボーレートを使用します。

イーサネット ポート

メイン ネットワーク ポート - ネットワーク ポート 1 - は常に LAN 接続用に予約されています。⁵ これはすべてのデバイスに適用されます。

シスコのデバイスの一部には複数のネットワーク ポートが備わっています。追加ポートは、カメラやタッチコントローラなどの周辺機器に使用できます。

このようなネットワークポートに接続されているデバイスはビデオ会議デバイスからローカル IP アドレスを取得するため、企業ネットワークには接続されていません。

- シスコ デバイスには、169.254.1.41 から 169.254.1.240 の範囲 (DHCP) でのダイナミック IP アドレスが割り当てられます。
- シスコ以外のデバイスには、ダイナミック IP アドレス (DHCP) : 169.254.1.30 を割り当てることができます。

注: シスコ以外のデバイスでダイナミック IP アドレスを取得できるのは、一度に 1 つだけです。

- さらに、シスコ以外のデバイスには、169.254.1.241 ~ 169.254.1.254 の範囲の静的 IP アドレスを割り当てることができます。

この方法は、SSH を使用してデバイスに接続する場合にも使用できます。このケースでは、IP アドレス 169.254.1.1 を使用できます。

パワーオーバーイーサネット (PoE)

次の製品には、PoE を提供する 1 つ以上のイーサネットポートがあります。

- Codec Plus, Room Bar, Room Kit Mini, Room 55, Room 55 Dual, Room 70, Board Pro (タッチコントローラの記号付き )
- Codec Pro, Room 70 G2, Room 70 Panorama, Room Panorama (2 ポート: 1 つは、タッチコントローラの記号付き )、もう 1 つは「PoE」という文字付き)。
- Codec EQ (4 ポート: 1 つは、タッチコントローラの記号付き )、もう 1 つは「PoE」という文字付き)。

ユーザー ロール

1 つのユーザ アカウントは、1 つのユーザ ロールまたは複数の組み合わせを保持できます。デフォルトの admin ユーザーなどの、フル アクセス権を持つユーザー アカウントは、ADMIN、USER、AUDIT の各役割も持つ必要があります。

これらはユーザー ロールです。

ADMIN: このロールを持つユーザは、新規ユーザの作成、ほとんどの設定の変更、通話、および連絡先リストの検索ができます。このユーザーは監査証明書のアップロードもセキュリティ監査設定の変更も行えません。

USER: このロールを持つユーザはコールの発信と連絡先リストの検索が可能です。このユーザーは呼び出し音量の調整や時刻と日付の表示形式の変更など、いくつかの設定を変更できます。

AUDIT: このロールを持つユーザは、セキュリティ監査の設定の変更および監査証明書のアップロードが可能です。

ROOMCONTROL: このロールを持つユーザーは、カスタマイズされた UI パネル (室内制御など) を作成できます。このユーザーは、UI 拡張エディタおよび対応する開発ツールにアクセスできます。

INTEGRATOR: このロールを持つユーザーは、高度な AV シナリオを設定したり、デバイスをサードパーティの機器と統合したりするために必要な設定、コマンド、およびステータスにアクセスできます。このユーザーは、カスタマイズした UI パネルを作成することもできます。

パスワード

デバイスは完全な資格情報を持つデフォルトのユーザ アカウントに提供されます。ユーザ名は *admin* です。最初はデフォルトユーザのパスワードは設定されていません。

デバイス設定へのアクセスを制限するために、*admin* ユーザにパスワードを設定する必要があります。さらに、同様のクレデンシャルを持つ他のユーザ用のパスワードを設定する必要があります。

パスワードは、デバイスの Web インターフェイスで設定できません。Web ブラウザを開き、アドレス バーにデバイスの IP アドレスを入力してサインインします。右上隅のユーザ名をクリックし、ドロップダウン メニューから [\[パスワードの変更 \(Change passphrase\)\]](#) を選択します。

⁵ デバイスに応じて、ネットワークポート 1 には、番号 1、ネットワーク記号 (📶) またはその両方が記載されます。

API 出力

xPreference は RS-232 および SSH セッションの優先順位を設定するために使用されます。

出力モードは次のとおりです。

端末: 回線ベースのコントロールシステムで使用する回線ベース出力

XML: XML を理解するコントロールシステムで使用する XML 出力。

JSON: JSON 形式は Web ベースのシステムと統合する際に便利です。

デフォルトの出力モードは ターミナルです。これを変更するには、各セッションの優先設定を個別に定義する必要があります。このガイドでの例は端末モードです。

出力モードを XML に設定するには、次のコマンドを発行します。

```
xPreferences outputmode xml
```

terminal モードに戻すには、次のコマンドを発行します。

```
xPreferences outputmode terminal
```

例: 端末モードのコマンド

```
xCommand Audio Volume Set Level:50
```

例: XML モードのコマンド

```
<Command>  
  <Audio>  
    <Volume>  
      <Set command="True">  
        <Level>50</Level>  
      </Set>  
    </Volume>  
  </Audio>  
</Command>
```

コマンドラインの使用

ヘルプ

サポートされているすべての上位レベルのコマンドのリストを取得するには、RS-232 または SSH を使用してデバイスに接続した後、? または help と入力します。

Bye

bye コマンドを入力すると、コマンドライン インターフェイスが閉じます。

API コマンド

xConfiguration

コンフィギュレーションは、デバイス名やネットワーク設定などのデバイス設定です。これらはブートしても維持されます。「[構成 \(32 ページ\)](#)」を参照してください。

xCommand

コマンドは、番号をダイヤルする、電話帳を検索するといったアクションの実行をデバイスに指示します。「[コマンド \(32 ページ\)](#)」を参照してください。

xStatus

ステータスには、接続されたコール、ゲートキーパー登録のステータス、接続された入出力ソースなどのデバイスの現在の状態が含まれます。「[ステータス \(32 ページ\)](#)」を参照してください。

xFeedback

Feedback コマンドは、構成とステータスの階層のどの部分を監視するか指定するために使用されます。Feedback は指定された RS 232 または SSH セッションでのみ発行されます。複数のセッションでデバイスに接続する場合は、セッションごとに個々のフィードバックを定義する必要があります。「[Feedback メカニズム \(36 ページ\)](#)」を参照してください。

例:

?

- ユーザ コマンド -

```

help          xcommand      xconfiguration  xevent         xfeedback
xgetxml      xpreferences  xstatus         bye            echo
log          systemtools
[OK]
```

xPreferences

xPreferences コマンドは、RS-232 および SSH セッションの優先設定を設定するために使用されます。「[API 出力 \(29 ページ\)](#)」を参照してください。

Echo <on/off>

echo が On に設定されている場合、コマンド ライン インターフェイスにテキストを入力すると、キー入力の内容が表示されます。

echo が Off に設定されている場合、コマンド ライン インターフェイスにテキストを入力すると、ユーザー入力は表示されません。

xEvent

xEvent コマンドは、フィードバックに利用できるイベント情報を返します。「[イベント \(35 ページ\)](#)」を参照してください。

xGetxml

xGetxml リクエストは、リクエストに添付されている Location パラメータに基づく XML ドキュメントを返します。表現式と一致する要素 (またはドキュメント全体) が返されます。「[Feedback メカニズム \(36 ページ\)](#)」を参照してください。

その他のコマンド

systemtools

systemtools コマンドは管理コントロールや診断用のコマンドツールの一式です。このコマンドをシスコ テクニカル サポートと併用することで、高度なトラブルシューティングを行うことができます。Systemtools はプログラミング API の一部ではありません。

Log

log コマンドは、高度なログを有効にするために使用されます。これはデバイスをデバッグする場合にのみ使用されます。

コマンドライン ショートカット

クライアントでサポートされていれば、使用できる時間節約になるショートカットがいくつかあります。

- コマンドおよび引数を完了するにはタブ補完。
- コマンド履歴内を移動するための↑↓キー。
- <CTRL-a>: 行の先頭にジャンプします。
- <CTRL-e>: 行の最後にジャンプします。
- <CTRL-r>: コマンド履歴をインクリメンタル検索します。
- <CTRL-w>: 現在の行を消去します。

検索

// を使用して、ステータスまたは設定の階層のどこでも要素を検索できます (例 1)。

また、複数の // を組み合わせることもできます (例 2)。

注: 検索のショートカットは API の検査ではうまく機能しますが、アプリケーションでは使用すべきではありません。新しいファームウェア リリースにアップグレードするときは、コマンドの曖昧さを回避するために、完全なパスを常に使用することを推奨します。

例 1:

OUT および HDMI で始まる単語を含むすべての設定をリストします。

```
xConfiguration //out//hdmi
*c xConfiguration Audio Output HDMI 1 Level: 0
*c xConfiguration Audio Output HDMI 1 Mode: On
*c xConfiguration Audio Output HDMI 2 Level: 0
*c xConfiguration Audio Output HDMI 2 Mode:
Off
** end
```

例 2:

入力と出力の両方について、接続されたソースすべての解像度 (幅) を取得します。

```
xStatus //vid//res//wid
*s ビデオ入力ソース1の解像度の幅: 1920
*s ビデオ入力ソース2の解像度の幅: 0
*s ビデオ入力ソース3の解像度の幅: 0
*s ビデオ入力ソース4の解像度の幅: 0
*s ビデオ出力コネクタ1解像度幅: 1920
*s ビデオ出力コネクタ2解像度幅: 1280
*s ビデオ出力コネクタ3解像度幅: 1280
** end
```

値のタイプと形式

デバイスは次の値タイプをサポートしています。

- **整数値:** <x..y>
整数入力の有効範囲を定義します。x = 最小値、y = 最大値。
- **リテラル値:** <X/Y/./Z>
特定の設定で使用可能な値を定義します。
- **String values:** <S: x, y>
この構成の有効な入力が、最短 x 文字、最長 y 文字の文字列であることを定義します。文字列には、さらに形式と長さを指定するルールも定義できます。

スペースを含む入力値は、引用符で囲む必要があります。

設定の値と、スペースを含むコマンドは、引用符で囲む必要があります。スペースを含まない値には引用符は不要です。

正: xCommand dial number: "my number contains spaces"

正: xCommand dial number: 12345

誤: xCommand dial number: my number contains spaces

大文字と小文字の区別

すべてのコマンドは、大文字と小文字を区別しません。次のすべてのコマンドが正常に機能します。

```
XCOMMAND DIAL NUMBER: foo@bar.org
xcommand dial number: foo@bar.org
xCommand Dial Number: foo@bar.org
```

コマンド

コマンドは、番号をダイヤルする、電話帳を検索するといったアクションの実行をデバイスに指示します。すべてのコマンドは、プレフィックス `xCommand` から始まり、その後コマンド パスが続きます。

コマンドラインに、`xCommand ?` と入力すると、上位レベルのコマンドがすべて一覧されます。

コマンドとパラメータの全リストを表示するには、コマンドラインに `xCommand ??` と入力します。

コマンドの引数はキーと値のペアです。

`xCommand` を発行する場合、コマンドは 1 つの引数と 1 つの必須パラメータという構成になります。このドキュメントでは、必須パラメータとオプション パラメータの両方を含む、すべての `xCommand` のコマンドの使用について説明します。オプション パラメータはカッコで囲みます。

例：

```
xCommand Dial Number: 123
```

`xCommand` はコマンド プレフィックスです。実行されるコマンドは `Dial` です。

この例には、1 つの引数 (Number: 123) が含まれていません。Number はキーで、123 はその値です。キーと値のペアは、「:」で区切ります。

構成

コンフィギュレーションは、起動後も維持されるデバイス設定です。コマンドと同様に、設定も階層的に構成されます。

`xConfiguration ?` と入力すると、すべての上位レベルの構成を一覧できます。

`xConfiguration ??` と入力すると、すべての構成とその値のスペースを一覧できます。

`xConfiguration` と入力すると、すべての構成とその現在の値を一覧できます。一部の設定だけをリストするには、`xConfiguration` の後に、設定パスの 1 つ以上のパスを書き込みます。

例:H323 エイリアス ID を設定します

タイプ:

```
xConfiguration H323 Profile 1 H323Alias ID:  
"changed@company.com"
```

例:H323 エイリアス ID を取得します

タイプ:

```
xConfiguration H323 Profile 1 H323Alias ID
```

結果:

```
*c xConfiguration H323 Profile 1 H323Alias ID:  
"changed@company.com"  
**end
```

ステータス

ステータスには、デバイスの現在状態、接続した会議、ゲートキーパー登録の状態、接続済み入力出力のソースなどの情報が含まれます。

コマンドラインで `xStatus ?` と入力すると、すべての上位レベルのステータスを一覧できます。

`xStatus` と入力するとすべてのステータスとその現在の値を一覧できます。

ステータスの一部だけをリストするには、`xstatus` の後に、ステータス パスの該当部分 (address expression) を書き込みます。

```
xStatus <address expression>
```

複数行コマンド

複数行コマンドは、単一行コマンドよりも多くのデータを入力としてサポートします。使用例としては、UI 拡張機能定義の入力、ブランド画像 (base64エンコード)、マクロ、ウェルカムバナー、セキュリティ証明書などがあります。

複数行コマンドシンタックス

```
xCommand <command path> <enter>  
<payload> <enter>  
.<enter>
```

他の xAPI コマンドと同様に複数行コマンドを入力できます。ただし、コマンドは、実行前に入力としてコマンドペイロードが提供されるまで待機します。ペイロードの形式はコマンドによって異なります。改行も可能です。

最大長は 8 MB です。これを超えると、ERROR がスローされ、それ以上の解析は行われません。

このコマンドは、ピリオドとそれに続く改行のみを含む別の行を入力すると実行されます。

コマンドが正常に実行されたかどうかに応じて、返される結果は OK または ERROR です。

複数行コマンドは、本書のコマンド説明でマークされています。

例: ウェルカムバナーのテキスト設定

コマンド:

```
xCommand SystemUnit WelcomeBanner Set  
Hello!  
This is the second line of text.  
This is the third.  
Thank you!  
.
```

コマンドの結果:

```
OK  
*r WelcomeBannerSetResult (status=OK):  
** end
```

同期 API 呼び出し

API は非同期で動作します。つまり、コマンドの応答がコマンドの発行順序と同じ順序で戻ることは保証されません。またデバイスは、要求と応答の間のフィードバックを返すことがあります。これは、デバイスの変更により、ステータス変更やイベントの形式で返されます。

アプリケーションによっては、要求を応答と一致させることが重要な場合があります。このため、API は応答のタグ付けのメカニズムをサポートしています。

このメカニズムは、xcommand、xconfiguration、xstatus の、すべてのコマンド タイプで機能します。このメカニズムの一般的な用途は、アプリケーションにコマンド キューを作成し、デバイスに送信されるすべてのコマンドに一意の ID を割り当てることです。その後、リスナーは、デバイスからのすべてのフィードバックをリッスンし、応答の ID をコマンド キューに対応する ID と照合します。これにより、元の要求と特定の応答を一致させることができます。

例：

```
xcommand Video Layout Add | resultId="mytag_1"  
[OK]  
*r VideoLayoutAddResult (status=OK):  
LayoutId: 1  
** resultId: "mytag_1"  
** end
```

XML モードでは、属性として resultId がトップレベルの XmlDocument タグに追加されます。

```
xgetxml /Configuration/Video/Layout/Scaling | resultId="mytag_2"  
<XmlDoc resultId="mytag_2">  
<Configuration item="1">  
  <Video item="1">  
    <Layout item="1">  
      <Scaling item="1" valueSpaceRef="...">Off</Scaling>  
    </Layout>  
  </Video>  
</Configuration>  
</XmlDoc>
```

イベント

Event は、フィードバックに使用できるイベントに関する情報を返します。この概要では、API で使用可能なイベントについていくつかの例を示します。

サポートされるイベントの概要を取得するには：

- ・ xEvent - 上位レベルのイベントを一覧表示
- ・ xEvent <top level category> - そのカテゴリ内で利用できるイベントをすべて一覧表示
- ・ xEvent * - そのデバイスで利用可能なすべてのイベントを一覧表示

イベントの結果はデバイスの状態に応じて異なります。

例 1: 発信コールの表示

発信コールの表示は、発信コールがダイヤルされようとしているときに報告されるイベントです。コールが割り当てられている CallId を返します。

```
*e OutgoingCallIndication CallId: x
** end
```

例 2: コールの切断

コールの切断は、通話が切断されたときに報告されるイベントです。接続されたコールの CallId と、コールの切断の理由を返します。

```
*e CallDisconnect CallId: x CauseValue: 0
CauseString: "" CauseType: LocalDisconnect
OrigCallDirection: "outgoing"
** end
```

例 3: コールの成功

コールの成功は、コールが正常に接続されたとき、つまり、すべてのチャネルが稼働し確立されている場合に報告されるイベントです。

```
*e CallSuccessful CallId: 132 Protocol:
"h223" Direction: "outgoing" CallRate: 768
RemoteURI: "h223:integratorHQ@company.com"
EncryptionIn: "Off" EncryptionOut: "Off"
** end
```

例 4: FECC アクション リクエスト

FECC アクション リクエストは、相手先が FECC コマンドを送信している場合に報告されるイベントです。

```
*e FeccActionInd Id: 132 Req: 1 Pan: 1
PanRight: 1 Tilt: 0 TiltUp: 0 Zoom: 0 ZoomIn:
0 Focus: 0 FocusIn: 0 Timeout: 300 VideoSrc:
0 m: 0
** end
```

例 5: TString メッセージの受信

TString メッセージの受信は、相手先が TString メッセージを送信した場合に報告されるイベントです。

```
*e TString CallId: 132 Message: "ee"
** end
```

例 6: SString メッセージの受信

SString メッセージの受信は、相手先が SString メッセージを送信した場合に報告されるイベントです。

```
*e SString String: "ee" Id: 132
** end
```

フィードバックのメカニズム

同期されたアプリケーションとデバイス間の状態を確実に維持できるソリューションを構築するには、デバイスの状態の変更を報告する通知システムを設定します。

API は次の通知をサポートしています。

- ・ コンフィギュレーションの変更
- ・ ステータスの変更
- ・ イベント通知

これらの通知は、明示的にデバイスに送信するように指示しない限り、送信されません。フィードバック式を登録することによって、フィードバックをサブスクライブできます。フィードバック式を登録する方法は、使用している接続方式に応じて異なります。

HTTP を使用する場合は、フィードバックの処理方法がこの項の説明と若干異なります。詳細については、「[HTTP 経由デバイスからのフィードバック \(40 ページ\)](#)」を参照してください。

Warning (注意) : 特に、会議の接続および切断の際、デバイスはたくさんのフィードバックを送信する場合があります。必要なフィードバックのみをサブスクライブしてください。

xFeedback register /Status を発行して、すべてのステータスのフィードバックを取得するように登録しないでください。これにより、制御アプリケーションに処理するには多すぎるデータが提供され、応答が遅くなったり予期しない動作が起こる可能性があります。

フィードバック表現

フィードバックの登録に使用される表現は、XPath 言語の派生言語です。XML/JSON ドキュメントからノードを選択する方法を XPath 言語で記述します。ソフトウェアには、3 つのメインフィードバック ドキュメントが含まれています。

ドキュメント	API コマンド	パス
ステータス	xStatus	/Status
構成	xConfiguration	/Configuration
イベント	xEvent	/Event

フィードバック登録用シンタックスは、以下のとおりです。

```
xFeedback register <path>
```

xFeedback register /Status を発行して、すべてのステータスのフィードバックを取得するように登録しないでください。

コンフィギュレーションの変更は頻繁には生じない可能性が高いため、xFeedback register /Configuration を使用して、すべてのコンフィギュレーションの変更を取得するように登録するほうが安全です。

いくつかの例を検討することにより、フィードバック表現を構築する際にこの情報を活用する方法を理解できます。式を検証する簡単な方法は、ブラウザで `http://<ip-address>/getxml?location=path` を指すか、端末から `xgetxml <path>` を実行し、出力がフィードバックを必要とするノードと一致するかを確認することです。

例 1: マイクのミュート状態

端末での照会

```
xStatus Audio Microphones Mute
*s Audio Microphones Mute: Off
** end
```

同等のフィードバック表現式

```
xFeedback register /Status/Audio/
Microphones/Mute
```

例 2: すべてのビデオ入力コネクタの名前

端末での照会

```
xConfiguration Video Input Connector Name
*c xConfiguration Video Input Connector 1
Name: "NameA"
*c xConfiguration Video Input Connector 2
Name: "NameB"
*c xConfiguration Video Input Connector 3
Name: "NameC"
*c xConfiguration Video Input Connector 4
Name: "NameD"
*c xConfiguration Video Input Connector 5
Name: "NameE"
** end
```

同等のフィードバック表現式

```
xFeedback register /Configuration/Video/
Input/Connector/Name
```

例 3: ビデオ入力コネクタ 3 の名前

端末での照会

```
xConfiguration Video Input Connector 3
Name
*c xConfiguration Video Input Connector 3
Name: "NameC"
** end
```

同等のフィードバック表現式

```
xFeedback register /Configuration/Video/
Input/Connector[@item="3"]/Name
```

ターミナル接続

フィードバックのサブスクリプションの管理

フィードバック式を登録、一覧表示、および登録解除するには、xFeedback コマンドと対応するサブコマンドを使用します。

登録された表現は、現在のアクティブな接続に対してのみ有効です。2つの端末セッションを開き、1つのセッションでフィードバックを取得するために登録した場合、もう1つのセッションではフィードバックを受信しません。これは、セッションから切断した場合、再接続後にすべての表現を再度登録する必要があることも意味します。

最大 50 個の表現を登録できます。

フィードバック出力

フィードバックの出力は、xConfiguration および xStatus コマンドを使用してデバイスに問い合わせを行ったときに取得するものと全く同じものです。たとえば、コマンドラインで xStatus Standby Active コマンドを発行した場合、結果は次のようになります。

```
*s Standby Active: On
** end
```

ステータスの変更に関するフィードバックについて登録した場合、デバイスがスタンバイ モードに移行したときに取得するフィードバックも上記と全く同じになります。

```
*s Standby Active: On
** end
```

これは、デバイスに対してプログラミングを行う場合、1つの形式を処理するだけでよいことを意味します。

例: フィードバックのサブスクリプションの管理

A: フィードバック式の登録。

```
入力:  xFeedback register /Status/Audio
結果:  ** end
      OK
```

```
入力:  xFeedback register /Event/CallDisconnect
結果:  ** end
      OK
```

```
入力:  xFeedback register /Configuration/Video/MainVideoSource
結果:  ** end
      OK
```

B: 現在登録されている表現式の一覧表示

```
入力:  xFeedback list
結果:  /Configuration/Video/MainVideoSource
      /Event/CallDisconnect
      /Status/Audio
      ** end
      OK
```

C: フィードバック表現式の登録解除

```
入力:  xFeedback deregister /Event/CallDisconnect
結果:  ** end
      OK
```

```
入力:  xFeedback deregister /Status/Audio
結果:  ** end
      OK
```

D: 新しいフィードバック表現式の一覧表示。

```
入力:  xFeedback list
結果:  /Configuration/Video/MainVideoSource
      ** end
      OK
```

HTTP の使用

デバイスは、HTTP および HTTPS 経由のコマンドおよびコンフィギュレーションの送信をサポートしています。この方法で設定とステータスを取得することもできます。このインターフェイスは、コマンド ラインと同じ API を公開しますが、形式は XML です。

HTTP XMLAPI 認証

XMLAPI へのアクセスでは、ユーザは HTTP 基本アクセス認証を使い、「ADMIN」ロールを持つユーザとして認証される必要があります。認証されていない要求により、基本アクセス認証チャレンジを含む 401 HTTP 応答が返されます。HTTP 基本アクセス認証を使う方法は、使用している HTTP ライブラリやツールによって異なります。

アプリケーションが API を介して複数のコマンドを発行する場合は、セッション認証を使用することを強くお勧めします（下記参照）。標準の基本認証は、要求ごとに完全な再認証を行うため、アプリケーションのパフォーマンスに影響する場合があります。

HTTP XMLAPI セッション認証

API 要求のたびにユーザ名とパスワードの組み合わせを使って認証を行うと、場合によっては大きな遅延が発生することがあります。これを緩和するため、API はセッション ベースの認証メカニズムをサポートしています。

セッションを開くには、基本アクセス認証を使用して `http://<ip-address>/xmlapi/session/begin` への POST を発行します。応答により、SessionId の Cookie が設定され、これを後続の要求で使用できます。

API セッション認証を使用する場合、使用後に明示的にセッションを閉じることが重要です。利用できる同時セッションの数は限られており、私用しなくなるとすぐにセッションはタイムアウトするわけではないため、セッションを閉じない場合、デバイスのセッション数が足りなくなる場合があります。詳細については、「`Configuration セキュリティセッション非アクティブタイムアウト`」を参照してください。

URL チート シート

次の表には、HTTP を介して API にアクセスする際に使用される主な URL が含まれています。

Method	URL	説明
GET	<code>http://<ip-address>/status.xml</code>	完全なステータス ドキュメント
GET	<code>http://<ip-address>/configuration.xml</code>	完全なコンフィギュレーション ドキュメント
GET	<code>http://<ip-address>/command.xml</code>	完全なコマンド ドキュメント
GET	<code>http://<ip-address>/valuespace.xml</code>	完全な値スペース ドキュメント
GET	<code>http://<ip-address>/getxml?location=<path></code>	パスに基づいてドキュメントを取得
POST	<code>http://<ip-address>/putxml</code>	HTTP 本文の設定とコマンド

例：
HTTP XMLAPI セッションの開始

要求:

```
POST /xmlapi/session/begin
HTTP/1.1
Authorization: Basic
<Base64 encoded
authentication string>
```

応答:

```
HTTP/1.1 204 No Content
Server: nginx/1.8.0
Connection: keep-alive
Set-Cookie: SessionId=f08102c8ce5aaf8fba23a7238cc2ef-464b990e18bfbb7fb048820c0e28955c54; Path=/; HttpOnly
```

このセッションは、デバイスの同時セッションの制限数の対象としてカウントされます。

セッションが開かれると、後続の要求に SessionId の Cookie が提供されます。これは、ツール/ライブラリによっては、自動的に行われます。

例：
HTTP XMLAPI セッションの使用

要求:

```
GET /configuration.xml
HTTP/1.1
Cookie: SessionId=f08102c8ce5aaf8fba23a7238cc2ef464b990e18bfbb7fb048820c0e28955c54
```

応答:

```
HTTP/1.1 200 OK
Server: nginx/1.8.0
Content-Type: text/xml;
charset=UTF-8
Content-Length: 43549
Connection: keep-alive
<?xml version="1.0"?>
<Configuration
product="Cisco Codec"
version="ce8.2.0"
apiVersion="4"> ...
</Configuration>
```

使用後にセッションを閉じるには、提供された Cookie を使って、`http://<ip-address>/xmlapi/session/end` に POST を発行します。

例：
HTTP XMLAPI セッションを閉じる

要求:

```
POST /xmlapi/session/end
HTTP/1.1
Cookie: SessionId=f08102c8ce5aaf8fba23a7238cc2ef464b990e18bfbb7fb048820c0e28955c54
```

応答:

```
HTTP/1.1 204 No Content
Server: nginx/1.8.0
Connection: keep-alive
Set-Cookie: SessionId=;
Max-Age=0; Path=/; HttpOnly
```

ステータスと設定の取得

例 1:

デバイスのすべてのステータスエントリを取得

```
http://<ip-address>/getxml?location=/Status
```

例 2:

デバイスのオーディオステータスのみを取得

```
http://<ip-address>/getxml?location=/Status/  
Audio
```

例 3:

デバイスのすべての構成を取得

```
http://<ip-address>/getxml?location=  
Configuration
```

例 4:

デバイスのすべてのビデオ構成を取得

```
http://<ip-address>/getxml?location=  
Configuration/Video
```

コマンドとコンフィギュレーションの送信

HTTP POST の使用

コンフィギュレーションやコマンドをデバイスに送信する場合は、HTTP ヘッダーの Content-Type が text/xml (Content-Type: text/xml) に設定されていることが重要です。POST の本文には XML コンテンツを含める必要があります。

複数行のコンテンツを putxml で送信するには、<body> タグで囲みます。

例 1:

デバイス名の変更

要求

```
POST /putxml HTTP/1.1  
Content-Type:text/xml
```

```
<Configuration>  
  <SystemUnit>  
    <Name>newName</Name>  
  </SystemUnit>  
</Configuration>
```

例 2:

カメラ位置の設定

要求

```
POST /putxml HTTP/1.1  
Content-Type:text/xml
```

```
<Command>  
  <Camera>  
    <PositionSet command="True">  
      <CameraId>1</CameraId>  
      <Pan>200</Pan>  
      <Tilt>200</Tilt>  
    </PositionSet>  
  </Camera>  
</Command>
```

応答

```
HTTP/1.1 200 OK  
Content-Type:text/xml  
Content-Length: 91
```

```
<?xml version="1.0"?>  
<Command>  
<CameraPositionSetResult item="1" status="OK"/>  
</Command>
```

HTTP を介したデバイスからのフィードバック

API の状態の変更 (ステータス、イベント、コンフィギュレーションの更新) についての http フィードバック メッセージ (WebHook と呼ばれます) を、デバイスが投稿するように設定できます。HTTP Post フィードバック メッセージは、指定された ServerURL に送信されます。イベントを XML または JSON のいずれの形式で送信するかを選択できます。最大 15 個のフィードバック表現を登録して、API の複数の部分の変更を登録できます。

フィードバックの登録

登録用のコマンドは xCommand HttpFeedback Register です。このコマンドの構文とその引数についてはこの項で説明します。

HttpFeedback Register 構文:

```
xCommand HttpFeedback Register
  FeedbackSlot: <1..4>
  ServerUrl(r): <S: 1, 2048>
  Format: <XML/JSON>
  Expression: <S: 1, 255>
  Expression: <S: 1, 255>
```

HttpFeedback Register の引数:

FeedbackSlot: デバイスでは、HTTP フィードバックを要求する最大 4 スロットのサーバを登録できます。それらの 1 つに登録を設定します。

注: Cisco TelePresence Management Suite (TMS) は表現式の登録に FeedbackSlot 3 を使用するので、TMS を使用している環境では FeedbackSlot 3 の使用を避けてください。

ServerUrl: デバイスで HTTP フィードバック メッセージの送信先となる HTTP サーバの URL。

Format: HTTP サーバからのフィードバックのフォーマットを XML または JSON に設定します。

表現 1 ~ 15: ステータス、コンフィギュレーション、またはイベント XML ドキュメントのどの部分をモニタするかを XPath 式で指定します。1 ~ 15 の XPath 式を指定できます。

フィードバックを受信する表現を登録します。式の形式については、「[フィードバックメカニズム \(36 ページ\)](#)」を参照してください。

例: コンフィギュレーションの変更、イベントの切断、コール ステータスの変更に関するフィードバックを登録します。

```
POST /putxml HTTP/1.1
Content-Type:text/xml

<Command>
  <HttpFeedback>
    <Register command="True">
      <FeedbackSlot>1</FeedbackSlot>
      <ServerUrl>http://127.0.0.1/
        myhttppostscripturl</ServerUrl>
      <Format>XML</Format>
      <Expression item="1">/Configuration</
        Expression>
      <Expression item="2">/Event/
        CallDisconnect</Expression>
      <Expression item="3">/Status/Call</
        Expression>
    </Register>
  </HttpFeedback>
</Command>
```

フィードバック出力

デバイスが登録済み HTTP サーバに変更について通知する場合、本文にはポーリング時と同じ XML が含まれています。しかし、1 つのわずかな違いがあります。ルート ノードには、通知の発信元となるデバイスを指定する子を含む識別ノードが含まれます。これは、1 つの HTTP サーバ URI を使って複数のデバイスを処理できることを意味します。

例: 音量の変更

```
<Configuration xmlns="http://www.company.com/
XML/CUIL/2.0">
  <Identification>
    <SystemName>My Device Name</SystemName>
    <MACAddress>00:00:de:ad:be:ef</MACAddress>
    <IPAddress>192.168.1.100</IPAddress>
    <ProductType>Cisco Codec</ProductType>
    <ProductID>Cisco Codec Pro</ProductID>
    <SWVersion>RoomOS 10.3.1.3 d425380c40d</
  SWVersion>
    <HWBoard>101401-5 [08]</HWBoard>
    <SerialNumber>PH0000000</SerialNumber>
  </Identification>
  <Audio item="1">
    <Volume item="1">60</Volume>
  </Audio>
</Configuration>
```

端末モードから XML への変換

コマンドの変換

XML コマンドは端末コマンドと同じ構造を保持しますが、階層の説明に親子関係を使用します。この構造は以下の例で確認できます。

例 1: コールを設定する

Terminal

```
xCommand Dial Number: "12345" Protocol: H323
```

XML

```
<Command>
  <Dial command="True">
    <Number>12345</Number>
    <Protocol>H323</Protocol>
  </Dial>
</Command>
```

例 2: ボリューム レベルの割り当て

Terminal

```
xCommand Audio Volume Set Level:50
```

XML

```
<Command>
  <Audio>
    <Volume>
      <Set command="True">
        <Level>50</Level>
      </Set>
    </Volume>
  </Audio>
</Command>
```

コンフィギュレーションの変換

xConfiguration から XML への変換は、コマンドと同様ですが、アレイにインデックスを指定するための特別な属性 item="NN" が追加されます。

例: ビデオ入力コネクタ 2 への入力ソース タイプの設定

Terminal

```
xConfiguration Video Input Connector 2
InputSourceType: camera
```

XML

```
<Configuration>
  <Video>
    <Input>
      <Connector item="2">
        <InputSourceType>camera</InputSourceType>
      </Connector>
    </Input>
  </Video>
</Configuration>
```

推奨事項と禁止事項

デバイスの API をプログラミングする際のベストプラクティスについて説明します。

リモコン コントロール エミュレーションを回避する

xCommand UserInterface OSD Key Click および xCommand UserInterface OSD Key Press コマンドは使用しないことを強くお勧めします。これらのコマンドを API で使用することは可能ですが、ダイレクト コマンドを使用することをお勧めします。ダイレクト コマンドを使用すると、統合環境で下位互換性を確保できるからです。オンスクリーン ディスプレイではなく、デバイスに対してプログラムしてください。

完全なコマンドを使用する

プログラミングする際は、xconf vid ではなく、xConfiguration Video などの完全なコマンドを必ず使用しなければなりません。ショートカットは、コマンド ライン上の API の検索に使用できますが、プログラミングには使用できません。これは、追加のコマンドが API に追加されると、あいまいなコードが生じる可能性があるためです。

不要なフィードバックに登録しないでください

あまりに多くのフィードバックを登録すると、制御アプリケーションで輻輳が発生する可能性があります。フィードバックの量は現在のバージョンでは問題ありませんが、フィードバックの量が今後のリリースで増加する可能性があります。

第 3 章

xConfiguration コマンド

xConfiguration コマンドの説明

この章では、xConfiguration コマンドの完全なリストを確認できます。

アプリ構成.....	52	xConfiguration Audio Input Microphone [n] VideoAssociation MuteOnInactiveVideo.....	64
xConfiguration Apps WallpaperBundles HalfwakelImage.....	52	xConfiguration Audio Input Microphone [n] VideoAssociation VideoInputSource.....	65
音声の設定.....	53	xConfiguration Audio Input MicrophoneMode.....	65
xConfiguration Audio DefaultVolume.....	53	xConfiguration Audio Input USBC [n] Level.....	65
xConfiguration Audio Input ARC [n] Mode.....	53	xConfiguration Audio Input USBC [n] Gain.....	66
xConfiguration Audio Input Ethernet [n] Channel [1..8] Level.....	54	xConfiguration Audio Input USBC [n] Mode.....	66
xConfiguration Audio Input Ethernet [n] Channel [1..8] Gain.....	54	xConfiguration Audio Input USBC [n] VideoAssociation MuteOnInactiveVideo.....	66
xConfiguration Audio Input Ethernet [n] Channel [1..8] Mode.....	55	xConfiguration Audio Input USBInterface [n] EchoControl Mode.....	67
xConfiguration Audio Input Ethernet [n] Channel [1..8] Pan.....	55	xConfiguration Audio Input USBInterface [n] Level.....	67
xConfiguration Audio Input Ethernet [n] EchoControl Mode.....	56	xConfiguration Audio Input USBInterface [n] Gain.....	67
xConfiguration Audio Input Ethernet [n] EchoControl NoiseReduction.....	56	xConfiguration Audio Input USBInterface [n] Mode.....	68
xConfiguration Audio Input Ethernet [n] Equalizer ID.....	57	xConfiguration Audio Input USBMicrophone [n] EchoControl Mode.....	68
xConfiguration Audio Input Ethernet [n] Equalizer Mode.....	57	xConfiguration Audio Input USBMicrophone [n] Level.....	69
xConfiguration Audio Input Ethernet [n] Mode.....	57	xConfiguration Audio Input WebView [n] Mode.....	69
xConfiguration Audio Input HDMI [n] Level.....	58	xConfiguration Audio Microphones AGC.....	69
xConfiguration Audio Input HDMI [n] Gain.....	58	xConfiguration Audio Microphones HdmiPassthrough MuteButton.....	69
xConfiguration Audio Input HDMI [n] Mode.....	58	xConfiguration Audio Microphones NoiseRemoval Mode.....	70
xConfiguration Audio Input HDMI [n] VideoAssociation MuteOnInactiveVideo.....	59	xConfiguration Audio Microphones Mute Enabled.....	70
xConfiguration Audio Input Microphone [n] Channel.....	59	xConfiguration Audio Microphones PhantomPower.....	70
xConfiguration Audio Input Microphone [n] EchoControl Mode.....	60	xConfiguration Audio Microphones UsbPassthrough MuteButton.....	71
xConfiguration Audio Input Microphone [n] EchoControl Dereverberation.....	60	xConfiguration Audio Output ARC [n] Delay DelayMs.....	71
xConfiguration Audio Input Microphone [n] EchoControl NoiseReduction.....	61	xConfiguration Audio Output ARC [n] Delay Mode.....	72
xConfiguration Audio Input Microphone [n] Equalizer ID.....	61	xConfiguration Audio Output ARC [n] Mode.....	72
xConfiguration Audio Input Microphone [n] Equalizer Mode.....	61	xConfiguration Audio Output ConnectorSetup.....	73
xConfiguration Audio Input Microphone [n] Level.....	62	xConfiguration Audio Output Ethernet [n] Mode.....	74
xConfiguration Audio Input Microphone [n] Gain.....	62	xConfiguration Audio Output HDMI [n] Delay DelayMs.....	74
xConfiguration Audio Input Microphone [n] Mode.....	63	xConfiguration Audio Output HDMI [n] Delay Mode.....	75
xConfiguration Audio Input Microphone [n] MuteOverride.....	63	xConfiguration Audio Output HDMI [n] Level.....	75
xConfiguration Audio Input Microphone [n] PhantomPower.....	64	xConfiguration Audio Output HDMI [n] Gain.....	75
		xConfiguration Audio Output HDMI [n] Mode.....	76

xConfiguration Audio Output InternalSpeaker Mode	76	Cameras の設定	86
xConfiguration Audio Output Line [n] Channel	77	xConfiguration Cameras Background Enabled	86
xConfiguration Audio Output Line [n] Delay DelayMs	77	xConfiguration Cameras Background UserImagesAllowed	86
xConfiguration Audio Output Line [n] Delay Mode	78	xConfiguration Cameras Camera [n] AssignedSerialNumber	86
xConfiguration Audio Output Line [n] Equalizer ID	78	xConfiguration Cameras Camera [n] Backlight DefaultMode	87
xConfiguration Audio Output Line [n] Equalizer Mode	78	xConfiguration Cameras Camera [n] Brightness Algorithm	87
xConfiguration Audio Output Line [n] Level	78	xConfiguration Cameras Camera [n] Brightness DefaultLevel	88
xConfiguration Audio Output Line [n] Gain	79	xConfiguration Cameras Camera [n] Brightness Mode	88
xConfiguration Audio Output Line [n] Mode	79	xConfiguration Cameras Camera [n] IrCutFilter Mode	89
xConfiguration Audio Output Line [n] OutputType	79	xConfiguration Cameras Camera [n] IrCutFilter Threshold	89
xConfiguration Audio Output USBInterface [n] Mode	80	xConfiguration Cameras Camera ExposureCompensation Level	89
xConfiguration Audio Panning HeadsetAnalog BinauralProcessing	80	xConfiguration Cameras Camera [n] Flip	90
xConfiguration Audio Panning HeadsetAnalog Mode	80	xConfiguration Cameras Camera [n] Focus Mode	90
xConfiguration Audio Panning HeadsetUSB BinauralProcessing	80	xConfiguration Cameras Camera [n] Gamma Level	91
xConfiguration Audio Panning HeadsetUSB Mode	81	xConfiguration Cameras Camera [n] Gamma Mode	91
xConfiguration Audio Placement	81	xConfiguration Cameras Camera [n] Mirror	92
xConfiguration Audio SoundsAndAlerts RingTone	81	xConfiguration Cameras Camera [n] Whitebalance Mode	92
xConfiguration Audio SoundsAndAlerts RingVolume	81	xConfiguration Cameras Camera [n] Whitebalance Level	93
xConfiguration Audio Ultrasound MaxVolume	82	xConfiguration Cameras Camera Framerate	93
xConfiguration Audio USB Mode	82	xConfiguration Cameras PowerLine Frequency	93
Bluetooth 構成	83	xConfiguration Cameras PresenterTrack CameraPosition Pan	94
xConfiguration Bluetooth Allowed	83	xConfiguration Cameras PresenterTrack CameraPosition Tilt	94
xConfiguration Bluetooth Enabled	83	xConfiguration Cameras PresenterTrack CameraPosition Zoom	94
予約構成	83	xConfiguration Cameras PresenterTrack Connector	94
xConfiguration Bookings ProtocolPriority	83	xConfiguration Cameras PresenterTrack Enabled	95
BYOD の設定	84	xConfiguration Cameras PresenterTrack PresenterDetectedStatus	95
xConfiguration BYOD HidForwarding Enabled	84	xConfiguration Cameras PresenterTrack TriggerZone	95
xConfiguration BYOD QRCodePairing	84	xConfiguration Cameras SpeakerTrack DefaultBehavior	96
xConfiguration BYOD TouchForwarding Enabled	84	xConfiguration Cameras SpeakerTrack Mode	96
xConfiguration BYOD USBCXapi	85	xConfiguration Cameras SpeakerTrack Closeup	97
CallHistory の設定	85	xConfiguration Cameras SpeakerTrack TrackingMode	97
xConfiguration CallHistory Mode	85	xConfiguration Cameras SpeakerTrack ConnectorDetection Mode	97
		xConfiguration Cameras SpeakerTrack ConnectorDetection CameraLeft	98
		xConfiguration Cameras SpeakerTrack ConnectorDetection CameraRight	98
		xConfiguration Cameras SpeakerTrack Whiteboard Mode	98

Conference の設定	99	H.323 の設定	110
xConfiguration Conference AutoAnswer Mode.....	99	xConfiguration H323 Authentication Mode.....	110
xConfiguration Conference AutoAnswer Mute.....	99	xConfiguration H323 Authentication LoginName.....	110
xConfiguration Conference AutoAnswer Delay.....	99	xConfiguration H323 Authentication Password.....	111
xConfiguration Conference CapsetFilter.....	99	xConfiguration H323 CallSetup Mode.....	111
xConfiguration Conference DefaultCall Protocol.....	100	xConfiguration H323 Encryption AES256Support.....	111
xConfiguration Conference DefaultCall Rate.....	100	xConfiguration H323 Encryption KeySize.....	111
xConfiguration Conference DefaultCall Webex Rate.....	101	xConfiguration H323 Gatekeeper Address.....	112
xConfiguration Conference DoNotDisturb DefaultTimeout.....	101	xConfiguration H323 H323Alias E164.....	112
xConfiguration Conference EmbeddedApp NotificationsOnly.....	101	xConfiguration H323 H323Alias ID.....	112
xConfiguration Conference Encryption Mode.....	102	xConfiguration H323 NAT Mode.....	113
xConfiguration Conference EndToEndEncryption Identity PreferredDomain.....	102	xConfiguration H323 NAT Address.....	113
xConfiguration Conference FarEndControl Mode.....	103	HttpClient の設定	114
xConfiguration Conference FarEndControl SignalCapability.....	103	xConfiguration HttpClient Mode.....	114
xConfiguration Conference FarendMessage Mode.....	103	xConfiguration HttpClient AllowHTTP.....	114
xConfiguration Conference JoinLeaveNotifications.....	103	xConfiguration HttpClient AllowInsecureHTTPS.....	114
xConfiguration Conference MaxReceiveCallRate.....	104	xConfiguration HttpClient UseHttpProxy.....	114
xConfiguration Conference MaxTransmitCallRate.....	104	HttpFeedback の設定	115
xConfiguration Conference MaxMultisiteReceiveRate.....	105	xConfiguration HttpFeedback TlsVerify.....	115
xConfiguration Conference MaxMultisiteTransmitRate.....	105	xConfiguration HttpFeedback UseHttpProxy.....	115
xConfiguration Conference MicUnmuteOnDisconnect Mode.....	106	ロギングの設定	116
xConfiguration Conference Multipoint Mode.....	106	xConfiguration Logging CloudUpload Mode.....	116
xConfiguration Conference MultiStream Mode.....	107	xConfiguration Logging External Mode.....	116
xConfiguration Conference PeopleFocus OnCall Mode.....	107	xConfiguration Logging External Protocol.....	116
FacilityService の設定	107	xConfiguration Logging External Server Address.....	117
xConfiguration FacilityService Service [n] CallType.....	107	xConfiguration Logging External Server Port.....	117
xConfiguration FacilityService Service [n] Name.....	108	xConfiguration Logging External TlsVerify.....	117
xConfiguration FacilityService Service [n] Number.....	108	xConfiguration Logging Internal Mode.....	117
xConfiguration FacilityService Service [n] Type.....	108	Macros の設定	118
ファイル構成	109	xConfiguration Macros Mode.....	118
xConfiguration Files Services OneDrive TemporaryPersonalSignIn.....	109	xConfiguration Macros AutoStart.....	118
GPIO の設定	109	xConfiguration Macros Diagnostics JavascriptErrors.....	118
xConfiguration GPIO Pin [n] Mode.....	109	xConfiguration Macros UnresponsiveTimeout.....	118

ネットワークの設定	119
xConfiguration Network [n] DNS DNSSEC Mode.....	119
xConfiguration Network [n] DNS Domain Name.....	119
xConfiguration Network [n] DNS Server [m] Address.....	119
xConfiguration Network [n] IEEE8021X Mode.....	119
xConfiguration Network [n] IEEE8021X TlsVerify.....	120
xConfiguration Network [n] IEEE8021X UseClientCertificate.....	120
xConfiguration Network [n] IEEE8021X Identity.....	120
xConfiguration Network [n] IEEE8021X Password.....	121
xConfiguration Network [n] IEEE8021X AnonymousIdentity.....	121
xConfiguration Network [n] IEEE8021X Eap Md5.....	121
xConfiguration Network [n] IEEE8021X Eap Tls.....	121
xConfiguration Network [n] IEEE8021X Eap Peap.....	122
xConfiguration Network [n] IPStack.....	122
xConfiguration Network [n] IPv4 Assignment.....	123
xConfiguration Network [n] IPv4 Address.....	123
xConfiguration Network [n] IPv4 Gateway.....	123
xConfiguration Network [n] IPv4 InterfacelIdentifier.....	123
xConfiguration Network [n] IPv4 SubnetMask.....	124
xConfiguration Network [n] IPv6 Assignment.....	124
xConfiguration Network [n] IPv6 Address.....	125
xConfiguration Network [n] IPv6 Gateway.....	125
xConfiguration Network [n] IPv6 DHCPOptions.....	125
xConfiguration Network [n] IPv6 InterfacelIdentifier.....	126
xConfiguration Network [n] MTU.....	126
xConfiguration Network [n] QoS Mode.....	126
xConfiguration Network [n] QoS Diffserv Audio.....	127
xConfiguration Network [n] QoS Diffserv Video.....	127
xConfiguration Network [n] QoS Diffserv Data.....	128
xConfiguration Network [n] QoS Diffserv Signalling.....	128
xConfiguration Network [n] QoS Diffserv ICMPv6.....	129
xConfiguration Network [n] QoS Diffserv NTP.....	129
xConfiguration Network [n] RemoteAccess Allow.....	130
xConfiguration Network [n] Speed.....	130
xConfiguration Network [n] VLAN Voice Mode.....	131
xConfiguration Network [n] VLAN Voice VlanId.....	131

NetworkServices の設定	131
xConfiguration NetworkServices CDP Mode.....	131
xConfiguration NetworkServices H323 Mode.....	131
xConfiguration NetworkServices HTTP Mode.....	132
xConfiguration NetworkServices HTTP Proxy LoginName.....	132
xConfiguration NetworkServices HTTP Proxy Mode.....	132
xConfiguration NetworkServices HTTP Proxy PACUrl.....	133
xConfiguration NetworkServices HTTP Proxy Password.....	133
xConfiguration NetworkServices HTTP Proxy Url.....	133
xConfiguration NetworkServices HTTPS Server MinimumTLSVersion.....	133
xConfiguration NetworkServices HTTPS StrictTransportSecurity.....	134
xConfiguration NetworkServices HTTPS VerifyClientCertificate.....	134
xConfiguration NetworkServices NTP Mode.....	134
xConfiguration NetworkServices NTP Server [n] Address.....	134
xConfiguration NetworkServices NTP Server [n] Key.....	135
xConfiguration NetworkServices NTP Server [n] KeyId.....	135
xConfiguration NetworkServices NTP Server [n] KeyAlgorithm.....	135
xConfiguration NetworkServices SIP Mode.....	135
xConfiguration NetworkServices SMTP Mode.....	136
xConfiguration NetworkServices SMTP Server.....	136
xConfiguration NetworkServices SMTP Port.....	136
xConfiguration NetworkServices SMTP Username.....	136
xConfiguration NetworkServices SMTP Password.....	137
xConfiguration NetworkServices SMTP From.....	137
xConfiguration NetworkServices SMTP Security.....	137
xConfiguration NetworkServices SNMP CommunityName.....	137
xConfiguration NetworkServices SNMP Mode.....	138
xConfiguration NetworkServices SNMP SystemContact.....	138
xConfiguration NetworkServices SNMP SystemLocation.....	138
xConfiguration NetworkServices SSH Mode.....	138
xConfiguration NetworkServices SSH HostKeyAlgorithm.....	139
xConfiguration NetworkServices UPnP Mode.....	139
xConfiguration NetworkServices Websocket.....	140
xConfiguration NetworkServices WelcomeText.....	140
xConfiguration NetworkServices Wifi Allowed.....	140
xConfiguration NetworkServices Wifi Settings FrequencyBand.....	140

Peripherals の設定	141
xConfiguration Peripherals InputDevice Mode	141
xConfiguration Peripherals Pairing CiscoTouchPanels HttpProxy	141
xConfiguration Peripherals Pairing CiscoTouchPanels RemotePairing	141
xConfiguration Peripherals Profile Cameras	142
xConfiguration Peripherals Profile ControlSystems	142
xConfiguration Peripherals Profile TouchPanels	143
Phonebook の設定	143
xConfiguration Phonebook Server [n] ID	143
xConfiguration Phonebook Server [n] Pagination	144
xConfiguration Phonebook Server [n] TlsVerify	144
xConfiguration Phonebook Server [n] Type	145
xConfiguration Phonebook Server [n] URL	145
Provisioning の設定	145
xConfiguration Provisioning Connectivity	145
xConfiguration Provisioning CUCM CallManagementRecords CallDiagnostics	145
xConfiguration Provisioning ExternalManager Address	146
xConfiguration Provisioning ExternalManager AlternateAddress	146
xConfiguration Provisioning ExternalManager Protocol	146
xConfiguration Provisioning ExternalManager Path	146
xConfiguration Provisioning ExternalManager Domain	147
xConfiguration Provisioning Mode	147
xConfiguration Provisioning LoginName	148
xConfiguration Provisioning Password	148
xConfiguration Provisioning TlsVerify	148
xConfiguration Provisioning WebexEdge	149
Proximity の設定	149
xConfiguration Proximity AlternatePort Enabled	149
xConfiguration Proximity Mode	150
xConfiguration Proximity Services CallControl	150
xConfiguration Proximity Services ContentShare FromClients	150
xConfiguration Proximity Services ContentShare ToClients	151

RoomAnalytics の設定	151
xConfiguration RoomAnalytics AmbientNoiseEstimation Interval	151
xConfiguration RoomAnalytics AmbientNoiseEstimation Mode	151
xConfiguration RoomAnalytics PeopleCountOutOfCall	152
xConfiguration RoomAnalytics PeoplePresenceDetector	152
xConfiguration RoomAnalytics ReverberationTime Interval	152
xConfiguration RoomAnalytics ReverberationTime Mode	153
xConfiguration RoomAnalytics T3AlarmDetection Mode	153
xConfiguration RoomAnalytics T3AlarmDetection Timeout	153
RoomCleanup 構成	154
xConfiguration RoomCleanup AutoRun ContentType TemporaryAccounts	154
xConfiguration RoomCleanup AutoRun ContentType WebData	154
xConfiguration RoomCleanup AutoRun ContentType Whiteboards	154
xConfiguration RoomCleanup AutoRun HourOfDay	154
RoomScheduler 構成	155
xConfiguration RoomScheduler Enabled	155
セキュリティ設定	155
xConfiguration Security Audit Logging Mode	155
xConfiguration Security Audit OnError Action	156
xConfiguration Security Audit Server Address	156
xConfiguration Security Audit Server Port	156
xConfiguration Security Audit Server PortAssignment	156
xConfiguration Security Fips Mode	157
xConfiguration Security Session FailedLoginsLockoutTime	157
xConfiguration Security Session InactivityTimeout	157
xConfiguration Security Session MaxFailedLogins	157
xConfiguration Security Session MaxSessionsPerUser	158
xConfiguration Security Session MaxTotalSessions	158
xConfiguration Security Session ShowLastLogon	158
xConfiguration Security Xapi WebSocket ApiKey Allowed	158

SerialPort の設定	159
xConfiguration SerialPort Mode	159
xConfiguration SerialPort BaudRate.....	159
xConfiguration SerialPort LoginRequired.....	159
SIP の設定	160
xConfiguration SIP ANAT	160
xConfiguration SIP Authentication UserName	160
xConfiguration SIP Authentication Password.....	160
xConfiguration SIP DefaultTransport	160
xConfiguration SIP DisplayName	161
xConfiguration SIP Ice DefaultCandidate	161
xConfiguration SIP Ice Mode.....	161
xConfiguration SIP ListenPort	162
xConfiguration SIP MinimumTLSVersion.....	162
xConfiguration SIP Proxy [n] Address	162
xConfiguration SIP TlsVerify	163
xConfiguration SIP Turn Server.....	163
xConfiguration SIP Turn UserName	163
xConfiguration SIP Turn Password.....	163
xConfiguration SIP URI.....	164
Standby の設定	164
xConfiguration Standby BootAction.....	164
xConfiguration Standby Control.....	164
xConfiguration Standby Delay.....	165
xConfiguration Standby Level Networked Delay.....	165
xConfiguration Standby Level Networked Mode	165
xConfiguration Standby Halfwake Mode.....	166
xConfiguration Standby 看板 Audio	166
xConfiguration Standby 看板 InteractionMode	166
xConfiguration スタンバイの看板モード	166
xConfiguration Standby 看板 RefreshInterval.....	167
xConfiguration Standby の看板 Url.....	167
xConfiguration Standby StandbyAction	167
xConfiguration Standby WakeupAction.....	167
xConfiguration Standby WakeupOnMotionDetection	168

SystemUnit の設定	168
xConfiguration SystemUnit Name	168
xConfiguration SystemUnit BroadcastName.....	168
xConfiguration SystemUnit CrashReporting Mode.....	169
xConfiguration SystemUnit CrashReporting URL	169
xConfiguration SystemUnit CustomDeviceId.....	169
Time の設定	170
xConfiguration Time DateFormat	170
xConfiguration Time TimeFormat.....	170
xConfiguration Time Zone.....	170
xConfiguration Time OfficeHours Enabled.....	172
xConfiguration Time OfficeHours OutsideOfficeHours Standby AutoWakeup.....	172
xConfiguration Time OfficeHours OutsideOfficeHours Standby Delay	172
xConfiguration Time OfficeHours WorkDay End.....	172
xConfiguration Time OfficeHours WorkDay Start	173
xConfiguration Time OfficeHours WorkWeek Monday.....	173
xConfiguration Time OfficeHours WorkWeek Tuesday.....	173
xConfiguration Time OfficeHours WorkWeek Wednesday.....	173
xConfiguration Time OfficeHours WorkWeek Thursday	174
xConfiguration Time OfficeHours WorkWeek Friday	174
xConfiguration Time OfficeHours WorkWeek Saturday.....	174
xConfiguration Time OfficeHours WorkWeek Sunday	174
UserInterface の設定	175
xConfiguration UserInterface Accessibility IncomingCallNotification	175
xConfiguration UserInterface Assistant Mode	175
xConfiguration UserInterface Assistant ProactiveMeetingJoin	175
xConfiguration UserInterface Bookings Visibility TentativeMeetings.....	176
xConfiguration UserInterface Bookings Visibility Title	176
xConfiguration UserInterface Branding AwakeBranding Colors	176
xConfiguration UserInterface ContactInfo Type.....	177
xConfiguration UserInterface CustomMessage.....	177
xConfiguration UserInterface CustomWallpaperOverlay	177
xConfiguration UserInterface Diagnostics Notifications	177
xConfiguration UserInterface Features Call End.....	178
xConfiguration UserInterface Features Call HdmiPassthrough	178
xConfiguration UserInterface Features Call JoinGoogleMeet	178

xConfiguration UserInterface Features Call JoinZoom	178
xConfiguration UserInterface Features Call JoinWebex	179
xConfiguration UserInterface Features Call Keypad	179
xConfiguration UserInterface Features Call LayoutControls	179
xConfiguration UserInterface Features Call MidCallControls	179
xConfiguration UserInterface Features Call MusicMode	180
xConfiguration UserInterface Features Call ParticipantList	180
xConfiguration UserInterface Features Call SelfviewControls	180
xConfiguration UserInterface Features Call Start	180
xConfiguration UserInterface Features Call VideoMute.....	181
xConfiguration UserInterface Features Call Webcam.....	181
xConfiguration UserInterface Features Files Start.....	181
xConfiguration UserInterface Features HideAll.....	181
xConfiguration UserInterface Features Share Start.....	182
xConfiguration UserInterface Features ホワイトボードの開始	182
xConfiguration UserInterface Help Tips	182
xConfiguration UserInterface HomeScreen Dashboard	182
xConfiguration UserInterface HomeScreen Peripherals WebApp URL	183
xConfiguration UserInterface KeyTones Mode.....	183
xConfiguration UserInterface Kiosk Mode	183
xConfiguration UserInterface Kiosk URL.....	183
xConfiguration UserInterface Language	184
xConfiguration UserInterface LedControl Mode	184
xConfiguration UserInterface MuteWarning.....	184
xConfiguration UserInterface NameAndSiteLabels Mode	184
xConfiguration UserInterface OSD EncryptionIndicator.....	185
xConfiguration UserInterface OSD HalfwakeMessage	185
xConfiguration UserInterface OSD Mode	185
xConfiguration UserInterface OSD Output.....	186
xConfiguration UserInterface Phonebook DefaultSearchFilter	186
xConfiguration UserInterface Phonebook Mode.....	186
xConfiguration UserInterface Proximity Notifications	187
xConfiguration UserInterface RoomScheduler AmbientTemperature Show	187
xConfiguration UserInterface RoomScheduler PeopleCount Current	187
xConfiguration UserInterface RoomScheduler StatusWhenInUse	187
xConfiguration UserInterface Security Mode.....	188
xConfiguration UserInterface SettingsMenu Mode.....	188

xConfiguration UserInterface SettingsMenu Visibility.....	188
xConfiguration UserInterface SoundEffects Mode	188
xConfiguration UserInterface Theme Name	189
xConfiguration UserInterface UsbPromotion	189
xConfiguration UserInterface WebcamOnlyMode	189
xConfiguration UserInterface Whiteboard ActivityIndicators	189

UserManagement の設定 190

xConfiguration UserManagement LDAP Admin Filter	190
xConfiguration UserManagement LDAP Admin Group	190
xConfiguration UserManagement LDAP Attribute	190
xConfiguration UserManagement LDAP BaseDN	190
xConfiguration UserManagement LDAP Encryption	191
xConfiguration UserManagement LDAP MinimumTLSVersion	191
xConfiguration UserManagement LDAP Mode	191
xConfiguration UserManagement LDAP Server Address	192
xConfiguration UserManagement LDAP Server Port.....	192
xConfiguration UserManagement LDAP VerifyServerCertificate	192
xConfiguration UserManagement PasswordPolicy Complexity MinimumDigits.....	192
xConfiguration UserManagement PasswordPolicy Complexity MinimumLength.....	193
xConfiguration UserManagement PasswordPolicy Complexity MinimumLowercase	193
xConfiguration UserManagement PasswordPolicy Complexity MinimumSpecial	194
xConfiguration UserManagement PasswordPolicy Complexity MinimumUppercase	194
xConfiguration UserManagement PasswordPolicy MaxLifetime	194
xConfiguration UserManagement PasswordPolicy ReuseLimit	195

Video の設定 195

xConfiguration Video DefaultLayoutFamily Local.....	195
xConfiguration Video DefaultLayoutFamily LocalContent.....	196
xConfiguration Video DefaultMainSource	196
xConfiguration Video Input AirPlay Beacon	197
xConfiguration Video Input AirPlay DiscoveryInstructions NetworkName.....	197
xConfiguration Video Input AirPlay DiscoveryInstructions ShowNetworkInfo	197
xConfiguration Video Input AirPlay Mode	197
xConfiguration Video Input AirPlay Password.....	198
xConfiguration Video Input AirPlay SecurityMode	198
xConfiguration Video Input Connector [n] CameraControl Camerald.....	198
xConfiguration Video Input Connector [n] CameraControl Mode	199

xConfiguration Video Input Connector [n] CEC Mode.....	199
xConfiguration Video Input Connector [n] HDCP Mode.....	200
xConfiguration Video Input Connector [n] InputSourceType.....	200
xConfiguration Video Input Connector [n] Name.....	201
xConfiguration Video Input Connector [n] PreferredResolution.....	201
xConfiguration Video Input Connector [n] PresentationSelection.....	202
xConfiguration Video Input Connector [n] Quality.....	203
xConfiguration Video Input Connector [n] RGBQuantizationRange.....	204
xConfiguration Video Input Connector [n] Visibility.....	204
xConfiguration Video Input Miracast Mode.....	205
xConfiguration Video Input Miracast Pin Length.....	205
xConfiguration Video Monitors.....	206
xConfiguration Video Output Connector [n] BrightnessMode.....	206
xConfiguration Video Output Connector [n] CEC Mode.....	207
xConfiguration Video Output Connector [n] HDCPPolicy.....	207
xConfiguration Video Output Connector [n] Location HorizontalOffset.....	208
xConfiguration Video Output Connector [n] Location VerticalOffset.....	209
xConfiguration Video Output Connector [n] MonitorRole.....	209
xConfiguration Video Output Connector [n] Resolution.....	210
xConfiguration Video Output Connector [n] RGBQuantizationRange.....	211
xConfiguration Video Output HDMI Passthrough Allowed.....	211
xConfiguration Video Output HDMI Passthrough OutputConnector.....	212
xConfiguration Video Output HDMI Passthrough AutoDisconnect Enabled.....	212
xConfiguration Video Output HDMI Passthrough AutoDisconnect Delay.....	212
xConfiguration Video Output Webcam USBMode.....	213
xConfiguration Video Presentation DefaultSource.....	213
xConfiguration Video Presentation Priority.....	213
xConfiguration Video Selfview Default FullscreenMode.....	214
xConfiguration Video Selfview Default Mode.....	214
xConfiguration Video Selfview Default OnMonitorRole.....	215
xConfiguration Video Selfview Default PIPPosition.....	215
xConfiguration Video Selfview OnCall Mode.....	216
xConfiguration Video Selfview OnCall Duration.....	216
VoiceControl configuration.....	216
xConfiguration VoiceControl Wakeword Mode.....	216

WebEngine の設定.....	217
xConfiguration WebEngine Features LocalWebAppManagement.....	217
xConfiguration WebEngine Features WebGL.....	217
xConfiguration WebEngine Features SipUrlHandler.....	217
xConfiguration WebEngine Features Xapi Peripherals AllowedHosts Hosts.....	218
xConfiguration WebEngine MinimumTLSVersion.....	218
xConfiguration WebEngine Mode.....	218
xConfiguration WebEngine RemoteDebugging.....	218
xConfiguration WebEngine UseHttpProxy.....	219
Webex の構成.....	219
xConfiguration Webex CloudProximity GuestShare.....	219
xConfiguration Webex CloudProximity Mode.....	219
xConfiguration Webex CloudUpgrades Mode.....	220
xConfiguration Webex Hotdesking DefaultBookingEndTime.....	220
xConfiguration Webex Meetings JoinProtocol.....	221
WebRTC 構成.....	221
xConfiguration WebRTC Provider MicrosoftTeams CompatibilityMode.....	221
Zoom 構成.....	222
xConfiguration Zoom DefaultDomain.....	222
xConfiguration Zoom DialStringOptions.....	222

ソフトウェアバージョン: RoomOS 11.1.2

対象製品:

- ・ 取締役会
- ・ BoardPro
- ・ CodecEQ
- ・ CodecPlus
- ・ CodecPro
- ・ DeskPro
- ・ DeskMini
- ・ Desk
- ・ Room55
- ・ Room70/Room55D
- ・ Room70G2
- ・ RoomBar
- ・ RoomKit
- ・ RoomKitMini
- ・ RoomPanorama/Room70Panorama

アプリ構成

xConfiguration Apps WallpaperBundles HalfwakeImage

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

UserInterface Theme Name が Night に設定されている場合など、一部のシナリオでは、ハーフウェイクモードで色付きの背景が表示されます。この設定を Off にすると、常に黒い背景を使用することができます。

使用方法:

xConfiguration Apps WallpaperBundles HalfwakeImage: HalfwakeImage

説明:

HalfwakeImage:

Auto/Off

Auto:一部のシナリオでは、背景がハーフウェイクモードで色付けされます。

Off:ハーフウェイクモードでは、背景が黒になります。

デフォルト値:

Auto

音声の設定

xConfiguration Audio DefaultVolume

適用対象: [すべての製品](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

スピーカーのデフォルト音量を定義します。Desk Series を除くすべてのデバイスでは、デバイスの電源を入れた際または再起動時に、音量がこのレベルに設定されます。Desk デバイスは、再起動後も、ユーザーが最後に設定したオーディオレベルを記憶します。

ユーザーインターフェイスのコントロールまたは Audio Volume コマンドを使用して、会議中と会議外の両方の音量を変更できます。Audio Volume SetToDefault コマンドは、音量をデフォルト値にリセットします。

使用方法:

xConfiguration Audio DefaultVolume: DefaultVolume

説明:

DefaultVolume:

整数 (0 ~ 100)

範囲: 1 ~ 100 の値を選択します。これは、-34.5 dB ~ 15 dB の範囲内の 0.5 dB 単位に相当します。0 に設定すると、音声がオフになります。

デフォルト値:

50 [[RoomKit](#) [RoomKitMini](#) [RoomBar](#) [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room55](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [DeskPro](#) [DeskMini](#) [Desk](#)]

70 [[Board](#) [BoardPro](#)]

xConfiguration Audio Input ARC [n] Mode

適用対象: [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN, INTEGRATOR

各 HDMI 出力には、関連付けられた音声リターンチャンネル (ARC) があります。この ARC を使用して、HDMI 出力に接続されている画面またはテレビからビデオ会議デバイスに音声を送信することができます。音声転送を許可するかどうかによって、各 HDMI 出力コネクタ (n) を個別に決定することができます。

USAGE:

xConfiguration Audio Input ARC [n] Mode: Mode

値は次のとおりです。

n: ARC 入力を識別する一意の ID。

範囲: 1..2 [[CodecPlus](#)]

範囲: 1 ~ 3 [[CodecPro](#)]

範囲: 3 ~ 3 (Room 70 Dual G2) 、 2 ~ 3 (Room 70 Single G2) [[Room70G2](#)]

範囲: 3 ~ 3 [[RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

Mode:

Off/On

オフ: HDMI 出力 n の ARC チャンネルを無効にします (音声はビデオ会議デバイスに送信されません)。

オン: HDMI 出力 n の ARC チャンネルを有効にします (音声はビデオ会議デバイスに送信されます)。

デフォルト値:

On

xConfiguration Audio Input Ethernet [n] Channel [1..8] Level

適用対象: [CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

マイクやオーディオインターフェイスなどのイーサネット入力の指定されたチャンネルのゲインを設定します。入力ごとに最大 8 チャンネルを許可し、ゲインはチャンネルごとに個別に設定します。

接続しているオーディオ送信元の出力レベルに合わせて、ゲインを調整する必要があります。ゲインは、1 db ずつ調整できます。ゲインの設定が高すぎる場合、オーディオ信号がクリップされます。ゲインの設定が低すぎる場合、オーディオの信号対雑音比が低下します。ただし、通常はクリッピングよりも望ましい結果が得られます。通常、未処理の音声信号は信号レベルが大幅に変動するため、十分な信号のヘッドルームを取れるようにすることが非常に重要だということに注意してください。

使用方法:

```
xConfiguration Audio Input Ethernet [n] Channel [1..8] Level: Level
```

説明:

n: 論理的なイーサネット入力を特定する固有の ID

範囲: 1..4 [[CodecPro](#) [Room70G2](#)]

範囲: 1..6 [[RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

Level:

Integer (0..70)

範囲: デシベル (dB) 単位でゲインを選択します。

デフォルト値:

45

xConfiguration Audio Input Ethernet [n] Channel [1..8] Gain

適用先: [CodecEQ](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

マイクやオーディオインターフェイスなどのイーサネット入力の指定されたチャンネルのゲインを設定します。入力ごとに最大 8 チャンネルを許可し、ゲインはチャンネルごとに個別に設定します。

接続しているオーディオ送信元の出力レベルに合わせて、ゲインを調整する必要があります。ゲインは、1 db ずつ調整できます。ゲインの設定が高すぎる場合、オーディオ信号がクリップされます。ゲインの設定が低すぎる場合、オーディオの信号対雑音比が低下します。ただし、通常はクリッピングよりも望ましい結果が得られます。通常、未処理の音声信号は信号レベルが大幅に変動するため、十分な信号のヘッドルームを取れるようにすることが非常に重要だということに注意してください。

使用方法:

```
xConfiguration Audio Input Ethernet [n] Channel [1..8] Gain: Gain
```

説明:

n: 論理的なイーサネット入力を特定する固有の ID

範囲: 1 ~ 8

ゲイン:

Integer (0..70)

範囲: デシベル (dB) 単位でゲインを選択します。

デフォルト値:

45

xConfiguration Audio Input Ethernet [n] Channel [1..8] Mode

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

イーサネット入力の指定されたチャンネルでオーディオを無効または有効にします。入力ごとに最大 8 チャンネルを許可し、モードはチャンネルごとに個別に設定します。

Audio Input Ethernet [n] モードを Off に設定すると、個々のチャンネルモード設定の効果がオーバーライドされます。

使用方法:

xConfiguration Audio Input Ethernet [n] Channel [1..8] Mode: Mode

説明:

n: 論理的なイーサネット入力を特定する固有の ID

範囲: 1..4 [[CodecPro](#) [Room70G2](#)]

範囲: 1..6 [[RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

範囲: 1..8 [[CodecEQ](#)]

Mode:

オフ/オン

Off: このチャンネルからのオーディオを無効にします。

On: このチャンネルからのオーディオを有効にします。

デフォルト値:

オン

xConfiguration Audio Input Ethernet [n] Channel [1..8] Pan

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

この入力チャンネルがミックスされるミックスチャンネル (左または右) を設定します。シングルチャンネルミックスの場合、この設定は無効になります。

使用方法:

xConfiguration Audio Input Ethernet [n] Channel [1..8] Pan: Pan

説明:

n: 論理的なイーサネット入力を特定する固有の ID

範囲: 1..4 [[CodecPro](#) [Room70G2](#)]

範囲: 1..6 [[RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

範囲: 1..8 [[CodecEQ](#)]

パン:

左/右/モノ

左: 左のミックスチャンネルにパンします。

右: 右のミックスチャンネルにパンします。

モノ: 左右両方のチャンネルに均等にパンします。

デフォルト値:

モノ

xConfiguration Audio Input Ethernet [n] EchoControl Mode

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

エコー キャンセラは、音声環境で検出された変更があると、室内の音声特性に合わせて継続的に自己調整を行います。音声条件に大幅な変更を加えた場合は、エコー キャンセラの再調整に 1 ~ 2 秒かかることがあります。

使用方法:

xConfiguration Audio Input Ethernet [n] EchoControl Mode: [Mode](#)

説明:

n: 論理的なイーサネット入力特定する固有の ID

範囲: 1..4 [[CodecPro](#) [Room70G2](#)]

範囲: 1..6 [[RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

範囲: 1..8 [[CodecEQ](#)]

[Mode](#):

Off/On

Off: エコー コントロールをオフにします。エコーキャンセラが外付け機器によって実行される場合に推奨します。

On: エコー コントロールをオンにします。一般的には相手先で自らの音声がかき消えないようにするために、オンに設定することが推奨されます。選択すると、エコー キャンセレーションは常にアクティブになります。

デフォルト値:

On

xConfiguration Audio Input Ethernet [n] EchoControl NoiseReduction

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

ビデオ会議デバイスにはノイズ リダクションが組み込まれており、これにより、定常的なバックグラウンド ノイズ (空調システム、冷却ファンなどのノイズ) が軽減されます。さらに、ハイ パス フィルタ (ハム フィルタ) により、非常に低い周波数のノイズが軽減されます。ノイズリダクションを使用するには、Audio Input Ethernet [n] EchoControl Mode を有効にする必要があります。

使用方法:

xConfiguration Audio Input Ethernet [n] EchoControl NoiseReduction: [NoiseReduction](#)

説明:

n: 論理的なイーサネット入力特定する固有の ID

範囲: 1..4 [[CodecPro](#) [Room70G2](#)]

範囲: 1..6 [[RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

範囲: 1..8 [[CodecEQ](#)]

[NoiseReduction](#):

Off/On

Off: ノイズ リダクションをオフにします。

On: ノイズ リダクションをオンにします。低周波ノイズがある場合、推奨されます。

デフォルト値:

On

xConfiguration Audio Input Ethernet [n] Equalizer ID

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

この入力に適用するイコライザプリセットを選択します。この入力に複数のチャンネルがある場合、処理はそれらすべてに等しく適用されます。

使用方法:

xConfiguration Audio Input Ethernet [n] Equalizer ID: ID

説明:

n: 論理的なイーサネット入力を特定する固有の ID

範囲: 1..4 [[CodecPro](#) [Room70G2](#)]

範囲: 1..6 [[RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

範囲: 1..8 [[CodecEQ](#)]

ID:

整数 (1 ~ 8)

イコライザのプリセット番号。

デフォルト値:

1

xConfiguration Audio Input Ethernet [n] Equalizer Mode

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

この入力の均等化プロセスを有効または無効にします。

使用方法:

xConfiguration Audio Input Ethernet [n] Equalizer Mode: Mode

説明:

n: 論理的なイーサネット入力を特定する固有の ID

範囲: 1..4 [[CodecPro](#) [Room70G2](#)]

範囲: 1..6 [[RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

範囲: 1..8 [[CodecEQ](#)]

Mode:

Off/On

Off: 均等化は処理されません。

On: 均等化が適用されます。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Audio Input Ethernet [n] Mode

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

このイーサネット入力からのオーディオを無効または有効にします。

この入力に複数のチャンネルがある場合は、Audio Input Ethernet [n] Channel [1..8] Mode 設定も参照してください。

使用方法:

xConfiguration Audio Input Ethernet [n] Mode: Mode

説明:

n: 論理的なイーサネット入力を特定する固有の ID

範囲: 1..4 [[CodecPro](#) [Room70G2](#)]

範囲: 1..6 [[RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

範囲: 1..8 [[CodecEQ](#)]

Mode:

オフ/オン

Off: この入力からのすべてのオーディオを無効にします。

On: 現用系チャンネルからのオーディオを有効にします。

デフォルト値:

オン

xConfiguration Audio Input HDMI [n] Level

適用先: [RoomKit](#) [RoomKitMini](#) [RoomBar](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room55](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [DeskPro](#) [Desk](#) [Board](#) [BoardPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

HDMI 入力コネクタのゲインを設定します。ゲインは、1 db ずつ調整できます。

使用方法:

xConfiguration Audio Input HDMI [n] Level: Level

説明:

n: HDMI 入力を識別する一意の ID。

範囲: 2 ~ 3 [[CodecPlus](#) [Room70/Room55D](#)]

範囲: 1 ~ 5 [[CodecPro](#)]

範囲: 1..1 [[RoomKit](#) [RoomKitMini](#) [RoomBar](#) [DeskPro](#) [Desk](#) [Board](#) [BoardPro](#)]

範囲: 1 ~ 2 [[Room55](#)]

範囲: 2 ~ 5 [[Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

Level:

整数 (-24 ~ 0)

範囲: デシベル (dB) 単位でゲインを選択します。

デフォルト値:

-5

xConfiguration Audio Input HDMI [n] Gain

適用先: [CodecEQ](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

HDMI 入力コネクタのゲインを設定します。ゲインは、1 db ずつ調整できます。

使用方法:

xConfiguration Audio Input HDMI [n] Gain: Gain

説明:

n: HDMI 入力を識別する一意の ID。

範囲: 1 ~ 3

ゲイン:

整数 (-24 ~ 0)

範囲: デシベル (dB) 単位でゲインを選択します。

デフォルト値:

-5

xConfiguration Audio Input HDMI [n] Mode

適用先: [RoomKit](#) [RoomKitMini](#) [RoomBar](#) [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room55](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [DeskPro](#) [Desk](#) [Board](#) [BoardPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

HDMI 入力コネクタの音声を有効にするかどうかを定義します。

使用方法:

xConfiguration Audio Input HDMI [n] Mode: Mode

説明:

n: HDMI 入力を識別する一意の ID。

範囲: 2 ~ 3 [[CodecPlus](#) [Room70/Room55D](#)]

範囲: 1..3 [[CodecEQ](#)]

範囲: 1 ~ 5 [[CodecPro](#)]

範囲: 1..1 [[RoomKit](#) [RoomKitMini](#) [RoomBar](#) [DeskPro](#) [Desk](#) [Board](#) [BoardPro](#)]

範囲: 1 ~ 2 [[Room55](#)]

範囲: 2 ~ 5 [[Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

Mode:

Off/On

Off: HDMI 入力 で音声を無効にします。

On: HDMI 入力 で音声を有効にします。

デフォルト値:

On

xConfiguration Audio Input HDMI [n] VideoAssociation MuteOnInactiveVideo

適用先: RoomKit RoomKitMini RoomBar CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro Desk Board BoardPro

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

この設定を使用して、このプレゼンテーション ソースが現在画面上に表示されていない場合、またはプレゼンテーション ソースが接続されている間常に音声を再生する場合音声再生を停止するかどうかを決定します。

使用方法:

xConfiguration Audio Input HDMI [n] VideoAssociation MuteOnInactiveVideo:
MuteOnInactiveVideo

説明:

n: HDMI 入力を識別する一意の ID。

範囲: 2 ~ 3 [CodecPlus Room70/Room55D]

範囲: 1..3 [CodecEQ]

範囲: 1 ~ 5 [CodecPro]

範囲: 1 ~ 2 [Room55]

範囲: 2 ~ 5 [Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]

範囲: 1..1 [RoomKit RoomKitMini RoomBar DeskPro Desk Board BoardPro]

MuteOnInactiveVideo:

Off/On

Off: 音声は、プレゼンテーション ソースが接続されている間、ローカルおよび相手先に対して常に再生されます。HDMI 入力ソースを指定する必要はありません。

On: 音声は、接続されているプレゼンテーション ソースが画面上に表示されている間、ローカルおよび相手先に対して再生されます。

デフォルト値:

On [RoomKit RoomKitMini RoomBar CodecPlus Room55 Room70/Room55D DeskPro Desk Board BoardPro]

HDMI [1]: Off HDMI [2, 3]: On [CodecEQ]

HDMI [1, 2]: Off HDMI [3, 4, 5]: On [CodecPro]

HDMI [2]: Off HDMI [3, 4, 5]: On [Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]

xConfiguration Audio Input Microphone [n] Channel

適用対象: CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

マイク入力の信号がモノラル信号であるか、マルチチャンネル信号の一部であることを定義します。

使用方法:

xConfiguration Audio Input Microphone [n] Channel: Channel

説明:

n: マイク入力を識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 8

Channel:

Left/Mono/Right

左: マイク入力信号はステレオ信号の左チャンネルです。

モノ: マイク入力信号はモノラル信号です。

右: マイク入力信号はステレオ信号の右チャンネルです。

デフォルト値:

モノ

xConfiguration Audio Input Microphone [n] EchoControl Mode

適用先: RoomKit RoomBar CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D
Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

エコー キャンセラは、音声環境で検出された変更があると、室内の音声特性に合わせて継続的に自己調整を行います。音声条件に大幅な変更を加えた場合は、エコー キャンセラの再調整に 1 ～ 2 秒かかることがあります。

使用方法:

xConfiguration Audio Input Microphone [n] EchoControl Mode: Mode

説明:

n: マイク入力を識別する固有 ID。

範囲: 1 ～ 8 [CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]

範囲: 1..3 [CodecEQ CodecPlus Room70/Room55D]

範囲: 2..3 [RoomKit Room55 BoardPro]

範囲: 2..2 [RoomBar]

Mode:

Off/On

Off: エコー コントロールをオフにします。エコーキャンセラが外付け機器によって実行される場合に推奨します。

On: エコー コントロールをオンにします。一般的には相手先で自らの音声聞こえないようにするために、オンに設定することが推奨されます。選択すると、エコー キャンセレーションは常にアクティブになります。

デフォルト値:

On

xConfiguration Audio Input Microphone [n] EchoControl Dereverberation

適用先: RoomKit RoomBar CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D
Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

ビデオ会議デバイスには室内の残響を減らす組み込みの信号処理が備わっています。残響除去を使用するには、Audio Input Microphone [n] EchoControl Mode を有効にする必要があります。

使用方法:

xConfiguration Audio Input Microphone [n] EchoControl Dereverberation:
Dereverberation

説明:

n: マイク入力を識別する固有 ID。

範囲: 1 ～ 8 [CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]

範囲: 1..3 [CodecEQ CodecPlus Room70/Room55D]

範囲: 2 ～ 3 [Room Kit, Room 55]

範囲: 2..2 [RoomBar]

Dereverberation:

Off/On

Off: 残響除去をオフにします。

On: 残響除去をオンにします。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Audio Input Microphone [n] EchoControl NoiseReduction

適用先: RoomKit CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro

必要なユーザー ロール: ADMIN, INTEGRATOR

ビデオ会議デバイスにはノイズ リダクションが組み込まれており、これにより、定常的なバックグラウンド ノイズ (空調システム、冷却ファンなどのノイズ) が軽減されます。さらに、ハイパス フィルタ (ハム フィルタ) により、非常に低い周波数のノイズが軽減されます。ノイズ リダクションを使用するには、Audio Input Microphone [n] EchoControl Mode を有効にする必要があります。

使用方法:

xConfiguration Audio Input Microphone [n] EchoControl NoiseReduction:
NoiseReduction

説明:

n: マイク入力を識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 8 [CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]

範囲: 1..3 [CodecEQ CodecPlus Room70/Room55D]

範囲: 2..3 [RoomKit Room55 BoardPro]

範囲: 2..2 [RoomBar]

NoiseReduction:

Off/On

Off: ノイズ リダクションをオフにします。

On: ノイズ リダクションをオンにします。低周波ノイズがある場合、推奨されます。

デフォルト値:

On

xConfiguration Audio Input Microphone [n] Equalizer ID

適用先: CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザー ロール: ADMIN, INTEGRATOR

このマイクに適用するイコライザプリセットを選択します。

使用方法:

xConfiguration Audio Input Microphone [n] Equalizer ID: ID

説明:

n: マイク入力を識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 8 [CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]

範囲: 1..3 [CodecEQ]

ID:

整数 (1 ~ 8)

イコライザのプリセット番号。

デフォルト値:

1

xConfiguration Audio Input Microphone [n] Equalizer Mode

適用先: CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザー ロール: ADMIN, INTEGRATOR

このマイク入力のイコライザ処理を有効または無効にします。

使用方法:

xConfiguration Audio Input Microphone [n] Equalizer Mode: Mode

説明:

n: マイク入力を識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 8 [CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]

範囲: 1..3 [CodecEQ]

Mode:

Off/On

Off: 均等化は処理されません。

On: 均等化が適用されます。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Audio Input Microphone [n] Level

適用先: [RoomKit](#) [RoomBar](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room55](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [BoardPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

マイクの入力コネクタのゲインを設定します。接続しているオーディオ送信元の出力レベルに合わせて、ゲインを調整する必要があります。ゲインは、1 db ずつ調整できます。

ゲインの設定が高すぎる場合、オーディオ信号がクリップされます。ゲインの設定が低すぎる場合、オーディオの信号対雑音比が低下します。ただし、通常はクリッピングよりも望ましい結果が得られます。

通常、未処理の音声信号は信号レベルが大幅に変動するため、十分な信号のヘッドルームを取れるようにすることが非常に重要だということに注意してください。

0 dB のゲインの最大入力レベルは製品によって異なります: -18 dBu (Room Bar, Room Kit, Codec Plus, Room 55, Room 70, Room 55 Dual)、24 dBu (Codec Pro, Room 70 G2)。

例: マイクの最大出力レベルが -44 dBu で、Codec Pro に接続されている場合、ゲインの設定は 24 dBu - (-44 dBu) = 68 dB にしてください。

使用方法:

xConfiguration Audio Input Microphone [n] Level: Level

説明:

n: マイク入力を識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 8 [[CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

範囲: 1 ~ 3 [[sCodecPlus](#) [Room70/Room55D](#)]

範囲: 2..3 [[RoomKit](#) [Room55](#) [BoardPro](#)]

範囲: 2..2 [[RoomBar](#)]

Level:

整数 (0..24) [[RoomKit](#) [RoomBar](#) [CodecPlus](#) [Room55](#) [Room70/Room55D](#) [BoardPro](#)]

整数 (0..70) [[CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

範囲: デシベル (dB) 単位でゲインを選択します。

デフォルト値:

14 [[RoomKit](#) [RoomBar](#) [CodecPlus](#) [Room55](#) [Room70/Room55D](#) [BoardPro](#)]

58 [[CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

xConfiguration Audio Input Microphone [n] Gain

適用先: [CodecEQ](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

マイクの入力コネクタのゲインを設定します。接続しているオーディオ送信元の出力レベルに合わせて、ゲインを調整する必要があります。ゲインは、1 db ずつ調整できます。

ゲインの設定が高すぎる場合、オーディオ信号がクリップされます。ゲインの設定が低すぎる場合、オーディオの信号対雑音比が低下します。ただし、通常はクリッピングよりも望ましい結果が得られます。

通常、未処理の音声信号は信号レベルが大幅に変動するため、十分な信号のヘッドルームを取れるようにすることが非常に重要だということに注意してください。

0 dB のゲインの最大入力レベルは、-18 dBu です。

例: マイクの最大出力レベルが -40 dBu の場合、ゲインの設定は -18 dBu - (-40 dBu) = 22 dB にしてください。

使用方法:

xConfiguration Audio Input Microphone [n] Gain: Gain

説明:

n: マイク入力を識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 3

ゲイン:

整数 (0 ~ 24)

範囲: デシベル (dB) 単位でゲインを選択します。

デフォルト値:

20

xConfiguration Audio Input Microphone [n] Mode

適用先: [RoomKit](#) [RoomBar](#) [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room55](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [BoardPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

マイク コネクタで音声を無効または有効にします。

Board Pro、Room Bar、Room Kit、Room 55: Microphone [1] は、デバイスの内蔵マイクです。

使用方法:

xConfiguration Audio Input Microphone [n] Mode: Mode

説明:

n: マイク入力を識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 8 [[CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

範囲: 1..3 [[RoomKit](#) [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [Room55](#) [Room70/Room55D](#) [BoardPro](#)]

範囲: 1..2 [[RoomBar](#)]

Mode:

Off/On

Off: 音声入力マイクのコネクタを無効にします。

On: 音声入力マイクのコネクタを有効にします。

デフォルト値:

On

xConfiguration Audio Input Microphone [n] MuteOverride

適用対象: [CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

この設定は Codec Pro のアナログマイク入力専用です。

システムのメインミュート状態 (つまり、通常のミュートボタンで制御されるミュート状態) をオーバーライドするようにマイク入力を構成します。

これにより、マイク入力をミュート解除し、アクティブなビデオ入力中にプレゼンテーション音などを送信するためのライン入力として使用できます。

非アクティブなビデオ入力に関連付けられている場合や、非アクティブなビデオ入力でミュートに設定されている場合、マイクはミュート状態が続く場合があります。

たとえば、アナログソースからの音声を提示する必要がある場合、一部のマイク入力をライン入力として再利用する必要があります。

ミュート上書きを使用しない場合、プレゼンテーションの再生中にプレゼンタがマイクをミュートにした場合、これらのプレゼンテーション ソースはサイレントになります。

使用方法:

xConfiguration Audio Input Microphone [n] MuteOverride: MuteOverride

説明:

n: マイク入力を識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 8

MuteOverride:

Off/On

Off: ミュート設定を上書きしません。

On: ミュート設定を上書きします。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Audio Input Microphone [n] PhantomPower

適用対象: [CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

マイク入力でファントム電源 (48 V +/- 1 V) を使用するかどうかを定義します。

使用方法:

xConfiguration Audio Input Microphone [n] PhantomPower: [PhantomPower](#)

説明:

n: マイク入力を識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 8

PhantomPower:

Off/On

Off: マイク入力でファントム電源を無効にします。ファントム電源を必要としない機器 (外部ミキサーなど) に接続する場合は、この設定を使用します。

On: マイク入力でファントム電源を有効にします。Cisco Table Microphone や Cisco 天井マイクを含め、ファントム電源を必要とするマイクに直接接続する場合は、この設定を使用します。

デフォルト値:

On

xConfiguration Audio Input Microphone [n] VideoAssociation MuteOnInactiveVideo

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

マイクをビデオ入力コネクタに関連付けると、そのビデオ入力にビデオ ストリームまたはコンテンツがない場合にマイクが自動的にミュートになります。Audio Input Microphone [n] VideoAssociation VideoInputSource 設定を使用すると、マイクに関連付けるビデオ入力コネクタを選択できます。

使用方法:

xConfiguration Audio Input Microphone [n] VideoAssociation MuteOnInactiveVideo: [MuteOnInactiveVideo](#)

説明:

n: マイク入力を識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 8 [[CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

範囲: 1..3 [[CodecEQ](#)]

MuteOnInactiveVideo:

オフ/オン

Off: マイクのミュート状態は、ビデオ入力の状態とは無関係です。

On: 関連するビデオ入力にビデオストリームまたはコンテンツがない場合、マイクは自動的にミュートされます。

デフォルト値:

オフ

xConfiguration Audio Input Microphone [n] VideoAssociation VideoInputSource

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

マイクに関連付けるビデオ入力コネクタを選択します。

使用方法:

xConfiguration Audio Input Microphone [n] VideoAssociation VideoInputSource:
[VideoInputSource](#)

説明:

n: マイク入力を識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 8 [[CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

範囲: 1..3 [[CodecEQ](#)]

[VideoInputSource](#):

1/2/3/4/5/6 [[CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

1/2/3/4 [[CodecEQ](#)]

マイクが関連付けられているビデオ入力コネクタ。

デフォルト値:

1

xConfiguration Audio Input MicrophoneMode

適用先: [DeskPro](#) [DeskMini](#) [Desk](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

マイクモードを Focused に設定すると、マイクを組み合わせると音声感度が高くなります。その結果、室内のノイズが聞こえなくなり、デバイスの正面に座った人の声がよく聞こえるようになります。デバイスの正面に座っていない人の声は聞こえなくなります。

マイクモードを Wide に設定すると、デバイスは他のデバイスと同様に動作します。横に座っている人の声聞こえるようになり、また室内のノイズもより聞こえるようになります。

話者が 1 人のみの場合、Focused モードを使用することをお勧めします。デバイスの前で複数の人が話す場合は Wide モードを使用してください。

使用方法:

xConfiguration Audio Input MicrophoneMode: [MicrophoneMode](#)

説明:

[MicrophoneMode](#):

Focused/Wide

Focused: 1 点に集中された音の感度。デバイスの真正面でないソースからの音は抑制されます。

Wide: デフォルトのマイク動作で、通常の音声感度です。

デフォルト値:

Focused

xConfiguration Audio Input USBC [n] Level

適用先: [RoomBar](#) [DeskPro](#) [DeskMini](#) [Desk](#) [BoardPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

USB-C 入力コネクタのゲインを設定します。ゲインは、1 db ずつ調整できます。

使用方法:

xConfiguration Audio Input USBC [n] Level: [Level](#)

説明:

n: USB-C 入力を識別する一意の ID。

範囲: 1 ~ 1

[Level](#):

整数 (-24 ~ 0)

デシベル (dB) 単位でゲインを選択します。

デフォルト値:

-5

xConfiguration Audio Input USBC [n] Gain

適用先: [CodecEQ](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

USB-C 入力コネクタのゲインを設定します。ゲインは、1 db ずつ調整できます。

使用方法:

xConfiguration Audio Input USBC [n] Gain: Gain

説明:

n: USB-C 入力を識別する一意の ID。

範囲: 1 ~ 1

ゲイン:

整数 (-24 ~ 0)

デシベル (dB) 単位でゲインを選択します。

デフォルト値:

-5

xConfiguration Audio Input USBC [n] Mode

適用先: [RoomBar](#) [CodecEQ](#) [DeskPro](#) [DeskMini](#) [Desk](#) [BoardPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

USB-C 音声モードを設定します。

使用方法:

xConfiguration Audio Input USBC [n] Mode: Mode

説明:

n: USB-C 入力を識別する一意の ID。

範囲: 1 ~ 1

Mode:

Off/On

On: USB-C からの音声を許可します。

Off: USB-C からの音声を許可しません。

デフォルト値:

On

xConfiguration Audio Input USBC [n] VideoAssociation MuteOnInactiveVideo

適用先: [RoomBar](#) [CodecEQ](#) [DeskPro](#) [DeskMini](#) [Desk](#) [BoardPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN

この設定を使用して、このプレゼンテーション ソースが現在画面上に表示されていない場合、またはプレゼンテーション ソースが接続されている間常に音声を再生する場合音声再生を停止するかどうかを決定します。

使用方法:

xConfiguration Audio Input USBC [n] VideoAssociation MuteOnInactiveVideo: MuteOnInactiveVideo

説明:

n: USB-C 入力を識別する一意の ID。

範囲: 1 ~ 1

MuteOnInactiveVideo:

Off/On

Off: 音声は、プレゼンテーション ソースが接続されている間、ローカルおよび相手先に対して常に再生されます。USB-C 入力ソースを指定する必要はありません。

On: 音声は、接続されているプレゼンテーション ソースが画面上に表示されている間、ローカルおよび相手先に対して再生されます。

デフォルト値:

On

xConfiguration Audio Input USBInterface [n] EchoControl Mode

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

デバイスのエコーキャンセラは、音声環境で検出された変更があると、室内の音声特性に合わせて継続的に自己調整を行います。音声条件に大幅な変更を加えた場合は、エコー キャンセラの再調整に 1 ~ 2 秒かかることがあります。

外付け機器でエコーキャンセルを実行する場合は、[オーディオパニングモード (Audio Panning Mode)] 設定を使用して指向性オーディオを Off にする必要があります。

使用方法:

xConfiguration Audio Input USBInterface [n] EchoControl Mode: Mode

説明:

n: USB インターフェイスを識別する一意の ID。

範囲: 1 ~ 1

Mode:

Off/On

Off: デバイスのエコーキャンセルをオフにします。エコーキャンセラが外付け機器によって実行される場合に推奨します。

On: デバイスのエコーキャンセルを On にします。一般的には相手先で自らの音声聞こえないようにするために、オンに設定することが推奨されます。選択すると、エコー キャンセレーションは常にアクティブになります。

デフォルト値:

On

xConfiguration Audio Input USBInterface [n] Level

適用対象: [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

接続されている特定の USB デバイスの出力レベルに合わせて、USB コネクタのゲインを設定します。USB デバイスの出力レベルは異なる場合があります。

ゲインは、1 db ずつ調整できます。

使用方法:

xConfiguration Audio Input USBInterface [n] Level: Level

説明:

n: USB インターフェイスを識別する一意の ID。

範囲: 1 ~ 1

Level:

整数 (0 ~ 24)

デシベル (dB) 単位でゲインを設定します。

デフォルト値:

5

xConfiguration Audio Input USBInterface [n] Gain

適用先: [CodecEQ](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

接続されている特定の USB デバイスの出力レベルに合わせて、USB コネクタのゲインを設定します。USB デバイスの出力レベルは異なる場合があります。

ゲインは、1 db ずつ調整できます。

使用方法:

xConfiguration Audio Input USBInterface [n] Gain: Gain

説明:

n: USB インターフェイスを識別する一意の ID。

範囲: 1 ~ 1

ゲイン:

整数 (0 ~ 24)

デシベル (dB) 単位でゲインを設定します。

デフォルト値:

5

xConfiguration Audio Input USBInterface [n] Mode

適用先: *CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama*

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

USB コネクタでオーディオ入力を無効または有効にします。

使用方法:

xConfiguration Audio Input USBInterface [n] Mode: Mode

説明:

n: USB インターフェイスを識別する一意の ID。

範囲: 1 ~ 1

Mode:

Off/On

Off: USB コネクタのオーディオ入力を無効にします。

On: USB コネクタのオーディオ入力を有効にします。

デフォルト値:

On

xConfiguration Audio Input USBMicrophone [n] EchoControl Mode

適用先: *RoomKit RoomKitMini RoomBar Room55 DeskPro DeskMini Desk BoardPro*

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

デバイスのエコーキャンセラは、音声環境で検出された変更があると、室内の音声特性に合わせて継続的に自己調整を行います。音声条件に大幅な変更を加えた場合は、エコー キャンセラの再調整に 1 ~ 2 秒かかることがあります。

AEC 参照信号は常にデバイスから USB マイクに送信されます。エコーキャンセルがデバイスで実行されるか、外付け機器で実行されるかは関係ありません。

外付け機器でエコーキャンセルを実行する場合は、[オーディオパンニングモード (Audio Panning Mode)] 設定を使用して指向性オーディオを Off にする必要があります。

使用方法:

xConfiguration Audio Input USBMicrophone [n] EchoControl Mode: Mode

説明:

n: USB マイクを識別する一意の ID。

範囲: 1 ~ 1

Mode:

Off/On

Off: デバイスのエコーキャンセルを Off にします。エコーキャンセラが外付け機器によって実行される場合に推奨します。

On: デバイスのエコーキャンセルを On にします。一般的には相手先で自らの音声がかえらないようにするために、オンに設定することが推奨されます。選択すると、エコー キャンセレーションは常にアクティブになります。

デフォルト値:

On

xConfiguration Audio Input USBMicrophone [n] Level

適用先: [RoomKit](#) [RoomKitMini](#) [RoomBar](#) [Room55](#) [DeskPro](#) [DeskMini](#) [Desk](#) [BoardPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

接続されている特定の USB マイクの出力レベルに合わせて、USB コネクタのゲインを設定します。USB マイクの出力レベルは異なる場合があります。

ゲインは、1 db ずつ調整できます。

使用方法:

xConfiguration Audio Input USBMicrophone [n] Level: Level

説明:

n: USB マイクを識別する一意の ID。

範囲: 1 ~ 1

Level:

整数 (0 ~ 24)

デシベル (dB) 単位でゲインを設定します。

デフォルト値:

5

xConfiguration Audio Input WebView [n] Mode

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

内蔵 Web ブラウザ (WebView) からの音声再生を許可するかどうかを設定します。

使用方法:

xConfiguration Audio Input WebView [n] Mode: Mode

説明:

n: WebView 入力を識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 1

Mode:

Off/On

On: Web ブラウザからのオーディオを許可します。

Off: Web ブラウザからのオーディオの再生を許可しません。

デフォルト値:

On

xConfiguration Audio Microphones AGC

適用先: [RoomKit](#) [CodecEQ](#) [CodecPlus](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

マイクのオートゲインコントロール (AGC) を有効または無効にします。

AVIntegrator オプション付きの Codec EQ: 適用外。

使用方法:

xConfiguration Audio Microphones AGC: AGC

説明:

AGC:

Off/On

Off: AGC を無効にします。外部ミキサーや DSP など、マイク信号にすでに AGC が適用されている機器への接続時に使用します。

On: AGC を有効化します。

デフォルト値:

On

xConfiguration Audio Microphones HdmiPassthrough MuteButton

適用対象: [RoomKit](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room55](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

[ラップトップから会議 (Call from laptop)] 機能を使用する場合 ([ビデオ出力 HDMI パススルーを許可 (Video Output HDMI Passthrough Allowe)] を True に設定する必要あり)、ミーティング アプリケーションから音声をいつでもミュートできます。この設定を使用すると、タッチコントローラおよび外付けマイクからのミュートも許可するかどうかを構成できます。ミーティング アプリケーションは、ラップトップのマイクではなく、HDMI-to-USB コンバータ (キャプチャデバイス) をマイクとして使用するよう設定する必要があります。

ミュートに関しては、タッチコントローラ/マイクはミーティング アプリケーションと同期していませんのでご注意ください。したがって、部屋とミーティング アプリケーションのミュートインジケータは、常に実際のミュート状態を反映するとは限りません。

Room 55 Dual および Room 70 Dual にはコンバータで使用できる HDMI 出力がないため、この設定は使用できません。

使用方法:

xConfiguration Audio Microphones HdmiPassthrough MuteButton: MuteButton

説明:

MuteButton:

Active/Inactive

Active: タッチコントローラまたはマイクのボタンを使用してミュートできます。

Inactive: タッチコントローラまたはマイクからミュートすることはできません。物理ボタンは無効になっており、ユーザーインターフェイスにはミュートボタンはありません。

デフォルト値:

Active

xConfiguration Audio Microphones NoiseRemoval Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

この設定を使用して、デバイスのノイズ除去機能を有効または無効にします。有効にすると（有効または手動）、ユーザーインターフェイスにボタンが表示され、ユーザーが背景雑音の除去をオンまたはオフにすることができます。また、API コマンドを使用してオンとオフを切り替えることもできます。

使用方法:

xConfiguration Audio Microphones NoiseRemoval Mode: Mode

説明:

Mode:

Disabled/Enabled/Manual

Disabled: ノイズ除去機能が Off になっており、ユーザーインターフェイスを介して、または API コマンドを送信して On にすることはできません。

Enabled: ユーザーインターフェイスのボタンを使用するか、API コマンドを送信することで、ノイズ除去をオンまたはオフにできます。ノイズ除去はデフォルトで On になっています。Webex クラウドに登録されているパーソナルモードデバイスの場合、会議終了時、またはデバイスの再起動時は、ノイズ除去の状態は影響を受けません。ノイズ除去がオンの場合は、オンのままになり、オフの場合は、オフのままになります。その他のデバイスの場合、会議を終了するか、デバイスを再起動すると、ノイズ除去状態はデフォルトの状態 (On) に戻ります。

Manual: ユーザーインターフェイスのボタンを使用するか、API コマンドを送信することで、ノイズ除去をオンまたはオフにできます。ノイズ除去はデフォルトで Off になっています。Webex クラウドに登録されているパーソナルモードデバイスの場合、会議終了時、またはデバイスの再起動時は、ノイズ除去の状態は影響を受けません。ノイズ除去が On の場合は、On のままになり、Off の場合は、Off のままになります。その他のデバイスの場合、会議を終了するか、デバイスを再起動すると、ノイズ除去状態はデフォルトの状態 (オフ) に戻ります。

デフォルト値:

Enabled

xConfiguration Audio Microphones Mute Enabled

適用先: *RoomKit RoomKitMini RoomBar CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro*

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

デバイスでのマイク ミュートの動作を定義します。

使用方法:

xConfiguration Audio Microphones Mute Enabled: Enabled

説明:

Enabled:

True/InCallOnly

True: 音声ミュートが使用可能になります。通常、コール外ではマイクのミュート LED は点灯しませんが、API コマンドを使用するとミュートすることができます。

InCallOnly: 音声ミュートはデバイスがコール中の場合にだけ使用できます。アイドル状態のときは、マイクをミュートにできません。これは、外部の電話サービスまたは音声システムがデバイスを介して接続されており、デバイスがコール中でないときに使用可能にする場合に便利です。InCallOnly に設定されたとき、音声システムが誤ってミュートにされることを防止できます。

デフォルト値:

True

xConfiguration Audio Microphones PhantomPower

適用先: *RoomKit CodecEQ CodecPlus Room55 Room70/Room55D BoardPro*

必要なユーザー ロール: ADMIN

マイク入力でファンタム電源 (11 V +/- 1 V) を使用するかどうかを定義します。

使用方法:

xConfiguration Audio Microphones PhantomPower: PhantomPower

説明:

PhantomPower:

Off/On

Off: マイク入力でファンタム電源を無効にします。ファンタム電源を必要としない機器 (外部ミキサーなど) に接続する場合は、この設定を使用します。

On: マイク入力でファンタム電源を有効にします。Cisco Table Microphone や Cisco 天井マイクを含め、ファンタム電源を必要とするマイクに直接接続する場合は、この設定を使用します。

デフォルト値:

On

xConfiguration Audio Microphones UsbPassthrough MuteButton

適用先: *RoomKitMini RoomBar CodecEQ DeskPro DeskMini Desk BoardPro*

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

[ラップトップから会議 (Call from laptop)] 機能を使用している場合 (つまり、ラップトップのミーティング アプリケーションがデバイスのカメラ、マイクまたはスピーカーを使用している場合)、ミーティング アプリケーションからいつでも自分のサウンドをミュートできます。この設定を利用すると外付けマイクやデバイスからのミュートも許可するかどうかを構成できます。もちろん、ラップトップのマイクではなくデバイスのマイクを使用するようにミーティング アプリケーションを設定することが前提条件です。

ミュートに関しては、デバイスとマイクがミーティング アプリケーションと同期していないことに注意してください。したがって、部屋とミーティング アプリケーションのミュートインジケータは、常に実際のミュート状態を反映するとは限りません。

使用方法:

xConfiguration Audio Microphones UsbPassthrough MuteButton: MuteButton

説明:

MuteButton:

Active/Inactive

Active: ユーザーは、デバイスやマイクのボタンを使用して音声をミュートできます。

Inactive: ユーザーはデバイスやマイクからミュートできません。物理ボタンは無効になっており、ユーザーインターフェイスにはミュートボタンはありません。

デフォルト値:

Active [RoomKitMini RoomBar CodecEQ BoardPro]

Inactive [DeskPro DeskMini Desk]

xConfiguration Audio Output ARC [n] Delay DelayMs

適用先: *CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama*

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

リップ同期を実現するには、各 ARC ライン出力で、他の接続デバイス (TV、外付けスピーカーなど) の遅延に合わせた追加の遅延を設定できます。ここで設定する遅延は、Audio Output ARC [n] Delay Mode 設定での定義に従い、一定の遅延になるか、外部モニターで測定または報告された遅延に相対的な遅延になります。

USAGE:

xConfiguration Audio Output ARC [n] Delay DelayMs: DelayMs

値は次のとおりです。

n: 音声 APC 出力を示す固有の ID。

範囲: 1 ~ 1

DelayMs:

整数 (0 ~ 290)

遅延 (ミリ秒)。

デフォルト値:

0

xConfiguration Audio Output ARC [n] Delay Mode

適用先: *CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama*

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

Audio Output ARC [n] Delay DelayMs 設定を使用すると、音声 ARC 出力に遅延を追加できます。追加される遅延は、一定のミリ秒数か、検出された遅延または外部モニターで報告された遅延に対して相対的なミリ秒数です。

使用方法:

xConfiguration Audio Output ARC [n] Delay Mode: Mode

値は次のとおりです。

n: 音声 APC 出力を示す固有の ID。

範囲: 1 ~ 1

Mode:

Fixed/RelativeToHDMI

Fixed: 出力に追加される遅延 (DelayMs) は、固定のミリ秒数になります。

RelativeToHDMI: 出力に追加される遅延 (DelayMs) は、検出された遅延または外部モニターで報告された遅延に対して相対的になります。実際の遅延は、顕出された遅延 + DelayMs です。Audio Output Connectors ARC [n] DelayMs ステータスにより、実際の遅延がレポートされます。

デフォルト値:

RelativeToHDMI [CodecEQ CodecPro]

Fixed [Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]

xConfiguration Audio Output ARC [n] Mode

適用先: *CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama*

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

HDMI [n] 入力コネクタの音声リターンチャンネル (ARC) を有効にするかどうかを選択します。Quad Camera を使用して音声を再生する場合は、ARC出力を有効にする必要があります。

Room 70 G2 には、Quad Camera が統合スピーカーシステムの一部として含まれています。ARC 出力は有効にしておくことをお勧めします。内蔵スピーカーシステムを完全に無効にする場合は、[オーディオ 出力 内蔵スピーカー モード (Audio Output InternalSpeaker Mode)] 設定を使用します。

USAGE:

xConfiguration Audio Output ARC [n] Mode: Mode

値は次のとおりです。

n: 音声 APC 出力を示す固有の ID。

範囲: 1 ~ 1

Mode:

Off/On

Off: HDMI 入力 で ARC チャンネルを無効にします。

On: HDMI 入力 で ARC チャンネルを有効にします。

デフォルト値:

On

xConfiguration Audio Output ConnectorSetup

適用対象: [CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

オーディオ入力とオーディオ出力を手動で設定するか、使用しているカメラのタイプと接続されているスクリーンに基づいてビデオ会議デバイスが自動的に実行するかを選択できます。

自動モードでは、音声入力と出力を手動で追加、更新、削除、または接続することはできません。したがって、以下の API コマンドは何の効果もありません。xCommand Audio Setup *, xcommand audio Setup *, xCommand audio Setup * と xCommand audio Localinput *。

手動モードに移行する場合: 既存のオーディオ設定はクリアされ (xCommand Audio セットアップがクリアされます)、入力および出力グループは製品のデフォルト設定に従って設定されます。[オーディオ出力 HDMI [n] モード (Audio Output HDMI [n] Mode)] および [オーディオ出力 ARC [1] モード (Audio Output ARC [1] Mode)] 設定はデフォルト値に設定されます。Codec Pro の自動遅延測定が有効になっています。

[自動 (Auto)] モードへの移行時: HDMI および ARC 出力コネクタは、デフォルトグループに接続されます。Audio Output HDMI [n] Mode と、Audio Output ARC [1] Mode 設定は変更されません。Codec Pro の遅延測定が停止されます。

使用方法:

xConfiguration Audio Output コネクタのセットアップ: [コネクタのセットアップ](#)

説明:

ConnectorSetup:

Auto/Manual

Auto: Code Pro のビデオ会議デバイスでは、カメラやいずれかの HDMI 出力に接続された画面を介して音声を再生します。ビデオ会議デバイスは、次のリストで利用可能な最初のデバイスで音声を再生することを選択します。

1. カメラ コントロールがビデオ会議デバイスのカメラ コントロール コネクタのいずれか (イーサネット 2 または 3) に接続されており、HDMI がビデオ会議デバイスのカメラ入力 (HDMI 1 入力) に接続されている Quad Camera。さらに、Audio Output ARC [1] Mode と Video Input Connector [1] CEC Mode は On になっている必要があります。カメラを介して音声を再生するには、HDMI 1 入力の音声リターンチャンネル (ARC) が使用されます。
2. Audio Output HDMI [1] Mode 設定がオンになっている場合は、HDMI 1 の出力に接続された画面。
3. Audio Output HDMI [2] Mode 設定がオンになっている場合、HDMI 2 の出力に接続された画面。
4. Audio Output HDMI [3] Mode 設定がオンになっている場合、HDMI 3 の出力に接続された画面。

音声が Quad Camera を通じて再生される場合、ビデオ会議デバイスは、画面とカメラの間の遅延を測定して、カメラの音声を画面上のビデオに同期させることができます (リップ シンク)。遅延を測定するために、ビデオ会議デバイスが画面に信号を送信し、画面がその信号を ARC (オーディオ リターン チャンネル) を介してビデオ会議デバイスに返します。遅延測定では、上記の一覧で CEC (消費者向け電子機器制御) をサポートする最初の画面で、Video Output Connector [n] CEC Mode が On に設定されています。

音声が画面内で再生される場合、追加の lip 同期遅延が画面上の役割になります。ビデオ会議デバイスが遅延することはありません。

Room 70 G2 では、[オーディオ出力 ARC [1] モード (Audio Output ARC [1] Mode)] および [オーディオ出力 内蔵スピーカー モード (Audio Output InternalSpeaker Mode)] がオンで、内蔵画面の [オーディオ出力 HDMI [n] モード (Audio Output HDMI [n] Mode)] がオンの場合、ビデオ会議デバイスは内蔵スピーカーシステムを通じてオーディオを再生します。統合されたスピーカーシステムと画面の関係が明確なため、自動遅延測定は必要ありません。

[手動 (Manual):] audio Console アプリケーションまたは API (xCommand Audio Localinput *, xCommand Audio Localinput *) を使用して、オーディオ入出力を設定し、手動で出力する必要があります。

Room 70 G2 では、オーディオ コンソール アプリケーションまたは API (xCommand Audio LocalOutput *) を使用して明示的にコネクタを追加すると、外部画面をオーディオ出力に使用することができます。この場合、外部画面では、内蔵スピーカー システムで再生される音声のステレオ ダウン ミックスが再生されます。超音波信号は、外部画面やライン出力を介しては再生されず、内蔵スピーカー システムでのみ再生されます。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration Audio Output Ethernet [n] Mode

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

Ethernet [1]: アコースティック エコー キャンセリング (AEC) に必要な参照信号です。コーデックからこの接続で接続されているすべてのデジタルマイク (Cisco Table Microphone Pro / Cisco Microphone Array) に送信されます。無効にすると、AEC は機能しません。

Ethernet [2]: Room Panorama のみが使用する接続です。コーデックから DNAM IV 増幅器への音声出力に使用されます。

この設定を [オン (On)] に設定する必要がある、組み込み型の Room Panorama オーディオ システムを使用することをお勧めします。これを Off にすると、Room Panorama のスピーカーは使用されず、外付けスピーカーをコーデックに接続する必要があります。

使用方法:

xConfiguration Audio Output Ethernet [n] Mode: Mode

説明:

n: イーサネット接続を識別する一意の ID。

範囲: 1..1 [[CodecEQ](#) [CodecPro](#) [Room70G2](#)]

範囲: 1..2 [[RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

Mode:

Off/On

Off: イーサネット接続が無効になっています。

On: イーサネット接続が有効になっています。

デフォルト値:

On

xConfiguration Audio Output HDMI [n] Delay DelayMs

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

リップ同期を実現するには、各 HDMI ライン出力で、他の接続デバイス (TV、外付けスピーカーなど) の遅延に合わせた追加の遅延を設定できます。ここで設定する遅延は、Audio Output HDMI [n] Delay Mode 設定での定義に従い、一定の遅延になるか、外部モニターで測定または報告された遅延に相対的な遅延になります。

使用方法:

xConfiguration Audio Output HDMI [n] Delay DelayMs: DelayMs

説明:

n: 音声ライン出力を示す固有の ID。

範囲: 1 ~ 3

DelayMs:

整数 (0 ~ 290)

遅延 (ミリ秒)。

デフォルト値:

0

xConfiguration Audio Output HDMI [n] Delay Mode

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

Audio Output HDMI [n] Delay DelayMs 設定を使用すると、音声 HDMI 出力に遅延を追加できます。追加される遅延は、一定のミリ秒数か、検出された遅延または外部モニターで報告された遅延に対して相対的なミリ秒数です。

使用方法:

xConfiguration Audio Output HDMI [n] Delay Mode: Mode

説明:

n: 音声ライン出力を示す固有の ID。

範囲: 1 ~ 3

Mode:

Fixed/RelativeToHDMI

Fixed: 出力に追加される遅延 (DelayMs) は、固定のミリ秒数になります。

RelativeToHDMI: 出力に追加される遅延 (DelayMs) は、検出された遅延または外部モニターで報告された遅延に対して相対的になります。実際の遅延は、顕出された遅延 + DelayMs です。Audio Output Connectors HDMI [n] DelayMs ステータスにより、実際の遅延がレポートされます。

デフォルト値:

Fixed

xConfiguration Audio Output HDMI [n] Level

適用先: [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

HDMI 入力コネクタのゲインを設定します。ゲインは、1 db ずつ調整できます。

使用方法:

xConfiguration Audio Output HDMI [n] Level: Level

説明:

n: HDMI 出力を識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 3 [Room70G2]

範囲: Room Panorama の場合: 3..3; Room 70 Panorama の場合: 1..3 [[RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

Level:

整数 (-24 ~ 0)

範囲: デシベル (dB) 単位でゲインを選択します。

デフォルト値:

0

xConfiguration Audio Output HDMI [n] Gain

適用先: [CodecEQ](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

HDMI 入力コネクタのゲインを設定します。ゲインは、1 db ずつ調整できます。

使用方法:

xConfiguration Audio Output HDMI [n] Gain: Gain

説明:

n: HDMI 出力を識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 3

ゲイン:

整数 (-24 ~ 0)

範囲: デシベル (dB) 単位でゲインを選択します。

デフォルト値:

0

xConfiguration Audio Output HDMI [n] Mode

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

HDMI 出力コネクタの音声チャンネルを有効にするかどうかを定義します。

使用方法:

xConfiguration Audio Output HDMI [n] Mode: Mode

説明:

n: HDMI 出力を識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 1 [[Codec Plus](#)]

範囲: 1..3 [[CodecEQ](#) [CodecPro](#) [Room70G2](#)]

範囲: Room Panorama の場合: 3..3; Room 70 Panorama の場合: 1..3 [[RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

Mode:

Off/On

Off: 音声出力にコネクタが使用されません。

On: 音声出力にコネクタを使用できます。Codec Pro および Room 70 G2 では、Audio Output コネクタの設定に依存しています。

デフォルト値:

Room 70 Dual G2: HDMI 1, 2: On HDMI 3: Off

Room 70 Single G2: HDMI 1: On HDMI 2, 3: Off [[Room70G2](#)]

Room 70 Panorama: HDMI 1, 2: On HDMI 3: Off

Room Panorama: Off [[RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

On [[CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#)]

xConfiguration Audio Output InternalSpeaker Mode

適用先: [RoomKit](#) [CodecPlus](#) [Room55](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [BoardPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

カメラの内蔵スピーカーを使用するかどうかを定義します。この設定を適用するには、Quad Camera に Codec Plus が接続されている必要があります。

Room 70 G2 では、統合されたモニターの Audio Output HDMI [n] Mode の設定がオンに設定されていないと、内蔵スピーカーの音声を再生できません。Room 70 G2 についても、Audio Output ARC 1 Mode 設定がオンになっている必要があります。

Codec Plus 以外のすべての製品では、統合スピーカーの使用を制限して、超音波のみを再生することができます。

使用方法:

xConfiguration Audio Output InternalSpeaker Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On/UltrasoundOnly [[RoomKit](#) [Room55](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [BoardPro](#)]

Off/On [[CodecPlus](#)]

Off: デバイスの統合スピーカーを無効にします。

On: デバイスの統合スピーカーを有効にします。

UltrasoundOnly: デバイスの内蔵スピーカーのみで超音波を有効にします

デフォルト値:

On

xConfiguration Audio Output Line [n] Channel

適用対象: *CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama*

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

音声ライン出力がモノラル信号またはマルチチャンネル信号の一部のいずれであるかを定義します。

使用方法:

xConfiguration Audio Output Line [n] Channel: Channel

説明:

n: 音声ライン出力を示す固有の ID。

範囲: 1 ~ 6

Channel:

Left/Mono/Right

Left: 音声ライン出力信号はステレオ信号の左チャンネルです。

Mono: オーディオライン出力信号はモノラル信号です。

Right: 音声ライン出力信号はステレオ信号の右チャンネルです。

デフォルト値:

Line [1, 3, 5]: Left Line [2, 4, 6]: Right [CodecPro Room70G2]

Room Panorama: Line [1, 3, 5]: Left Line [2, 4, 6]: Right

*Room 70 Panorama: Line [1, 2]: Mono Line [3, 5]: Left Line [4, 6]: Right
[RoomPanorama/Room70Panorama]*

xConfiguration Audio Output Line [n] Delay DelayMs

適用先: *CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama*

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

リップ シンクを実現するために、他の接続されているデバイス (たとえば、TV、外部スピーカー) の遅延と釣り合う追加の遅延を各音声ライン出力に設定できます。ここで設定する遅延は、Audio Output Line [n] Delay Mode 設定での定義に従い、固定であるか、HDMI 出力の遅延に対して相対的です。

使用方法:

xConfiguration Audio Output Line [n] Delay DelayMs: DelayMs

説明:

n: 音声ライン出力を示す固有の ID。

範囲: 1 ~ 6 [*CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama*]

範囲: 1..1 [*CodecEQ*]

DelayMs:

整数 (0 ~ 290)

遅延 (ミリ秒)。

デフォルト値:

0

xConfiguration Audio Output Line [n] Delay Mode

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

Audio Output Line [n] Delay DelayMs 設定を使用すると、音声ライン出力に遅延を追加できます。追加される遅延は、固定のミリ秒数か、(接続済み TV に通常備わっている) HDMI 出力で検出された遅延に対して相対的なミリ秒数です。

使用方法:

xConfiguration Audio Output Line [n] Delay Mode: Mode

説明:

n: 音声ライン出力を示す固有の ID。

範囲: 1 ~ 6 [[CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

範囲: 1..1 [[CodecEQ](#)]

Mode:

Fixed/RelativeToHDMI

Fixed: 出力に追加される遅延 (DelayMs) は、固定のミリ秒数になります。

RelativeToHDMI: 出力に追加される遅延 (DelayMs) は、HDMI 出力で検出された遅延に対して相対的になります。実際の遅延は HDMI の遅延 + DelayMs です。Audio Output Connectors Line [n] DelayMs ステータスにより、実際の遅延がレポートされます。

デフォルト値:

Fixed [[Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

RelativeToHDMI [[CodecEQ](#) [CodecPro](#)]

xConfiguration Audio Output Line [n] Equalizer ID

適用対象: [CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

この出力に適用するイコライザプリセットを選択します。

使用方法:

xConfiguration Audio Output Line [n] Equalizer ID: ID

説明:

n: 音声ライン出力を示す固有の ID。

範囲: 1 ~ 6

ID:

整数 (1 ~ 8)

イコライザのプリセット番号。

デフォルト値:

1

xConfiguration Audio Output Line [n] Equalizer Mode

適用対象: [CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

この出力のイコライザ処理を有効または無効にします。

使用方法:

xConfiguration Audio Output Line [n] Equalizer Mode: Mode

説明:

n: 音声ライン出力を示す固有の ID。

範囲: 1 ~ 6

Mode:

Off/On

Off: 均等化は処理されません。

On: 均等化が適用されます。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Audio Output Line [n] Level

適用対象: [CodecPro](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

ラインの出力コネクタのゲインを設定します。接続されているデバイスのオーディオ出力レベルに合わせて、ゲインを調整する必要があります。ゲインは、1 db ずつ調整できます。

0 dB のゲインの最大入力レベルは、製品によって次のように異なります。8 dBu (Room 70、Room 55 Dual)、18 dBu (Codec Pro、Room 70 G2)。

例: オーディオデバイスの最大入力レベルが 10 dBu で、Codec Pro に接続されている場合、ゲインの設定は 10 dBu - 18 dBu = -8 dB にしてください。

使用方法:

xConfiguration Audio Output Line [n] Level: Level

説明:

n: 音声ライン出力を示す固有の ID。

範囲: 1 ~ 6 [[CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

範囲: 1 ~ 1 [[Room 70 / Room 55D](#)]

Level:

整数 (-24 ~ 0)

範囲: デシベル (dB) 単位でゲインを選択します。

デフォルト値:

-4 [[CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

0 [[Room70/Room55D](#)]

xConfiguration Audio Output Line [n] Gain

適用先: [CodecEQ](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

ラインの出力コネクタのゲインを設定します。接続されているデバイスのオーディオ出力レベルに合わせて、ゲインを調整する必要があります。ゲインは、1 db ずつ調整できます。

0 dB のゲインの最大出力レベルは、8 dBu です。

例: 接続したオーディオ デバイスの最大入力レベルが 4 dBu の場合、ゲインの設定は 4 dBu - 8 dBu = -4 dB にしてください。

使用方法:

xConfiguration Audio Output Line [n] Gain: Gain

説明:

n: 音声ライン出力を示す固有の ID。

範囲: 1 ~ 1

ゲイン:

整数 (-24 ~ 0)

範囲: デシベル (dB) 単位でゲインを選択します。

デフォルト値:

0

xConfiguration Audio Output Line [n] Mode

適用先: [RoomKit](#) [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room55](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [BoardPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

音声ライン出力のモードを定義します。

使用方法:

xConfiguration Audio Output Line [n] Mode: Mode

説明:

n: 音声ライン出力を示す固有の ID。

範囲: 1 ~ 6 [[CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

範囲: 1..1 [[RoomKit](#) [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [Room55](#) [Room70/Room55D](#) [BoardPro](#)]

Mode:

Off/On

Off: 音声ライン出力を無効にします。

On: 音声ライン出力を有効にします。

デフォルト値:

On

xConfiguration Audio Output Line [n] OutputType

適用先: [RoomKit](#) [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [Room55](#) [Room70/Room55D](#) [BoardPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

出力タイプは、接続デバイスに一致するように設定する必要があります。

AVIntegrator オプション付きの Codec EQ: 適用外。

使用方法:

xConfiguration Audio Output Line [n] OutputType: OutputType

説明:

n: 音声ライン出力を示す固有の ID。

範囲: 1 ~ 1

OutputType:

LineOut/Loudspeaker/Microphone/Recorder/Subwoofer [[RoomKit](#)]

LineOut/Loudspeaker/Microphone/Recorder [[CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [Room55](#) [Room70/Room55D](#) [BoardPro](#)]

Loudspeaker: スピーカーがライン出力に接続されている場合、スピーカーを使用します。このモードでのコネクタの出力レベルは、音量のマスターコントロールと、システムサウンドすべて（着信音、Webex Assistant など）を含めた出力信号に従って設定されます。

Microphone: このモードでは、接続されているマイクが拾った音がライン出力に送信されません。システム音声や遠隔ソースからの音声は含まれません。

録画機能が回線の出力に接続されている場合は、よく: 使用記録します。このモードでは出力レベルは固定され、システム音は含まれません。ローカルでのプレゼンテーションソース、ローカルマイク、および遠隔ソースからの音声が含まれます。

Subwoofer: サブウーファーがライン出力に接続されている場合、サブウーファーを使用します。このモードでは、低音はライン出力に送信され、それ以外のオーディオ信号は内蔵スピーカーで再生されます。

LineOut: 他のデバイスのライン出力を使用します。このモードでは出力レベルは固定され、システム音は含まれません。ローカルでのプレゼンテーションソースおよび遠隔ソースからの音声が含まれます。

デフォルト値:

Loudspeaker [[RoomKit](#) [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [Room55](#) [BoardPro](#)]

LineOut [[Room70/Room55D](#)]

xConfiguration Audio Output USBInterface [n] Mode

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

USB コネクタでオーディオ出力を無効または有効にします。

使用方法:

xConfiguration Audio Output USBInterface [n] Mode: Mode

説明:

n: USB インターフェイスを識別する一意の ID。

範囲: 1 ~ 1

Mode:

Off/On

Off: USB コネクタのオーディオ出力を無効にします。

On: USB コネクタのオーディオ出力を有効にします。

デフォルト値:

On

xConfiguration Audio Panning HeadsetAnalog BinauralProcessing

適用先: [DeskPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN

アナログヘッドセットのオーディオのバイノーラル処理を無効または有効にします。自然な響きの指向性オーディオを実現するオーディオ処理技術です。

使用方法:

xConfiguration Audio Panning HeadsetAnalog BinauralProcessing:

BinauralProcessing

説明:

BinauralProcessing:

False/True

False: バイノーラル処理を実行せず、通常のパンニングを行い、左右の耳で単純な音量差をつけます。

True: オーディオにバイノーラル処理を実行します。

デフォルト値:

True

xConfiguration Audio Panning HeadsetAnalog Mode

適用先: [DeskPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN

オーディオパンを無効または有効にして、アナログヘッドセットに指向性オーディオを提供します。Audio Panning Mode 設定で指向性オーディオが全体的に Off になっている場合、Audio Panning HeadsetAnalog Mode が [自動 (Auto)] に設定されていても、ヘッドセットの指向性オーディオは得られません。

使用方法:

xConfiguration Audio Panning HeadsetAnalog Mode: Mode

説明:

Mode:

Auto/Off

Auto: 利用可能な場合、指向性オーディオを使用します。

Off: アナログヘッドセットの指向性オーディオを無効にします。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration Audio Panning HeadsetUSB BinauralProcessing

適用先: [DeskPro](#) [DeskMini](#) [Desk](#) [BoardPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN

USB ヘッドセットのオーディオバイノーラル処理を無効または有効にします。自然な響きの指向性オーディオを実現するオーディオ処理技術です。

使用方法:

xConfiguration Audio Panning HeadsetUSB BinauralProcessing:

BinauralProcessing

説明:

BinauralProcessing:

False/True

False: バイノーラル処理を実行せず、通常のパンニングを行い、左右の耳で単純な音量差をつけます。

True: オーディオにバイノーラル処理を実行します。

デフォルト値:

False

xConfiguration Audio Panning HeadsetUSB Mode

適用先: *DeskPro DeskMini Desk BoardPro*

必要なユーザー ロール: ADMIN

オーディオパンを無効または有効にして、USB ヘッドセットに指向性オーディオを提供します。

Audio Panning Mode 設定で指向性オーディオが全体的に Off になっている場合、Audio Panning HeadsetUSB Mode が [自動 (Auto)] に設定されていても、ヘッドセットの指向性オーディオは得られません。

使用方法:

xConfiguration Audio Panning HeadsetUSB Mode: Mode

説明:

Mode:

Auto/Off

Auto: 利用可能な場合、指向性オーディオを使用します。

Off: USB ヘッドセットの指向性オーディオを無効にします。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration Audio Placement

適用先: *BoardPro*

必要なユーザー ロール: ADMIN

システムのマウント構成を定義します。この設定に基づいて、スピーカーシステムは音質を最適化するように構成されます。

使用方法:

xConfiguration Audio Placement: Placement

説明:

配置:

自立型/壁掛け型

自立型: システムはフロアスタンドまたはホイールベースに取り付けられています。

壁掛け型: システムは壁に取り付けます。

デフォルト値:

自立型

xConfiguration Audio SoundsAndAlerts RingTone

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザー ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

着信コールに使用する着信音を定義します。

使用方法:

xConfiguration Audio SoundsAndAlerts RingTone: RingTone

説明:

RingTone:

Sunrise/Mischief/Ripples/Reflections/Vibes/Delight/Evolve/Playful/Ascent/Calculation/Mellow/Ringer

リストから呼び出し音を選択します。

デフォルト値:

Sunrise BoardPro

xConfiguration Audio SoundsAndAlerts RingVolume

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザー ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

着信コールの着信音量を定義します。

使用方法:

xConfiguration Audio SoundsAndAlerts RingVolume: RingVolume

説明:

RingVolume:

整数 (0 ~ 100)

範囲: 値は 5 刻みで 0 ~ 100 (-34.5 dB ~ 15 dB) になります。音量 0 = オフです。

デフォルト値:

50

xConfiguration Audio Ultrasound MaxVolume

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

この設定は、[近接性 (Proximity)] 機能に適用されます。超音波ペアリングメッセージの最大音量を設定します。

[オーディオ 超音波 最大音量 (Audio Ultrasound MaxVolume)] 設定と [プロキシミティ モード (Proximity Mode)] 設定は、超音波ペアリングメッセージにのみ影響します。超音波を使用した人の存在の検出とモーション検知については、[ルーム分析 人の存在の検出 (RoomAnalytics PeoplePresenceDetector)] 設定および [スタンバイ モーション検知ウェイクアップ (Standby WakeupOnMotionDetection)] 設定を参照してください。

使用方法:

xConfiguration Audio Ultrasound MaxVolume: MaxVolume

説明:

MaxVolume:

整数 (0..90) [CodecPlus CodecPro]

整数 (0..70) [RoomKit RoomKitMini RoomBar CodecEQ Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro]

値は指定の範囲内から選択します。0 に設定すると、超音波ペアリングメッセージは出力されません。

デフォルト値:

70

xConfiguration Audio USB Mode

適用先: RoomKit RoomKitMini RoomBar Room55 DeskPro DeskMini Desk BoardPro

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

USB コネクタの音声チャンネルを有効または無効にします。

使用方法:

xConfiguration Audio USB Mode: Mode

説明:

Mode:

AdditionalSpeaker/Microphone/Off/Speaker/SpeakerAndMicrophone [RoomKit Room55 DeskPro DeskMini Desk BoardPro]

AdditionalMicrophone/AdditionalSpeaker/Microphone/Off/Speaker/SpeakerAndMicrophone [RoomKitMini RoomBar]

AdditionalMicrophone: ビデオ会議デバイスの内蔵マイクと外付けオーディオ入力デバイス (USB マイク) の両方が使用されます。USB オーディオ出力チャンネルは無効になります。

AdditionalSpeaker: ビデオ会議デバイスの内蔵スピーカーと USB オーディオ出力デバイスの両方が使用されます。USB オーディオ入力チャンネルは無効です。

USB に接続されたスピーカーは、デバイスの内蔵スピーカーよりも遅延が大きい場合があります。これにより、両方のスピーカーを同時に使用すると、異常なオーディオアーティファクトが発生する可能性があります。

AdditionalSpeaker の一般的な使用例は、アナログオーディオ出力のないビデオデバイスで補聴器 (ALD) をサポートすることです。この設定では、遅延の違いによって問題が発生する可能性は低くなります。

Microphone: 外部 USB マイクのみを使用します。他のマイクは無効になります。USB オーディオ出力チャンネルも無効になります。

Off: オーディオは USB 経由で流れませんが、シグナリングは引き続き有効です。これにより、USB デバイスをミュートまたは音量コントローラとして使用できます。

Speaker: USB オーディオ出力チャンネルが接続されます (スピーカー)。他のスピーカーは無効になります。USB オーディオ入力チャンネルも無効になります。

SpeakerAndMicrophone: USB オーディオデバイスの入力 (マイク) チャンネルおよび出力 (スピーカー) チャンネルの両方が接続されます。他のマイクとスピーカーは無効になります。

デフォルト値:

SpeakerAndMicrophone

Bluetooth 構成

xConfiguration Bluetooth Allowed

適用先: *RoomBar DeskPro DeskMini Desk BoardPro*

必要なユーザー ロール: ADMIN

デバイスは、組み込みの Bluetooth® モジュールを備えています。デフォルトで、ユーザーはユーザーインターフェイスを使用してオンとオフを切り替えることができます。この設定を使用すると、管理者は Bluetooth 設定を無効にしてユーザーインターフェイスからセットアップできないようすることができます。

使用方法:

xConfiguration Bluetooth Allowed: *Allowed*

説明:

Allowed:

False/True

False: 管理者が Bluetooth をオフにし、ユーザーがユーザーインターフェイスからオンにすることはできません。

True: Bluetooth が許可されます。ユーザーがユーザーインターフェイスを使用してオンとオフを切り替えることができます。

デフォルト値:

True

xConfiguration Bluetooth Enabled

適用先: *RoomBar DeskPro DeskMini Desk BoardPro*

必要なユーザー ロール: ADMIN

Bluetooth® 接続が許可されている場合 (Bluetooth 許可設定を参照)、この設定を使用して Bluetooth を有効および無効にすることができます。ビデオ会議デバイスは HFP (ハンズフリー プロファイル) と A2DP (高度なオーディオ配信プロファイル) のプロファイルをサポートします。A2DP だけをサポートするヘッドセットは使用できません。

使用方法:

xConfiguration Bluetooth Enabled: *Enabled*

説明:

Enabled:

False/True

False: Bluetooth は無効になり、ビデオ会議デバイスと Bluetooth デバイスはペアリングできません。

True: Bluetooth が有効になり、ペアリングを行って Bluetooth ヘッドセットを使用することができます。

デフォルト値:

False

予約構成

xConfiguration Bookings ProtocolPriority

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザー ロール: ADMIN

ビデオデバイスは、Webex クラウドで提供されるサービスである Cloud Video Interop (CVI) ゲートウェイ経由で SIP を使用するか、Microsoft Teams ミーティング Web アプリ (WebRTC) を実行することで、Microsoft Teams 会議に参加できます。

Microsoft Teams の会議に参加するには、カレンダーサービスを利用します。また、オンプレミスサービスに登録され、Webex Edge for Devices にリンクされているデバイス、および Webex クラウドサービスに登録されているデバイスで利用できます。

使用方法:

xConfiguration Bookings ProtocolPriority: *ProtocolPriority*

説明:

ProtocolPriority:

Auto/WebRTC

Auto: ミーティングの招待に CVI アドレスがある場合、デバイスは SIP/CVI 経由で Microsoft Teams の会議に参加します。それ以外の場合、WebRTC が使用されます。

WebRTC: デバイスは常に Microsoft Teams の会議に WebRTC を使用します。

デフォルト値:

Auto

BYOD の設定

xConfiguration BYOD HidForwarding Enabled

適用先: [DeskPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

ラップトップ用の外付けマウスまたはキーボード (有線 USB または USB ドングル) を使用する場合、ラップトップに直接接続する代わりに、ビデオ会議デバイスの USB ポートにそれらを接続できます。

使用方法:

xConfiguration BYOD HidForwarding Enabled: Enabled

説明:

Enabled:

False/True

False: 外付けマウスまたはキーボードをラップトップに直接接続する必要があります。

True: ラップトップ用の外部マウスまたはキーボードをビデオ会議デバイスに接続できます。

デフォルト値:

False

xConfiguration BYOD QRCodePairing

適用先: [DeskPro](#) [DeskMini](#) [Desk](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN

ユーザーが QR コードを使用して、Webex アプリを介して携帯電話とビデオ会議デバイスをペアリングできるかどうかを制御します。有効にすると、ユーザーはデバイスの画面に表示される QR コードをスキャンして、ペアリングプロセスが完了するのを待ちます。

この設定は、ホットデスクング用に設定されたデバイスにのみ適用されます。これは、デバイスが共有モードであり、Webex クラウドサービスに登録されているか、Edge for Devices にリンクされている必要があることを意味します。

使用方法:

xConfiguration BYOD QRCodePairing: QRCodePairing

説明:

QRCodePairing:

Disabled/Enabled

Enabled: デバイスの画面に QR コードがあり、ユーザーはそれをスキャンしてデバイスにサインインできます。

Disabled: デバイスに QR コードがありません。ユーザーは別の方法 (NFC ペアリングまたは USB-C) でサインインする必要があります。

デフォルト値:

Enabled

xConfiguration BYOD TouchForwarding Enabled

適用先: [DeskPro](#) [Board](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

この設定を使用すると、タッチリダイレクト機能を有効または無効にすることができます。タッチリダイレクトを使用すると、Board またはビデオデバイスのタッチスクリーンからラップトップを制御できます。ラップトップは、HDMI ケーブル (有線共有) と USB-C ケーブルによってデバイスに接続する必要があります。デバイスからラップトップへの接続には、USB-C - USB-C ケーブルまたは USB-C - USB-A ケーブルを使用できます。

第 1 世代の Boards (Board 55 および 70) にはこの機能はありません。

使用方法:

xConfiguration BYOD TouchForwarding Enabled: Enabled

説明:

Enabled:

False/True

False: タッチ リダイレクトが無効になります。

True: タッチ リダイレクトが有効になります。

デフォルト値:

True

xConfiguration BYOD USBCXapi

適用先: *DeskPro DeskMini Desk*

必要なユーザー ロール: ADMIN

この設定は、ラップトップが USB-C ケーブルで接続されたときにビデオデバイスと自動的にペアリングするかどうかを決定します。

使用方法:

xConfiguration BYOD USBCXapi: USBCXapi

説明:

USBCXapi:

Disabled/Enabled

Disabled: デバイスは自動的にペアリングされません。

Enabled: USB-C ケーブルで接続すると、デバイスがペアリングされます。

デフォルト値:

Enabled

CallHistory の設定

xConfiguration CallHistory モード

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザー ロール: ADMIN, INTEGRATOR

不在着信や応答されなかったコールを含めて、発着信コールに関する情報を保存するかどうかを指定します (通話履歴)。これにより、ユーザーインターフェイスの [履歴 (Recents)] リストに会議が表示されるかどうかが決まります。

使用方法:

xConfiguration CallHistory Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off: 新しいエントリが通話履歴に追加されません。

On: 新しいエントリは通話履歴一覧に保存されます。

デフォルト値:

On

Cameras の設定

xConfiguration Cameras Background Enabled

適用先: *DeskPro DeskMini Desk*

必要なユーザー ロール: admin, user

カメラの背景機能を有効または無効にします。

[カメラの背景 (Camera Background)] 機能を使用すると実際の環境の代わりに、仮想背景 (つまり、画像やエフェクト) をカメラビューの背景として表示できます。カメラの背景設定コマンドを有効にするには、この設定を有効にする必要があります。

使用方法:

xConfiguration Cameras Background Enabled: Enabled

説明:

Enabled:

False/True

True: カメラの背景機能を有効にします。

False: カメラの背景機能を無効にします。

デフォルト値:

True

xConfiguration Cameras Background UserImagesAllowed

適用先: *DeskPro DeskMini Desk*

必要なユーザー ロール: ADMIN

ユーザーが会議やコール中に仮想背景としてカスタム画像を使用する機能を有効または無効にします。

この機能にアクセスするには、カメラ 背景 有効 (Cameras Background Enabled) 設定も有効にする必要があります。

使用方法:

xConfiguration Cameras Background UserImagesAllowed: UserImagesAllowed

説明:

UserImagesAllowed:

False/True

True: 仮想背景としてカスタム画像を使用できます。

False: 仮想背景としてカスタム画像の使用を無効にします。

デフォルト値:

False

xConfiguration Cameras Camera [n] AssignedSerialNumber

適用先: *CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro*

必要なユーザー ロール: ADMIN, INTEGRATOR

カメラ ID は、Camera [n] の数字 n です。デフォルトでは、カメラ ID はカメラに自動的に割り当てられます。EDID 情報がカメラからビデオ会議デバイスに送信されない場合、カメラ ID は再起動後に保持されません。これは、ビデオ会議デバイスの再起動時にカメラが新しいカメラ ID を取得する可能性があることを意味します。

ビデオ会議デバイスが複数のカメラから EDID 情報を受信しない構成を考慮するには、カメラ カメラ シリアル番号の割り当て設定を使用する必要があります。この設定は、カメラ ID をカメラのシリアル番号に関連付けることでカメラにカメラ ID を割り当てられるようにします。この設定はビデオ会議デバイスが工場出荷時の状態にリセットされるまで維持されます。

ビデオ会議デバイスが EDID 情報を受信しない一般的な原因として、そのような情報を渡さない HDMI リピーターを使用していることが挙げられます。

使用方法:

xConfiguration Cameras Camera [n] AssignedSerialNumber:

"AssignedSerialNumber"

説明:

n: カメラを識別する固有 ID。

範囲: 1..3 [*CodecEQ CodecPlus Room70/Room55D*]

範囲: 1 ~ 7 [*CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama*]

範囲: 2..7 [*BoardPro*]

AssignedSerialNumber:

文字列 (0, 20)

カメラのシリアル番号。

デフォルト値:

" "

xConfiguration Cameras Camera [n] Backlight DefaultMode

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [BoardPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

逆光補正を On または Off にします。逆光補正は、部屋の中で人物の背後に強い光がある場合に役立ちます。逆光補正がないと、こちらの画像が相手に非常に暗い状態で見えることがあります。

この設定は、Board Pro の内蔵カメラには適用されません。Cameras Camera Brightness Algorithm が [平均 (Average)] に設定されていない場合、Quad Camera および Room 55 Dual、Room 70、Room 70 G2、Room 70 Panorama または Room Panorama の内蔵カメラには適用されません。これらのカメラは部屋の明るさの状態に基づいて自動的に調整します。

使用方法:

xConfiguration Cameras Camera [n] Backlight DefaultMode: DefaultMode

説明:

n: カメラを識別する固有 ID。

範囲: 1..3 [[CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [Room70/Room55D](#)]

範囲: 1 ~ 7 [[CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

範囲: 2..7 [[BoardPro](#)]

DefaultMode:

Off/On

Off: カメラの逆光補正をオフにします。

On: カメラの逆光補正をオンにします。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Cameras Camera [n] Brightness Algorithm

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [BoardPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

カメラの明るさアルゴリズムを指定します。

使用方法:

xConfiguration Cameras Camera [n] Brightness Algorithm: Algorithm

説明:

n: カメラを識別する固有 ID。

範囲: 1..3 [[CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [Room70/Room55D](#)]

範囲: 1 ~ 7 [[CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

範囲: 2..7 [[BoardPro](#)]

アルゴリズム:

Auto/Average/FaceOptimized

Auto: カメラの明るさアルゴリズムはデバイスによって自動的に設定されます。

Average: 従来の明るさアルゴリズムが適用されます。これは画像領域全体を使用して明るさを計算します。

FaceOptimized: 明るさは、人が検出された領域を重み付けして計算されます。これには、自動逆光補正が含まれます。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration Cameras Camera [n] Brightness DefaultLevel

適用先: [RoomKit](#) [RoomKitMini](#) [RoomBar](#) [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room55](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [DeskPro](#) [DeskMini](#) [Desk](#) [BoardPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

輝度レベルを設定します。Cameras Camera Brightness Mode を [手動 (Manual)] に設定する必要があります。

使用方法:

xConfiguration Cameras Camera [n] Brightness DefaultLevel: DefaultLevel

説明:

n: カメラを識別する固有 ID。

範囲: 1..1 [[RoomKit](#) [RoomKitMini](#) [RoomBar](#) [Room55](#) [DeskPro](#) [DeskMini](#) [Desk](#)]

範囲: 1..3 [[CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [Room70/Room55D](#)]

範囲: 1..7 [[CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [BoardPro](#)]

DefaultLevel:

整数 (1 ~ 31)

明るさレベル。数値が高いほど、画像が明るくなります。

デフォルト値:

20

xConfiguration Cameras Camera [n] Brightness Mode

適用先: [RoomKit](#) [RoomKitMini](#) [RoomBar](#) [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room55](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [DeskPro](#) [DeskMini](#) [Desk](#) [BoardPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

[輝度モード (Brightness Mode)] が [自動 (Auto)] に設定されている場合、輝度が設定され、現在の照明状態に基づいてデバイスが継続的に調整します。[手動 (Manual)] モードでは自動調整はされないため、Cameras Camera Brightness DefaultLevel 設定を使用して、輝度レベルを手動で設定します。

使用方法:

xConfiguration Cameras Camera [n] Brightness Mode: Mode

説明:

n: カメラを識別する固有 ID。

範囲: 1..1 [[RoomKit](#) [RoomKitMini](#) [RoomBar](#) [Room55](#) [DeskPro](#) [DeskMini](#) [Desk](#)]

範囲: 1..3 [[CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [Room70/Room55D](#)]

範囲: 1..7 [[CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [BoardPro](#)]

Mode:

Auto/Manual

Auto: デバイスがカメラの輝度を自動調整します。Cameras Camera Brightness DefaultLevel 設定は効果はありません。

Manual: カメラの輝度レベルを手動調整を有効にします。明るさのレベルは、Cameras Camera Brightness DefaultLevel 設定を使用して設定します。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration Cameras Camera [n] IrCutFilter Mode

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [BoardPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

この設定は PTZ 4K カメラにのみ適用され、他のカメラには影響しません。

IR カットフィルタ (赤外線カットフィルタ) は、近赤外線の波長をカットし、可視光を通過させるフィルタです。通常の照明環境の場合、赤外線による不要な副作用を避けるため、フィルタを On ([日中 (Day)] モード) にする必要があります。ただし、カメラで暗い場所で画像を撮影する場合は、赤外線を利用できるようにフィルタを Off ([夜間 (Night)] モード) にする必要があります。

使用方法:

xConfiguration Cameras Camera [n] IrCutFilter Mode: Mode

説明:

n: カメラを識別する固有 ID。

範囲: 1..3 [[CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [Room70/Room55D](#)]

範囲: 1 ~ 7 [[CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

範囲: 2..7 [[BoardPro](#)]

Mode:

自動/日中/夜間

自動: 輝度の変化に基づき [日中 (Day)] モードと [夜間 (Night)] モードを自動的に切り替えます。2 つのモードをいつ切り替えるかを制御する方法については、「IrCutFilter しきい値設定」を参照してください。

日中: IR カットフィルタが On です。

夜間: IR カットフィルタが Off です。

デフォルト値:

日中

xConfiguration Cameras Camera [n] IrCutFilter Threshold

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [BoardPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

この設定は、Cameras Camera [n] IrCutFilter Mode が [自動 (Auto)] に設定されている場合に有効です。つまり、カメラが自動で [日中 (Day)] モードと [夜間 (Night)] モードに切り替わるように設定されている場合に有効です。しきい値が高いほど、[日中 (Day)] モードへの切り替えをトリガーするために必要な光量が多くなります。

使用方法:

xConfiguration Cameras Camera [n] IrCutFilter Threshold: Threshold

説明:

n: カメラを識別する固有 ID。

範囲: 1..3 [[CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [Room70/Room55D](#)]

範囲: 1 ~ 7 [[CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

範囲: 2..7 [[BoardPro](#)]

しきい値:

整数 (0 ~ 255)

数値が高いほど、[日中 (Day)] モードに切り替えるために必要な環境光が多くなります。

デフォルト値:

14

xConfiguration Cameras Camera ExposureCompensation Level

適用先: [DeskPro](#) [DeskMini](#) [Desk](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

カメラ画像が常に暗すぎる (露出不足) または明るすぎる (露出過多) 場合は、この設定を使用して対象の輝度を補正できます。輝度/露出は、継続して自動調整されます。この設定は、Cameras Camera Brightness Mode 設定が [自動 (Auto)] の場合のみ有効です。

使用方法:

xConfiguration Cameras Camera ExposureCompensation Level: Level

説明:

Level:

整数 (-3 ~ 3)

正の数に設定すると、キャプチャした画像の明るさが増します。負の数にすると暗くなります。

デフォルト値:

0

xConfiguration Cameras Camera [n] Flip

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [BoardPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

Flip モード (垂直 Flip) を使用すると画像を上下に反転できます。反転は、セルフビューおよび遠端に送信されるビデオの両方に適用されます。

この設定は、Quad Camera、PTZ-12 カメラ、または Board Pro、Room 55 Dual、Room 70、Room 70 G2、Room 70 Panorama や Room Panorama の内蔵カメラでサポートされています。

使用方法:

xConfiguration Cameras Camera [n] Flip: [Flip](#)

説明:

n: カメラを識別する固有 ID。

範囲: 1..3 [[CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [Room70/Room55D](#)]

範囲: 1 ~ 7 [[CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

範囲: 2..7 [[BoardPro](#)]

[Flip](#):

Auto/Off/On

Auto: 上下逆にマウントされたことをカメラが検出すると、画像が自動的に反転します。上下逆にマウントされたかどうかをカメラが自動的に検出できない場合、画像は変更されません。たとえば、Sony PTZ 4K カメラは上下逆さまであることを自動検出できません。上下逆に取り付ける場合は、このパラメータを On に設定する必要があります。

Off: 画像を通常の方法で画面に表示します。

On: 画像を上下反転させて表示します。この設定は、カメラが上下逆にマウントされたが、マウント方向を自動的に検出できない場合に使用されます。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration Cameras Camera [n] Focus Mode

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [BoardPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

カメラのフォーカス モードを定義します。

使用方法:

xConfiguration Cameras Camera [n] Focus Mode: [Mode](#)

説明:

n: カメラを識別する固有 ID。

範囲: 1..3 [[CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [Room70/Room55D](#)]

範囲: 1 ~ 7 [[CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

範囲: 2..7 [[BoardPro](#)]

[Mode](#):

Auto/AutoLimited/Manual [[CodecPlus](#) [CodecPro](#)]

Auto/Manual [[CodecEQ](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [BoardPro](#)]

Auto: オート フォーカスの動作は製品によって異なります。Room 55 Dual、Room 70、Room 70 G2、Room 70 Panorama、Room Panorama の場合、Quad Camera をコーデック (Codec EQ、Codec Plus または Codec Pro) と一緒に使用する場合、会議がつながらなかった時点、およびビューが変更された後にカメラがシングル ショット オート フォーカスを行います。

Precision 60 または PTZ 4K カメラを使用する場合、カメラは連続自動フォーカスを行います。この場合、通話がつながったとき、パン、チルト、ズームが行われたとき、またカメラが風景の変化を識別したときに、オート フォーカスが実行されます。

AutoLimited: Codec Plus または Codec Pro を搭載した Precision 60 Camera を使用する際にこのモードが適用されます。ほとんどの場合、このモードはオート フォーカスと同様に動作します。[自動制限 (AutoLimited)] により、フォーカスの動作の精度が低下する場合があります。

問題が起こりやすいのは、コントラストがない、またはコントラストが低い広い場所 (装飾のない壁、または部分的に空白のあるホワイトボードなど) です。オート フォーカスと比べて、このモードを使用する方が、背景にフォーカスが合う可能性が高まります。

Manual: オート フォーカスをオフにし、カメラの焦点を手動で調整します。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration Cameras Camera [n] Gamma Level

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [BoardPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

ガンマ レベルを設定して、使用するガンマ修正テーブルを選択できます。この設定は、明るさの設定を変更しても十分な結果が得られない困難な光条件に役立つことがあります。Cameras Camera [n] Gamma Mode を [手動 (Manual)] に設定する必要があります。

この設定は、Quad Camera または Board Pro、Room 55 Dual、Room 70、Room 70 G2、Room 70 Panorama および Room Panorama の内蔵カメラには適用されません。これらのカメラは部屋の明るさの状態に基づいて自動的に調整します。また、この機能は、PTZ 4K カメラまたは PTZ-12 カメラではサポートされていません。

使用方法:

xConfiguration Cameras Camera [n] Gamma Level: Level

説明:

n: カメラを識別する固有 ID。

範囲: 1..3 [[CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [Room70/Room55D](#)]

範囲: 1 ~ 7 [[CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

範囲: 2..7 [[BoardPro](#)]

Level:

整数 (0..7) [[BoardPro](#)]

整数 (0..14) [[CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

ガンマ レベルを定義します。

デフォルト値:

0

xConfiguration Cameras Camera [n] Gamma Mode

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [BoardPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

この設定は、ガンマ補正を有効にします。ガンマは、画像ピクセルとモニターの明るさとの間の関係を表します。

この設定は、Quad Camera または Board Pro、Room 55 Dual、Room 70、Room 70 G2、Room 70 Panorama および Room Panorama の内蔵カメラには適用されません。これらのカメラは部屋の明るさの状態に基づいて自動的に調整します。また、この機能は、PTZ 4K カメラまたは PTZ-12 カメラではサポートされていません。

使用方法:

xConfiguration Cameras Camera [n] Gamma Mode: Mode

説明:

n: カメラを識別する固有 ID。

範囲: 1..3 [[CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [Room70/Room55D](#)]

範囲: 1 ~ 7 [[CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

範囲: 2..7 [[BoardPro](#)]

Mode:

Auto/Manual

Auto: 自動がデフォルトであり、推奨設定です。

Manual: 手動モードではガンマ値はガンマ レベル設定で変更されます。「Cameras Camera [n] Gamma Level」を参照してください。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration Cameras Camera [n] Mirror

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [BoardPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

ミラー モード (水平反転) を使用して画面の画像を反転できます。ミラーリングは、セルフビューおよび遠端に送信されるビデオの両方に適用されます。スピーカー トラッキングがオンのときはミラーリングが自動的に無効になります。

この設定は、Precision 60 Camera を使用する時のみ適用されます。ただし、Cameras Camera [n] Flip 設定がオンの場合、PTZ 4K カメラは自動で画像をミラーリングします。

使用方法:

xConfiguration Cameras Camera [n] Mirror: Mirror

説明:

n: カメラを識別する固有 ID。

範囲: 1..3 [[CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [Room70/Room55D](#)]

範囲: 1 ~ 7 [[CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

範囲: 2..7 [[BoardPro](#)]

Mirror:

Auto/Off/On

Auto: 上下逆にマウントされたことをカメラが検出すると、画像が自動的に反転します。上下逆にマウントされたかどうかをカメラが自動的に検出できない場合、画像は変更されません。

Off: 他人から見えている自分のように画像を表示します。

On: 鏡に映っている自分のように画像を表示します。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration Cameras Camera [n] Whitebalance Mode

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [BoardPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

カメラのホワイト バランス モードを定義します。

Board Pro の内蔵カメラは、室内照明環境に基づいて自動調整するため、この設定は適用されません。

使用方法:

xConfiguration Cameras Camera [n] Whitebalance Mode: Mode

説明:

n: カメラを識別する固有 ID。

範囲: 1..3 [[CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [Room70/Room55D](#)]

範囲: 1 ~ 7 [[CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

範囲: 2..7 [[BoardPro](#)]

Mode:

Auto/Manual

Auto: カメラはカメラのビューに合わせて常にホワイト バランスを調整します。

Manual: カメラのホワイトバランスの手動設定を有効にします。ホワイト バランスのレベルは Cameras Camera [n] Whitebalance Level 設定を使用して設定します。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration Cameras Camera [n] Whitebalance Level

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [BoardPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

ホワイトバランスのレベルを定義します。Cameras Camera [n] Whitebalance Mode を [手動 (Manual)] に設定する必要があります。

Board Pro の内蔵カメラは、室内照明環境に基づいて自動調整するため、この設定は適用されません。また、PTZ 4K と PTZ-12 カメラは、[ホワイトバランス (Whitebalance)] モードが [手動 (Manual)] に設定されている場合、Sony の [ワンブッシュ (One Push)] モードを使用するため、この設定は適用されません。

使用方法:

xConfiguration Cameras Camera [n] Whitebalance Level: Level

説明:

n: カメラを識別する固有 ID。

範囲: 1..3 [[CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [Room70/Room55D](#)]

範囲: 1 ~ 7 [[CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

範囲: 2..7 [[BoardPro](#)]

Level:

整数 (1 ~ 16)

ホワイトバランスのレベル。

デフォルト値:

1

xConfiguration Cameras Camera Framerate

適用対象: [RoomKit](#) [RoomKitMini](#) [Room55](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN

デフォルトとして、カメラは 1 秒あたり 30 フレームを出力します。これにより、通常の帯域と照明条件であってもクローズアップと広い視野両方の画像の品質が良くなります。条件がさらに良い場合、カメラから 1 秒あたり 60 フレームの出力となり、全般的に良い品質となる可能性があります。

使用方法:

xConfiguration Cameras Camera Framerate: Framerate

説明:

Framerate:

30/60

30: カメラは、1 秒あたり 30 フレームを出力します。

60: カメラは 1 秒あたり 60 フレームを出力します。

デフォルト値:

30

xConfiguration Cameras PowerLine Frequency

適用先: [RoomKit](#) [RoomKitMini](#) [RoomBar](#) [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room55](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [DeskPro](#) [DeskMini](#) [Desk](#) [BoardPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

カメラが電源周波数フリッカー防止をサポートしている場合、カメラは電源からのすべてのフリッカノイズを補うことができます。このカメラ設定はお使いの電源周波数に基づいて設定する必要があります。カメラが電源周波数の自動検出をサポートしている場合、設定で Auto オプションを選択できます。

シスコのカメラは、フリッカ防止と電源周波数の自動検出の両方をサポートしています。Auto はデフォルト値であるため、自動検出をサポートしないカメラの場合、この設定を変更する必要があります。

使用方法:

xConfiguration Cameras PowerLine Frequency: Frequency

説明:

Frequency:

50Hz/60Hz/Auto

50Hz: 電線周波数が 50 Hz の場合、この値を使用します。

60Hz: 電線周波数が 60 Hz の場合、この値を使用します。

Auto: カメラが電源周波数を自動検出できるようにします。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration Cameras PresenterTrack CameraPosition Pan

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [BoardPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

この機能が有効化されている場合に、プレゼンタ追跡カメラ (PTZ 4K または Precision 60 Camera) をどのパンの位置に動かすかを定義します。

使用方法:

xConfiguration Cameras PresenterTrack CameraPosition Pan: Pan

説明:

パン:

整数 (-65535 ~ 65535)

パン ポジション。

デフォルト値:

0

xConfiguration Cameras PresenterTrack CameraPosition Tilt

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [BoardPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

この機能が有効化されている場合に、プレゼンタ追跡カメラ (PTZ 4K または Precision 60 Camera) をどのチルトの位置に動かすかを定義します。

使用方法:

xConfiguration Cameras PresenterTrack CameraPosition Tilt: Tilt

説明:

チルト:

整数 (-65535 ~ 65535)

チルト ポジション。

デフォルト値:

0

xConfiguration Cameras PresenterTrack CameraPosition Zoom

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [BoardPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

この機能が有効化されている場合に、プレゼンタ追跡カメラ (PTZ 4K または Precision 60 Camera) をどのズームの位置に動かすかを定義します。

使用方法:

xConfiguration Cameras PresenterTrack CameraPosition Zoom: Zoom

説明:

ズーム:

整数 (-65535 ~ 65535)

ズーム ポジション。

デフォルト値:

0

xConfiguration Cameras PresenterTrack Connector

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [BoardPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

プレゼンタ追跡カメラ (PTZ 4K または Precision 60 Camera) を接続するビデオ入力コネクタを定義します。

使用方法:

xConfiguration Cameras PresenterTrack Connector: Connector

説明:

コネクタ:

整数 (1..6) [[CodecEQ](#) [CodecPro](#) [Room70G2](#)]

整数 (1..3) [[CodecPlus](#) [Room70/Room55D](#)]

整数 (3..3) [[BoardPro](#)]

ビデオ入力コネクタ。

デフォルト値:

1 [[CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#)]

3 [[BoardPro](#)]

xConfiguration Cameras PresenterTrack Enabled

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [BoardPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

PresenterTrack 機能を使用可能にするかどうかを定義します。この機能には、プレゼンタ追跡カメラとして PTZ 4K または Precision 60 Camera が必要です。

使用方法:

xConfiguration Cameras PresenterTrack Enabled: Enabled

説明:

Enabled:

False/True

False: PresenterTrack 機能が無効になります。

True: PresenterTrack 機能を使用できます。

デフォルト値:

False

xConfiguration Cameras PresenterTrack PresenterDetectedStatus

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [BoardPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

ブリーフィングルームと教室のシナリオ (ルーム タイプ テンプレート) で、リモート プレゼンタ モードと遠隔地のプレゼンタ モードを自動切り替えを有効にするか無効にするかを定義します。自動切り替えとは、PresenterTrack のトリガーゾーン内で人物が検出されるとデバイスがローカル プレゼンタ モードに切り替わり、ローカル プレゼンタがステージから退出するとリモート プレゼンタ モードに戻ることを意味します。

この設定を有効にすると、新しい人物がトリガーゾーンに入ったときに、Cameras PresenterTrack PresenterDetected ステータスが更新されます。

Precision 60 および PTZ 4K カメラのみがプレゼンタ追跡に対応しています。Codec EQ、Codec Plus、Room 70 および Room 55 Dual は、ブリーフィングルームに対応していません。ブリーフィングルームも教室もサポートされていないため、この設定は Board Pro には適用されません。

使用方法:

xConfiguration Cameras PresenterTrack PresenterDetectedStatus:

PresenterDetectedStatus

説明:

PresenterDetectedStatus:

Disabled/Enabled

Disabled: モードの自動切り替えは行われません。

Enabled: ローカル プレゼンタ モードと遠隔地のプレゼンタ モードが自動的に切り替わります。

デフォルト値:

Enabled

xConfiguration Cameras PresenterTrack TriggerZone

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [BoardPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

トリガーゾーンを定義します。このゾーンに対応する領域で人物の頭部が検出されると、プレゼンタ追跡が開始されます。

形式は、文字列型の 2 組の x 座標と y 座標 (x1,y1,~xn,yn) です。x の範囲は (0, 1920) で、y の範囲は (0, 1080) です。2 組の座標により、長方形のトリガーゾーンの左上隅と右下隅が定義されます。座標が 3 組以上になると、多角形のトリガーゾーンの頂点が定義されます。

この機能には、プレゼンタ追跡カメラとして PTZ 4K または Precision 60 Camera が必要です。

使用方法:

xConfiguration Cameras PresenterTrack TriggerZone: "TriggerZone"

説明:

TriggerZone:

文字列 (0, 255)

トリガーゾーンの座標。

デフォルト値:

" "

xConfiguration Cameras SpeakerTrack DefaultBehavior

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

デバイスの自動フレーミング機能は、カメラによって異なります。主なフレーミング機能として、[ベストオーバービュー (Best overview)] (室内のすべての人を認識する最小のフレーム)、[クローズアップ (Closeup)] (発言者や発言者に近い人たちにズームイン)、および [フレーム (Frames)] (室内のすべての人たちの接写で構成し、余分な背景を取り除く) が挙げられます。

会議後にカメラを戻すカメラのデフォルト フレーミング モードを選択します。会議中と会議外の両方で、ユーザーインターフェイスから別のモードに変更できます。

使用方法:

xConfiguration Cameras SpeakerTrack DefaultBehavior: [DefaultBehavior](#)

説明:

[DefaultBehavior](#):

Auto/BestOverview/Closeup/Current/Frames/Manual [*RoomKit RoomBar CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama Board BoardPro*]

Auto/BestOverview/Current/Manual [*DeskPro DeskMini Desk*]

Auto/BestOverview/Current/Frames/Manual [*RoomKitMini*]

Auto: BestOverview と同じです。

BestOverview: デフォルトのフレーミングモードは、[ベストオーバービュー (Best overview)] です。

Closeup: デフォルトのフレーミングモードは、[クローズアップ (Closeup)] (発言者追跡)。

Current: 会議を終了しても、その当時のフレーミングモードが維持されます。

Frames: デフォルトのフレーミングモードは、[フレーム (Frames)] です。

Manual: カメラを手動制御します。パン、チルト、ズームの値は、会議を終了しても変更されません。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration Cameras SpeakerTrack Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

スピーカー トラッキングやベスト オーバービューのサポートでカメラを使用する場合のみ、この設定が適用されます。

Quad Camera: 発言者追跡は自動カメラフレーミングを使用し、部屋にいる人の場所に基づいて最適なカメラ表示を選択します。Quad Cameraは、通話中のスピーカーのクローズアップを検索してキャプチャするオーディオ トラッキング技術を使用します。

SpeakerTrack 60 Camera: デュアルカメラアセンブリは、2 台のカメラで構成され、発言者のクローズアップを検索してキャプチャするオーディオ追跡技術を使用します。スピーカーの変更が検出された場合、ビデオ会議デバイスでは、最適なカメラのビューが常に適用されるように、2 台のカメラを自動的に切り替えることができます。異なるスイッチング モードについては、「Cameras SpeakerTrack TrackingMode」設定を参照してください。

内蔵発言者追跡カメラ付きビデオ会議デバイス (Room Kit、Room 55、Room 55 Dual、Room 70、Room 70 G2、Room 70 Panorama、Room Panorama、Board、Board Pro): 発言者追跡は自動カメラフレーミングを使用し、室内の人の場所に基づいて最適なカメラビューを選択します。カメラは、通話中のスピーカーのクローズアップを検索してキャプチャするオーディオトラッキング技術を使用します。

[ベストオーバービュー (Best overview)] をサポートしていない発言者追跡 (Room Bar、Room Kit Mini および Desk Series 製品) は搭載していないカメラ搭載ビデオ会議デバイス: [ベストオーバービュー (Best overview)] はユーザーが部屋のどこにいるかに基づいて最適なカメラ ビューを選択するために、自動カメラフレーミングを使用します。

使用方法:

xConfiguration Cameras SpeakerTrack Mode: [Mode](#)

説明:

[Mode](#):

Auto/Off

Auto: 発言者追跡 (Room Bar、Room Kit Mini、or Desk Series 製品は未対応) および [ベストオーバービュー (Best overview)] がオンになります。デバイスが室内の人々を検出して自動的に最適なカメラフレーミングを選択します。ユーザーは、タッチコントロールのカメラのコントロールパネルで、機能のオン/オフを即座に切り替えることができますが、その機能は、各コールの後に再度オンになり、デバイスが次のユーザーに対応できるようになります。

Off: 発言者追跡 (Room Bar、Room Kit Mini または Desk Series 製品は未対応) および [ベストオーバービュー (Best overview)] が Off になります。SpeakerTrack 60 Camera アセンブリがある場合、2 台のカメラは個別に動作します。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration Cameras SpeakerTrack Closeup

適用先: [RoomKit](#) [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room55](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#)
[RoomPanorama/Room70Panorama](#) [Board](#) [BoardPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

[クローズアップ (Closeup)] と [グループフレーミング (Group framing)] 機能を On または Off にします。

Cameras SpeakerTrack Mode が [自動 (Auto)] に設定されている場合のみ、この設定が適用されます。クローズアップ機能をオンにすると、人が話していることがデバイスによって検出され、その人が映るように最適なフレーミングが選択されます。これはクローズ アップといい、室内のすべての人を含まない場合があります。室内のすべての人を常に表示しておきたい場合、クローズ アップ機能をオフにできます。

使用方法:

xConfiguration Cameras SpeakerTrack Closeup: [Closeup](#)

説明:

[Closeup](#):

Auto/Off/On

Auto: 動作はデバイスのタイプによって異なります。Board 55/55S/70/70S/85S および Board Pro は、室内にいる全員を常にカメラフレーム内に収まるようにする一方で、その他デバイスは、アクティブな発言者のみまたはアクティブな発言者とその近くにいる参加者 (グループフレーム) のいずれかにズームインします。

Off: デバイスは、室内のすべての人が常にカメラのフレームに入るように維持されます。

On: デバイスは、発言者またはグループフレームにズームインします。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration Cameras SpeakerTrack TrackingMode

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [BoardPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

この設定は、SpeakerTrack 60 カメラを使用している場合に Cameras SpeakerTrack Mode が [自動 (Auto)] に設定されている場合のみに適用されます。

スピーカーのトラッキング アルゴリズムは、2 つのモード (高速なモードと低速なモード) の変更に応じて変わります。このモードは、カメラのビューが新しいスピーカーに移行するタイミングを決定します。

使用方法:

xConfiguration Cameras SpeakerTrack TrackingMode: [TrackingMode](#)

説明:

[TrackingMode](#):

Auto/Conservative

Auto: 通常トラッキング モードです。

Conservative: カメラのビューは、通常モードよりも遅いタイミングで新しいスピーカーに移行します。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration Cameras SpeakerTrack ConnectorDetection Mode

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

この設定は、SpeakerTrack 60 camera がビデオ会議デバイスに接続された時のみに適用されます。個々のカメラが接続されているビデオ入力を自動的に検出するか、それとも手動で設定するかを定義します。ビデオ会議デバイスがカメラから EDID 情報を受信しない状況の場合、手動設定を選択する必要があります。通常、これは、EDID 情報を送信しない HDMI リピータを使用する場合に当てはまります。

使用方法:

xConfiguration Cameras SpeakerTrack ConnectorDetection Mode: [Mode](#)

説明:

[Mode](#):

Auto/Manual

Auto: カメラが接続されているビデオ入力を自動的に検出します。

Manual: カメラが接続されているビデオ入力を手動で定義します。Cameras SpeakerTrack ConnectorDetection CameraLeft および Cameras SpeakerTrack ConnectorDetection CameraRight 設定を使用します。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration Cameras SpeakerTrack ConnectorDetection CameraLeft

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

SpeakerTrack 60 の左側のカメラが接続されているビデオ入力の数値を定義します。

この設定は、SpeakerTrack 60 camera がビデオ会議デバイスに接続された時のみに適用されません。さらに、Cameras SpeakerTrack ConnectorDetection Mode を Manual に設定する必要があります。

Codec EQ は SpeakerTrack 60 カメラをサポートしていません。

使用方法:

xConfiguration Cameras SpeakerTrack ConnectorDetection CameraLeft: [CameraLeft](#)

説明:

[CameraLeft](#):

整数 (1..5) [[CodecPro](#)]

整数 (1..3) [[CodecPlus](#)]

有効なビデオ入力の番号を設定します。たとえば、左側のカメラがビデオ入力 1 に接続されている場合は、1 に設定します。

デフォルト値:

1

xConfiguration Cameras SpeakerTrack ConnectorDetection CameraRight

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

SpeakerTrack 60 の右側のカメラが接続されているビデオ入力の数値を定義します。

この設定は、SpeakerTrack 60 camera がビデオ会議デバイスに接続された時のみに適用されません。さらに、Cameras SpeakerTrack ConnectorDetection Mode を Manual に設定する必要があります。

Codec EQ は SpeakerTrack 60 カメラをサポートしていません。

使用方法:

xConfiguration Cameras SpeakerTrack ConnectorDetection CameraRight:

[CameraRight](#)

説明:

[CameraRight](#):

整数 (1..5) [[CodecPro](#)]

整数 (1..3) [[CodecPlus](#)]

有効なビデオ入力の番号を設定します。たとえば、右側のカメラがビデオ入力 2 に接続されている場合は、2 に設定します。

デフォルト値:

2

xConfiguration Cameras SpeakerTrack Whiteboard Mode

適用先: [RoomKit](#) [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room55](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

この設定は、このソフトウェアバージョンではサポートされていない [ホワイトボードへのスナップ (Snap to whiteboard)] 機能に属しています。

使用方法:

xConfiguration Cameras SpeakerTrack Whiteboard Mode: [Mode](#)

説明:

Conference の設定

xConfiguration Conference AutoAnswer Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

自動応答モードを定義します。デバイスを使用してコールに回答する前に数秒間待機する場合は、Conference AutoAnswer Delay 設定を使用し、コールに回答するときにマイクをミュートする場合は Conference AutoAnswer Mute 設定を使用します。

使用方法:

xConfiguration Conference AutoAnswer Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off: タッチコントローラで [応答 (Answer)] をタップし、着信コールに手動で応答できます。

On: コール中でなければ、デバイスが自動的に着信コールに回答します。常に手動で、通話中の着信コールの応答や拒否が行えます。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Conference AutoAnswer Mute

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

着信コールに自動応答する場合にマイクをミュートにするかどうかを定義します。[自動応答モード (AutoAnswer Mode)] が有効にされている必要があります。

使用方法:

xConfiguration Conference AutoAnswer Mute: Mute

説明:

Mute:

Off/On

Off: 着信コールはミュートにされません。

On: 着信コールは自動的に応答されるときミュートにされます。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Conference AutoAnswer Delay

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

デバイスが自動応答するまで着信コールが待つ必要がある時間 (秒単位) を定義します。[自動応答モード (AutoAnswer Mode)] が有効にされている必要があります。

使用方法:

xConfiguration Conference AutoAnswer Delay: Delay

説明:

Delay:

整数 (0 ~ 50)

自動応答遅延 (秒単位)。

デフォルト値:

0

xConfiguration Conference CapsetFilter

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

この設定では、H.323 および SIP 呼び出しのメディアネゴシエーションでフィルタする必要があるメディアコーデックを指定できます。シスコと合意が成立済みで、デバッグの目的でのみ使用してください。

使用方法:

xConfiguration Conference CapsetFilter: "CapsetFilter"

説明:

CapsetFilter:

文字列 (0, 200)

フィルタ処理の定義。

デフォルト値:

" "

xConfiguration Conference DefaultCall Protocol

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

デバイスからコールを発信するときに使用するデフォルトのコール プロトコルを定義します。

使用方法:

xConfiguration Conference DefaultCall Protocol: Protocol

説明:

Protocol:

Auto/H323/Sip/Spark

Auto: 使用可能なプロトコルに基づいた通信プロトコルの自動選択をイネーブルにします。プロトコルが複数ある場合、優先順位は、1) SIP、2) H323 です。デバイスが登録を実行できない場合、自動選択により H323 が選択されます。

H323: すべてのコールが H.323 コールとして設定されます。

SIP: すべてのコールが SIP コールとして設定されます。

Spark: すべての会議は Webex インフラストラクチャ経由でセットアップされます。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration Conference DefaultCall Rate

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

発信する際のデフォルトのコールレートを定義します。Webex Meetings の場合、このデフォルトは、Conference DefaultCall Webex Rate 設定によってオーバーライドされます。

コールレートは、Conference MaxReceiveCallRate および Conference MaxTransmitCallRate 設定により、常に制限されます。該当する場合は、Conference MaxMultisiteReceiveRate および Conference MaxMultiSiteTransmitRate によっても制限されます。

使用方法:

xConfiguration Conference DefaultCall Rate: Rate

説明:

Rate:

整数 (64..6000) [RoomKit RoomKitMini RoomBar CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 DeskPro DeskMini Desk BoardPro]

整数 (64..10000) [Board]

整数 (64..20000) [RoomPanorama/Room70Panorama]

デフォルトのコール レート (kbps)。

デフォルト値:

6000 [RoomKit RoomKitMini RoomBar CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 DeskPro DeskMini Desk BoardPro]

10000 [Board]

16000 [RoomPanorama / Room70Panorama]

xConfiguration Conference DefaultCall Webex Rate

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

この設定は、ソフトウェアバージョン RoomOS 11.2 以降で使用できます。

Webex Meetings で使用するデフォルトのコールレートを定義します。この設定は、Webex クラウドサービスからソフトウェアを取得するデバイスにのみ適用されます。

コールレートは、Conference MaxReceiveCallRate および Conference MaxTransmitCallRate の設定によって常に制限されます。

使用方法:

xConfiguration Conference DefaultCall Webex Rate: Rate

説明:

Rate:

整数 (0..20000) [RoomBar CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro]

整数 (0..10000) [Board]

整数 (0..6000) [RoomKit RoomKitMini CodecPlus Room55 Room70/Room55D]

デフォルト コール レート (kbps) です。0 に設定すると、デフォルトのコールレートは Conference DefaultCall Rate 設定によって定義されます。

デフォルト値:

0 [RoomKit RoomKitMini RoomBar CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro]

10000 [Board]

xConfiguration Conference DoNotDisturb DefaultTimeout

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

この設定は [サイレント (Do Not Disturb)] セッションのデフォルト期間、つまり着信通話が拒否され、不在履歴として登録される時間を決定します。セッションは、ユーザ インターフェイスを使用して早期に終了できます。

使用方法:

xConfiguration Conference DoNotDisturb DefaultTimeout: DefaultTimeout

説明:

DefaultTimeout:

整数 (1 ~ 1440)

DoNotDisturb (着信拒否) セッションが自動的にタイムアウトするまでの分数 (最大 1440 分、つまり 24 時間)。

デフォルト値:

60

xConfiguration Conference EmbeddedApp NotificationsOnly

適用先: DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

組み込みアプリのサポートにより、Webex クライアントを使用している会議参加者が開始したアプリをデバイスで確認したり、操作することができます。

管理者は、デバイスに実際のアプリを表示するか、アプリが共有されているという通知だけを表示するかを設定できます。後者の場合、アプリを表示して操作するには、ミーティングクライアントを開く必要があります。

組み込みアプリは、デバイスの Web エンジンを使用しているため、WebEngine Mode 設定を On にする必要があります。

使用方法:

xConfiguration Conference EmbeddedApp NotificationsOnly: NotificationsOnly

説明:

NotificationsOnly:

False/True

False: ユーザーはデバイス組み込みアプリを表示して、操作することができます。

True: 組み込みアプリが共有されると通知が表示されます。デバイス上でアプリを表示したり、操作したりすることはできません。ミーティングクライアントを使用する必要があります。

デフォルト値:

False

xConfiguration Conference Encryption Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

会議の暗号化モードを定義します。会議が開始されると、数秒間画面に鍵と「Encryption On」または「Encryption Off」という文字が表示されます。

注: 暗号化オプション キーがデバイスにインストールされていない場合、暗号化モードは常に [オフ (Off)] になります。

使用方法:

xConfiguration Conference Encryption Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On/BestEffort

Off: デバイスは暗号化を使用しません。

On: デバイスは、暗号化されたコールだけを許可します。

BestEffort: デバイスは暗号化を可能な限り使用します。

> ポイントツーポイント コール: 相手先デバイスで暗号化 (AES-128) がサポートされている場合、コールは暗号化されます。そうでない場合は、コールは暗号化なしで送信されます。

> MultiSite コール: 暗号化されたマルチサイト会議を実現するためには、すべてのサイトが暗号化をサポートしている必要があります。そうでない場合は、会議は暗号化されません。

デフォルト値:

BestEffort

xConfiguration Conference EndToEndEncryption Identity PreferredDomain

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

デバイスが Webex のクラウドサービスに登録されているか、または Webex Edge for Devices にリンクされている場合にのみ使用できます。

この構成は、管理者が Control Hub からデバイスの優先ドメインを設定するときに行われます。組織に複数のドメインがある場合にのみ必要です。

デバイスは、Webex CA から証明書を要求するときにこのドメインを使用します。これにより、ドメインがデバイスを識別します。

この設定は、デバイスが自身を識別するためのアクティブな外部発行証明書を持っている場合は適用されません。

使用方法:

xConfiguration Conference EndToEndEncryption Identity PreferredDomain:

"PreferredDomain"

説明:

PreferredDomain:

文字列 (0、255)

デフォルト値:

""

xConfiguration Conference FarEndControl Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

リモート側 (遠隔地) でビデオソースの選択やデバイスのカメラ (パン、チルト、ズーム) の操作を許可するかどうかを決定します。ローカルでカメラを制御し、ビデオソースを選択することは引き続き可能です。

使用方法:

xConfiguration Conference FarEndControl Mode: Mode

説明:

Mode:

Auto/Off/On

自動: 発言者追跡が無効の場合のみ、ビデオソースの選択やカメラ操作が許可されます。パーソナルモードのデバイスでは遠隔操作は許可されません。

Off: 遠隔地でのビデオソースの選択やカメラ操作を許可しません。

On: 遠隔地でのすべてのデバイスでのビデオソースの選択やカメラ操作が許可されます (パーソナルと共有の両方)。デバイスが最初の FarEndControl Camera Move コマンドを受信すると、発言者追跡は無効になり、会議が終了すると再び有効になります。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration Conference FarEndControl SignalCapability

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

遠端制御 (H.224) 信号機能モードを定義します。

使用方法:

xConfiguration **会議の** FarEndControl SignalCapability: SignalCapability

説明:

SignalCapability

Off/On

Off: 遠端制御信号機能を無効にします。

On: 遠端制御信号機能を有効にします。

デフォルト値:

On

xConfiguration Conference FarendMessage Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

制御システムまたはマクロと併用するために、ポイントツーポイント コールにおける 2 台のデバイス間でデータ送信が許可されているかどうかを切り替えます。SIP コールでのみ動作します。この設定は、遠隔メッセージ送信コマンドの xCommand のコール使用を有効化または無効化します。

使用方法:

xConfiguration Conference FarendMessage Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off: 2 台のデバイス間でメッセージを送信できません。

On: ポイントツーポイント コールの 2 台のデバイス間でメッセージ送信を行うことができます。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Conference JoinLeaveNotifications

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

会議に出入りするユーザーの通知をいつ表示するかを指定します。

使用方法:

xConfiguration Conference JoinLeaveNotifications: JoinLeaveNotifications

説明:

JoinLeaveNotifications:

Always/Auto/Never

Always: 常にすべての通知を表示します。

Auto: 最初の 25 人の参加者の通知のみを表示します。

Never: 通知を表示しません。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration Conference MaxReceiveCallRate

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

コールの発信または受信時に使用する最大受信ビット レートを定義します。一般に、これは個々の会議の最大受信ビットレートです。

オンプレミス登録済みデバイスの場合、各会議の最大受信ビットレートは、Conference MaxReceiveCallRate および Conference MaxMultisiteReceiveRate 設定の最低値です。MultiSite 会議の場合、Conference MaxMultisiteReceiveRate は、アクティブなすべての同時会議の集計最大値です。

使用方法:

xConfiguration Conference MaxReceiveCallRate: MaxReceiveCallRate

説明:

MaxReceiveCallRate:

整数 (64..6000) [RoomKit RoomKitMini CodecPlus Room55 Room70/Room55D]

整数 (64..20000) [RoomBar CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro]

整数 (64..10000) [Board]

最大受信コール レート (kbps)。

デフォルト値:

6000 [RoomKit RoomKitMini RoomBar CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 DeskPro DeskMini Desk BoardPro]

20000 [RoomPanorama/Room70Panorama]

10000 [Board]

xConfiguration Conference MaxTransmitCallRate

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

コールの発信または受信時に使用する最大送信ビット レートを定義します。一般に、これは個々の会議の最大送信ビットレートです。

オンプレミス登録済みデバイスの場合、各会議の最大送信ビットレートは、Conference MaxTransmitCallRate および Conference MaxMultisiteTransmitRate 設定の最低値です。MultiSite 会議の場合、Conference MaxMultisiteTransmitRate は、アクティブなすべての同時会議の集計最大値です。

使用方法:

xConfiguration Conference MaxTransmitCallRate: MaxTransmitCallRate

説明:

MaxTransmitCallRate:

整数 (64..6000) [RoomKit RoomKitMini CodecPlus Room55 Room70/Room55D]

整数 (64..20000) [RoomBar CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro]

最大送信コール レート (kbps)。

デフォルト値:

6000 [RoomKit RoomKitMini RoomBar CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro]

20000 [RoomPanorama/Room70Panorama]

xConfiguration Conference MaxMultisiteReceiveRate

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

この設定は、デバイスに搭載された MultiSite 機能 (オプション) を使用してマルチポイントのビデオ会議をホストする場合に適用されます。

許容される最大集約受信ビットレートを定義します。ビット レートは任意の時点におけるすべてのアクティブ コール間で均等に分割されます。これは、誰かが MultiSite 会議に参加または退出するとき、または会議が保留 (中断) されるか再開されるときに各会議が適切に高速化または低速化されることを意味します。

個々のコールの最大受信ビット レートは、Conference MaxReceiveCallRate 設定により定義されます。

使用方法:

xConfiguration Conference MaxMultisiteReceiveRate: MaxMultisiteReceiveRate

説明:

MaxMultisiteReceiveRate:

整数 (64..6000) [RoomKit RoomKitMini CodecPlus Room55 Room70/Room55D Board]

整数 (64..15000) [RoomBar CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro]

MultiSite 会議での最大集約受信コールレート (kbps)。

デフォルト値:

6000 [RoomKit RoomKitMini CodecPlus Room55 Room70/Room55D Board]

15000 [RoomBar CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro]

xConfiguration Conference MaxMultisiteTransmitRate

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

この設定は、デバイスに搭載された MultiSite 機能 (オプション) を使用してマルチポイントのビデオ会議をホストする場合に適用されます。

許容される最大集約送信ビットレートを定義します。ビット レートは任意の時点におけるすべてのアクティブ コール間で均等に分割されます。これは、誰かが MultiSite 会議に参加または退出するとき、または会議が保留 (中断) されるか再開されるときに各会議が適切に高速化または低速化されることを意味します。

個々のコールの最大送信ビット レートは、Conference MaxTransmitCallRate 設定により定義されます。

使用方法:

xConfiguration Conference MaxMultisiteTransmitRate: MaxMultisiteTransmitRate

説明:

MaxMultisiteTransmitRate:

整数 (64..6000) [RoomKit RoomKitMini CodecPlus Room55 Room70/Room55D Board]

整数 (64..15000) [RoomBar CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro]

MultiSite 会議での最大集約送信コールレート (kbps)。

デフォルト値:

6000 [RoomKit RoomKitMini CodecPlus Room55 Room70/Room55D Board]

15000 [RoomBar CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro]

xConfiguration Conference MicUnmuteOnDisconnect Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

すべてのコールが切断されたときに、マイクを自動的にミュート解除するかどうかを定義します。会議室またはその他の共有リソースでは、次のユーザーのためにデバイスを準備するためにこれを実行する場合があります。

使用方法:

xConfiguration Conference MicUnmuteOnDisconnect Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off: コール中にミュートにされている場合、コールが切断された後もマイクロフォンをミュートにされたままにします。

On: コールが切断された後にマイクロフォンのミュートを解除します。

デフォルト値:

On

xConfiguration Conference Multipoint Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

ポイントツーポイント ビデオ コール (2 者間のコール) から、参加者を追加してマルチポイント会議 (アドホック会議) に拡大する方法を定義します。ローカルのリソースのみに依存する組み込みの MultiSite 機能と、集中型のインフラストラクチャ (マルチポイント コントロール ユニット: MCU) をベースとする別のソリューションの両方を使用することができます。

MultiSite 機能はアップグレードオプションであり、すべてのデバイスで使用できるとは限りません。デバイスには、MultiSite オプション キーをインストールする必要があります。

Cisco TelePresence Video Communication Server (VCS) に登録されている場合、デバイスは他のビデオデバイス呼び出す場合に MultiSite を使用できます。Cisco Unified Communications Manager (CUCM) バージョン 8.6.2 以降に登録されている場合、デバイスは、CUCM 会議ブリッジ、またはデバイス内蔵の MultiSite 機能を使用できます。使用するオプションは CUCM によってセットアップされます。

いずれの場合も、デバイスが会議に参加者を追加できるように MCU を呼び出す場合、MCU を介してマルチ パーティ会議がセットアップされます (直接リモート追加)。

使用方法:

xConfiguration Conference Multipoint Mode: Mode

説明:

Mode:

Auto/CUCMMediaResourceGroupList/MultiSite/Off

Auto: マルチ ポイント メソッドが自動的に選択されます。

MultiSite オプション キーをデバイスにインストールして、他のビデオ デバイス (MCU 以外) を呼び出す場合、マルチ パーティ会議は、組み込みの MultiSite 機能を使ってセットアップされます。参加者を追加できるのは MultiSite のホストのみです。これにより、カスケード会議ができなくなります。デバイスに MultiSite オプション キーがない場合、複数のビデオ デバイスをビデオで呼び出すことはできません。音声のみの参加者を 1 人追加できます。

MultiSite オプション キーに関係なく、デバイスが会議に参加者を追加する (Direct Remote Add) MCU を呼び出す場合、MCU を介してマルチ パーティ会議をセットアップすることができます。

CUCMMediaResourceGroupList: マルチパーティ会議は、CUCM で設定された会議ブリッジによってホストされます。この設定は、CUCM 環境で CUCM によってプロビジョニングされるため、ユーザーが手動で設定すべきではありません。

MultiSite: デバイスに MultiSite オプション キーがインストールされている場合は、組み込み MultiSite 機能を使ってマルチ パーティ会議がセットアップします。デバイスに MultiSite オプション キーがない場合、複数のデバイスをビデオでコールすることはできません。音声のみのデバイスを 1 つ追加できます。

Off: 複数のデバイスをビデオでコールすることはできませんが、音声のみのデバイスを追加することができます。デバイスが会議に参加者を追加できるように MCU を呼び出す場合、MCU を介してマルチ パーティ会議がセットアップされます (直接リモート追加)。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration Conference MultiStream Mode

適用先: [RoomKit](#) [RoomKitMini](#) [RoomBar](#) [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room55](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN

サポートされているデバイスでは、Conference MultiStream モードに、マルチストリームのオン/オフのオプションがあります。

使用方法:

xConfiguration Conference MultiStream Mode: Mode

説明:

Mode:

Auto/Off

Auto: 電話会議インフラストラクチャがマルチストリーム機能をサポートしている場合は、マルチストリームが使用されます。最低限必要なバージョン: CMS 2.2、CUCM 11.5、VCS X8.7。

Off マルチストリームが無効になります。これらは常にマルチストリームを使用するため、Webex クラウドサービスに登録されているデバイスには影響しません。お使いのデバイスが Webex Edge for Devices にリンクされていて、Webex の最適化されたエクスペリエンスが有効になっている場合 (つまり、Webex Calling インフラストラクチャを介してミーティングに参加する場合)、同じことが当てはまります。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration Conference PeopleFocus OnCall Mode

適用対象: [すべての製品](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN

人にフォーカスを有効にすると、ローカルレイアウトが動的に変更され、何も映っていない背景が切り取られ、画面上で各参加者のスペースが最適化されます。

この設定は、会議参加時に人へのフォーカスを最初に On にするか Off にするかを決定します。これが設定されていたとしても、ユーザーは会議中に UI ([レイアウト (Layout)] ボタン) で On/Off を切り替えることができます。

使用方法:

xConfiguration Conference PeopleFocus OnCall Mode: Mode

説明:

Mode:

Active/Inactive/Previous

Active: 会議参加時に人へのフォーカスを On にします。

Inactive: 会議参加時に人へのフォーカスを Off にします。

Previous: 新規会議参加時に人へのフォーカスの初期状態 (On または Off) を前の会議の退出時の状態と同じにします。

デフォルト値:

Previous

FacilityService の設定

[クイックダイヤル (Quick Dial)] 機能は、UI 拡張機能とマクロを使用して作成できるため、FacilityService 構成はまもなく廃止されます。

xConfiguration FacilityService Service [n] CallType

適用先: [RoomKit](#) [RoomKitMini](#) [RoomBar](#) [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room55](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [DeskPro](#) [Desk](#) [Board](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

各ファシリティサービスのコール タイプを定義します。最大 5 種類のファシリティサービスがサポートされます。ファシリティサービスは、FacilityService Service [n] Name と FacilityService Service [n] Number の両方の設定が正しく設定されていないと使用できません。ファシリティサービスは、ユーザーインターフェイスから利用できます。

使用方法:

xConfiguration FacilityService Service [n] CallType: CallType

説明:

n: サービスを特定する固有 ID

範囲: 1 ~ 5

CallType:

Audio/Video

Audio: オーディオ コールには、このオプションを選択します。

Video: ビデオコールには、このオプションを選択します。

デフォルト値:

ビデオ

xConfiguration FacilityService Service [n] Name

適用先: [RoomKit](#) [RoomKitMini](#) [RoomBar](#) [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room55](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [DeskPro](#) [Desk](#) [Board](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

ファシリティサービスの名前を定義します。最大 5 種類のファシリティサービスがサポートされます。ファシリティサービスは、FacilityService Service [n] Name と FacilityService Service [n] Number の両方の設定が正しく設定されていないと使用できません。名前は、上部バーの疑問符アイコンをタップすると表示されるファシリティ サービス コール ボタンに表示されます。ファシリティサービスは、ユーザーインターフェイスから利用できます。

使用方法:

xConfiguration FacilityService Service [n] Name: "Name"

説明:

n: サービスを特定する固有 ID

範囲: 1 ~ 5

Name:

文字列 (0、1024)

ファシリティサービスの名前。

デフォルト値:

Service 1: "Live Support" その他のサービス: ""

xConfiguration FacilityService Service [n] Number

適用先: [RoomKit](#) [RoomKitMini](#) [RoomBar](#) [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room55](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [DeskPro](#) [Desk](#) [Board](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

ファシリティサービスの番号 (URI または電話番号) を定義します。最大 5 種類のファシリティサービスがサポートされます。ファシリティサービスは、FacilityService Service [n] Name と FacilityService Service [n] Number の両方の設定が正しく設定されていないと使用できません。ファシリティサービスは、ユーザーインターフェイスから利用できます。

使用方法:

xConfiguration FacilityService Service [n] Number: "Number"

説明:

n: サービスを特定する固有 ID

範囲: 1 ~ 5

番号:

文字列 (0、1024)

ファシリティサービスの番号 (URI または電話番号)。

デフォルト値:

""

xConfiguration FacilityService Service [n] Type

適用先: [RoomKit](#) [RoomKitMini](#) [RoomBar](#) [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room55](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [DeskPro](#) [Desk](#) [Board](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

最大 5 種類のファシリティサービスを同時にサポートできます。この設定で、どのようなサービスかを選択できます。ファシリティサービスは、FacilityService Service [n] Name と FacilityService Service [n] Number の両方の設定が正しく設定されていないと使用できません。ファシリティサービスは、ユーザーインターフェイスから利用できます。

使用方法:

xConfiguration FacilityService Service [n] Type: Type

説明:

n: サービスを特定する固有 ID

範囲: 1 ~ 5

Type:

Catering/Concierge/Emergency/Helpdesk/Security/Transportation/Other

Catering: ケータリング サービスには、このオプションを選択します。

Concierge: コンシェルジュ サービスには、このオプションを選択します。

Emergency: 緊急サービスには、このオプションを選択します。

Helpdesk: ヘルプ デスク サービスには、このオプションを選択します。

Security: セキュリティ サービスには、このオプションを選択します。

Transportation: 転送サービスには、このオプションを選択します。

Other: その他のオプションでカバーされないサービスには、このオプションを選択します。

デフォルト値:

ヘルプデスク

ファイル構成

xConfiguration Files Services OneDrive TemporaryPersonalSignIn

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

有効にすると、ユーザーは Microsoft OneDrive アカウントにサインインして、デバイスから OneDrive ファイルにアクセスできます。また、ホワイトボードにアクセスして編集し、OneDrive に保存することもできます。デバイスがスタンバイ状態になると、ユーザーは自動的にサインアウトします。

この機能は、このソフトウェアバージョンの Room 70 Panorama および Room Panorama では使用できません。

使用方法:

```
xConfiguration Files Services OneDrive TemporaryPersonalSignIn:
TemporaryPersonalSignIn
```

説明:

TemporaryPersonalSignIn:

Disabled/Enabled

Disabled: ユーザーは、デバイスから OneDrive ファイルとホワイトボードにアクセスできません。

Enabled: ユーザーはサインインすると OneDrive ファイルにアクセスし、ホワイトボードを保存できます。

デフォルト値:

無効

GPIO の設定

xConfiguration GPIO Pin [n] Mode

適用対象: CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

4 つの GPIO のピンは個別に設定されます。実際の測定したピン状態 (Low/High) は、GPIO Pin [1..4] State ステータスにより取得できます。

出力モードのピンのデフォルトの状態は High (+12 V) です。

注: 出力モードに定義されたピンを設定して、強制的にラインをアクティブに Low にすることができます。High に設定すると、ラインを Low にする外部デバイスに接続されていない場合にのみラインが High になります。

使用方法:

```
xConfiguration GPIO Pin [n] Mode: Mode
```

説明:

n: GPIO ピン番号。

範囲: 1 ~ 4

Mode:

InputAcceptAllCalls/InputDisconnectAllCalls/InputMuteMicrophones/InputNoAction/OutputAllCallsEncrypted/OutputInCall/OutputManualState/OutputMicrophonesMuted/OutputPresentationOn/OutputStandbyActive

InputAcceptAllCalls: 着信コールでピンが High から Low に移行すると、コールが受け入れられます (Call Accept コマンドが自動的に発行されます)。

InputDisconnectAllCalls: コール中にピンが High から Low に移行すると、コールが切断されます (Call Disconnect コマンドが自動的に発行されます)。

InputMuteMicrophones: コール中にピンが High から Low に移行すると、マイクはミュートになります。コール中にピンが Low から High に移行すると、マイクがミュート解除されます (Audio Mute および Audio Unmute コマンドが自動的に発行されます)。

InputNoAction: ピン状態によってアクションはトリガーされません。ピン状態は GPIO Pin [1..4] State ステータスで読み取り可能です。

OutputAllCallsEncrypted: すべてのコールが暗号化されるとピンが Low に設定され、複数の通話が暗号化されないと High に設定されます。

OutputInCall: コール中の場合はピンが Low に設定され、コール中でない場合は High に設定されます。

OutputManualState: ピン状態を GPIO ManualState Set PinX コマンドにより High または Low に設定できます。それぞれ、+12 V または 0 V に設定されます。

OutputMicrophonesMuted: マイクがミュートされるとピンは Low に設定され、ミュート解除されると High に設定されます。

OutputPresentationOn: プレゼンテーションがアクティブになるとピンが Low に設定され、プレゼンテーションが非アクティブのときは High に設定されます。

OutputStandbyActive: デバイスがスタンバイモードのときはピンが Low に設定され、デバイスがスタンバイモードではないときは High に設定されます。

デフォルト値:

[InputNoAction]

H.323 の設定

xConfiguration H323 Authentication Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

H.323 プロファイルの認証モードを定義します。

使用方法:

xConfiguration H323 Authentication Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off: デバイスは H.323 ゲートキーパーに対して自身の認証を試行せず、通常の登録を試行します。

On: 認証が必要なことを H.323 ゲートキーパーから示されると、デバイスはゲートキーパーに対して自身の認証を試みます。デバイスとゲートキーパーの両方で、H323 Authentication LoginName と H323 Authentication Password の設定を定義する必要があります。

デフォルト値:

Off

xConfiguration H323 Authentication LoginName

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

デバイスは認証のために、H.323 ゲートキーパーに H323 認証ログイン名と H323 認証パスワードを送信します。認証はデバイスから H.323 ゲートキーパーへの片方向認証です。つまり、デバイスはゲートキーパーに認証されます。認証が不要であることを H.323 ゲートキーパーが示している場合でも、デバイスは登録を試行します。H.323 認証モードを有効にする必要があります。

使用方法:

xConfiguration H323 Authentication LoginName: "LoginName"

説明:

LoginName:

文字列 (0, 50)

認証ログイン名。

デフォルト値:

" "

xConfiguration H323 Authentication Password

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

デバイスは認証のために、H.323 ゲートキーパーに H323 認証ログイン名と H323 認証パスワードを送信します。認証はデバイスから H.323 ゲートキーパーへの片方向認証です。つまり、デバイスはゲートキーパーに認証されます。認証が不要であることを H.323 ゲートキーパーが示している場合でも、デバイスは登録を試行します。H.323 認証モードを有効にする必要があります。

使用方法:

xConfiguration H323 Authentication Password: "Password"

説明:

パスワード:

文字列 (0, 50)

認証パスワード。

デフォルト値:

""

xConfiguration H323 CallSetup Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

H.323 コールを確立するときにゲートキーパーとダイレクト コールのどちらを使用するかを定義します。

ダイレクト H.323 コールは、H323 CallSetup Mode が Gatekeeper に設定されている場合も発信できます。

使用方法:

xConfiguration H323 CallSetup Mode: Mode

説明:

Mode:

Direct/Gatekeeper

Direct: IP アドレスに直接ダイヤルすることによってのみ、H.323 コールを発信できます。

Gatekeeper: デバイスは、H.323 コールを発信するためにゲートキーパーを使用します。このオプションを選択する場合は、H323 Gatekeeper Address も設定する必要があります。

デフォルト値:

Gatekeeper

xConfiguration H323 Encryption AES256Support

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

デバイスは、メディア転送用に常に 128 ビット AES 暗号キーをサポートします。256 ビットキーもサポートするようにデバイスを設定できます。256 ビットキーを使用する場合、Diffie-Hellman キー交換方式の最小キーサイズは 2048 ビットである必要があります (H323 Encryption KeySize 設定を参照)。

使用方法:

xConfiguration H323 Encryption AES256Support: AES256Support

説明:

AES256Support:

Off/On

Off: デバイスは 128 ビット AES 暗号キーのみをサポートします。

On: デバイスは 128 ビットと 256 ビットの両方の AES 暗号キーをサポートします。

デフォルト値:

Off

xConfiguration H323 Encryption KeySize

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

Advanced Encryption Standard (AES) 暗号化キーの確立時に使用する Diffie-Hellman キー交換方式の最小または最大のキー サイズを定義します。

使用方法:

xConfiguration H323 Encryption KeySize: KeySize

説明:

KeySize:

Max1024bit/Min1024bit/Min2048bit

Max1024bit: 最大サイズは 1024 ビットです。

Min1024bit: 最小サイズは 1024 ビットです。

Min2048bit: 最小サイズは 2048 ビットです。

デフォルト値:

Min1024bit

xConfiguration H323 Gatekeeper Address

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

ゲートキーパーの IP アドレスを定義します。H.323 CallSetup Mode を Gatekeeper に設定する必要があります。

使用方法:

xConfiguration H323 Gatekeeper Address: "Address"

説明:

アドレス:

文字列 (0, 255)

有効な IPv4 アドレス、IPv6 アドレス、または DNS 名。

デフォルト値:

""

xConfiguration H323 H323Alias E164

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

H.323 エイリアス E.164 は、H.323 ゲートキーパーに設定された番号計画に従ってデバイスのアドレスを定義します。E.164 エイリアスは電話番号と同じであり、アクセス コードと結合される場合もあります。

使用方法:

xConfiguration H323 H323Alias E164: "E164"

説明:

E164:

文字列 (0, 30)

H.323 Alias E.164 のアドレス。使用できる文字は、0 ~ 9、*、# です。

デフォルト値:

""

xConfiguration H323 H323Alias ID

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

H.323 エイリアス ID を定義します。この ID は、H.323 ゲートキーパーでデバイスのアドレス指定に使用され、コール リストに表示されます。

使用方法:

xConfiguration H323 H323Alias ID: "ID"

説明:

ID:

文字列 (0, 49)

H.323 エイリアス ID。例: "firstname.lastname@company.com", "My H.323 Alias ID"

デフォルト値:

""

xConfiguration H323 NAT Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

H323 NAT Mode は、デバイスがプライベートネットワーク上にあり、ゲートキーパーに登録されていない場合に使用することを目的としています。H323 NAT モードを使用すると、パブリックネットワーク上のデバイスにアクセスできます。

NAT は IPv6 ではサポートされません。

注: ビデオ会議デバイスがゲートウェイに登録されている場合、H323 NAT Mode と H323 NAT Address 設定は無視されます。H323 NAT Mode ではなく、ファイアウォールトラバーサル機能を持つゲートキーパーを使用することをお勧めします。

使用方法:

xConfiguration H323 NAT Mode: Mode

説明:

Mode:

Auto/Off/On

Auto: Auto モードは、H323 NAT Address 設定で NAT アドレスを指定している場合にのみ動作します。

デバイスがゲートキーパーに登録されていない場合、デバイスのローカルアドレスがプライベートである場合、発信先のアドレス (リモート) がパブリックである場合、ローカルアドレスとリモートアドレスの両方が IPv4 の場合、NAT がオンになります。それ以外の場合は、NAT がオフになります。

つまり、プライベートネットワーク上にあるデバイスだけでなく、(プライベートネットワークの外部の) 外部デバイスにも発信することができます。プライベートネットワーク上のコールの場合、H323 NAT Address は使用されません (ただし、存在する必要があります)。パブリックネットワークへのコールでは、H323 NAT Address が使用されます。

Off: NAT がオフになっている場合、H323 NAT Address 設定は無視されます。この場合、ゲートキーパーを使用しない限り、プライベートネットワーク外のデバイスへのコールを設定することはできません。

On: NAT は常にオンになります。H323 NAT Address 設定で NAT アドレスを指定する必要があります。デバイスは、Q.931 および H.245 内にあるプライベート IP アドレスの代わりに、H323 NAT Address をシグナリングします。H323 NAT Address が間違っているか設定されていない場合、H.323 コールは設定できません。

デフォルト値:

Off

xConfiguration H323 NAT Address

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

NAT 対応ルータの外部/グローバル IP アドレスを定義します。プライベートネットワーク外のデバイスへのコールを設定する場合は、このアドレスが公開されます。NAT Address を使用する場合の詳細については、H323 NAT Mode 設定を参照してください。

ルータで、次のポートはビデオ会議デバイスの IP アドレスにルーティングする必要があります。

* ポート 1720

*ポート 5555-6555

*ポート 2326-2487

使用方法:

xConfiguration H323 NAT Address: "Address"

説明:

アドレス:

文字列 (0, 64)

IPv4 アドレス。ほとんどの場合、パブリック IP アドレスで、RFC 1918 を参照しますが、別のプライベートアドレス (より大きな企業ネットワークなど) にすることもできます。

デフォルト値:

""

HttpClient の設定

xConfiguration HttpClient Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

HTTP(S) 要求および応答を使用する外部 HTTP(S) サーバーとのコミュニケーションを許可または禁止します。

使用方法:

xConfiguration HttpClient Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off: ビデオ会議デバイスは外部 HTTP(S) サーバーと通信できません。

On: ビデオ会議デバイスは外部 HTTP(S) サーバーと通信できます。

デフォルト値:

Off

xConfiguration HttpClient AllowHTTP

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

HttpClient Mode の設定は、外部 HTTPs サーバーとの通信を許可または禁止するために使用されます。Mode 設定では HTTP と HTTPS を区別していません。HTTP の使用を許可または禁止するには、HttpClient AllowHTTP 設定を使用する必要があります。

使用方法:

xConfiguration HttpClient AllowHTTP: AllowHTTP

説明:

AllowHTTP

False/True

False: ビデオ会議デバイスは、HTTPS のみで通信できます。

True: ビデオ会議デバイスは HTTPS と HTTP の両方で通信できます。

デフォルト値:

True

xConfiguration HttpClient AllowInsecureHTTPS

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

サーバーの証明書を最初に確認せずに、HTTPS を使用したサーバーとの通信をビデオ会議デバイスに許可するかどうかを選択できます。

デバイスによる証明書検証プロセスのスキップを許可する設定になっていても、自動的にスキップされません。証明書検証なしでデータをサーバーで交換するには AllowInsecureHTTPS パラメータを各 xCommand HttpClient コマンドで具体的に設定する必要があります。

使用方法:

xConfiguration HttpClient AllowInsecureHTTPS: AllowInsecureHTTPS

説明:

AllowInsecureHTTPS:

False/True

False: デバイスは常に、HTTPS サーバーに有効な証明書があるかどうかを確認します。証明書の検証に失敗した場合、サーバーとの通信は行われません。

True: デバイスは、サーバーと通信する前に証明書検証プロセスをスキップできます。

デフォルト値:

False

xConfiguration HttpClient UseHttpProxy

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

サービスの通信に HTTP プロキシを使用するかどうかを指定できるように、いくつかの [Httpプロキシの使用 (UseHttpProxy)] 設定が用意されています。[HttpClient Httpプロキシの使用 (HttpClient UseHttpProxy)] 設定は、HttpClient コマンドを使用するマクロおよび任意の HTTP(S) リクエストに適用されます。

この設定を有効にするには、[ネットワークサービス HTTP プロキシ (NetworkServices HTTP Proxy)] 設定を使用して、HTTP、HTTPS、および WebSocket トラフィック用のプロキシサーバーをセットアップする必要があります。

使用方法:

xConfiguration HttpClient UseHttpProxy: UseHttpProxy

説明:

UseHttpProxy:

Off/On

Off: サーバーとの直接通信をセットアップします (プロキシを使用しません)。

On: プロキシ経由の通信をセットアップします。

デフォルト値:

On

HttpFeedback の設定

xConfiguration HttpFeedback TlsVerify

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

この設定は、ビデオ会議デバイスが任意の HTTPS 通信のために HTTPS サーバーに接続するとき
に適用されます (HTTP クライアントのPOST/PUT/PATCH/GET/DELETE コマンドを参照してくだ
さい)。電話帳、プロビジョニング、および外部ロギング サーバーについては、Phonebook Server 1
TlsVerify、Provisioning TlsVerify、Logging External TlsVerify の設定を参照してください。

デバイスと HTTPS サーバー間の接続を確立する前に、デバイスは、サーバーの証明書が信頼できる
認証局 (CA) によって署名されているかどうかを確認します。CA 証明書は、デバイスの CA リスト (ブ
レイインストールされているリストまたは Web インターフェイスか API を使用して手動でアップロー
ドするリスト) に含める必要があります。

一般に、HTTPS 接続の最小 TLS (Transport Layer Security) のバージョンは 1.1 です。このルール
には次の 2 つの例外があります。1) 互換性の理由で、CUCM に登録されているデバイスの最小 TLS
バージョンは 1.0 です。2) Webex クラウド サービスに登録されているデバイスは、常にバージョン
1.2 を使用します。

注: アップグレード後にデバイスが初期設定にリセットされておらず、従来の NetworkServices
HTTPS VerifyServerCertificate 設定が明示的に On に設定されていなかった場合、CE 9.8 以前の
ソフトウェア バージョンから CE 9.9 以降にアップグレードされたデバイスではこの値が Off に設定
されます。

使用方法:

xConfiguration HttpFeedback TlsVerify: [TlsVerify](#)

説明:

[TlsVerify](#):

Off/On

Off: デバイスは HTTPS サーバーの証明書を確認しません。

On: デバイスは、HTTPS サーバーの証明書が信頼できるかどうかを確認します。信頼できない
証明書の場合、デバイスとサーバーの間の接続は確立されません。

デフォルト値:

On

xConfiguration HttpFeedback UseHttpProxy

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

サービスの通信に HTTP プロキシを使用するかどうかを指定できるように、いくつかの [Httpブ
ロキシの使用 (UseHttpProxy)] 設定が用意されています。[HttpFeedback Httpプロキシの使用
(HttpFeedback UseHttpProxy)] 設定は、ビデオデバイスから送信されたフィードバックに適用さ
れます。

この設定を有効にするには、[ネットワークサービス HTTP プロキシ (NetworkServices HTTP
Proxy)] 設定を使用して、HTTP、HTTPS、および WebSocket トラフィック用のプロキシサーバーを
セットアップする必要があります。

使用方法:

xConfiguration HttpFeedback UseHttpProxy: [UseHttpProxy](#)

説明:

[UseHttpProxy](#):

Off/On

Off: サーバーとの直接通信をセットアップします (プロキシを使用しません)。

On: プロキシ経由の通信をセットアップします。

デフォルト値:

On

ロギングの設定

xConfiguration Logging CloudUpload Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

デバイスからのログを Webex クラウドサービスにアップロードできるかどうかを指定します。デバイスログは、個人を特定できる情報でフィルタリングされた後、クラウドに送信されます。

有効にすると、デバイス自体または Control Hub からログのアップロードを開始できます。デバイスにはユーザーインターフェイスに [ログの送信 (Send logs)] ボタンが表示され、Control Hub の [デバイス (Devices)] ページに [ログの管理 (Manage Logs)] セクションが表示されます。

デバイスは、Webex クラウドサービスに登録されているか、オンプレミスサービスに登録されて Webex Edge for Devices にリンクされている必要があります。

使用方法:

xConfiguration Logging CloudUpload Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off: デバイスからのログを Webex クラウドにアップロードすることはできません。

On: デバイスからのログを Webex クラウドにアップロードできます。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Logging External Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

デバイスログをリモート syslog サーバーに保存するかどうかを指定します。Logging Mode 設定が Off に設定されている場合、この設定には効果がありません。

リモートサーバーのアドレスを Logging External Server Address 設定に入力する必要があります。External Server Port 設定に指定がない限り、標準規格 syslog ポートが使用されます。

使用方法:

xConfiguration Logging External Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off: デバイス ログはリモート syslog サーバーに保存されません。

On: デバイス ログはリモート syslog サーバーに保存されます。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Logging External Protocol

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

リモートロギングサーバーに対して使用するプロトコルを指定します。syslog プロトコル over TLS (Transport Layer Security)、またはプレーンテキストの syslog プロトコルのいずれかを使用できます。syslog プロトコルの詳細については、RFC 5424 を参照してください。

使用方法:

xConfiguration Logging External Protocol: Protocol

説明:

Protocol:

Syslog/SyslogTLS

Syslog: プレーン テキストの syslog プロトコル。

SyslogTLS: syslog プロトコル over TLS。

デフォルト値:

SyslogTLS

xConfiguration Logging External Server Address

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

リモート syslog サーバーのアドレスを指定します。

使用方法:

xConfiguration Logging External Server Address: "Address"

説明:

アドレス:

文字列 (0, 255)

有効な IPv4 アドレス、IPv6 アドレス、または DNS 名。

デフォルト値:

""

xConfiguration Logging External Server Port

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

リモート syslog サーバーがメッセージをリッスンするポート。0 に設定した場合、デバイスは標準の syslog ポートを使用します。syslog の標準 syslog ポートは 514 で、TLS を使用した syslog の標準 syslog ポートは 6514 です。

使用方法:

xConfiguration Logging External Server Port: Port

説明:

ポート:

整数 (0 ~ 65535)

リモート syslog サーバーが使用しているポート番号。0 は、デバイスが標準 syslog ポートを使用することを意味します。

デフォルト値:

514

xConfiguration Logging External TlsVerify

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

この設定は、ビデオ会議デバイスがリモートの syslog サーバーに接続している場合に適用されません。通常のログ作成 (Logging External Mode 設定を参照) と監査ログ (Security Audit Logging Mode 設定を参照) の両方に適用されます。

デバイスと syslog サーバーの間の接続を確立する前に、デバイスは、サーバーの証明書が信頼できる認証局 (CA) によって署名されているかどうかを確認します。CA 証明書は、デバイスの CA リスト (プレインストールされているリストまたは Web インターフェイスか API を使用して手動でアップロードするリスト) に含める必要があります。

syslog 接続の最小 TLS (Transport Layer Security) のバージョンは 1.1 です。

使用方法:

xConfiguration Logging External TlsVerify: TlsVerify

説明:

TlsVerify:

Off/On

Off: デバイスは syslog サーバーの証明書を確認しません。

On: デバイスは、syslog サーバーの証明書が信頼できるかどうかを確認します。信頼できない証明書の場合、デバイスとサーバーの間の接続は確立されません。

デフォルト値:

On

xConfiguration Logging Internal Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

システムログをデバイス (ローカルファイル) に保存するかどうかを指定します。これらは、ログバンドルをデバイスからダウンロードした際に得られるファイルです。Logging Mode 設定が Off に設定されている場合、この設定には効果がありません。

使用方法:

xConfiguration Logging Internal Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off: システム ログはデバイスに保存されません。

On: システム ログはデバイスに保存されます。

デフォルト値:

On

Macros の設定

xConfiguration Macros Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

マクロによって、ビデオ会議デバイスの一部を自動化できる JavaScript コードのスニペットを記述できます。これによりカスタム動作を作成します。デフォルトではマクロの使用は無効化されていますが、最初にマクロ エディタを開くときにデバイスでのマクロ使用を有効にするかどうか確認を求められます。デバイスのマクロの使用を手動で有効にする場合や、完全に無効にする場合は、この設定を使用します。マクロ エディタ内でのマクロの使用を無効にすることができます。ただし、デバイスがマクロをリセットするたびにマクロが自動的に再び有効化されるため、マクロの実行は永続的に無効にはなりません。

使用方法:

xConfiguration Macros Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off: このデバイス上でのマクロの使用を完全に無効にします。

On: このデバイス上でのマクロの使用を有効にします。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Macros AutoStart

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

すべてのマクロは、マクロ ランタイムに呼び出され、ビデオ会議デバイスにおいてシングル プロセスで実行します。デフォルトでは実行されている必要がありますが、手動での停止と開始を選択することができます。自動開始が有効化されている場合、デバイスを再起動するときにランタイムは自動的に再び開始されます。

使用方法:

xConfiguration Macros AutoStart: AutoStart

説明:

AutoStart:

Off/On

Off: デバイスの再起動後、マクロ ランタイムは自動的に開始されません。

On: デバイスの再起動後、マクロ ランタイムは自動的に開始されます。

デフォルト値:

On

xConfiguration Macros Diagnostics JavascriptErrors

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

マクロまたはマクロ関連のエラーに対して診断メッセージを表示するかどうかを選択します。

使用方法:

xConfiguration Macros Diagnostics JavascriptErrors: JavascriptErrors

説明:

JavascriptErrors:

Off/On

Off: マクロログに記録されたエラーを診断として公開しません。

On: マクロログに記録されたエラーを診断として公開します。

デフォルト値:

On

xConfiguration Macros UnresponsiveTimeout

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

マクロは、応答しないコードを検出するために継続的に監視されます。マクロが応答しない状況は、通常はプログラムエラーを示唆するものですが、システムリソースが限られているために発生する場合があります。この値を大きくすると、より長い時間にわたってマクロを終了せずに実行できるようになります。一方、値を小さくすると、問題のあるマクロがシステムリソースを消費するのを抑えることができます。

使用方法:

xConfiguration Macros UnresponsiveTimeout: UnresponsiveTimeout

説明:

UnresponsiveTimeout:

整数 (0 ~ 65535)

応答しないマクロを終了するまでの秒数を設定します。値を 0 にすると、チェックが完全に無効になります。

デフォルト値:

5

ネットワークの設定

xConfiguration Network [n] DNS DNSSEC Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

ドメイン ネーム システム セキュリティ拡張 (DNSSEC) は、DNS の拡張セットです。署名されたゾーンの DNS の応答を認証するために使用されます。署名されていないゾーンを引き続き許可します。

使用方法:

xConfiguration Network [n] DNS DNSSEC Mode: Mode

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

Mode:

Off/On

Off: ドメイン ネーム システム セキュリティ拡張を無効にします。

On: ドメイン ネーム システム セキュリティ拡張を有効にします。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Network [n] DNS Domain Name

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

DNS ドメイン名は非修飾名に追加されるデフォルトのドメイン名サフィックスです。

例: DNS ドメイン名が「company.com」で、ルックアップする名前が「MyVideoSystem」の場合、DNS ルックアップ「MyVideoSystem.company.com」になります。

使用方法:

xConfiguration Network [n] DNS Domain Name: "Name"

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

Name:

文字列 (0, 64)

DNS ドメイン名。

デフォルト値:

""

xConfiguration Network [n] DNS Server [m] Address

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

DNS サーバーのネットワーク アドレスを定義します。最大 3 つまでのアドレスを指定できます。ネットワーク アドレスが不明の場合、管理者またはインターネット サービス プロバイダーにお問い合わせます。

使用方法:

xConfiguration Network [n] DNS Server [m] Address: "Address"

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

m: DNS サーバーを識別するインデックス。最大 3 台の DNS サーバーが許可されます。

範囲: 1 ~ 3

アドレス:

文字列 (0, 64)

有効な IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス。

デフォルト値:

""

xConfiguration Network [n] IEEE8021X Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

デバイスは、イーサネット ネットワークに認証済みネットワーク アクセスを提供するために使用される、ポート ベースのネットワーク アクセス コントロールによって、IEEE 802.1X LAN ネットワークに接続できます。

使用方法:

xConfiguration Network [n] IEEE8021X Mode: Mode

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

Mode:

Off/On

Off: 802.1X 認証が無効になります。

On: 802.1X 認証が有効になります。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Network [n] IEEE8021X TlsVerify

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

TLS を使用する場合の、ローカル CA リストの証明書に対する IEEE802.1x 接続のサーバー側証明書の検証です。CA リストをビデオ会議デバイスにアップロードする必要があります。これは、ウェブインターフェイスから実行できます。

この設定は、Network [1] IEEE8021X Eap Tls が有効 (On) の場合にのみ有効です。

使用方法:

xConfiguration Network [n] IEEE8021X TlsVerify: TlsVerify

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

TlsVerify:

Off/On

Off: Off に設定する場合、ローカル CA リストに対するサーバー側 X.509 証明書を確認せずに、TLS 接続が許可されます。これは、デバイスに CA リストがアップロードされていない場合に選択する必要があります。

On: On に設定する場合、すべての TLS 接続のローカル CA リストに対して、サーバー側 X.509 証明書が検証されます。有効な証明書を持つサーバーだけが許可されます。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Network [n] IEEE8021X UseClientCertificate

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

IEEE802.1x 接続中の、秘密キーと証明書のペアを使用した認証。認証 X.509 証明書がビデオ会議デバイスにアップロードされている必要があります。これは、Web インターフェイスから実行できます。

使用方法:

xConfiguration Network [n] IEEE8021X UseClientCertificate: UseClientCertificate

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

UseClientCertificate:

Off/On

Off: Off に設定した場合、クライアント側の証明書は使用されません (サーバー側のみ)。

On: On に設定した場合、クライアント (ビデオ会議デバイス) はサーバーと相互認証 TLS ハンドシェイクを実行します。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Network [n] IEEE8021X Identity

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

802.1X 認証用のユーザー名を定義します。

使用方法:

xConfiguration Network [n] IEEE8021X Identity: "Identity"

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

Identity:

文字列 (0, 64)

802.1X 認証用のユーザー名。

デフォルト値:

""

xConfiguration Network [n] IEEE8021X Password

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

802.1X 認証用のパスワードを定義します。

使用方法:

```
xConfiguration Network [n] IEEE8021X Password: "Password"
```

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

パスワード:

文字列 (0, 50)

802.1X 認証用のパスワード。

デフォルト値:

""

xConfiguration Network [n] IEEE8021X AnonymousIdentity

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

802.1X 匿名 ID 文字列は、別のトンネリングされた ID をサポートする EAP-PEAP および EAP-TTLS などの EAP (Extensible Authentication Protocol) タイプとともに、非暗号化 ID として使用されます。設定された場合、匿名 ID は最初の (非暗号化) EAP ID 要求に使用されます。

使用方法:

```
xConfiguration Network [n] IEEE8021X AnonymousIdentity: "AnonymousIdentity"
```

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

AnonymousIdentity:

文字列 (0, 64)

802.1X 匿名 ID 文字列。

デフォルト値:

""

xConfiguration Network [n] IEEE8021X Eap Md5

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

MD5 (メッセージダイジェスト アルゴリズム 5) モードを定義します。これは、共有秘密に依存するチャレンジ ハンドシェイク認証プロトコルです。MD5 は弱いセキュリティです。

使用方法:

```
xConfiguration Network [n] IEEE8021X Eap Md5: Md5
```

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

Md5:

Off/On

Off: EAP-MD5 プロトコルは無効になります。

On: EAP-MD5 プロトコルが有効になります。

デフォルト値:

On

xConfiguration Network [n] IEEE8021X Eap Ttls

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

TTLS (トンネル方式トランスポート層セキュリティ) モードを定義します。クライアント証明書の要件なしで LAN クライアントを認証します。Funk Software および Certicom によって開発されました。通常 Agere Systems、Proxim および Avaya でサポートされます。

使用方法:

```
xConfiguration Network [n] IEEE8021X Eap Ttls: Ttls
```

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

Ttls:

Off/On

Off: EAP-TTLS プロトコルは無効になります。

On: EAP-TTLS プロトコルが有効になります。

デフォルト値:

On

xConfiguration Network [n] IEEE8021X Eap Tls

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

IEEE802.1x 接続用の EAP-TLS (トランスポート層セキュリティ) の使用をイネーブルまたはディセーブルにします。RFC5216 で定義された EAP-TLS プロトコルは最もセキュアな EAP 標準の 1 つと見なされています。LAN クライアントは、クライアント証明書を使用して認証されます。

使用方法:

xConfiguration Network [n] IEEE8021X Eap Tls: Tls

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

Tls:

Off/On

Off: EAP-TLS プロトコルは無効になります。

On: EAP-TLS プロトコルが有効になります。

デフォルト値:

On

xConfiguration Network [n] IEEE8021X Eap Peap

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

PEAP (Protected Extensible Authentication Protocol) モードを定義します。クライアント証明書の要件なしで LAN クライアントを認証します。Microsoft、Cisco と RSA Security により開発されました。

使用方法:

xConfiguration Network [n] IEEE8021X Eap Peap: Peap

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

Peap:

Off/On

Off: EAP-PEAP プロトコルは無効になります。

On: EAP-PEAP プロトコルが有効になります。

デフォルト値:

On

xConfiguration Network [n] IPStack

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

デバイスのネットワーク インターフェイスで IPv4、IPv6、またはデュアル IP スタックを使用する必要がある場合に選択します。注: この設定を変更した後、反映されるまでに 30 秒間待つ必要があります。

使用方法:

xConfiguration Network [n] IPStack: IPStack

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

IPStack:

デュアル (Dual) /IPv4/IPv6

Dual: [デュアル (Dual)] に設定すると、ネットワーク インターフェイスは両方の IP バージョンで同時に動作することができ、また、IPv4 アドレスと IPv6 アドレスの両方を同時に持つことができます。

IPv4: IPv4 に設定すると、デバイスのネットワーク インターフェイスで IPv4 が使用されます。

IPv6: IPv6 に設定すると、デバイスのネットワーク インターフェイスで IPv6 が使用されます。

デフォルト値:

Dual

xConfiguration Network [n] IPv4 Assignment

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

デバイスが IPv4 アドレス、サブネット マスク、およびゲートウェイ アドレスを取得する方法を定義します。

DHCP リクエストで使用されるクライアント識別子は、製品によって異なります。MAC アドレス (Touch 10)、「01」の後に MAC アドレス (Room Kit、Room Kit Mini、Room 55、Room 70、Room 70 G2、Room 70 Panorama、Room Panorama、Board、Codec Plus、および Codec Pro)、および RFC 4361 で規定されている DHCP 一意識別子 (DUID) (Room Navigator を含むその他の製品)。

使用方法:

xConfiguration Network [n] IPv4 Assignment: Assignment

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

Assignment:

静的 (Static) /DHCP

Static: アドレスは、Network IPv4 Address、Network IPv4 Gateway、Network IPv4 SubnetMask の各設定 (静的アドレス) を使用して手動で設定する必要があります。

DHCP: デバイス アドレスは DHCP サーバーによって自動的に割り当てられます。

デフォルト値:

DHCP

xConfiguration Network [n] IPv4 Address

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

デバイスのスタティック IPv4 ネットワーク アドレスを定義します。Network IPv4 Assignment が Static に設定されている場合のみ適用できます。

使用方法:

xConfiguration Network [n] IPv4 Address: "Address"

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

アドレス:

文字列 (0, 64)

有効な IPv4 アドレス。

デフォルト値:

""

xConfiguration Network [n] IPv4 Gateway

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

IPv4 ネットワーク ゲートウェイ アドレスを定義します。Network IPv4 Assignment が Static に設定されている場合のみ適用できます。

使用方法:

xConfiguration Network [n] IPv4 Gateway: "Gateway"

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

Gateway:

文字列 (0, 64)

有効な IPv4 アドレス。

デフォルト値:

""

xConfiguration Network [n] IPv4 InterfaceIdentifier

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

IPv4 DHCP に使用する識別子を選択します。

使用方法:

xConfiguration Network [n] IPv4 InterfaceIdentifier: InterfaceIdentifier

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

InterfaceIdentifier:

Auto/MAC/Opaque

MAC: デバイスは「01」の後にデバイスの MAC アドレスを識別子として送信します。

Opaque: デバイスは RFC4361 ベースの DHCP Unique Identifier (DUID) を使用します。DUID-LL (タイムスタンプなしのリンク層アドレスに基づく)。

Auto: 識別子として MAC と Opaque のどちらを使用するかは、製品によって異なります。MAC アドレス (Touch 10)、「01」の後に MAC アドレス (Room Kit、Room Kit Mini、Room 55、Room 70、Room 70 G2、Room 70 Panorama、Room Panorama、Board、Codec Plus、および Codec Pro)、および RFC 4361 で規定されている DHCP 一意識別子 (DUID) (Room Navigator を含むその他の製品)。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration Network [n] IPv4 SubnetMask

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

IPv4 ネットワークのサブネット マスクを定義します。Network IPv4 Assignment が Static に設定されている場合にのみ適用できます。

使用方法:

```
xConfiguration Network [n] IPv4 SubnetMask: "SubnetMask"
```

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

SubnetMask:

文字列 (0, 64)

有効な IPv4 アドレス。

デフォルト値:

""

xConfiguration Network [n] IPv6 Assignment

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

デバイスが IPv6 アドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイアドレスを取得する方法を定義します。

DHCP リクエストで使用されるクライアント識別子は、製品によって異なります。MAC アドレス (Touch 10)、「01」の後に MAC アドレス (Room Kit, Room Kit Mini, Room 55, Room 70, Room 70 G2, Room 70 Panorama, Room Panorama, Board, Codec Plus、および Codec Pro)、および RFC 4361 で規定されている DHCP 一意識別子 (DUID) (Room Navigator を含むその他の製品)。

使用方法:

```
xConfiguration Network [n] IPv6 Assignment: Assignment
```

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

Assignment:

静的 (Static) /DHCPv6/Autoconf

Static: デバイスおよびゲートウェイの IP アドレスは、Network IPv6 Address および Network IPv6 Gateway の設定を使用して手動で設定する必要があります。NTP アドレスや DNS サーバー アドレスなどのオプションは、手動で設定するか、または DHCPv6 サーバーから取得する必要があります。Network IPv6 DHCPOptions 設定は、どの方法を使用するかを決定します。

DHCPv6: オプションを含むすべての IPv6 アドレスは、DHCPv6 サーバーから取得されません。詳細については RFC3315 を参照してください。Network IPv6 DHCPOptions 設定は無視されます。

Autoconf: IPv6 ネットワーク インターフェイスの IPv6 ステートレス自動設定を有効にします。詳細については RFC4862 を参照してください。NTP アドレスや DNS サーバー アドレスなどのオプションは、手動で設定するか、または DHCPv6 サーバーから取得する必要があります。Network IPv6 DHCPOptions 設定は、どの方法を使用するかを決定します。

デフォルト値:

[Autoconf]

xConfiguration Network [n] IPv6 Address

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

デバイスのスタティック IPv6 ネットワーク アドレスを定義します。Network IPv6 Assignment が Static に設定されている場合にのみ適用できます。

使用方法:

```
xConfiguration Network [n] IPv6 Address: "Address"
```

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

アドレス:

文字列 (0, 64)

ネットワーク マスクを含む有効な IPv6 アドレス。例: 2001:DB8::/48

デフォルト値:

""

xConfiguration Network [n] IPv6 Gateway

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

IPv6 ネットワーク ゲートウェイ アドレスを定義します。この設定は、Network IPv6 Assignment が Static に設定されている場合にのみ適用されます。

使用方法:

```
xConfiguration Network [n] IPv6 Gateway: "Gateway"
```

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

Gateway:

文字列 (0, 64)

有効な IPv6 アドレス。

デフォルト値:

""

xConfiguration Network [n] IPv6 DHCPOptions

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

DHCPv6 サーバーから一連の DHCP オプション (NTP および DNS サーバー アドレスなど) を取得します。

使用方法:

```
xConfiguration Network [n] IPv6 DHCPOptions: DHCPOptions
```

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

DHCPOptions:

Off/On

Off: DHCPv6 サーバーからの DHCP オプションの取得を無効にします。

On: 選択した DHCP オプションのセットの DHCPv6 サーバーからの取得を有効にします。

デフォルト値:

On

xConfiguration Network [n] IPv6 InterfaceIdentifier

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

デバイスの IPv6 インターフェイス ID を定義します。選択したインターフェイス ID (MAC または Opaque) によって、IPv6 アドレスの一部を生成するために使用されるメソッドが決定します。これは、リンクローカル IPv6 アドレスとステートレスアドレス自動構成 (SLAAC) アドレスの両方に該当します。

アドレスには、デバイスによって生成された 64 ビットのプレフィックスと 64 ビットインターフェイス ID が含まれます。MAC では、RFC-2373 で説明するように、EUI-64 ベースのインターフェイス ID が生成されます。

Opaque では、デバイスの最初のブート時に RFC-7217 で説明するようにランダムな 64 ビットのインターフェイス ID が生成され、永遠に、または工場出荷時の状態にリセットされるまで使用されます。

使用方法:

xConfiguration Network [n] IPv6 InterfaceIdentifier: InterfaceIdentifier

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

InterfaceIdentifier:

MAC/Opaque

MAC: インターフェイス識別方法として MAC を選択します。

Opaque: インターフェイス識別方法として Opaque を選択します。

デフォルト値:

MAC

xConfiguration Network [n] MTU

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

イーサネット MTU (最大伝送ユニット) サイズを定義します。MTU サイズは、ネットワーク インフラストラクチャでサポートする必要があります。IPv4 の場合、最小サイズは 576 で、IPv6 の場合、最小サイズは 1280 です。

使用方法:

xConfiguration Network [n] MTU: MTU

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

MTU:

整数 (576 ~ 1500)

MTU の値を設定します (バイト単位)。

デフォルト値:

1500

xConfiguration Network [n] QoS Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

QoS (Quality of Service) は、ネットワーク内のオーディオ、ビデオ、その他のデータの優先順位を処理する手法です。QoS 設定はインフラストラクチャでサポートされている必要があります。DiffServ (差別化サービス) は、ネットワークトラフィックを分類して管理するための、シンプルかつスケーラブルで粗いメカニズムを指定するネットワークアーキテクチャです。これにより、IP ネットワークに QoS 優先順位が割り当てられます。

使用方法:

xConfiguration Network [n] QoS Mode: Mode

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

Mode:

オフ (Off) /Diffserv

Off: QoS メソッドは使用されません。

Diffserv: [ネットワーク QoS Diffserv オーディオ (Network QoS Diffserv Audio)], [ネットワーク QoS Diffserv ビデオ (Network QoS Diffserv Video)], [ネットワーク QoS Diffserv データ (Network QoS Diffserv Data)], [ネットワーク QoS Diffserv シグナリング (Network QoS Diffserv Signalling)], [ネットワーク QoS Diffserv ICMPv6 (Network QoS Diffserv ICMPv6)], および [ネットワーク QoS Diffserv NTP (Network QoS Diffserv NTP)] の各設定を使用して、パケットに優先順位が付けられます。

デフォルト値:

[Diffserv]

xConfiguration Network [n] QoS Diffserv Audio

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

この設定は、[ネットワーク QoS モード (Network QoS Mode)] が [Diffserv] に設定されている場合にのみ有効になります。

IP ネットワーク内で音声パケットに持たせる優先順位を定義します。DiffServ RFC で推奨されているトラフィッククラスは、0 ~ 63 の 10 進数値にマップされます。オーディオには EF を使用することをお勧めします。EF は 10 進数値 46 で表されます。

ここで設定された優先順位は、パケットがローカル ネットワークの管理者によって制御されるネットワークを出るときに上書きされる可能性があります。

使用方法:

xConfiguration Network [n] QoS Diffserv Audio: [Audio](#)

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

Audio:

整数 (0 ~ 63)

IP ネットワーク内でのオーディオパケットの優先順位を設定します。0 は「ベストエフォート」を意味します。

デフォルト値:

46

xConfiguration Network [n] QoS Diffserv Video

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

この設定は、[ネットワーク QoS モード (Network QoS Mode)] が [Diffserv] に設定されている場合にのみ有効になります。

IP ネットワーク内でビデオ パケットに持たせる優先順位を定義します。プレゼンテーションチャンネル (共有コンテンツ) のパケットも、ビデオパケットのカテゴリに属します。DiffServ RFC で推奨されているトラフィッククラスは、0 ~ 63 の 10 進数値にマップされます。ビデオには AF41 を使用することをお勧めします。AF41 は 10 進数値 34 で表されます。

ここで設定された優先順位は、パケットがローカル ネットワークの管理者によって制御されるネットワークを出るときに上書きされる可能性があります。

使用方法:

xConfiguration Network [n] QoS Diffserv Video: [Video](#)

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

Video:

整数 (0 ~ 63)

IP ネットワーク内でのビデオパケットの優先順位を設定します。0 は「ベストエフォート」を意味します。

デフォルト値:

34

xConfiguration Network [n] QoS Diffserv Data

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

この設定は、[ネットワーク QoS モード (Network QoS Mode)] が [Diffserv] に設定されている場合にのみ有効になります。

IP ネットワーク内でデータ パケットに持たせる優先順位を定義します。DiffServ RFC で推奨されているトラフィッククラスは、0 ~ 63 の 10 進数値にマップされます。データには AF41 を使用することをお勧めします。AF41 は 10 進数値 34 で表されます。

ここで設定された優先順位は、パケットがローカル ネットワークの管理者によって制御されるネットワークを出るときに上書きされる可能性があります。

使用方法:

xConfiguration Network [n] QoS Diffserv Data: Data

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

Data:

整数 (0 ~ 63)

IP ネットワーク内でのデータパケットの優先順位を設定します。0 は「ベストエフォート」を意味します。

デフォルト値:

34

xConfiguration Network [n] QoS Diffserv Signalling

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

この設定は、[ネットワーク QoS モード (Network QoS Mode)] が [Diffserv] に設定されている場合にのみ有効になります。

IP ネットワーク内でリアルタイム処理に不可欠 (時間依存) であると考えられるシグナリング パケットに持たせる優先順位を定義します。DiffServ RFC で推奨されているトラフィッククラスは、0 ~ 63 の 10 進数値にマップされます。シグナリングには CS3 を使用することをお勧めします。CS3 は 10 進数値の 24 で表されます。

ここで設定された優先順位は、パケットがローカル ネットワークの管理者によって制御されるネットワークを出るときに上書きされる可能性があります。

使用方法:

xConfiguration Network [n] QoS Diffserv Signalling: Signalling

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

Signalling:

整数 (0 ~ 63)

IP ネットワーク内でのシグナリングパケットの優先順位を設定します。0 は「ベストエフォート」を意味します。

デフォルト値:

24

xConfiguration Network [n] QoS Diffserv ICMPv6

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

この設定は、[ネットワーク QoS モード (Network QoS Mode)] が [Diffserv] に設定されている場合にのみ有効になります。

IP ネットワーク内で ICMPv6 パケットに持たせる優先順位を定義します。DiffServ RFC で推奨されているトラフィッククラスは、0 ~ 63 の 10 進数値にマップされます。ICMPv6 には 0 を使用することをお勧めします。

ここで設定された優先順位は、パケットがローカル ネットワークの管理者によって制御されるネットワークを出るときに上書きされる可能性があります。

使用方法:

xConfiguration Network [n] QoS Diffserv ICMPv6: ICMPv6

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

ICMPv6:

整数 (0 ~ 63)

IP ネットワーク内での ICMPv6 パケットの優先順位を設定します。0 は「ベスト エフォート」を意味します。

デフォルト値:

0

xConfiguration Network [n] QoS Diffserv NTP

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

この設定は、[ネットワーク QoS モード (Network QoS Mode)] が [Diffserv] に設定されている場合にのみ有効になります。

IP ネットワーク内で NTP パケットに持たせる優先順位を定義します。DiffServ RFC で推奨されているトラフィッククラスは、0 ~ 63 の 10 進数値にマップされます。NTP には 0 を使用することをお勧めします。

ここで設定された優先順位は、パケットがローカル ネットワークの管理者によって制御されるネットワークを出るときに上書きされる可能性があります。

使用方法:

xConfiguration Network [n] QoS Diffserv NTP: NTP

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

NTP:

整数 (0 ~ 63)

IP ネットワーク内での NTP パケットの優先順位を設定します。0 は「ベストエフォート」を意味します。

デフォルト値:

0

xConfiguration Network [n] RemoteAccess Allow

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

リモート アクセスで SSH/HTTP/HTTPS からデバイスに許可する IP アドレス (IPv4/IPv6) を定義します。複数の IP アドレスはスペースで区切られます。

ネットワーク マスク (IP 範囲) は <ip address>/N で指定されます。ここで N は IPv4 では 1 ~ 32 の範囲および IPv6 では 1 ~ 128 の範囲を表します。/N は最初の N ビットがセットされたネットワーク マスクの共通インジケータです。たとえば 192.168.0.0/24 は、192.168.0 で開始するどのアドレスとも一致します。これらはアドレスの最初の 24 ビットだからです。

使用方法:

```
xConfiguration Network [n] RemoteAccess Allow: "Allow"
```

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

Allow:

文字列 (0, 255)

有効な IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス。

デフォルト値:

""

xConfiguration Network [n] Speed

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, INTEGRATOR

イーサネット リンクの速度を定義します。デフォルト値では、ネットワークとネゴシエートして自動的に速度が設定されます。このため、デフォルト値は変更しないことをお勧めします。自動ネゴシエーションを使用しない場合、選択した速度を、ネットワーク インフラストラクチャの最も近いスイッチがサポートしているか確認してください。

使用方法:

```
xConfiguration Network [n] Speed: Speed
```

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

Speed:

Auto/*10half*/*10full*/*100half*/*100full*/*1000full*

Auto: リンク速度を自動でネゴシエートします。

10half: 10 Mbps 半二重に強制リンクします。

10full: 10 Mbps 全二重に強制リンクします。

100half: 100 Mbps 半二重に強制リンクします。

100full: 100 Mbps 全二重に強制リンクします。

1000full: 1 Gbps 全二重に強制リンクします。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration Network [n] VLAN Voice Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

VLAN 音声モードを定義します。Cisco UCM (Cisco Unified Communications Manager) をプロビジョニング インフラストラクチャとして使用している場合、VLAN 音声モードが Auto に自動的に設定されます。NetworkServices CDP Mode 設定が Off になっている場合は、Auto モードは機能しないことに注意してください。

使用方法:

xConfiguration Network [n] VLAN Voice Mode: Mode

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

Mode:

Auto/Manual/Off

Auto: Cisco Discovery Protocol (CDP) が使用可能な場合は、音声 VLAN に ID を割り当てます。CDP を使用できない場合、VLAN は有効になりません。

Manual: VLAN ID は、Network VLAN Voice VlanId の設定を使用して手動で設定されます。CDP を使用できる場合、手動設定値は、CDP によって割り当てられた値によって却下されます。

Off: VLAN は有効になりません。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration Network [n] VLAN Voice VlanId

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

VLAN 音声 ID を定義します。この設定は、Network VLAN Voice Mode が Manual に設定されている場合にだけ有効になります。

使用方法:

xConfiguration Network [n] VLAN Voice VlanId: VlanId

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

VlanId:

整数 (1 ~ 4094)

VLAN 音声 ID を設定します。

デフォルト値:

1

NetworkServices の設定

xConfiguration NetworkServices CDP Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

CDP (Cisco Discovery Protocol) デーモンを有効または無効にします。CDP を有効にすると、デバイスは特定の統計情報とデバイス ID を CDP 対応スイッチにレポートします。CDP を無効にすると、[ネットワーク音声 VLAN モード (Network VLAN Voice Mode)]:[自動 (Auto)] 設定は機能しません。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices CDP Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off: CDP デーモンは無効です。

On: CDP デーモンは有効です。

デフォルト値:

On

xConfiguration NetworkServices H323 Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

デバイスでの H.323 コールの受発信を可能にするかどうかを定義します。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices H323 Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off: H.323 コールの発信と受信の可能性を無効にします。

On: H.323 コールの発信と受信の可能性を有効にします。

デフォルト値:

Off

xConfiguration NetworkServices HTTP Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

HTTP または HTTPS (セキュア HTTP) プロトコルによるデバイスへのアクセスを許可するかどうかを指定します。デバイスの Web インターフェイスは HTTP または HTTPS を使用することに注意してください。この設定を Off にすると、Web インターフェイスを使用できなくなります。

セキュリティの強化 (Web サーバーから返されるページと要求の暗号化/暗号化解除) が必要な場合、HTTPS のみを許可します。

注: 以前のソフトウェア バージョンから CE9.4 以降にアップグレードされたデバイスについては、アップグレード後に初期設定にリセットされていない場合、デフォルト値は HTTP+HTTPS となります。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices HTTP Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/HTTP+HTTPS/HTTPS

Off: HTTP や HTTPS によるデバイスへのアクセスを禁止します。

HTTP+HTTPS: HTTP と HTTPS の両方によるデバイスへのアクセスを許可します。

HTTPS: HTTPS によるデバイスへのアクセスを許可し、HTTP によるアクセスを禁止します。

デフォルト値:

HTTPS (CE9.4 では HTTP+HTTPS から HTTPS に変更)

xConfiguration NetworkServices HTTP Proxy LoginName

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

これは、HTTP プロキシに対する認証に使用されるクレデンシャルのユーザー名部分です。[ネットワーク サービス HTTP プロキシ モード (NetworkServices HTTP Proxy Mode)] が手動に設定されている必要があります。MD5 アルゴリズムを使用したダイジェスト、および Basic HTTP 認証方式の HTTP 認証方式がサポートされています。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices HTTP Proxy LoginName: "LoginName"

説明:

LoginName:

文字列 (0, 80)

認証ログイン名。

デフォルト値:

""

xConfiguration NetworkServices HTTP Proxy Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

HTTP、HTTPS、および WebSocket トラフィックに対してプロキシ サーバーを設定できます。HTTP プロキシは手動でセットアップするか、自動設定 (PACUrl) または完全な自動化 (WPAD) を使用するか、オフにすることができます。

[ネットワークサービス HTTP プロキシ モード (NetworkServices HTTP Proxy Mode)] が [オフ (Off)] でない場合は、どのサービスでプロキシを使用するかを、[HttpClient Httpプロキシの使用 (HttpClient UseHttpProxy)]、[HttpFeedback Httpプロキシの使用 (HttpFeedback UseHttpProxy)]、および [Webエンジン Httpプロキシの使用 (WebEngine UseHttpProxy)] の各設定で指定できます。

Webex Cloud との通信は、NetworkServices HTTP Proxy Mode が [オフ (Off)] でない限り、常にプロキシ経由で行われます。

プロキシのモードにかかわらず、デバイスと CUCM、MRA (Expressway 経由の CUCM)、TMS との通信にはプロキシは使用されません。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices HTTP Proxy Mode: Mode

説明:

Mode:

Manual/Off/PACUrl/WPAD

Manual: NetworkServices HTTP Proxy URL 設定にプロキシ サーバーのアドレスを入力します。必要に応じて、NetworkServices HTTP Proxy LoginName/Password 設定に HTTP プロキシのログイン名とパスワードを追加します。

Off: HTTP プロキシ モードがオフになっています。

PACUrl: HTTP プロキシは自動構成です。NetworkServices HTTP Proxy PACUrl 設定で PAC (プロキシ自動設定) スクリプトの URL を入力する必要があります。

WPAD: WPAD (Web プロキシ自動検出) を使用して、HTTP のプロキシは完全に自動化されかつ自動構成されます。

デフォルト値:

Off

xConfiguration NetworkServices HTTP Proxy PACUrl

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

PAC (プロキシ自動構成) スクリプトの URL を設定します。[ネットワーク サービス HTTP プロキシ モード (NetworkServices HTTP Proxy Mode)] が PACUrl に設定されている必要があります。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices HTTP Proxy PACUrl: "PACUrl"

説明:

PACUrl:

文字列 (0, 255)

PAC (プロキシ自動構成) スクリプトの URL。

デフォルト値:

""

xConfiguration NetworkServices HTTP Proxy Password

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

これは、HTTP プロキシへの認証に使われるクレデンシャルのパスワード部分です。[ネットワーク サービス HTTP プロキシ モード (NetworkServices HTTP Proxy Mode)] が手動に設定されている必要があります。MD5 アルゴリズムを使用したダイジェスト、および Basic HTTP 認証方式の HTTP 認証方式がサポートされています。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices HTTP Proxy Password: "Password"

説明:

パスワード:

文字列 (0, 64)

認証パスワード。

デフォルト値:

""

xConfiguration NetworkServices HTTP Proxy Url

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

HTTP プロキシ サーバーの URL を設定します。[ネットワーク サービス HTTP プロキシ モード (NetworkServices HTTP Proxy Mode)] が手動に設定されている必要があります。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices HTTP Proxy Url: "Url"

説明:

URL:

文字列 (0, 255)

HTTP プロキシ サーバの URL。

デフォルト値:

""

xConfiguration NetworkServices HTTPS Server MinimumTLSVersion

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

HTTPS で許可する最低バージョンの TLS (Transport Layer Security) プロトコルを設定します。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices HTTPS Server MinimumTLSVersion:

MinimumTLSVersion

説明:

MinimumTLSVersion:

TLSv1.1/TLSv1.2

TLSv1.1: TLS バージョン 1.1 以降のサポート。

TLSv1.2: TLS バージョン 1.2 以降のサポート。

デフォルト値:

TLSv1.1

xConfiguration NetworkServices HTTPS StrictTransportSecurity

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

HTTP Strict Transport Security ヘッダーにより、Web サイトからブラウザに対して、サイトを HTTP を使用してロードすることを避け、サイトへの HTTP を使用したアクセスはすべて HTTPS リクエストに自動変換する必要があることを通知します。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices HTTPS StrictTransportSecurity:
StrictTransportSecurity

説明:

StrictTransportSecurity:

Off/On

Off: HTTP Strict Transport Security 機能が無効になります。

On: HTTP Strict Transport Security 機能が有効になります。

デフォルト値:

Off

xConfiguration NetworkServices HTTPS VerifyClientCertificate

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

ビデオ会議デバイスが HTTPS クライアント (ウェブ ブラウザなど) に接続すると、クライアントは自分自身を識別するためにビデオ会議デバイスに証明書を提示するように要求されることがあります。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices HTTPS VerifyClientCertificate:
VerifyClientCertificate

説明:

VerifyClientCertificate:

Off/On

Off: クライアント証明書を確認しません。

On: 信頼できる認証局 (CA) によって署名された証明書を提示するようクライアントに要求します。これには、信頼できる CA のリストがデバイスに事前にアップロードされている必要があります。

デフォルト値:

Off

xConfiguration NetworkServices NTP Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

ネットワーク タイム プロトコル (NTP) は、リファレンス タイム サーバーにデバイスの時刻と日付を同期するために使用されます。時間の更新のために、タイム サーバーに定期的に照会します。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices NTP Mode: Mode

説明:

Mode:

Auto/Manual/Off

Auto: デバイスは時間を参照するために NTP サーバーを使用します。デフォルトでは、サーバーのアドレスはネットワークの DHCP サーバーから取得されます。DHCP サーバーを使用しない場合や、DHCP サーバーが NTP サーバーのアドレスを提供しない場合は、ネットワークサービス NTP サーバー [n] アドレス設定で指定された NTP サーバー アドレスが使用されます。

Manual: デバイスは、NetworkServices NTP Server [n] Address 設定で指定された NTP サーバーを使って時間を参照します。

Off: デバイスは NTP サーバーを使用しません。NetworkServices NTP Server [n] Address 設定は無視されます。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration NetworkServices NTP Server [n] Address

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

NetworkServices NTP Mode が Manual に設定された場合、および NetworkServices NTP Mode が Auto に設定されアドレスが DHCP サーバーから提供されない場合に使用される NTP サーバーのアドレスです。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices NTP Server [n] Address: "Address"

説明:

n: NTP サーバーに対応する一意の ID。

範囲: 1 ~ 3

アドレス:

文字列 (0、255)

有効な IPv4 アドレス、IPv6 アドレス、または DNS 名。

デフォルト値:

"0.tandberg.pool.ntp.org"

xConfiguration NetworkServices NTP Server [n] Key

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

NTP 情報が信頼できるソースからのものであることを確かめるためには、ビデオ会議デバイスは NTP ソースが使用する ID またはキー ペアを知っている必要があります。NetworkServices NTP Server [n] Key 設定を使用してキーを指定します。キーの先頭に「HEX:」を付けます。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices NTP Server [n] Key: "Key"

説明:

n: NTP サーバーに対応する一意の ID。

範囲: 1 ~ 3

凡例:

文字列 (0, 2045)

NTP ソースが使用する ID またはキーペアの一部であるキー。

デフォルト値:

""

xConfiguration NetworkServices NTP Server [n] KeyId

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

NTP 情報が信頼できるソースからのものであることを確かめるためには、ビデオ会議デバイスは NTP ソースが使用する ID またはキー ペアを知っている必要があります。ID には NetworkServices NTP Server [n] KeyId 設定を使用します。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices NTP Server [n] KeyId: "KeyId"

説明:

n: NTP サーバーに対応する一意の ID。

範囲: 1 ~ 3

KeyId:

文字列 (0, 10)

NTP ソースが使用する ID/キーペアの一部である ID。

デフォルト値:

""

xConfiguration NetworkServices NTP Server [n] KeyAlgorithm

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

NTP サーバーが使用し、ビデオ会議デバイスが時間メッセージを認証するために使用する必要がある、認証ハッシュ機能を選択します。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices NTP Server [n] KeyAlgorithm: KeyAlgorithm

説明:

n: NTP サーバーに対応する一意の ID。

範囲: 1 ~ 3

KeyAlgorithm:

None/SHA1/SHA256

None: NTPサーバーはハッシュ機能を使用しません。

SHA1: NTPサーバーは SHA-1 ハッシュ機能を使用します。

SHA256: NTP サーバーは SHA-256 ハッシュ機能を使用します (ハッシュ機能の SHA-2 群から)。

デフォルト値:

""

xConfiguration NetworkServices SIP Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

デバイスで SIP コールの発信および受信を可能にするかどうかを定義します。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices SIP Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off: SIP コールの発信と受信の可能性を無効にします。

On: SIP コールの発信と受信の可能性を有効にします。

デフォルト値:

On

xConfiguration NetworkServices SMTP Mode

適用先: RoomKitMini RoomBar DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro

必要なユーザー ロール: ADMIN

SMTP (簡易メール転送プロトコル) を使用するようにデバイスを設定して、デバイスから中継用のメール サーバーに電子メールを送信することができます。これは、ユーザーが組織内外の人に電子メールでホワイトボードやプレゼンテーションを送信する場合に必要です。

暗号化通信を使用するように設定されているデバイスでは ([ネットワークサービス SMTP セキュリティ (NetworkServices SMTP Security)] 設定を参照)、SMTP サーバーの証明書が検証された場合にのみ接続が許可されます。証明書チェックを無視することはできません。

この設定は、Room Kit Mini では通常は使用できず、Room Kit Mini を Samsung Flip (Webex on Flip) と共に使っている場合にのみ使用できます。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices SMTP Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off: SMTP (および電子メール) サポートを無効にします。

On: 電子メールの送信用に SMTP サポートを有効にします。

デフォルト値:

Off

xConfiguration NetworkServices SMTP Server

適用先: RoomKitMini RoomBar DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro

必要なユーザー ロール: ADMIN

これは SMTP サーバーのアドレスです。

この設定は、Room Kit Mini では通常は使用できず、Room Kit Mini を Samsung Flip (Webex on Flip) と共に使っている場合にのみ使用できます。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices SMTP Server: "Server"

説明:

Server:

文字列 (0, 255)

有効な IPv4 アドレス、IPv6 アドレス、または DNS 名。

デフォルト値:

""

xConfiguration NetworkServices SMTP Port

適用先: RoomKitMini RoomBar DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro

必要なユーザー ロール: ADMIN

このポートは、デバイスから SMTP サーバーへの送信メールに使用されます。

暗号化の設定 (NetworkServices SMTP Security) と SMTP サーバーの要件に基づいてポート番号を設定します。デフォルト値は使用しないでください。

この設定は、Room Kit Mini では通常は使用できず、Room Kit Mini を Samsung Flip (Webex on Flip) と共に使っている場合にのみ使用できます。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices SMTP Port: Port

説明:

ポート:

整数 (0 ~ 65535)

デバイスからの送信電子メールに使用されるポート。

デフォルト値:

0

xConfiguration NetworkServices SMTP Username

適用先: RoomKitMini RoomBar DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro

必要なユーザー ロール: ADMIN

これは、SMTP サーバーでデバイスを認証するために使用されるクレデンシャルのユーザー名の部分です。この設定は、SMTP サーバーによって要求される場合があります。

この設定は、Room Kit Mini では通常は使用できず、Room Kit Mini を Samsung Flip (Webex on Flip) と共に使っている場合にのみ使用できます。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices SMTP Username: "Username"

説明:

Username:

文字列 (0, 80)

有効なユーザー名。

デフォルト値:

""

xConfiguration NetworkServices SMTP Password

適用先: RoomKitMini RoomBar DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro

必要なユーザー ロール: ADMIN

これは、SMTP サーバーでデバイスを認証するために使用されるクレデンシャルのパスワード部分です。この設定は、SMTP サーバーによって要求される場合があります。

この設定は、Room Kit Mini では通常は使用できず、Room Kit Mini を Samsung Flip (Webex on Flip) と共に使っている場合にのみ使用できます。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices SMTP Password: "Password"

説明:

パスワード:

文字列 (0, 64)

有効なパスワード。

デフォルト値:

""

xConfiguration NetworkServices SMTP From

適用先: RoomKitMini RoomBar DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro

必要なユーザー ロール: ADMIN

このデバイスから電子メールメッセージを送信するときに使用する、メッセージの送信元メールアドレスの名前を指定します。

この設定は、Room Kit Mini では通常は使用できず、Room Kit Mini を Samsung Flip (Webex on Flip) と共に使っている場合にのみ使用できます。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices SMTP From: "From"

説明:

送信元:

文字列 (0, 255)

SMTP サーバーの要件を満たす電子メールアドレス。

デフォルト値:

""

xConfiguration NetworkServices SMTP Security

適用先: RoomKitMini RoomBar DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro

必要なユーザー ロール: ADMIN

デバイスと SMTP サーバー間の通信を保護するかどうかと、その方法を選択します。

この設定は、Room Kit Mini では通常は使用できず、Room Kit Mini を Samsung Flip (Webex on Flip) と共に使っている場合にのみ使用できます。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices SMTP Security: Security

説明:

セキュリティ:

None/StartTls/Tls

None: 暗号化なしで SMTP サーバーに接続します。

StartTls: 最初に暗号化なしで SMTP サーバーに接続してから、STARTTLS コマンドを送信して暗号化接続 (TLS) にアップグレードします。

Tls: TLS (トランスポート層セキュリティ) 経由で SMTP に接続します。

デフォルト値:

StartTls

xConfiguration NetworkServices SNMP CommunityName

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

SNMP コミュニティの名前を定義します。SNMP コミュニティ名は、SNMP v2c 使用時に、SNMP リクエストを認証するために使用します。管理システムからの SNMP 要求に、一致するコミュニティ名 (大文字と小文字の区別あり) が含まれていない場合、そのメッセージは破棄され、ビデオデバイスの SNMP エージェントは応答送信しません。

Cisco TelePresence Management Suite (TMS) を使用している場合は、同じ SNMP コミュニティがそこで設定されていることを確認する必要があります。

SNMP v3 を使用している場合、この設定は効果がありません。SNMP v3 のユーザーと認証は、Network SNMP USM User コマンドを使用して管理されます。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices SNMP CommunityName: "CommunityName"

説明:

CommunityName:

文字列 (0, 50)

SNMP コミュニティ名。空の文字列は、SNMP v2c がサポートされていないことを意味します。

デフォルト値:

""

xConfiguration NetworkServices SNMP Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

SNMP (簡易ネットワーク管理プロトコル) は、IP ネットワークに接続されているネットワーク デバイスの監視と管理を行うために、ネットワーク管理システムによって使用されます。ビデオ会議 デバイスは、SNMP v2c と v3 の両方をサポートしています。管理システムが基本的なパラメータを読み書きできるように、両方のケースで、デバイスは次のオブジェクト識別子 (OID) を公開します。SNMPv2-MIB::sysDescr (読み取り)、SNMPv2 -MIB::sysObjectID (読み取り)、DISMAN-EVENT-MIB::sysUpTimeInstance (読み取り)、SNMPv2 -MIB::sysContact (読み取り/書き込み)、SNMPv2 -MIB::sysName (読み取り/書き込み)、SNMPv2 -MIB::sysLocation (読み取り/書き込み)、SNMPv2 -MIB::sysServices (読み取り)。

NetworkServices SNMP CommunityName を空の文字列 ("") に設定することで、SNMP サポートを v3 のみに制限できます。

使用方法:

```
xConfiguration NetworkServices SNMP Mode: Mode
```

説明:

Mode:

Off (Off) / 読み取り専用 (ReadOnly) / 読み書き (ReadWrite)

Off: SNMP ネットワーク サービスを無効にします。

ReadOnly: SNMP ネットワーク サービスを照会のみ有効にします。

ReadWrite: SNMP ネットワーク サービスの照会とコマンドの両方を有効にします。

デフォルト値:

Off

xConfiguration NetworkServices SNMP SystemContact

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

SNMP サーバーで使用できる連絡先情報を定義します。

使用方法:

```
xConfiguration NetworkServices SNMP SystemContact: "SystemContact"
```

説明:

SystemContact:

文字列 (0, 50)

ビデオデバイスの連絡先情報を表す文字列。

デフォルト値:

""

xConfiguration NetworkServices SNMP SystemLocation

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

SNMP サーバーで使用できるロケーション情報を定義します。

使用方法:

```
xConfiguration NetworkServices SNMP SystemLocation: "SystemLocation"
```

説明:

SystemLocation:

文字列 (0, 50)

ビデオデバイスのロケーション情報を表す文字列。

デフォルト値:

""

xConfiguration NetworkServices SSH Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

SSH (セキュア シェル) プロトコルは、ビデオ会議デバイスとローカル コンピュータ間でのセキュア な暗号化通信を提供できます。

使用方法:

```
xConfiguration NetworkServices SSH Mode: Mode
```

説明:

Mode:

Off/On

Off: SSH プロトコルは無効になります。

On: SSH プロトコルは有効になります (デフォルト)。

デフォルト値:

On

xConfiguration NetworkServices SSH HostKeyAlgorithm

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

SSH ホストキーに使用される暗号化アルゴリズムを選択します。2048 ビットのキーサイズを用いる RSA (リベスト・シャミル・エイドルマンアルゴリズム)、NIST 曲線の P-384 を用いる ECDSA (楕円曲線デジタル署名アルゴリズム)、ed25519 署名方式を用いる EdDSA (エドワード曲線デジタル署名アルゴリズム) から選択します。

USAGE:

xConfiguration NetworkServices SSH HostKeyAlgorithm:HostKeyAlgorithm
値は次のとおりです。

HostKeyAlgorithm:

ECDSA/RSA/ed25519

ECDSA: ECDSA アルゴリズムを使用します (nist-384p)。

RSA: RSA アルゴリズムを使用します (2048 bits)。

ed25519: ed25519 アルゴリズムを使用します。

デフォルト値:

RSA

xConfiguration NetworkServices UPnP Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

UPnP (ユニバーサル プラグ アンド プレイ) を完全に無効にするか、ビデオ会議デバイスがオンになった後または再起動した後に、短時間だけ UPnP を有効にします。

デフォルトでは、ビデオ会議デバイスをオンにするか再起動すると、UPnP が有効になります。その後、NetworkServices UPnP Timeout の設定で定義されたタイムアウト時間が経過すると、UPnP は自動的に無効になります。

UPnP が有効になると、デバイスはネットワーク上での自身のプレゼンスをアドバタイズします。このアドバタイズによって、タッチコントローラはビデオ会議デバイスを自動的に検出できるようになります。タッチコントローラとペアリングするために、手動でデバイスの IP アドレスを入力する必要はありません。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices UPnP Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off: UPnP は無効になります。ビデオ会議デバイスは自身のプレゼンスをアドバタイズしないため、タッチコントローラをデバイスとペアリングするためにはデバイスの IP アドレスを手動で入力する必要があります。

On: UPnP は有効になります。ビデオ会議デバイスはタイムアウト期間が経過するまで、自身のプレゼンスをアドバタイズします。

デフォルト値:

On

xConfiguration NetworkServices Websocket

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

非セキュアおよびセキュアバージョン (ws および wss) の両方で、デバイスの API に WebSocket プロトコルから相互作用することができます。WebSocket は HTTP に結びついているため、HTTP または HTTPS を有効にしてから WebSockets を使用する必要があります (NetworkServices HTTP Mode 設定を参照)。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices Websocket: [Websocket](#)

説明:

[WebSocket](#):

FollowHTTPService/Off

FollowHTTPService: HTTP または HTTPS が有効な場合、WebSocket プロトコル経由での通信は許可されます。

Off: WebSocket プロトコル経由での通信は許可されません。

デフォルト値:

FollowHTTPService

xConfiguration NetworkServices WelcomeText

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

SSH でデバイスにログインする際に、ユーザーに表示する情報を選択します。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices WelcomeText: [WelcomeText](#)

説明:

[WelcomeText](#):

Off/On

Off: ようこそテキストは次のとおりです: ログインに成功しました (Login successful)

On: ようこそテキストは次のとおりです: <システム名>; ソフトウェア バージョン; ソフトウェアのリリース日; ログインに成功しました (Login successful)

デフォルト値:

On

xConfiguration NetworkServices Wifi Allowed

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

Wi-Fi アダプタが組み込まれているデバイスは、イーサネットまたは Wi-Fi 経由でネットワークに接続できます。イーサネットと Wi-Fi の両方がデフォルトで許可され、ユーザーはどちらを使用するかをユーザーインターフェイスから選択できます。この設定を使用して、管理者はユーザーインターフェイスがセットアップできないように Wi-Fi 設定を無効にすることができます。

このデバイスは次の標準をサポートします: IEEE 802.11a、IEEE 802.11b、IEEE 802.11g、IEEE 802.11n、and IEEE 802.11ac。デバイスは次のセキュリティ プロトコルをサポートします。WPA2 パーソナル モード (AES)、WPA2 (EAP-TLS 方式)、WPA2 (EAP-TTLS 方式)、WPA2 (EAP-FAST 方式)、WPA2 (PEAP (EAP-MSCHAPv2 または EAP-GTC) 方式)、およびオープン ネットワーク (セキュリティ保護なし)。

デバイスの背面の定格ラベルに記載されている PID (製品 ID) に NR (無線なし) の文字が含まれている場合、デバイスは Wi-Fi をサポートしていません。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices Wifi Allowed: [Allowed](#)

説明:

[Allowed](#):

False/True

False: Wi-Fi は使用できません。イーサネット経由でネットワークに接続する必要があります。

True: イーサネットと Wi-Fi の両方を使用できます。

デフォルト値:

True

xConfiguration NetworkServices Wifi Settings FrequencyBand

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

デバイスを Wi-Fi 経由でネットワークに接続するときに使用する周波数帯を設定します。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices Wifi Settings FrequencyBand: [FrequencyBand](#)

説明:

[FrequencyBand](#):

2_4Ghz/5Ghz/Auto

2_4Ghz: 2.4 GHz 帯を使用します。

5Ghz: 5 GHz 帯を使用します。

Auto: 最も強い信号を与える周波数帯域を使用します。または、アクセスポイントがバンドステアリングで設定されている場合は、アクセスポイントによる決定に従います。

デフォルト値:

Auto

Peripherals の設定

xConfiguration Peripherals InputDevice Mode

適用先: [RoomKit](#) [RoomKitMini](#) [RoomBar](#) [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room55](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [DeskPro](#) [DeskMini](#) [Desk](#) [BoardPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN

USB キーボードまたはワイヤレスリモート制御などのサードパーティー入力デバイスの、USB ドングルとの使用を許可するかどうかを定義します。入力デバイスはそれ自体を USB キーボードとしてアドパタイズする必要があります。ご自身で、キークリックに対する応答として行うアクションを定義して実装する必要があります。

使用方法:

xConfiguration Peripherals InputDevice Mode: [Mode](#)

説明:

[Mode](#):

Off/On

Off: サードパーティー入力デバイスは許可されません。

On: サードパーティー製の USB 入力デバイスを使用して、ビデオ会議デバイスの特定の機能を制御できます。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Peripherals Pairing CiscoTouchPanels HttpProxy

適用先: [RoomKit](#) [RoomKitMini](#) [RoomBar](#) [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room55](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [Board](#) [BoardPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN

これにより、ビデオ会議デバイスに直接接続されている (つまり、ローカルでペアリングされている) Room Navigator が外部 HTTP(S) サーバーにアクセスできるようになります。このようなアクセスを防止するには、この設定をオフにします。

使用方法:

xConfiguration Peripherals Pairing CiscoTouchPanels HttpProxy: [HttpProxy](#)

説明:

[HttpProxy](#):

Auto/Off

Auto: Room Navigator は、外部 HTTP(S) サーバー上のコンテンツにアクセスできます。ビデオ会議デバイスは、HTTP プロキシとして機能します。

Off: Room Navigator は外部 HTTP(S) サーバー上のコンテンツにアクセスできません。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration Peripherals Pairing CiscoTouchPanels RemotePairing

適用対象: [すべての製品](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN

ビデオ会議デバイスのユーザーインターフェイスとしてタッチコントローラ (Room Navigator または Cisco Touch 10) を使用するには、タッチコントローラをデバイスにペアリングする必要があります。タッチコントローラをネットワーク (LAN) を介してペアリングする場合、これはリモートペアリングと呼ばれます。リモート ペアリングはデフォルトで許可されています。リモート ペアリングを回避する場合は、この設定をオフに切り替えてください。

Board 55/70 は、Room Navigator をサポートしておらず、Touch 10 のみをサポートしていません。Board 55S/75S/85S、Codec Plus、Codec Pro、Room Kit、Room Kit Mini、Room 55、Room 55 Dual、Room 70、Room 70 G2、Room 70 Panorama および Room Panorama は、Room Navigator と Touch 10 の両方をサポートしています。その他の製品は Room Navigator のみをサポートしています。

使用方法:

xConfiguration Peripherals Pairing CiscoTouchPanels RemotePairing: [RemotePairing](#)

説明:

[RemotePairing](#):

Off/On

Off: タッチコントローラのリモートペアリングは許可されません。

On: タッチコントローラのリモートペアリングは許可されます。

デフォルト値:

On

xConfiguration Peripherals Profile Cameras

適用先: [RoomKit](#) [RoomKitMini](#) [RoomBar](#) [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room55](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [DeskPro](#) [DeskMini](#) [Desk](#) [BoardPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

ビデオ会議デバイスに接続されることが予想される外部カメラの数を定義します。この情報はデバイスの診断サービスで使用します。接続されたカメラの数がこの設定に一致しない場合、診断サービスによって不一致がレポートされます。

使用方法:

xConfiguration Peripherals Profile Cameras: [Cameras](#)

説明:

Cameras:

NotSet/Minimum1/0/1/2/3/4/5/6/7 [[RoomKit](#) [RoomKitMini](#) [RoomBar](#) [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room55](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [BoardPro](#)]

0 [[DeskPro](#) [DeskMini](#) [Desk](#)]

NotSet: カメラの確認は実行されません。

Minimum1: 少なくとも 1 台のカメラがデバイスに接続されている必要があります。

0 ~ 7: デバイスへの接続が予想されるカメラの数を選択します。

デフォルト値:

Minimum1 [[RoomKit](#) [RoomKitMini](#) [RoomBar](#) [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room55](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [BoardPro](#)]

0 [[DeskPro](#) [DeskMini](#) [Desk](#)]

xConfiguration Peripherals Profile ControlSystems

適用対象: [すべての製品](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

サードパーティ製の制御システム (Crestron または AMX など) をビデオ会議デバイスに接続する予定であれば、定義します。この情報はビデオ会議デバイスの診断サービスで使用します。接続された制御システムの数がこの設定に一致しない場合、診断サービスによって不一致がレポートされます。サードパーティ 制御システムは 1 つのみサポートされるので注意してください。

1 に設定する場合、xCommand Peripherals Pair コマンドおよび HeartBeat コマンドを使用して、制御システムからビデオ会議デバイスにハートビートを送信する必要があります。これに失敗すると、ビデオ会議デバイスは、コントロールシステムへの接続が失われたことを示す警告を表示します。

使用方法:

xConfiguration Peripherals Profile ControlSystems: [ControlSystems](#)

説明:

ControlSystems:

1/NotSet

1: 1 つのサードパーティ製コントロール システムをデバイスに接続する必要があります。

NotSet: サードパーティ製の制御システムの存在に対するチェックは実行されません。

デフォルト値:

NotSet

xConfiguration Peripherals Profile TouchPanels

適用先: [RoomKit](#) [RoomKitMini](#) [RoomBar](#) [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room55](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [DeskPro](#) [DeskMini](#) [Desk](#) [BoardPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

デバイスに接続する予定の Cisco タッチコントローラの数 を定義します。この情報はデバイスの診断サービスで使用します。接続されたタッチコントローラの数がこの設定に一致しない場合、診断サービスによって不一致がレポートされます。

使用方法:

xConfiguration Peripherals Profile TouchPanels: [TouchPanels](#)

説明:

[TouchPanels](#):

NotSet/Minimum1/0/1/2/3/4/5 [[RoomKit](#) [RoomKitMini](#) [RoomBar](#) [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room55](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [BoardPro](#)]

0 [[DeskPro](#) [DeskMini](#) [Desk](#)]

NotSet: タッチコントローラチェックは実行されません。

Minimum1: 少なくとも 1 台の Cisco タッチコントローラがデバイスに接続されている必要があります。

0 ~ 5: デバイスへの接続が予想される Cisco タッチコントローラの数を選択します。公式にサポートされているシスコタッチコントローラ数は次の通りです。Desk Series: 0、Room Panorama および Room 70 Panorama: 2、その他製品: 1。

デフォルト値:

Minimum1 [[RoomKit](#) [RoomKitMini](#) [RoomBar](#) [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room55](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

0 [[DeskPro](#) [DeskMini](#) [Desk](#) [BoardPro](#)]

Phonebook の設定

xConfiguration Phonebook Server [n] ID

適用対象: [すべての製品](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN

外部電話帳の名前を定義します。

使用方法:

xConfiguration Phonebook Server [n] ID: "[ID](#)"

説明:

[n](#): 電話帳サーバーを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 1

[ID](#):

文字列 (0、64)

外部の電話帳の名前。

デフォルト値:

" "

xConfiguration Phonebook Server [n] Pagination

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

電話帳サーバーがページネーション(ウェルカムページ)に対応するかどうかを定義します。ページネーションとはサーバーが連続検索に対応しているかどうか、さらにこれらの検索がオフセットに関連付けられるかどうかを意味します。これにより、ユーザーインターフェイスは完全な検索結果を得るために必要な可能な限り多くの連続検索を実行できます。

ページネーションが無効の場合、デバイスは検索を 1 度行い、最大 100 エントリを検索結果に返します。それ以上の検索結果をさらにスクロールすることはできません。

使用方法:

xConfiguration Phonebook Server [n] Pagination: Pagination

説明:

n: 電話帳サーバーを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 1

Pagination:

Disabled/Enabled

Disabled: 電話帳サーバーはページネーションに対応しません。デバイスは 1 回の検索を実行します。検索結果の最大エントリ数は 100 です。

Enabled: 電話帳サーバーはページネーションに対応しています。

デフォルト値:

Enabled

xConfiguration Phonebook Server [n] TlsVerify

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

この設定は、ビデオ会議デバイスが HTTPS 経由で外部の電話帳サーバーに接続するときに適用されます。

デバイスと HTTPS サーバー間の接続を確立する前に、デバイスは、サーバーの証明書が信頼できる認証局 (CA) によって署名されているかどうかを確認します。CA 証明書は、デバイスの CA リスト (プレインストールされているリストまたは Web インターフェイスか API を使用して手動でアップロードするリスト) に含める必要があります。

一般に、HTTPS 接続の最小 TLS (Transport Layer Security) のバージョンは 1.1 です。このルールには次の 2 つの例外があります。1) 互換性の理由で、CUCM に登録されているデバイスの最小 TLS バージョンは 1.0 です。2) Webex クラウド サービスに登録されているデバイスは、常にバージョン 1.2 を使用します。

注: アップグレード後にデバイスが初期設定にリセットされておらず、従来の NetworkServices HTTPS VerifyServerCertificate 設定が明示的に On に設定されていなかった場合、CE 9.8 以前のソフトウェア バージョンから CE 9.9 以降にアップグレードされたデバイスではこの値が Off に設定されます。

使用方法:

xConfiguration 電話帳 Server [n] TlsVerify: TlsVerify

説明:

TlsVerify:

Off/On

Off: デバイスは HTTPS サーバーの証明書を確認しません。

On: デバイスは、HTTPS サーバーの証明書が信頼できるかどうかを確認します。信頼できない証明書の場合、デバイスとサーバー間の接続は確立されません。

デフォルト値:

On

xConfiguration Phonebook Server [n] Type

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

電話帳サーバーの種類を選択します。

使用方法:

xConfiguration Phonebook Server [n] Type: Type

説明:

n: 電話帳サーバーを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 1

タイプ:

Off/CUCM/Spark/TMS/VCS

Off: 電話帳を使用しません。

CUCM: 電話帳が Cisco Unified Communications Manager 上に配置されます。

Spark: Webex クラウドサービスに電話帳が配置されます。

TMS: 電話帳が Cisco TelePresence Management Suite サーバー上に配置されます。

VCS: 電話帳が Cisco TelePresence Video Communication Server 上に配置されます。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Phonebook Server [n] URL

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

外部電話帳サーバーのアドレス (URL) を定義します。

使用方法:

xConfiguration Phonebook Server [n] URL: "URL"

説明:

n: 電話帳サーバーを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 1

URL:

文字列 (0, 255)

外部電話帳サーバーの有効なアドレス (URL)。

デフォルト値:

""

Provisioning の設定

xConfiguration Provisioning Connectivity

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

この設定は、プロビジョニング サーバーからの内部または外部の設定を要求するかどうかを、デバイスが検出する方法を制御します。

使用方法:

xConfiguration Provisioning Connectivity: Connectivity

説明:

Connectivity:

Internal/External/Auto

Internal: 内部コンフィギュレーションを要求します。

External: 外部コンフィギュレーションを要求します。

Auto: 内部または外部のコンフィギュレーションを要求するかどうかを自動的に NAPTR クエリーを使用して検出します。NAPTR の応答に「e」フラグがある場合、外部コンフィギュレーションが要求されます。それ以外の場合、内部コンフィギュレーションが要求されます。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration Provisioning CUCM CallManagementRecords CallDiagnostics

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

デバイスがコール統計を CUCM に送信できるようにし、コール統計は CUCM のコール管理レコードに追加されます。コール統計は、コールの終了時に CUCM に送信されます。

使用方法:

xConfiguration Provisioning CUCM CallManagementRecords CallDiagnostics: CallDiagnostics

説明:

CallDiagnostics:

Disabled/Enabled

Enabled: CUCM コール管理レコードのサポートを有効にします。

Disabled: CUCM コール管理レコードのサポートを無効にします。

デフォルト値:

Enabled

xConfiguration Provisioning ExternalManager Address

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

外部のマネージャ システムまたはプロビジョニング システムの IP アドレスまたは DNS 名を定義します。

外部マネージャのアドレス (およびパス) が設定されている場合、デバイスは起動時にこのアドレスにメッセージを送信します。このメッセージを受信すると、結果として外部マネージャ/プロビジョニング システムはそのユニットにコンフィギュレーション/コマンドを返すことができます。

CUCM または TMS プロビジョニングを使用する場合、外部マネージャ アドレスを自動的に提供するために DHCP サーバーをセットアップできます (TMS には DHCP オプション 242、CUCM には DHCP オプション 150)。Provisioning ExternalManager Address で設定されたアドレスは、DHCP によって提供されるアドレスを上書きします。

使用方法:

xConfiguration Provisioning ExternalManager Address: "Address"

説明:

アドレス:

文字列 (0, 64)

有効な IPv4 アドレス、IPv6 アドレス、または DNS 名。

デフォルト値:

""

xConfiguration Provisioning ExternalManager AlternateAddress

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

デバイスが Cisco Unified Communications Manager (CUCM) でプロビジョニングされており、冗長構成として代替の CUCM が利用可能な場合にのみ使用できます。代替 CUCM のアドレスを定義します。メインの CUCM が使用できない場合、デバイスは代替 CUCM でプロビジョニングされます。メインの CUCM が再び使用可能になると、デバイスはこの CUCM によってプロビジョニングされます。

使用方法:

xConfiguration Provisioning ExternalManager AlternateAddress: "AlternateAddress"

説明:

AlternateAddress:

文字列 (0, 64)

有効な IPv4 アドレス、IPv6 アドレス、または DNS 名。

デフォルト値:

""

xConfiguration Provisioning ExternalManager Protocol

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

外部のマネージャ システムまたはプロビジョニング システムに要求を送信する際に、HTTP (非セキュアな通信) または HTTPS (セキュアな通信) のどちらのプロトコルを使用するかを定義します。

選択したプロトコルは、NetworkServices HTTP Mode の設定で有効になっている必要があります。

使用方法:

xConfiguration Provisioning ExternalManager Protocol: Protocol

説明:

Protocol:

HTTPS/HTTP

HTTPS: HTTPS を介してリクエストを送信します。

HTTP: HTTP を介してリクエストを送信します。

デフォルト値:

HTTP

xConfiguration Provisioning ExternalManager Path

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

外部のマネージャ システムまたはプロビジョニング システムへのパスを定義します。いくつかの管理サービスが同じサーバーに存在する、つまり同じ外部マネージャのアドレスを共有する場合、この設定が必要です。

使用方法:

xConfiguration Provisioning ExternalManager Path: "Path"

説明:

パス:

文字列 (0, 255)

外部のマネージャ システムまたはプロビジョニング システムへの有効なパス。

デフォルト値:

""

xConfiguration Provisioning ExternalManager Domain

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

VCS プロビジョニング サーバーの SIP ドメインを定義します。

使用方法:

xConfiguration Provisioning ExternalManager Domain: "Domain"

説明:

ドメイン:

文字列 (0, 64)

有効なドメイン名。

デフォルト値:

""

xConfiguration Provisioning Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

プロビジョニング システム (外部マネージャ) を使用してデバイスを設定できます。これにより、ビデオ会議のネットワーク管理者は複数のデバイスを同時に管理することができます。この設定により、使用するプロビジョニング システムの種類を選択します。プロビジョニングは、オフに切り替えることも可能です。詳細については、プロビジョニング システムのプロバイダー/担当者にお問い合わせください。

使用方法:

xConfiguration Provisioning Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/Auto/CUCM/Edge/Webex/TMS/VCS

Off: デバイスはプロビジョニング システムによって設定されません。

Auto: DHCP サーバーでセットアップされる対象としてプロビジョニング サーバーが自動的に選択されます。

CUCM: CUCM (Cisco Unified Communications Manager) からデバイスに設定をプッシュします。

Edge: CUCM (Cisco Unified Communications Manager) からデバイスに設定をプッシュします。デバイスは Expressway インフラストラクチャを介して CUCM に接続します。Expressway を経由して登録するには、暗号化オプションキーがデバイスにインストールされている必要があります。

Webex: Webex クラウドサービスからデバイスに構成をプッシュします。Webex クラウドサービスに登録するには、暗号化オプションキーがデバイスにインストールされている必要があります。

TMS: TMS (Cisco TelePresence Management System) からデバイスに設定をプッシュします。

VCS: VCS (Cisco TelePresence Video Communication Server) からデバイスに設定をプッシュします。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration Provisioning LoginName

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

これは、プロビジョニング サーバーでデバイスを認証するために使用されるログイン情報のユーザー名部分です。この設定は、プロビジョニング サーバーが要求する場合、使用する必要があります。

使用方法:

xConfiguration Provisioning LoginName: "LoginName"

説明:

LoginName:

文字列 (0, 80)

有効なユーザー名。

デフォルト値:

""

xConfiguration Provisioning Password

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

これは、プロビジョニング サーバーでデバイスを認証するために使用されるログイン情報のパスワード部分です。この設定は、プロビジョニング サーバーが要求する場合、使用する必要があります。

使用方法:

xConfiguration Provisioning Password: "Password"

説明:

Password:

文字列 (0, 64)

有効なパスワード。

デフォルト値:

""

xConfiguration Provisioning TlsVerify

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

この設定は、ビデオ会議デバイスが HTTPS 経由でプロビジョニング サーバーに接続するときに適用されます。

デバイスと HTTPS サーバー間の接続を確立する前に、デバイスは、サーバーの証明書が信頼できる認証局 (CA) によって署名されているかどうかを確認します。CA 証明書は、デバイスの CA リスト (プレインストールされているリストまたは Web インターフェイスか API を使用して手動でアップロードするリスト) に含める必要があります。

一般に、HTTPS 接続の最小 TLS (Transport Layer Security) のバージョンは 1.1 です。このルールには次の 2 つの例外があります。1) 互換性の理由で、CUCM に登録されているデバイスの最小 TLS バージョンは 1.0 です。2) Webex クラウド サービスに登録されているデバイスは、常にバージョン 1.2 を使用します。

注: アップグレード後にデバイスが初期設定にリセットされておらず、従来の NetworkServices HTTPS VerifyServerCertificate 設定が明示的に On に設定されていなかった場合、CE 9.8 以前のソフトウェア バージョンから CE 9.9 以降にアップグレードされたデバイスではこの値が Off に設定されます。

デバイスが Expressway 経由で Webex クラウドサービスや Cisco Unified Communications Manager からプロビジョニングされている場合 (MRA またはエッジとも呼ばれます)、この設定に関係なく、常に証明書のチェックが実行されます。

使用方法:

xConfiguration Provisioning TlsVerify: TlsVerify

説明:

TlsVerify:

Off/On

Off: デバイスは HTTPS サーバーの証明書を確認しません。

On: デバイスは、HTTPS サーバーの証明書が信頼できるかどうかを確認します。信頼できない証明書の場合、デバイスとサーバーの間の接続は確立されません。

デフォルト値:

On

xConfiguration Provisioning WebexEdge

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

デバイスを Webex Edge for Devices にリンクするかどうかを定義します。リンクしたデバイスには、特定の Webex クラウドサービスへのアクセスが提供されます。

この設定は、オンプレミスサービスに登録されているデバイスにのみ適用されます。

使用方法:

xConfiguration Provisioning WebexEdge: [WebexEdge](#)

説明:

WebexEdge:

Off/On

Off: デバイスは Webex Edge for Devices にリンクされません。

On: デバイスは Webex Edge for Devices にリンクされます。

デフォルト値:

Off

Proximity の設定

xConfiguration Proximity AlternatePort Enabled

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

この設定は、[ネットワークサービス HTTP モード (NetworkServices HTTP Mode)] が [HTTP+HTTPS] または [HTTPS.] に設定されている場合にのみ適用されます。

デフォルトでは、プロキシミティ接続は TCP ポート 443 を使用します。この設定を使用すると、ポート 65533 でもプロキシミティ接続が許可されます。

使用方法:

xConfiguration Proximity AlternatePort Enabled: [Enabled](#)

説明:

Enabled:

False/True

False: プロキシミティ接続は常に TCP ポート 443 を使用します。

True: プロキシミティ接続は TCP ポート 443 または 65533 を使用できます。使用されるポートはクライアントによって変わります。

デフォルト値:

False

xConfiguration Proximity Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

[プロキシミティ モード (Proximity Mode)] 設定は、Webex クラウドサービスに登録されているデバイスには効果がありません。クラウド登録デバイスから超音波ペアリングメッセージが送信されないようにするには、[オーディオ 超音波 最大音量 (Audio Ultrasound MaxVolume)] を 0 に設定する必要があります。

オンプレミス登録デバイスの場合は、[プロキシミティ モード (Proximity Mode)] 設定により、超音波ペアリングメッセージを出力するかどうかを決定します。デバイスから超音波ペアリングメッセージを出力すると、デバイスが近くにあることをシスココラボレーションクライアントで検知できます。

クライアントを使用するには、少なくとも 1 つのプロキシミティサービスを有効にする必要もあります ([プロキシミティ サービス (Proximity Services)] 設定を参照)。一般的に、すべてのプロキシミティ サービスを有効にすることをお勧めします。

[プロキシミティ モード (Proximity Mode)] 設定と [オーディオ 超音波 最大音量 (Audio Ultrasound MaxVolume)] 設定は、超音波ペアリングメッセージにのみ影響します。超音波の出力をすべて停止するには、[ルーム分析 人の存在の検出 (RoomAnalytics PeoplePresenceDetector)] 設定と [スタンバイ モーション検知ウェイクアップ (Standby WakeupOnMotionDetection)] 設定も [オフ (Off)] にする必要があります。

使用方法:

xConfiguration Proximity Mode: [Mode](#)

説明:

[Mode](#):

Off/On

Off: シスコ コラボレーション クライアントはデバイスが近くにあることを検知できません。このため、プロキシミティサービスは使用できません。

On: シスココラボレーションクライアントはデバイスが近くにあることを検知できます。有効になっているプロキシミティサービスを使用できます。

デフォルト値:

On [RoomKit RoomKitMini RoomBar Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama Board BoardPro]

Off [CodecEQ CodecPlus CodecPro DeskPro DeskMini Desk]

xConfiguration Proximity Services CallControl

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

シスコ コラボレーション クライアントの基本的なコール制御機能を有効または無効にします。この設定を有効にすると、シスココラボレーションクライアントを使用してコールを制御できます (ダイヤル、ミュート、音量調節、コールの終了など)。このサービスはモバイルデバイス (iOS および Android) でサポートされます。この設定が機能するには、Proximity Mode を On にする必要があります。

使用方法:

xConfiguration Proximity Services CallControl: [CallControl](#)

説明:

[CallControl](#):

Enabled/Disabled

Enabled: シスコ コラボレーション クライアントからのコール制御が有効になります。

Disabled: シスコ コラボレーション クライアントからのコール制御が無効になります。

デフォルト値:

無効

xConfiguration Proximity Services ContentShare FromClients

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

シスコ コラボレーション クライアントからのコンテンツ共有を有効または無効にします。この設定を有効にすると、シスコ コラボレーション クライアントからのコンテンツをデバイスにワイヤレスで共有できます (ラップトップ画面の共有など)。このサービスはラップトップ (OS X および Windows) でサポートされます。この設定が機能するには、Proximity Mode を On にする必要があります。

使用方法:

xConfiguration Proximity Services ContentShare FromClients: [FromClients](#)

説明:

[FromClients](#):

Enabled/Disabled

Enabled: シスコ コラボレーション クライアントからのコンテンツ共有が有効になります。

Disabled: シスコ コラボレーション クライアントからのコンテンツ共有が無効になります。

デフォルト値:

Enabled

xConfiguration Proximity Services ContentShare ToClients

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

現在では、これは該当しません。

使用方法:

xConfiguration Proximity Services ContentShare ToClients: ToClients

説明:

ToClients:

無効

デフォルト値:

無効

RoomAnalytics の設定

xConfiguration RoomAnalytics AmbientNoiseEstimation Interval

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

環境雑音の予測を実行する間隔を設定します (有効化されている場合)。xConfiguration RoomAnalytics AmbientNoiseEstimation Mode を使用して、環境雑音の予測を有効または無効にすることができます。

使用方法:

xConfiguration RoomAnalytics AmbientNoiseEstimation Interval: Interval

説明:

Interval:

整数 (10 ~ 60)

環境雑音の予測を実行する頻度の間隔 (秒) を設定します。

デフォルト値:

10

xConfiguration RoomAnalytics AmbientNoiseEstimation Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

デバイスは室内の固定周囲ノイズ レベル (背景雑音レベル) を算出することができます。結果は RoomAnalytics AmbientNoise レベル dBA ステータスにレポートされます。新しい周囲ノイズレベルが検出されるとステータスが更新されます。

使用方法:

xConfiguration RoomAnalytics AmbientNoiseEstimation Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

On: デバイスは固定周囲ノイズ レベルを定期的に予測します。

Off: デバイスは固定周囲ノイズ レベルを定期的に予測しません。

デフォルト値:

Off

xConfiguration RoomAnalytics PeopleCountOutOfCall

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

「頭部検出」という技術を使用して、デバイスは室内にいる人数を特定できます。デフォルトでは、デバイスは会議中のときまたはセルフビュー画像を表示したときのみ人数を数えます。

Codec Plus、Codec Pro: Quad Camera がデバイスに接続されている場合のみ適用されます。

使用方法:

xConfiguration RoomAnalytics PeopleCountOutOfCall: PeopleCountOutOfCall

説明:

PeopleCountOutOfCall:

Off/On

Off: デバイスは、デバイスが会議中のときまたはセルフビューがオンのときのみ、人数を数えます。

On: デバイスは、デバイスがスタンバイ モードでない時に、人数を数えます。セルフ ビューがオフであっても、これは非通話中の人数を含みます。

デフォルト値:

Off

xConfiguration RoomAnalytics PeoplePresenceDetector

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

デバイスは、人が室内に存在しているかどうかを確認し、その結果を RoomAnalytics PeoplePresence のステータスにレポートすることができます。この機能は、超音波に基づいています。このデバイスでは、ルームに誰がいたかは記録として保持されず、ルームに人がいたかどうかのみが保持されます。

この設定と [スタンバイ モーション検知ウェイクアップ (Standby WakeupOnMotionDetection)] 設定の両方が [オフ (Off)] になっている場合、人の存在を検出するための超音波信号は出力されません。[オーディオ 超音波 最大音量 (Audio Ultrasound MaxVolume)] 設定と [プロキシミティ モード (Proximity Mode)] 設定は、人の存在の検出には影響しません。

使用方法:

xConfiguration RoomAnalytics PeoplePresenceDetector: PeoplePresenceDetector

説明:

PeoplePresenceDetector:

Off/On

Off: 室内の人の存在は、デバイスのステータスで報告されません。

On: 室内の人の存在は、デバイスのステータスで報告されます。

デフォルト値:

Off

xConfiguration RoomAnalytics ReverberationTime Interval

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

RT60 を測定して RoomAnalytics ステータスにレポートする頻度を定義します。間隔は秒単位です。間隔を設定するには、[ルーム分析 残響時間 モード (RoomAnalytics ReverberationTime Mode)] 設定を有効にする必要があります。

使用方法:

xConfiguration RoomAnalytics ReverberationTime Interval: Interval

説明:

Interval:

整数 (60 ~ 3600)

間隔 (秒単位)。

デフォルト値:

1800

xConfiguration RoomAnalytics ReverberationTime Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

残響時間は、音が室内で「フェードアウトする」かまたは減衰する速度の測定です。

これは、室内の音響品質の認識に大きく関連しています。

シスコデバイスでは、音響エコーキャンセラから直接、残響時間 (RT60) を測定できます。

室内でノイズやインパルス信号を発する必要がある従来の残響時間測定とは異なり、Cisco デバイスは RT60 を「サイレント測定」として測定します。

サイレント測定動作のため、RT60 値は暗示的で、ISO 3382-2 標準規格に従って厳密には正確ではありません。

測定では、125 Hz ~ 4 kHz の各オクターブバンドの RT60 値を測定します。

使用方法:

xConfiguration RoomAnalytics ReverberationTime Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

On: サイレント RT60 測定値をアクティブにします。

Off: サイレント RT60 測定値を非アクティブにします。

デフォルト値:

Off

xConfiguration RoomAnalytics T3AlarmDetection Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

T3 アラーム検出により、デバイスは T3 火災警報器の音声信号を認識できます (T3 は米国の業界標準の警報パターンです)。アラームが検出されると、RoomAnalytics T3AlarmDetected ステータスが False から True に変わります。

重要: デバイスがアラームを検出する保証はありません。たとえば、マイクのレベルが低いと検出がブロックされます。したがって、この機能に頼って警報の意識を高めるべきではありませんし、他の安全やセキュリティ対策および文書に取って代わるものではありません。

使用方法:

xConfiguration RoomAnalytics T3AlarmDetection Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off: T3 アラーム検出は無効になっています。

On: T3 アラーム検出が有効になっています。

デフォルト値:

Off

xConfiguration RoomAnalytics T3AlarmDetection Timeout

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

T3 アラーム検出が有効になっている場合、システムがアラームを検出すると、RoomAnalytics T3AlarmDetected ステータスが False から True に切り替わります。タイムアウトとして定義された秒数の間にアラームが検出されなかった場合、ステータスは False に戻ります。

使用方法:

xConfiguration RoomAnalytics T3AlarmDetection Timeout: Timeout

説明:

タイムアウト:

整数 (5..60)

秒単位のタイムアウト期間。

デフォルト値:

10

RoomCleanup 構成

xConfiguration RoomCleanup AutoRun ContentType TemporaryAccounts

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

デバイスにログインしている可能性のある一時アカウント (ECM) サービスを介してアクセスされる OneDrive アカウント) を削除します。

使用方法:

xConfiguration RoomCleanup AutoRun ContentType TemporaryAccounts: [TemporaryAccounts](#)

説明:

[TemporaryAccounts](#):

Daily/Off

Daily: 一時的なアカウントの日次クリアを有効にします。

Off: 一時的なアカウントの日次クリアを無効にします。

デフォルト値:

Daily

xConfiguration RoomCleanup AutoRun ContentType WebData

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

Web データの毎日のルームクリーンアップを有効または無効にします。RoomCleanup AutoRun HourOfDay を使用して、時刻を設定します。

使用方法:

xConfiguration RoomCleanup AutoRun ContentType WebData: [WebData](#)

説明:

[WebData](#):

Daily/Off

Daily: Web データの毎日のクリーンアップを有効にします。

Off: Web データの毎日のクリーンアップを無効にします。

デフォルト値:

Daily

xConfiguration RoomCleanup AutoRun ContentType Whiteboards

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

ホワイトボードの毎日のルームクリーンアップを有効または無効にします。RoomCleanup AutoRun HourOfDay を使用して、時刻を設定します。

使用方法:

xConfiguration RoomCleanup AutoRun ContentType Whiteboards: [Whiteboards](#)

説明:

[Whiteboards](#):

Daily/Off

Daily: ホワイトボードの毎日のクリーンアップを有効にします。

Off: ホワイトボードの毎日のクリーンアップを無効にします。

デフォルト値:

Daily

xConfiguration RoomCleanup AutoRun HourOfDay

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

ルームクリーンアップを実行する毎日の時刻を設定します。

使用方法:

xConfiguration RoomCleanup AutoRun HourOfDay: [HourOfDay](#)

説明:

[HourOfDay](#):

整数 (0 ~ 23)

ルームクリーンアップが行われる時刻。

デフォルト値:

0

RoomScheduler 構成

xConfiguration RoomScheduler Enabled

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

ルームスケジューリング機能を使用すると、会議室にあるタッチコントローラから部屋を直接予約できます。部屋が使用可能な場合は、進行中の会議を延長することもできます。Webex Assistant (音声駆動型の仮想アシスタント) を使用して会議を予約または延長することもできます。

ルームスケジューリング機能では、デバイスが Webex クラウドサービスに登録されているか、または Webex Edge for Devices にリンクされている必要があります。また、予約を許可するカレンダーサービスをルームに設定する必要があります。ルームスケジューリング機能はパーソナルモードデバイスではサポートされていません。

使用方法:

xConfiguration RoomScheduler Enabled: Enabled

説明:

Enabled:

False/True

False: ルームスケジューリング機能は使用できません。

True: 上記の前提条件を満たす場合、ルームスケジューリング機能を使用できます。

デフォルト値:

False

セキュリティ設定

xConfiguration Security Audit Logging Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: AUDIT

監査ログを記録または送信する場所を定義します。監査ログは syslog サーバーに送信されません。Logging Mode 設定が Off に設定されている場合、この設定には効果がありません。

External モードまたは ExternalSecure モードを使用する場合は、Security Audit Server Address 設定に監査サーバーのアドレスを入力する必要があります。

使用方法:

xConfiguration Security Audit Logging Mode: Mode

説明:

Mode:

External/ExternalSecure/Internal/Off

External: デバイスは外部監査 syslog サーバーに監査ログを送信します。syslog サーバーでは UDP をサポートする必要があります。

ExternalSecure: デバイスは、監査 CA リストの証明書で検証された外部 syslog サーバーに暗号化された監査ログを送信します。監査 CA リスト ファイルが Web インターフェイスからデバイスにアップロードされている必要があります。CA のリストの証明書の common_name パラメータは syslog サーバーの IP アドレスまたは DNS 名と一致する必要があり、セキュア TCP サーバーでセキュア (TLS) TCP syslog メッセージをリッスンするように設定される必要があります。

Internal: デバイスは内部ログに監査ログを記録し、満杯になるとログをローテーションします。

Off: 監査ロギングは実行されません。

デフォルト値:

Internal

xConfiguration Security Audit OnError Action

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: AUDIT

syslog サーバーへの接続が失われた場合の動作を定義します。この設定は、Security Audit Logging Mode が ExternalSecure に設定されている場合のみ関連します。

使用方法:

xConfiguration Security Audit OnError Action: Action

説明:

アクション:

Halt/Ignore

Halt: 停止状態が検出された場合、デバイスはリブートし、停止期間が経過するまでは監査役だけが装置の操作を許可されます。停止状態が過ぎ去ると、監査ログは syslog サーバーに再スプールされます。ネットワークの違反 (物理リンクなし)、動作中の外 Syslog サーバーが存在しない (または syslog への間違ったアドレスまたはポート)、TLS 認証が失敗した (使用中の場合)、ローカル バックアップ (再スプール) ログがいっぱいになった、などの停止状態があります。

Ignore: デバイスは通常の動作を続行し、満杯になった場合は内部ログをローテーションします。接続が復元されると syslog サーバーに再度監査ログを送信します。

デフォルト値:

ignore

xConfiguration Security Audit Server Address

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: AUDIT

監査ログの送信先である syslog サーバーの IP アドレスまたは DNS 名を設定します。この設定は、Security Audit Logging Mode が External または ExternalSecure に設定されている場合のみ関連します。

使用方法:

xConfiguration Security Audit Server Address: "Address"

説明:

アドレス:

文字列 (0, 255)

有効な IPv4 アドレス、IPv6 アドレス、または DNS 名。

デフォルト値:

""

xConfiguration Security Audit Server Port

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: AUDIT

監査ログは syslog サーバーに送信されます。デバイスが監査ログを送信する syslog サーバーのポートを定義します。この設定は、Security Audit Server PortAssignment が Manual に設定されている場合にのみ関連します。

使用方法:

xConfiguration Security Audit Server Port: Port

説明:

ポート:

整数 (0 ~ 65535)

監査サーバーのポートを設定します。

デフォルト値:

514

xConfiguration Security Audit Server PortAssignment

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: AUDIT

監査ログは syslog サーバーに送信されます。外部 syslog サーバーのポート番号の割り当て方法を定義できます。この設定は、Security Audit Logging Mode が External または ExternalSecure に設定されている場合のみ関連します。使用しているポート番号を確認するために、Security Audit Server Port 状態をチェックできます。Web インターフェイスで [設定 (Setup)] > [ステータス (Status)] の順に選択するか、コマンドライン インターフェイスの場合は、xStatus Security Audit Server Port のコマンドを実行します。

使用方法:

xConfiguration Security Audit Server PortAssignment: PortAssignment

説明:

PortAssignment

Auto/Manual

Auto: [セキュリティ監査ロギング モード (Security Audit Logging Mode)] が [外部 (External)] にセットされている場合、UDP ポート番号 514 を使用します。Security Audit Logging Mode が ExternalSecure にセットされている場合、TCP ポート番号 6514 を使用します。

Manual: [セキュリティ監査サーバーのポート (Security Audit Server Port)] 設定で定義されたポート値を使用します。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration Security Fips Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

必要に応じて、デバイスを FIPS モードに設定することができます (連邦情報処理標準 (FIPS) 140-3、「暗号化モジュールのセキュリティ要件」)。FIPS モード中、デバイスと HTTP プロキシの間では、ダイジェストアクセス認証はサポートされていません。これはダイジェストアクセス認証では FIPS で許可されていない MD5 暗号化ハッシュを使用するためです。

FIPS モードでは、HTTPS のみを許可し、SNMP や IEEE8021X に切り替ええないようにする (デフォルト値を保持する) 必要があります。

この設定に対する変更を完全に反映させるには、デバイスを再起動する必要があります。

使用方法:

xConfiguration Security Fips Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off: デバイスは FIPS モードではありません。

On: デバイスが FIPS モードになります。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Security Session FailedLoginsLockoutTime

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

ユーザーが Web または SSH セッションのログインに失敗したあと、デバイスがユーザーをロックアウトする時間を定義します。

この設定に対する変更を反映するには、デバイスを再起動します。

使用方法:

xConfiguration Security Session FailedLoginsLockoutTime:

FailedLoginsLockoutTime

説明:

FailedLoginsLockoutTime:

整数 (0 ~ 10000)

ロックアウト時間 (分) を設定します。

デフォルト値:

60

xConfiguration Security Session InactivityTimeout

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

ユーザーが Web または SSH セッションから自動的にログアウトされるまでに、デバイスがユーザーの非アクティブ状態をどれくらいの時間受け入れるかを定義します。

この設定に対する変更を反映するには、デバイスを再起動します。

使用方法:

xConfiguration Security Session InactivityTimeout: InactivityTimeout

説明:

InactivityTimeout:

整数 (0 ~ 10000)

非アクティブタイムアウト (分) を設定します。0 を指定すると、1 時間のタイムアウトになります。最大タイムアウト長は 12 時間です。

デフォルト値:

0

xConfiguration Security Session MaxFailedLogins

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

Web または SSH セッションにログイン試行を失敗できるユーザー 1 人あたりの最大数を定義します。ユーザーが試行の最大数を超えた場合、ユーザーはロックアウトされます。0 は、失敗できるログインの回数に制限がないことを意味します。

この設定に対する変更を反映するには、デバイスを再起動します。

使用方法:

xConfiguration Security Session Maxfailed Logins: Maxfailed Logins

説明:

MaxFailedLogins:

整数 (0 ~ 10)

ユーザー 1 人あたりの失敗できるログイン試行の最高回数を設定します。

デフォルト値:

0

xConfiguration Security Session MaxSessionsPerUser

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

ユーザー 1 人あたりの最大同時セッション数は 20 セッションです。

使用方法:

xConfiguration Security Session MaxSessionsPerUser: MaxSessionsPerUser

説明:

ユーザ最大数

整数 (1 ~ 20)

ユーザー 1 人あたりの最大同時セッション数を設定します。

デフォルト値:

20

xConfiguration Security Session MaxTotalSessions

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

同時セッションの合計最大数は 20 セッションです。

使用方法:

xConfiguration Security Session MaxTotalSessions: MaxTotalSessions

説明:

最大総数

整数 (1 ~ 20)

同時セッションの合計最大数を設定します。

デフォルト値:

20

xConfiguration Security Session ShowLastLogon

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

SSH を使用してデバイスにログインすると、前回ログインに成功したセッションのユーザー ID、時刻および日付が表示されます。

使用方法:

xConfiguration Security Session ShowLastLogon: ShowLastLogon

説明:

最後表示

Off/On

On:最後のセッションに関する情報を表示します。

Off:最後のセッションに関する情報を表示しません。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Security Xapi WebSocket ApiKey Allowed

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

リモートでペアリングされた Room Navigator からの Web ソケット経由の API へのアクセスを有効または無効にします。API アクセスを必要とする一般的なユースケースは、Room Navigator の LED の色を制御する永続的な Web アプリ (カスタム予約アプリなど) です。API アクセスが無効になっている場合でも、デバイスの API との通信を必要としないアプリは、引き続き Room Navigator で実行されます。

注: 永続的な Web アプリは、ネットワークを介してデバイスにペアリングされている Room Navigator でのみ使用できます。

使用方法:

xConfiguration Security Xapi WebSocket ApiKey Allowed: Allowed

説明:

Allowed:

False/True

True: Room Navigator は、デバイスが一般的に WebSocket を介した API との対話を許可するように設定されている場合に限り、WebSocket を介してデバイスの API と対話することができます (NetworkServices HTTP Mode: HTTPS または HTTP+HTTPS および NetworkServices Websocket: FollowHTTPService)。また、アプリをホストするサーバーのドメインは、WebEngine Features Xapi Peripherals AllowedHosts Hosts 設定にリストされている必要があります。

False: Room Navigator は、Web ソケットを介してデバイスの API と対話することを許可されていません。

デフォルト値:

False

SerialPort の設定

xConfiguration SerialPort Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

シリアル ポートを有効/無効にします。デバイスに複数のシリアルポートがある場合、この設定はすべてのシリアルポートに適用されます。

この設定は、第 1 世代の Board (Board 55 および Board 70) では使用できません。

使用方法:

xConfiguration SerialPort Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off: シリアル通信が無効になります。

On: シリアル通信が有効になります。

デフォルト値:

On

xConfiguration SerialPort BaudRate

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

シリアルポートのボーレート (データ転送速度) を設定します。新しいボーレートは、デバイスの再起動後に有効になります。

シリアル ポートの他の接続パラメータは次の通りです。データ ビット: 8。パリティ: なし。ストップ ビット: 1。フロー制御: なし。

この設定は、専用のメンテナンスポート (マイクロ USB) には影響しません。メンテナンスポートでは、常にデフォルトのボーレートが使用されます。

この設定は、第 1 世代の Board (Board 55 および Board 70) では使用できません。

使用方法:

xConfiguration SerialPort BaudRate: BaudRate

説明:

BaudRate:

115200 [RoomKit RoomKitMini RoomBar CodecEQ CodecPlus Room55 Room70/Room55D DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro]

9600/19200/38400/57600/115200 [CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]
リストからボーレートを選択します (ビット/秒)。

デフォルト値:

115200

xConfiguration SerialPort LoginRequired

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

シリアルポートに接続するときにログインが必要かどうかを定義します。デバイスに複数のシリアルポートがある場合、この設定はすべてのシリアルポートに適用されます。

この設定は、第 1 世代の Board (Board 55 および Board 70) では使用できません。

使用方法:

xConfiguration SerialPort LoginRequired: LoginRequired

説明:

LoginRequired:

Off/On

Off: ユーザーはログインせずに、シリアル ポート経由でデバイスにアクセスできます。

On: シリアル ポート経由でデバイスに接続するときに、ログインが必要です。

デフォルト値:

On

SIP の設定

xConfiguration SIP ANAT

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

ANAT (Alternative Network Address Types) は RFC 4091 で規定されている複数のアドレスとアドレス タイプのメディア ネゴシエーションを有効にします。

使用方法:

xConfiguration SIP ANAT: ANAT

説明:

ANAT:

Off/On

Off: ANAT を無効にします。

On: ANAT を有効にします。

デフォルト値:

Off

xConfiguration SIP Authentication UserName

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

これは、SIP プロキシへの認証に使用されるクレデンシャルのユーザー名部分です。

使用方法:

xConfiguration SIP Authentication UserName: "UserName"

説明:

UserName:

文字列 (0, 128)

有効なユーザー名。

デフォルト値:

""

xConfiguration SIP Authentication Password

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

これは、SIP プロキシへの認証に使用されるクレデンシャルのパスワード部分です。

使用方法:

xConfiguration SIP Authentication Password: "Password"

説明:

パスワード:

文字列 (0, 128)

有効なパスワード。

デフォルト値:

""

xConfiguration SIP DefaultTransport

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

LAN で使用するトランスポート プロトコルを選択します。

使用方法:

xConfiguration SIP DefaultTransport: DefaultTransport

説明:

DefaultTransport:

Auto/TCP/Tls/UDP

TCP: デバイスはデフォルトの転送方法として常に TCP を使用します。

UDP: デバイスはデフォルトの転送方法として常に UDP を使用します。

Tls: デバイスはデフォルトの転送方法として常に TLS を使用します。TLS 接続の場合、SIP CA リストをデバイスにアップロードできます。該当する CA リストがデバイスにない場合は、デファイター ヘルマン匿名認証が使用されます。

Auto: デバイスは、TLS、TCP、UDP の順序でトランスポート プロトコルを使用して接続を試みます。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration SIP DisplayName

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

これを設定した場合、着信コールは、SIP URI ではなく、表示名を報告します。

使用方法:

xConfiguration SIP DisplayName: "DisplayName"

説明:

DisplayName:

文字列 (0, 550)

SIP URI の代わりに表示する名前。

デフォルト値:

""

xConfiguration SIP Ice DefaultCandidate

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

ICE プロトコルには、使用するメディア ルートを決定するまでの時間 (最大で通話開始から 5 秒間) が必要となります。この時間内に、この設定に従って、デバイスのメディアがデフォルトの候補に送信されます。

使用方法:

xConfiguration SIP Ice DefaultCandidate: DefaultCandidate

説明:

DefaultCandidate:

Host/Rflx/Relay

Host:メディアをデバイスのプライベート IP アドレスに送信します。

Rflx:TURN サーバーが認識しているデバイスのパブリック IP アドレスにメディアを送信します。

Relay:TURN サーバーで割り当てられた IP アドレスおよびポートにメディアを送信します。

デフォルト値:

Host

xConfiguration SIP Ice Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

ICE (Interactive Connectivity Establishment, RFC 5245) は、最適化されたメディア パスの検出にデバイスで使用できる NAT トラバーサル ソリューションです。このため、音声とビデオの最短ルートがデバイス間で常に確保されます。メディアパスを設定すると、最初に STUN (Session Traversal Utilities for NAT) メッセージが交換されます。

なお、SIP Ice Mode に関係なく、STUN は NAT バインディングを更新するキープアライブ メカニズムとしても使用されます。

使用方法:

xConfiguration SIP Ice Mode: Mode

説明:

Mode:

Auto/Off/On

Auto:TURN サーバーが提供されている場合は ICE が有効になり、提供されていない場合は ICE が無効になります。

Off:ICE が無効になります。

On:ICE が有効になります。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration SIP ListenPort

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

SIP TCP/UDP ポートでの着信接続のリッスンをオンまたはオフにします。オフにした場合、デバイスは SIP プロキシ (CUCM または VCS) を介してのみ到達可能になります。セキュリティ対策として、デバイスが SIP プロキシに設定されている場合は SIP ListenPort をオフにする必要があります。

使用方法:

xConfiguration SIP ListenPort: ListenPort

説明:

ListenPort:

Auto/Off/On

Auto: デバイスが SIP プロキシに登録されている場合、SIP TCP/UDP ポートでの着信接続に対するリスニングは自動的にオフになります。それ以外の場合は、オンになります。

Off: SIP TCP/UDP ポートでの着信接続のリッスンをオフにします。

On: SIP TCP/UDP ポートでの着信接続のリッスンをオンにします。

デフォルト値:

On [RoomKit RoomKitMini RoomBar CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskMini Desk BoardPro]

Auto [DeskPro Board]

xConfiguration SIP MinimumTLSVersion

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

SIP で許可する最低バージョンの TLS (Transport Layer Security) プロトコルを設定します。

使用方法:

xConfiguration SIP MinimumTLSVersion: MinimumTLSVersion

説明:

MinimumTLSVersion:

TLSv1.0/TLSv1.1/TLSv1.2

TLSv1.0: TLS バージョン 1.0 以上をサポートします。

TLSv1.1: TLS バージョン 1.1 以上をサポートします。

TLSv1.2: TLS バージョン 1.2 以上をサポートします。

デフォルト値:

TLSv1.0

xConfiguration SIP Proxy [n] Address

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

プロキシ アドレスは発信プロキシに手動で設定されたアドレスです。完全修飾ドメイン名、または IP アドレスを使用することが可能です。デフォルト ポートは、TCP および UDP の場合は 5060 ですが、もう 1 ポート準備できます。

使用方法:

xConfiguration SIP Proxy [n] Address: "Address"

説明:

n: プロキシを識別するインデックス (最大 4 つのプロキシを定義できます)。

範囲: 1 ~ 4

アドレス:

文字列 (0、255)

有効な IPv4 アドレス、IPv6 アドレス、または DNS 名。

デフォルト値:

""

xConfiguration SIP TlsVerify

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

SIP TLS 経由の接続を確立する前に、デバイスは、信頼できる認証局 (CA) がピアの証明書に署名しているかどうかを確認します。CA が CA リストに含まれており、Web インターフェイスまたは API を使用して手動でデバイスにアップロードされている必要があります。プレインストールされている証明書リストは、SIP TLS 接続の証明書の検証には使用されません。

注: アップグレード後にデバイスが初期設定にリセットされておらず、この設定が明示的に On に設定されていなかった場合、CE 9.8 以前のソフトウェア バージョンから CE 9.9 以降にアップグレードされたデバイスではこの値が Off に設定されます。

どの TLS バージョンを許可するかを指定するには、SIP MinimumTLSVersion 設定を使用します。

使用方法:

xConfiguration SIP TlsVerify: TlsVerify

説明:

TlsVerify:

Off/On

Off: デバイスはピアの証明書を確認しません。いずれにしても SIP TLS 接続が確立されます。

On: デバイスは、ピアの証明書が信頼できるかどうかを確認します。信頼できない場合、SIP TLS 接続は確立されません。

デフォルト値:

On

xConfiguration SIP Turn Server

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

TURN (Traversal Using Relay NAT) サーバーのアドレスを定義します。これはメディア リレー フォールバックとして使用され、また、デバイス固有のパブリック IP アドレスを検出するためにも使用されます。

使用方法:

xConfiguration SIP Turn Server: "Server"

説明:

Server:

文字列 (0, 255)

推奨する形式は、DNS SRV record (例: `_turn._udp.<domain>`) または、有効な IPv4 または IPv6 アドレスです。

デフォルト値:

""

xConfiguration SIP Turn UserName

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

TURN サーバーへのアクセスに必要なユーザー名を定義します。

使用方法:

xConfiguration SIP Turn UserName: "UserName"

説明:

UserName:

文字列 (0, 128)

有効なユーザー名。

デフォルト値:

""

xConfiguration SIP Turn Password

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

TURN サーバーへのアクセスに必要なパスワードを定義します。

使用方法:

xConfiguration SIP Turn Password: "Password"

説明:

Password:

文字列 (0, 128)

有効なパスワード。

デフォルト値:

""

xConfiguration SIP URI

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

SIP URI (Uniform Resource Identifier) は、デバイスの識別に使用されるアドレスです。URI が登録され、SIP サービスによりデバイスへの着信コールのルーティングに使用されます。SIP URI 構文は RFC 3261 で定義されています。

使用方法:

xConfiguration SIP URI: "URI"

説明:

URI:

文字列 (0、255)

SIP URI の構文に準拠しているアドレス (URI)。

デフォルト値:

""

Standby の設定

xConfiguration Standby BootAction

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

ビデオ会議デバイスの再起動後のカメラの位置を定義します。

使用方法:

xConfiguration Standby BootAction: BootAction

説明:

BootAction:

None/DefaultCameraPosition/RestoreCameraPosition

None: アクションはありません。

RestoreCameraPosition: ビデオ会議デバイスを再起動すると、カメラは再起動前の位置に戻ります。

DefaultCameraPosition: ビデオ会議デバイスを再起動すると、カメラは工場出荷時のデフォルトの位置に移動します。

デフォルト値:

DefaultCameraPosition [*RoomKit RoomKitMini RoomBar CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskMini Desk BoardPro*]

RestoreCameraPosition [*DeskPro Board*]

xConfiguration Standby Control

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

デバイスがスタンバイ モードに移行するかどうかを定義します。

使用方法:

xConfiguration Standby Control: Control

説明:

Control:

Off/On [*RoomKit RoomKitMini RoomBar CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro*]

On [*RoomPanorama/Room70Panorama*]

Off: デバイスはスタンバイ モードを開始しません。

On: Standby Delay がタイムアウトすると、デバイスはスタンバイ モードを開始します。

デフォルト値:

On

xConfiguration Standby Delay

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

スタンバイ モードに入るまでにデバイスがアイドル モードのまま経過する時間の長さ (分単位) を定義します。

[スタンバイ制御 (Standby Control)] が有効である必要があります。

使用方法:

xConfiguration Standby Delay: Delay

説明:

Delay:

整数 (1 ~ 480)

スタンバイ遅延 (分) を設定します。

デフォルト値:

10 [RoomKit RoomKitMini RoomBar CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D
Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk]

4 [Board BoardPro]

xConfiguration Standby Level Networked Delay

適用先: RoomBar DeskMini Desk

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

デバイスがスタンバイ モードの「Networked」レベルに入るまで前に、スタンバイ モードの「Display Off」レベルにある時間の長さ (分単位) を定義します。

遅延が 0 に設定されている場合、デバイスは「Display Off」レベルをスキップしてネットワーク スタンバイに直接移行します。

使用方法:

xConfiguration Standby Level Networked Delay: Delay

説明:

Delay:

整数 (1 ~ 1440)

スタンバイ レベルのネットワーク遅延を設定します (分単位)。

デフォルト値:

2

xConfiguration Standby Level Networked Mode

適用先: RoomBar DeskMini Desk

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

ネットワーク スタンバイ モードへの自動移行を無効または有効にします。

[ネットワークスタンバイ (Networked standby)] モードは、通常のスタンバイモードよりもさらに消費電力を削減する、より深いレベルのスタンバイです。

デバイスは、[スタンバイレベルのネットワーク遅延 (Standby Level Networked Delay)] 設定で定義されているように、x 分間「DisplayOff」レベルになった後、「ネットワーク」レベルのスタンバイモードになります。

スタンバイ モードを自動的に開始するには、[スタンバイ制御 (Standby Control)] 設定を [オン (On)] に設定する必要があります。ただし、Standby Activate コマンドを使用して手動でトリガーできます。

使用方法:

xConfiguration Standby Level Networked Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

On: Standby Level Networked Delay がタイムアウトすると、デバイスはスタンバイモードに入ります。

Off: デバイスは「Networked」スタンバイモードに入りません。

デフォルト値:

On

xConfiguration Standby Halfwake Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

自動ハーフウェイク モードを無効または有効にします。デフォルトでは、デバイスは非アクティブ状態が 2 分間続くとハーフウェイク モードになります。アクティビティが検出されるか、スタンバイ モードになるまで、ハーフウェイク モードのままになります。

[スタンバイ制御 (Standby Control)] 設定で有効になっている場合、[スタンバイ ハーフウェイク モード (Standby Halfwake Mode)] の設定に関係なく、

デバイスは、非アクティブ状態が x 分間続くとスタンバイ状態になります。ここで、x は [スタンバイ遅延 (Standby Delay)] 設定によって定義されます。

使用方法:

xConfiguration Standby Halfwake Mode: Mode

説明:

Mode:

Auto/Manual

[自動 (Auto)]: デフォルトでは、デバイスは非アクティブ状態が 2 分間続くとハーフウェイク モードになります。有効になっている場合、アクティブ モードまたはスタンバイ モードになるまで、ハーフウェイク モードのままになります。

[手動 (Manual)]: 自動ハーフウェイク モードは無効になっています。xCommand Standby Halfwake を使用して手動でのみトリガーできます。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration Standby 看板 Audio

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

デフォルトでは、デバイスは、Web ページに音声がある場合でも、デジタル信号モードで音声を再生しません。この設定を使用して、デフォルトの動作を上書きすることができます。

使用方法:

xConfiguration Standby 看板 Audio: Audio

説明:

Audio:

Off/On

Off: デバイスは、Web ページで音声を再生しません。

On: Web ページに音声が含まれている場合、デバイスは音声を再生します。音量は、デバイスの音量設定に従います。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Standby 看板 InteractionMode

適用先: RoomKitMini RoomBar DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

デフォルトでは、ユーザーがデジタル サイネージの Web ページを操作することはできません。この設定を使用すると、Web ページとの対話機能を有効にすることができます。

対話モードは、Room Kit Mini では通常は使用できず、Room Kit Mini を Samsung Flip (Webex on Flip) と共に使っている場合にのみ使用できます。

使用方法:

xConfiguration Standby 看板 InteractionMode: InteractionMode

説明:

InteractionMode:

Interactive/NonInteractive

Interactive: Web ページを操作することができます。

NonInteractive: Web ページを操作することはできません。

デフォルト値:

NonInteractive

xConfiguration スタンバイの看板モード

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

URL (Web ページ) からのコンテンツで、従来のハーフウェイク背景画像および情報を置き換えることができます。

この機能は、「デジタル サイネージ」と呼ばれます。ユーザーは、デバイスに対話型の画面がある場合 (リンクをクリックしたり、フォームにテキストを入力したりするなど)、Web ページを操作できます。

デジタル サイネージを使用すると、デバイスが通常の方法でスタンバイ状態に入ることを防止できません。そのため、スタンバイ遅延の設定は、デバイスがスタンバイ状態になるまでのデジタル サイネージの表示時間を決定します。

使用方法:

xConfiguration Standby Signage Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off: デバイスでデジタル サイネージが有効になっていません。

On: WebEngine Mode 設定がオンになっている場合、デジタルサイネージが有効化され、デバイスのハーフウェイクモードに置き換えられます。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Standby 看板 RefreshInterval

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

秒単位の一定間隔で Web ページを更新します。

これは、Web ページ自体を更新できない場合に便利です。

更新間隔をインタラクティブ モードで設定することは推奨されません。

使用方法:

xConfiguration Standby 看板 RefreshInterval: RefreshInterval

説明:

RefreshInterval:

整数 (1~ 1440)

各 Web ページの更新間隔を秒数で表示します。値が 0 の場合、Web ページは強制的に更新されなくなります。

デフォルト値:

0

xConfiguration Standby の看板 Url

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

画面 (デジタル サイネージ) に表示する Web ページの URLを設定します。

URL の長さが 0 の場合、デバイスに通常のハーフウェイク モードが保持されます。

URL が機能していない場合、デバイスは通常のハーフウェイク モードを保持し、診断メッセージが発行されます。

使用方法:

xConfiguration Standby 看板 Url: "Url"

説明:

URL:

文字列 (0, 2048)

Web ページの URL

デフォルト値:

""

xConfiguration Standby StandbyAction

適用先: RoomKit RoomKitMini RoomBar CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

スタンバイ モードに入るときのカメラ位置を定義します。

使用方法:

xConfiguration Standby StandbyAction: StandbyAction

説明:

StandbyAction:

なし (None) / プライバシー位置 (PrivacyPosition)

None: アクションはありません。

PrivacyPosition: ビデオ 会議デバイスがスタンバイになると、プライバシー保護のためカメラは横向きになります。

デフォルト値:

PrivacyPosition

xConfiguration Standby WakeupAction

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

スタンバイ モードを抜けるときのカメラ位置を定義します。

使用方法:

xConfiguration Standby WakeupAction: WakeupAction

説明:

WakeupAction:

None/RestoreCameraPosition/DefaultCameraPosition

None: アクションはありません。

RestoreCameraPosition: ビデオ会議デバイスがスタンバイ状態から復帰すると、カメラはスタンバイ前の位置に戻ります。

DefaultCameraPosition: ビデオ会議デバイスがスタンバイ状態になると、カメラは工場出荷時のデフォルトの位置に移動します。

デフォルト値:

RestoreCameraPosition

xConfiguration Standby WakeupOnMotionDetection

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

モーション検知時の自動ウェイクアップは、人が入室したことをデバイスで検出できるようにする機能です。この機能は、超音波検出に基づいています。

この設定と [ルーム分析 人の存在の検出 (RoomAnalytics PeoplePresenceDetector)] 設定の両方が [オフ (Off)] になっている場合、モーション検知用の超音波信号は出力されません。[オーディオ 超音波 最大音量 (Audio Ultrasound MaxVolume)] 設定と [プロキシミティ モード (Proximity Mode)] 設定は、モーション検知には影響しません。

使用方法:

xConfiguration Standby WakeupOnMotionDetection: WakeupOnMotionDetection

説明:

WakeupOnMotionDetection:

Off/On

Off: モーション検知ウェイクアップが無効になります。

On: 人が部屋に入ると、デバイスが自動的にスタンバイから復帰します。

デフォルト値:

On [RoomKit RoomKitMini RoomBar CodecEQ Room55 Room70/Room55D Room70G2
RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro]

Off [CodecPlus CodecPro]

SystemUnit の設定

xConfiguration SystemUnit Name

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

デバイス名を定義します。デバイスが SNMP エージェントとして機能している場合に、デバイス名は DHCP リクエストでホスト名として送信されます。

使用方法:

xConfiguration SystemUnit Name: "Name"

説明:

Name:

文字列 (0, 50)

デバイス名を定義します。

デフォルト値:

" "

xConfiguration SystemUnit BroadcastName

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

ブロードキャスト名とは、ラップトップや携帯電話などの他のデバイスが Airplay、Miracast、Bluetooth などのサービスのスキャンリストに表示する名前です。この設定では、特定のブロードキャスト名を指定できます。ここでブロードキャスト名を特に設定しない場合、デバイスが Webex クラウドサービスに登録されていると、スキャンリストには、Webex DisplayName と表示され、オンプレミスサービスに登録されている場合は SystemUnit 名が表示されます。どちらの名前も設定されていない場合は、商品タイプ (id) が表示されます。

ブロードキャスト名には PII (個人を特定できる情報) を含めないことをお勧めします。

使用方法:

xConfiguration SystemUnit BroadcastName: "BroadcastName"

説明:

BroadcastName:

文字列 (0, 256)

他のデバイスのスキャンリストに表示されるブロードキャスト名。

デフォルト値:

" "

xConfiguration SystemUnit CrashReporting Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

デバイスがクラッシュすると、デバイスは解析のためにシスコ自動クラッシュ レポート ツール (ACR) にログを自動送信できます。ACR ツールは、シスコの内部使用のみであり、お客様は利用できません。

使用方法:

xConfiguration SystemUnit CrashReporting Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off: ACR ツールにログは送信されません。

On: ACR ツールにログは自動的に送信されます。

デフォルト値:

On

xConfiguration SystemUnit CrashReporting URL

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

デバイスがクラッシュすると、デバイスは解析のためにシスコ自動クラッシュ レポート ツール (ACR) にログを自動送信できます。ACR ツールは、シスコの内部使用のみであり、お客様は利用できません。

使用方法:

xConfiguration SystemUnit CrashReporting URL: "URL"

説明:

URL:

文字列 (0, 255)

[シスコ自動クラッシュレポートツール (Cisco Automatic Crash Report tool)] の URL。

デフォルト値:

[acr.cisco.com]

xConfiguration SystemUnit CustomDeviceId

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

SystemUnit CustomDeviceId は、ユニットに関するカスタム情報を保存する場所になります。これは、たとえば、プロビジョニング設定でデバイスを追跡する上で役立ちます。

使用方法:

xConfiguration SystemUnit CustomDeviceId: "CustomDeviceId"

説明:

CustomDeviceId:

文字列 (0, 255)

デフォルト値:

""

Time の設定

xConfiguration Time DateFormat

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

日付の形式を定義します。

使用方法:

xConfiguration Time DateFormat: DateFormat

説明:

DateFormat:

DD_MM_YY/MM_DD_YY_YY_MM_DD

DD_MM_YY: 2010 年 1 月 30 日は「30.01.10」と表示されます。

MM_DD_YY: 2010 年 1 月 30 日は「01.30.10」と表示されます。

YY_MM_DD: 2010 年 1 月 30 日は「10.01.30」と表示されます。

デフォルト値:

[DD_MM_YY]

xConfiguration Time TimeFormat

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

時刻の形式を定義します。

使用方法:

xConfiguration Time TimeFormat: TimeFormat

説明:

TimeFormat:

24H/12H

24H: 24 時間の時間フォーマットを設定します。

12H: 12 時間 (AM/PM) の時間フォーマットを設定します。

デフォルト値:

[24H]

xConfiguration Time Zone

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

デバイスが物理的に存在する地域のタイムゾーンを設定します。値スペースの情報は、tz データベース (別名: IANA タイムゾーン データベース) から取得しています。

使用方法:

xConfiguration Time Zone: Zone

説明:

Zone:

アフリカ/アビジャン、アフリカ/アクラ、アフリカ/アディスアベバ、アフリカ/アルジェ、アフリカ/アスマラ、アフリカ/アスメラ、アフリカ/バマコ、アフリカ/バンギ、アフリカ/バンジュール、アフリカ/ピサウ、アフリカ/ブランタイヤ、アフリカ/ブラザヴィル、アフリカ/ブジュンブラ、アフリカ/カイロ、アフリカ/カサブランカ、アフリカ/セウタ、アフリカ/コナクリ、アフリカ/ダカール、アフリカ/ダルエスサラーム、アフリカ/ジブチ、アフリカ/ドゥアラ、アフリカ/アイウン、アフリカ/フリータウン、アフリカ/ハボローネ、アフリカ/ハラレ、アフリカ/ヨハネスブルグ、アフリカ/ジュバ、アフリカ/カンバラ、アフリカ/ハルツーム、アフリカ/キガリ、アフリカ/キンシャサ、アフリカ/ラゴス、アフリカ/リーブルヴィル、アフリカ/ロメ、アフリカ/ルアンダ、アフリカ/ルブンバシ、アフリカ/ルサカ、アフリカ/マラボ、アフリカ/マプト、アフリカ/マセル、アフリカ/ムババネ、アフリカ/モガディシュ、アフリカ/モンロビア、アフリカ/ナイロビ、アフリカ/ンジャメナ、アフリカ/ニアメ、アフリカ/ヌアクショット、アフリカ/ワガドゥグー、アフリカ/ポルトノボ、アフリカ/サントメ、アフリカ/トンブクトゥ、アフリカ/トリポリ、アフリカ/チュニス、アフリカ/ウイントフック、アメリカ/アダック、アメリカ/アンカレッジ、アメリカ/アンギラ、アメリカ/アンティグア、アメリカ/アラグアイナ、アメリカ/アルゼンチン/ブエノスアイレス、アメリカ/アルゼンチン/カタマルカ、アメリカ/アルゼンチン/コモドリバダビア、アメリカ/アルゼンチン/コルドバ、アメリカ/アルゼンチン/フワイ、アメリカ/アルゼンチン/ラリオハ、アメリカ/アルゼンチン/メンドーサ、アメリカ/アルゼンチン/リオガジェゴス、アメリカ/アルゼンチン/サルタ、アメリカ/アルゼンチン/サンフアン、アメリカ/アルゼンチン/サンルイス、アメリカ/アルゼンチン/トゥクマン、アメリカ/アルゼンチン/ウシュアイア、アメリカ/アルバ、アメリカ/アスンシオン、アメリカ/アティコカン、アメリカ/アトカ、アメリカ/バイア、アメリカ/バイアベンデラス、アメリカ/バルバドス、アメリカ/ベレン、アメリカ/ベリーズ、アメリカ/ブランサブロン、アメリカ/ボアビスタ、アメリカ/ボゴタ、アメリカ/ボイシ、アメリカ/ブエノスアイレス、アメリカ/ケンブリッジベイ、アメリカ/カンボグランデ、アメリカ/カンクン、アメリカ/カラカス、アメリカ/カタマルカ、アメリカ/カイエン、アメリカ/ケイマン、アメリカ/シカゴ、アメリカ/チワワ、アメリカ/シウダーフアレス、アメリカ/コーラルハーバー、アメリカ/コルドバ、アメリカ/コスタリカ、アメリカ/クレストン、アメリカ/クイアバ、アメリカ/キュラソー、アメリカ/デンマークハウ、アメリカ/ドーソン、アメリカ/ドーソククリーク、アメリカ/デンバー、アメリカ/デトロイト、アメリカ/ドミニカ、アメリカ/エドモントン、アメリカ/エルネベ、アメリカ/エルサルバドル、アメリカ/エンセナダ、アメリカ/フォートネルソン、アメリカ/フォートウェイン、アメリカ/フォルタレザ、アメリカ/グレースベイ、アメリカ/ゴッドタプ、アメリカ/グースベイ、アメリカ/グランドターク、アメリカ/グレナダ、アメリカ/グアドループ、アメリカ/グアテマラ、アメリカ/グアヤキル、アメリカ/ガイアナ、アメリカ/ハリファックス、アメリカ/ハバナ、アメリカ/エルモシージョ、アメリカ/インディアナ/インディアナポリス、アメリカ/インディアナ/ノックス、アメリカ/インディアナ/マレンゴ、アメリカ/インディアナ/ピーターズバーグ、アメリカ/インディアナ/テルシティ、アメリカ/インディアナ/ヴェヴァイ、アメリカ/インディアナ/ビンセンズ、アメリカ/インディアナ/ウィナマック、アメリカ/インディアナ/ボリス、アメリカ/イヌピック、アメリカ/イカルイト、アメリカ/ジャマイカ、アメリカ/フワイ、アメリカ/ジュノー、アメリカ/ケンタッキー/ルイビル、アメリカ/ケンタッキー/モンティセロ、アメリカ/ノックス_IN、アメリカ/クラレンダイク、アメリカ/ラパス、アメリカ/リマ、

アメリカ/ロサンゼルス、アメリカ/ルイビル、アメリカ/ローワープリンス、アメリカ/マセイオ、アメリカ/マナグア、アメリカ/マナウス、アメリカ/マリゴ、アメリカ/マルティニーク、アメリカ/マタモロス、アメリカ/マサトラン、アメリカ/メンドーサ、アメリカ/メノミニ、アメリカ/メリダ、アメリカ/メトラカトラ、アメリカ/メキシコシティ、アメリカ/ミクロン、アメリカ/モンクトン、アメリカ/モンテレイ、アメリカ/モンテビデオ、アメリカ/モントリオール、アメリカ/モントセラト、アメリカ/ナッソー、アメリカ/ニューヨーク、アメリカ/ニビゴン、アメリカ/ノーム、アメリカ/ノローニヤ、アメリカ/ノースダコタ/ビューラー、アメリカ/ノースダコタ/センター、アメリカ/ノースダコタ/ニューセーラム、アメリカ/ヌック、アメリカ/オヒナガ、アメリカ/パナマ、アメリカ/バングニルトン、アメリカ/パラマリボ、アメリカ/フェニックス、アメリカ/ポルトープランス、アメリカ/ポルトオブスペイン、アメリカ/ポルトアクレ、アメリカ/ポルトベリョ、アメリカ/プエルトリコ、アメリカ/プンタアレナス、アメリカ/レイニールパー、アメリカ/ランキンインレット、アメリカ/レシフェ、アメリカ/レジーナ、アメリカ/レゾリュート、アメリカ/リオブランコ、アメリカ/ロサリオ、アメリカ/サンタイサベル、アメリカ/サンタレン、アメリカ/サンティアゴ、アメリカ/サントドミンゴ、アメリカ/サンパウロ、アメリカ/スコルズビスン、アメリカ/シップロック、アメリカ/シトカ、アメリカ/サンバルテルミー、アメリカ/セントジョーンズ、アメリカ/セントキッツ、アメリカ/セントルシア、アメリカ/セントトーマス、アメリカ/セントビンセント、アメリカ/スウィフトカレント、アメリカ/テグシガルバ、アメリカ/チューレ、アメリカ/サンダーベイ、アメリカ/ティファナ、アメリカ/トロント、アメリカ/トルト島、アメリカ/バンクーバー、アメリカ/ヴァージン、アメリカ/ホワイトホース、アメリカ/ウイニペグ、アメリカ/ヤクタット、アメリカ/イエローナイフ、南極/ケーシー、南極/デビス、南極/デュモンデュルビル、南極/マッコリー、南極/モーン、南極/マクマード、南極/バーマー、南極/ロセラ、南極/南極点、南極/昭和、南極/トロール、南極/ボストーク、北極/ロングイェールビーン、アジア/アデン、アジア/アルマトイ、アジア/アンマン、アジア/アナディル、アジア/アクタウ、アジア/アクトベ、アジア/アシガバート、アジア/アシハバート、アジア/アティラウ、アジア/バグダッド、アジア/バーレーン、アジア/バクー、アジア/バンコク、アジア/バルナウル、アジア/バイルート、アジア/ビシュケク、アジア/ブルネイ、アジア/カルカッタ、アジア/チタ、アジア/チョイバルサン、アジア/重慶 (Chongqing)、アジア/重慶 (Chungking)、アジア/コロボン、アジア/ダッカ、アジア/ダマスカス、アジア/ダッカ、アジア/ディリ、アジア/ドバイ、アジア/ドゥシャンベ、アジア/ファマグスタ、アジア/ガザ、アジア/ハルビン、アジア/ヘブロン、アジア/ホーチミン、アジア/香港特別行政区、アジア/ホブド、アジア/イルクーツク、アジア/イスタンブール、アジア/ジャカルタ、アジア/ジャヤプラ、アジア/エルサレム、アジア/カブール、アジア/カムチャツカ、アジア/カラチ、アジア/カシュガル、アジア/カトマンズ、アジア/カトマンズ、アジア/カンディガ、アジア/コルカタ、アジア/クラスノヤルスク、アジア/クアラルンプール、アジア/クチン、アジア/クウェート、アジア/マカオ、アジア/マカウ、アジア/マカタン、アジア/マカッサル、アジア/マニラ、アジア/マスカット、アジア/ニコシア、アジア/ノヴォズネツク、アジア/ノボシビルスク、アジア/オムスク、アジア/オーラル、アジア/ブノンペン、アジア/ボンティアナック、アジア/平壤、アジア/カタール、アジア/コスタナイ、アジア/クズロルダ、アジア/ラングーン、アジア/リヤド、アジア/サイゴン、アジア/サハリン、アジア/サルカカンド、アジア/ソウル、アジア/上海、アジア/シンガポール、アジア/スレドネコリムスク、アジア/台北、アジア/タシケント、アジア/トビリシ、アジア/テヘラン、アジア/テルアビブ、アジア/チンブー、アジア/ティンブー、アジア/東京、アジア/トムスク、アジア/ウジュンパンダン、アジア/ウランバートル、アジア/ウランバートル、アジア/ウルムチ、アジア/ウスチネラ、アジア/ビエンチャン、アジア/ウラジオストク、アジア/ヤクーツク、アジア/ヤンゴン、アジア/エカテリンブルク、アジア/エレバン、大西洋/アゾレス諸島、大西洋/バミューダ、大西洋/カナリア、大西洋/カーボベルデ、大西洋/フェロー (Faeroe)、大西洋/フェロー (Faroe)、大西洋/ヤンマイエン、大西洋/マデイラ諸島、大西洋/レイキャビク、大西洋/サウスジョージア、大西洋/セントヘレナ、大西洋/スタンリー、オーストラリア/ACT、オーストラリア/アデレード、オーストラリア/ブリスベン、オーストラリア/ブローケンヒル、オーストラリア/キャンベラ、オーストラリア/カリー、オーストラリア/ダーウィン、オーストラリア/ユークラ、オーストラリア/ホバート、オーストラリア/LHI、オーストラリア/リンデマン、オーストラリア/ロードハウ、オーストラリア/メルボルン、オーストラリア/NSW、オーストラリア/北部、オーストラリア/パース、オーストラリア/クイーンズランド、オーストラリア/南部、オーストラリア/シドニー、オーストラリア/タスマニア、オーストラリア/ビク

トリア、オーストラリア/西部、オーストラリア/ヤンコウフィナ、ブラジル/エーカー、ブラジル/デノローニヤ、ブラジル/東部、ブラジル/西部、CET、CST6CDT、カナダ/大西洋、カナダ/中部、カナダ/東部、カナダ/山岳部、カナダ/ニューファンドランド、カナダ/太平洋、カナダ/サスカチュワン、カナダ/ユーコン、チリ/コンチネンタル、チリ/イースター島、キューバ、EET、EST、EST5EDT、エジプト、エール、Etc/GMT、Etc/GMT+0、Etc/GMT+1、Etc/GMT+10、Etc/GMT+11、Etc/GMT+12、Etc/GMT+2、Etc/GMT+3、Etc/GMT+4、Etc/GMT+5、Etc/GMT+6、Etc/GMT+7、Etc/GMT+8、Etc/GMT+9、Etc/GMT-0、Etc/GMT-1、Etc/GMT-10、Etc/GMT-11、Etc/GMT-12、Etc/GMT-13、Etc/GMT-14、Etc/GMT-2、Etc/GMT-3、Etc/GMT-4、Etc/GMT-5、Etc/GMT-6、Etc/GMT-7、Etc/GMT-8、Etc/GMT-9、Etc/GMT0、Etc/グリニッジ、Etc/UCT、Etc/UTC、Etc/Universal、Etc/Zulu、ヨーロッパ/アムステルダム、ヨーロッパ/アンドラ、ヨーロッパ/オーストラリア、ヨーロッパ/アテネ、ヨーロッパ/ベルファスト、ヨーロッパ/ベオグラード、ヨーロッパ/ベルリン、ヨーロッパ/ブラチスラバ、ヨーロッパ/ブリュッセル、ヨーロッパ/ブカレスト、ヨーロッパ/ブダペスト、ヨーロッパ/ビュージンゲン、ヨーロッパ/キシノウ、ヨーロッパ/コペンハーゲン、ヨーロッパ/ダブリン、ヨーロッパ/ジブラルタル、ヨーロッパ/ガーンジー、ヨーロッパ/ヘルシンキ、ヨーロッパ/マン島、ヨーロッパ/イスタンブール、ヨーロッパ/ジャージー、ヨーロッパ/カリニングラード、ヨーロッパ/キーウ (Kiev)、ヨーロッパ/キーロフ、ヨーロッパ/キーウ (Kyiv)、ヨーロッパ/リスボン、ヨーロッパ/リュブリャナ、ヨーロッパ/ロンドン、ヨーロッパ/ルクセンブルク、ヨーロッパ/マドリド、ヨーロッパ/マルタ、ヨーロッパ/マリエムン、ヨーロッパ/ミンスク、ヨーロッパ/モナコ、ヨーロッパ/モスクワ、ヨーロッパ/ニコシア、ヨーロッパ/オスロ、ヨーロッパ/パリ、ヨーロッパ/ポドゴリツァ、ヨーロッパ/プラハ、ヨーロッパ/リガ、ヨーロッパ/ローマ、ヨーロッパ/サラエボ、ヨーロッパ/サンマリノ、ヨーロッパ/サラエボ、ヨーロッパ/サラトフ、ヨーロッパ/シンフェロポリ、ヨーロッパ/スコピエ、ヨーロッパ/ソフィア、ヨーロッパ/ストックホルム、ヨーロッパ/タリン、ヨーロッパ/タイラン、ヨーロッパ/ティラスポリ、ヨーロッパ/ウリヤノフスク、ヨーロッパ/ウジゴロド、ヨーロッパ/ファドゥーツ、ヨーロッパ/バチカン、ヨーロッパ/ウィーン、ヨーロッパ/ビリニュス、ヨーロッパ/ヴォルゴグラード、ヨーロッパ/ワルシャワ、ヨーロッパ/ザグレブ、ヨーロッパ/ザボリージャ、ヨーロッパ/チューリッヒ、GB、GB-Eire、GMT、GMT+0、GMT-0、GMT0、グリニッジ、HST、香港、アイスランド、インド/アンタナナリボ、インド/チャゴス、インド/クリスマス、インド/ココス、インド/コモロ、インド/ケルゲレン、インド/マヘ、インド/モルディブ、インド/モーリシャス、インド/マヨット、インド/レユニオン、イラン、イスラエル、ジャマイカ、日本、ケゼリン環礁、リビア、MET、MST、MST7MDT、メキシコ/バハノルテ、メキシコ/バハスール、メキシコ/一般、ニュージーランド、NZ-CHAT、ナバホ、中華人民共和国、PST8PDT、太平洋/アビア、太平洋/オークランド、太平洋/ブーゲンビル、太平洋/チャタム、太平洋/チューク、太平洋/イースター、太平洋/エファテ、太平洋/エンターベリー、太平洋/ファカオフォ、太平洋/フィジー、太平洋/フナフティ、太平洋/ガラパゴス、太平洋/ガンビア、太平洋/ガダルカナル、太平洋/グアム、太平洋/ホノルル、太平洋/ジョンストン、太平洋/カントン、太平洋/キリティマティ、太平洋/コスラエ、太平洋/ケゼリン環礁、太平洋/マジロ、太平洋/マルケサス、太平洋/ミッドウェイ、太平洋/ナウル、太平洋/ニウエ、太平洋/ノーフォーク、太平洋/ヌメア、太平洋/パゴパゴ、太平洋/パラオ、太平洋/ピトケアン、太平洋/ボンベイ、太平洋/ボナベ、太平洋/ポートモレスビー、太平洋/ラロトンガ、太平洋/サイパン、太平洋/サモア、太平洋/タヒチ、太平洋/タラワ、太平洋/トンガタブ、太平洋/チューク、太平洋/ウェイク、太平洋/ウォリス、太平洋/ヤップ、ポーランド、ポルトガル、中華民国、韓国、シンガポール、トルコ、UCT、米国/アラスカ、米国/アリユーション列島、米国/アリゾナ州、米国/中部、米国/イーストインディアナ、米国/東部、米国/ハワイ州、米国/インディアナスターク、米国/ミシガン州、米国/山岳部、米国/太平洋、米国/サモア、UTC、ユニバーサル、W-SU、WET、Zulu

リストからタイムゾーンを選択します。

デフォルト値:

Etc/UTC

xConfiguration Time OfficeHours Enabled

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

デバイスに就業時間を設定すると、通常就業時間外にサイネージなどの常時稼働機能を Off にすることができます。これにより、画面が常にアクティブになることがなくなり、画面の寿命が長くなります。ほとんどの画面は、週 7 日間の終日使用が許可されていません。

使用方法:

xConfiguration Time OfficeHours Enabled: Enabled

説明:

Enabled:

False/True

False: デバイスは営業時間をサポートするように設定されていません。したがって、他の OfficeHours 設定は効果がありません。

True: デバイスは営業時間をサポートしています。その他の OfficeHours 設定では、営業時間と、営業時間外のデバイススタンバイ動作を定義します。

デフォルト値:

True

xConfiguration Time OfficeHours OutsideOfficeHours Standby AutoWakeup

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

営業時間外に室内で動きを検出したときのデバイスの反応を設定します。この設定に関係なく、誰かがデバイスを使い始めると、デバイスは常に起動します。

使用方法:

xConfiguration Time OfficeHours OutsideOfficeHours Standby AutoWakeup:

AutoWakeup

説明:

AutoWakeup:

Disabled/Enabled

Disabled: 動きを検出しても、デバイスはスタンバイ状態を維持します。

Enabled: 動きを検出すると、デバイスは通常どおり起動します。

デフォルト値:

無効

xConfiguration Time OfficeHours OutsideOfficeHours Standby Delay

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

営業時間外にディスプレイオフモードに入る前に、デバイスがアイドルモードを維持する時間を指定します。

使用方法:

xConfiguration Time OfficeHours OutsideOfficeHours Standby Delay: Delay

説明:

Delay:

整数 (1 ~ 30)

ディスプレイオフモードに入る前にデバイスがアイドルモードを維持する分数。

デフォルト値:

5

xConfiguration Time OfficeHours WorkDay End

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

通常の営業時間が終了する時刻を設定します。

使用方法:

xConfiguration Time OfficeHours WorkDay End: "End"

説明:

End:

文字列 (5, 5)

「hh:mm」形式の時刻。hh = 2 桁の時間、00 ~ 23 (am/pm はサポートされていません)、mm = 2 桁の分、00 ~ 59。

デフォルト値:

"19:00"

xConfiguration Time OfficeHours WorkDay Start

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

通常の営業時間が開始する時刻を設定します。

使用方法:

xConfiguration Time OfficeHours WorkDay Start: "Start"

説明:

Start:

文字列 (5、5)

「hh:mm」形式の時刻。hh = 2 桁の時間、00 ~ 23 (am/pm はサポートされていません)、
mm = 2 桁の分、00 ~ 59。

デフォルト値:

"07:00"

xConfiguration Time OfficeHours WorkWeek Monday

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

月曜日を稼働週に含めるかどうかを設定します。

使用方法:

xConfiguration Time OfficeHours WorkWeek Monday: Monday

説明:

月曜日:

False/True

False: 月曜日は稼働週に含まれません。

True: 月曜日は稼働週に含まれます。

デフォルト値:

True

xConfiguration Time OfficeHours WorkWeek Tuesday

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

火曜日を稼働週に含めるかどうかを設定します。

使用方法:

xConfiguration Time OfficeHours WorkWeek Tuesday: Tuesday

説明:

火曜日:

False/True

False: 火曜日は稼働週に含まれません。

True: 火曜日は稼働週に含まれます。

デフォルト値:

True

xConfiguration Time OfficeHours WorkWeek Wednesday

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

水曜日を稼働週に含めるかどうかを設定します。

使用方法:

xConfiguration Time OfficeHours WorkWeek Wednesday: Wednesday

説明:

水曜日:

False/True

False: 水曜日は稼働週に含まれません。

True: 水曜日は稼働週に含まれます。

デフォルト値:

True

xConfiguration Time OfficeHours WorkWeek Thursday

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

木曜日を稼働週に含めるかどうかを設定します。

使用方法:

xConfiguration Time OfficeHours WorkWeek Thursday: Thursday

説明:

木曜日:

False/True

False: 木曜日は稼働週に含まれません。

True: 木曜日は稼働週に含まれます。

デフォルト値:

True

xConfiguration Time OfficeHours WorkWeek Friday

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

金曜日を稼働週に含めるかどうかを設定します。

使用方法:

xConfiguration Time OfficeHours WorkWeek Friday: Friday

説明:

金曜日:

False/True

False: 金曜日は稼働週に含まれません。

True: 金曜日は稼働週に含まれます。

デフォルト値:

True

xConfiguration Time OfficeHours WorkWeek Saturday

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

土曜日を稼働週に含めるかどうかを設定します。

使用方法:

xConfiguration Time OfficeHours WorkWeek Saturday: Saturday

説明:

土曜日:

False/True

False: 土曜日は稼働週に含まれません。

True: 土曜日は稼働週に含まれます。

デフォルト値:

False

xConfiguration Time OfficeHours WorkWeek Sunday

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

日曜日を稼働週に含めるかどうかを設定します。

使用方法:

xConfiguration Time OfficeHours WorkWeek Sunday: Sunday

説明:

日曜日:

False/True

False: 日曜日は稼働週に含まれません。

True: 日曜日は稼働週に含まれます。

デフォルト値:

False

UserInterface の設定

xConfiguration UserInterface Accessibility IncomingCallNotification

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

画面表示を強調した着信コールの通知を利用できます。画面とタッチコントローラは約 1 秒ごと (1.75 Hz) に赤と白に点滅し、聴覚が不自由なユーザーが着信コールに気づきやすくするようにしています。デバイスがコール中の場合、進行中のコールの妨げになるため画面は点滅しません、その代わりに、通常の通知が画面とタッチ パネルに表示されます。

このリリースでは、この機能は Board Pro および Desk Mini では使用できません。

使用方法:

xConfiguration UserInterface Accessibility IncomingCallNotification:
IncomingCallNotification

説明:

IncomingCallNotification:

AmplifiedVisuals/Default

AmplifiedVisuals: デバイスがコールを受け入れたときに、画面とタッチパネル上での画面表示の強調を有効にします。

Default: スクリーンとタッチパネル上での通知を使用したデフォルトの動作を有効にします。

デフォルト値:

Default

xConfiguration UserInterface Assistant Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

Webex Assistant を使用すると、音声コマンドを使用してデバイスを制御できます。Webex Assistant はクラウドサービスなので、デバイスが Webex クラウドサービスに登録されているか、オンプレミスサービスに登録されて Webex Edge for Devices にリンクされている必要があります。

デバイスで Webex Assistant を有効または無効にするには、この設定を使用します。

使用方法:

xConfiguration UserInterface Assistant Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off: Webex Assistant がオフになります。

On: インフラストラクチャでサポートされていれば、Webex Assistant を使用できます。

デフォルト値:

On

xConfiguration UserInterface Assistant ProactiveMeetingJoin

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

参加確認は Webex Assistant によって提供される機能です。参加確認が有効になっている場合、OBTP ミーティングの開始直前にミーティングルームに人がいることが検出されると、デバイスはその人にこれから始まるミーティングに参加するかどうかを確認します。

デバイスで参加確認機能を有効または無効にするには、この設定を使用します。

使用方法:

xConfiguration UserInterface Assistant ProactiveMeetingJoin:
ProactiveMeetingJoin

説明:

ProactiveMeetingJoin:

False/True

False: 参加確認機能はオフになります。

True: Webex Assistant がアクティブになっていれば、参加確認機能を使用できます。

デフォルト値:

True

xConfiguration UserInterface Bookings Visibility TentativeMeetings

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

通常、今後の会議のリストは画面とタッチコントローラに表示されます。仮の会議をリストに含めるかどうかを設定します。

使用方法:

xConfiguration UserInterface Bookings Visibility TentativeMeetings:
TentativeMeetings

説明:

TentativeMeetings:

Auto/Hidden

Auto: 仮の会議がリストに含まれます。

Hidden: 仮の会議はリストに含まれません。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration UserInterface Bookings Visibility Title

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

ミーティングの詳細をプライベートに変更します。「スケジュールされたミーティング (Scheduled meeting)」というテキストがミーティングのタイトルとして表示されます。

使用方法:

xConfiguration UserInterface Bookings Visibility Title: Title

説明:

Title:

Auto/Hidden

Auto: ミーティングのタイトルが公開され、ユーザーインターフェイスに表示されます。

Hidden: ミーティングのタイトルが非表示になり、ユーザーインターフェイスには「スケジュールされたミーティング (Scheduled meeting)」と表示されます。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration UserInterface Branding AwakeBranding Colors

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

ブランディングのカスタマイズを使用してデバイスがセットアップされている場合、この設定は、デバイスが起動している時に表示されるロゴの色に影響します。ロゴをフルカラーで表示するか、またはロゴの不透明度を下げるかによって、画面上の背景や他の要素とより自然にブレンドするように設定することができます。

使用方法:

xConfiguration UserInterface Branding AwakeBranding Colors: Colors

説明:

色:

Auto/Native

Auto: ロゴの不透明度は低減されます。

Native: ロゴはフルカラーです。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration UserInterface ContactInfo Type

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

ユーザーインターフェイスに表示する連絡先情報の種類を選択します。

使用方法:

xConfiguration UserInterface ContactInfo Type: Type

説明:

タイプ:

Auto/DisplayName/E164Alias/H323Id/IPv4/IPv6/None/SipUri/SystemName

Auto: 他のデバイスがこのビデオ会議デバイスに接続するためにダイヤルする必要があるアドレスを表示します。アドレスは、デフォルトのコール プロトコルおよびデバイス登録によって異なります。

None: どのようなコンタクト情報も表示しません。

IPv4: デバイスの IPv4 アドレスを示します。

IPv6: デバイスの IPv6 アドレスを示します。

H323Id: デバイスの H.323 ID を表示します (H323 H323Alias ID 設定を参照)。

E164Alias: 連絡先情報としてデバイスの H.323 E164 エイリアスを表示します (H323 H323Alias E164 設定を参照)。

SipUri: デバイスの SIP URI を表示します (SIP URI 設定を参照)。

SystemName: デバイス名を表示します (SystemUnit Name 設定を参照)。

DisplayName: デバイスの表示名を表示します (SIP DisplayName 設定を参照)。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration UserInterface CustomMessage

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

アウェイク モードのとき、スクリーンの下部左側にカスタム メッセージを表示することができます。

使用方法:

xConfiguration UserInterface CustomMessage: "CustomMessage"

説明:

CustomMessage:

文字列 (0, 256)

カスタム メッセージを追加します。カスタム メッセージを削除するには空の文字列を追加します。

デフォルト値:

""

xConfiguration UserInterface CustomWallpaperOverlay

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

カスタム壁紙を使用する場合、透明な黒のオーバーレイを適用して背景画像を柔らかくし、UI 要素により焦点を合わせることができます。

使用方法:

xConfiguration UserInterface CustomWallpaperOverlay: CustomWallpaperOverlay

説明:

CustomWallpaperOverlay:

Off/On

Off: 透明な黒のオーバーレイを適用しません。

On: 透明な黒のオーバーレイを適用します。

デフォルト値:

On

xConfiguration UserInterface Diagnostics Notifications

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

ユーザーインターフェイスに診断の通知を表示するかどうかを設定します。

使用方法:

xConfiguration UserInterface Diagnostics Notifications: Notifications

説明:

通知:

Auto/Hidden

Auto: 診断の通知がユーザーインターフェイスに表示されます。

Hidden: 診断の通知はユーザーインターフェイスに表示されません。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration UserInterface Features Call End

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

ユーザーインターフェイスからデフォルトの通話終了ボタンを削除するかどうかを選択します。設定はボタンだけを削除し、機能などは削除しません。

使用方法:

xConfiguration UserInterface Features Call End: End

説明:

End:

自動/非表示

自動: ユーザーインターフェイスにボタンを表示します。

非表示: ユーザーインターフェイスからボタンを削除します。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration UserInterface Features Call HdmiPassthrough

適用対象: RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

タッチコントローラに [ラップトップから会議 (Call from laptop)] ボタンを表示するかどうかを選択します。

[HDMI パススルー (HDMI passthrough)] と [ラップトップから会議 (Call from laptop)] 機能についての詳細は、「Video Output HDMI Passthrough Allowed 設定」を参照してください。[ラップトップから会議 (Call from laptop)] 機能は、Room 55 Dual および Room 70 Dual ではサポートされていません。

使用方法:

xConfiguration UserInterface Features Call HdmiPassthrough: HdmiPassthrough

説明:

HdmiPassthrough:

Auto/Hidden

Auto: タッチコントローラにボタンを表示します。

Hidden: タッチコントローラにボタンを表示しません。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration UserInterface Features Call JoinGoogleMeet

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

ユーザーインターフェイスの [Google Meet] ボタンの表示/非表示を選択します。このボタンを使用すると、ユーザーは Google の招待状によって生成された会議コードを使用して Google Meet 会議にダイヤルインできます。

デバイスが Webex クラウドサービスに登録されているか、または Webex Edge for Devices にリンクされている場合のみ使用できます。

使用方法:

xConfiguration UserInterface Features Call JoinGoogleMeet: JoinGoogleMeet

説明:

JoinGoogleMeet:

自動/非表示

自動: ユーザーインターフェイスにボタンを表示します。

非表示: ユーザーインターフェイスからボタンを削除します。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration UserInterface Features Call JoinZoom

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

ユーザーインターフェイスの [Zoom] ボタンの表示/非表示を選択します。このボタンを使用すると、ユーザーは Zoom の招待状によって生成された会議コードを使用して Zoom 会議にダイヤルインできます。

使用方法:

xConfiguration UserInterface Features Call JoinZoom: JoinZoom

説明:

JoinZoom:

自動/非表示

自動: ユーザーインターフェイスにボタンを表示します。

非表示: ユーザーインターフェイスからボタンを削除します。

デフォルト値:

Hidden

xConfiguration UserInterface Features Call JoinWebex

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

ユーザーインターフェイスのデフォルトの [Webex] ボタンの表示/非表示を選択します。
このボタンを使用すると、ユーザーは Webex Meetings 番号で Webex Meetings にダイヤルインできます。ドメインは必要ありません。ただし、この機能を動作させるには、インフラストラクチャの設定で *@webex.com へのコールのルーティングを許可する必要があります。

使用方法:

xConfiguration UserInterface Features Call JoinWebex: [JoinWebex](#)

説明:

JoinWebex:

自動/非表示

自動: ユーザーインターフェイスにボタンを表示します。

非表示: ユーザーインターフェイスからボタンを削除します。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration UserInterface Features Call Keypad

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

ユーザーインターフェイスから、デフォルトの通話中の [キーパッド (Keypad)] ボタンを削除するかどうかを選択します。このボタンは、DTMF 入力などに使用できるキーパッドを開きます。

使用方法:

xConfiguration UserInterface Features Call Keypad: [Keypad](#)

説明:

Keypad:

自動/非表示

自動: ユーザーインターフェイスにボタンを表示します。

非表示: ユーザーインターフェイスからボタンを削除します。

デフォルト値:

自動

xConfiguration UserInterface Features Call LayoutControls

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

デフォルトで通話中に使用できる [レイアウト (Layout)] ボタンをユーザー インターフェイスに表示するかどうかを選択します。

使用方法:

xConfiguration UserInterface Features Call LayoutControls: [LayoutControls](#)

説明:

LayoutControls:

自動/非表示

自動: ユーザーインターフェイスにボタンを表示します。

非表示: ユーザーインターフェイスにボタンを表示しません。

デフォルト値:

自動

xConfiguration UserInterface Features Call MidCallControls

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

ユーザーインターフェイスにデフォルトの保留、転送、および通話再開ボタンを表示するか、非表示にするかを選択します。

設定はボタンだけを削除し、機能などは削除しません。

使用方法:

xConfiguration UserInterface Features Call MidCallControls: [MidCallControls](#)

説明:

コール制御:

自動/非表示

自動: ユーザーインターフェイスにボタンを表示します。

非表示: ユーザーインターフェイスからボタンを削除します。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration UserInterface Features Call MusicMode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

ユーザーインターフェイスに音楽モードのトグル ボタンを表示するかどうかを選択します。

使用方法:

xConfiguration UserInterface Features Call MusicMode: MusicMode

説明:

MusicMode:

Auto/Hidden

Auto: この機能が対応中のコールでサポートされている場合、ユーザーインターフェイスで音楽モードのトグルボタンを表示します。

Hidden: 音楽モードのトグルボタンは、ユーザーインターフェイスに表示されません。

デフォルト値:

Hidden

xConfiguration UserInterface Features Call ParticipantList

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

デフォルトで通話中に使用できる [参加者 (Participants)] ボタンをユーザー インターフェイスに表示するかどうかを選択します。

使用方法:

xConfiguration UserInterface Features Call ParticipantList: ParticipantList

説明:

ParticipantList:

自動/非表示

自動: ユーザーインターフェイスにボタンを表示します。

非表示: ユーザーインターフェイスにボタンを表示しません。

デフォルト値:

自動

xConfiguration UserInterface Features Call SelfviewControls

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

ユーザーインターフェイスにセルフビューコントロールを表示するかどうかを選択します。この機能は、このソフトウェアバージョンの Room 70 Panorama および Room Panorama では使用できません。

使用方法:

xConfiguration UserInterface Features Call SelfviewControls: SelfviewControls

説明:

SelfviewControls:

Auto/Hidden

Auto: ユーザーインターフェイスにセルフビューコントロールを表示します。

Hidden: ユーザーインターフェイスにセルフビューコントロールを表示しません。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration UserInterface Features Call Start

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

ユーザーインターフェイスから、デフォルトの会議ボタン (ディレクトリ、お気に入り、および直近の会議リスト)、さらにデフォルトの [会議中に参加者を追加 (in-call Add participant)] ボタンを表示するか非表示にするかどうかを選択します。設定はボタンだけを削除し、機能などは削除しません。

使用方法:

xConfiguration UserInterface Features Call Start: Start

説明:

Start:

自動/非表示

自動: ユーザーインターフェイスにボタンを表示します。

非表示: ユーザーインターフェイスからボタンを削除します。

デフォルト値:

自動

xConfiguration UserInterface Features Call VideoMute

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

ユーザーインターフェイスにデフォルトの [ビデオをオフにする (Turn video off)] ボタンを表示するかどうかを選択します。

使用方法:

xConfiguration UserInterface Features Call VideoMute: VideoMute

説明:

VideoMute:

自動/非表示

自動: この機能が継続的な会議でサポートされている場合、ユーザーインターフェイスに [ビデオを Off にする (Turn video off)] ボタンが表示されます。

非表示: ユーザーインターフェイスに [ビデオを Off にする (Turn video off)] ボタンが表示されません。

デフォルト値:

自動

xConfiguration UserInterface Features Call Webcam

適用先: RoomKitMini RoomBar BoardPro

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

タッチコントローラに [ラップトップから会議 (Call from laptop)] ボタンを表示するかどうかを選択します。

使用方法:

xConfiguration UserInterface Features Call Webcam: Webcam

説明:

Webcam:

Auto/Hidden

Auto: タッチコントローラにボタンを表示します。

Hidden: タッチコントローラにボタンを表示しません。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration UserInterface Features Files Start

適用先: DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

ユーザーインターフェイスからデフォルトの [ファイル (Files)] ボタンを削除するかどうかを選択します。

設定はボタンだけを削除し、機能などは削除しません。この設定は、Web クラウドサービスに登録されているデバイスまたは Webex Edge for Devices にリンクしているデバイスのみ適用されます。

使用方法:

xConfiguration UserInterface Features Files Start: Start

説明:

Start:

自動/非表示

自動: ユーザーインターフェイスにボタンを表示します。

非表示: ユーザーインターフェイスからボタンを削除します。

デフォルト値:

自動

xConfiguration UserInterface Features HideAll

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

ユーザーインターフェイスのすべてのボタンを非表示に設定します。

設定はボタンのみを削除し、機能は削除しません。

使用方法:

xConfiguration UserInterface Features HideAll: HideAll

説明:

HideAll:

False/True

False: すべてのデフォルトボタンをユーザーインターフェイスで表示します。

True: すべてのデフォルトボタンをユーザーインターフェイスで表示しません。

デフォルト値:

False

xConfiguration UserInterface Features Share Start

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

ユーザーインターフェイスから、発信通話および受信通話の両方で、コンテンツを共有およびプレビューするためのデフォルト UI 要素を削除するかどうかを選択します。設定はボタンと UI 要素だけを削除し、機能などは削除しません。Cisco Proximity または Cisco Webex アプリを使用してコンテンツを共有することもできます。

使用方法:

xConfiguration UserInterface Features Share Start: [Start](#)

説明:

Start:

Auto/Hidden

Auto: ボタンと UI 要素をユーザーインターフェイスに表示します。

Hidden: ボタンと UI 要素をユーザーインターフェイスから削除します。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration UserInterface Features ホワイトボードの開始

適用先: [DeskPro](#) [DeskMini](#) [Desk](#) [Board](#) [BoardPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

ユーザーインターフェイスからデフォルトの [ホワイトボード (Whiteboard)] ボタンを削除するかどうかを選択します。

設定はボタンだけを削除し、機能などは削除しません。この設定は、Web クラウドサービスに登録されているデバイスまたは Webex Edge for Devices にリンクしているデバイスだけに適用されます。

使用方法:

xConfiguration UserInterface Features ホワイトボードの開始: [開始](#)

説明:

Start:

自動/非表示

自動: ユーザーインターフェイスにボタンを表示します。

非表示: ユーザーインターフェイスからボタンを削除します。

デフォルト値:

自動

xConfiguration UserInterface Help Tips

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

ヘルプヒントには、ユーザーインターフェイスからアクセスできます。有効にすると、ホーム画面に [ヒント (Tips)] ボタンが表示されます。

この機能は、このソフトウェアバージョンの Room 70 Panorama および Room Panorama では使用できません。

使用方法:

xConfiguration UserInterface Help Tips: [Tips](#)

説明:

ヒント:

Auto/Hidden

Auto: [ヘルプヒント (help tips)] ボタンを表示します。

Hidden: [ヘルプヒント (help tips)] ボタンを非表示にします。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration UserInterface HomeScreen Dashboard

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

ホーム画面から時計や会議リストなどの要素を削除するかどうかを選択します。

使用方法:

xConfiguration UserInterface HomeScreen Dashboard: [Dashboard](#)

説明:

ダッシュボード:

On [[DeskPro](#) [DeskMini](#) [Desk](#) [Board](#) [BoardPro](#)]

Off/On [[RoomKit](#) [RoomKitMini](#) [RoomBar](#) [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room55](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

Off: ホーム画面の要素を削除します。

On: すべてのホーム画面要素を保持します。

デフォルト値:

On

xConfiguration UserInterface HomeScreen Peripherals WebApp URL

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

Room Navigator で実行する Web アプリケーション (つまり、永続的な Web アプリ) の URL を設定します。アプリケーションは画面全体に表示され、ユーザーが閉じることはできません。

アプリがデバイスの API と対話する場合は、Security Xapi WebSocket ApiKey Allowed を True に設定し、アプリをホストするサーバーのドメイン名を WebEngine Features Xapi Peripherals AllowedHosts Hosts 設定の許可リストに追加することを忘れないでください。

注: 永続的な Web アプリは、ネットワークを介してデバイスにペアリングされている Room Navigator でのみ使用できます。

使用方法:

xConfiguration UserInterface HomeScreen Peripherals WebApp URL: "URL"

説明:

URL:

文字列 (0, 2048)

Web アプリケーションの URL。

デフォルト値:

""

xConfiguration UserInterface KeyTones Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

テキストまたは数値を入力する際に、キーボード クリック効果音 (キー トーン) が鳴るようにデバイスを設定できます。

使用方法:

xConfiguration UserInterface KeyTones Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off: キー トーンは再生されません。

On: キー トーンがオンになります。

デフォルト値:

Off [DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro]

On [RoomKit RoomKitMini RoomBar CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]

xConfiguration UserInterface Kiosk Mode

適用先: DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro

必要なユーザー ロール: ADMIN, INTEGRATOR

キオスクモードでは、デバイスのホーム画面を、自分でホストして管理するカスタム Web アプリケーションに置き換えることができます。カスタム Web アプリケーションへの URL は、UserInterface Kiosk URL 設定に追加する必要があります。たとえば、[キオスク (Kiosk)] モードは、訪問者登録用にデバイスを設定したり、施設の概要を提供したり、専門家サービスへの直接会議を許可したりする受付エリアで使用できます。

[キオスク (Kiosk)] モードはデバイスの Web エンジンを使用しているため、[キオスク (Kiosk)] モードを機能させるには、WebEngine 設定を [On] にする必要があります。会議を可能にするには、WebEngine Features SipUrlHandler 設定も [On] にする必要があります。

使用方法:

xConfiguration UserInterface Kiosk Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off: デバイスは標準モードで動作します。

On: デバイスは [キオスク (Kiosk)] モードで設定されます。

デフォルト値:

Off

xConfiguration UserInterface Kiosk URL

適用先: DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro

必要なユーザー ロール: ADMIN, INTEGRATOR

デバイスが [キオスク (Kiosk)] モードに設定されているときに表示されるカスタム Web アプリケーションの URL。UserInterface Kiosk Mode 設定も参照してください。

使用方法:

xConfiguration UserInterface Kiosk URL: "URL"

説明:

URL:

文字列 (0, 2048)

[キオスク (Kiosk)] モードの Web アプリケーションの URL。

デフォルト値:

""

xConfiguration UserInterface Language

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

ユーザーインターフェイスで使用される言語を選択します。該当する言語がサポートされていない場合、デフォルトの言語 (Medium) が使用されます。

使用方法:

xConfiguration UserInterface Language: Language

説明:

Language:

アラビア語/カタロニア語/中国語簡体字/中国語繁体字/チェコ語/デンマーク語/オランダ語/英語/英語英国/フィンランド語/フランス語/フランス・カナダ語/ドイツ語/ヘブライ語/ハンガリー語/イタリア語/日本語/韓国語/ノルウェー語/ポーランド語/ポルトガル語/ポルトガル・ブラジル/ロシア語/スペイン・ラテン語/スウェーデン語/トルコ語/ウクライナ語

リストから言語を選択します。

デフォルト値:

英語

xConfiguration UserInterface LedControl Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

Room Navigator の壁掛けバージョンには LED ライトが付いています。それらの制御方法を構成できます。

使用方法:

xConfiguration UserInterface LedControl Mode: Mode

説明:

Mode:

Auto/Manual/Off

Auto: ビデオ会議デバイスは、通常、部屋の予約ステータスに基づいて LED ライトを自動的に制御します (たとえば、緑: 利用可能な部屋、赤: 使用中の部屋)。UserInterface LedControl Color Set Color コマンドは無効です。

Manual: UserInterface LedControl Color Set Color コマンドを使用して、LED ライトを制御し、色を設定できます。

Off: LED ライトは永久に Off になります。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration UserInterface MuteWarning

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

マイクがミュートになっているときに話し始めた場合に、画面に警告を表示するかどうかを選択します。

使用方法:

xConfiguration UserInterface MuteWarning: MuteWarning

説明:

MuteWarning:

Disabled/Enabled

Disabled: ミュート警告を表示しません。

Enabled: ミュート警告を表示します。

デフォルト値:

Enabled

xConfiguration UserInterface NameAndSiteLabels Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

会議のリモート参加者のすべての名前とサイトラベルを非表示にするようにデバイスを設定できます。

使用方法:

xConfiguration UserInterface NameAndSiteLabels Mode: Mode

説明:

Mode:

Auto/Hidden

Auto: 名前とサイトラベルを表示します。

Hidden: 名前とサイトラベルを非表示にします。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration UserInterface OSD EncryptionIndicator

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

暗号化インジケータが画面に表示される時間の長さを定義します。暗号化された通話のアイコンは、ロックされた南京錠です。

使用方法:

xConfiguration UserInterface OSD EncryptionIndicator: EncryptionIndicator

説明:

EncryptionIndicator

Auto/AlwaysOn/AlwaysOff

Auto: コールが暗号化されている場合は、「コールは暗号化されています (Call is encrypted)」という通知が 5 秒間表示されます。その後、通話の残りの部分では暗号化インジケータ アイコンが表示されます。

コールが暗号化されていない場合は、「コールは暗号化されていません (Call is not encrypted)」という通知が 5 秒間表示されます。暗号化インジケータ アイコンは表示されません。

AlwaysOn: 「コールは暗号化されています (Call is encrypted)」という通知が 5 秒間表示されます。その後、通話の残りの部分では暗号化インジケータ アイコンが表示されます。

AlwaysOff: 暗号化インジケータは画面上に表示されません。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration UserInterface OSD HalfwakeMessage

適用先: *RoomKit RoomKitMini RoomBar CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro*

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

カスタム メッセージは、デバイスがハーフウェイク状態のときに、メイン スクリーンの中央に表示できます。カスタム メッセージは、デバイスの使用開始方法について指示するデフォルトのメッセージを置き換えます。カスタム メッセージを追加せずにデフォルト メッセージを削除することもできます。

使用方法:

xConfiguration UserInterface OSD HalfwakeMessage: "HalfwakeMessage"

説明:

HalfwakeMessage:

文字列 (0、128)

カスタム メッセージ。空の文字列: デフォルト メッセージを復元します。空白のみ: メッセージは一切表示されません。

デフォルト値:

""

xConfiguration UserInterface OSD Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

クリーンなビデオストリームを出力するようにデバイスを設定できます。これはブロードキャストモードと呼ばれます。このモードでは、インジケータ、通知、およびコントロールが削除されます。このモードは、視聴者にビデオを配信したいだけのブロードキャストおよび録音サービスを目的としています。

使用方法:

xConfiguration UserInterface OSD Mode: Mode

説明:

Mode:

Auto/Unobstructed

Auto: インジケータ、通知、およびコントロールがビデオストリーム (通常モード) に含まれます。

Unobstructed: インジケータ、通知、およびコントロールがビデオストリーム (ブロードキャストモード) から削除されます。名前ラベルは削除されません。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration UserInterface OSD Output

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

画面上の情報やインジケータの表示に使用するモニターを指定します。これがオンスクリーンディスプレイ (OSD) です。

使用方法:

xConfiguration UserInterface OSD Output: Output

説明:

出力:

1 [Room55 DeskPro DeskMini Desk Board]

Auto/1/2 [RoomKit RoomBar CodecPlus Room70/Room55D]

Auto/1/2/3 [CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro]

Auto [RoomKitMini]

Auto: 内蔵画面があるデバイスの場合、画面に表示される情報とインジケータが内蔵画面に送信されます。デバイスに 2 つの内蔵画面がある場合は、左側の画面が使用されます。

内蔵画面のないデバイスの場合、デバイスは、ビデオ出力に接続された画面を検出し、最初に接続された画面に画面表示用の情報とインジケータを送信します。マルチ画面を設定して、デバイスを On にする前にすべての画面を接続した場合、オンスクリーン用の情報とインジケータは番号が最も小さいビデオ出力に送信されます。ビデオ出力の番号は、出力コネクタ 1 (HDMI 1) から始まります。

1..n: デバイスは画面に表示される情報とインジケータを、指定した出力に送信します。デバイスの出力コネクタ n にオンスクリーン用の情報とインジケータを送信するには、n を選択します。

内蔵画面があるデバイスの場合、最も低い数値が内蔵画面を示します。

デフォルト値:

1 [Room55 DeskPro DeskMini Desk Board]

Auto [RoomKit RoomKitMini RoomBar CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D
Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro]

xConfiguration UserInterface Phonebook DefaultSearchFilter

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

ディレクトリで名前を検索するときは、すべてを検索するか、フィルタ処理をして人のみまたは部屋のみを含めることができます。デバイスが Webex クラウドサービスに登録されているか、または Webex Edge for Devices にリンクされている場合にのみ使用できます。

使用方法:

xConfiguration UserInterface Phonebook DefaultSearchFilter: DefaultSearchFilter

説明:

DefaultSearchFilter:

All/People/Rooms

All: 検索結果には、人物と部屋の両方が表示されます。

People: 検索結果には人のみが表示されます。

Rooms: 検索結果には部屋のみが表示されます。

デフォルト値:

All

xConfiguration UserInterface Phonebook Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

この設定は、ユーザーが連絡先をディレクトリに追加または変更したり、お気に入りリストをデバイスのユーザーインターフェイスに追加または変更可能かどうかを決定します。

使用方法:

xConfiguration UserInterface Phonebook Mode: Mode

説明:

Mode:

ReadOnly/ReadWrite

ReadOnly: 連絡先をお気に入りリストに追加したり、お気に入りリストの連絡先を編集したりはできません。また、会議前にディレクトリやお気に入りリストから連絡先を編集することはできません。

ReadWrite: 連絡先をお気に入りリストに追加したり、お気に入りリストの連絡先を編集したりできます。また、通話前にディレクトリやお気に入りリストから連絡先を編集することができます。

デフォルト値:

ReadWrite

xConfiguration UserInterface Proximity Notifications

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

ユーザーインターフェイスにプロキシミティの通知を表示するかどうかを設定します。

使用方法:

xConfiguration UserInterface Proximity Notifications: [Notifications](#)

説明:

通知:

Auto/Off/On

Auto: プロキシミティの通知を表示するタイミングをシステムが自動的に決定できるようにします。

Off: プロキシミティの通知はユーザーインターフェイスに表示されません。

On: すべてのプロキシミティの通知がユーザーインターフェイスに表示されます。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration UserInterface RoomScheduler AmbientTemperature Show

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

この設定は、Room Navigator が部屋予約デバイス ([スケジューラ (scheduler)] モードとも呼ばれます) として設定されている場合のみ適用されます。部屋がデバイスに接続されている場合、Room Navigator に室温が表示される場合があります。この設定を使用して、表示するかどうかを決定します。

使用方法:

xConfiguration UserInterface RoomScheduler AmbientTemperature Show: [Show](#)

説明:

表示

Auto/Hidden/ShowCelsius/ShowFahrenheit

Auto: 摂氏と華氏の両方で温度を表示します。

Hidden: 温度を表示しません。

ShowCelsius: 摂氏で温度を表示します

ShowFahrenheit: 華氏で温度を表示します。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration UserInterface RoomScheduler PeopleCount Current

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

この設定は、Room Navigator が部屋予約デバイス ([スケジューラ (scheduler)] モードとも呼ばれます) として設定されている場合のみ適用されます。接続されているデバイスからその情報を利用できる場合、Room Navigator には、現在会議室にいる人の数が表示される場合があります。この設定を使用して、この情報を表示するかどうかを決定します。

使用方法:

xConfiguration UserInterface RoomScheduler PeopleCount Current: [Current](#)

説明:

現在:

Auto/Hidden

Auto: 人数を表示します。

Hidden: 人数を表示しません。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration UserInterface RoomScheduler StatusWhenInUse

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

この設定は、Room Navigator が部屋予約デバイス ([スケジューラ (scheduler)] モードとも呼ばれます) として設定されている場合のみ適用されます。Room Navigator は会議室の状態、つまり会議室が空いているか使用中かを表示します (Room Navigator 画面の LED の色とテキストを使用)。この設定を使用して、会議室の状態に影響するものを決定します。

使用方法:

xConfiguration UserInterface RoomScheduler StatusWhenInUse: [StatusWhenInUse](#)

説明:

StatusWhenInUse:

自動/空き

自動: 部屋の状態 (空き/使用中) は、部屋が使用されているかどうかに基づいています。使用されていない場合は空き、使用中の場合は、使用中とマークされます。そのため、カレンダーへの招待がなくても、室内に人がいるとデバイスが検出すると、使用中としてマークされます。

空き: カレンダー予約のみに基づいた会議室の状態 (空き/使用中)。カレンダー予約が無い場合は、空き、カレンダー予約がある場合は使用中としてマークされます。

デフォルト値:

自動

xConfiguration UserInterface Security Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

この設定により、タッチスクリーンの左上にあるドロップダウンリストで、連絡先情報、IP アドレス、MAC アドレス、シリアル番号、ソフトウェアバージョンなどのデバイス情報を非表示にできます。ただしこれは、[設定 (Settings)] メニューから詳細を非表示にすることはできませんが、UserInterface SettingsMenu Mode を [ロック (Locked)] に設定することで非表示にできます。また、管理者権限を持つすべてのユーザーアカウントにパスフレーズがあることを確認する必要があります。

[設定 (Settings)] パネル全体を非表示にするには、UserInterface SettingsMenu Visibility を [非表示 (Hidden)] に設定します。

使用方法:

xConfiguration UserInterface Security Mode: Mode

説明:

Mode:

Normal/Strong

Normal: IP アドレスやその他のデバイス情報がドロップダウンメニューに表示されます。

Strong: 連絡先情報および IP アドレスは、ドロップダウンメニューに表示されません。

デフォルト値:

標準

xConfiguration UserInterface SettingsMenu Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

ユーザーインターフェイス (タッチコントローラまたは画面上) の [設定 (Settings)] パネルは、そのデバイスの管理者パスワードで保護できます。このパスワードが空白の場合、誰でもこの [設定 (Settings)] パネルの設定にアクセスでき、[初期設定にリセット (Factory Reset)] オプションを使用できます。認証を有効にすると、認証を必要とするすべての設定に南京錠のアイコンが表示されます。

さらに、UserInterface Security モード を [強 (Strong)] に設定することで、[設定 (Settings)] パネルをさらにロックダウンできます。これにより、[このデバイスについて (About this device)] メニューがロックされます。

使用方法:

xConfiguration UserInterface SettingsMenu Mode: Mode

説明:

Mode:

Locked/Unlocked

Locked: 管理者のユーザー名とパスフレーズによる認証が必要です。

Unlocked: 認証は必要ありません。

デフォルト値:

Unlocked

xConfiguration UserInterface SettingsMenu Visibility

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

この設定により、ユーザーインターフェイスのドロップダウンメニューと [設定 (Settings)] パネルを非表示にすることができます。

使用方法:

xConfiguration UserInterface SettingsMenu Visibility: Visibility

説明:

Visibility:

Auto/Hidden

Auto: ユーザーが [設定 (Settings)] パネルを閲覧できます。

Hidden: ユーザーが [設定 (Settings)] パネルを閲覧できないようにします。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration UserInterface SoundEffects Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

他のユーザーが Proximity でラップトップやモバイルに接続したときなどにサウンドエフェクトを鳴らすように、デバイスを設定できます。

キーボードは、テキストを入力したときに [サウンド エフェクト (sound effect)] をクリックします (UserInterface Keytones Mode の設定を参照してください)。

使用方法:

xConfiguration UserInterface SoundEffects Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off: サウンド エフェクトを鳴らしません。

On: サウンド エフェクトをオンにします。

デフォルト値:

On

xConfiguration UserInterface Theme Name

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

ユーザーインターフェイスのテーマを変更します。
この設定は将来変更されるか、置き換えられる可能性があります。

使用方法:

xConfiguration UserInterface Theme Name: Name

説明:

Name:

Auto/Light/Night

Auto: デフォルト設定を使用して、システムに最適な設定を決定させます。

Light: 「Light」背景テーマを使用します。

Night: 「Night」背景テーマを使用します。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration UserInterface UsbPromotion

適用先: *RoomKitMini RoomBar*

必要なユーザー ロール: ADMIN

ハーフ ウェイク画面に、このデバイスを USB カメラとして使用できることを知らせるテキストを表示するかどうかを選択します。

使用方法:

xConfiguration UserInterface UsbPromotion: UsbPromotion

説明:

UsbPromotion:

Off/On

オフ: USB カメラの情報テキストは表示されません。

オン: USB カメラの情報テキストが表示されます。

デフォルト値:

Off

xConfiguration UserInterface WebcamOnlyMode

適用対象: *RoomKitMini*

必要なユーザー ロール: ADMIN

このソフトウェアバージョンでは適用されません。

使用方法:

xConfiguration UserInterface WebcamOnlyMode: WebcamOnlyMode

説明:

xConfiguration UserInterface Whiteboard ActivityIndicators

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

アクティビティインジケータを使用すると、コール中に誰が描画し、注釈を付けているかを確認できます。

参加者がホワイトボードと対話しているときは、その参加者のアバターまたはデバイスの頭文字が表示されるため、誰が描画や注釈付けを行っているかを把握できます。

クラウド登録デバイスにのみ適用されます。

使用方法:

xConfiguration UserInterface Whiteboard ActivityIndicators: ActivityIndicators

説明:

ActivityIndicators:

Off/On

On: アクティビティインジケータを有効にします。

Off: アクティビティインジケータを無効にします。

デフォルト値:

On

UserManagement の設定

xConfiguration UserManagement LDAP Admin Filter

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

どのユーザーに管理者権限を付与する必要があるか決定するために LDAP フィルタが使用されます。LDAP 管理者グループまたは LDAP 管理者フィルタをつねに設定する必要があります。LDAP Admin Filter が優先されるため、UserManagement LDAP Admin Filter が設定されている場合であっても、UserManagement LDAP Admin Group 設定は無視されます。

使用方法:

xConfiguration UserManagement LDAP Admin Filter: "Filter"

説明:

Filter:

文字列 (0, 1024)

この文字列の構文については、LDAP の仕様を参照してください。例:
"(| (memberof=CN=admin group, OU=company groups, DC=company, DC=com)
(sAMAccountName=username))"

デフォルト値:

""

xConfiguration UserManagement LDAP Admin Group

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

この AD (Active Directory) グループのメンバーには、管理者権限が付与されます。この設定は、memberof:1.2.840.113556.1.4.1941:=<group name> の短縮形です。

LDAP 管理者グループまたは LDAP 管理者フィルタをつねに設定する必要があります。LDAP Admin Filter が優先されるため、UserManagement LDAP Admin Filter が設定されている場合であっても、UserManagement LDAP Admin Group 設定は無視されます。

使用方法:

xConfiguration UserManagement LDAP Admin Group: "Group"

説明:

Group:

文字列 (0, 255)

AD グループの識別名。例: "CN=admin group, OU=company groups, DC=company, DC=com"

デフォルト値:

""

xConfiguration UserManagement LDAP Attribute

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

指定のユーザー名にマップするために使用する属性。設定しない場合、sAMAccountName が使用されます。

使用方法:

xConfiguration UserManagement LDAP Attribute: "Attribute"

説明:

Attribute:

文字列 (0, 255)

属性名。

デフォルト値:

""

xConfiguration UserManagement LDAP BaseDN

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

検索を開始するエントリの識別名 (ベース)。

使用方法:

xConfiguration UserManagement LDAP BaseDN: "BaseDN"

説明:

BaseDN:

文字列 (0, 255)

ベースの識別名。例: "DC=company, DC=com"

デフォルト値:

""

xConfiguration UserManagement LDAP Encryption

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

デバイスと LDAP サーバーの間の通信を保護する方法を定義します。ポート番号は、UserManagement LDAP Server Port 設定を使用してポート番号をオーバーライドできます。

使用方法:

xConfiguration UserManagement LDAP Encryption: [Encryption](#)

説明:

Encryption:

LDAPS/None/STARTTLS

LDAPS:ポート 636 over TLS (Transport Layer Security) 上の LDAP サーバーに接続します。

None:ポート 389 で LDAP サーバーに接続します (暗号化なし)。

STARTTLS:ポート 389 で LDAP サーバーに接続し、暗号化された接続 (TLS) にアップグレードするための STARTTLS コマンドを送信します。

デフォルト値:

LDAPS

xConfiguration UserManagement LDAP MinimumTLSVersion

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

LDAP で許可する最低バージョンの TLS (Transport Layer Security) プロトコルを設定します。

使用方法:

xConfiguration UserManagement LDAP MinimumTLSVersion: [MinimumTLSVersion](#)

説明:

MinimumTLSVersion:

TLSv1.0/TLSv1.1/TLSv1.2

TLSv1.0:TLS バージョン 1.0 以上をサポートします。

TLSv1.1:TLS バージョン 1.1 以上をサポートします。

TLSv1.2:TLS バージョン 1.2 以上をサポートします。

デフォルト値:

TLSv1.2

xConfiguration UserManagement LDAP Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

このデバイスでは、ユーザー名とパスワードを一元的に保存、検証する場所として、LDAP (Lightweight Directory Access Protocol) サーバーの使用をサポートします。この設定を使用して、LDAP 認証を使用するかどうかを設定します。実装は、Microsoft Active Directory (AD) サービスでテスト済みです。

LDAP Mode をオンにする場合、設定に合わせた UserManagement LDAP 設定の構成を確認してください。いくつかの例を示します。

例 1:

- UserManagement LDAP Mode: On

- UserManagement LDAP Address: "192.0.2.20"

- UserManagement LDAP BaseDN: "DC=company, DC=com"

- UserManagement LDAP Admin Group: "CN=admin group, OU=company groups, DC=company, DC=com"

例 2:

- UserManagement LDAP Mode: On

- UserManagement LDAP Address: "192.0.2.20"

- UserManagement LDAP BaseDN: "DC=company, DC=com"

- UserManagement LDAP Admin Filter: "(!(|(memberof=CN=admin group, OU=company groups, DC=company, DC=com)(sAMAccountName=username)))"

使用方法:

xConfiguration UserManagement LDAP Mode: [Mode](#)

説明:

Mode:

Off/On

Off: LDAP 認証は使用不可です。

On: LDAP 認証は許可されます。

デフォルト値:

Off

xConfiguration UserManagement LDAP Server Address

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

LDAP サーバーの IP アドレスまたはホスト名を設定します。

使用方法:

xConfiguration UserManagement LDAP Server Address: "Address"

説明:

アドレス:

文字列 (0, 255)

有効な IPv4 アドレス、IPv6 アドレス、またはホスト名。

デフォルト値:

""

xConfiguration UserManagement LDAP Server Port

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

LDAP サーバーに接続するポートをオンに設定します。0 に設定した場合は、選択したプロトコルのデフォルトを使用します (「UserManagement LDAP Encryption」設定を参照)。

使用方法:

xConfiguration UserManagement LDAP Server Port: Port

説明:

ポート:

整数 (0 ~ 65535)

LDAP サーバーのポート番号。

デフォルト値:

0

xConfiguration UserManagement LDAP VerifyServerCertificate

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

デバイスを LDAP サーバーに接続すると、サーバーはデバイスに証明書を提示して自身を識別します。この設定は、デバイスがサーバーの証明書を確認するかどうかを決定するために使用します。

使用方法:

xConfiguration UserManagement LDAP VerifyServerCertificate:

VerifyServerCertificate

説明:

VerifyServerCertificate:

Off/On

Off: デバイスは LDAP サーバーの証明書を検証しません。

On: デバイスは、LDAP サーバーの証明書が信頼できる認証局 (CA) によって署名されているかどうかを検証する必要があります。該当する CA が、デバイスに事前にアップロードされている信頼できる CA のリストに含まれている必要があります。デバイスの Web インターフェイスを使用して、信頼できる CA のリストを管理します (詳細については『管理者ガイド』を参照してください)。

デフォルト値:

On

xConfiguration UserManagement PasswordPolicy Complexity MinimumDigits

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

デバイスにローカルユーザーとしてサインインする場合、パスワードは [ユーザーインターフェイス パスワードポリシー (UserManagement PasswordPolicy)] 設定で設定されたルールに従う必要があります。これらの設定は、CE9.10 より前のソフトウェアバージョンに用意されていた「systemtools securitysetting」コマンドを置き換えるものです。

新しいパスワードルールは既存のパスワードには適用されませんが、次のパスワードの変更時に有効になります。

この設定は、パスワードに含める必要のある数字 (0 ~ 9) の最小文字数を指定します。

使用方法:

xConfiguration UserManagement PasswordPolicy Complexity MinimumDigits:

MinimumDigits

説明:

MinimumDigits:

整数 (0 ~ 4)

数字の最小文字数。0 は制限がないことを意味します。

デフォルト値:

0

xConfiguration UserManagement PasswordPolicy Complexity MinimumLength

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

デバイスにローカルユーザーとしてサインインする場合、パスワードは [ユーザーインターフェイス パスワードポリシー (UserManagement PasswordPolicy)] 設定で設定されたルールに従う必要があります。これらの設定は、CE9.10 より前のソフトウェアバージョンに用意されていた「systemtools securitysetting」コマンドを置き換えるものです。

新しいパスワードルールは既存のパスワードには適用されませんが、次のパスワードの変更時に有効になります。

この設定は、パスワードの最小文字数を指定します。

使用方法:

xConfiguration UserManagement PasswordPolicy Complexity MinimumLength:
MinimumLength

説明:

MinimumLength:

整数 (0 ~ 256)

文字の最小数。0 は制限がないことを意味します。

デフォルト値:

8

xConfiguration UserManagement PasswordPolicy Complexity MinimumLowercase

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

デバイスにローカルユーザーとしてサインインする場合、パスワードは [ユーザーインターフェイス パスワードポリシー (UserManagement PasswordPolicy)] 設定で設定されたルールに従う必要があります。これらの設定は、CE9.10 より前のソフトウェアバージョンに用意されていた「systemtools securitysetting」コマンドを置き換えるものです。

新しいパスワードルールは既存のパスワードには適用されませんが、次のパスワードの変更時に有効になります。

この設定は、パスワードに含める必要のある小文字の最小文字数を指定します。

使用方法:

xConfiguration UserManagement PasswordPolicy Complexity MinimumLowercase:
MinimumLowercase

説明:

MinimumLowercase:

整数 (0 ~ 4)

小文字の最小文字数。0 は制限がないことを意味します。

デフォルト値:

0

xConfiguration UserManagement PasswordPolicy Complexity MinimumSpecial

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

デバイスにローカルユーザーとしてサインインする場合、パスワードは [ユーザーインターフェイス パスワードポリシー (UserManagement PasswordPolicy)] 設定で設定されたルールに従う必要があります。これらの設定は、CE9.10 より前のソフトウェアバージョンに用意されていた「systemtools securitysetting」コマンドを置き換えるものです。

新しいパスワードルールは既存のパスワードには適用されませんが、次のパスワードの変更時に有効になります。

この設定は、パスワードに含める必要のある特殊文字の最小文字数を指定します。

使用方法:

xConfiguration UserManagement PasswordPolicy Complexity MinimumSpecial:
MinimumSpecial

説明:

MinimumSpecial:

整数 (0 ~ 4)

特殊文字の最小文字数。0 は制限がないことを意味します。

デフォルト値:

0

xConfiguration UserManagement PasswordPolicy Complexity MinimumUppercase

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

デバイスにローカルユーザーとしてサインインする場合、パスワードは [ユーザーインターフェイス パスワードポリシー (UserManagement PasswordPolicy)] 設定で設定されたルールに従う必要があります。これらの設定は、CE9.10 より前のソフトウェアバージョンに用意されていた「systemtools securitysetting」コマンドを置き換えるものです。

新しいパスワードルールは既存のパスワードには適用されませんが、次のパスワードの変更時に有効になります。

この設定は、パスワードに含める必要のある大文字の最小文字数を指定します。

使用方法:

xConfiguration UserManagement PasswordPolicy Complexity MinimumUppercase:
MinimumUppercase

説明:

MinimumUppercase:

整数 (0 ~ 4)

大文字の最小文字数。0 は制限がないことを意味します。

デフォルト値:

0

xConfiguration UserManagement PasswordPolicy MaxLifetime

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

デバイスにローカルユーザーとしてサインインする場合、パスワードは [ユーザーインターフェイス パスワードポリシー (UserManagement PasswordPolicy)] 設定で設定されたルールに従う必要があります。これらの設定は、CE9.10 より前のソフトウェアバージョンに用意されていた「systemtools securitysetting」コマンドを置き換えるものです。

新しいパスワードルールは既存のパスワードには適用されませんが、次のパスワードの変更時に有効になります。

この設定は、パスワードが無効になるまでの最大日数を指定します。

使用方法:

xConfiguration UserManagement PasswordPolicy MaxLifetime: MaxLifetime

説明:

MaxLifetime:

整数 (0 ~ 7300)

最小日数。0 は制限がないことを意味します。

デフォルト値:

0

xConfiguration UserManagement PasswordPolicy ReuseLimit

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

デバイスにローカルユーザーとしてサインインする場合、パスワードは [ユーザーインターフェイス パスワードポリシー (UserManagement PasswordPolicy)] 設定で設定されたルールに従う必要があります。これらの設定は、CE9.10 より前のソフトウェアバージョンに用意されていた「systemtools securitysetting」コマンドを置き換えるものです。

新しいパスワードルールは既存のパスワードには適用されませんが、次のパスワードの変更時に有効になります。

この設定は、再使用の制限 (n) を指定します。つまり、ユーザーは、直前の n 個のパスワードを再使用することはできません。

使用方法:

xConfiguration UserManagement PasswordPolicy ReuseLimit: ReuseLimit

説明:

ReuseLimit:

整数 (0 ~ 24)

パスワードの最小数。0 は制限がないことを意味します。

デフォルト値:

12

Video の設定

xConfiguration Video DefaultLayoutFamily Local

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

ローカルで使用するビデオ レイアウト ファミリを選択します。

使用方法:

xConfiguration Video DefaultLayoutFamily Local: Local

説明:

ローカル:

Auto/Equal/Overlay/Prominent/Prominent_L/Single

Auto: デバイスによって提供されるローカル レイアウト データベースの指定に従って、デフォルトのレイアウト ファミリがローカル レイアウトとして使用されます。

Equal: Grid レイアウトファミリがローカルレイアウトとして使用されます。参加者は同じサイズのビデオのグリッド内に表示されます。共有コンテンツがある場合、それはグリッドの横に表示されます。

Overlay: [オーバーレイ (Overlay)] レイアウト ファミリがローカル レイアウトとして使用されます。通話中のスピーカーが全画面で表示され、他の参加者はサムネイルで下部にオーバーレイ表示されます。コンテンツがある場合は、通話中のスピーカーがサムネイルで上部にオーバーレイされた状態でコンテンツが全画面表示で表示されます。通話中のスピーカーが遷移するとき、音声切り替えられます。

Prominent: [スタック (Stack)] レイアウトファミリがローカルレイアウトとして使用されます。通話中のスピーカーまたは共有コンテンツは大きい画像となり、他の参加者は小さい画像として上部に表示されます。通話中のスピーカーが遷移するとき、音声切り替えられます。

Prominent_L: [対象拡大表示 (Prominent)] レイアウトファミリがローカルレイアウトとして使用されます。通話中のスピーカーが画面の左上部分に表示され、他の参加者は下部および右側の横に表示されます。

Single: Focus レイアウトファミリがローカルレイアウトとして使用されます。通話中のスピーカー、または (存在する場合) プレゼンテーションは全画面表示となります。他の参加者は表示されません。通話中のスピーカーが遷移するとき、音声切り替えられます。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration Video DefaultLayoutFamily LocalContent

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

コンテンツ共有の開始時に、デフォルトでローカルで切り替えるビデオレイアウトファミリーを選択します。

使用方法:

xConfiguration Video DefaultLayoutFamily LocalContent: LocalContent

説明:

LocalContent :

Auto/Equal/Overlay/Prominent/Prominent_L/Single

Auto : デバイスによって提供されるローカル レイアウト データベースの指定に従って、デフォルトのレイアウト ファミリがローカル レイアウトとして使用されます。

Equal : Grid レイアウトファミリがローカルレイアウトとして使用されます。参加者は同じサイズのビデオのグリッド内に表示されます。共有コンテンツが、グリッドの横に表示されます。

Overlay : [オーバーレイ (Overlay)] レイアウト ファミリがローカル レイアウトとして使用されます。共有コンテンツは、全画面表示で通話中のスピーカーがサムネイルで上部にオーバーレイされた状態で表示されます。

Prominent : [スタック (Stack)] レイアウトファミリがローカルレイアウトとして使用されます。共有コンテンツは大きい画像となり、参加者は小さい画像として上部に表示されます。

Prominent_L : [対象拡大表示 (Prominent)] レイアウトファミリがローカルレイアウトとして使用されます。コンテンツが画面の左上部分に表示され、参加者は下部および右側の横に表示されます。

Single : Focus レイアウトファミリがローカルレイアウトとして使用されます。共有コンテンツは全画面表示で表示されます。参加者は表示されません。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration Video DefaultMainSource

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

コールのメインビデオのデフォルト入力ソースを定義します。ビデオ会議デバイスのスイッチをオンにするか再起動すると、メインビデオがこのソースで再生されます。デバイスの実行中に別のソースに変更するには、Video Input SetMainVideoSource コマンドを使用します。

使用方法:

xConfiguration Video DefaultMainSource: DefaultMainSource

説明:

DefaultMainSource:

1/2/3/4/5/6 [CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]

1/2/3/4 [CodecEQ]

1/2/3 [RoomKit RoomBar CodecPlus Room55 Room70/Room55D DeskPro DeskMini Desk BoardPro]

1/2 [RoomKit RoomKitMini DeskMini Board]

メインビデオのデフォルトソース。

デフォルト値:

1

xConfiguration Video Input AirPlay Beacon

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

検出ビーコンのサポートを On にします。検出ビーコンを使用すると、ビデオデバイスや iPhone、iPad、または Mac が同じブロードキャストドメイン (VLAN またはサブネット) 上にあることが保証されていない環境での AirPlay デプロイが容易になります。これは通常、企業ネットワークの設定に当てはまります。

ビーコン検出には Bluetooth® が必要です。Desk Series、Board Pro、および Room Bar では、専用の Bluetooth Allowed および Bluetooth Enabled 設定で Bluetooth を有効にする必要があります。専用の Bluetooth 設定がないデバイスでは、検出ビーコンを On にすると、Bluetooth が自動的に有効になります。

使用方法:

xConfiguration Video Input AirPlay Beacon: Beacon

説明:

Beacon:

Auto/Off

Auto: AirPlay ビーコンがアクティブになり、デバイスが検出可能になります。通常、企業ネットワークの設定で使用されます。

On: AirPlay ビーコンが無効になり、ビーコンサービスを介してデバイスを検出できなくなります。通常、ホームネットワーク設定で使用されます。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration Video Input AirPlay DiscoveryInstructions NetworkName

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

Apple デバイスを接続するネットワークの名前を挿入します。設定されていない場合、Video Input AirPlay DiscoveryInstructions ShowNetworkInfo 設定は、ネットワーク自体で定義された名前を表示します。

使用方法:

xConfiguration Video Input AirPlay DiscoveryInstructions NetworkName:
"NetworkName"

説明:

NetworkName:

文字列 (0、32)

ネットワークの名前。

デフォルト値:

" "

xConfiguration Video Input AirPlay DiscoveryInstructions ShowNetworkInfo

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

ビデオデバイスの [AirPlay 情報 (AirPlay information)] 画面 (カーテン) に、Apple デバイスが接続する必要があるネットワークの名前を表示するかどうかを決定します。ネットワーク名は、ネットワーク自体で定義されるか、Video Input AirPlay DiscoveryInstructions NetworkName 設定で明示的に設定します。後者が優先されます。

使用方法:

xConfiguration Video Input AirPlay DiscoveryInstructions ShowNetworkInfo:
ShowNetworkInfo

説明:

ShowNetworkInfo:

False/True

False: [AirPlay 情報 (AirPlay information)] 画面にネットワーク名を表示しません。

True: [AirPlay 情報 (AirPlay information)] 画面にネットワーク名を表示します。

デフォルト値:

False

xConfiguration Video Input AirPlay Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

第 1 世代の Board (非 S シリーズ) を除くすべてのデバイスは、AirPlay をサポートします。AirPlay を使用すると、ユーザーは iPhone、iPad、または Mac をワイヤレスで接続して、画面の共有、コラボレーション、およびオーディオおよびビデオコンテンツの再生を行うことができます。

この設定を使用して、デバイスで AirPlay を有効にします。

有効にすると、パーソナルモードのデバイスを使用している場合、ユーザーはデバイスの [設定 (Settings)] メニューから AirPlay を無効にしてから再度有効にすることができます。これは、共有デバイスではできません。

使用方法:

xConfiguration Video Input AirPlay Mode: Mode

説明:

Mode:

Board、非 S シリーズ: Off その他デバイス: Off/On

On: デバイスで AirPlay が有効です。

Off: デバイスで AirPlay が無効です。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Video Input AirPlay Password

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

Video Input AirPlay Security 設定が [パスワード (Password)] に設定されている場合、AirPlay のペアリングに使用するパスワードを定義します。

使用方法:

xConfiguration Video Input AirPlay Password: Password

説明:

パスワード:

文字列 (0, 63)

AirPlay のペアリングパスワード。

デフォルト値:

""

xConfiguration Video Input AirPlay SecurityMode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

iPhone、iPad、または Mac をデバイスにペアリングするときに使用する認証タイプを定義します (AirPlay ペアリング)。

使用方法:

xConfiguration Video Input AirPlay SecurityMode: SecurityMode

説明:

SecurityMode:

Password/PinAlways/PinFirstTime

Password: デバイスには、AirPlay ペアリング用のパスワードが必要です。Video Input AirPlay Password 設定でパスワードを定義する必要があります。パスワードを定義しない場合、デバイスはデフォルトに戻り、個人識別番号を要求します。

PinAlways: デバイスは、AirPlay をペアリングするたびに個人識別番号を要求します (切断後 30 秒以内に再接続する場合を除く)。

PinFirstTime: デバイスは、初回 AirPlay ペアリング時に個人識別番号を要求します。初回以降は、ペアリングに成功したデバイスが記憶されます。

デフォルト値:

共有モードのデバイス: PinAlways パーソナルモードのデバイス: PinFirstTime

xConfiguration Video Input Connector [n] CameraControl CameraId

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

カメラ ID は、このビデオ入力に接続されているカメラの一意的 ID です。

複数のカメラを搭載したデバイスの場合、[Cameras Camera] ステータスで現在割り当てられている ID を確認できます。

使用方法:

xConfiguration Video Input Connector [n] CameraControl CameraId: CameraId

説明:

n: ビデオ入力コネクタを識別する固有 ID。

範囲: 1..2 [RoomKit RoomKitMini DeskMini Board]

範囲: 1..3 [RoomBar CodecPlus Room55 Room70/Room55D DeskPro Desk BoardPro]

範囲: 1..4 [CodecEQ]

範囲: 1 ~ 6 [CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]

CameraId:

1/2/3/4/5/6/7 [CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro]

1 [RoomKit RoomKitMini RoomBar Room55 DeskPro DeskMini Desk Board]

複数のカメラが搭載されているデバイスの場合は、カメラの ID を設定します。1 台のカメラを備えたデバイスでは、値は固定されており、変更できません。

デフォルト値:

Connector n: n [CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]

Connector 1: 1 Connector 2: 3 Connector 3: 2 [BoardPro]

1 [RoomKit RoomKitMini RoomBar Room55 DeskPro DeskMini Desk Board]

xConfiguration Video Input Connector [n] CameraControl Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

このビデオ入力コネクタに接続されているカメラを制御するかどうかを定義します。一部のコネクタでは制御できません (Off のみを選択できます)。

使用方法:

xConfiguration Video Input Connector [n] CameraControl Mode: Mode

説明:

n: ビデオ入力コネクタを識別する固有 ID。

範囲: 1..2 [RoomKit RoomKitMini DeskMini Board]

範囲: 1..3 [RoomBar CodecPlus Room55 Room70/Room55D DeskPro Desk BoardPro]

範囲: 1..4 [CodecEQ]

範囲: 1 ~ 6 [CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]

Mode:

Off/On [CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]

コネクタ 1: Off/On コネクタ 2: Off コネクタ 3: Off/On [BoardPro]

コネクタ 1: Off/On コネクタ 2, 3: Off [RoomBar Room55 DeskPro Desk]

コネクタ 1: Off/On コネクタ 2: Off [DeskMini]

コネクタ 1: Off/On コネクタ 2: Off [RoomKit RoomKitMini Board]

Off: カメラ制御を無効にします。

On: カメラ制御を有効にします。

デフォルト値:

On [CodecPlus Room70/Room55D]

コネクタ 1, 2, 3, 4, 5: On コネクタ 6: Off [CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]

コネクタ 1: On その他コネクタ: Off [RoomKit RoomKitMini RoomBar CodecEQ Room55 DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro]

xConfiguration Video Input Connector [n] CEC Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

ビデオ入力 (HDMI) は、Consumer Electronics Control (CEC) をサポートします。この設定を有効にすると、接続デバイスの情報 (デバイスの種類やデバイス名) がビデオ会議デバイスのステータスで使用可能になります (Video Input Connector[n] ConnectedDevice CEC [n])。ただし、接続デバイスは CEC もサポートすることが条件となります。

カメラのスピーカーから音が出なくなるため、Quad Camera がある場合はコネクタの CEC のスイッチを切らないでください。CEC は、ビデオ会議デバイスからカメラに音声を送信するために使用されるチャンネルである HDMI ARC (オーディオ リターン チャンネル) に必要です。

使用方法:

xConfiguration Video Input Connector [n] CEC Mode: Mode

説明:

n: ビデオ入力コネクタを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 3 [CodecPlus Room70/Room55D]

範囲: 1..4 [CodecEQ]

範囲: 1 ~ 5 [CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]

範囲: 2..2 [RoomKit RoomKitMini DeskMini Board]

範囲: 2..3 [RoomBar Room55 DeskPro Desk BoardPro]

Mode:

Off/On [RoomKit RoomKitMini RoomBar CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro]

コネクタ 1: On その他のコネクタ: Off/On [Room70/Room55D]

Off: CEC が無効です。

On: CEC が有効になります。

デフォルト値:

On

xConfiguration Video Input Connector [n] HDCP Mode

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room55](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [BoardPro](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

ビデオ会議デバイスの HDMI 入力の 1 つを HDCP 保護コンテンツをサポートするように設定することができます (高帯域幅デジタル コンテンツ保護、バージョン 1.4)。これにより、DVD プレーヤー、Google ChromeCast、AppleTV、または HDTV デコーダなどのデバイスを接続してビデオ会議デバイスの画面を再利用できます。通話中にこの種のコンテンツを共有することはできません。

入力コネクタが HDCP をサポートするように設定されている場合、会議中は、この入力からのコンテンツを共有できないという制限が適用されます。ただし、HDCP で保護されたコンテンツと保護されていないコンテンツの両方をローカルで共有できます。このソースの Web スナップショットを撮ることはできません。

デバイス画面に HDCP で保護されたコンテンツを表示できるようにするには、Video Output Connector [n] HDCPPolicy 構成が正しく設定されていること、および画面自体が HDCP をサポートしていることも確認してください。

使用方法:

xConfiguration Video Input Connector [n] HDCP Mode: [Mode](#)

説明:

n: ビデオ入力コネクタを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 3 [[CodecPlus](#) [Room70/Room55D](#)]

範囲: 1..4 [[CodecEQ](#)]

範囲: 1 ~ 5 [[CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

範囲: 2..3 [[Room55](#) [BoardPro](#)]

Mode:

コネクタ 1、3: Off、コネクタ 2: Off/On [[CodecPlus](#) [Room70/Room55D](#)]

コネクタ 1、2、4: Off、コネクタ 3: Off/On [[CodecEQ](#)]

コネクタ 1、2、3、4: Off、コネクタ 5: Off/On [[CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

コネクタ 2: Off、コネクタ 3: Off/On [[Room55](#) [BoardPro](#)]

Off: ビデオ入力は、HDCP で保護されているコンテンツをサポートしていません。HDCP で保護されていないコンテンツのみがサポートされています。

On: ビデオ入力は、HDCP で保護されているコンテンツと HDCP で保護されていないコンテンツの両方をサポートします。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Video Input Connector [n] InputSourceType

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

ビデオ入力に接続された入力ソースのタイプを選択します。
デバイスが内蔵カメラを備えている場合、コネクタ 1 は内蔵カメラを指します。

使用方法:

xConfiguration Video Input Connector [n] InputSourceType: [InputSourceType](#)

説明:

n: ビデオ入力コネクタを識別する固有 ID。

範囲: 1..2 [[RoomKit](#) [RoomKitMini](#) [DeskMini](#) [Board](#)]

範囲: 1..3 [[RoomBar](#) [CodecPlus](#) [Room55](#) [Room70/Room55D](#) [DeskPro](#) [Desk](#) [BoardPro](#)]

範囲: 1..4 [[CodecEQ](#)]

範囲: 1 ~ 6 [[CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

InputSourceType:

[PC/camera/document_camera/mediaplayer/whiteboard/other](#) [[CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

コネクタ 1: camera その他コネクタ: [PC/camera/document_camera/mediaplayer/whiteboard/other](#) [[RoomKit](#) [RoomKitMini](#) [RoomBar](#) [Room55](#) [DeskPro](#) [DeskMini](#) [Desk](#) [Board](#) [BoardPro](#)]

PC: コンピュータがビデオ入力に接続されている場合に使用します。

camera: カメラがビデオ入力に接続されている場合に使用します。

document_camera: ドキュメント カメラがビデオ入力に接続されている場合に使用します。

mediaplayer: メディア プレーヤーがビデオ入力に接続されている場合に使用します。

whiteboard: ホワイトボード カメラがビデオ入力に接続されている場合に使用します。

other: 他のオプションが当てはまらない場合に使用します。

デフォルト値:

コネクタ 1、2、6: camera コネクタ 3、4、5: PC [[CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

コネクタ 1: camera その他コネクタ: [PC](#) [[RoomKit](#) [RoomKitMini](#) [RoomBar](#) [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [Room55](#) [Room70/Room55D](#) [DeskPro](#) [DeskMini](#) [Desk](#) [Board](#) [BoardPro](#)]

xConfiguration Video Input Connector [n] Name

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

ビデオ入力コネクタの名前を定義します。

使用方法:

xConfiguration Video Input Connector [n] Name: "Name"

説明:

n: ビデオ入力コネクタを識別する固有 ID。

範囲: 1..2 [[RoomKit](#) [RoomKitMini](#) [DeskMini](#) [Board](#)]

範囲: 1..3 [[RoomBar](#) [CodecPlus](#) [Room55](#) [Room70/Room55D](#) [DeskPro](#) [Desk](#) [BoardPro](#)]

範囲: 1..4 [[CodecEQ](#)]

範囲: 1 ~ 6 [[CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

Name:

文字列 (0, 50)

ビデオ入力コネクタの名前。

デフォルト値:

コネクタ 1: "Camera 1" コネクタ 2: "Camera 2" コネクタ 3: "PC 1 (HDMI)"
コネクタ 4: "PC 2 (HDMI)" コネクタ 5: "PC 3 (HDMI)" コネクタ 6: "Camera 3
(SD)" [[CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

コネクタ 1: "Camera" コネクタ 2: "PC (USB-C)" コネクタ 3: "PC (HDMI)"
[[RoomBar](#) [BoardPro](#)]

コネクタ 1: "Camera" コネクタ 2: "PC 1 (HDMI)" コネクタ 3: "PC 2 (HDMI)"
[[CodecPlus](#) [Room70/Room55D](#)]

コネクタ 1: "Camera" コネクタ 2: "PC 1 (HDMI)" コネクタ 3: "PC 2 (HDMI)" コネク
タ 4: "PC (USB-C)" [[CodecEQ](#)]

コネクタ 1: "Camera" コネクタ 2: "PC 1 (HDMI)" コネクタ 3: "PC 2 (HDMI)"
[[Room55](#)]

コネクタ 1: "Camera" コネクタ 2: "PC" [[RoomKit](#) [RoomKitMini](#) [Board](#)]

コネクタ 1: "Camera" コネクタ 2: "PC (USB-C)" [[DeskMini](#)]

コネクタ 1: "Camera" コネクタ 2: "PC (USB-C)" コネクタ 3: "PC (HDMI)"
[[DeskPro](#) [Desk](#)]

xConfiguration Video Input Connector [n] PreferredResolution

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

ビデオ会議デバイスが接続された入力ソース (例: ラップトップ) に通知する推奨の画面解析度と更新間隔を定義します。ソース デバイス (例、ラップトップのディスプレイ構成ソフトウェア) によって手動でオーバーライドされない限り、ソース側の解像度の選択するためのロジックは、自動的にこの解像度とリフレッシュ レートを選択します。

1920_1080_60 より大きい形式では特に大量のデータが使用されるため、少なくとも HDMI 1.4b データレートに対応したプレゼンテーションケーブル (またはアダプタ) が必要です。

使用方法:

xConfiguration Video Input Connector [n] PreferredResolution:
PreferredResolution

説明:

n: ビデオ入力コネクタを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 3 [[CodecPlus](#) [Room70/Room55D](#)]

範囲: 1..4 [[CodecEQ](#)]

範囲: 1 ~ 5 [[CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

範囲: 2..2 [[RoomKit](#) [RoomKitMini](#) [DeskMini](#) [Board](#)]

範囲: 2..3 [[RoomBar](#) [Room55](#) [DeskPro](#) [Desk](#) [BoardPro](#)]

PreferredResolution:

コネクタ 1, 2: 1920_1080_60 コネクタ 3, 4, 5: 1920_1080_60/2560_1440_60/3840_
2160_30 [[CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

コネクタ 1: 1920_1080_60 その他コネクタ: 1920_1080_60/2560_1440_60/3840_216
0_30 [[CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [Room70/Room55D](#)]

1920_1080_60/2560_1440_60/3840_2160_30 [[RoomKit](#) [RoomKitMini](#) [RoomBar](#) [Room55](#)
[Board](#)]

1920_1080_60/2560_1440_60/3840_2160_30/3840_2160_60 [[DeskPro](#)]

1920_1080_60 [[DeskMini](#) [Desk](#)]

コネクタ 2: 1920_1080_60/2560_1440_60/3840_2160_30/3840_2160_60

コネクタ 3: 1920_1080_60/2560_1440_60/3840_2160_30 [[BoardPro](#)]

1920_1080_60: 解像度は 1920 X 1080、リフレッシュ レートは 60 Hz です。

2560_1440_60: 解像度は 2560 X 1440、リフレッシュ レートは 60 Hz です。

3840_2160_30: 解像度は 3840 X 2160、リフレッシュ レートは 30 Hz です。

3840_2160_60: 解像度は 3840 x 2160、リフレッシュ レートは 60 Hz です。

デフォルト値:

1920_1080_60 [[CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [DeskMini](#) [Desk](#)]

コネクタ 2: 3840_2160_60 コネクタ 3: 3840_2160_30 [[BoardPro](#)]

コネクタ 1: 1920_1080_60 その他コネクタ: 3840_2160_30 [[CodecEQ](#)]

3840_2160_30 [RoomBar]

3840_2160_60 [DeskPro]

1920_1080_60 [RoomKit RoomKitMini CodecPlus Room55 Room70/Room55D Board]

xConfiguration Video Input Connector [n] PresentationSelection

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

プレゼンテーション ソースをビデオ入力に接続したときの、ビデオ会議デバイスの動作を定義します。デバイスがスタンバイ モードの場合、プレゼンテーション ソースを接続すると起動します。遠端とプレゼンテーションを共有するには、この設定が AutoShare に設定されていなければ、追加操作（ユーザーインターフェイスで [共有 (Share)] を選択）が必要です。

複数カメラ搭載デバイスの場合: どの入力ソースでもプレゼンテーションソースとして使用できます。通常、メインカメラはプレゼンテーションソースとして使用されません。

内蔵カメラを備えたデバイスの場合: 内蔵カメラはプレゼンテーション ソースとして利用できません。

使用方法:

xConfiguration Video Input Connector [n] PresentationSelection:
PresentationSelection

説明:

n: ビデオ入力コネクタを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 3 [CodecPlus Room70/Room55D]

範囲: 1..4 [CodecEQ]

範囲: 1 ~ 6 [CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]

範囲: 2..2 [RoomKit RoomKitMini DeskMini Board]

範囲: 2..3 [RoomBar Room55 DeskPro Desk BoardPro]

PresentationSelection:

AutoShare/Desktop/Manual/OnConnect

AutoShare: 通話時に、ビデオ入力のコンテンツは、ケーブルを接続するかまたはソースが有効になると（たとえば接続されているコンピュータがスリープ モードから復帰するなど）、自動的に遠端とローカル画面に表示されます。ユーザーインターフェイス上で [共有 (Share)] を選択する必要はありません。コールの発信時または応答時にプレゼンテーション ソースがすでに接続されている場合は、ユーザーインターフェイス上で [共有 (Share)] を手動で選択する必要があります。

Desktop: ビデオ入力のコンテンツは、ケーブルを接続するかまたはソースが有効になると（たとえば接続されているコンピュータがスリープ モードから復帰するなど）、画面に表示されます。これは、アイドル状態のときと通話中のときの両方に適用されます。また、ビデオ入力のコンテンツは、通話の終了時にアクティブ入力であれば、画面に表示されたままとなります。

Manual: ユーザーインターフェイスで [共有 (Share)] を選択するまでビデオ入力の内容は画面に表示されません。

OnConnect: ビデオ入力のコンテンツは、ケーブルを接続するかまたはソースが起動すると（たとえば接続されているコンピュータがスリープ モードから復帰するなど）、画面に表示されます。それ以外の場合は、Manual モードと同じ動作です。

デフォルト値:

コネクタ 1、2、6: Manual コネクタ 3、4、5: OnConnect [CodecPro Room70G2]

[RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

コネクタ 1: [Manual](#) その他のコネクタ: [OnConnect](#) [[CodecPlus Room70/Room55D](#)]

コネクタ 1, 2: [Manual](#) その他コネクタ: [OnConnect](#) [[CodecEQ](#)]

[Desktop](#) [[RoomBar DeskPro DeskMini Desk](#)]

[OnConnect](#) [[RoomKit RoomKitMini Room55 BoardPro](#)]

[AutoShare](#) [[Board](#)]

xConfiguration Video Input Connector [n] Quality

適用対象: [すべての製品](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN, INTEGRATOR

ビデオのエンコーディングと送信のときには、高解像度と高フレーム レートとの間にトレード オフが存在します。一部のビデオ ソースでは、高フレーム レートが高解像度より重要である場合や、逆の場合もあります。この設定で、高フレーム レートと高解像度のどちらを優先するかを指定します。

デバイスにより、Quad Camera、SpeakerTrack 60 カメラ、または Precision 60 が検出されると、この設定は自動的に Motion に設定されます。ユーザーが手動でこの設定を変更した場合、再起動後またはカメラの再接続後に、Motion に戻ります。

使用方法:

xConfiguration Video Input Connector [n] Quality: [Quality](#)

説明:

n: ビデオ入力コネクタを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 3 [[CodecPlus Room70/Room55D](#)]

範囲: 1..4 [[CodecEQ](#)]

範囲: 1 ~ 6 [[CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

範囲: 2..2 [[RoomKit RoomKitMini DeskMini Board](#)]

範囲: 2..3 [[RoomBar Room55 DeskPro Desk BoardPro](#)]

[Quality](#):

[Auto/Motion/Sharpness](#)

Auto: 開始点として、Auto は Sharpness に分解され、ビデオストリームはそれに応じてエンコードされます。デバイスは着信ビデオストリームを継続的に分析し、モーションが検出されると、Motion のエンコーディングに自動的に変更されます。

Motion: できるだけ高いフレーム レートにします。高いフレームレートが必要な場合に使用します (通常、画像の動きがある場合)。

Sharpness: できるだけ高い解像度にします。詳細なイメージやグラフィックに高い品質が必要な場合に使用されます。

デフォルト値:

コネクタ 1, 2, 6: [Motion](#) コネクタ 3, 4, 5: [Auto](#) [[CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

コネクタ 1: [Motion](#) その他コネクタ: [コネクタ: Auto](#) [[CodecPlus Room70/Room55D](#)]

コネクタ 1, 2: [Motion](#) その他コネクタ: [コネクタ: Auto](#) [[CodecEQ](#)]

[Auto](#) [[RoomKit RoomKitMini RoomBar Room55 DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro](#)]

xConfiguration Video Input Connector [n] RGBQuantizationRange

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

ビデオ入力に接続されたデバイスは CTA-861 で規定されている RGB ビデオ量子化範囲の規則に従う必要があります。残念ながら、一部のデバイスは規格に準拠していません。その場合、ソースの完全なイメージを取得するために、この設定を使用して設定を上書きできます。

使用方法:

xConfiguration Video Input Connector [n] RGBQuantizationRange:
[RGBQuantizationRange](#)

説明:

n: ビデオ入力コネクタを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 3 [[CodecPlus Room70/Room55D](#)]

範囲: 1..4 [[CodecEQ](#)]

範囲: 1 ~ 5 [[CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

範囲: 2..2 [[RoomKit RoomKitMini DeskMini Board](#)]

範囲: 2..3 [[RoomBar Room55 DeskPro Desk BoardPro](#)]

[RGBQuantizationRange](#):

Auto/Full/Limited

Auto: RGB 量子化範囲は CTA-861-F に従ったビデオ形式に基づいて自動的に選択されます。CE ビデオ形式は、限定された量子化範囲レベルを使用します。IT ビデオ形式は、完全な量子化範囲レベルを使用します。

Full: 完全な量子化の範囲。R、G、B の量子化範囲にはすべてのコード値 (0 ~ 255) が含まれます。これは CTA-861-F で規定されています。

Limited: 限定された量子化の範囲。極端なコード値を除いた R、G、B の量子化範囲 (16 ~ 235)。これは CTA-861-F で規定されています。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration Video Input Connector [n] Visibility

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

ユーザーインターフェイスのメニューにあるビデオ入力コネクタとボタンの可視性を定義します。内蔵カメラを備えたデバイスの場合: コネクタ 1 はデバイス内蔵のカメラであり、プレゼンテーション ソースとしては利用できません。

使用方法:

xConfiguration Video Input Connector [n] Visibility: [Visibility](#)

説明:

n: ビデオ入力コネクタを識別する固有 ID。

範囲: 1..2 [[RoomKit RoomKitMini DeskMini Board](#)]

範囲: 1..3 [[RoomBar CodecPlus Room55 Room70/Room55D DeskPro Desk BoardPro](#)]

範囲: 1..4 [[CodecEQ](#)]

範囲: 1 ~ 6 [[CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

[Visibility](#):

Always/IfSignal/Never [[CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

コネクタ 1: *Never* その他コネクタ: *Always/IfSignal/Never* [[RoomKit RoomKitMini RoomBar DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro](#)]

Always: ビデオ入力コネクタ用メニュー選択は、ユーザーインターフェイスに常に表示されます。**IfSignal**: ビデオ入力コネクタ用メニュー選択は、ビデオ入力に何か接続されている場合のみ表示されます。

Never: 入力の送信元はプレゼンテーション ソースとして使用されないため、ユーザーインターフェイスに表示されません。

デフォルト値:

コネクタ 1: *Never* その他コネクタ: *IfSignal* [[CodecEQ CodecPro Room70G2 DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro](#)]

コネクタ 1: *Never* コネクタ 2: *Never* その他コネクタ: *IfSignal* [[RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

コネクタ 1: *Never* その他コネクタ: *Always* [[RoomKit RoomKitMini RoomBar CodecPlus Room55 Room70/Room55D](#)]

xConfiguration Video Input Miracast Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

Miracast を使用すると、会議参加者は、クライアントを必要とせずに、ラップトップ (Windows または Android) からビデオ会議デバイスにワイヤレスでコンテンツを共有できます。Miracast は Wi-Fi Direct を使用して、送信側デバイス (通常は会議参加者のラップトップ) からビデオ会議デバイスへの直接ネットワーク接続を確立します。2.4 GHz 帯域のみがサポートされています。デバイスは、接続を確立する際のシグナリングに TCP ポート 7236 を使用します。

Miracast を On にすると、デバイスはビーコンを発し、近くのデバイスがそれを拾います (範囲は 100 メートル程度)。近くのデバイスのスキャンリストに表示されるブロードキャスト名は、構成によって異なります。PII (個人を特定できる情報) が含まれないようにするために、SystemUnit BroadcastName 設定でブロードキャスト名を具体的に設定できます。それ以外の場合、スキャンリストには、デバイスが Webex クラウドサービスに登録されている場合は Webex DisplayName が表示され、オンプレミスサービスに登録されている場合は SystemUnit 名が表示されます。どちらの名前も設定されていない場合は、商品タイプ (id) が表示されます。

Miracast は Wi-Fi を使用しているため、非無線デバイスではサポートされていません。また、オプションの製品の Wi-Fi アンテナをかならず接続してください。さらに、デバイスはケーブルでネットワークに接続されている必要があります (また、有線ネットワーク インターフェイスに IP アドレスが設定されている必要があります)。

この機能は、このソフトウェアバージョンの Room 70 Panorama および Room Panorama では使用できません。

使用方法:

xConfiguration Video Input Miracast Mode: Mode

説明:

Mode:

Manual/Off/On

On: Miracast はアクティブ化されており、ユーザーは非アクティブ化できません。

Off: Miracast は非アクティブ化されており、ユーザーはアクティブ化できません。

手動: Miracast はデフォルトで無効になっていますが、ユーザーはデバイスのユーザーインターフェイスの [設定 (Settings)] パネルから自分でオンとオフを切り替えることができます。

デフォルト値:

オフ

xConfiguration Video Input Miracast Pin Length

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

Miracast の個人識別番号コードの桁数を設定します。会議参加者は、ビデオ会議デバイスに必要な Wi-Fi Direct ネットワーク接続を確立するときに、ラップトップ (送信デバイス) にこのコードを入力する必要があります。会議参加者は、30 秒以内に個人識別番号コードを入力する必要があります。

使用方法:

xConfiguration Video Input Miracast Pin Length: Length

説明:

長さ:

4/8

個人識別番号コードの桁数。

デフォルト値:

4

xConfiguration Video Monitors

適用先: [RoomKit](#) [RoomBar](#) [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room55](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [DeskPro](#) [DeskMini](#) [Desk](#) [BoardPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

Video Output Connector [n] MonitorRole 設定を使用する各画面にロールを割り当てます。モニター ロールは、この出力に接続されている画面上のどのレイアウト (コール参加者とプレゼンテーション) に表示するかを決定します。同じモニター ロールの画面は同じレイアウトになり、別のモニター ロールの画面は異なるレイアウトになります。

Video Monitors で設定するモニター レイアウト モードには、部屋のセットアップで利用する各レイアウト数を反映させてください。いくつかの画面がプレゼンテーション用に確保できることに注意してください。

使用方法:

xConfiguration Video Monitors: [Monitors](#)

説明:

Monitors:

[Auto/Single/Dual/DualPresentationOnly](#) [[RoomKit](#) [RoomBar](#) [CodecPlus](#) [Room55](#) [Room70/Room55D](#) [DeskPro](#) [DeskMini](#) [Desk](#) [BoardPro](#)]

[Auto/Single/Dual/DualPresentationOnly/Triple/TriplePresentationOnly](#) [[CodecEQ](#) [CodecPro](#) [Room70G2](#)]

[Auto/TriplePresentationOnly](#) [[RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

Auto: デバイスに接続された画面数は自動的に検出され、レイアウトはモニター ロールの設定に従って画面に割り振られます。

Single: レイアウトは、デバイスの画面に表示されます。デバイスが複数の画面を備えている場合、すべての画面に同じレイアウトが表示されます。

Dual: レイアウトはモニター ロール [第 1 (First)] および [第 2 (Second)] の画面に配信されます。プレゼンテーションがレイアウトの一部である場合、コールの参加者はすべてモニター ロールが First である画面に表示され、プレゼンテーションはモニター ロールが Second である画面に表示されます。

DualPresentationOnly: コールのすべての参加者がモニター ロールが First である画面に表示されます。プレゼンテーションがレイアウトの一部である場合、プレゼンテーションはモニター ロールが Second である画面に表示されます。

Triple: レイアウトはモニター ロールが First、Second、Third である画面に配信されます。Second のモニター ロールがある画面がまず使用され、次に First、最後に Third が使用されます。プレゼンテーションがレイアウトの一部である場合、コールの参加者はすべてモニター ロールが First および Second である画面に表示され、プレゼンテーションはモニター ロールが Third の画面に表示されます。

TriplePresentationOnly: コールのすべての参加者がモニター ロール First および Second の画面に配信されます。Second のモニター ロールがある画面がまず使用され、次に First の画面が使用されます。プレゼンテーションがレイアウトの一部である場合、プレゼンテーションはモニター ロールが Third の画面に表示されます。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration Video Output Connector [n] BrightnessMode

適用先: [DeskPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

画面の輝度レベルを自動または手動制御を許可するように設定します。Connector [1] は、デバイスの内蔵画面です。

使用方法:

xConfiguration Video Output Connector [n] BrightnessMode: [BrightnessMode](#)

説明:

n: ビデオ出力コネクタを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 1

[BrightnessMode](#):

Auto/Manual

Auto: 画面の輝度レベルをデバイスで自動的に設定できるようにします。

Manual: 画面の輝度レベルをユーザーが手動で設定できるようにします。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration Video Output Connector [n] CEC Mode

適用先: [RoomKit](#) [RoomKitMini](#) [RoomBar](#) [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room55](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [DeskPro](#) [BoardPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

ビデオ出力 (HDMI) は、Consumer Electronics Control (CEC) をサポートします。

この設定が [オン (On)] の場合、ビデオ会議デバイス自身がスタンバイになるときに、CEC を使用して画面をスタンバイ状態にセットします。同様に、デバイスがスタンバイから復帰するときに、デバイス自身が画面を起動します。

画面のアクティブなビデオ入力为用户によって変更されることがあります。コールが開始されると、デバイスはアクティブなビデオ入力画面の別の入力に切り替えられたかどうかを検出します。切り替えられている場合、デバイスは入力を切り替え直し、デバイスがアクティブなビデオ入力ソースになります。デバイスがスタンバイ状態になるときに、デバイスがアクティブな入力ソースでない場合は、画面はスタンバイ状態にセットされません。

出力に接続した画面に CEC 互換性があること、および CEC が画面上で有効であることが必須条件です。

CEC については、製造業者によって異なるマーケティング名称が使用されていることに注意してください。例: Anynet+ (Samsung)、Aquos Link (シャープ)、BRAVIA Sync (Sony)、HDMI-CEC (日立)、Kuro Link (パイオニア)、CE-Link および Regza Link (東芝)、RIHD (オンキヨー)、HDAVI Control、EZ-Sync、VIERA Link (Panasonic)、EasyLink (Philips)、NetCommand for HDMI (三菱)。このソフトウェアバージョンの Desk Pro および Board Pro は、外付け画面をサポートしていません。

使用方法:

xConfiguration Video Output Connector [n] CEC Mode: Mode

説明:

n: ビデオ出力コネクタを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 1 [[RoomKitMini](#)]

範囲: 1..2 [[RoomKit](#) [RoomBar](#) [CodecPlus](#)]

範囲: 1..3 [[CodecEQ](#) [CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

範囲: 2..2 [[Room55](#) [DeskPro](#) [BoardPro](#)]

範囲: 2 ~ 2 (Room 70 Single 対応) Room 70 Dual では利用できません
[[Room70/Room55D](#)]

Mode:

Off/On [[RoomKit](#) [RoomKitMini](#) [RoomBar](#) [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room55](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [DeskPro](#) [BoardPro](#)]

Room Panorama: *On*,

Room 70 Panorama: *Off/On* [[RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

Off: CEC が無効です。

On: CEC が有効になります。

デフォルト値:

On [[RoomKit](#) [RoomKitMini](#) [RoomBar](#) [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room55](#) [DeskPro](#) [BoardPro](#)]

Off [[Room70/Room55D](#) [Room70G2](#)]

Room Panorama: *On*; *Room 70 Panorama*: コネクタ 1: *Off*、コネクタ 2: *Off*、コネクタ 3: *On* [[RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

xConfiguration Video Output Connector [n] HDCPPolicy

適用先: [RoomKit](#) [RoomKitMini](#) [RoomBar](#) [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room55](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [DeskPro](#) [BoardPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

ビデオ会議デバイスの HDMI 出力の一部は、HDCP で保護されたコンテンツの送信を許可するように設定できます。HDCP で保護されたコンテンツを画面に表示するには、当然、画面自体も HDCP をサポートしている必要があります。

使用方法:

xConfiguration Video Output Connector [n] HDCPPolicy: HDCPPolicy

説明:

n: ビデオ出力コネクタを識別する固有 ID。

範囲: 1..2 [[RoomKit](#) [RoomBar](#) [CodecPlus](#) [Room70/Room55D](#)]

範囲: 1..3 [[CodecEQ](#) [CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

範囲: 2..2 [[Room55](#) [DeskPro](#) [BoardPro](#)]

範囲: 1 ~ 1 [[RoomKitMini](#)]

HDCPPolicy:

Off [[RoomKit](#) [RoomKitMini](#) [BoardPro](#)]

Off/On [[RoomBar](#) [CodecEQ](#)]

On [[Room55](#) [DeskPro](#)]

コネクタ 1, 2: *Off/On* コネクタ 3: *Off* [[CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

コネクタ 1: *Off/On* コネクタ 2: *Off* [[CodecPlus](#) [Room70/Room55D](#)]

Off: 出力リンクで HDCP が無効になっています。したがって、ビデオ出力では、保護されていないコンテンツのみが許可されます。

On: ビデオ出力は、HDCP で保護されたコンテンツと保護されていないコンテンツの両方を許可します。

デフォルト値:

Off [[RoomKit](#) [RoomKitMini](#) [BoardPro](#)]

On [[RoomBar](#) [CodecEQ](#) [Room55](#) [DeskPro](#)]

コネクタ 1, 2: *On* コネクタ 3: *Off* [[CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

コネクタ 1: *On* コネクタ 2: *Off* [[CodecPlus](#) [Room70/Room55D](#)]

xConfiguration Video Output Connector [n] Location HorizontalOffset

適用先: [RoomKit](#) [RoomBar](#) [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room55](#) [Room70/Room55D](#)
[Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [DeskPro](#) [BoardPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

HorizontalOffset 設定および VerticalOffset 設定は、各ビデオ出力に関連付けられています。これらの設定は、これらの出力に接続されているディスプレイの相対的な位置を信号で送信するために使用されます。

HorizontalOffset = "0" および VerticalOffset = "0" は、ディスプレイが水平および垂直の両方で中央に位置することを示します。負の水平オフセットは、モニターが中心の左にあり、正の水平オフセットはモニターが中心の右にあることを示します。負の垂直オフセットは、モニターが中心の下にあり、正の垂直オフセットはモニターが中心の上にあることを示します。オフセットの大きさはディスプレイが（他のディスプレイと比較して）どれくらい中央から離れているかを示します。

例: 隣り合った 2 つの画面があります。左はコネクタ 1 の画面、右はコネクタ 2 の画面です。ここでは次の設定が適用されます。

Video Output Connector 1 Location: HorizontalOffset = "0", VerticalOffset = "0"

Video Output Connector 2 Location: HorizontalOffset = "1", VerticalOffset = "0"

例: 下のように 2 つの画面があります。上側はコネクタ 1 の画面、下側はコネクタ 2 の画面です。ここでは次の設定が適用されます。

Video Output Connector 1 Location: HorizontalOffset = "0", VerticalOffset = "0"

Video Output Connector 2 Location: HorizontalOffset = "0", VerticalOffset = "-1"

Room 55 と Desk Pro の場合、内蔵画面（コネクタ 1）は HorizontalOffset = "0" および VerticalOffset = "0" です（暗黙の構成であり、構成不可です）。このソフトウェアバージョンの Desk Pro および Board Pro は、外付け画面をサポートしていません。

使用方法:

```
xConfiguration Video Output Connector [n] Location HorizontalOffset:  
"HorizontalOffset"
```

説明:

n: ビデオ出力コネクタを識別する固有 ID。

範囲: 1..2 [[RoomKit](#) [RoomBar](#) [CodecPlus](#) [Room70/Room55D](#)]

範囲: 1..3 [[CodecEQ](#) [CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

範囲: 2..2 [[Room55](#) [DeskPro](#) [BoardPro](#)]

HorizontalOffset:

文字列 (1, 12)

この文字列は、-100.0 ~ 100.0（両方の値を含む）の 10 進数を表します。C++ の文字列ライブラリの std::stof 関数に準拠した入力文字列を使用できます。つまり、10 進数表記または指数表記のどちらも使用できることを意味します。例: "12"、"12.0"、"1.2e1"、"1.2E1"、"-0.12"、"-12e-2"。先頭の空白文字は破棄されます。小数点には "." を使用します。

デフォルト値:

コネクタ 1: "-1" コネクタ 2: "0" コネクタ 3: "1" [[CodecEQ](#) [CodecPro](#) [Room70G2](#)]

コネクタ 1: "0" コネクタ 2: "1" コネクタ 3: "0.5" [[RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

コネクタ 1: "0" コネクタ 2: "1" [[RoomKit](#) [RoomBar](#) [CodecPlus](#) [Room70/Room55D](#)]

コネクタ 2: "0" [[BoardPro](#)]

コネクタ 2: "1" [[Room55](#) [DeskPro](#)]

xConfiguration Video Output Connector [n] Location VerticalOffset

適用先: [RoomKit](#) [RoomBar](#) [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room55](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [DeskPro](#) [BoardPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

HorizontalOffset 設定および VerticalOffset 設定は、各ビデオ出力に関連付けられています。これらの設定は、これらの出力に接続されているディスプレイの相対的な位置を信号で送信するために使用されます。

HorizontalOffset = "0" および VerticalOffset = "0" は、ディスプレイが水平および垂直の両方で中央に位置することを示します。負の水平オフセットは、モニターが中心の左にあり、正の水平オフセットはモニターが中心の右にあることを示します。負の垂直オフセットは、モニターが中心の下にあり、正の垂直オフセットはモニターが中心の上にあることを示します。オフセットの大きさはディスプレイが (他のディスプレイと比較して) どれくらい中央から離れているかを示します。

Room 55 と Desk Pro の場合、内蔵画面 (コネクタ 1) は HorizontalOffset = "0" および VerticalOffset = "0" です (暗黙の構成であり、構成不可です)。

例: 隣り合った 2 つの画面があります。左はコネクタ 1 の画面、右はコネクタ 2 の画面です。ここでは次の設定が適用されます。

Video Output Connector 1 Location: HorizontalOffset = "0", VerticalOffset = "0"

Video Output Connector 2 Location: HorizontalOffset = "1", VerticalOffset = "0"

例: 2 つの画面 (一方がもう一方の下にある) があります。上側はコネクタ 1 の画面、下側はコネクタ 2 の画面です。ここでは次の設定が適用されます。

Video Output Connector 1 Location: HorizontalOffset = "0", VerticalOffset = "0"

Video Output Connector 2 Location: HorizontalOffset = "0", VerticalOffset = "-1"

このソフトウェアバージョンの Desk Pro および Board Pro は、外付け画面をサポートしていません。

使用方法:

```
xConfiguration Video Output Connector [n] Location VerticalOffsetset:
"VerticalOffset"
```

説明:

n: ビデオ出力コネクタを識別する固有 ID。

範囲: 1..2 [[RoomKit](#) [RoomBar](#) [CodecPlus](#) [Room70/Room55D](#)]

範囲: 1..3 [[CodecEQ](#) [CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

範囲: 2..2 [[Room55](#) [DeskPro](#) [BoardPro](#)]

VerticalOffsetset:

文字列 (1, 12)

この文字列は、-100.0 ~ 100.0 (両方の値を含む) の 10 進数を表します。C++ の文字列ライブラリの std::stof 関数に準拠した入力文字列を使用できます。つまり、10 進数表記または指数表記のどちらも使用できることを意味します。例: "12", "12.0", "1.2e1", "1.2E1", "-0.12", "-12e-2"。先頭の空白文字は破棄されます。小数点には "." を使用します。

デフォルト値:

コネクタ n: "0" [[RoomKit](#) [RoomBar](#) [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room55](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [DeskPro](#) [BoardPro](#)]

コネクタ 1, 2: "0" コネクタ 3: "-1" [[RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

xConfiguration Video Output Connector [n] MonitorRole

適用先: [RoomKit](#) [RoomKitMini](#) [RoomBar](#) [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room55](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [DeskPro](#) [BoardPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

モニター ロールは、ビデオ出力に接続された画面にどのビデオ ストリームを表示するかを示します。すべての出力用の Video Monitors 設定および MonitorRole 設定とともに、各画面に表示されるレイアウト (ビデオストリーム) を定義します。

この設定でサポートしている画面は 1 つだけのため、Room Kit Mini には適用されません。このソフトウェアバージョンの Desk Pro および Board Pro は、外付け画面をサポートしていません。

使用方法:

```
xConfiguration Video Output Connector [n] MonitorRole: MonitorRole
```

説明:

n: ビデオ出力コネクタを識別する固有 ID。

範囲: 1..2 [[RoomKit](#) [RoomBar](#) [CodecPlus](#) [Room70/Room55D](#)]

範囲: 1..3 [[CodecEQ](#) [CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

範囲: 2..2 [[Room55](#) [DeskPro](#) [BoardPro](#)]

範囲: 1 ~ 1 [[RoomKitMini](#)]

MonitorRole:

Auto/First/Second/PresentationOnly [[RoomKit](#) [RoomBar](#) [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [Room55](#) [Room70/Room55D](#) [DeskPro](#) [BoardPro](#)]

Auto/First/Second/Third/PresentationOnly/Recorder [[CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

Auto: 画面が接続されたときにデバイスが検知し、Video Monitors 設定に対応するモニター ロール (First, Second, Third) を自動的に割り当てます。

First/Second/Third: マルチ画面設定での画面の役割を定義します。シングル画面設定では、First, Second, Third の間に相違はありません。

PresentationOnly: アクティブな場合プレゼンテーション ビデオ ストリームを表示し、他のものは表示しません。このモニター ロールの画面および出力は Video Monitors 設定によって無視されます。

Recorder: ローカル メイン ビデオ (セルフビュー) を含むすべての参加者を表示します。アクティブであれば、プレゼンテーションも表示されます。このモニター ロールの画面および出力は Video Monitors 設定によって無視されます。

デフォルト値:

Auto [[RoomKit](#) [RoomBar](#) [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room55](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [DeskPro](#) [BoardPro](#)]

デュアル: コネクタ 1, 2: *Auto*; シングル: コネクタ 1: *Auto* コネクタ 2: *PresentationOnly* [[Room70/Room55D](#)]

xConfiguration Video Output Connector [n] Resolution

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

画面の解像度とリフレッシュレートを定義します。デバイスに統合画面がある場合、Connector [1] はこの画面を指します。

外付け画面に接続する際は、1920_1200_60 より大きなフォーマットには、高品質なディスプレイケーブルを使用する必要があります。

UHD テレビおよび画面には、3840_2160_30 (30 Hz) のみしか使用できないものもありますが、3840_2160_60 (60 Hz) はデフォルト設定ではありません。このような場合、テレビと画面の関連設定で、デバイスが接続されている HDMI 入力として 3840_2160_60 を許可するように再設定する必要があります。

このソフトウェアバージョンの Desk Pro および Board Pro は、外付け画面 (Connector [2]) をサポートしていません。

使用方法:

xConfiguration Video Output Connector [n] Resolution: Resolution

説明:

n: ビデオ出力コネクタを識別する固有 ID。

範囲: 1..1 [RoomKitMini DeskMini Desk Board]

範囲: 1..2 [RoomKit RoomBar CodecPlus Room55 Room70/Room55D DeskPro BoardPro]

範囲: 1..3 [CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]

Resolution:

コネクタ 1, 2: Auto/1920_1080_50/1920_1080_60/1920_1200_50/1920_1200_60/2560_1440_60/3840_2160_30/3840_2160_60 コネクタ 3: Auto/1920_1080_50/1920_1080_60/1920_1200_50/1920_1200_60/2560_1440_60/3840_2160_30 [CodecPro Room70G2]

コネクタ 1, 2: Auto/1920_1080_50/1920_1080_60/1920_1200_50/1920_1200_60/2560_1440_60/3840_2160_30/3840_2160_60 コネクタ 3: 3840_2160_30 [RoomPanorama/Room70Panorama]

3840_2160_60 [Board]

コネクタ 1: 3840_2160_60 コネクタ 2: Auto/1920_1080_50/1920_1080_60/1920_1200_50/1920_1200_60/2560_1440_60/3840_2160_30/3840_2160_60 [Room55 DeskPro BoardPro]

1920_1080_50 [DeskMini Desk]

Auto/1920_1080_50/1920_1080_60/1920_1200_50/1920_1200_60/2560_1440_60/3840_2160_30/3840_2160_60 [RoomKit RoomKitMini RoomBar CodecEQ CodecPlus Room70/Room55D]

Auto: デバイスは接続されたモニタのネゴシエーションに基づいて自動的に最適な解像度の設定を試行します。

1920_1080_50: 解像度は 1920 X 1080、リフレッシュ レートは 50 Hz です。

1920_1080_60: 解像度は 1920 X 1080、リフレッシュ レートは 60 Hz です。

1920_1200_50: 解像度は 1920 X 1200、リフレッシュ レートは 50 Hz です。

1920_1200_60: 解像度は 1920 X 1200、リフレッシュ レートは 60 Hz です。

2560_1440_60: 解像度は 2560 X 1440、リフレッシュ レートは 60 Hz です。

3840_2160_30: 解像度は 3840 X 2160、リフレッシュ レートは 30 Hz です。

3840_2160_60: 解像度は 3840 x 2160、リフレッシュ レートは 60 Hz です。

デフォルト値:

3840_2160_60 [Board]

1920_1080_60 [DeskMini Desk]

コネクタ 1: 3840_2160_60 コネクタ 2: Auto [Room55 DeskPro BoardPro]

Auto [RoomKit RoomKitMini RoomBar CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2]

コネクタ 1, 2: Auto、コネクタ 3: 3840_2160_30 [RoomPanorama/Room70Panorama]

xConfiguration Video Output Connector [n] RGBQuantizationRange

適用先: [RoomKit](#) [RoomKitMini](#) [RoomBar](#) [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room55](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [DeskPro](#) [BoardPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

接続されている HDMI ディスプレイは、CTA-861 で定義されている RGB ビデオ量子化範囲の規則に従う必要があります。残念ながら、一部のディスプレイは規格に準拠していません。その場合、ディスプレイの完全なイメージを取得するために、この設定を使用して設定を上書きできます。

このソフトウェアバージョンの Desk Pro および Board Pro は、外付け画面をサポートしていません。

使用方法:

xConfiguration Video Output Connector [n] RGBQuantizationRange:
[RGBQuantizationRange](#)

説明:

[n](#): ビデオ出力コネクタを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 1 [[RoomKitMini](#)]

範囲: 1..2 [[RoomKit](#) [RoomBar](#) [CodecPlus](#) [Room70/Room55D](#)]

範囲: 1..3 [[CodecEQ](#) [CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

範囲: 2..2 [[Room55](#) [DeskPro](#) [BoardPro](#)]

[RGBQuantizationRange](#) :

Auto/Full/Limited

Auto: ディスプレイの信号が EDID で「選択可能な RGB 量子化範囲」をサポートする場合、AVI インフォフレームは RGB 量子化範囲ビット (Q0、Q1) で完全な範囲をシグナリングします。それ以外の場合、CE ビデオ形式の AVI インフォフレームでは限定された範囲がシグナリングされ、IT ビデオ形式では完全な範囲がシグナリングされます。

Full: 完全な量子化の範囲。R、G、B の量子化範囲にはすべてのコード値 (0 ~ 255) が含まれます。これは CTA-861-H で規定されています。

Limited: 限定された量子化の範囲。極端なコード値を除いた R、G、B の量子化範囲 (16 ~ 235)。これは CTA-861-H で規定されています。

デフォルト値:

フル

xConfiguration Video Output HDMI Passthrough Allowed

適用対象: [RoomKit](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room55](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN

デバイスの HDMI 出力の 1 つに接続されている HDMI-to-USB コンバータ (キャプチャデバイス) の USB ソケットにラップトップを接続すると、ラップトップのミーティング アプリケーションで会議を行う際に、デバイスのカメラとマイクを使用できます。また、デバイスの画面とスピーカーを利用するには、ラップトップと HDMI 入力のためにプレゼンテーションケーブル (HDMI) が必要です。この機能は、[ラップトップから会議 (Call from laptop)]、[Web カメラモード (Webcam mode)]、または [HDMI パススルー (HDMI passthrough)] と呼ばれます。

HDMI-to-USB コンバータが接続されている HDMI 出力は、Video Output HDMI Passthrough OutputConnector 設定で設定されます。また、ビデオモニターと Video Output Connector [n] MonitorRole の設定が正しいことを確認することもできます。

Room 55 Dual および Room 70 Dual では、コンバータで使用できる HDMI 出力がないため、[ラップトップから会議 (Call from laptop)] はサポートされていません。

使用方法:

xConfiguration Video Output HDMI Passthrough Allowed: [Allowed](#)

説明:

[Allowed](#) :

False/True

False: 機能を無効にします。ラップトップのミーティング アプリケーションからの発信はサポートされていません。

True: 機能を有効にします。ラップトップのミーティング アプリケーションからの発信がサポートされており、ユーザーインターフェイスで [ラップトップから会議 (Call from laptop)] ボタンがあります。

デフォルト値:

False

xConfiguration Video Output HDMI Passthrough OutputConnector

適用対象: [RoomKit](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room55](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

HDMI-to-USB コンバータ (キャプチャデバイス) を接続した HDMI 出力コネクタを設定します。デフォルトでは、デバイスは最も高い番号の HDMI 出力を使用するように設定されています。

この設定は、[ラップトップから会議 (Call from laptop)] が有効になっている場合、つまり、[Video Output HDMI Passthrough Allowed] が [True] に設定されている場合にのみ適用されます。

Room 55 Dual および Room 70 Dual にはコンバータで使用できる HDMI 出力がないため、この設定は使用できません。

使用方法:

xConfiguration Video Output HDMI Passthrough OutputConnector: [OutputConnector](#)

説明:

[OutputConnector](#):

整数 (1..3) [[CodecPro](#)]

Room 70 Dual G2: 整数 (3..3) Room 70 Single G2: 整数 (2..3) [[Room70G2](#)]

整数 (1..2) [[RoomKit](#) [CodecPlus](#)]

整数 (1..1) [[Room55](#)]

Room 70 Single: 整数 (2..2) [[Room70/Room55D](#)]

範囲: 選択したビデオ出力コネクタの一意の識別子。

デフォルト値:

3 [[CodecPro](#) [Room70G2](#)]

2 [[RoomKit](#) [CodecPlus](#) [Room70/Room55D](#)]

1 [[Room55](#)]

xConfiguration Video Output HDMI Passthrough AutoDisconnect Enabled

適用対象: [RoomKit](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room55](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

たとえば、ユーザーがタッチコントローラから切断するのを忘れた場合など、デバイスが一定の遅延の後に [HDMI パススルー (HDMI Passthrough)] を自動的に切断するかどうかを決定します。遅延は、Video Output HDMI Passthrough AutoDisconnect Delay で設定されます。

[HDMI パススルー (HDMI Passthrough)] および [ラップトップから会議 (Call from laptop)] 機能の詳細については、Video Output HDMI Passthrough Allowed 設定を参照してください。[ラップトップから会議 (Call from laptop)] 機能は、Room 55 Dual および Room 70 Dual ではサポートされていません。

使用方法:

xConfiguration Video Output HDMI Passthrough AutoDisconnect Enabled: [Enabled](#)

説明:

[Enabled](#):

False/True

False: [HDMI パススルー (HDMI Passthrough)] は自動的に切断されません。ユーザーは常にタッチコントローラから切断する必要があります。

True: Video Output HDMI Passthrough AutoDisconnect Delay がタイムアウトすると、[HDMI パススルー (HDMI Passthrough)] が切断されます。

デフォルト値:

True

xConfiguration Video Output HDMI Passthrough AutoDisconnect Delay

適用対象: [RoomKit](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room55](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

デバイスが自動的に切断されるまでの [HDMI パススルー (HDMI Passthrough)] モードの時間を分単位で設定します。この設定は、Video Output HDMI Passthrough AutoDisconnect Enabled が True に設定されている場合にのみ有効です。

[HDMI パススルー (HDMI passthrough)] と [ラップトップから会議 (Call from laptop)] 機能についての詳細は、「Video Output HDMI Passthrough Allowed 設定」を参照してください。[ラップトップから会議 (Call from laptop)] 機能は、Room 55 Dual および Room 70 Dual ではサポートされていません。

使用方法:

xConfiguration Video Output HDMI Passthrough AutoDisconnect Delay: [Delay](#)

説明:

[Delay](#):

整数 (1 ~ 1440)

分単位で測定された遅延。

デフォルト値:

120

xConfiguration Video Output Webcam USBMode

適用先: [RoomKitMini](#) [RoomBar](#) [BoardPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

ビデオの接続時またはストリーミングビデオの開始時に、USB モード (および、do-not-disturb) を指定するかどうかを指定します。

使用方法:

xConfiguration Video Output Webcam USBMode: [USBMode](#)

説明:

[USBMode](#):

OnConnect/OnStreaming

OnConnect: ビデオの接続時に USB モードになります。

OnStreaming: ストリーミングビデオの開始時に USB モードになります。

デフォルト値:

OnStreaming

xConfiguration Video Presentation DefaultSource

適用対象: [すべての製品](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

デフォルトのプレゼンテーション ソースとして使用するビデオ入力ソースを定義します。この設定は、API およびサードパーティのユーザーインターフェイスで使用できます。Cisco が提供するユーザーインターフェイスの使用時には関係ありません。

使用方法:

xConfiguration Video Presentation DefaultSource: [DefaultSource](#)

説明:

[DefaultSource](#):

1/2 [RoomKit RoomKitMini DeskMini Board]

1/2/3 [RoomBar CodecPlus Room55 Room70/Room55D DeskPro Desk BoardPro]

1/2/3/4 [CodecEQ]

1/2/3/4/5/6 [CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]

デフォルトのプレゼンテーション ソースとして使用するビデオ入力ソース。

デフォルト値:

2 [RoomKit RoomKitMini RoomBar CodecEQ CodecPlus Room55 Room70/Room55D DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro]

3 [CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]

xConfiguration Video Presentation Priority

適用対象: [すべての製品](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN

プレゼンテーションチャンネルとビデオチャンネル間でどのように帯域幅を分配するかを指定します。

使用方法:

xConfiguration Video Presentation Priority: [Priority](#)

説明:

優先度:

Equal/High/Low [RoomKit RoomKitMini RoomBar CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro]

Equal [RoomPanorama/Room70Panorama]

Equal: 利用可能なビデオ伝送帯域幅がメインチャンネルとプレゼンテーションチャンネルの間で分散されます。

High: プレゼンテーションチャンネルは、メインビデオチャンネルを犠牲にして、利用可能な帯域の大部分に割り当てられます。

Low: メインビデオチャンネルは、プレゼンテーションチャンネルを犠牲にして、利用可能な帯域の大部分に割り当てられます。

デフォルト値:

等分

xConfiguration Video Selfview Default FullscreenMode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

コール終了後に、メイン ビデオ ソース (セルフビュー) を全画面表示するか、小さいピクチャインピクチャ (PiP) として表示するかを定義します。この設定はセルフビューがオンになっている場合にのみ有効です (Video Selfview Default Mode の設定を参照)。

Desk および Desk Pro の場合、ユーザーインターフェイスを使用して全画面セルフビューを Off にすると、次回ユーザーインターフェイスを使用して再度 On にした場合に PiP として表示されます。

使用方法:

xConfiguration Video Selfview Default FullscreenMode: FullscreenMode

説明:

FullscreenMode:

Off/Current/On

Off:セルフビューは PiP として表示されます。

Current:セルフビュー画像のサイズは、会議終了時のまま維持されます。つまり、会議中に PiP だった場合は、会議後も PiP のままで、会議中に全画面だった場合は、会議後も全画面のまま維持されます。

On:セルフビューの画像は全画面表示されます。

デフォルト値:

Current

xConfiguration Video Selfview Default Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

コール後、およびコール中にビデオがオフになって再度オンになった後に、メインビデオソース (セルフビュー) を画面に表示する必要があるかどうかを定義します。セルフビュー ウィンドウの位置とサイズはそれぞれ、Video Selfview Default PIPPosition および Video Selfview Default FullscreenMode の設定によって決まります。

使用方法:

xConfiguration Video Selfview Default Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/Current/On

Off:コール退出時や、コール中にビデオをオンにした後も、セルフビューがオフになります。

Current:セルフビューはそのままの状態に残ります。つまり会議中に On であった場合は会議中終了後も On のままであり、会議中に Off であった場合は会議中終了後も Off のままで。コール中にビデオをオンにした後も同様です。

On:コール退出時や、コール中にビデオをオンにした後も、セルフビューがオンになります。

デフォルト値:

Current

xConfiguration Video Selfview Default OnMonitorRole

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

コールの後にメイン ビデオ ソース (セルフビュー) を表示する画面/出力を設定します。この値は、異なる出力用に設定された Video Output Connector [n] MonitorRole 設定のモニターロールを反映します。

この設定は、セルフ ビューが全画面で表示されたとき、およびセルフビューがピクチャインピクチャ (PiP) で表示されたときの両方に適用されます。

使用方法:

xConfiguration Video Selfview Default OnMonitorRole: OnMonitorRole

説明:

OnMonitorRole:

Current/First/Second [*RoomKit RoomKitMini RoomBar CodecEQ CodecPlus Room55 Room70/Room55D DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro*]

Current/First/Second/Third [*CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama*]

Current: コールを中止すると、セルフビュー画像がコール中と同じ出力上に維持されます。

First: モニター ロールが First である出力で、セルフビュー画像が表示されます。

Second: モニター ロールが Second である出力で、セルフビュー画像が表示されます。

Third: モニター ロールが Third である出力で、セルフビュー画像が表示されます。

デフォルト値:

Current

xConfiguration Video Selfview Default PIPPosition

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

コール終了後に小さいセルフビュー ピクチャインピクチャ (PiP) を表示する画面上の位置を定義します。この設定は、セルフビューがオンになっており (Video Selfview Default Mode 設定を参照)、全画面表示がオフになっている場合 (Video Selfview Default FullscreenMode 設定を参照) のみ有効です。

使用方法:

xConfiguration Video Selfview Default PIPPosition: PIPPosition

説明:

PIPPosition:

Current/UpperLeft/UpperCenter/UpperRight/CenterLeft/CenterRight/LowerLeft/LowerRight

Current: セルフビュー PiP の位置はコール終了後も変更されません。

UpperLeft: セルフビュー PiP が画面の左上隅に表示されます。

UpperCenter: セルフビュー PiP が画面の上部中央に表示されます。

UpperRight: セルフビュー PiP が画面の右上隅に表示されます。

CenterLeft: セルフビュー PiP が画面の左中央に表示されます。

CenterRight: セルフビュー PiP が画面の右中央に表示されます。

LowerLeft: セルフビュー PiP が画面の左下隅に表示されます。

LowerRight: セルフビュー PiP が画面の右下隅に表示されます。

デフォルト値:

Current [*RoomKit RoomKitMini RoomBar CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 DeskPro DeskMini Desk BoardPro*]

LowerRight [*RoomPanorama/Room70Panorama*]

Current [*Board*]

xConfiguration Video Selfview OnCall Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

コールをセットアップする短い間、この設定を使用してセルフ ビューがオンにされます。セルフビューをオンのままにしておく時間の長さは、Video Selfview OnCall Duration 設定で定義します。これは一般にセルフ ビューがオフの場合に適用されます。

使用方法:

xConfiguration Video Selfview OnCall Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off:セルフ ビューはコール セットアップ中に自動的に表示されません。

On:セルフ ビューはコール セットアップ中に自動的に表示されます。

デフォルト値:

On [RoomKit RoomKitMini CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2
RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro]

Off [RoomBar DeskMini Desk Board BoardPro]

xConfiguration Video Selfview OnCall Duration

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

この設定は Video Selfview OnCall Mode 設定が On になっている場合にのみ有効です。この場合、ここで設定された秒数により、自動的にオフにされる前にセルフ ビューが表示される期間が決まります。

使用方法:

xConfiguration Video Selfview OnCall Duration: Duration

説明:

期間:

整数 (1 ~ 60)

範囲:セルフ ビューをオンにする期間を選択します。有効な範囲は、1 ~ 60 秒です。

デフォルト値:

5

VoiceControl configuration

xConfiguration VoiceControl Wakeword Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

この設定を使用して、Webex Assistant で使用されるウェイクワード (「OK Webex」など) を有効または無効にします。Webex Assistant では、デバイスのハンズフリーを使用できます。ウェイクワードを使用すると、コールの発信やプレゼンテーションの開始などのタスクを開始できます。

UserInterface Assistant Mode 設定を使用して Webex Assistant をオンにします。

使用方法:

xConfiguration VoiceControl Wakeword Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off:ウェイクワードの使用を無効にします。

On:ウェイクワードの使用を有効にします。

デフォルト値:

On

WebEngine の設定

xConfiguration WebEngine Features LocalWebAppManagement

適用先: [DeskPro](#) [DeskMini](#) [Desk](#) [Board](#) [BoardPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN

デバイスのユーザーインターフェイスの [設定 (Settings)] メニューにインストールされている Web アプリケーションのリストを表示するかどうか、またユーザーがこのメニューから Web アプリケーションを管理 (追加、編集、または削除) できるかどうかを決定します。

デバイスのローカル Web インターフェイスまたは API を使用してデバイスに直接設定されている Web アプリのみ、[設定 (Settings)] メニュー (ローカルで管理) から管理できます。Control Hub (外部管理) から設定されている Web アプリは、一覧表示されますが、ユーザーは管理できません。

使用方法:

xConfiguration WebEngine Features LocalWebAppManagement:

[LocalWebAppManagement](#)

説明:

[LocalWebAppManagement](#) :

Allowed/NotAllowed/Off

Allowed :ユーザーは、デバイスのユーザーインターフェイスの [設定 (Settings)] メニューから、ローカルで管理される Web アプリケーションを追加、編集、削除できます。

NotAllowed :インストールされている Web アプリケーションのリストは [設定 (Settings)] メニューに表示されますが、ユーザーはそれらを管理できません。

Off :[設定 (Settings)] メニューで Web アプリケーションを一覧表示または管理するためのエントリがありません。

デフォルト値:

Off

xConfiguration WebEngine Features WebGL

適用対象: [すべての製品](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN

WebGL™ は、低レベルの 3D グラフィックスの Web 標準です。RoomOS の WebGL は試験的な機能であり、将来変更される可能性があります。

使用方法:

xConfiguration WebEngine Features WebGL: [WebGL](#)

説明:

[WebGL](#) :

Off/On

On :WebGL が有効になります。

Off :WebGL が無効になります。

デフォルト値:

Off

xConfiguration WebEngine Features SipUrlHandler

適用先: [RoomKitMini](#) [DeskPro](#) [DeskMini](#) [Desk](#) [Board](#) [BoardPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN

この構成により、Web ビューベースの機能 (Web アプリ、デジタルサイネージなど) から直接 SIP コールを開始できます。ユーザーは SIP:yourSipUrl というラベルの付いたボタンを選択してコールを開始し、そのコールはデバイスによって発信されます。

使用方法:

xConfiguration WebEngine Features SipUrlHandler: [SipUrlHandler](#)

説明:

[SipUrlHandler](#) :

Off/On

Off :Web ビューからの SIP コールの開始は無効になります。

On :Web ビューからの SIP コールの開始は有効になります。

デフォルト値:

Off

xConfiguration WebEngine Features Xapi Peripherals AllowedHosts Hosts

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

永続的な Web アプリをホストしているサーバーのドメイン名がここにリストされている場合、アプリはデバイス上で API コマンドを実行することが許可されています。それ以外の場合は、デバイスとの通信を必要としないアプリのみが Room Navigator で実行できます。

UserInterface HomeScreen Peripherals WebApp URL 設定で指定された URL がチェックされ、許可されたホストのリストと一致した場合、デバイスでの API コマンドの実行が許可されます。

注: 永続的な Web アプリは、ネットワークを介してデバイスにペアリングされている Room Navigator でのみ使用できます。

使用方法:

```
xConfiguration WebEngine Features Xapi Peripherals AllowedHosts Hosts:  
"Hosts"
```

説明:

ホスト:

文字列 (0, 1024)

1 つ以上のドメイン名を指定します。複数の場合は、コンマで区切ります。「*」をワイルドカードとして使用できます。たとえば、「*.cisco.com」は、cisco.com で終わるすべてのホストを許可します。任意のドメインを許可するには、「*」を指定します。

デフォルト値:

""

xConfiguration WebEngine MinimumTLSVersion

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

Web エンジンで許可する最低バージョンの TLS (Transport Layer Security) プロトコルを設定します。

使用方法:

```
xConfiguration WebEngine MinimumTLSVersion: MinimumTLSVersion
```

説明:

MinimumTLSVersion:

TLSv1.0/TLSv1.1/TLSv1.2

TLSv1.0: TLS バージョン 1.0 以降のサポート。

TLSv1.1: TLS バージョン 1.1 以降のサポート。

TLSv1.2: TLS バージョン 1.2 以降のサポート。

デフォルト値:

TLSv1.1

xConfiguration WebEngine モード

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

Web エンジンは、デジタル サイネージや Web アプリなど、デバイスの Web ビューを使用する機能が動作するための前提条件です。

使用方法:

```
xConfiguration WebEngine Mode: Mode
```

説明:

Mode:

Off/On

Off: Web エンジンが無効になります。

On: Web エンジンが有効になります。

デフォルト値:

Off

xConfiguration WebEngine RemoteDebugging

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

Web ページに問題が発生した場合は、リモート デバッグをオンにすることを推奨します。リモート デバッグを使用すると、Chrome 開発者コンソールにアクセスして、Web ページの潜在的な問題を識別することができます。有効にすると、画面の下部にバナーが表示され、モニターされる可能性があることをユーザーに警告します。ヘッダには、開発者コンソールを開くためにローカルの Chrome ブラウザに入力可能な URL も表示されます。

使用後は、必ずリモート デバッグをオフにしてください。

使用方法:

```
xConfiguration WebEngine RemoteDebugging: RemoteDebugging
```

説明:

RemoteDebugging:

Off/On

Off: リモート デバッグがオフに切り替わります。

On: リモート デバッグがオンに切り替わります。

デフォルト値:

Off

xConfiguration WebEngine UseHttpProxy

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

サービスの通信に HTTP プロキシを使用するかどうかを指定できるように、いくつかの [Httpプロキシの使用 (UseHttpProxy)] 設定が用意されています。[Webエンジン Httpプロキシの使用 (WebEngine UseHttpProxy)] 設定は、デジタルサイネージ、API 駆動型 Web ビュー、Web アプリなど、Web ビューベースのすべての機能に適用されます。

この設定を有効にするには、[ネットワークサービス HTTP プロキシ (NetworkServices HTTP Proxy)] 設定を使用して、HTTP、HTTPS、および WebSocket トラフィック用のプロキシサーバーをセットアップする必要があります。

使用方法:

xConfiguration WebEngine UseHttpProxy: [UseHttpProxy](#)

説明:

[UseHttpProxy](#):

Off/On

Off:サーバーとの直接通信をセットアップします (プロキシを使用しません)。

On:プロキシ経由の通信をセットアップします。

デフォルト値:

On

Webex の構成

xConfiguration Webex CloudProximity GuestShare

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

この設定では、devices.webex.com 経由でゲスト共有機能をオフにすることができます。

使用方法:

xConfiguration Webex CloudProximity GuestShare: [GuestShare](#)

説明:

[GuestShare](#):

Auto/Off

Auto:ゲストの共有を許可するかどうかをシステムが自動的に判断できるようにします。これは、現在デフォルトでは有効になっています。

Off:ゲスト共有機能をオフにします。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration Webex CloudProximity Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

オンプレミスのコールマネージャに登録され、Webex Edge for Devices にリンクされたデバイスは、超音波、Wi-Fi 検出、ゲスト共有のようなペアリングメカニズムを処理するためにオンプレミスとクラウド両方のプロキシミティモードをサポートします。この設定では、使用する 2 つのプロキシミティモードを定義できます。

使用方法:

xConfiguration Webex CloudProximity Mode: [Mode](#)

説明:

[Mode](#):

Off/On

Off:リンクされたデバイスは、オンプレミスのプロキシミティモードを使用します。

On:リンクされたデバイスはクラウドのプロキシミティモードを使用します。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Webex CloudUpgrades Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

オンプレミスサービスに登録され、Webex Edge for Devices にリンクされているデバイスでは、オンプレミスのプロビジョニングサービスまたは Webex クラウドサービス (クラウド管理のソフトウェアのアップグレード) からソフトウェアをアップグレードするかどうかを選択できます。

クラウド管理のソフトウェアのアップグレードでは、新しい RoomOS ソフトウェアバージョンが利用可能になると、デバイスは自動的にアップグレードされます。これは、クラウドに登録されたデバイスのアップグレードと同時です。デバイスを手動でアップグレードする必要なく、最新の更新とバグ修正をより速く取得できます。

使用方法:

xConfiguration Webex CloudUpgrades Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off: デバイスソフトウェアはクラウドからアップグレードされません。CUCM などのオンプレミスのプロビジョニングサービスを使用するか、または手動アップグレードを使用する必要があります。

On: クラウドで新しいソフトウェアバージョンが利用可能になると、デバイスソフトウェアは自動的にアップグレードされます。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Webex Hotdesking DefaultBookingEndTime

適用先: *DeskPro DeskMini Desk*

必要なユーザー ロール: ADMIN

この設定は、ホットデスクング機能を使用して設定されたデバイスにのみ適用されます。これは、デバイスが共有モードであり、Webex クラウドサービスに登録されているか、Webex Edge for Devices にリンクされている必要があることを意味します。

会社と組織では通常の勤務時間が異なるため、デフォルトで予約が期限切れになる時刻を構成できます。これはデフォルトの時間であるため、ユーザーはデバイスを予約するときに別の終了時間を指定できます。

使用方法:

xConfiguration Webex Hotdesking DefaultBookingEndTime: DefaultBookingEndTime

説明:

DefaultBookingEndTime:

整数 (0 ~ 24)

24 時間単位のデフォルトの予約終了時刻。例: 0 は午前零時の 00:00、12:00 a.m.、12 は午後の 12:00 / 12:00 p.m. および 17 は午後の 17:00 / 5:00 p.m.。

デフォルト値:

17

xConfiguration Webex Meetings JoinProtocol

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

オンプレミスのサービスに登録され、Webex Edge for Devices にリンクされているデバイスは、Webex Meetings へのコールに Webex クラウドサービスを使用する場合があります。Webex 経由の会議では、高度なミュート、共同ホスト、転送ホスト、顔認識など、一連のネイティブ Webex Meetings 会議中機能を利用できます。

Webex Meetings のコールルーティングが使用される場合は次のとおりです。[Webex に参加 (Join Webex)] ボタンを使用する場合、Webex Assistant を使用してパーソナルルームミーティング (PMR) に参加する場合、および @webex.com、@*.webex.com、および @meet.ciscospark.com のいずれかのドメインを含む URI で [コール (Call)] ボタンまたはダイヤル API コマンドを使用する場合。他のコールは、デフォルトプロトコルに使用します。

また、ネイティブの Webex Meetings コールルーティングでは、デバイスがクラウド管理のソフトウェアのアップグレードに対して有効で、Control Hub からの設定が有効で、Conference Multipoint Mode が Auto に設定されている必要があります。

CE 9.15.0 では Room Panorama と Room 70 Panorama はサポートされていません。

使用方法:

xConfiguration Webex Meetings JoinProtocol: [JoinProtocol](#)

説明:

[JoinProtocol](#):

SIP/Webex

SIP: コールプロトコルは SIP です。

Webex: 上記の要件を満たしている場合、コールプロトコルは Webex です。それ以外の場合は、SIP です。

デフォルト値:

SIP

WebRTC 構成

xConfiguration WebRTC Provider MicrosoftTeams CompatibilityMode

適用先: [RoomKit](#) [RoomKitMini](#) [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room55](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [DeskPro](#) [Board](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN

WebRTC を使用した Microsoft Teams 会議の断続的なトラブルシューティングに一時的に適用できるオプション。Cisco TAC は、この構成をいつ設定するかをアドバイスできます。それ以外の場合は、Off のままにすることをお勧めします。

使用方法:

xConfiguration WebRTC Provider MicrosoftTeams CompatibilityMode:
[CompatibilityMode](#)

説明:

[CompatibilityMode](#):

Off/On

Off: 互換性モードが Off になっています。

On: 互換性モードが On になっています。

デフォルト値:

Off

Zoom 構成

xConfiguration Zoom DefaultDomain

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

ここでは、Zoom Join コマンドを使用してドメインを入力します。したがって、デバイスの UI にある [Zoom] ボタンをタップしたときも使用されます。Zoom Join コマンドが予約 (BookingID) から参加情報をフェッチする場合、ここで入力したドメインは無視されます。

使用方法:

```
xConfiguration Zoom DefaultDomain: "DefaultDomain"
```

説明:

DefaultDomain:

文字列 (1, 256)

Zoom 会議に使用するドメイン。

デフォルト値:

`zoomcrc.com`

xConfiguration Zoom DialStringOptions

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

ここでは、Zoom Join コマンドを使用してダイヤル文字列オプションを入力します。したがって、デバイスの UI にある [Zoom] ボタンをタップしたときも使用されます。中でも、デュアルスクリーンやその他の視覚機能のオプションが利用可能です。Zoom のダイヤル文字列オプションの詳細については、「<https://support.zoom.us/hc/en-us/articles/202405539-SIP-H-323-Room-Connector-Dial-Strings>」を参照してください。

Zoom Join コマンドが予約 (BookingID) から参加情報をフェッチし、フェッチされた uri の形式が <meetingid>@<domain> 以外の場合、入力したダイヤル文字列オプションは無視されます。

使用方法:

```
xConfiguration Zoom DialStringOptions: "DialStringOptions"
```

説明:

DialStringOptions:

文字列 (0, 200)

Zoom ダイヤル文字列のオプション。

デフォルト値:

""

第 4 章

xCommand コマンド

xCommand コマンドの説明

この章では、すべての xCommand タイプ コマンドとパラメータの完全なリストを示します。

AirPlay コマンド	231	xCommand Audio LocalOutput Remove	244
xCommand AirPlay KeyEvent Back	231	xCommand Audio LocalOutput RemoveConnector	245
xCommand AirPlay KeyEvent Click	231	xCommand Audio LocalOutput Update	246
xCommand AirPlay KeyEvent Down	231	xCommand Audio LocalOutput UpdateInputGain	246
xCommand AirPlay KeyEvent FastForward	232	xCommand Audio Microphones MusicMode Start	247
xCommand AirPlay KeyEvent FastReverse	232	xCommand Audio Microphones MusicMode Stop	247
xCommand AirPlay KeyEvent Left	232	xCommand Audio Microphones Mute	247
xCommand AirPlay KeyEvent Play	232	xCommand Audio Microphones NoiseRemoval Activate	247
xCommand AirPlay KeyEvent Right	232	xCommand Audio Microphones NoiseRemoval Deactivate	247
xCommand AirPlay KeyEvent Up	232	xCommand Audio Microphones Passthrough Start	247
xCommand AirPlay ResetPairedDevices	233	xCommand Audio Microphones Passthrough Stop	248
Audio コマンド	233	xCommand Audio Microphones ToggleMute	248
xCommand Audio Diagnostics Advanced Run	234	xCommand Audio Microphones Unmute	248
xCommand Audio Diagnostics AecReverb Reset	234	xCommand Audio RemoteOutput ConnectInput	248
xCommand Audio Diagnostics AecReverb Run	234	xCommand Audio RemoteOutput DisconnectInput	249
xCommand Audio Diagnostics MeasureDelay	235	xCommand Audio RemoteOutput UpdateInputGain	249
xCommand Audio Equalizer List	235	xCommand Audio Select	250
xCommand Audio Equalizer Update	236	xCommand Audio Setup Clear	250
xCommand Audio LocalInput Add	237	xCommand Audio Setup Reset	250
xCommand Audio LocalInput AddConnector	238	xCommand Audio Sound Play	250
xCommand Audio LocalInput Remove	238	xCommand Audio Sound Stop	250
xCommand Audio LocalInput RemoveConnector	239	xCommand Audio SpeakerCheck	251
xCommand Audio LocalInput Update	240	xCommand Audio SoundsAndAlerts Ringtone List	251
xCommand Audio LocalInput Ethernet Deregister	240	xCommand Audio SoundsAndAlerts Ringtone Play	251
xCommand Audio LocalInput Ethernet Register	241	xCommand Audio SoundsAndAlerts Ringtone Stop	251
xCommand Audio LocalOutput Add	241	xCommand Audio Volume Decrease	252
xCommand Audio LocalOutput AddConnector	242	xCommand Audio Volume Increase	252
xCommand Audio LocalOutput ConnectInput	243	xCommand Audio Volume Mute	252
xCommand Audio LocalOutput DisconnectInput	244	xCommand Audio Volume Set	253

xCommand Audio Volume SetToDefault	253	xCommand Call Reject	264
xCommand Audio Volume ToggleMute	253	xCommand Call Resume	265
xCommand Audio Volume Unmute	253	xCommand Call UnattendedTransfer	265
xCommand Audio VuMeter Start	254		
xCommand Audio VuMeter Stop	255	CallHistory コマンド	265
xCommand Audio VuMeter StopAll	255	xCommand CallHistory AcknowledgeAllMissedCalls	265
		xCommand CallHistory AcknowledgeMissedCall	265
Bluetooth コマンド	255	xCommand CallHistory DeleteAll	266
xCommand Bluetooth Streaming Next	255	xCommand CallHistory DeleteEntry	266
xCommand Bluetooth Streaming Pause	255	xCommand CallHistory Get	266
xCommand Bluetooth Streaming Play	256	xCommand CallHistory Recents	267
xCommand Bluetooth Streaming Previous	256		
		Camera コマンド	267
Bookings コマンド	256	xCommand Camera PositionReset	267
xCommand Bookings Book	256	xCommand Camera PositionSet	268
xCommand Bookings Clear	256	xCommand Camera Preset Activate	268
xCommand Bookings Delete	257	xCommand Camera Preset ActivateDefaultPosition	268
xCommand Bookings Get	257	xCommand Camera Preset Edit	269
xCommand Bookings List	257	xCommand Camera Preset List	269
xCommand Bookings NotificationSnooze	258	xCommand Camera Preset Remove	269
xCommand Bookings Respond	258	xCommand Camera Preset Show	270
xCommand Bookings Put	258	xCommand Camera Preset Store	270
		xCommand Camera Ramp	271
Call コマンド	259	xCommand Camera TriggerAutofocus	271
xCommand Call Accept	259	xCommand Camera TriggerWhitebalance	271
xCommand Call Disconnect	259		
xCommand Call DTMFSend	260	Cameras コマンド	272
xCommand Call FarEndControl Camera Move	260	xCommand Cameras AutoFocus Diagnostics Start	272
xCommand Call FarEndControl Camera Stop	261	xCommand Cameras AutoFocus Diagnostics Stop	272
xCommand Call FarEndControl RequestCapabilities	261	xCommand Cameras Background Clear	272
xCommand Call FarEndControl RoomPreset Activate	262	xCommand Cameras Background Delete	272
xCommand Call FarEndControl RoomPreset Store	262	xCommand Cameras Background Fetch	272
xCommand Call FarEndControl Source Select	263	xCommand Cameras Background ForegroundParameters Reset	273
xCommand Call FarEndMessage Send	263	xCommand Cameras Background ForegroundParameters Set	273
xCommand Call Forward	263	xCommand Cameras Background Get	274
xCommand Call Hold	264	xCommand Cameras Background List	274
xCommand Call Ignore	264	xCommand Cameras Background Set	274
xCommand Call Join	264	xCommand Cameras Background Upload	275

xCommand Cameras PresenterTrack ClearPosition	275	xCommand 会議参加者のミュート	284
xCommand Cameras PresenterTrack Set	275	xCommand Conference ParticipantList Search	284
xCommand Cameras PresenterTrack StorePosition	276	xCommand Conference Reaction Disable	285
xCommand Cameras SpeakerTrack Activate	276	xCommand Conference Reaction Enable	285
xCommand Cameras SpeakerTrack Deactivate	276	xCommand Conference Reaction Send	285
xCommand Cameras SpeakerTrack BackgroundMode Activate	276	xCommand Conference Recording Pause	285
xCommand Cameras SpeakerTrack BackgroundMode Deactivate	276	xCommand Conference Recording Resume	286
xCommand Cameras SpeakerTrack Diagnostics Start	276	xCommand 会議の録音開始	286
xCommand Cameras SpeakerTrack Diagnostics Stop	276	xCommand 会議の録音停止	286
xCommand Cameras SpeakerTrack Frames Activate	277	xCommand Conference SkinTone	286
xCommand Cameras SpeakerTrack Frames Deactivate	277	xCommand Conference SpeakerLock Release	286
xCommand Cameras SpeakerTrack ViewLimits Activate	277	xCommand Conference SpeakerLock Set	287
xCommand Cameras SpeakerTrack ViewLimits Deactivate	277	xCommand Conference TransferHostAndLeave	287
xCommand Cameras SpeakerTrack ViewLimits StorePosition	277		
xCommand Cameras SpeakerTrack Whiteboard ActivatePosition	277	Diagnostics コマンド	287
xCommand Cameras SpeakerTrack Whiteboard AlignPosition	277	xCommand Diagnostics Run	287
xCommand Cameras SpeakerTrack Whiteboard SetDistance	278		
xCommand Cameras SpeakerTrack Whiteboard StorePosition	278	Dial コマンド	288
		xCommand Dial	288
Conference コマンド	278		
xCommand Conference AdmitAll	278	GPIO コマンド	289
xCommand 会議コール認証応答	279	xCommand GPIO ManualState Set	289
xCommand Conference DoNotDisturb Activate	279		
xCommand Conference DoNotDisturb Deactivate	279	HttpClient コマンド	289
xCommand Conference EndMeeting	280	xCommand HttpClient Allow Hostname Add	289
xCommand Conference Hand Lower	280	xCommand HttpClient Allow Hostname Clear	289
xCommand Conference Hand Raise	280	xCommand HttpClient Allow Hostname List	289
xCommand Conference HardMute	280	xCommand HttpClient Allow Hostname Remove	290
xCommand Conference Lock	281	xCommand HttpClient Delete	290
xCommand Conference LowerAllHands	281	xCommand HttpClient Get	291
xCommand Conference MeetingAssistant Start	281	xCommand HttpClient Patch	292
xCommand Conference MeetingAssistant Stop	281	xCommand HttpClient Post	293
xCommand Conference MuteAll	282	xCommand HttpClient Put	294
xCommand Conference MuteOnEntry	282		
xCommand Conference Participant Admit	283	HttpFeedback コマンド	295
xCommand 会議参加者の切断	283	xCommand HttpFeedback Deregister	295
xCommand Conference Participant LowerHand	283	xCommand HttpFeedback Enable	295
		xCommand HttpFeedback Register	296

Logging コマンド	296	Peripherals コマンド	304
xCommand Logging ExtendedLogging Start	296	xCommand Peripherals Connect	304
xCommand Logging ExtendedLogging Stop	297	xCommand Peripherals HeartBeat	304
xCommand Logging SendLogs	297	xCommand Peripherals List	305
Macros コマンド	297	xCommand Peripherals Pairing Pair	305
xCommand Macros Log Clear	297	xCommand Peripherals Pairing PinPairing Start	305
xCommand Macros Log Get	297	xCommand Peripherals Pairing PinPairing Stop	305
xCommand Macros Macro Activate	297	xCommand Peripherals Pairing Unpair	306
xCommand Macros Macro Deactivate	298	xCommand Peripherals Purge	306
xCommand Macros Macro Get	298	xCommand Peripherals TouchPanel Configure	306
xCommand Macros Macro Remove	298	Phonebook コマンド	307
xCommand Macros Macro RemoveAll	298	xCommand Phonebook Contact Add	307
xCommand Macros Macro Rename	299	xCommand Phonebook Contact Delete	307
xCommand Macros Macro Roles Set	299	xCommand Phonebook Contact Modify	308
xCommand Macros Macro Save	299	xCommand Phonebook ContactMethod Add	308
xCommand Macros Runtime Restart	299	xCommand Phonebook ContactMethod Delete	309
xCommand Macros Runtime Start	299	xCommand Phonebook ContactMethod Modify	309
xCommand Macros Runtime Status	300	xCommand Phonebook Folder Add	310
xCommand Macros Runtime Stop	300	xCommand Phonebook Folder Delete	310
Message コマンド	300	xCommand Phonebook Folder Modify	310
xCommand Message Send	300	xCommand Phonebook Search	311
Network コマンド	301	Presentation コマンド	312
xCommand Network SMTP VerifyConfig	301	xCommand Presentation Start	312
xCommand Network SNMP USM User Add	301	xCommand Presentation Stop	313
xCommand Network SNMP USM User Delete	302	Provisioning コマンド	313
xCommand Network SNMP USM User List	302	xCommand Provisioning CompleteUpgrade	313
xCommand Network Wifi Configure	302	xCommand Provisioning PostponeUpgrade	313
xCommand Network Wifi Delete	303	xCommand Provisioning CUCM ExtensionMobility Login	314
xCommand Network Wifi List	303	xCommand Provisioning CUCM ExtensionMobility Logout	314
xCommand Network Wifi Scan Start	303	xCommand Provisioning RoomType Activate	314
xCommand Network Wifi Scan Stop	303	xCommand Provisioning Service Fetch	315

Proximity コマンド	316	Standby コマンド	324
xCommand Proximity Services Activate	316	xCommand Standby Activate	324
xCommand Proximity Services Deactivate	316	xCommand Standby Deactivate	324
RoomCleanup コマンド	316	xCommand Standby Halfwake	324
xCommand RoomCleanup Cancel	316	xCommand Standby ResetHalfwakeTimer	325
xCommand RoomCleanup Run	316	xCommand Standby ResetTimer	325
RoomPreset コマンド	317	SystemUnit コマンド	325
xCommand RoomPreset Activate	317	xCommand SystemUnit Boot	325
xCommand RoomPreset Clear	317	xCommand SystemUnit DeveloperPreview Activate	325
xCommand RoomPreset Store	317	xCommand SystemUnit DeveloperPreview Deactivate	325
Security コマンド	318	xCommand SystemUnit FactoryReset	326
xCommand Security Certificates CA Add	318	xCommand SystemUnit FirstTimeWizard Stop	326
xCommand Security Certificates CA Delete	318	xCommand SystemUnit Notifications RemoveAll	326
xCommand Security Certificates CA Show	318	xCommand SystemUnit OptionKey Add	327
xCommand Security Certificates CUCM CTL Delete	318	xCommand SystemUnit OptionKey List	327
xCommand Security Certificates CUCM CTL Show	318	xCommand SystemUnit OptionKey Remove	327
xCommand Security Certificates CUCM ITL Show	318	xCommand SystemUnit OptionKey RemoveAll	327
xCommand Security Certificates CUCM MIC Show	319	xCommand SystemUnit ProductPlatform Set	327
xCommand Security Certificates Services Activate	319	xCommand SystemUnit SignInBanner Clear	328
xCommand Security Certificates Services Add	320	xCommand SystemUnit SignInBanner Get	328
xCommand Security Certificates Services Deactivate	320	xCommand SystemUnit SignInBanner Set	328
xCommand Security Certificates Services Delete	320	xCommand SystemUnit SoftReset	328
xCommand Security Certificates Services Show	321	xCommand SystemUnit SoftwareUpgrade	328
xCommand Security Certificates サードパーティ Disable	321	xCommand SystemUnit WelcomeBanner Clear	328
xCommand Security Certificates サードパーティ Enable	321	xCommand SystemUnit WelcomeBanner Get	329
xCommand Security Certificates ThirdParty List	321	xCommand SystemUnit WelcomeBanner Set	329
xCommand Security Certificates ThirdParty Show	322	Time コマンド	329
xCommand Security Certificates Webex Show	322	xCommand Time DateTime Get	329
xCommand Security Certificates WebexIdentity Show	322	xCommand Time DateTime Set	329
xCommand Security Ciphers List	322	UserInterface コマンド	330
xCommand Security ClientSecret Populate	323	xCommand UserInterface Branding Clear	330
xCommand Security Persistency	323	xCommand UserInterface Branding Delete	330
xCommand Security Session Get	323	xCommand UserInterface Branding Fetch	330
xCommand Security Session List	324	xCommand UserInterface Branding Get	331
xCommand Security Session Terminate	324	xCommand UserInterface Branding Updated	331

xCommand UserInterface Branding Upload	332	xCommand UserInterface Presentation ExternalSource List	343
xCommand UserInterface Extensions Clear	332	xCommand UserInterface Presentation ExternalSource Remove	344
xCommand UserInterface Extensions Export	332	xCommand UserInterface Presentation ExternalSource RemoveAll	344
xCommand UserInterface Extensions Icon Delete	333	xCommand UserInterface Presentation ExternalSource Select	344
xCommand UserInterface Extensions Icon DeleteAll	333	xCommand UserInterface Presentation ExternalSource State Set	344
xCommand UserInterface Extensions Icon Download	333	xCommand UserInterface Translation Override Clear	344
xCommand UserInterface Extensions Icon Fetch	333	xCommand UserInterface Translation Override Get	345
xCommand UserInterface Extensions Icon Get	334	xCommand UserInterface Translation Override Set	345
xCommand UserInterface Extensions Icon List	334	xCommand UserInterface WallpaperBundle Clear	345
xCommand UserInterface Extensions Icon Upload	334	xCommand UserInterface WallpaperBundle List	345
xCommand UserInterface Extensions List	334	xCommand UserInterface WallpaperBundle Set	346
xCommand UserInterface Extensions Panel Clicked	334	xCommand UserInterface WebView Clear	346
xCommand UserInterface Extensions Panel Close	334	xCommand UserInterface WebView Display	346
xCommand UserInterface Extensions Panel Open	335		
xCommand UserInterface Extensions Panel Remove	335	UserManagement コマンド	347
xCommand UserInterface Extensions Panel Save	335	xCommand UserManagement RemoteSupportUser Create	347
xCommand UserInterface Extensions Panel Update	336	xCommand UserManagement RemoteSupportUser Delete	347
xCommand UserInterface Extensions Set	336	xCommand UserManagement RemoteSupportUser DisablePermanently	347
xCommand UserInterface Extensions WebApp Save	337	xCommand UserManagement RemoteSupportUser GetState	347
xCommand UserInterface Extensions Widget Action	337	xCommand UserManagement User Add	348
xCommand UserInterface Extensions Widget SetValue	337	xCommand UserManagement User Delete	348
xCommand UserInterface Extensions Widget UnsetValue	338	xCommand UserManagement User Get	348
xCommand UserInterface LedControl Color Set	338	xCommand UserManagement User List	349
xCommand UserInterface Message Alert Clear	338	xCommand UserManagement User Modify	349
xCommand UserInterface Message Alert Display	338	xCommand UserManagement User Passphrase Change	350
xCommand UserInterface Message Prompt Clear	339	xCommand UserManagement User Passphrase Set	350
xCommand UserInterface Message Prompt Display	339	xCommand UserManagement User Unblock	350
xCommand UserInterface Message Prompt Response	340		
xCommand UserInterface Message Rating Clear	340	Video コマンド	351
xCommand UserInterface Message Rating Display	341	xCommand Video ActiveSpeakerPIP Set	351
xCommand UserInterface Message Rating Response	341	xCommand Video CEC Input KeyClick	351
xCommand UserInterface Message TextInput Clear	341	xCommand Video CEC Output KeyClick	352
xCommand UserInterface Message TextInput Display	342	xCommand Video CEC Output SendActiveSourceRequest	352
xCommand UserInterface Message TextInput Response	342	xCommand Video CEC Output SendInactiveSourceRequest	352
xCommand UserInterface Message TextLine Clear	343	xCommand Video Graphics Clear	353
xCommand UserInterface Message TextLine Display	343	xCommand Video Graphics Text Display	353
xCommand UserInterface Presentation ExternalSource Add	343	xCommand Video Input MainVideo Mute	353

xCommand Video Input MainVideo Unmute	354
xCommand Video Input SetMainVideoSource	354
xCommand Video Layout LayoutFamily Set	355
xCommand Video Layout SetLayout	356
xCommand Video Matrix Assign	356
xCommand Video Matrix Reset	357
xCommand Video Matrix Swap	357
xCommand Video Matrix Unassign	357
xCommand Video Output HDMI Passthrough Start	357
xCommand Video Output HDMI Passthrough Stop	358
xCommand Video Output Monitor Backlight Set	358
xCommand Video Output Monitor Color Select	358
xCommand Video Output Monitor Reset	358
xCommand Video PresentationPIP Set	359
xCommand Video PresentationView Set	359
xCommand Video Selfview Set	359
WebEngine コマンド	360
xCommand WebEngine DeleteStorage	360
xCommand WebEngine MediaAccess Add	360
xCommand WebEngine MediaAccess List	360
xCommand WebEngine MediaAccess Remove	360
xCommand WebEngine MediaAccess RemoveAll	360
Webex コマンド	361
xCommand Webex Hotdesking SetSupport	361
xCommand Webex Join	361
xCommand Webex Registration Cancel	362
xCommand Webex Registration ConvertToCloud	362
xCommand Webex Registration Logout	362
xCommand Webex Registration Start	362
WebRTC コマンド	363
xCommand WebRTC Join	363
xCommand WebRTC Provider Current Diagnostics Send	363
xCommand WebRTC Provider GoogleMeet MeetingNumber Validate	363

Zoom コマンド	364
xCommand Zoom Join	364

ソフトウェアバージョン: RoomOS 11.1.2

対象製品:

- ・ 取締役会
- ・ BoardPro
- ・ DeskPro
- ・ DeskMini
- ・ Desk
- ・ CodecEQ
- ・ CodecPlus
- ・ CodecPro
- ・ Room55
- ・ Room70/Room55D
- ・ Room70G2
- ・ RoomBar
- ・ RoomKit
- ・ RoomKitMini
- ・ RoomPanorama/Room70Panorama

AirPlay コマンド

xCommand AirPlay KeyEvent Back

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

AirPlay が有効になっている場合、AirPlay KeyEvent コマンドを使用して、オーディオとビデオの再生を制御したり、ビデオデバイスの AirPlay メニュー (AirPlay Remote Control) を移動したりできます。AirPlay を有効にする方法については、Video Input AirPlay Mode 設定を参照してください。

戻るには、このコマンドを使用します。

使用方法:

```
xCommand AirPlay KeyEvent Back
```

xCommand AirPlay KeyEvent Click

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

AirPlay が有効になっている場合、AirPlay KeyEvent コマンドを使用して、オーディオとビデオの再生を制御したり、ビデオデバイスの AirPlay メニュー (AirPlay Remote Control) を移動したりできます。AirPlay を有効にする方法については、ビデオ入力 AirPlay モード設定を参照してください。

このコマンドを使用して、強調表示された項目を選択します。

使用方法:

```
xCommand AirPlay KeyEvent Click
```

xCommand AirPlay KeyEvent Down

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

AirPlay が有効になっている場合、AirPlay KeyEvent コマンドを使用して、オーディオとビデオの再生を制御したり、ビデオ デバイスの AirPlay メニュー (AirPlay Remote Control) を移動したりできます。AirPlay を有効にする方法については、Video Input AirPlay Mode 設定を参照してください。

このコマンドを使用して、下に移動します。

使用方法:

```
xCommand AirPlay KeyEvent Down
```

xCommand AirPlay KeyEvent FastForward

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

AirPlay が有効になっている場合、AirPlay KeyEvent コマンドを使用して、オーディオとビデオの再生を制御したり、ビデオ デバイスの AirPlay メニュー (AirPlay Remote Control) を移動したりできます。AirPlay を有効にする方法については、Video Input AirPlay Mode 設定を参照してください。

このコマンドを使用して、オーディオとビデオの再生を早送りします。

使用方法:

```
xCommand AirPlay KeyEvent FastForward
```

xCommand AirPlay KeyEvent FastReverse

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

AirPlay が有効になっている場合、AirPlay KeyEvent コマンドを使用して、オーディオとビデオの再生を制御したり、ビデオ デバイスの AirPlay メニュー (AirPlay Remote Control) を移動したりできます。AirPlay を有効にする方法については、Video Input AirPlay Mode 設定を参照してください。

このコマンドを使用して、オーディオとビデオの逆再生を高速化します。

使用方法:

```
xCommand AirPlay KeyEvent FastReverse
```

xCommand AirPlay KeyEvent Left

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

AirPlay が有効になっている場合、AirPlay KeyEvent コマンドを使用して、オーディオとビデオの再生を制御したり、ビデオ デバイスの AirPlay メニュー (AirPlay Remote Control) を移動したりできます。AirPlay を有効にする方法については、Video Input AirPlay Mode 設定を参照してください。

このコマンドを使用して、左に移動します。

使用方法:

```
xCommand AirPlay KeyEvent Left
```

xCommand AirPlay KeyEvent Play

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

AirPlay が有効になっている場合、AirPlay KeyEvent コマンドを使用して、オーディオとビデオの再生を制御したり、ビデオ デバイスの AirPlay メニュー (AirPlay Remote Control) を移動したりできます。AirPlay を有効にする方法については、Video Input AirPlay Mode 設定を参照してください。

このコマンドを使用して、オーディオとビデオの再生を開始または一時停止します。

使用方法:

```
xCommand AirPlay KeyEvent Play
```

xCommand AirPlay KeyEvent Right

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

AirPlay が有効になっている場合、AirPlay KeyEvent コマンドを使用して、オーディオとビデオの再生を制御したり、ビデオ デバイスの AirPlay メニュー (AirPlay Remote Control) を移動したりできます。AirPlay を有効にする方法については、Video Input AirPlay Mode 設定を参照してください。

このコマンドを使用して、右に移動します。

使用方法:

```
xCommand AirPlay KeyEvent Right
```

xCommand AirPlay KeyEvent Up

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

AirPlay が有効になっている場合、AirPlay KeyEvent コマンドを使用して、オーディオとビデオの再生を制御したり、ビデオ デバイスの AirPlay メニュー (AirPlay Remote Control) を移動したりできます。AirPlay を有効にする方法については、Video Input AirPlay Mode 設定を参照してください。

このコマンドを使用して、上に移動します。

使用方法:

```
xCommand AirPlay KeyEvent Up
```

xCommand AirPlay ResetPairedDevices

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

AirPlay を有効にすると、Apple デバイスをビデオデバイスとペアリングして、画面の共有、コラボレーション、およびオーディオおよびビデオコンテンツの再生を行うことができます。AirPlay を有効にする方法については、Video Input AirPlay Mode 設定を参照してください。

パーソナルモードデバイスのデフォルトの動作である、最初の AirPlay ペアリングでのみ個人識別番号を要求するようにビデオデバイスが構成されている (Video Input AirPlay SecurityMode が PinFirstTime に設定されている) 場合、このコマンドを使用して、全員に個人識別番号を使用して新たにペアリングすることを強制できます。

使用方法:

```
xCommand AirPlay ResetPairedDevices
```

Audio コマンド

The xCommand Audio LocalInput, xCommand Audio LocalOutput, xCommand Audio RemoteOutput コマンドは、高度なオーディオ設定のキーであり、Audio Console アプリケーションで使用されます。コマンドとアプリケーションは、Codec EQ with AVIntegrator オプションキー、Codec Pro, Room 70 G2, Room 70 Panorama および Room Panorama の製品で使用できます。

オーディオ コンソールは、オーディオ チェーンの設定と構成のためのグラフィカル インターフェイスを提供します。オーディオチェーンは、1 つ以上の入力グループに割り当てられている物理的な入力コネクタまたは論理的な入力コネクタで構成されます。これらの入力グループは、1 つ以上の出力グループに接続され、物理的な出力コネクタまたは論理的な出力コネクタが割り当てられている場合があります。上記コマンドは、接続ゲイン、均等化、ミキシングモードなどのオーディオ設定を定義します。

会議中は、(遠端側からの)リモート入力信号が自動的にすべてのローカル出力グループに追加されます。同様に、すべてのローカル入力は、自動的に(遠端側への)リモート出力グループに追加されず。この動作は、ローカル出力グループに対してオーバーライドされる場合があります。

xCommands は再起動すると保持されません。したがって、マクロフレームワークを使用して、オーディオ設定を永続化する必要があります。Audio Console を使用してオーディオを設定する場合、マクロは自動生成され、有効となります。

マクロと Audio Console の詳細については、デバイスの『管理者ガイド』と『改修ガイド』を参照してください。

xCommand Audio Diagnostics Advanced Run

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

このコマンドは、すべてのオーディオ出力コネクタの連続したノイズ信号を送信し、その出力とマイクのためのインパルス応答 (RIR) を測定します。RIR が検出されると、検出されたマイク (入力) の数、検出された出力コネクタの数、および出力と入力間に検出された遅延がレポートとして返されます。

例:

```
xCommand Audio Diagnostics Advanced Run Volume:50 MeasurementLength: 1
```

```
Result returned ->
```

```
[OK]
```

```
* r アドバンス Runresult (status = OK):
```

```
* r Advanced Runresult HdmiSpeakersDelay: " 100 ms"
```

```
* r Advanced Runresult NumHdmiSpeakersDetected: 2
```

```
* r 詳細実行結果 NumMicsDetected: 1
```

```
** end
```

使用方法:

```
xCommand Audio Diagnostics Advanced Run [Channel: Channel]  
[MeasurementLength: MeasurementLength] [Output: Output] [Volume: Volume]
```

説明:

Channel:

整数 (0..13)

選択した出力の左から右へのチャンネル番号。

デフォルト値: 0

MeasurementLength:

整数 (1 ~ 100)

測定時間の長さ (秒数)。ノイズの多い環境では、測定時間が長いほど信頼性の高い堅牢な結果が得られます。

デフォルト値: 3

出力:

すべて/HDMI/ヘッドセット/内蔵/回線

テスト信号が向けられるべき出力。

すべて: すべての出力で RIR を測定します。

HDMI: HDMI 出力に接続されているデバイスの室内インパルス応答 (RIR) を測定します。

ヘッドセット: ヘッドセットの RIR を測定します (ヘッドセット搭載ビデオ会議デバイスでのみ利用可能)。

内蔵: 内蔵スピーカーの RIR を測定します (内蔵スピーカー付きビデオ会議デバイスでのみ利用可能)。

回線: 回線出力に接続されているデバイスの RIR を測定します (回線出力があるビデオ会議デバイスでのみ利用可能)。

デフォルト値: All

音量:

整数 (0 ~ 50)

テスト信号の音量。ノイズの多い環境では、音量が大きいほど信頼性の高い堅牢な結果が得られます。

デフォルト値: 20

xCommand Audio Diagnostics AecReverb Reset

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

音響エコーキャンセレーションをリセットします。このコマンドは、部屋の音響処理を変更するときに役立ちます。以前のすべての調整がクリアされ、残響時間の新しい測定が行われます。これは、会議中には許可されません。

使用方法:

```
xCommand Audio Diagnostics AecReverb Reset
```

xCommand Audio Diagnostics AecReverb Run

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

このコマンドは、音響エコーキャンセラを使用して、部屋の残響時間を推定します。これは、エンドポイントの通常の操作を中断することなく、透過的に行われます。

使用方法:

```
xCommand Audio Diagnostics AecReverb Run
```

xCommand Audio Diagnostics MeasureDelay

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

このコマンドは、ビデオ会議デバイスに接続されているデバイスの音声遅延や遅延時間を計測します。一般的には、HDMI コネクタを介してビデオ会議デバイスに接続されているテレビの遅延を測定する目的で使用します。テレビで大きな遅延が発生すると、ビデオ通話のリアルタイム エクスペリエンスがかなり劣化します。遅延が 50 ミリ秒を超える場合、遅延が短くなるようなテレビ設定を見つけることをお勧めします。遅延を減らすことができる一般的なテレビ設定には、ゲーム モードと PC モードがあります。

このコマンドは、出力と入力（マイク）の間の遅延を測定します。つまり、外部の音響エコーキャンセラやオーディオ ミキサーを使用している場合、このコマンドはそれらのデバイスの遅延も測定します。

使用方法:

```
xCommand Audio Diagnostics MeasureDelay [MeasurementLength: MeasurementLength] [Output: Output] [Volume: Volume]
```

説明:

MeasurementLength:

整数 (1 ~ 100)

測定時間の長さ (秒数)。ノイズの多い環境では、測定時間が長いほど信頼性の高い堅牢な結果が得られます。

デフォルト値: 6

出力:

すべて/HDMI/ヘッドセット/内蔵/回線

All:すべての出力の遅延最大値を測定します。

HDMI:HDMI 出力に接続されているデバイスの遅延を測定します。

ヘッドセット:ヘッドセットの遅延を測定します (ヘッドセット搭載ビデオ会議デバイスでのみ利用可能)。

内蔵:内蔵スピーカーの遅延を測定します (内蔵スピーカーのあるビデオ会議デバイスでのみ利用可能)。

回線:回線出力に接続されているデバイスの遅延を測定します (回線出力のあるビデオ会議デバイスでのみ利用可能)。

デフォルト値: HDMI

音量:

整数 (0 ~ 50)

テスト信号の音量。ノイズの多い環境では、音量が大きいかほど信頼性の高い堅牢な結果が得られます。

デフォルト値: 20

xCommand Audio Equalizer List

適用先:CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザ ロール: ADMIN

このコマンドは現在のイコライザ パラメータをリストします。EqualizerId が指定されていない場合、このコマンドは 8 つのイコライザすべてをリストします。

USAGE:

```
xCommand Audio Equalizer List [EqualizerId: EqualizerId]
```

値は次のとおりです。

EqualizerId:

整数 (1 ~ 8)

各 EqualizerId には、FilterType、Frequency、Gain および Q-value パラメータ がある 6 つの 2 次フィルタセクションがあります。

xCommand Audio Equalizer Update

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN

6 つの調整可能なフィルタセクションがある 8 つのオーディオイコライザがあります。各セクションは 2 次フィルタで、選択したイコライザを通過する信号を変更するように構成できます。このコマンドは、選択された EqualizerId および Section のイコライザ パラメータ を設定します。

Codec EQ: AVIntegrator オプションが必要です。

使用方法:

```
xCommand Audio Equalizer Update [Enabled: Enabled] EqualizerId: EqualizerId  
FilterType: FilterType Frequency: "Frequency" Gain: "Gain" Q: "Q" Section:  
Section
```

説明:

Enabled:

False/True

True: セクションに設定された変更が信号に適用されます。

False: 信号に変更は適用されません。

EqualizerId:

整数 (1 ~ 8)

変更された設定が適用される一意のイコライザ。

FilterType:

highpass/highshelf/lowpass/lowshelf/none/peaking

曲線の形状。

highpass: 特定の周波数以下の信号を減衰させます。

highshelf: 特定の周波数以上の信号を増幅または減衰します。

lowpass: 特定の周波数以上の信号を減衰します。

lowshelf: 特定の周波数以下の信号を増幅または減衰します。

none: 信号をそのまま通過します (Enabled: False と同じ)。

peaking: 特定の周波数くらいに信号を増幅または減衰します。

Frequency:

文字列 (0, 32)

フィルタが調整される周波数 (ヘルツ [Hz])。20 から 20 000 の範囲の数値。

ゲイン:

文字列 (0, 32)

filtertype に応じて、カーブ全体またはカーブの選択された部分に適用されるデシベル [dB] 単位のゲイン。-100 から 20 の範囲の数値。

Q:

文字列 (0, 32)

これは、フィルタの「鮮明さ」を表します。値が小さいほど、曲線が滑らかになります。0.1 から 50 の範囲の数値。

セクション:

整数 (1 ~ 6)

各オーディオイコライザには、6 つの調整可能なフィルタセクションがあります。各セクションは 2 次フィルタで、選択したイコライザを通過する信号を変更するように構成できます。

xCommand Audio LocalInput Add

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN

仮想のローカル出力を作成し、その識別子 (InputID) を生成します。ローカルの入力は一連の入力コネクタに関連付けられており、ローカル入力の名前、関連付けられた入力コネクタから信号をミキシングする方法、Automatic Gain Control (AGC) とミュートの使用、モノラルとステレオのいずれの信号を発信するか、および Direct モードを使用して入力処理をバイパスするかどうかを指定できます。

ローカルの入力モジュールの最大数は 8 です。制限を超えると、エラー メッセージを受け取ります。このコマンドは、Audio Console によって使用されます。Audio Console を使用しない場合は、マクロを作成して、再起動後もオーディオチェーンの定義を維持する必要があることに注意してください。

Codec EQ: AVIntegrator オプションが必要です。

使用方法:

```
xCommand Audio LocalInput Add [InputId: InputId] [Name: "Name"] [AGC: AGC]  
[Channels: Channels] [Direct: Direct] [MixerMode: MixerMode] [Mute: Mute]
```

説明:

InputId:

整数 (0 ~ 65534)

ローカル入力の一意の識別子。InputID を指定しない場合、デバイスによって自動的に作成されます。後でローカル入力を参照する場合に備えて、InputId を指定することをお勧めします。

Name:

文字列 (0, 255)

ローカル入力を記述する名前を選択します。名前を指定しない場合、文字列は空になります。

AGC:

On/Off

On: 音声レベルが一定に維持されるように、ゲインが連続して調整されます (デフォルト)。

Off: オートゲイン コントロール (AGC) なし。

チャンネル:

整数 (1 ~ 2)

1: 入力信号をミックスして 1 つのモノラル信号にします (デフォルト)。

2: 入力信号をミックスして 1 つのステレオ信号にします。

Direct:

On/Off

On: 接続されている各入力コネクタの設定に関係なく、アコースティック エコー キャンセレーションやノイズ リダクションなどの入力処理をバイパスします。入力処理をバイパスすると、オーディオ入力遅延が減り、ローカルの音声を強化している場合に便利です。

Off: すべての定期的な入力処理が各コネクタの構成に従って実施されます (デフォルト)。

MixerMode (ミキサーモード):

Auto/Fixed/GainShared

Auto: 1 つの入力信号が特に強い場合、他のすべてのコネクタの信号がそれぞれ 20 dB 減衰されます。

固定: 入力信号はすべて同じ重みがあり、結果として合わせて同等ゲインでミキシングされます (デフォルト)。

GainShared: 1 つまたは少数の入力信号が特に強い場合、ミキシング後の信号の合計ゲインが常時同じになるように、他の入力信号が数 dB 減衰されます。

Auto と GainShared はマイク入力用です。ライン入力と HDMI 入力には Fixed をお勧めします。

Mute:

On/Off

On: 入力信号のミックスをミュートします (デフォルト)。

Off: ミュートなし。

xCommand Audio LocalInput AddConnector

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN

入力 ID で示されるローカル入力に入力コネクタを接続します。コネクタを一意に識別するには、コネクタの種類と番号の両方 (ConnectorType、ConnectorId) を指定する必要があります。コネクタは、1 つのローカル入力にのみ接続できます。

すべてのローカル入力の概要を取得するには、xStatus Audio Input LocalInput を実行します。

このコマンドは、Audio Console によって使用されます。Audio Console を使用しない場合は、マクロを作成して、再起動後もオーディオチェーンの定義を維持する必要があることに注意してください。

Codec EQ: AVIntegrator オプションが必要です。

使用方法:

xCommand Audio LocalInput AddConnector InputId: InputId ConnectorType: ConnectorType ConnectorId: ConnectorId

説明:

InputId:

整数 (0 ~ 65534)

ローカル入力の固有識別子。これは、xCommand Audio LocalInput Add コマンドを使用してローカル入力を作成されたときに生成されたものです。

ConnectorType:

[ARC/AirPlay/Ethernet/HDMI/Microphone/USBInterface/WebView](#) [[CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

[AirPlay/Ethernet/HDMI/Microphone/USBC/USBInterface/WebView](#) [[CodecEQ](#)]

コネクタのタイプを選択します。

ARC: 対応する HDMI 出力で ARC (オーディオ リターン チャンネル) からオーディオを受信します。

AirPlay: アクティブな AirPlay セッションからオーディオを受信します。

Ethernet: オーディオデバイス (Cisco Table Microphone Pro / Cisco Microphone Array) からコーデックの内蔵ネットワーク経由でオーディオを受信します。

HDMI: HDMI 入力からオーディオを受信します。

Microphone: アナログマイク入力から音声を受信します。

USBC: USB-C 入力からオーディオを受信します。

USBInterface: USB コネクタに接続されたマイクまたはオーディオインターフェイスからオーディオを受信します。

WebView: 内蔵 Web ブラウザからオーディオを受信します。

ConnectorId (コネクタID):

HDMI コネクタは整数 (1..5)、ARC (オーディオ リターン チャンネル) 付き HDMI コネクタは整数 (1..3)、マイクコネクタ (アナログ) は整数 (1..8)、デジタルマイク (イーサネット) は整数 (1..4)、WebView コネクタは整数 (1..8)、AirPlay および USBInterface は整数 (1..1)

[[CodecPro](#) [Room70G2](#)]

HDMI コネクタは整数 (1..5)、ARC (オーディオ リターン チャンネル) 付き HDMI コネクタは整数 (1..3)、マイクコネクタ (アナログ) は整数 (1..8)、デジタルマイク (イーサネット) は整数 (1..6)、WebView コネクタは整数 (1..8)、AirPlay および USBInterface は整数 (1..1) [[RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

HDMI コネクタは整数 (1..3)、マイクコネクタ (アナログ) は整数 (1..3)、USB-C コネクタは整数 (1..1)、デジタルマイク (イーサネット) は整数 (1..8)、WebView コネクタは整数 (1..8)、AirPlay および USBInterface は整数 (1..1) [[CodecEQ](#)]

コネクタを選択します。コネクタの番号はコーデックのコネクタ パネルに印字されています。

xCommand Audio LocalInput Remove

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN

入力 ID で示されるローカル入力を削除します。

すべてのローカル入力の概要を取得するには、xStatus Audio Input LocalInput を実行します。

このコマンドは、Audio Console によって使用されます。Audio Console を使用しない場合は、マクロを作成して、再起動後もオーディオチェーンの定義を維持する必要があることに注意してください。

Codec EQ: AVIntegrator オプションが必要です。

使用方法:

xCommand Audio LocalInput Remove InputId: InputId

説明:

InputId:

整数 (0 ~ 65534)

ローカル入力の固有識別子。これは、xCommand Audio LocalInput Add コマンドを使用してローカル入力を作成されたときに生成されたものです。

xCommand Audio LocalInput RemoveConnector

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN

入力 ID で示されるローカル入力から入力コネクタを取り出します。コネクタを一意に識別するには、コネクタの種類と番号の両方 (ConnectorType、ConnectorId) を指定する必要があります。

すべてのローカル入力の概要を取得するには、xStatus Audio Input LocalInput を実行します。

このコマンドは、Audio Console によって使用されます。Audio Console を使用しない場合は、マクロを作成して、再起動後もオーディオチェーンの定義を維持する必要があることに注意してください。

Codec EQ: AVIntegrator オプションが必要です。

使用方法:

```
xCommand Audio LocalInput RemoveConnector InputId: InputId ConnectorType:  
ConnectorType ConnectorId: ConnectorId
```

説明:

InputId:

整数 (0 ~ 65534)

ローカル入力を示す固有識別子。これは、xCommand Audio LocalInput Add コマンドを使用してローカル入力を作成されたときに生成されたものです。

ConnectorType:

ARC/AirPlay/Ethernet/HDMI/Microphone/USBInterface/WebView [[CodecPro](#) [Room70G2](#)
[RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

AirPlay/Ethernet/HDMI/Microphone/USBC/USBInterface/WebView [[CodecEQ](#)]

コネクタのタイプを選択します。

ARC: 対応する HDMI 出力で ARC (オーディオ リターン チャンネル) からオーディオを受信します。

AirPlay: アクティブな AirPlay セッションからオーディオを受信します。

Ethernet: オーディオデバイス (Cisco Table Microphone Pro / Cisco Microphone Array) からコーデックの内蔵ネットワーク経由でオーディオを受信します。

HDMI: HDMI 入力からオーディオを受信します。

Microphone: アナログマイク入力から音声を受信します。

USBC: USB-C 入力からオーディオを受信します。

USBInterface: USB コネクタに接続されたマイクまたはオーディオインターフェイスからオーディオを受信します。

WebView: 内蔵 Web ブラウザからオーディオを受信します。

ConnectorID (コネクタID):

HDMI コネクタは整数 (1..5)、ARC (オーディオ リターン チャンネル) 付き HDMI コネクタは整数 (1..3)、マイクコネクタ (アナログ) は整数 (1..8)、デジタルマイク (イーサネット) は整数 (1..4)、WebView コネクタは整数 (1..8)、AirPlay および USBInterface は整数 (1..1)

[[CodecPro](#) [Room70G2](#)]

HDMI コネクタは整数 (1..5)、ARC (オーディオ リターン チャンネル) 付き HDMI コネクタは整数 (1..3)、マイクコネクタ (アナログ) は整数 (1..8)、デジタルマイク (イーサネット) は整数 (1..6)、WebView コネクタは整数 (1..8)、AirPlay および USBInterface は整数 (1..1)

[[RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

HDMI コネクタは整数 (1..3)、マイクコネクタ (アナログ) は整数 (1..3)、USB-C コネクタは整数 (1..1)、デジタルマイク (イーサネット) は整数 (1..8)、WebView コネクタは整数 (1..8)、AirPlay および USBInterface は整数 (1..1) [[CodecEQ](#)]

コネクタを選択します。コネクタの番号はコーデックのコネクタ パネルに印字されています。

xCommand Audio LocalInput Update

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN

入力 ID で示されるローカル入力の設定を更新します。

すべてのローカル入力の概要を取得するには、xStatus Audio Input LocalInput を実行します。

このコマンドは、Audio Console によって使用されます。Audio Console を使用しない場合は、マクロを作成して、再起動後もオーディオチェーンの定義を維持する必要があることに注意してください。

Codec EQ : AVIntegrator オプションが必要です。

使用方法:

```
xCommand Audio LocalInput Update InputId: InputId [Name: "Name"] [AGC: AGC]  
[Channels: Channels] [Direct: Direct] [MixerMode: MixerMode] [Mute: Mute]
```

説明:

InputId:

整数 (0 ~ 65534)

ローカル入力を示す固有識別子。これは、xCommand Audio LocalInput Add コマンドを使用してローカル入力を作成されたときに生成されたものです。

Name:

文字列 (0, 255)

ローカル入力を記述する名前を選択します。

AGC:

On/Off

On: 音声レベルが一定に維持されるように、ゲインが連続して調整されます。

Off: オートゲイン コントロール (AGC) なし。

チャンネル:

整数 (1 ~ 2)

1: 入力信号をミックスして 1 つのモノラル信号にします。

2: 入力信号をミックスして 1 つのステレオ信号にします。

Direct:

On/Off

On: 接続されている各入力コネクタの設定に関係なく、アコースティック エコー キャンセレーションやノイズ リダクションなどの入力処理をバイパスします。入力処理をバイパスすると、オーディオ入力遅延が減り、ローカルの音声を強化している場合に便利です。

Off: すべての定期的な入力処理が各コネクタの構成に従って実施されます。

MixerMode (ミキサーモード):

Auto/Fixed/GainShared

Auto: 1 つの入力信号が特に強い場合、他のすべてのコネクタの信号がそれぞれ 20 dB 減衰されます。

Fixed: 入力信号のウェイトがすべて同じになります。その結果、同じゲインで混合されます。

GainShared: 1 つまたは少数の入力信号が特に強い場合、ミキシング後の信号の合計ゲインが常時同じになるように、他の入力信号が数 dB 減衰されます。

Auto と GainShared はマイク向けです。ライン入力や HDMI 入力には Fixed をお勧めします。

Mute:

On/Off

On: 入力信号のミックスをミュートします。

Off: ミュートなし。

xCommand Audio LocalInput Ethernet Deregister

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

このコマンドを使用して、オーディオデバイスを論理イーサネットオーディオ入力コネクタから登録解除します。ConnectorId または PeripheralId のいずれかを含める必要があります。両方が提供されている場合、それらは同じ入力コネクタを参照する必要があります。

現在登録されているデバイスを表示するには、Audio Input Connectors Ethernet[n] PeripheralId ステータスを使用します。

使用方法:

```
xCommand Audio LocalInput Ethernet Deregister [ConnectorId: ConnectorId]  
[PeripheralId: "PeripheralId"] [ResetConfig: ResetConfig]
```

説明:

ConnectorID (コネクタID):

整数 (1..4) [[CodecPro](#) [Room70G2](#)]

整数 (1..6) [[RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

整数 (1..8) [[CodecEQ](#)]

論理イーサネットコネクタの固有識別子。

PeripheralId:

文字列 (0, 32)

オーディオデバイスの一意の名前または識別子。

ResetConfig:

False/True

False: この入力の現在の設定をすべて保持します。

True: この入力に関連するすべての設定をリセットします。

デフォルト値: False

xCommand Audio LocalInput Ethernet Register

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

このコマンドを使用して、オーディオデバイスを論理イーサネットオーディオ入力コネクタに登録します。

現在登録されているデバイスを表示するには、Audio Input Connectors Ethernet[n] PeripheralId ステータスを使用します。

使用方法:

```
xCommand Audio LocalInput Ethernet Register [ConnectorId: ConnectorId]  
[PeripheralId: "PeripheralId"]
```

説明:

ConnectorId (コネクタID):

整数 (1..4) [[CodecPro](#) [Room70G2](#)]

整数 (1..6) [[RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

整数 (1..8) [[CodecEQ](#)]

論理イーサネットコネクタの識別子。指定しない場合、最初に使用可能な番号が使用されます。

PeripheralId:

文字列 (0, 32)

MAC アドレスなどのオーディオデバイスの一意の名前または識別子。

xCommand Audio LocalOutput Add

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN

仮想ローカル出力を作成し、それに対する識別子 (OutputId) を生成します。ローカル出力は、ローカル入力信号とリモート入力信号をミックスしたものです。xCommand Audio LocalOutput ConnectInput コマンドを使用して、含めるローカル入力を指定します。デフォルトでは、コール中にこのローカル出力にリモート入力信号 (遠端から) が自動的に追加されます。デフォルトの動作をオーバーライドする場合は、AutoconnectRemote パラメータを使用します。ローカル出力は、出力コネクタのセットに関連付けられ、それらはすべて同じ信号を受信します。

ローカル出力モジュールの最大数は 6 です。制限を超えると、エラー メッセージを受け取ります。

このコマンドは、Audio Console によって使用されます。Audio Console を使用しない場合は、マクロを作成して、再起動後もオーディオチェーンの定義を維持する必要があることに注意してください。

Codec EQ: AVIntegrator オプションが必要です。

USAGE:

```
xCommand Audio LocalOutput Add [OutputId: OutputId] [Name: "Name"]  
[AutoconnectRemote: AutoconnectRemote] [Loudspeaker: Loudspeaker] [Channels:  
Channels] [VolumeControlled: VolumeControlled]
```

説明:

OutputId:

整数 (0 ~ 65534)

ローカル出力の一意の識別子。OutputId を指定しない場合、デバイスによって自動的に作成されます。後でローカル入力を参照する場合に備えて、OutputId を指定することをお勧めします。

デフォルト値: 0

Name:

文字列 (0, 255)

ローカル出力を記述した名前を選択します。

デフォルト値: ""

AutoconnectRemote:

On/Off

On: コール時に、リモート入力信号がローカル出力に自動的に追加されます。

Off: リモート入力信号はローカル出力に追加されません。

デフォルト値: On

Loudspeaker:

On/Off

On: 関連付けられたコネクタの少なくとも 1 つがスピーカーに接続されている場合、On を選択します。これにより、エコー キャンセラがこの信号を参照信号として使用するようになるので、この設定は重要です。

Off: 関連付けられたコネクタに 1 つもスピーカーが接続されていない場合、Off を選択します。スピーカーを接続できるローカル出力は 1 つのみであることにご注意ください。

デフォルト値: Off

チャンネル:

整数 (1 ~ 2)

1: ローカルおよびリモートの入力信号をミックスして 1 つのモノラル信号にします。

2: ローカルおよびリモートの入力信号をミックスして 1 つのステレオ信号にします。

デフォルト値: 1

VolumeControlled:

On/Off

On: 音量 (ボリューム) は、ユーザ インターフェイスの音量コントロールで設定したレベル、または xCommand Audio Volume コマンドで設定したレベルに応じて変化します。スピーカーがオンになっている場合、指定した内容に関係なく、VolumeControlled が強制的にオンになります。

Off: 音量 (ボリューム) は、ユーザ インターフェイスの音量コントロールにも xCommand Audio Volume コマンドにも影響されません。

デフォルト値: Off

xCommand Audio LocalOutput AddConnector

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN

出力 ID で示されるローカル出力に出力コネクタを接続します。コネクタを一意に識別するには、コネクタの種類と番号の両方 (ConnectorType、ConnectorId) を指定する必要があります。コネクタは、1 つのローカル出力にのみ接続できます。

すべてのローカル出力の概要を取得するには、xStatus Audio Output LocalOutput を実行します。

このコマンドは、Audio Console によって使用されます。Audio Console を使用しない場合は、マクロを作成して、再起動後もオーディオチェーンの定義を維持する必要があることに注意してください。

Codec EQ: AVIntegrator オプションが必要です。

使用方法:

xCommand Audio LocalOutput AddConnector OutputId: OutputId ConnectorType: ConnectorType ConnectorId: ConnectorId

説明:

OutputId:

整数 (0 ~ 65534)

ローカル出力の固有識別子。これは、xCommand Audio LocalOutput Add コマンドを使用してローカル出力が作成されたときに生成されたものです。

ConnectorType:

[ARC/Ethernet/HDMI/Line/USBInterface/WebView](#) [[CodecEQ](#) [CodecPro](#)]

[ARC/Ethernet/HDMI/InternalSpeaker/Line/USBInterface/WebView](#) [[Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

コネクタのタイプを選択します。

ARC: 対応する HDMI 出力で ARC (オーディオ リターン チャンネル) にオーディオを送信します。

Ethernet: コーデックの内蔵ネットワークを介してオーディオデバイスにオーディオを送信します。Ethernet [1] is デジタルマイク (Cisco Table Microphone Pro / Cisco Microphone Array) への AEC 参照信号用です。Ethernet [2] は、DNAM IV 増幅器へのオーディオ用です (Room Panorama)。

HDMI: HDMI 出力にオーディオを送信します。

InternalSpeaker: デバイスの内蔵スピーカーにオーディオを送信します。

Line: アナログオーディオ回線出力にオーディオを送信します。

USBInterface: USB コネクタに接続されているオーディオインターフェイスにオーディオを送信します。

WebView: 組み込み Web ブラウザにオーディオを送信します。WebRTC セッションでは、WebView [1] がメインオーディオで、WebView [2] がプレゼンテーション オーディオです。

ConnectorID (コネクタID):

ARC (オーディオリターンチャンネル) 搭載 HDMI コネクタは整数 (1..1)、HDMI コネクタは整数 (1..3)、回線出力コネクタは整数 (1..6)、イーサネット経由オーディオは整数 (1..1)、USB オーディオインターフェイスへのオーディオは整数 (1..1)、WebView Session は整数 (1..2)

[[CodecPro](#)]

ARC (オーディオリターンチャンネル) 搭載 HDMI コネクタは整数 (1..1)、HDMI コネクタは整数 (1..3)、回線出力コネクタは整数 (1..1)、イーサネット経由オーディオは整数 (1..1)、USB オーディオインターフェイスへのオーディオは整数 (1..1)、WebView Session は整数 (1..2) [[CodecEQ](#)]

ARC (オーディオリターンチャンネル) 搭載 HDMI コネクタは整数 (1..1)、HDMI コネクタは整数 (1..3)、内蔵スピーカープロセスは整数 (1..1)、回線出力コネクタは整数 (1..6)、イーサネット経由オーディオは整数 (1..1)、USB オーディオインターフェイスへのオーディオは整数 (1..1)、WebView Session は整数 (1..2) [[Room70G2](#)]

Room Panorama :RC (オーディオリターンチャンネル) 搭載 HDMI コネクタは整数 (1..1)、HDMI コネクタは整数 (1..3)、内蔵スピーカープロセスは整数 (1..1)、回線出力コネクタは整数 (1..6)、イーサネット経由オーディオは整数 (1..2)、USB オーディオインターフェイスへのオーディオは整数 (1..1)、WebView Session は整数 (1..2)

Room 70 :RC (オーディオリターンチャンネル) 搭載 HDMI コネクタは整数 (1..1)、HDMI コネクタは整数 (1..3)、内蔵スピーカープロセスは整数 (1..1)、回線出力コネクタは整数 (1..6)、イーサネット経由オーディオは整数 (1..2)、USB オーディオインターフェイスへのオーディオは整数 (1..1)、WebView Session は整数 (1..2) [[RoomPanorama/Room70Panorama](#)]
コネクタを選択します。コネクタの番号はコーデックのコネクタ パネルに印字されています。

xCommand Audio LocalOutput ConnectInput

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN

パラメータとして ID を指定して、ローカル入力またはリモート入力をローカル出力に接続します。ローカル入力は、任意の数のローカル出力に接続できます。同様に、任意の数のローカル入力を各ローカル出力に接続することができます。(遠端側からの) リモート入力信号が、コールの発信時にすべてのローカル出力に自動的に追加され、コールの終了時に自動的に切断されることに注意してください。

すべてのローカル出力の概要を取得するには xStatus Audio Output LocalOutput、すべてのローカル入力の概要を取得するには xStatus Audio Input LocalInput、リモート入力の詳細を表示するには xStatus Audio Input RemoteInput をそれぞれ実行します。

このコマンドは、Audio Console によって使用されます。Audio Console を使用しない場合は、マクロを作成して、再起動後もオーディオチェーンの定義を維持する必要があることに注意してください。

Codec EQ: AVIntegrator オプションが必要です。

使用方法:

```
xCommand Audio LocalOutput ConnectInput OutputId: OutputId InputId: InputId  
[InputGain: InputGain]
```

説明:OutputId:

整数 (0 ~ 65534)

ローカル出力の固有識別子。これは、xCommand Audio LocalOutput Add コマンドを使用してローカル出力が作成されたときに生成されたものです。

InputId:

整数 (0 ~ 65534)

ローカル入力またはリモート入力の固有識別子。ローカル入力の ID は、xCommand Audio LocalInput Add コマンドを使用してローカル入力を作成されたときに生成されたものです。リモート入力の ID は、コールが発信されたときに自動的に生成されたものです。

InputGain:

整数 (-54 ~ 15)

入力信号のゲインを設定します。ゲインを負の値 (減衰) にすることもできます。値 -54 dB は Off と同等です。

デフォルト値: 0

xCommand Audio LocalOutput DisconnectInput

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN

ローカル入力またはリモート入力をローカル出力から切断します。コールの終了時に (遠端側からの) リモート入力信号は自動的に切断されることに注意してください。

すべてのローカル出力の概要を取得するには xStatus Audio Output LocalOutput、すべてのローカル入力の概要を取得するには xStatus Audio Input LocalInput、リモート入力の詳細を表示するには xStatus Audio Input RemoteInput をそれぞれ実行します。

このコマンドは、Audio Console によって使用されます。Audio Console を使用しない場合は、マクロを作成して、再起動後もオーディオチェーンの定義を維持する必要があることに注意してください。

Codec EQ: AVIntegrator オプションが必要です。

使用方法:

```
xCommand Audio LocalOutput DisconnectInput OutputId: OutputId InputId:  
InputId
```

説明:

OutputId:

整数 (0 ~ 65534)

ローカル出力の固有識別子。これは、xCommand Audio LocalOutput Add コマンドを使用してローカル出力が作成されたときに生成されたものです。

InputId:

整数 (0 ~ 65534)

ローカル入力またはリモート入力の固有識別子。ローカル入力の ID は、xCommand Audio LocalInput Add コマンドを使用してローカル入力を作成されたときに生成されたものです。リモート入力の ID は、コールが発信されたときに自動的に生成されたものです。

xCommand Audio LocalOutput Remove

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN

出力 ID で示されるローカル出力を削除します。

すべてのローカル出力の概要を取得するには、xStatus Audio Output LocalOutput を実行します。

このコマンドは、Audio Console によって使用されます。Audio Console を使用しない場合は、マクロを作成して、再起動後もオーディオチェーンの定義を維持する必要があることに注意してください。

Codec EQ: AVIntegrator オプションが必要です。

使用方法:

```
xCommand Audio LocalOutput Remove OutputId: OutputId
```

説明:

OutputId:

整数 (0 ~ 65534)

ローカル出力の固有識別子。これは、xCommand Audio LocalOutput Add コマンドを使用してローカル出力が作成されたときに生成されたものです。

xCommand Audio LocalOutput RemoveConnector

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN

出力 ID で示されるローカル出力から出力コネクタを取り外します。コネクタを一意に識別するには、コネクタの種類と番号の両方 (ConnectorType、ConnectorId) を指定する必要があります。

すべてのローカル出力の概要を取得するには、xStatus Audio Output LocalOutput を実行します。

このコマンドは、Audio Console によって使用されます。Audio Console を使用しない場合は、マクロを作成して、再起動後もオーディオチェーンの定義を維持する必要があることに注意してください。

Codec EQ: AVIntegrator オプションが必要です。

使用方法:

```
xCommand Audio LocalOutput RemoveConnector ConnectorType: ConnectorType  
ConnectorId: ConnectorId
```

説明:

ConnectorType:

ARC/Ethernet/HDMI/Line/USBInterface/WebView [[CodecEQ](#) [CodecPro](#)]

ARC/Ethernet/HDMI/InternalSpeaker/Line/USBInterface/WebView [[Room70G2](#)

[RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

コネクタのタイプを選択します。

ARC: 対応する HDMI 出力で ARC (オーディオ リターン チャンネル) にオーディオを送信します。

Ethernet: コーデックの内蔵ネットワークを介してオーディオデバイスにオーディオを送信します。Ethernet [1] is デジタルマイク (Cisco Table Microphone Pro / Cisco Microphone Array) への AEC 参照信号用です。Ethernet [2] は、DNAM IV 増幅器へのオーディオ用です (Room Panorama)。

HDMI: HDMI 出力にオーディオを送信します。

InternalSpeaker: デバイスの内蔵スピーカーにオーディオを送信します。

Line: アナログオーディオ回線出力にオーディオを送信します。

USBInterface: USB コネクタに接続されているオーディオインターフェイスにオーディオを送信します。

WebView: 組み込み Web ブラウザにオーディオを送信します。WebRTC セッションでは、WebView [1] がメインオーディオで、WebView [2] がプレゼンテーション オーディオです。

ConnectorID (コネクタID):

ARC (オーディオリターンチャンネル) 搭載 HDMI コネクタは整数 (1..1)、HDMI コネクタは整数 (1..3)、回線出力コネクタは整数 (1..6)、イーサネット経由オーディオは整数 (1..1)、USB オーディオインターフェイスへのオーディオは整数 (1..1)、WebView Session は整数 (1..2)

[[CodecPro](#)]

ARC (オーディオリターンチャンネル) 搭載 HDMI コネクタは整数 (1..1)、HDMI コネクタは整数 (1..3)、回線出力コネクタは整数 (1..1)、イーサネット経由オーディオは整数 (1..1)、USB オーディオインターフェイスへのオーディオは整数 (1..1)、WebView Session は整数 (1..2) [[CodecEQ](#)]

ARC (オーディオリターンチャンネル) 搭載 HDMI コネクタは整数 (1..1)、HDMI コネクタは整数 (1..3)、内蔵スピーカープロセスは整数 (1..1)、回線出力コネクタは整数 (1..6)、イーサネット経由オーディオは整数 (1..1)、USB オーディオインターフェイスへのオーディオは整数 (1..1)、WebView Session は整数 (1..2) [[Room70G2](#)]

Room Panorama : RC (オーディオリターンチャンネル) 搭載 HDMI コネクタは整数 (1..1)、HDMI コネクタは整数 (1..3)、内蔵スピーカープロセスは整数 (1..1)、回線出力コネクタは整数 (1..6)、イーサネット経由オーディオは整数 (1..2)、USB オーディオインターフェイスへのオーディオは整数 (1..1)、WebView Session は整数 (1..2)

Room 70 : RC (オーディオリターンチャンネル) 搭載 HDMI コネクタは整数 (1..1)、HDMI コネクタは整数 (1..3)、内蔵スピーカープロセスは整数 (1..1)、回線出力コネクタは整数 (1..6)、イーサネット経由オーディオは整数 (1..2)、USB オーディオインターフェイスへのオーディオは整数 (1..1)、WebView Session は整数 (1..2) [[RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

コネクタを選択します。コネクタの番号はコーデックのコネクタ パネルに印字されています。

xCommand Audio LocalOutput Update

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN

出力 ID で示されるローカル出力の設定を更新します。

すべてのローカル出力の概要を取得するには、xStatus Audio Output LocalOutput を実行します。

このコマンドは、Audio Console によって使用されます。Audio Console を使用しない場合は、マクロを作成して、再起動後もオーディオチェーンの定義を維持する必要があることに注意してください。

Codec EQ : AVIntegrator オプションが必要です。

USAGE:

```
xCommand Audio LocalOutput Update OutputId: OutputId [Name: "Name"]  
[AutoconnectRemote: AutoconnectRemote] [Loudspeaker: Loudspeaker] [Channels:  
Channels] [VolumeControlled: VolumeControlled]
```

説明:

OutputId:

整数 (0 ~ 65534)

ローカル出力の固有識別子。これは、xCommand Audio LocalOutput Add コマンドを使用してローカル出力が作成されたときに生成されたものです。

Name:

文字列 (0, 255)

ローカル出力を記述した名前を選択します。

AutoconnectRemote:

On/Off

On: コール時に、リモート入力信号がローカル出力に自動的に追加されます。

Off: リモート入力信号はローカル出力に追加されません。

Loudspeaker:

On/Off

On: 関連付けられたコネクタの少なくとも 1 つがスピーカーに接続されている場合、On を選択します。これにより、エコー キャンセラがこの信号を参照信号として使用するようになるので、この設定は重要です。

Off: 関連付けられたコネクタに 1 つもスピーカーが接続されていない場合、Off を選択します。スピーカーを接続できるローカル出力は 1 つのみであることにご注意ください。

チャンネル:

整数 (1 ~ 2)

1: ローカルおよびリモートの入力信号をミックスして 1 つのモノラル信号にします。

2: ローカルおよびリモートの入力信号をミックスして 1 つのステレオ信号にします。

VolumeControlled:

On/Off

On: 音量 (ボリューム) は、ユーザ インターフェイスの音量制御または xCommand Audio Volume コマンドによって設定されたレベルに従って変化します。スピーカーがオンになっている場合、指定した内容に関係なく、VolumeControlled が強制的にオンになります。

Off: 音量 (ボリューム) は、ユーザ インターフェイスの音量コントロールにも xCommand Audio Volume コマンドにも影響されません。

xCommand Audio LocalOutput UpdateInputGain

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [DeskPro](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN

ローカル出力に接続されているローカルまたはリモート入力のゲインを更新します。(遠端側からの) リモート入力信号が、コールの発信時にすべてのローカル出力に自動的に追加され、コールの終了時に自動的に切断されることに注意してください。

すべてのローカル出力の概要を取得するには xStatus Audio Output LocalOutput、すべてのローカル入力の概要を取得するには xStatus Audio Input LocalInput、リモート入力の詳細を表示するには xStatus Audio Input RemoteInput をそれぞれ実行します。

このコマンドは、Audio Console によって使用されます。Audio Console を使用しない場合は、マクロを作成して、再起動後もオーディオチェーンの定義を維持する必要があることに注意してください。

Codec EQ : AVIntegrator オプションが必要です。

使用方法:

```
xCommand Audio LocalOutput UpdateInputGain [InputGain: InputGain] InputId:  
InputId OutputId: OutputId
```

説明:

InputGain:

整数 (-54 ~ 15)

入力信号のゲインを設定します。ゲインを負の値 (減衰) にすることもできます。値 -54 dB は Off と同等です。

デフォルト値: 0

InputId:

整数 (0 ~ 65534)

ローカル入力またはリモート入力の固有識別子。ローカル入力の ID は、xCommand Audio LocalInput Add コマンドを使用してローカル入力を作成されたときに生成されたものです。リモート入力の ID は、コールが発信されたときに自動的に生成されたものです。

OutputId:

整数 (0 ~ 65534)

ローカル出力の固有識別子。これは、xCommand Audio LocalOutput Add コマンドを使用してローカル出力が作成されたときに生成されたものです。

xCommand Audio Microphones MusicMode Start

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

現在の会議で MusicMode の使用を開始します。音楽モードでは、音楽のダイナミックレンジを通すことができます。音楽モードを使用すると、音量の変化をそのまま伝え、ノイズのフィルタ処理を最小限に抑えます。会議が終了すると、MusicMode は自動で Off になります。

使用方法:

```
xCommand Audio Microphones MusicMode Start
```

xCommand Audio Microphones MusicMode Stop

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

現在の会議で MusicMode の使用を停止します。

使用方法:

```
xCommand Audio Microphones MusicMode Stop
```

xCommand Audio Microphones Mute

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの *Webex Devices Cloud xAPI* サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

すべてのマイクロフォンをミュートにします。

使用方法:

```
xCommand Audio Microphones Mute
```

xCommand Audio Microphones NoiseRemoval Activate

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

デバイスのノイズ除去を有効にします。

これを有効にするには、xConfiguration Audio Microphones NoiseRemoval Mode を有効にして、デバイスのノイズ除去機能を有効にする必要があります。

使用方法:

```
xCommand Audio Microphones NoiseRemoval Activate
```

xCommand Audio Microphones NoiseRemoval Deactivate

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

デバイスのノイズ除去を無効にします。

使用方法:

```
xCommand Audio Microphones NoiseRemoval Deactivate
```

xCommand Audio Microphones Passthrough Start

適用対象: RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザー ロール: ADMIN, INTEGRATOR

デバイスのマイクから、ConnectorId/ConnectorType パラメータで指定されたコネクタへのオーディオの送信を開始します。

[ラップトップから会議 (Call from laptop)] 機能を使用する場合、このコマンドを明示的に発行する必要はありません。Video Output HDMI Passthrough Start/Stop コマンドを使用してオーディオとビデオ両方のストリーミングを制御します。

このコマンドは、Room 55 Dual および Room 70 Dual には適用されません。

使用方法:

```
xCommand Audio Microphones Passthrough Start ConnectorId: ConnectorId  
ConnectorType: ConnectorType
```

説明:

ConnectorID (コネクタID):

整数 (1..3) [CodecPro]

Room 70 G2 Single: 整数 (2..3) Room 70 G2 Dual: 整数 (3..3) [Room70G2]

整数 (1..2) [RoomKit CodecPlus]

整数 (1..1) [Room55]

Room 70 Single: 整数 (2..2) [Room70/Room55D]

マイク信号を送信するコネクタの識別子 (ID)。Connector [n] には ID n があります。

ConnectorType:

HDMI

マイク信号の送信先コネクタのタイプ。

xCommand Audio Microphones Passthrough Stop

適用対象: [RoomKit](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room55](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

デバイスのマイクから、ConnectorId/ConnectorType パラメータで指定されたコネクタへのオーディオの送信を停止します。コネクタが指定されていない場合、使用可能なすべてのコネクタでオーディオが停止します。

[ラップトップから会議 (Call from laptop)] 機能を使用する場合、このコマンドを明示的に発行する必要はありません。Video Output HDMI Passthrough Start/Stop コマンドを使用してオーディオとビデオ両方のストリーミングを制御します。

このコマンドは、Room 55 Dual および Room 70 Dual には適用されません。

使用方法:

```
xCommand Audio Microphones Passthrough Stop [ConnectorId: ConnectorId]  
[ConnectorType: ConnectorType]
```

説明:

ConnectorId (コネクタID):

整数 (1..3) [[CodecPro](#)]

Room 70 G2 Single : 整数 (2..3) Room 70 G2 Dual : 整数 (3..3) [[Room70G2](#)]

整数 (1..2) [[RoomKit](#) [CodecPlus](#)]

整数 (1..1) [[Room55](#)]

Room 70 Single : 整数 (2..2) [[Room70/Room55D](#)]

マイク信号を停止するコネクタの識別子 (ID)。Connector [n] には ID n があります。

ConnectorType:

HDMI

マイク信号の送信を停止するコネクタのタイプ。

デフォルト値: HDMI

xCommand Audio Microphones ToggleMute

適用対象: [すべての製品](#)

パーソナルモードデバイスの [Webex Devices Cloud](#) xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

マイクのミュートとミュート解除を切り替えます。

使用方法:

```
xCommand Audio Microphones ToggleMute
```

xCommand Audio Microphones Unmute

適用対象: [すべての製品](#)

パーソナルモードデバイスの [Webex Devices Cloud](#) xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

すべてのマイクのミュートを解除します。

使用方法:

```
xCommand Audio Microphones Unmute
```

xCommand Audio RemoteOutput ConnectInput

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN

パラメータとして ID を指定して、入力をローカル出力に接続します。入力は任意の数のリモート出力ゲートに接続でき、任意の数の入力を 1 つのリモート出力ゲートに接続できます。コールの発信時にすべてのローカル入力がすべてのリモート出力ゲートに自動的に追加され、コールの終了時に自動的に切断されることに注意してください。

すべてのローカル入力の概要を取得するには、xStatus Audio Input LocalInput を実行します。

このコマンドは、主にオーディオ コンソールによる内部使用を目的としています。これは通話中のみ適用されます。

Codec EQ: AVIntegrator オプションが必要です。

使用方法:

```
xCommand Audio RemoteOutput ConnectInput OutputId: OutputId InputId: InputId  
[InputGain: InputGain]
```

説明:

OutputId:

整数 (0 ~ 65534)

リモート出力の固有識別子。これは、コールが発信されたときに自動的に生成されたものです。

InputId:

整数 (0 ~ 65534)

入力の固有識別子。これは、xCommand Audio Local Input Add コマンドを使用して入力を作成されるか、コールがセットアップされたとき (リモート入力) に生成されたものです。

InputGain:

整数 (-54 ~ 15)

入力信号のゲインを設定します。ゲインを負の値 (減衰) にすることもできます。値 -54 dB は Off と同等です。

デフォルト値: 0

xCommand Audio RemoteOutput DisconnectInput

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN

パラメータとして ID を指定して、入力をリモート出力から切断します。リモート出力はコールの終了時に自動的に削除されることにご注意ください。

リモート出力の概要を取得するには xStatus Audio Output RemoteOutput、すべてのローカル入力の概要を取得するには xStatus Audio Input LocalInput をそれぞれ実行します。

このコマンドは、主にオーディオ コンソールによる内部使用を目的としています。これは通話中のみ適用されます。

Codec EQ: AVIntegrator オプションが必要です。

使用方法:

xCommand Audio RemoteOutput DisconnectInput OutputId: OutputId InputId: InputId

説明:

OutputId:

整数 (0 ~ 65534)

リモート出力の固有識別子。これは、コールが発信されたときに自動的に生成されたものです。

InputId:

整数 (0 ~ 65534)

入力の固有識別子。これは、xCommand Audio Local Input Add コマンドを使用して入力を作成されるか、コールがセットアップされたとき (リモート入力) に生成されたものです。

xCommand Audio RemoteOutput UpdateInputGain

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [DeskPro](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN

リモート出力に接続されている入力のゲインを更新します。リモート出力はコールの終了時に自動的に削除されることにご注意ください。

リモート出力の概要を取得するには xStatus Audio Output RemoteOutput、すべてのローカル入力の概要を取得するには xStatus Audio Input LocalInput をそれぞれ実行します。

このコマンドは、主にオーディオ コンソールによる内部使用を目的としています。これは通話中のみ適用されます。

Codec EQ: AVIntegrator オプションが必要です。

使用方法:

xCommand Audio RemoteOutput UpdateInputGain [InputGain: InputGain] InputId: InputId OutputId: OutputId

説明:

InputGain:

整数 (-54 ~ 15)

入力信号のゲインを設定します。ゲインを負の値 (減衰) にすることもできます。値 -54 dB は Off と同等です。

デフォルト値: 0

InputId:

整数 (0 ~ 65534)

入力の固有識別子。これは、xCommand Audio Local Input Add コマンドを使用して入力を作成されるか、コールがセットアップされたとき (リモート入力) に生成されたものです。

OutputId:

整数 (0 ~ 65534)

リモート出力の固有識別子。これは、コールが発信されたときに自動的に生成されたものです。

xCommand Audio Select

適用先: [RoomKit](#) [RoomKitMini](#) [RoomBar](#) [Room55](#) [DeskPro](#) [DeskMini](#) [Desk](#) [BoardPro](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

使用するオーディオ デバイスのタイプを選択します (内蔵のスピーカーとマイク、ヘッドセット、ハンドセット)。

使用方法:

xCommand Audio Select Device: [Device](#)

説明:

デバイス:

[Internal/HeadsetBluetooth/HeadsetAnalog/HeadsetUSB/HandsetUSB](#) [[RoomKit](#) [RoomKitMini](#) [Room55](#) [DeskPro](#)]

[Internal/HeadsetBluetooth/HeadsetUSB/HandsetUSB](#) [[RoomBar](#) [DeskMini](#) [Desk](#) [BoardPro](#)]

内蔵スピーカー、マイク (内蔵)、Bluetooth® ヘッドセット (Room Bar、Desk Series および Board Pro のみ)、アナログヘッドセット (Desk Pro)、USB ヘッドセットまたは USB ハンドセットのいずれかを使用するかを選択します。

xCommand Audio Setup Clear

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN

すべてのローカル入力およびローカル出力を削除します。

Codec EQ: AVIntegrator オプションが必要です。

使用方法:

xCommand Audio Setup Clear

xCommand Audio Setup Reset

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN

このコマンドは、ビデオ会議デバイスのオーディオ設定をリセットします (オーディオ コンソール アプリケーションまたは API コマンドを使用して設定します)。有効な場合は、すべてのローカル入出力とローカル出力を削除し、コネクタとグループをデフォルト値に戻して、再起動後も同じようにオーディオ設定を再構築します。

Codec EQ: AVIntegrator オプションが必要です。

使用方法:

xCommand Audio Setup Reset

xCommand Audio Sound Play

適用対象: [すべての製品](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

指定したオーディオ サウンドを再生します。

使用方法:

xCommand Audio Sound Play [Loop: [Loop](#)] Sound: [Sound](#)

説明:

Loop:

Off/On

オーディオ サウンドの再生をループするかどうかを指定します。デフォルトでは、サウンドがループされます。このパラメータの設定に関係なく、一部の音声 (Busy、CallWaiting、Dial、Ringing、および SpecialInfo) は Audio Sound Stop コマンドが発行されるまで再生されます。

デフォルト値: Off

Sound:

[Alert/Announcement/Binding/Bump/Busy/CallDisconnect/CallInitiate/CallWaiting/Dial/KeyInput/KeyInputDelete/KeyTone/Nav/NavBack/Notification/OK/Pairing/PresentationConnect/RecordingStart/Ringing/SignIn/SpecialInfo/StartListening/TelephoneCall/VideoCall/VolumeAdjust/WakeUp/WebexAssistantCapturingNotes](#)
再生する着信音を選択します。

xCommand Audio Sound Stop

適用対象: [すべての製品](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

オーディオ サウンドを停止します。

使用方法:

xCommand Audio Sound Stop

xCommand Audio SpeakerCheck

適用先: [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

すべての内蔵スピーカーが正しく接続されていることを確認するためのテストを実行します。左から右への順序でテスト トーンが各スピーカーから発されます。スピーカーが正しい順序で再生されない場合は、スピーカー ケーブルを再接続して、正しいシーケンスを取得してください。すべてのスピーカーはテスト シーケンスの一部です。テスト シーケンスが正しく実行されていることを確認するため、デバイスと同じ部屋にいる必要があります。

デバイスは、接続されたマイクロフォンを使用して、テスト信号をリッスンします。テストの結果は API に返されます。

使用方法:

```
xCommand Audio Diagnostics MeasureDelay [MeasurementLength:  
MeasurementLength] [Output: Output] [Volume: Volume]
```

説明:

MeasurementLength:

整数 (1 ~ 5)

各スピーカーのテスト信号の継続時間 (秒単位)。

デフォルト値: 1

音量:

整数 (1 ~ 30)

テスト信号レベル。

デフォルト値: 1

xCommand Audio SoundsAndAlerts Ringtone List

適用対象: [すべての製品](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

利用可能なすべての着信音を表示します。着信音を選択するには、xConfiguration Audio SoundsAndAlerts RingTone 設定を使用します。

使用方法:

```
xCommand Audio SoundsAndAlerts Ringtone List
```

xCommand Audio SoundsAndAlerts Ringtone Play

適用対象: [すべての製品](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

使用可能な着信音のうちの 1 つを再生します。利用可能な着信音の一覧を取得するには、xCommand Audio SoundsAndAlerts Ringtone List コマンドを使用します。

使用方法:

```
xCommand Audio SoundsAndAlerts Ringtone Play [Loop: Loop] RingTone:  
"RingTone"
```

説明:

Loop:

On/Off

選択した着信音をループで繰り返します。オーディオをオフにするには、Audio SoundsAndAlerts Ringtone Stop xCommand を使用します。

デフォルト値: Off

RingTone:

文字列 (1, 100)

呼出音の名前。

xCommand Audio SoundsAndAlerts Ringtone Stop

適用対象: [すべての製品](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

選択した着信音の再生を停止します。着信音の再生をもう一度始めるには、Audio SoundsAndAlerts Ringtone Play xCommand を使用します。

使用方法:

```
xCommand Audio SoundsAndAlerts Ringtone Stop
```

xCommand Audio Volume Decrease

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

ビデオ会議デバイスの音量を下げます。デフォルトで、音量は 5 ステップずつ減少します (各ステップは 0.5 dB)。デフォルトの動作をオーバーライドする場合は、Steps パラメータを使用します。

Desk Series、Board Pro、Room Bar、Room Kit、Room Kit Mini、および Room 55 には、内蔵スピーカー、ヘッドセットおよびハンドセットなどのいくつかのオーディオ機器が搭載されています。このコマンドは一度に 1 つのユニットにのみ影響します。オプションの Device パラメータを使用して、対象となる音声ユニットを指定できます。ユニットを指定しない場合、最後に選択したユニットが選択されます (xStatus Audio SelectedDevice をご覧ください)。xCommand Audio Select もご覧ください。

使用方法:

```
xCommand Audio Volume Decrease [Device: Device] [Steps: Steps]
```

説明:

デバイス: [RoomKit RoomKitMini RoomBar Room55 DeskPro DeskMini Desk BoardPro]

Internal/HeadsetBluetooth/HeadsetAnalog/HeadsetUSB/HandsetUSB [DeskPro]

Internal/HeadsetBluetooth/HeadsetUSB/HandsetUSB [RoomBar DeskMini Desk BoardPro]

Internal/HeadsetUSB/HandsetUSB [RoomKit RoomKitMini Room55]

内蔵スピーカー、Bluetooth ヘッドセット (Desk Series、Board Pro および Room Bar のみ)、アナログヘッドセット (Desk Pro)、USB ヘッドセットまたは USB ハンドセットの音量を下げるかどうかを選択します。

Steps:

整数 (1 ~ 10)

音量を下げる際のステップ数を選択します。1 ステップは 0.5 dB です。

デフォルト値: 5

xCommand Audio Volume Increase

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

ビデオ会議デバイスの音量を上げます。デフォルトで、音量は 5 ステップずつ増加します (各ステップは 0.5 dB)。デフォルトの動作をオーバーライドする場合は、Steps パラメータを使用します。

Desk Series、Board Pro、Room Bar、Room Kit、Room Kit Mini、および Room 55 には、内蔵スピーカー、ヘッドセットおよびハンドセットなどのいくつかのオーディオ機器が搭載されています。このコマンドは一度に 1 つのユニットにのみ影響します。オプションの Device パラメータを使用して、対象となる音声ユニットを指定できます。ユニットを指定しない場合、最後に選択したユニットが選択されます (xStatus Audio SelectedDevice をご覧ください)。xCommand Audio Select もご覧ください。

使用方法:

```
xCommand Audio Volume Increase [Device: Device] [Steps: Steps]
```

説明:

デバイス: [RoomKit RoomKitMini RoomBar Room55 DeskPro DeskMini Desk BoardPro]

Internal/HeadsetBluetooth/HeadsetAnalog/HeadsetUSB/HandsetUSB [DeskPro]

Internal/HeadsetBluetooth/HeadsetUSB/HandsetUSB [RoomBar DeskMini Desk BoardPro]

Internal/HeadsetUSB/HandsetUSB [RoomKit RoomKitMini Room55]

内蔵スピーカー、Bluetooth ヘッドセット (Desk Series、Board Pro および Room Bar のみ)、アナログヘッドセット (Desk Pro)、USB ヘッドセットまたは USB ハンドセットの音量を上げるかどうかを選択します。

Steps:

整数 (1 ~ 10)

音量を上げる際のステップ数を選択します。1 ステップは 0.5 dB です。

デフォルト値: 5

xCommand Audio Volume Mute

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

ビデオ会議デバイスの音量をミュートにします。

Desk Series、Board Pro、Room Bar、Room Kit、Room Kit Mini、および Room 55 には、内蔵スピーカー、ヘッドセットおよびハンドセットなどのいくつかのオーディオ機器が搭載されています。このコマンドは選択したオーディオ ユニットだけに影響します。選択したユニットの詳細については、xStatus Audio SelectedDevice コマンドと xCommand Audio Select コマンドをご覧ください。

使用方法:

```
xCommand Audio Volume Mute
```

xCommand Audio Volume Set

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

ビデオ会議デバイスの音量を指定されたレベルに設定します。

Desk Series、Board Pro、Room Bar、Room Kit、Room Kit Mini、および Room 55 には、内蔵スピーカー、ヘッドセットおよびハンドセットなどのいくつかのオーディオ機器が搭載されています。このコマンドは一度に 1 つのユニットにのみ影響します。オプションの Device パラメータを使用して、対象となるユニットを指定できます。ユニットを指定しない場合、最後に選択したユニットが選択されます (xStatus Audio SelectedDevice をご覧ください)。xCommand Audio Select もご覧ください。

使用方法:

```
xCommand Audio Volume Set [Device: Device] Level: Level
```

説明:

デバイス: [RoomKit RoomKitMini RoomBar Room55 DeskPro DeskMini Desk BoardPro]

Internal/HeadsetBluetooth/HeadsetAnalog/HeadsetUSB/HandsetUSB [DeskPro]

Internal/HeadsetBluetooth/HeadsetUSB/HandsetUSB [RoomBar DeskMini Desk BoardPro]

Internal/HeadsetUSB/HandsetUSB [RoomKit RoomKitMini Room55]

内蔵スピーカー、Bluetooth ヘッドセット (Desk Series、Board Pro および Room Bar のみ)、アナログヘッドセット (Desk Pro)、USB ヘッドセットまたは USB ハンドセットの音量を設定するかどうかを選択します。

Level:

整数 (0 ~ 100)

ゲイン レベルを選択します。70 は 0 dB ゲインに等しく、100 は 15 dB ゲインに等しくなります。

xCommand Audio Volume SetToDefault

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

xConfiguration Audio DefaultVolume 設定で定義されているデフォルトのレベルに音量を設定します。

Desk Series、Board Pro、Room Bar、Room Kit、Room Kit Mini、および Room 55 には、内蔵スピーカー、ヘッドセットおよびハンドセットなどのいくつかのオーディオ機器が搭載されています。このコマンドは一度に 1 つのユニットにのみ影響します。オプションの Device パラメータを使用して、対象となる音声ユニットを指定できます。ユニットを指定しない場合、最後に選択したユニットが選択されます (xStatus Audio SelectedDevice をご覧ください)。xCommand Audio Select もご覧ください。

使用方法:

```
xCommand Audio Volume SetToDefault [Device: Device]
```

説明:

デバイス: [RoomKit RoomKitMini RoomBar Room55 DeskPro DeskMini Desk BoardPro]

Internal/HeadsetUSB/HandsetUSB [RoomKit RoomKitMini Room55]

Internal/HeadsetBluetooth/HeadsetAnalog/HeadsetUSB/HandsetUSB [DeskPro]

Internal/HeadsetBluetooth/HeadsetUSB/HandsetUSB [RoomBar DeskMini Desk BoardPro]

内蔵スピーカー、Bluetooth ヘッドセット (Desk Series、Board Pro および Room Bar のみ)、アナログヘッドセット (Desk Pro)、USB ヘッドセットまたは USB ハンドセットの音量を設定するかどうかを選択します。

xCommand Audio Volume ToggleMute

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

スピーカーのミュートとミュート解除を切り替えます。

使用方法:

```
xCommand Audio Volume ToggleMute
```

xCommand Audio Volume Unmute

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

ミュート後にデバイスの音量を元に戻します。

使用方法:

```
xCommand Audio Volume Unmute
```

xCommand Audio VuMeter Start

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

VU メーターを起動して、指定したコネクタのオーディオ信号レベルを測定します。コネクタと挙動を一意に識別するには、コネクタの種類と番号の両方 (ConnectorType、ConnectorId) を指定する必要があります。VU メーターは、20 kHz 未満の周波数の入力レベルを測定します。

デバイスのローカル Web インターフェイス ([設定 (Settings)] > [オーディオおよびビデオ (Audio and Video)]) の測定図メーカー維新號れネルを監視するか、xFeedback コマンドまたは xEvents コマンドを使用できます。

使用方法:

```
xCommand Audio VuMeter Start ConnectorId: ConnectorId ConnectorType:  
ConnectorType [IncludePairingQuality: IncludePairingQuality] [IntervalMs:  
IntervalMs] [Source: Source]
```

説明:

ConnectorID (コネクタID):

整数 (1..1) [RoomKitMini DeskPro DeskMini Desk]

整数 (1..2) [RoomBar]

整数 (1..3) [RoomKit CodecPlus Room55 Room70/Room55D BoardPro]

整数 (1..5) [Board]

整数 (1..8) [CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]

コネクタ番号を指定します。一般に、コネクタ番号は、マイク入力を識別する一意の ID です。使用可能なコネクタ番号は、デバイスによって異なります。

アナログマイク入力の場合、これは、Audio Input Microphone [n] 構成で使用されているものと同一識別子である [n] です。

デジタルイーサネットマイクの場合、コネクタ番号は、マイクがデバイスに登録された際に割り当てられます。番号は、1 から開始し、マイクがデバイスにペアリングされた順に割り当てられます。Room Panorama と Room 70 Panorama は最大 6 個、Coded EQ は最大 8 個、Codec Pro と Room 70 G2 は最大 4 個のデジタルイーサネットマイクをサポートします (Cisco Table Microphone Pro / Cisco Microphone Array)。

デバイスに内蔵マイクまたはマイクアレイがある場合、コネクタ番号は 1 です。

これらのルールにはいくつか例外があるので、ConnectorType/ConnectorId の特殊な組み合わせの詳細については、「ConnectorType の説明」を参照してください。

ConnectorType:

Microphone/USBMicrophone [RoomKit RoomKitMini RoomBar CodecPlus Room55 Room70/
Room55D DeskPro DeskMini Desk]

Microphone/MicArray [Board]

Microphone/MicArray/USBMicrophone [BoardPro]

Ethernet/Microphone/USBMicrophone [CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/
Room70Panorama]

コネクタのタイプを選択します。使用可能なコネクタの種類は、デバイスによって異なります。

一般的に、デバイスの内蔵マイクまたはマイクアレイの場合、外付けのアナログマイクのマイクを、USB マイクの場合は、USBMicrophone を、デジタルイーサネットマイクの場合は、イーサネットを使用します。

Board および Board Pro の場合、内蔵マイクアレイは 12 個のマイク要素で構成されます。これらの要素からの信号は、ビームを生成するために組み合わせられます。ConnectorType が MicArray に設定されている場合は、ConnectorId を 1 に設定する必要があります。この場合、12 の信号レベルが返されます。マイクアレイの個々の要素ごとに 1 つずつです。ConnectorType が Microphone に設定されている場合、Board Pro と Board の動作は異なります。Board Pro の場合、ConnectorId 1 はビーム選択後の内蔵マイクアレイの信号レベルを返し、ConnectorId 2 および 3 は 2 つの外付けアナログマイク入力を参照します。外付けアナログマイク入力がない Board の場合、ConnectorId 1 ~ 5 は、5 つの個々のビームのどれから信号レベルを返すかを識別します。

IncludePairingQuality:

Off/On

デバイスはペアリング品質を測定できます (値 0 ~ 100)。同じ部屋に他の超音波源がない場合はこの値は高くなりますが、同じ部屋に他の超音波源がある場合はこの値は低くなります。デバイスのローカル Web インターフェイスを使用して信号レベルを監視する場合は、[ペアリングレート (Show Pairing Rate)] を表示をチェックしてペアリングの品質を確認する必要があります。

デフォルト値: Off

IntervalMs:

10..1000

VuMeter 値の更新間隔をミリ秒単位で指定します。値は 10 ms のステップで指定できます。

デフォルト値: 100

出典:

AfterAEC/BeforeAEC

VU メーターが音響エコー キャンセレーション処理 (AEC) の前または後にオーディオ信号レベルを測定する必要があるかどうかを決定します。AEC の前に測定された場合、信号には、デバイスのスピーカーによって再生される音と、部屋で局所的に生成される音の両方が含まれます。AEC 後に測定した場合、室内で局所的に発生する音のみが含まれます。

ローカル プレゼンテーション オーディオトラックとリモートの参加者の声は、デバイスのスピーカーが再生する音の例であり、ローカルの参加者の声は、室内で局所的に生成される音の例です。

デフォルト値: BeforeAEC

xCommand Audio VuMeter Stop

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

指定されたコネクタの VU メーターを停止します。コネクタを一意に識別するには、コネクタの種類と番号の両方 (ConnectorType、ConnectorId) を指定する必要があります。

使用方法:

```
xCommand Audio VuMeter Stop ConnectorId: ConnectorId ConnectorType:  
ConnectorType
```

説明:

ConnectorID (コネクタID):

整数 (1..1) [RoomKitMini DeskPro DeskMini Desk]

整数 (1..2) [RoomBar]

整数 (1..3) [RoomKit CodecPlus Room55 Room70/Room55D BoardPro]

整数 (1..5) [Board]

整数 (1..8) [CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]

コネクタ番号を指定します。一般に、コネクタ番号は、マイク入力を識別する一意の ID です。使用可能なコネクタ番号は、デバイスによって異なります。詳細な説明については、Audio VuMeter Start コマンドを参照してください。

ConnectorType:

Microphone/USBMicrophone [RoomKit RoomKitMini RoomBar CodecPlus Room55 Room70/
Room55D DeskPro DeskMini Desk BoardPro]

Microphone/MicArray [Board]

Microphone/MicArray/USBMicrophone [BoardPro]

Ethernet/Microphone/USBMicrophone [CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/
Room70Panorama]

コネクタのタイプを選択します。使用可能なコネクタの種類は、デバイスによって異なります。詳細な説明については、Audio VuMeter Start コマンドを参照してください。

xCommand Audio VuMeter StopAll

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

すべての VU メーターを停止します。

使用方法:

```
xCommand Audio VuMeter StopAll
```

Bluetooth コマンド

xCommand Bluetooth Streaming Next

適用先: RoomBar DeskPro DeskMini Desk BoardPro

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

Bluetooth Streaming コマンドを使用すると、デバイス (携帯電話またはラップトップ) からオーディオストリーミングを制御できます。これらデバイスは、Bluetooth 経由でビデオ会議デバイスに接続されています。このコマンドを使用すると、コネクテッドデバイスの次のオーディオトラックをスキップできます。

前提条件: ビデオ会議デバイスの Bluetooth を On にし、初回ペアリング時に、他のデバイスでも検出できるように設定します。これは、ビデオ会議デバイスのユーザーインターフェイスの [設定 (Settings)] パネルから行います。次に、接続されたデバイスの [Bluetooth 設定 (Bluetooth settings)] パネルからビデオ会議デバイスへの接続を開始します。

使用方法:

```
xCommand Bluetooth Streaming Next
```

xCommand Bluetooth Streaming Pause

適用先: RoomBar DeskPro DeskMini Desk BoardPro

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

Bluetooth Streaming コマンドを使用すると、デバイス (携帯電話またはラップトップ) からオーディオストリーミングを制御できます。これらデバイスは、Bluetooth 経由でビデオ会議デバイスに接続されています。このコマンドを使用して、接続されたデバイスのオーディオ再生を一時停止します。

前提条件: ビデオ会議デバイスの Bluetooth を On にし、初回ペアリング時に、他のデバイスでも検出できるように設定します。これは、ビデオ会議デバイスのユーザーインターフェイスの [設定 (Settings)] パネルから行います。次に、接続されたデバイスの [Bluetooth 設定 (Bluetooth settings)] パネルからビデオ会議デバイスへの接続を開始します。

使用方法:

```
xCommand Bluetooth Streaming Pause
```

xCommand Bluetooth Streaming Play

適用先: [RoomBar](#) [DeskPro](#) [DeskMini](#) [Desk](#) [BoardPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

Bluetooth Streaming コマンドを使用すると、デバイス（携帯電話またはラップトップ）からオーディオストリーミングを制御できます。これらデバイスは、Bluetooth 経由でビデオ会議デバイスに接続されています。このコマンドを使用して、接続されたデバイスで一時停止後、再生を再開します。

前提条件: ビデオ会議デバイスの Bluetooth を On にし、初回ペアリング時に、他のデバイスでも検出できるように設定します。これは、ビデオ会議デバイスのユーザーインターフェイスの [設定 (Settings)] パネルから行います。次に、接続されたデバイスの [Bluetooth 設定 (Bluetooth settings)] パネルからビデオ会議デバイスへの接続を開始します。

使用方法:

```
xCommand Bluetooth Streaming Play
```

xCommand Bluetooth Streaming Previous

適用先: [RoomBar](#) [DeskPro](#) [DeskMini](#) [Desk](#) [BoardPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

Bluetooth Streaming コマンドを使用すると、デバイス（携帯電話またはラップトップ）からオーディオストリーミングを制御できます。これらデバイスは、Bluetooth 経由でビデオ会議デバイスに接続されています。このコマンドを使用して、接続されたデバイスの現在のオーディオトラックの先頭にスキップするか、2 回目の場合は前のトラックにスキップします。

前提条件: ビデオ会議デバイスの Bluetooth を On にし、初回ペアリング時に、他のデバイスでも検出できるように設定します。これは、ビデオ会議デバイスのユーザーインターフェイスの [設定 (Settings)] パネルから行います。次に、接続されたデバイスの [Bluetooth 設定 (Bluetooth settings)] パネルからビデオ会議デバイスへの接続を開始します。

使用方法:

```
xCommand Bluetooth Streaming Previous
```

Bookings コマンド

xCommand Bookings Book

適用対象: [すべての製品](#)

パーソナルモードデバイスの *Webex Devices Cloud xAPI* サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

指定された期間の会議室を予約します。開始時間と期間を指定しない場合、部屋は今から 30 分間予約されます。

このコマンドは、会議室のスケジュール機能をサポートするデバイスでのみ使用できます。「RoomScheduler Enabled 設定」を参照してください。

使用方法:

```
xCommand Bookings Book [BookingRequestUUID: "BookingRequestUUID"] [Duration: "Duration"] [StartTime: "StartTime"] [Title: "Title"]
```

説明:

BookingRequestUUID:

文字列 (1, 128)

予約リクエストの一意の識別子。このパラメータを省略すると、予約リクエスト識別子が自動的に割り当てられます。

期間:

整数 (1~ 1440)

分単位の会議時間。

デフォルト値: 30

開始時刻:

文字列 (1, 128)

YYYY-MM-DDThh:mm:ssZ の UTC 形式で会議の開始時間。例: 2021-01-24T01:29:00Z。

Title:

文字列 (1, 128)

カレンダー予約のタイトルまたは件名フィールド。これは、今日の予約リストの画面にも表示されます。

xCommand Bookings Clear

適用対象: [すべての製品](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

現在の予約の保存されたリストを消去します。

使用方法:

```
xCommand Bookings Clear
```

xCommand Bookings Delete

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

MeetingId パラメータで識別される会議を削除します。その後、その部屋は新規予約で利用できるようになります。

このコマンドは、会議室のスケジュール機能をサポートするデバイスでのみ使用できます。「RoomScheduler Enabled 設定」を参照してください。

使用方法:

```
xCommand Bookings Delete MeetingId: "MeetingId"
```

説明:

MeetingId:

文字列 (1, 128)

一意の会議識別子。これは、カレンダーサービスのバックエンドによって会議に割り当てられます。会議識別子は、Bookings List コマンドによって返されます。これは、Bookings Book コマンドの発行時に提供される予約リクエスト識別子 (BookingRequestUUID) とは異なることに注意してください。

xCommand Bookings Get

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

特定の ID の予約情報を表示します。

使用方法:

```
xCommand Bookings Get Id: "Id"
```

説明:

Id:

文字列 (1, 128)

一意の会議識別子。これは、カレンダーサービスのバックエンドによって会議に割り当てられます。会議識別子は、Bookings List コマンドによって返されます。これは、Bookings Book コマンドの発行時に提供される予約リクエスト識別子 (BookingRequestUUID) とは異なることに注意してください。

xCommand Bookings List

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

デバイスに保存された予約を表示します。予約の詳細のリストは管理システムから受信されます。すべてのパラメータはオプションで、検索結果を制限するために使用できます。

パラメータを設定しない場合、過去、現在、将来の予約がすべて表示されます。昨日より前の予約をリストしないようにするには、DayOffset = 0 を使用します。

使用方法:

```
xCommand Bookings List [Days: Days] [DayOffset: DayOffset] [Limit: Limit]  
[Offset: Offset]
```

説明:

Days:

整数 (1 ~ 365)

予約を取得する日数。

DayOffset:

整数 (0 ~ 365)

検索を開始する日 (今日: 0, 明日: 1, ...)。

デフォルト値: 0

Limit:

整数 (1 ~ 65534)

一覧表示する予約の最大数。

Offset:

整数 (0 ~ 65534)

この検索用の予約のオフセット番号。

デフォルト値: 0

xCommand Bookings NotificationSnooze

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

このデバイスに保存されている予約の通知をスヌーズに設定します。

使用方法:

```
xCommand Bookings NotificationSnooze [Id: "Id"] [SecondsToSnooze: SecondsToSnooze]
```

説明:

Id:

文字列 (0, 128)

通知のスヌーズ設定の ID。

SecondsToSnooze:

整数 (1 ~ 3600)

秒数で表されたスヌーズの期間。

デフォルト値: 300

xCommand Bookings Respond

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

会議への招待を承認または辞退します。

このコマンドは、Webex クラウドサービスに登録されているデバイスかオンプレミスサブに登録されており、Webex Edge for Devices にリンクされているデバイスに適用されます。

使用方法:

```
xCommand Bookings Respond MeetingId: "MeetingId" Type: Type
```

説明:

MeetingId:

文字列 (1, 128)

会議の一意の識別子。

次のように入力します。

承認/ 辞退

承諾: 会議室が指定された会議への招待を承諾します。

辞退: 会議室が指定された会議への招待を辞退します。

xCommand Bookings Put

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

このコマンドは、Webex クラウドサービスに登録されているデバイスかオンプレミスサブに登録されており、Webex Edge for Devices にリンクされているデバイスに適用されます。

注: この API には、特別な利用規約があるので、『API ガイド』の「API について — 利用規約」項を参照してください。

保存されている予約のリストを置き換えます。これは、ペイロードとして保存された予約の詳細を含む複数行のコマンドです。

ミーティング情報は JSON 形式で提供されます。

例:

```
{  
  "Bookings": [  
    {  
      "Id": "1",  
      "Number": "number@example.com",  
      "Organizer": {  
        "Name": "John Doe"  
      },  
      "Protocol": "WebRTC",  
      "MeetingPlatform": "MicrosoftTeams",  
      "Time": {  
        "Duration": 60,  
        "EndTimeBuffer": 50,  
        "StartTime": "2024-06-04T08:40:42.300000000Z"  
      },  
      "Title": "Booking Title"  
    }  
  ]  
}
```

JSON 構造は、次のフィールドをサポートします。

```
{  
  { "Id", "id" },  
  { "MeetingId", "MyMeeting" },  
  { "Agenda", "MyAgenda" },  
  { "Title", "MyBookingTitle" },  
  { "Privacy", "Private/Public" },  
  { "Protocol", "SIP/H323/ISDN/IP/Spark/WebRTC" },  
}
```

```
{ "MeetingPlatform", "GoogleMeet/MicrosoftTeams/Zoom/Webex/Other" },
{ "MetalInfo", "...." },
{ "Time", {
  { "StartTime", "2020-06-10T09:31:42Z"},
  { "Duration", 60 },
  { "StartTimeBuffer", 300 },
  { "EndTimeBuffer", 0 },
}},
{ "Organizer", {
  { "Name", "John Doe" },
  { "Email", "johndoe@example.com" },
  { "Id", "" },
}},
{ "Number", "number@example.com" },
{ "CallType", "Audio/Video" },
{ "Encryption", "On/Off" }
}
```

必須フィールドは、Id、Title、Number、Protocol、Organizer/Name、Time/StartTime、Time/Duration です。

StartTime: UTC/Zulu タイムでのミーティング開始時間。

Duration: 分単位の会議の時間。

StartTimeBuffer: 会議に参加できる会議開始時刻前の秒数。

EndTimeBuffer: 会議を継続できる、スケジュールされた時間 (StartTime + Duration) より長い秒数。

Number: ダイヤルする番号。

MeetingPlatform: 会議をホストするサービス。これは、ユーザーインターフェイスに視覚的なインジケータ (Microsoft Teams アイコンなど) を表示するために使用されます。プロトコルが WebRTC の場合、Microsoft Teams と Google Meet のみがサポートされます。他のプロトコルについては、利用可能なすべてのミーティング プラットフォーム オプションをサポートしています。

使用方法:

```
xCommand Bookings Put
```

Call コマンド

xCommand Call Accept

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

着信コールを承認します。CallId を指定しない場合、すべての着信コールが受け入れられます。

使用方法:

```
xCommand Call Accept [CallId: CallId]
```

説明:

CallId:

整数 (0 ~ 65534)

CallId は、アクティブな会議に対応するために使用される一意の番号です。xCommand Dial コマンドを実行すると CallId が返されます。会議中に、xStatus Call 実行すると CallId を確認できます。

デフォルト値: 0

xCommand Call Disconnect

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

コールを切断します。CallId が指定されていない場合、現在アクティブな会議は切断されます。

使用方法:

```
xCommand Call Disconnect [CallId: CallId]
```

説明:

CallId:

整数 (0 ~ 65534)

CallId は、アクティブな会議に対応するために使用される一意の番号です。xCommand Dial コマンドを実行すると CallId が返されます。コール中の場合は xStatus Call コマンドを実行して CallId を表示できます。

デフォルト値: 0

xCommand Call DTMFSend

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

遠端に DTMF トーンを送信します。

使用方法:

```
xCommand Call DTMFSend [CallId: CallId] DTMFString: "DTMFString" [Feedback: Feedback]
```

説明:

CallId:

整数 (0 ~ 65534)

CallId は、アクティブな会議に対応するために使用される一意の番号です。xCommand Dial コマンドを実行すると CallId が返されます。コール中の場合は xStatus Call コマンドを実行して CallId を表示できます。

デフォルト値: -1

DTMFString:

文字列 (0, 32)

DTMF 文字列を入力します。

フィードバック:

可聴/消音

会議中にキーが入力されたときにフィードバックとして提供されるトーンを消音または可聴にする

(パスワードを入力するときに聞こえるなど)。

デフォルト値: 可聴

xCommand Call FarEndControl Camera Move

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

遠端カメラ (リモート カメラ) を動かします。

このコマンドは、会議に参加しているデバイスから発行でき、同じ会議内の別のデバイスのカメラを制御するために使用できます。

遠端カメラで発言者追跡を無効にする必要があります。

Move コマンドが発行されたら、Stop コマンド (参照: xCommand FarEndControl Camera Stop) が発行されるまで、遠端カメラは指定方向に移動し続けます。

オンプレミスおよび CMS の場合、このコマンドはアクティブな発言者のカメラにアクセスします。

クラウドの場合、このコマンドは指定された参加者のカメラにアクセスします。

クラウドベースのパーソナルモードデバイスのカメラを制御できないという制限があります。これはプライバシー上の理由 (つまり、ホームオフィス) のためです。

使用方法:

```
xCommand Call FarEndControl Camera Move [CallId: CallId] [ParticipantId: "ParticipantId"] Value: Value
```

説明:

CallId:

整数 (0 ~ 65534)

CallId は、アクティブな会議に対応するために使用される一意の番号です。会議に参加しているデバイスの 1 つから xStatus Call を実行すると、通話中に callId を取得できます。

デフォルト値: -1

ParticipantId:

文字列 (0, 255)

(クラウドのみ) ParticipantId は、会議参加者に対応するために使用される一意の番号です。

ParticipantId は、オンプレミスまたは CMS では無視されます。これらは常にアクティブな発言者のカメラを制御するためです。

会議参加者が 2 人だけの場合は、暗黙的なため、ParticipantId は必要ありません。

会議参加者の参加者 ID を表示するには、xCommand Conference ParticipantList Search を実行します。

参加者のリストをスキャンし、サブフィールドの「ParticipantId」を使用します。

会議中に、xCommand Call FarEndControl RequestCapabilities を実行すると、遠端カメラ制御がサポートされているかどうかを確認できます。

値:

Left/Right/Up/Down/ZoomIn/ZoomOut

カメラを動かすアクションを選択します。

xCommand Call FarEndControl Camera Stop

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

xCommand FarEndControl Camera Move が発行された後に相手先カメラを停止します。

このコマンドは、会議に参加しているデバイスから発行でき、同じ会議内の別のデバイスのカメラを制御するために使用できます。

遠端カメラで発言者追跡を無効にする必要があります。

オンプレミスおよび CMS の場合、このコマンドはアクティブな発言者のカメラにアクセスします。

クラウドの場合、このコマンドは指定された参加者のカメラにアクセスします。

クラウドベースのパーソナルモードデバイスのカメラを制御できないという制限があります。これはプライバシー上の理由（つまり、ホームオフィス）のためです。

使用方法:

```
xCommand Call FarEndControl Camera Stop [CallId: CallId] [ParticipantId: "ParticipantId"]
```

説明:

CallId:

整数 (0 ~ 65534)

CallId は、アクティブな会議に対応するために使用される一意の番号です。会議に参加しているデバイスの 1 つから xStatus Call を実行すると、通話中に callId を取得できます。

デフォルト値: -1

ParticipantId:

文字列 (0, 255)

(クラウドのみ) ParticipantId は、会議参加者に対応するために使用される一意の番号です。ParticipantId は、オンプレミスまたは CMS では無視されます。これらは常にアクティブな発言者のカメラを制御するためです。

会議参加者が 2 人だけの場合は、暗黙的なため、ParticipantId は必要ありません。

会議参加者の参加者 ID を表示するには、xCommand Conference ParticipantList Search を実行します。

参加者のリストをスキャンし、サブフィールドの「ParticipantId」を使用します。

会議中に、xCommand Call FarEndControl RequestCapabilities を実行すると、遠端カメラ制御がサポートされているかどうかを確認できます。

xCommand Call FarEndControl RequestCapabilities

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

リクエストを送信して、遠端カメラのリモート制御機能を調べます。

このコマンドは、会議に参加しているデバイスから発行でき、同じ会議内の別のデバイスのカメラを制御するために使用できます。

オンプレミスおよび CMS の場合、このコマンドはアクティブな発言者のカメラにアクセスします。

クラウドの場合、このコマンドは指定された参加者のカメラにアクセスします。

クラウドベースのパーソナルモードデバイスのカメラを制御できないという制限があります。これはプライバシー上の理由（例: ホームオフィス）のためです。

使用方法:

```
xCommand Call FarEndControl RequestCapabilities [CallId: CallId]  
[ParticipantId: "ParticipantId"]
```

説明:

CallId:

整数 (0 ~ 65534)

CallId は、アクティブな会議に対応するために使用される一意の番号です。会議に参加しているデバイスの 1 つから xStatus Call を実行すると、通話中に callId を取得できます。

デフォルト値: -1

ParticipantId:

文字列 (0, 255)

(クラウドのみ) ParticipantId は、会議参加者に対応するために使用される一意の番号です。ParticipantId は、オンプレミスまたは CMS では無視されます。これらは常にアクティブな発言者のカメラを制御するためです。

会議参加者が 2 人だけの場合は、暗黙的なため、ParticipantId は必要ありません。

会議参加者の参加者 ID を表示するには、xCommand Conference ParticipantList Search を実行します。

参加者のリストをスキャンし、サブフィールドの「ParticipantId」を使用します。

会議中に、xCommand Call FarEndControl RequestCapabilities を実行すると、遠端カメラ制御がサポートされているかどうかを確認できます。

xCommand Call FarEndControl RoomPreset Activate

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

会議中は、このコマンドを使用して遠端デバイスのプリセットをアクティブにします。プリセットには、遠端デバイスのカメラの位置と入力ビデオ スイッチャ設定が含まれます。

遠端デバイスでローカルに xCommand Preset Store コマンドを使用するか、リモートデバイスから xCommand FarEndControl Preset Store コマンドを使用することによって、事前にプリセットを遠端デバイスに保存しておく必要があります。

注: FarEndControl コマンドが機能するためには、遠端デバイスの xConfiguration Conference FarEndControl Mode 設定を On に切り替える必要があります。

使用方法:

```
xCommand Call FarEndControl RoomPreset Activate [CallId: CallId]  
[ParticipantId: "ParticipantId"] PresetId: PresetId
```

説明:

CallId:

整数 (0 ~ 65534)

遠端デバイスの識別に CallId が必要になるのは、マルチポイント会議時のみです。xCommand ダイアルコマンドを発行すると CallId が返されます。コール中の場合は xStatus Call コマンドを実行して CallId を表示できます。

デフォルト値: -1

ParticipantId:

文字列 (0, 255)

(クラウドのみ) ParticipantId は、会議参加者に対応するために使用される一意の番号です。ParticipantId は、オンプレミスまたは CMS では無視されます。これらは常にアクティブな発言者のカメラを制御するためです。

会議参加者が 2 人だけの場合は、暗黙的なため、ParticipantId は必要ありません。

会議参加者の参加者 ID を表示するには、xCommand Conference ParticipantList Search を実行します。

参加者のリストをスキャンし、サブフィールドの「ParticipantId」を使用します。

会議中に、xCommand Call FarEndControl RequestCapabilities を実行すると、遠端カメラ制御がサポートされているかどうかを確認できます。

PresetId:

整数 (1 ~ 15)

遠端デバイスに保存されたプリセット ID。

xCommand Call FarEndControl RoomPreset Store

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

会議中は、このコマンドを使用して遠端デバイスのプリセットを保存にします。プリセットには、遠端デバイスのカメラの位置と入力ビデオスイッチャ設定が含まれます。注: FarEndControl コマンドが機能するためには、遠端デバイスの xConfiguration Conference FarEndControl Mode 設定を On に切り替える必要があります。

使用方法:

```
xCommand Call FarEndControl RoomPreset Store [CallId: CallId] [ParticipantId:  
"ParticipantId"] PresetId: PresetId
```

説明:

CallId:

整数 (0 ~ 65534)

遠端デバイスの識別に CallId が必要になるのは、マルチポイント会議時のみです。xCommand ダイアルコマンドを発行すると CallId が返されます。コール中の場合は xStatus Call コマンドを実行して CallId を表示できます。

デフォルト値: -1

ParticipantId:

文字列 (0, 255)

(クラウドのみ) ParticipantId は、会議参加者に対応するために使用される一意の番号です。

ParticipantId は、オンプレミスまたは CMS では無視されます。これらは常にアクティブな発言者のカメラを制御するためです。

会議参加者が 2 人だけの場合は、暗黙的なため、ParticipantId は必要ありません。

会議参加者の参加者 ID を表示するには、xCommand Conference ParticipantList Search を実行します。

参加者のリストをスキャンし、サブフィールドの「ParticipantId」を使用します。

会議中に、xCommand Call FarEndControl RequestCapabilities を実行すると、遠端カメラ制御がサポートされているかどうかを確認できます。

PresetId:

整数 (1 ~ 15)

遠端デバイスに保存されたプリセット ID。

xCommand Call FarEndControl Source Select

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

遠端デバイスのメイン ソースとして使用するビデオ入力ソースを選択します。

このコマンドは、会議に参加しているデバイスから発行でき、同じ会議内の別のデバイスのソースを選択するために使用できます。

オンプレミスおよび CMS の場合、このコマンドはアクティブな発言者のソースを選択します。

クラウドの場合、このコマンドは指定された参加者のソースを選択します。

クラウドベースのパーソナルモードデバイスのソースを制御できないという制限があります。これはプライバシー上の理由（つまり、ホームオフィス）のためです。

使用方法:

```
xCommand Call FarEndControl Source Select [CallId: CallId] SourceId: SourceId
[ParticipantId: "ParticipantId"] PresetId: PresetId
```

説明:

CallId:

整数 (0 ~ 65534)

遠端デバイスの識別に CallId が必要になるのは、マルチポイント会議時のみです。xCommand Dial コマンドを発行すると CallId が返されます。会議に参加しているデバイスの 1 つから xStatus Call を実行すると、通話中に callId を取得できます。

デフォルト値: -1

SourceId:

整数 (0 ~ 15)

遠端のビデオ入力ソースを選択します。

ParticipantId:

文字列 (0, 255)

(クラウドのみ) ParticipantId は、会議参加者に対応するために使用される一意の番号です。ParticipantId は、オンプレミスまたは CMS では無視されます。これらは常にアクティブな発言者のデバイスを制御するためです。

会議参加者が 2 人だけの場合は、暗黙的なため、ParticipantId は必要ありません。

会議参加者の参加者 ID を表示するには、xCommand Conference ParticipantList Search を実行します。

参加者のリストをスキャンし、サブフィールドの「ParticipantId」を使用します。

会議中に、xCommand Call FarEndControl RequestCapabilities を実行すると、遠端カメラ制御がサポートされているかどうかを確認できます。

PresetId:

整数 (1 ~ 15)

遠端デバイスに保存されたプリセット ID。

xCommand Call FarEndMessage Send

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

制御システムまたはマクロと併用するための、ポイントツーポイント通話における 2 種のコーデック間のデータを送信します。SIP コールでのみ動作します。Conference FarEndMessage Mode が On に設定されている必要があります。

使用方法:

```
xCommand Call FarEndMessage Send Text: "Text" Type: "Type" [CallId: CallId]
```

説明:

Text:

文字列 (1, 1450)

遠端に送信するメッセージを入力します。

Type:

文字列 (0, 255)

遠端に送信するメッセージ タイプを入力します。

CallId:

整数 (0 ~ 65534)

CallId は、アクティブな会議に対応するために使用される一意の番号です。xCommand Dial コマンドを実行すると CallId が返されます。コール中の場合は xStatus Call コマンドを実行して CallId を表示できます。

xCommand Call Forward

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

着信コールの転送先となる番号または URI を指定します。表示名は、転送先のローカル参照です。すべてのコールを転送するようにデバイスを構成した場合、このローカル参照とともにメッセージが画面に表示されます。

使用方法:

```
xCommand Call Forward DisplayName: "DisplayName" Number: "Number"
```

説明:

DisplayName:

文字列 (0, 255)

転送先のローカル参照。

番号:

文字列 (0, 255)

着信コールの転送先となる電話番号または URI。

xCommand Call Hold

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

コールを保留にします。

使用方法:

```
xCommand Call Hold [CallId: CallId] [Reason: Reason]
```

説明:

CallId:

整数 (0 ~ 65534)

CallId は、アクティブな会議に対応するために使用される一意の番号です。xCommand Dial コマンドを実行すると CallId が返されます。コール中の場合は xStatus Call コマンドを実行して CallId を表示できます。

デフォルト値: 0

Reason:

Conference/Transfer/Other

シスコ内部使用のみ。

デフォルト値: Other

xCommand Call Ignore

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

着信コールの呼出音をオフにします。コールへの応答は可能です。

使用方法:

```
xCommand Call Ignore CallId: CallId
```

説明:

CallId:

整数 (0 ~ 65534)

CallId は、アクティブな会議に対応するために使用される一意の番号です。xCommand Dial コマンドを実行すると CallId が返されます。コール中の場合は xStatus Call コマンドを実行して CallId を表示できます。

xCommand Call Join

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

シスコ内部使用のみ。

使用方法:

```
xCommand Call Join [CallId: CallId]
```

説明:

CallId:

整数 (0 ~ 65534)

同じコマンドに 1 ~ 10 個の CallId パラメータを設定できます。

xCommand Call Reject

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

着信コールの拒否。CallId を指定しない場合、すべての着信コールが拒否されます。

使用方法:

```
xCommand Call Reject [CallId: CallId]
```

説明:

CallId:

整数 (0 ~ 65534)

CallId は、アクティブな会議に対応するために使用される一意の番号です。xCommand Dial コマンドを実行すると CallId が返されます。コール中の場合は xStatus Call コマンドを実行して CallId を表示できます。

デフォルト値: 0

xCommand Call Resume

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

保留されていたコールを再開します。

使用方法:

```
xCommand Call Resume [CallId: CallId]
```

説明:

CallId:

整数 (0 ~ 65534)

CallId は、アクティブな会議に対応するために使用される一意の番号です。xCommand Dial コマンドを実行すると CallId が返されます。コール中の場合は xStatus Call コマンドを実行して CallId を表示できます。

デフォルト値: 0

xCommand Call UnattendedTransfer

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

進行中のコールを他の参加者に転送します。SIP コールの場合にのみ完全にサポートされます。

使用方法:

```
xCommand Call UnattendedTransfer CallId: CallId Number: "Number"
```

説明:

CallId:

整数 (0 ~ 65534)

CallId は、アクティブな会議に対応するために使用される一意の番号です。xCommand Dial コマンドを実行すると CallId が返されます。コール中の場合は xStatus Call コマンドを実行して CallId を表示できます。

番号:

文字列 (0、255)

コールの転送先の番号。

CallHistory コマンド

xCommand CallHistory AcknowledgeAllMissedCalls

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

すべての不在着信に対して、タッチ コントローラの不在着信インジケータをオフにします。

使用方法:

```
xCommand CallHistory AcknowledgeAllMissedCalls
```

xCommand CallHistory AcknowledgeMissedCall

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

指定したコールを対象に、タッチ コントローラの不在着信インジケータをオフにします。

使用方法:

```
xCommand CallHistory AcknowledgeMissedCall CallHistoryId: CallHistoryId  
[AcknowledgeConsecutiveDuplicates: AcknowledgeConsecutiveDuplicates]
```

説明:

CallHistoryId:

整数 (1 ~ 2147483647)

該当するコールの CallHistoryId。ID 番号を取得するには xCommand CallHistory Get を実行します。

AcknowledgeConsecutiveDuplicates:

False/True

情報が重複しているすべてのコールを含めるか除外することができます。

デフォルト値: False

xCommand CallHistory DeleteAll

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

以前のコールに関するすべての情報を削除します。

使用方法:

```
xCommand CallHistory DeleteAll [Filter: Filter]
```

説明:

Filter:

All/Missed/Placed/Received

削除するコールをフィルタリングできます。

デフォルト値: All

xCommand CallHistory DeleteEntry

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

指定したコールに関するすべての情報を削除します。

使用方法:

```
xCommand CallHistory DeleteEntry CallHistoryId: CallHistoryId  
[DeleteConsecutiveDuplicates: DeleteConsecutiveDuplicates]
```

説明:

CallHistoryId:

整数 (1 ~ 2147483647)

該当するコールの CallHistoryId。ID 番号を取得するには xCommand CallHistory Get を実行します。

DeleteConsecutiveDuplicates:

False/True

重複する情報を持つ周囲のコールを削除するかどうかを選択できます。

デフォルト値: False

xCommand CallHistory Get

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

デバイスで以前に発信されたコールの情報をすべて取得します。

使用方法:

```
xCommand CallHistory Get [Filter: Filter] [Offset: Offset] [Limit: Limit]  
[DetailLevel: DetailLevel] [SearchString: "SearchString"] [CallHistoryId:  
CallHistoryId]
```

説明:

Filter:

All/Missed/AnsweredElsewhere/Forwarded/Placed/Pmr/NoAnswer/Received/Rejected/
UnacknowledgedMissed

取得するコールをフィルタリングできます。Pmr は、パーソナルミーティングルームを参照します。

デフォルト値: All

Offset:

整数 (0 ~ 65534)

起点となるコールを設定します。

デフォルト値: 0

Limit:

整数 (0 ~ 65534)

出力内のコールの量を定義します。

デフォルト値: 65534

DetailLevel:

Basic/Full

これらのコールの情報の詳細レベルを設定します。

デフォルト値: Basic

SearchString:

文字列 (0、255)

指定した表示名またはコールバック番号にコマンドが適用されるように設定できます。

デフォルト値: ""

CallHistoryId:

整数 (1 ~ 2147483647)

該当するコールの CallHistoryId。

xCommand CallHistory Recents

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

デバイスで以前に発信されたコールの集計情報を取得します。

使用方法:

```
xCommand CallHistory Recents [Filter: Filter] [Offset: Offset] [Limit: Limit]  
[DetailLevel: DetailLevel] [SearchString: "SearchString"] [Order: Order]
```

説明:

Filter:

*All/Missed/AnsweredElsewhere/Forwarded/Placed/Pmr/NoAnswer/Received/Rejected/
UnacknowledgedMissed*

取得するコールをフィルタリングできます。Pmr は、パーソナルミーティングルームを参照します。

デフォルト値: All

Offset:

整数 (0 ~ 65534)

起点となるコールを設定します。

デフォルト値: 0

Limit:

整数 (0 ~ 65534)

出力内のコールの量を定義します。

デフォルト値: 65534

DetailLevel:

Basic/Full

これらのコールの情報の詳細レベルを設定します。

デフォルト値: Basic

SearchString:

文字列 (0, 255)

指定した表示名またはコールバック番号にコマンドが適用されるように設定できます。

デフォルト値: ""

発注:

OccurrenceTime/OccurrenceFrequency

以前のコールを表示する順序を定義します。

デフォルト値: OccurrenceTime

Camera コマンド

xCommand Camera PositionReset

適用先: *RoomBar CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/
Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

カメラの位置をデフォルトの位置にリセットします。

使用方法:

```
xCommand Camera PositionReset [Axis: Axis] CameraId: CameraId
```

説明:

Axis:

All/Focus/PanTilt/Zoom

リセットする機能を選択します。指定しない場合は、すべてがリセットされます。

デフォルト値: All

CameraId:

整数 (1..1) [RoomBar DeskPro DeskMini Desk]

*整数 (1..7) [CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/
Room70Panorama BoardPro]*

リセットするカメラの ID。

xCommand Camera PositionSet

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

カメラの位置を設定します。パン、傾き、ズーム、ロールの値を組み合わせることができない場合は、カメラによって値を有効な組み合わせに自動で調整します。

使用方法:

```
xCommand Camera PositionSet CameraId: CameraId [Focus: Focus] [Lens: Lens]  
[Pan: Pan] [Roll: Roll] [Tilt: Tilt] [Zoom: Zoom]
```

説明:

CameraId:

整数 (1..1) [RoomKit RoomKitMini RoomBar Room55 DeskPro DeskMini Desk Board]

整数 (1..7) [CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/
Room70Panorama BoardPro]

リセットするカメラ プリセットの ID。

焦点:

整数 (0 ~ 65535)

カメラの焦点を近くまたは遠くに合わせます。

Lens:

Wide/Center/Left/Right

カメラのレンズ位置を設定します。このパラメータは、Quad Camera および Room 55 Dual、Room 70、Room 70G2、Room 70 Panorama、Room Panorama に内蔵されているカメラのみに適用されます。

パン:

整数 (-17000..17000)

カメラを左または右に向けます。単位は 1/100 度です。つまり、100 は 1 度を意味します。正の値でカメラが左に、負の値でカメラが右に動きます。左と右とは、カメラの後ろから部屋を見たときの方向です。つまり、部屋からカメラのレンズを見たときの反対です。

ロール: [CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]

整数 (-300 ~ 300)

カメラビューを回転します。値が正の場合、観測されたイメージは反時計回りに回転し、値が負の場合は時計回りに回転します。単位は 1/100 度です。つまり、100 は 1 度を意味します。

チルト:

整数 (-9000..9000)

カメラを上または下に向けます。単位は 1/100 度です。つまり、100 は 1 度を意味します。正の値でカメラが上に傾き、負の値でカメラが下に傾きます。

ズーム:

整数 (0..12000)

ズームインまたはズームアウトします。単位は、HFOV (水平視野) 1/100 度、つまり、100 が 1 度を意味します。低い値は最大ズームに対応し、最大値は最小ズーム (全幅) を意味します。

xCommand Camera Preset Activate

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

保存したカメラ プリセットの 1 つをアクティブ化します。このコマンドは、発言者追跡には影響しません。発言者追跡が On の場合、プリセット位置から継続します。

xCommand Camera Preset コマンドは個々のカメラに適用されることに注意してください。

使用方法:

```
xCommand Camera Preset Activate PresetId: PresetId
```

説明:

PresetId:

整数 (1 ~ 35)

アクティブ化するカメラ プリセットの ID。

xCommand Camera Preset ActivateDefaultPosition

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

デフォルト位置が定義されている場合、カメラをその位置に設定します。デフォルト位置は、xCommand Camera Preset Store または xCommand Camera Preset Edit で定義します。各カメラに定義できるデフォルト位置は 1 つのみです。このコマンドは、発言者追跡には影響しません。発言者追跡が On の場合、プリセット位置から継続します。

使用方法:

```
xCommand Camera Preset ActivateDefaultPosition [CameraId: CameraId]
```

説明:

CameraId:

整数 (1..1) [RoomKit RoomKitMini RoomBar Room55 DeskPro DeskMini Desk Board]

整数 (1..7) [CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/
Room70Panorama BoardPro]

アクティブ化するカメラ プリセットの ID。CameraId を指定しない場合、すべてのカメラがそれぞれのデフォルト位置 (定義されている場合) に設定されます。

xCommand Camera Preset Edit

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

保存されているカメラ プリセットを編集します。xCommand Camera Preset List コマンドによって返されるリスト内のカメラ プリセットの名前と位置を変更できます。このプリセットが関連付けられたカメラのデフォルト位置であるかどうかを変更することもできます。

xCommand Camera Preset コマンドは個々のカメラに適用されることに注意してください。

使用方法:

```
xCommand Camera Preset Edit PresetId: PresetId [ListPosition: ListPosition]  
[Name: "Name"] [DefaultPosition: DefaultPosition]
```

説明:

PresetId:

整数 (1 ~ 35)

編集するカメラ プリセットの ID。

ListPosition:

整数 (1 ~ 35)

xCommand Camera Preset List コマンドによって返されるリスト内の位置。

Name:

文字列 (0, 255)

カメラ プリセットの名前。これは xCommand Camera Preset List コマンドによって返されるリストで使用されます。

DefaultPosition:

False/True

このプリセットが関連付けられたカメラのデフォルト位置であるかどうかを定義します。各カメラに定義できるデフォルト位置は 1 つのみです。したがって設定した場合は、古いデフォルトのプリセットが自動的にデフォルトとしてマークされなくなることに注意してください。

xCommand Camera Preset List

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

使用可能なカメラ プリセットに関する情報を一覧表示します。

xCommand Camera Preset コマンドは個々のカメラに適用されることに注意してください。

使用方法:

```
xCommand Camera Preset List [CameraId: CameraId] [DefaultPosition:  
DefaultPosition]
```

説明:

CameraId:

整数 (1..1) [RoomKit RoomKitMini RoomBar Room55 DeskPro DeskMini Desk Board]

整数 (1..7) [CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/
Room70Panorama BoardPro]

指定したカメラのプリセットのみをリストします。

DefaultPosition:

False/True

デフォルト位置のみ、またはデフォルト以外の位置のみをリストします。

xCommand Camera Preset Remove

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

カメラ プリセットを削除します。

xCommand Camera Preset コマンドは個々のカメラに適用されることに注意してください。

使用方法:

```
xCommand Camera Preset Remove PresetId: PresetId
```

説明:

PresetId:

整数 (1 ~ 35)

削除するカメラ プリセットの ID。

xCommand Camera Preset Show

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

要求した PresetId のプリセットの詳細を示します。

使用方法:

xCommand Camera Preset Show PresetId: PresetId

説明:

PresetId:

整数 (1 ~ 35)

確認するカメラ プリセットの ID。

xCommand Camera Preset Store

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

選択したカメラの現在の位置 (パンおよびチルト)、ズームおよび焦点を保存します。カメラは CameraId パラメータによって識別されます。

xCommand Camera Preset コマンドは個々のカメラに適用されることに注意してください。xCommand Camera Preset コマンドは、全カメラの位置をまとめて処理するのではなく、複数のカメラ位置をカメラごとに個別に処理する場合に役立ちます。個々のカメラ プリセットは遠端制御では使用できません。

使用方法:

xCommand Camera Preset Store [PresetId: PresetId] CameraId: CameraId
[ListPosition: ListPosition] [Name: "Name"] [TakeSnapshot: TakeSnapshot]
[DefaultPosition: DefaultPosition]

説明:

PresetId:

整数 (1 ~ 35)

このカメラ プリセットの ID。明示的に設定しなかった場合、コーデックがプリセット ID を自動的に割り当てます。

CameraId:

整数 (1..1) [RoomKit RoomKitMini RoomBar Room55 DeskPro DeskMini Desk Board]

整数 (1..7) [CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro]

プリセットの位置を保存するカメラを選択します。

ListPosition:

整数 (1 ~ 35)

xCommand Camera Preset List コマンドによって返されるリスト内の新しいカメラ プリセットの位置。

Name:

文字列 (0, 255)

新しいカメラ プリセットの名前。これは xCommand Camera Preset List コマンドによって返されるリストで使用されます。

TakeSnapshot:

False/True

プレビューのスナップショットを許可または禁止します。

DefaultPosition:

False/True

このプリセットを関連付けられたカメラのデフォルト位置にするかどうかを定義します。各カメラが維持できるデフォルト位置は 1 つのみです。したがって設定した場合は、古いデフォルトのプリセットが自動的にデフォルトとしてマークされなくなることに注意してください。

xCommand Camera Ramp

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

指定した方向にカメラを移動します。停止コマンドが発行されるまで、カメラは指定された速度で動きます。デジチェーンでは、指定するカメラの CameraId を知っておく必要があります。パンとチルトは同時に操作できますが、その他の組み合わせでは不可能であることに注意してください。後者の場合、指定した最初の操作のみが実行されます。たとえば、ズームとパンを同時に実行しようとすると、ズームだけが実行されます。

注: カメラを停止するには、停止コマンドを実行する必要があります。下の例を参照してください。

使用方法:

```
xCommand Camera Ramp CameraId: CameraId [Pan: Pan] [PanSpeed: PanSpeed]  
[Tilt: Tilt] [TiltSpeed: TiltSpeed] [Zoom: Zoom] [ZoomSpeed: ZoomSpeed]  
[Focus: Focus]
```

説明:

CameraId:

整数 (1..1) [RoomKit RoomKitMini RoomBar Room55 DeskPro DeskMini Desk Board]

整数 (1..7) [CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/
Room70Panorama BoardPro]

カメラを選択します。

パン:

Left/Right/Stop

カメラを左 (Left) または右 (Right) に向けます (その後、Stop (停止) を指定します)。

PanSpeed:

整数 (1..24)

パン速度を設定します。

チルト:

Down/Up/Stop

カメラを上 (Up) または下 (Down) に向けます (その後、停止 (Stop) を指定します)。

TiltSpeed:

整数 (1..24)

チルト速度を設定します。

ズーム:

In/Out/Stop

カメラをズームイン (In) またはズームアウト (Out) させます (その後、停止 (Stop) を指定します)。

ZoomSpeed:

整数 (1 ~ 15)

ズーム速度を設定します。

焦点:

Far/Near/Stop

カメラの焦点を遠距離 (Far) または近距離 (Near) に合わせます (その後、Stop (停止) を指定します)。

xCommand Camera TriggerAutofocus

適用先: CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

オートフォーカス機能をトリガーします。カメラが、オートフォーカス機能をサポートしている必要があります。

使用方法:

```
xCommand Camera TriggerAutofocus CameraId: CameraId
```

説明:

CameraId:

整数 (1 ~ 7)

オートフォーカスにするカメラを選択します。

xCommand Camera TriggerWhitebalance

適用先: CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

サポートされている Sony IP カメラでホワイトバランスの One Push をトリガーします。

参考に白い紙をカメラの前にかざし、フレームを埋めます。ホワイトバランスは、環境光に合わせて調整されます。

このコマンドは、[ホワイトバランス (White Balance)] モードが手動に設定されている場合にのみ適用されます。

使用方法:

```
xCommand Camera TriggerWhitebalance CameraId: CameraId
```

説明:

CameraId:

整数 (1 ~ 7)

ホワイトバランスをトリガーするカメラを選択します。

Cameras コマンド

xCommand Cameras AutoFocus Diagnostics Start

適用対象: [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

オート フォーカスの診断を開始します。

使用方法:

xCommand Cameras AutoFocus Diagnostics Start CameraId: CameraId

説明:

CameraId:

1..7

診断するカメラを選択します。

xCommand Cameras AutoFocus Diagnostics Stop

適用対象: [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

オート フォーカスの診断を停止します。

使用方法:

xCommand Cameras AutoFocus Diagnostics Stop CameraId: CameraId

説明:

CameraId:

1..7

診断するカメラを選択します。

xCommand Cameras Background Clear

適用先: [DeskPro](#) [DeskMini](#) [Desk](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

ユーザーがインストールした背景画像をすべて削除します。

使用方法:

xCommand Cameras Background Clear

xCommand Cameras Background Delete

適用先: [DeskPro](#) [DeskMini](#) [Desk](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

指定されたユーザー提供のカメラ背景画像を削除します。

使用方法:

xCommand Cameras Background Delete Image: Image

説明:

イメージ:

User1/User2/User3

User1、User2、および User3 は、アップロードされた画像をインストールできるスロットです。

xCommand Cameras Background Fetch

適用先: [DeskPro](#) [DeskMini](#) [Desk](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

指定された URL から画像をアップロードし、選択された User1 ~ 3 のスロットにインストールします。

使用方法:

xCommand Cameras Background Fetch [Checksum: "Checksum"] [ChecksumType: ChecksumType] Image: Image Url: "Url"

説明:

Checksum:

文字列 (0, 128)

画像ファイルのチェックサム。

ChecksumType:

SHA512

指定されたチェックサムのタイプ。

デフォルト値: SHA512

イメージ:

User1/User2/User3

User1、User2、および User3 は、アップロードされた画像をインストールできるスロットです。

URL:

文字列 (8, 2048)

画像の URL。

xCommand Cameras Background ForegroundParameters Reset

適用先: [DeskPro](#) [DeskMini](#) [Desk](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

[イマーシブシェア (Immersive Share)] モードで使用されます。前景画像のサイズ、位置、不透明度をフルサイズ、中央揃え、不透明に設定します。

このコマンドは、セルフビュー画像の仮想背景として HDMI または USB-C 入力を使用している場合にのみ関連します。

使用方法:

```
xCommand Cameras Background ForegroundParameters Reset
```

xCommand Cameras Background ForegroundParameters Set

適用先: [DeskPro](#) [DeskMini](#) [Desk](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

[イマーシブシェア (Immersive Share)] モードで使用されます。前景画像のサイズ、位置、不透明度を設定します。

共有画像の構図を設定して、カメラビデオ全体を前景または背景に表示することもできます。

このコマンドは、セルフビュー画像の仮想背景として HDMI または USB-C 入力を使用している場合にのみ関連します。

使用方法:

```
xCommand Cameras Background ForegroundParameters Set [Composition:  
Composition] [Opacity: Opacity] [Scale: Scale] [X: X] [Y: Y]
```

説明:

Composition:

Blend/CameraPip/VideoPip

Blend: PC 入力の上にカメラ入力の前景部分をレンダリングします。これは、プレゼンテーションビデオで透明な背景を使用していて浮いているように見える人の典型的なビューです。PC 入力は全画面表示でレンダリングされ、X、Y、Scale パラメータはカメラ入力の位置を制御します。

CameraPip: カメラ入力を PC 入力の上にピクチャーインピクチャーとしてレンダリングします。これにより、プレゼンテーションビデオに長方形として配置されている背景を含むカメラ画像全体が表示されます。PC 入力は全画面表示でレンダリングされ、X、Y、Scale パラメータはカメラ入力の位置を制御します。

VideoPip: PC 入力をカメラ入力の上にピクチャーインピクチャーとしてレンダリングします。これにより、背景を含むカメラビュー全体に配置された長方形にプレゼンテーションビデオが表示されます。カメラ入力は全画面でレンダリングされ、X、Y、Scale パラメータは PC 入力の位置を制御します。

不透明度:

整数 (0 ~ 100)

前景画像の不透明度。100 は画像が不透明であることを意味し、値が低いほど画像を通して背景がよりよく見えることを意味し、0 は背景のみが見えることを意味します。

規模:

整数 (1 ~ 100)

背景に対する前景画像のサイズ (パーセント)。100 はフルサイズ、1 はセルフビュー画像なしです。

X:

整数 (0 ~ 10000)

前景画像の中心の位置 (水平方向)。0 は左端、5000 は中央、10000 は右端です。

Y:

整数 (0 ~ 10000)

前景画像の中心の位置 (垂直方向)。0 は上端、5000 は中央、10000 は下端です。

xCommand Cameras Background Get

適用先: *DeskPro DeskMini Desk*

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

指定されたスロットでユーザーがアップロードした画像の画像データを取得します。

対象となるユーザーは、ユーザーインターフェイス (例: settings.webex.com) であり、サムネイルまたは大きなバージョンのユーザー画像を表示できるようにします。

使用方法:

xCommand Cameras Background Get Image: Image [Size: Size]

説明:

イメージ:

User1/User2/User3

User1、User2、および User3 は、アップロードされた画像をインストールできるスロットです。

サイズ:

Large/Thumbnail

表示する画像サイズ。

デフォルト値: Large

xCommand Cameras Background List

適用先: *DeskPro DeskMini Desk*

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

各ユーザー背景画像スロット、User1、User2 および User3 のインストール済み/未インストールを表示します。

使用方法:

xCommand Cameras Background List

xCommand Cameras Background Set

適用先: *DeskPro DeskMini Desk*

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

カメラの背景設定を指定します。このコマンドを有効にするには、Cameras Background Enabled 構成は True に設定する必要があります。

使用方法:

xCommand Cameras Background Set [Image: Image] [Mode: Mode]

説明:

イメージ:

Image1/Image2/Image3/Image4/Image5/Image6/Image7/User1/User2/User3

背景として使用する画像。画像を表示するには、Mode パラメータを「Image」に設定する必要があります。

Image1、Image2、Image3、Image4、Image5、Image6、Image7: プリインストールされた画像。

User1、User2、User3: ユーザーがアップロードした画像。

Mode:

Disabled/Blur/BlurMonochrome/DepthOfField/Hdmi/Monochrome/Image/UsbC [DeskPro Desk]

Disabled/Blur/BlurMonochrome/DepthOfField/Monochrome/Image/UsbC [DeskMini]

背景画像のモード。次のオプションがあります。

Disabled: カメラビューの背景をマスクする画像や効果はありません。

Blur: 背景をぼかします。

BlurMonochrome: ぼかしとモノクロの組み合わせ (色なしのぼかし)。

DepthOfField: ぼかしが少ないぼかしのバリエーション。

Hdmi: HDMI 入力はライブ背景を提供します。

Monochrome: 画像をグレースケールで表示します。

Image: 画像が背景を提供します。

UsbC: USB-C はライブ背景を提供します。

xCommand Cameras Background Upload

適用先: [DeskPro](#) [DeskMini](#) [Desk](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

画像データをアップロードし、選択した User1 ~ 3 スロットにインストールします。

アップロードするコンテンツは、Base64 でエンコードされた画像データとして以下のようになります。Base64 エンコード後の最大サイズは 8 MB です。

これは複数行コマンドです。

Use:

```
xCommand Cameras Background Upload <enter>
```

```
Encoded image text <enter>
```

```
. <enter>
```

使用方法:

xCommand Cameras Background Upload Image: [Image](#)

説明:

イメージ:

User1/User2/User3

User1、User2、および User3 は、アップロードされた画像をインストールできるスロットです。

xCommand Cameras PresenterTrack ClearPosition

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [BoardPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

ステージの概観画像用に保存してあるプレゼンター トラッキング カメラ位置をクリアします。カメラ位置をクリアした後も PresenterTrack 機能は作動しますが、アクティブ化したときにカメラは定義済みの位置を表示しなくなります。

このコマンドは、プレゼンターの追跡に PTZ 4K または Precision 60 カメラでデバイスを使用する場合にのみ適用されます。

使用方法:

```
xCommand Cameras PresenterTrack ClearPosition
```

xCommand Cameras PresenterTrack Set

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [BoardPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

プレゼンター トラッキング モードを設定します。

このコマンドは、プレゼンターの追跡に PTZ 4K または Precision 60 カメラでデバイスを使用する場合にのみ適用されます。このコマンドは、PresenterTrack 機能が有効になっている場合にのみ有効です。「Cameras PresenterTrack Enabled 設定」を参照してください。

使用方法:

```
xCommand Cameras PresenterTrack Set Mode: Mode
```

説明:

Mode:

Off/Follow/Diagnostic/Background/Setup/Persistent

Off: プレゼンター トラッキングをオフにします。

Follow: プレゼンター トラッキングをオンにします。これは機能がユーザーインターフェイスからアクティブ化された場合のデフォルトモードです。カメラが異なる事前設定に移動した場合、別のカメラが選択された場合、またはスタンバイ状態がアクティブになった場合、プレゼンター トラッキングは自動的にオフになります。

Diagnostic: プレゼンター トラッキングのトラブルシューティングを行う、またはデバイス画面で何か起きているかを正確に確認するには診断モードをオンにします。診断モードでは、画面にいくつかのアクティビティがあります。画面には、概要画像、および次に示す矩形/正方形が表示されます。

*赤色: トリガー ゾーン。

*黄色: プレゼンターのクロップ イメージ。頭部をトラッキングしている間のみ表示されます。

*緑色: 頭部が検出され、追跡されることを示します。

*緑色に点滅: 頭部検出が有効化されていることを示します。追跡対象の人物の頭部が有効でないとは判別されると、この正方形は赤色になります。

*赤色に点滅: 頭部検出が無効であることを示します。数秒後、追跡を停止します。

*青色: 頭部が検出されたが、追跡していないことを示します。

Background: この設定はコーデックの内部スクリプトで使用されます。イメージのクロップなしでのプレゼンター追跡をオンにします。

Setup: この設定は、PresenterTrack 機能の設定時にデバイス画面上にトリガー ゾーンを表示するためにコーデックの Web インターフェイスで使用されます。

Persistent: この設定はコーデックの内部スクリプトで使用されます。プレゼンター トラッキングを永続的モードでオンにします。カメラが別のプリセットに移ると、永続モードは自動的にオフになります。

xCommand Cameras PresenterTrack StorePosition

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [BoardPro](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

ステージの概観画像用に、プレゼンター トラッキング カメラの現在の位置を保存します。機能がアクティブになると、プレゼンター トラッキング カメラがこの位置に移動します。

このコマンドは、プレゼンターの追跡に PTZ 4K または Precision 60 カメラでデバイスを使用する場合にのみ適用されます。

使用方法:

```
xCommand Cameras PresenterTrack StorePosition
```

xCommand Cameras SpeakerTrack Activate

適用対象: [すべての製品](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

SpeakerTrack またはベスト オーバービュー モードをアクティブにします。xConfiguration Cameras SpeakerTrack Mode を Auto (デフォルト) に設定する必要があります。

このコマンドは、スピーカートラッキングまたはベスト オーバービューをサポートしているカメラを使用しているデバイスにのみ適用されます。

使用方法:

```
xCommand Cameras SpeakerTrack Activate
```

xCommand Cameras SpeakerTrack Deactivate

適用対象: [すべての製品](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

SpeakerTrack またはベスト オーバービュー モードを非アクティブにします。

このコマンドは、スピーカートラッキングまたはベスト オーバービューをサポートしているカメラを使用しているデバイスにのみ適用されます。

使用方法:

```
xCommand Cameras SpeakerTrack Deactivate
```

xCommand Cameras SpeakerTrack BackgroundMode Activate

適用対象: [すべての製品](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN

バックグラウンドで発言者追跡/best overview アルゴリズムの実行を開始します。つまり、相手側に送信されるセルフビューやビデオに変更を加えることはありません。

使用方法:

```
xCommand Cameras SpeakerTrack BackgroundMode Activate
```

xCommand Cameras SpeakerTrack BackgroundMode Deactivate

適用対象: [すべての製品](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN

バックグラウンドで発言者追跡/best overview アルゴリズムの実行を停止し、通常の発言者追跡/best overview モードに戻します。

使用方法:

```
xCommand Cameras SpeakerTrack BackgroundMode Deactivate
```

xCommand Cameras SpeakerTrack Diagnostics Start

適用対象: [すべての製品](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

カメラの追跡の診断を開始し、検出されている発言者、グループ、フレームを確認できるようにします。

このコマンドは、スピーカートラッキングまたはベスト オーバービューをサポートしているカメラを使用しているデバイスにのみ適用されます。Tracking パラメータは、SpeakerTrack 60 カメラのみに適用されます。

使用方法:

```
xCommand Cameras SpeakerTrack Diagnostics Start [Tracking: Tracking]
```

説明:

トラッキング:

On/Off

On: 両方のカメラの診断が同時に表示されます。このモードでは、SpeakerTrack の標準動作と同一のルーム内で誰が話しているかによってトラッキングが決まります。

Off: 一度に 1 台のカメラの診断を表示します。15 秒間隔で一方のカメラからもう一方のカメラに診断が切り替えられ、アクティブなカメラに関連する診断が表示されます。カメラは両方もフル ワイドの位置を維持します。一度に 1 台のカメラのトラッキング診断を表示する場合は、Tracking: Off を使用します。

デフォルト値: On

xCommand Cameras SpeakerTrack Diagnostics Stop

適用対象: [すべての製品](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

カメラ トラッキングの診断を停止します。

使用方法:

```
xCommand Cameras SpeakerTrack Diagnostics Stop
```

xCommand Cameras SpeakerTrack Frames Activate

適用先: RoomKit RoomKitMini RoomBar CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama Board BoardPro

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

[フレーム (Frames)] モードを有効にします。xConfiguration Cameras SpeakerTrack Frames Mode と xConfiguration Cameras SpeakerTrack Mode を デフォルトの [自動 (Auto)] にする必要があります。このコマンドは、発言者追跡対応カメラ搭載のデバイスだけに適用されます。

フレームは、このソフトウェアバージョンの Room 70 Panorama および Room Panorama では使用できません。

使用方法:

```
xCommand Cameras SpeakerTrack Frames Activate
```

xCommand Cameras SpeakerTrack Frames Deactivate

適用先: RoomKit RoomKitMini RoomBar CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama Board BoardPro

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

[フレーム (Frames)] モードを無効にします。

フレームは、このソフトウェアバージョンの Room 70 Panorama および Room Panorama では使用できません。

使用方法:

```
xCommand Cameras SpeakerTrack Frames Deactivate
```

xCommand Cameras SpeakerTrack ViewLimits Activate

適用先: RoomKit RoomKitMini RoomBar CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama Board BoardPro

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

発言者追跡用制限付き最大カメラビューを開始します (Cameras SpeakerTrack ViewLimits StorePosition コマンドを参照)。カメラの全範囲を常に手動でカメラ制御できます。

使用方法:

```
xCommand Cameras SpeakerTrack ViewLimits Activate
```

xCommand Cameras SpeakerTrack ViewLimits Deactivate

適用先: RoomKit RoomKitMini RoomBar CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama Board BoardPro

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

発言者追跡用制限付き最大カメラビューを停止します (Cameras SpeakerTrack ViewLimits StorePosition コマンドを参照)。代わりに、完全にズームアウトされたカメラビューが使用されます。

使用方法:

```
xCommand Cameras SpeakerTrack ViewLimits Deactivate
```

xCommand Cameras SpeakerTrack ViewLimits StorePosition

適用先: RoomKit RoomKitMini RoomBar CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama Board BoardPro

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

現在のカメラビューを発言者追跡用の最大ビュー (部屋の概要) として保存します。このようにして、デフォルトの最大ビューを制限して、部屋の一部を除外できます。制限を設定しない場合、発言者追跡の最大ビューは、完全にズームアウトされたカメラビューです。

使用方法:

```
xCommand Cameras SpeakerTrack ViewLimits StorePosition
```

xCommand Cameras SpeakerTrack Whiteboard ActivatePosition

適用先: RoomKit RoomBar CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

このコマンドは、このソフトウェアバージョンではサポートされていない [ホワイトボードへのスナップ (Snap to whiteboard)] 機能に属しています。

使用方法:

```
xCommand Cameras SpeakerTrack Whiteboard ActivatePosition
```

xCommand Cameras SpeakerTrack Whiteboard AlignPosition

適用対象: CodecPlus CodecPro

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

このコマンドは、このソフトウェアバージョンではサポートされていない [ホワイトボードへのスナップ (Snap to whiteboard)] 機能に属しています。

使用方法:

```
xCommand Cameras SpeakerTrack Whiteboard AlignPosition
```

xCommand Cameras SpeakerTrack Whiteboard SetDistance

適用先: RoomKit RoomBar CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D
Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

このコマンドは、このソフトウェアバージョンではサポートされていない [ホワイトボードへのスナップ (Snap to whiteboard)] 機能に属しています。

使用方法:

```
xCommand Cameras SpeakerTrack Whiteboard SetDistance
```

xCommand Cameras SpeakerTrack Whiteboard StorePosition

適用先: RoomKit RoomBar CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D
Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

このコマンドは、このソフトウェアバージョンではサポートされていない [ホワイトボードへのスナップ (Snap to whiteboard)] 機能に属しています。

使用方法:

```
xCommand Cameras SpeakerTrack Whiteboard StorePosition
```

Conference コマンド

xCommand Conference AdmitAll

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

仮想ロビーで待機しているすべての参加者が通話または会議に参加できます。Webex Meetings のホストと共同主催者が利用できます。デバイスは、Webex クラウドサービスに登録されているか、Webex Edge for Devices にリンクされている必要があります。

Conference ParticipantList Search コマンドの結果が「waiting」ステータスの場合、参加者は参加待ちになっています (*r ParticipantListSearchResult Participant [n] Status = "waiting")。

使用方法:

```
xCommand Conference AdmitAll [CallId: CallId]
```

説明:

CallId:

整数 (0 ~ 65534)

CallId は、アクティブな会議に対応するために使用される一意の番号です。Dial コマンドまたは Webex Join コマンドを実行すると、CallId が返されます。会議中に、xStatus Call 実行すると CallId を確認できます。

xCommand 会議コール認証応答

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

このコマンドは、Webex に登録されているデバイスでのみ使用できます。このコマンドは、Conference Call[n] AuthenticationRequest のステータスに基づいて、認証リクエストに応答します。

使用方法:

```
xCommand Conference Call AuthenticationResponse [CallId: CallId]  
ParticipantRole: ParticipantRole [Pin: "Pin"]
```

説明:

CallId:

整数 (1 ~ 65534)

コールの固有識別子。コール中の場合は xStatus Call コマンドを実行して CallId を表示できます。

デフォルト値: 0

ParticipantRole:

Guest/Host/Panelist

Guest: ゲストとして参加ゲストに特別な権限はありません。Webex ウェビナー参加者にも特別な権限はありません。

Host: ホストとして参加ホストには、ミーティングを管理できる権限があります。

Panelist: パネリストとして参加Webex ウェビナーでは、パネリストはプレゼンテーションに参加できます。

Pin:

文字列 (0, 32)

PIN コード個人識別番号は、末尾に「#」を付けて入力する必要があります。ホスト、パネリストまたはゲストとして参加し、Conference Call[n] AuthenticationRequest ステータスに、該当ロールでは個人識別番号コードが必須であると示されている場合、個人識別番号コードを入力する必要があります。

デフォルト値: ""

xCommand Conference DoNotDisturb Activate

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

このコマンドはサイレント モードをオンにし、Timeout パラメータを使用することで再度オフにする時期を制御できます。サイレントがオンになると、すべての着信コールは拒否されて不在着信として登録されます。発信者はビジー信号を受信します。

使用方法:

```
xCommand Conference DoNotDisturb Activate [Timeout: Timeout]
```

説明:

タイムアウト:

整数 (1..20160)

サイレントがオフになるまでの分数を設定します。設定されていない場合、会議の DoNotDisturb DefaultTimeout 設定で構成されているようにサイレントがタイムアウトします。

xCommand Conference DoNotDisturb Deactivate

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

サイレント モードをオフにします。サイレントがオフになると、着信コールは通常どおり着信します。

使用方法:

```
xCommand Conference DoNotDisturb Deactivate
```

xCommand Conference EndMeeting

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

すべての参加者の会議を終了します。

このコマンドは、Webex Meetings のホストと共同主催者で使用できます。デバイスは、Webex クラウドサービスに登録されているか、Webex Edge for Devices にリンクされている必要があります。

使用方法:

```
xCommand Conference EndMeeting [CallId: CallId]
```

説明:

CallId:

整数 (0 ~ 65534)

CallId は、アクティブな会議に対応するために使用される一意の番号です。Dial コマンドまたは Webex Join コマンドを実行すると、CallId が返されます。会議中に、xStatus Call 実行すると CallId を確認できます。

xCommand Conference Hand Lower

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

手を下げます。[挙手 (Raise Hand)] 機能を使用して、質問やコメントがあることをホストに知らせます。挙手は、3 名以上の参加者がいる会議でのみ使用できます。Webex Spaces から開始されたミーティングでは使用できません。

使用方法:

```
xCommand Conference Hand Lower CallId: CallId
```

説明:

CallId:

整数 (0 ~ 65534)

コールの固有識別子。コール中の場合は xStatus Call コマンドを実行して CallId を表示できます。

xCommand Conference Hand Raise

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

挙手します。[挙手 (Raise Hand)] 機能を使用して、質問やコメントがあることをホストに知らせます。挙手は、3 名以上の参加者がいる会議でのみ使用できます。Webex Spaces から開始されたミーティングでは使用できません。

使用方法:

```
xCommand Conference Hand Raise CallId: CallId
```

説明:

CallId:

整数 (0 ~ 65534)

コールの固有識別子。コール中の場合は xStatus Call コマンドを実行して CallId を表示できます。

xCommand Conference HardMute

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

通話または会議参加者をミュートし、自分でミュートを解除できないようにします。

このコマンドは、Webex Meetings のホストと共同主催者で使用できます。デバイスは、Webex クラウドサービスに登録されているか、Webex Edge for Devices にリンクされている必要があります。

使用方法:

```
xCommand Conference HardMute [CallId: CallId] HardMute: HardMute
```

説明:

CallId:

整数 (0 ~ 65534)

CallId は、アクティブな会議に対応するために使用される一意の番号です。Dial コマンドまたは Webex Join コマンドを実行すると、CallId が返されます。会議中に、xStatus Call 実行すると CallId を確認できます。

HardMute:

Off/On

Off:参加者が自分でミュートを解除できます。

On:参加者は自分でミュートを解除できません。

xCommand Conference Lock

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

招待していない参加者が会議に参加するのを防ぐために Webex Meetings をロックします。

このコマンドは、Webex Meetings のホストと共同主催者で使用できます。デバイスは、Webex クラウドサービスに登録されているか、Webex Edge for Devices にリンクされている必要があります。

使用方法:

```
xCommand Conference Lock CallId: CallId Lock: Lock
```

説明:

CallId:

整数 (0 ~ 65534)

CallId は、アクティブな会議に対応するために使用される一意の番号です。Dial コマンドまたは Webex Join コマンドを実行すると、CallId が返されます。会議中に、xStatus Call 実行すると CallId を確認できます。

Lock:

Off/On

Off: ミーティングはロックされておらず、誰でもミーティングに参加できます。

On: ミーティングはロックされており、ゲストは入室するまでロビーで待機する必要があります。

xCommand Conference LowerAllHands

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

会議参加者全員の手を下ろします。

使用方法:

```
xCommand Conference LowerAllHands [CallId: CallId]
```

説明:

CallId:

整数 (0 ~ 65534)

コールの固有識別子。コール中の場合は xStatus Call コマンドを実行して CallId を表示できます。

xCommand Conference MeetingAssistant Start

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

このバージョンでは適用されません。

使用方法:

```
xCommand Conference MeetingAssistant Start
```

xCommand Conference MeetingAssistant Stop

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

このバージョンでは適用されません。

使用方法:

```
xCommand Conference MeetingAssistant Stop
```

xCommand Conference MuteAll

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

発言者と現在共有している参加者を除くすべての参加者をミュートします。

このコマンドは、Webex Meetings のホストと共同主催者で使用できます。デバイスは、Webex クラウドサービスに登録されているか、Webex Edge for Devices にリンクされている必要があります。

使用方法:

xCommand Conference MuteAll [CallId: CallId] AudioMute: AudioMute

説明:

CallId:

整数 (0 ~ 65534)

CallId は、アクティブな会議に対応するために使用される一意の番号です。Dial コマンドまたは Webex Join コマンドを実行すると、CallId が返されます。会議中に、xStatus Call 実行すると CallId を確認できます。

AudioMute:

Off/On

Off: サーバー側でミュートを解除しますが、ローカルのミュート状態は変更しません。

xCommand Conference HardMute HardMute:On が発行されていない限り、参加者は、ローカルで自分自身をミュート/ミュート解除できます。

On: 発言者と現在共有している参加者を除くすべての参加者サーバー側でミュートされます。

xCommand Conference HardMute HardMute:On が発行されていない限り、参加者はローカルで自分自身をミュート解除できません。

xCommand Conference MuteOnEntry

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

参加者がミーティングに参加するときに、すべての参加者をミュートにするかどうかを決定します。参加者は、後でミュート/ミュート解除ができます。

このコマンドは、Webex Meetings のホストと共同主催者で使用できます。デバイスは、Webex クラウドサービスに登録されているか、Webex Edge for Devices にリンクされている必要があります。

使用方法:

xCommand Conference MuteOnEntry [CallId: CallId] MuteOnEntry: MuteOnEntry

説明:

CallId:

整数 (0 ~ 65534)

CallId は、アクティブな会議に対応するために使用される一意の番号です。Dial コマンドまたは Webex Join コマンドを実行すると、CallId が返されます。会議中に、xStatus Call 実行すると CallId を確認できます。

MuteOnEntry:

Off/On

Off: ミーティングに参加している参加者はミュートされません。

On: ミーティングに参加している参加者はミュートされます。

xCommand Conference Participant Admit

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

待機している参加者に対して、コールまたはミーティングへの参加を許可します。このコマンドは、Webex に登録されているデバイスでのみ使用できます。

会議の ParticipantList Search コマンドの結果が「待機中」になっている場合、参加者は許可を待っている状態になります (*r ParticipantListSearchResult Participant [n] Status = "waiting")。

使用方法:

xCommand 会議参加者の許可 CallId: CallId ParticipantId: "ParticipantId"

説明:

CallId:

整数 (0 ~ 65534)

コールの固有識別子。コール中の場合は xStatus Call コマンドを実行して CallId を表示できます。

ParticipantId:

文字列 (0, 255)

コール中の参加者を表す一意の識別子です。会議参加者の参加者 ID を表示するには、xCommand Conference ParticipantList Search を実行します。

xCommand 会議参加者の切断

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

参加者をコールまたは会議から切断します。会議用の Conference Call[n] Capabilities ParticipantDisconnect ステータスが Available になっている場合に限り、その参加者を切断することができます。

使用方法:

xCommand 会議参加者切断 CallId: CallId ParticipantId: "ParticipantId"

説明:

CallId:

整数 (0 ~ 65534)

コールの固有識別子。コール中の場合は xStatus Call コマンドを実行して CallId を表示できます。

ParticipantId:

文字列 (0, 255)

コール中の参加者を表す一意の識別子です。会議参加者の参加者 ID を表示するには、xCommand Conference ParticipantList Search を実行します。

xCommand Conference Participant LowerHand

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

会議参加者の手を下ろします。

使用方法:

xCommand Conference Participant LowerHand CallId: CallId ParticipantId: "ParticipantId"

説明:

CallId:

整数 (0 ~ 65534)

コールの固有識別子。コール中の場合は xStatus Call コマンドを実行して CallId を表示できます。

ParticipantId:

文字列 (0, 255)

コール中の参加者を表す一意の識別子です。会議参加者の参加者 ID を表示するには、xCommand Conference ParticipantList Search を実行します。

xCommand 会議参加者のミュート

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

コールまたは会議中の参加者をミュートにします。Conference Call[n] Capabilities ParticipantMute ステータスが Available である場合のみ、参加者をミュートできます。

使用方法:

xCommand 会議参加者のミュート AudioMute: AudioMute CallId: CallId ParticipantId: "ParticipantId"

説明:

AudioMute:

On/Off

参加者の必要なミュート状態を示します。

CallId:

整数 (0 ~ 65534)

コールの固有識別子。コール中の場合は xStatus Call コマンドを実行して CallId を表示できます。

ParticipantId:

文字列 (0, 255)

コール中の参加者を表す一意の識別子です。会議参加者の参加者 ID を表示するには、xCommand Conference ParticipantList Search を実行します。

xCommand Conference ParticipantList Search

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

会議参加者に関する詳細を返します。追加のパラメータを指定することで、結果をフィルタ処理できます。

使用方法:

xCommand Conference ParticipantList Search [CallId: CallId] [Limit: Limit] [Offset: Offset] [PartialRosterId: PartialRosterId] [SearchString: "SearchString"]

説明:

CallId:

整数 (0 ~ 65534)

コールの固有識別子。会議中に、xStatus Call 実行すると CallId を確認できます。

デフォルト値: 0

Limit:

整数 (0 ~ 65534)

結果に表示される参加者の数を制限します。たとえば、Limit を 10 に設定した場合、結果のセットには、ヒットの総数が 10 より多くても、2 エントリだけが含まれます。

Default value: 1000

Offset:

整数 (0 ~ 65534)

指数 X から始まるレコードのリストを返します。X は補正值です。たとえば、補正值が 1 の場合、リストは参加者 2 から始まります。

デフォルト値: 0

PartialRosterId:

整数 (0 ~ 65534)

システム内部用。

デフォルト値: 0

SearchString:

文字列 (0, 255)

指定された Uri または DisplayName を持つ参加者に結果を制限します。コールのすべての参加者を返すように検索する場合は、このパラメータを空のままにします。

デフォルト値: ""

xCommand Conference Reaction Disable

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

Webex 会議中に参加者が絵文字で反応するのを防ぎます。

このコマンドは、Webex Meetings のホストと共同主催者で使用できます。デバイスは、Webex クラウドサービスに登録されているか、Webex Edge for Devices にリンクされている必要があります。

使用方法:

```
xCommand Conference Reaction Disable [CallId: CallId]
```

説明:

CallId:

整数 (0 ~ 65534)

CallId は、アクティブな会議に対応するために使用される一意の番号です。Dial コマンドまたは Webex Join コマンドを実行すると、CallId が返されます。会議中に、xStatus Call 実行すると CallId を確認できます。

xCommand Conference Reaction Enable

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

参加者が Webex 会議中に絵文字で反応できるようにします。

このコマンドは、Webex Meetings のホストと共同主催者で使用できます。デバイスは、Webex クラウドサービスに登録されているか、Webex Edge for Devices にリンクされている必要があります。

使用方法:

```
xCommand Conference Reaction Enable [CallId: CallId]
```

説明:

CallId:

整数 (0 ~ 65534)

CallId は、アクティブな会議に対応するために使用される一意の番号です。Dial コマンドまたは Webex Join コマンドを実行すると、CallId が返されます。会議中に、xStatus Call 実行すると CallId を確認できます。

xCommand Conference Reaction Send

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

Webex 会議中にリアクション (絵文字) を送信します。

デバイスは、Webex クラウドサービスに登録されているか、Webex Edge for Devices にリンクされている必要があります。

使用方法:

```
xCommand Conference Reaction Send [CallId: CallId] ReactionType: ReactionType
```

説明:

CallId:

整数 (0 ~ 65534)

CallId は、アクティブな会議に対応するために使用される一意の番号です。Dial コマンドまたは Webex Join コマンドを実行すると、CallId が返されます。会議中に、xStatus Call 実行すると CallId を確認できます。

ReactionType:

Celebrate/Clap/Fire/Haha/Heart/Prayer/Sad/SlowDown/Smile/SpeedUp/ThumbDown/ThumbUp/Wow

送信する絵文字の種類を選択します。

xCommand Conference Recording Pause

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

会議の録音を一時停止するかどうかを定義します。会議の録音時に録音を一時停止する場合は、この設定を使用できます。この録音を再開するには、Conference Recording Resume を使用します。

使用方法:

```
xCommand 会議の録音一時停止 [CallId: CallId]
```

説明:

CallId:

整数 (1 ~ 65534)

リモート参加者の CallId を識別します。

xCommand Conference Recording Resume

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

会議の録音を再開するかどうかを定義します。会議の録音をするとき、既に一時停止している録音を再開する場合にこの設定を使用することができます。

使用方法:

xCommand Conference Recording Resume [CallId: CallId]

説明:

CallId:

整数 (1 ~ 65534)

リモート参加者の CallId を識別します。

xCommand 会議の録音開始

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

会議を録音するかどうかを定義します。録音を開始する場合は、会議に参加した時点で、この設定を使用できます。録音コマンドは、インフラストラクチャ (Cisco Meeting Server) が録音をサポートしている場合のみ使用できます。

使用方法:

xCommand 会議の録音開始 [CallId: CallId]

説明:

CallId:

整数 (1 ~ 65534)

リモート参加者の CallId を識別します。

xCommand 会議の録音停止

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

会議の録音を停止するかどうかを定義します。会議の録音時に、この設定を使用して録音を停止することができます。

使用方法:

xCommand 会議の録音停止 [CallId: CallId]

説明:

CallId:

整数 (1 ~ 65534)

リモート参加者の CallId を識別します。

xCommand Conference SkinTone

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

今後送信する絵文字に使用する肌の色を選択します。肌の色は、親指を立てる絵文字や拍手の絵文字などの手のジェスチャーを使用するリアクションに使用できます。パーソナルモードデバイスの場合、肌の色は会議間で維持され、共有モードの場合は、会議が終了したらリセットされます。デバイスは、Webex クラウドサービスに登録されているか、Webex Edge for Devices にリンクされている必要があります。

使用方法:

xCommand Conference SkinTone SkinTone: SkinTone

説明:

SkinTone:

整数 (1 ~ 6)

1 はニュートラル (黄色)、2 は最も明るい肌の色、6 は最も暗い肌の色のオプションです。

xCommand Conference SpeakerLock Release

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

xCommand Conference SpeakerLock Set によって設定されたロック中のスピーカーを解除します。デフォルトの音声スイッチングがオンに戻ります。

使用方法:

xCommand Conference SpeakerLock Release

xCommand Conference SpeakerLock Set

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

手動でいずれかのスピーカーを重要スピーカーの位置にロックする場合に使用します。これによってデフォルトの音声スイッチングは上書きされます。

使用方法:

```
xCommand Conference SpeakerLock Set Target: Target [CallId: CallId]
```

説明:

ターゲット:

ローカル/リモート

ローカル参加者かリモート参加者かを特定します。

CallId:

整数 (0 ~ 65534)

リモート参加者の CallId を識別します。Target が「remote」に設定されている場合にのみ該当します。

デフォルト値: 0

xCommand Conference TransferHostAndLeave

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

自分がホストしているミーティングから退出できますが、他の参加者はミーティングを続行できます。新しいホストが自動的に割り当てられます

使用方法:

```
xCommand Conference TransferHostAndLeave [CallId: CallId]
```

説明:

CallId:

整数 (1 ~ 65534)

コールの固有識別子。会議中の場合は xStatus Call コマンドを実行して CallId を表示できます。

Diagnostics コマンド

xCommand Diagnostics Run

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

このコマンドは、デバイス上で自己診断コマンドを実行します。

使用方法:

```
xCommand Diagnostics Run [ResultSet: ResultSet]
```

説明:

ResultSet:

Alerts/All/None

診断結果を「アラート」、「すべて」、または「なし」にフィルタリングできます。設定しなかった場合は、すべての結果が表示されます。

デフォルト値: Alerts

Dial コマンド

xCommand Dial

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

デバイスからダイヤルします。他の一部のコマンドに必要な CallId および Conferenceld に関する情報を返します。

使用方法:

```
xCommand Dial Number: "Number" [Protocol: Protocol] [CallRate: CallRate]  
[CallType: CallType] [BookingId: "BookingId"] [Appearance: Appearance]  
[DisplayName: "DisplayName"] [TrackingData: "TrackingData"]
```

説明:

番号:

文字列 (0, 255)

番号またはビデオアドレスを入力します。

プロトコル

H323/Sip/Spark

リストから会議プロトコルを選択します。

Spark は、Webex インフラストラクチャ経由の会議に使用されます。

コールレート:

整数 (64..6000) [RoomKit RoomKitMini CodecPlus Room55 Room70/Room55D]

整数 (64..20000) [RoomBar CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro]

整数 (64..10000) [Board]

コールレート (kbps) を設定します。コールレートが含まれていない場合、Conference DefaultCall Rate または Conference DefaultCall Webex Rate 設定で定義したレートが使用されます。コールレートは、Conference MaxReceiveCallRate、Conference MaxTransmitCallRate、Conference MaxMultisiteReceiveRate および Conference MaxMultiSiteTransmitRate 設定のうち、この通話または会議に適用される設定によって常に制限されます。

CallType:

音声/ビデオ/自動

コールタイプを選択します (オーディオまたはビデオ) 。[自動 (Auto)] を選択すると、デバイスは、自動でコールタイプを判断します。

BookingId:

文字列 (0, 255)

Cisco TelePresence Management Suite (TMS) や CTS-MAN などの外部予約システムが予定されている会議と予約システムの会議用の内部識別子を照合する際に使用する自己参照用の識別子。これは、GUID など任意の文字列です。予約 ID は、会議の会議ログ、会議イベントなどで提供されます。

デフォルト値: ""

外観:

整数 (1 ~ 999999999)

シスコ内部使用のみ。

DisplayName:

文字列 (0, 255)

リモート参加者の表示名

デフォルト値: ""

TrackingData:

文字列 (0, 255)

会議履歴に保存されるタグまたはラベル。

デフォルト値: ""

GPIO コマンド

xCommand GPIO ManualState Set

適用対象: *CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

OutputManualState モードに設定された GPIO ピンの状態を設定します (参照: xConfiguration GPIO Pin [1..4] Mode)。

使用方法:

```
xCommand GPIO ManualState Set [Pin1: Pin1] [Pin2: Pin2] [Pin3: Pin3] [Pin4: Pin4]
```

説明:

Pin1:

High/Low

Pin2:

High/Low

Pin3:

High/Low

Pin4:

High/Low

HttpClient コマンド

xCommand HttpClient Allow Hostname Add

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザー ロール: ADMIN

許可されているサーバ (ホスト) のリストに HTTP(S) サーバを追加します。

The HttpClient Allow Hostname コマンドを使用して、最大 10 の許可されたホストのリストを設定し、保持することができます。リストが空でない限り、リスト内のサーバーにのみ HTTP (S) 要求を送信できます。リストに対するチェックは、非セキュア (HTTP) およびセキュア (HTTPS) なデータ転送の両方で実行されます。

使用方法:

```
xCommand HttpClient Allow Hostname Add Expression: "Expression"
```

説明:

Expression:

文字列 (2, 200)

HTTP(S) サーバのホスト名または IP アドレスに一致する正規表現。

xCommand HttpClient Allow Hostname Clear

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザー ロール: ADMIN

許可されたサーバ (ホスト) のリストからすべての HTTP(S) サーバを削除し、空のリストを残します。

使用方法:

```
xCommand HttpClient Allow Hostname Clear
```

xCommand HttpClient Allow Hostname List

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザー ロール: ADMIN

許可されている HTTP(S) サーバ (ホスト) のリストを返します。

The HttpClient Allow Hostname コマンドを使用して、最大 10 の許可されたホストのリストを設定し、保持することができます。リストが空でない限り、リスト内のサーバーにのみ HTTP (S) 要求を送信できます。リストに対するチェックは、非セキュア (HTTP) およびセキュア (HTTPS) なデータ転送の両方で実行されます。

使用方法:

```
xCommand HttpClient Allow Hostname List
```

xCommand HttpClient Allow Hostname Remove

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

許可されたサーバ (ホスト) のリストから HTTP(S) サーバを削除します。リスト内の各エントリの ID を検索するには、HttpClient Allow Hostname List コマンドを使用してください。

使用方法:

```
xCommand HttpClient Allow Hostname Remove Id: Id
```

説明:

Id:

整数 (1 ~ 9)

リストから削除する HTTP(S) サーバの ID。

xCommand HttpClient Delete

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

URL パラメータで指定されているサーバに HTTP(S) 削除リクエストを送信します。HTTPS を介してデータを送信する前にサーバの証明書を検証するかどうかを指定するには、AllowInsecureHTTPS パラメータを使用します。このパラメータは、xConfiguration HttpClient AllowInsecureHTTPS が On に設定されていない限り無効です。このコマンドは、HTTP ステータス コードとサーバから返されたデータ (HTTP ヘッダーおよびボディ) を返します。

使用方法:

```
xCommand HttpClient Delete [AllowInsecureHTTPS: AllowInsecureHTTPS] [Header: "Header"] [ResponseSizeLimit: ResponseSizeLimit] [ResponseBody: ResponseBody] [Timeout: Timeout] Url: "Url"
```

説明:

AllowInsecureHTTPS:

False/True

True に設定されている場合、デバイスは証明書検証プロセスをスキップして、サーバにデータを送信します。False に設定すると、サーバ証明書がチェックされます。証明書の検証が失敗した場合はサーバにデータは送信されません。

デフォルト値: False

ヘッダー:

文字列 (0, 3072)

HTTP ヘッダー フィールド1 つのコマンドに 20 個のヘッダー パラメータを追加できます。各パラメータは 1 つの HTTP ヘッダー フィールドを保持しています。

ResponseSizeLimit:

整数 (1 ~ 100000)

このリクエストへの応答の最大ペイロード サイズ (バイト) 応答ペイロードがこの最大サイズより大きい場合、コマンドは、最大ファイルサイズを超えていることを伝えるステータスエラーを返します。ただし、これはサーバ側には影響しません。要求を受信し、サーバによって正常に処理されました。

デフォルト値: 100000

ResponseBody:

None/PlainText/Base64

None: コマンド結果に HTTP レスポンスのボディを含めません。

PlainText: コマンド結果は、HTTP レスポンスのボディがテキスト形式で含まれます。応答に印字不可能な文字が含まれている場合、コマンドはステータスエラーを返し、印刷できないデータが検出されたというメッセージを返します。

Base64: コマンドの結果に含まれる前に、HTTP レスポンスのボディが Base64 でエンコードされています。

デフォルト値: None

タイムアウト:

整数 (1 ~ 30)

秒単位のタイムアウト時間。この期間に要求が完了しないと、API はエラーを返します。

デフォルト値: 30

URL:

文字列 (8, 2048)

リクエストに送信される URL: <Protocol> + <HTTP(S) サーバのホスト名または IP アドレス> + <Path>.

xCommand HttpClient Get

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

URL パラメータで指定されているサーバに HTTP(S) GET リクエストを送信します。HTTPS を介してデータを送信する前にサーバの証明書を検証するかどうかを指定するには、AllowInsecureHTTPS パラメータを使用します。このパラメータは、xConfiguration HttpClient AllowInsecureHTTPS が On に設定されていない限り無効です。このコマンドは、HTTP ステータスコードとサーバから返されたデータ (HTTP ヘッダーおよびボディ) を返します。

使用方法:

```
xCommand HttpClient Get [AllowInsecureHTTPS: AllowInsecureHTTPS] [Header: "Header"] [ResponseSizeLimit: ResponseSizeLimit] [ResultBody: ResultBody] [Timeout: Timeout] Url: "Url"
```

説明:

AllowInsecureHTTPS:

False/True

True に設定されている場合、デバイスは証明書検証プロセスをスキップして、サーバにデータを送信します。False に設定すると、サーバ証明書がチェックされます。証明書の検証が失敗した場合はサーバにデータは送信されません。

デフォルト値: False

ヘッダー:

文字列 (0, 3072)

HTTP ヘッダー フィールド1 つのコマンドに 20 個のヘッダー パラメータを追加できます。各パラメータは 1 つの HTTP ヘッダー フィールドを保持しています。

ResponseSizeLimit:

整数 (1 ~ 100000)

このリクエストへの応答の最大ペイロード サイズ (バイト) 応答ペイロードがこの最大サイズより大きい場合、コマンドは、最大ファイルサイズを超えていることを伝えるステータスエラーを返します。ただし、これはサーバ側には影響しません。要求を受信し、サーバによって正常に処理されました。

デフォルト値: 100000

ResultBody:

None/PlainText/Base64

None: コマンド結果に HTTP レスポンスのボディを含めません。

PlainText: コマンド結果は、HTTP レスポンスのボディがテキスト形式で含まれます。応答に印字不可能な文字が含まれている場合、コマンドはステータスエラーを返し、印刷できないデータが検出されたというメッセージを返します。

Base64: コマンドの結果に含まれる前に、HTTP レスポンスのボディが Base64 でエンコードされています。

デフォルト値: None

タイムアウト:

整数 (1 ~ 30)

秒単位のタイムアウト時間。この期間に要求が完了しないと、API はエラーを返します。

デフォルト値: 30

URL:

文字列 (8, 2048)

リクエストに送信される URL: <Protocol> + <HTTP(S) サーバのホスト名または IP アドレス> + <Path>.

xCommand HttpClient Patch

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

URL パラメータで指定されているサーバに HTTP(S) Patch リクエストを送信します。これは複数のコマンドであるため、パラメータの後にペイロード (データ) が続きます。HTTPS を介してデータを送信する前にサーバの証明書を検証するかどうかを指定するには、AllowInsecureHTTPS パラメータを使用します。このパラメータは、xConfiguration HttpClient AllowInsecureHTTPS が On に設定されていない限り無効です。このコマンドは、HTTP ステータス コードとサーバから返されたデータ (HTTP ヘッダーおよびボディ) を返します。

使用方法:

```
xCommand HttpClient Patch [AllowInsecureHTTPS: AllowInsecureHTTPS] [Header: "Header"] [ResponseSizeLimit: ResponseSizeLimit] [ResponseBody: ResponseBody] [Timeout: Timeout] Url: "Url"
```

説明:

AllowInsecureHTTPS:

False/True

True に設定されている場合、デバイスは証明書検証プロセスをスキップして、サーバにデータを送信します。False に設定すると、サーバ証明書がチェックされます。証明書の検証が失敗した場合はサーバにデータは送信されません。

デフォルト値: False

ヘッダー:

文字列 (0, 3072)

HTTP ヘッダー フィールド1 つのコマンドに 20 個のヘッダー パラメータを追加できます。各パラメータは 1 つの HTTP ヘッダー フィールドを保持しています。

ResponseSizeLimit:

整数 (1 ~ 100000)

このリクエストへの応答の最大ペイロード サイズ (バイト) 応答ペイロードがこの最大サイズより大きい場合、コマンドは、最大ファイルサイズを超えていることを伝えるステータスエラーを返します。ただし、これはサーバ側には影響しません。要求を受信し、サーバによって正常に処理されました。

デフォルト値: 100000

ResponseBody:

None/PlainText/Base64

None: コマンド結果に HTTP レスポンスのボディを含めません。

PlainText: コマンド結果は、HTTP レスポンスのボディがテキスト形式で含まれます。応答に印刷不可能な文字が含まれている場合、コマンドはステータスエラーを返し、印刷できないデータが検出されたというメッセージを返します。

Base64: コマンドの結果に含まれる前に、HTTP レスポンスのボディが Base64 でエンコードされています。

デフォルト値: None

タイムアウト:

整数 (1 ~ 30)

秒単位のタイムアウト時間。この期間に要求が完了しないと、API はエラーを返します。

デフォルト値: 30

URL:

文字列 (8, 2048)

リクエストに送信される URL: <Protocol> + <HTTP(S) サーバのホスト名または IP アドレス> + <Path>.

xCommand HttpClient Post

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

URL パラメータで指定されているサーバに HTTP(S) POST リクエストを送信します。HTTPS を介してデータを送信する前にサーバの証明書を検証するかどうかを指定するには、AllowInsecureHTTPS パラメータを使用します。このパラメータは、xConfiguration HttpClient AllowInsecureHTTPS が On に設定されていない限り無効です。

これは複数のコマンドであるため、パラメータの後にペイロード (データ) が続きます。

使用方法:

```
xCommand HttpClient Post [AllowInsecureHTTPS: AllowInsecureHTTPS] [Header: "Header"] [ResponseSizeLimit: ResponseSizeLimit] [ResponseBody: ResponseBody] [Timeout: Timeout] Url: "Url"
```

説明:

AllowInsecureHTTPS:

False/True

True に設定されている場合、デバイスは証明書検証プロセスをスキップして、サーバにデータを送信します。False に設定すると、サーバ証明書がチェックされます。証明書の検証が失敗した場合はサーバにデータは送信されません。

デフォルト値: False

ヘッダー:

文字列 (0, 3072)

HTTP ヘッダー フィールド1 つのコマンドに 20 個のヘッダー パラメータを追加できます。各パラメータは 1 つの HTTP ヘッダー フィールドを保持しています。

ResponseSizeLimit:

整数 (1 ~ 100000)

このリクエストへの応答の最大ペイロード サイズ (バイト) 応答ペイロードがこの最大サイズより大きい場合、コマンドは、最大ファイルサイズを超えていることを伝えるステータスエラーを返します。ただし、これはサーバ側には影響しません。要求を受信し、サーバによって正常に処理されました。

デフォルト値: 100000

ResponseBody:

None/PlainText/Base64

None: コマンド結果に HTTP レスポンスのボディを含めません。

PlainText: コマンド結果は、HTTP レスポンスのボディがテキスト形式で含まれます。応答に印字不可能な文字が含まれている場合、コマンドはステータスエラーを返し、印刷できないデータが検出されたというメッセージを返します。

Base64: コマンドの結果に含まれる前に、HTTP レスポンスのボディが Base64 でエンコードされています。

デフォルト値: None

タイムアウト:

整数 (1 ~ 30)

秒単位のタイムアウト時間。この期間に要求が完了しないと、API はエラーを返します。

デフォルト値: 30

URL:

文字列 (8, 2048)

リクエストに送信される URL: <Protocol> + <HTTP(S) サーバのホスト名または IP アドレス> + <Path>.

xCommand HttpClient Put

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

URL パラメータで指定されているサーバに HTTP(S) Put リクエストを送信します。

HTTPS を介してデータを送信する前にサーバの証明書を検証するかどうかを指定するには、AllowInsecureHTTPS パラメータを使用します。このパラメータは、xConfiguration HttpClient AllowInsecureHTTPS が On に設定されていない限り無効です。

これは複数のコマンドであるため、パラメータの後にペイロード (データ) が続きます。

使用方法:

```
xCommand HttpClient Put [AllowInsecureHTTPS: AllowInsecureHTTPS] [Header: "Header"] [ResponseSizeLimit: ResponseSizeLimit] [ResponseBody: ResponseBody] [Timeout: Timeout] Url: "Url"
```

説明:

AllowInsecureHTTPS:

False/True

True に設定されている場合、デバイスは証明書検証プロセスをスキップして、サーバにデータを送信します。False に設定すると、サーバ証明書がチェックされます。証明書の検証が失敗した場合はサーバにデータは送信されません。

デフォルト値: False

ヘッダー:

文字列 (0, 3072)

HTTP ヘッダー フィールド1 つのコマンドに 20 個のヘッダー パラメータを追加できます。各パラメータは 1 つの HTTP ヘッダー フィールドを保持しています。

ResponseSizeLimit:

整数 (1 ~ 100000)

このリクエストへの応答の最大ペイロード サイズ (バイト) 応答ペイロードがこの最大サイズより大きい場合、コマンドは、最大ファイルサイズを超えていることを伝えるステータスエラーを返します。ただし、これはサーバ側には影響しません。要求を受信し、サーバによって正常に処理されました。

デフォルト値: 100000

ResponseBody:

None/PlainText/Base64

None: コマンド結果に HTTP レスポンスのボディを含めません。

PlainText: コマンド結果は、HTTP レスポンスのボディがテキスト形式で含まれます。応答に印字不可能な文字が含まれている場合、コマンドはステータスエラーを返し、印刷できないデータが検出されたというメッセージを返します。

Base64: コマンドの結果に含まれる前に、HTTP レスポンスのボディが Base64 でエンコードされています。

デフォルト値: None

タイムアウト:

整数 (1 ~ 30)

秒単位のタイムアウト時間。この期間に要求が完了しないと、API はエラーを返します。

デフォルト値: 30

URL:

文字列 (8, 2048)

リクエストに送信される URL: <Protocol> + <HTTP(S) サーバのホスト名または IP アドレス> + <Path>.

HttpFeedback コマンド

xCommand HttpFeedback Deregister

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN

HTTP(S) を介した HTTP フィードバックを登録解除します。

使用方法:

xCommand HttpFeedback Deregister FeedbackSlot: FeedbackSlot

説明:

FeedbackSlot:

整数 (1 ~ 4)

xCommand HttpFeedback Register コマンドを使用して登録されたフィードバック スロットを登録解除します。

xCommand HttpFeedback Enable

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN

以前に登録したフィードバック スロットが、障害により無効化された後で、再度有効化します。

使用方法:

xCommand HttpFeedback Deregister FeedbackSlot: FeedbackSlot

説明:

FeedbackSlot:

整数 (1 ~ 4)

有効化するフィードバック スロットを指定します。

xCommand HttpFeedback Register

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN

HTTP(S) サーバにデバイスを登録し、HTTP(S) を介して特定の URL に XML フィードバックが返されるようにします。

使用方法:

```
xCommand HttpFeedback Register FeedbackSlot: FeedbackSlot [Format: Format]  
ServerUrl: "ServerUrl" [Expression: "Expression"]
```

説明:

FeedbackSlot:

整数 (1 ~ 4)

このコーデックは、HTTP フィードバックを要求する最大 4 つのサーバ スロットを登録できます。それらの 1 つに登録を設定します。

注: Cisco TelePresence Management Suite (TMS) は表現式の登録に FeedbackSlot 3 を使用するので、TMS を使用している環境では FeedbackSlot 3 の使用を避けてください。

Format:

XML/JSON

HTTP サーバからのフィードバックのフォーマットを XML または JSON に設定します。

デフォルト値: XML

ServerUrl:

文字列 (1, 2048)

コーデックで HTTP フィードバック メッセージの送信先となる HTTP サーバの URL。

Expression:

文字列 (1, 255)

ステータス、コンフィギュレーション、またはイベント XML ドキュメントのどの部分をモニタするかを XPath 式で指定します。同じコマンドで 0 ~ 15 個の XPath 式を指定できます。

Logging コマンド

xCommand Logging ExtendedLogging Start

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

指定された期間、継続的な拡張ロギングの実行を開始します。

使用方法:

```
xCommand Logging ExtendedLogging Start [Duration: Duration] [PacketDump:  
PacketDump] [PacketDumpRotateSize: PacketDumpRotateSize] [RenderingDump:  
RenderingDump]
```

説明:

期間:

整数 (1..600)

拡張ロギングを実行する時間の長さを秒単位で指定します。

PacketDump:

Full/FullRotate/Limited/None

パケットデータのロギングを有効または無効にします。これらは個別の .pcap ファイルに保存されます。

Full: すべてのデータを 3 分間記録します。

FullRotate: すべてのデータを 1 時間記録しますが、PacketDumpRotateSize で指定されたサイズ制限があります。

Limited: 限定されたデータセットを記録します。これには、メディアファイルが送信される RTP ポート範囲からのデータは含まれません。

None: パケットデータをログに記録しません。

デフォルト値: None

PacketDumpRotateSize:

Large/Normal

パケットダンプログファイルのローテーションサイズを指定します。ファイルがこのサイズに達すると、ファイルは閉じられ、新しいファイルでログが続行されます。最新の 2 つのログファイルより古いファイルは削除されます。PacketDumpRotateSize は、FullRotate と一緒にのみ指定でき、デフォルトで Normal になります。

Large: 大きなファイルサイズ (150 MB) を有効にします。

Normal: 標準のファイルサイズ (12 MB) を有効にします。

RenderingDump:

Limited/None

制限付きレンダリングダンプを有効または無効にします。レンダリングダンプには、画面へのレンダリングを引き起こす変更が含まれています。

出力は osd.log に書き込まれ、UI のどの要素がレンダリングを引き起こしたかを示すフォーマットがあります。1 秒単位で書き込まれます。

Limited: 制限付きレンダリングダンプを有効にします。

None : レンダリングダンプログは更新されません。

デフォルト値 : None

xCommand Logging ExtendedLogging Stop

適用対象 : すべての製品

必要なユーザー ロール : ADMIN, USER

拡張ロギングプロセスの実行を停止します。

使用方法 :

```
xCommand Logging ExtendedLogging Stop [RemovePacketDump: RemovePacketDump]  
[RemoveRenderingDump: RemoveRenderingDump]
```

説明 :

RemovePacketDump :

true/false (True/False)

パケットダンプログファイルを削除または保持します。

True : パケットダンプログファイルを自動的に削除します。

False : パケットダンプログファイルを削除しません。

デフォルト値 : False

RemoveRenderingDump :

true/false (True/False)

レンダリング ダンプ ログ ファイルを削除または保持します。

True : レンダリング ダンプ ログ ファイルを自動的に削除します。

False : パケット レンダリング ログ ファイルを削除しません。

デフォルト値 : False

xCommand Logging SendLogs

適用対象 : すべての製品

必要なユーザー ロール : ADMIN, USER

Webex クラウドにログを送信します。これらのログは、デバイスの問題を診断および修正するのに役立ちます。

このコマンドはログ ID を返します。管理者や TAC エンジニアがログを識別してダウンロードするために使用することができます。

コマンドを起動させる場合、デバイスは、Webex クラウドサービスに登録されているか、オンプレミスサービスに登録されて Webex Edge for Devices にリンクされている必要があります。

さらに、Webex Edge for Devices にリンクされているデバイスの場合、xConfiguration Logging CloudUpload Mode を On に設定する必要があります。

使用方法 :

```
xCommand Logging SendLogs
```

Macros コマンド

xCommand Macros Log Clear

適用対象 : すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール : ADMIN

マクロ ログをクリアします。

使用方法 :

```
xCommand Macros Log Clear
```

xCommand Macros Log Get

適用対象 : すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール : ADMIN

実行中のすべてのマクロのログ、およびランタイム自体のログを表示します。

使用方法 :

```
xCommand Macros Log Get [Offset: Offset]
```

説明 :

Offset :

整数 (0 ~ 65534)

提供された以上のオフセットを含む行を表示します。

デフォルト値 : 0

xCommand Macros Macro Activate

適用対象 : すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール : ADMIN

このデバイス上に作成されたマクロをアクティブ化します。

使用方法 :

```
xCommand Macros Macro Activate Name: "Name"
```

説明 :

Name :

文字列 (0, 250)

アクティブ化するマクロの名前を指定します。

xCommand Macros Macro Deactivate

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN

このデバイスで現在実行中のマクロを非アクティブ化します。

使用方法:

```
xCommand Macros Macro Deactivate Name: "Name"
```

説明:

Name:

文字列 (0, 250)

非アクティブ化するマクロの名前を指定します。

xCommand Macros Macro Get

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

このデバイスで作成されたマクロの詳細を表示します。

使用方法:

```
xCommand Macros Macro Get [Content: Content] [Name: "Name"]
```

説明:

本文:

False/True

指定したマクロの内容を表示するかどうかを指定します。

デフォルト値: False

Name:

文字列 (0, 250)

マクロの名前。

xCommand Macros Macro Remove

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN

このデバイス上に作成されたマクロを削除します。

使用方法:

```
xCommand Macros Macro Remove Name: "Name"
```

説明:

Name:

文字列 (0, 250)

削除するマクロの名前。

xCommand Macros Macro RemoveAll

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN

このデバイス上に作成されたすべてのマクロを削除します。

使用方法:

```
xCommand Macros Macro RemoveAll
```

xCommand Macros Macro Rename

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN

このデバイス上に作成されたマクロの名前を変更します。

使用方法:

```
xCommand Macros Macro Rename Name: "Name" NewName: "NewName" [Overwrite: Overwrite]
```

説明:

Name:

文字列 (0, 250)

名前変更するマクロの名前。

NewName:

文字列 (0, 250)

マクロの新しい名前。

Overwrite:

False/True

既存の内容を上書きするかどうかを指定します。

デフォルト値: False

xCommand Macros Macro Roles Set

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN

マクロのロールを設定します。

使用方法:

```
xCommand Macros Macro Roles Set Name: "Name" [Role: Role]
```

説明:

Name:

文字列 (0, 250)

設定されるマクロの名前。

権限:

Admin/Audit/User/Integrator/RoomControl

このマクロに設定されているロール。

デフォルト値: Admin

xCommand Macros Macro Save

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN

マクロの詳細を保存します。これは複数行コマンドです。

使用方法:

```
xCommand Macros Macro Save Name: "Name" [Overwrite: Overwrite] [Transpile: Transpile]
```

説明:

Name:

文字列 (0, 250)

保存されるマクロの名前。

Overwrite:

False/True

既存の内容を上書きするかどうかを指定します。

デフォルト値: True

Transpile:

False/True

現在の JavaScript 言語機能を EcmaScript 5.0/5.1 に変換します。

デフォルト値: True

xCommand Macros Runtime Restart

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN

このデバイス上で設定されているすべてのマクロを再起動します。

使用方法:

```
xCommand Macros Runtime Restart
```

xCommand Macros Runtime Start

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN

このデバイス上で設定されているすべてのマクロを開始します。

使用方法:

```
xCommand Macros Runtime Start
```

xCommand Macros Runtime Status

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN

このデバイス上のマクロ ランタイムの現在の状態を表示します。

使用方法:

xCommand Macros Runtime Status

xCommand Macros Runtime Stop

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN

このデバイス上で設定されているすべてのマクロを停止します。

使用方法:

xCommand Macros Runtime Stop

Message コマンド

xCommand Message Send

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, INTEGRATOR

リッスンしているクライアントにテキストを送信する Message Send イベントをトリガーします。

使用方法:

xcommand Message Send Text: "Text"

説明:

Text:

文字列 (0、1024)

メッセージに含まれるテキスト。

Network コマンド

xCommand Network SMTP VerifyConfig

適用先: [RoomKitMini](#) [DeskPro](#) [DeskMini](#) [Desk](#) [Board](#) [BoardPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

E メールが送信されていないインスタンスで SMTP サーバーが構成されているかどうかを確認します。

使用方法:

```
xCommand Network SMTP VerifyConfig
```

xCommand Network SNMP USM User Add

適用対象: [すべての製品](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN

ネットワーク管理システムが、SNMP v3、ユーザーベース セキュリティ モデル (USM) を使用してビデオ会議デバイスと通信するために使用するユーザー (ユーザー名およびパスワード) を作成します。すべての USM ユーザーには同様の権限 (読み取り、読み取り/書き込み、なし) が付与されます。「NetworkServices SNMP Mode 設定」を参照してください。

認証とプライバシーは常に On です。つまり、デバイスは authPriv セキュリティレベルのみをサポートし、プライバシープロトコルは常に AES (Advanced Encryption Standard) です。

このコマンドは、SNMP v2c には影響しません。SNMP v2c の認証は、NetworkServices SNMP CommunityName 設定で構成します。

使用方法:

```
xCommand Network SNMP USM User Add AuthenticationPassword:  
"AuthenticationPassword" AuthenticationProtocol: AuthenticationProtocol Name:  
"Name" [PrivacyPassword: "PrivacyPassword"]
```

説明:

AuthenticationPassword:

文字列 (8、255)

この USM ユーザーの認証パスワードです。ネットワーク管理システムの認証時に使用されません。認証パスワードは、ローカライズされたハッシュ値としてデバイスに保存されます。

AuthenticationProtocol:

SHA-224/SHA-256/SHA-384/SHA-512

認証パスワードとプライバシーパスワードをデバイスに保存する前に適用される認証ハッシュ関数。デバイスは、リストされているハッシュ関数 (SHA-2 ファミリから) のみをサポートしません。MD も SHA-1 もサポートされていません。

Name:

文字列 (0、32)

USM ユーザーの名前。

PrivacyPassword:

文字列 (8、255)

この USM ユーザーのプライバシーパスワード。データの暗号化に使用されます。プライバシーパスワードは、ローカライズされたハッシュ値としてデバイスに保存されます。設定されていない場合、プライバシーパスワードは認証パスワードと同じになります。

xCommand Network SNMP USM User Delete

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

デバイスから USM ユーザーを削除します。

使用方法:

xCommand Network SNMP USM User Delete Name: "Name"

説明:

Name:

文字列 (0, 32)

削除するユーザー名。

xCommand Network SNMP USM User List

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

デバイスに保存されているすべての USM ユーザーのリストを返します。

使用方法:

xCommand Network SNMP USM User List

xCommand Network Wifi Configure

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

特定の Wi-Fi ネットワークに接続できるようにデバイスを構成します。これは、デバイスで Wi-Fi が有効になっている場合にのみ使用できます。Wi-Fi に接続する前に、イーサネットケーブルを抜く必要があります。

WPA2 のみのアクセスポイントと、WPA2 を使用する混合モードのアクセスポイントの両方がサポートされています。

使用方法:

xCommand Network Wifi Configure [AllowMissingCA: AllowMissingCA]
[AnonymousIdentity: "AnonymousIdentity"] [Identity: "Identity"] [Password: "Password"] SSID: "SSID" Type: Type

説明:

AllowMissingCA:

False/True

証明書認証 (CA) がない Wi-Fi 接続を許可するためのポリシー。

False: 許可されていません。

True: 許可されています。

AnonymousIdentity:

文字列 (0, 255)

匿名 ID (該当する場合)。

Identity:

文字列 (0, 255)

Wi-Fi 接続のユーザー名 (該当する場合)。

Password:

文字列 (0, 255)

Wi-Fi 接続のパスワード (該当する場合)。

SSID:

文字列 (0, 255)

Wi-Fi 接続の SSID。

次のように入力します。

Open/Wpa2-eap-fast/Wpa2-eap-peap/Wpa2-eap-tls/Wpa2-eap-ttls/Wpa2-psk

Wi-Fi 接続の暗号化タイプと認証方式。サポートされているタイプは次のとおりです。

Open: オープンネットワーク (セキュリティによる保護なし)

Wpa2-psk: WPA2 パーソナルモード、AES 暗号化。

Wpa2-eap-fast: セキュアトネリング (EAP-FAST) 経由の Flexible Authentication (FlexAuth; フレキシブル認証) あり WPA2 エンタープライズ。

Wpa2-eap-peap: PEAP あり WPA2 エンタープライズ (Protected EAP)、EAP-MSCHAPv2 または EAP-GTC あり。

Wpa2-eap-tls: EAP Transport Layer Security (EAP-TLS) あり WPA2 エンタープライズ。
Wpa2-eap-ttls: EAP Tunneled Transport Layer Security (EAP-TTLS) あり WPA2 エンタープライズ。

xCommand Network Wifi Delete

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

指定した Wi-Fi ネットワーク接続をデバイスから削除します。このコマンドは、Wi-Fi サービスが On になっていて、イーサネットが切断されている場合にのみ使用できます。

使用方法:

```
xCommand Network Wifi Delete SSID: "SSID"
```

説明:

SSID:

文字列 (0、255)

Wi-Fi 接続の SSID。

xCommand Network Wifi List

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

現在の Wi-Fi 接続の詳細を一覧表示します。このコマンドは、Wi-Fi サービスが On になっていて、イーサネットが切断されている場合にのみ使用できます。

使用方法:

```
xCommand Network Wifi List
```

xCommand Network Wifi Scan Start

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

使用可能な Wi-Fi ネットワークをスキャンします。

使用方法:

```
xCommand Network Wifi Scan Start [Duration: Duration]
```

説明:

期間:

整数 (1 ~ 30)

Wi-Fi スキャンの秒単位の期間。

デフォルト値: 10

xCommand Network Wifi Scan Stop

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

進行中の Wi-Fi スキャンを停止します。

使用方法:

```
xCommand Network Wifi Scan Stop
```

Peripherals コマンド

xCommand Peripherals Connect

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

デバイスに接続された、コントロールシステムやタッチパネルなどの周辺機器を登録します。登録済みの周辺機器は、Web インターフェイスの Configuration > Peripherals に表示されます。

周辺機器をコーデックに初めて接続する場合、または周辺機器のソフトウェア バージョンを変更した場合は、このコマンドを使用する必要があります。Peripherals ConnectedDevice [n] Status ステータスで利用可能なコネクテッドデバイスの一覧。

使用方法:

```
xCommand Peripherals Connect [HardwareInfo: "HardwareInfo"] ID: "ID" [Name: "Name"] [NetworkAddress: "NetworkAddress"] [SerialNumber: "SerialNumber"] [SoftwareInfo: "SoftwareInfo"] Type: Type
```

説明:

HardwareInfo:

文字列 (0, 100)

デバイスのハードウェア番号。

デフォルト値: ""

ID:

文字列 (1, 100)

接続しているデバイスの一意の ID (通常は MAC アドレス)。

Name:

文字列 (0, 100)

デバイスの名前を設定します。

デフォルト値: ""

NetworkAddress:

文字列 (0, 100)

接続しているデバイスのネットワーク アドレス。

デフォルト値: ""

シリアル番号:

文字列 (0, 100)

デバイスのシリアル番号。

デフォルト値: ""

SoftwareInfo:

文字列 (0, 100)

デバイスで実行されているソフトウェア バージョン。

デフォルト値: ""

Type:

AudioAmplifier/AudioMicrophone/Byod/Camera/ControlSystem/Other/
PersistentWebApp/RoomScheduler/TouchPanel

周辺機器の種類を定義します。Room Navigator の場合、どのモードにあるかも表示されます。

xCommand Peripherals HeartBeat

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

接続デバイスとして登録した周辺機器は、コーデックにハートビートを送信して、現在も接続されていることをコーデックに通知するように設定できます。

これにより、デバイスは xStatus Peripherals ConnectedDevice リストに保持されるようになります。ハートビートを送信するように周辺機器が設定されていない場合、デバイスはしばらくするとリストから消えます。

注: カメラには適用されません。

使用方法:

```
xCommand Peripherals HeartBeat ID: "ID" [Timeout: Timeout]
```

説明:

ID:

文字列 (1, 100)

接続しているデバイスの一意の ID (通常は MAC アドレス)。

タイムアウト:

整数 (1 ~ 65535)

デバイスがハートビートを送信する時間を設定します。

デフォルト値: 60

xCommand Peripherals List

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL

現在接続中および過去に接続されていた周辺機器をすべてリストします。

使用方法:

xCommand Peripherals List [Connected: Connected] [Type: Type]

説明:

接続中:

False/True

検索対象を現在接続中のデバイスに制限します。

Type:

All/AudioAmplifier/AudioMicrophone/ControlSystem/Other/TouchPanel

デバイス タイプによって検索を制限します。

デフォルト値: All

xCommand Peripherals Pairing Pair

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

ISDN リンクをビデオ会議デバイスにペアリングします。

使用方法:

xCommand Peripherals Pairing Pair MacAddress: "MacAddress"

説明:

MacAddress:

文字列 (1, 1450)

ビデオ会議デバイスにペアリングする ISDN リンクの MAC アドレスを入力します。

xCommand Peripherals Pairing PinPairing Start

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

ネットワーク経由でタッチコントローラをビデオデバイスに接続する場合、個人識別番号またはパスワードを使用してペアリングできます。個人識別番号でペアリングを開始するには、次のコマンドを発行します。

使用方法:

xCommand Peripherals Pairing PinPairing Start [Duration: Duration]
[PinVisibleOnScreen: PinVisibleOnScreen] [Retries: Retries]

説明:

期間:

整数 (1..2880)

ペアリングプロセスがアクティブになる分単位の時間。

デフォルト値: 60

PinVisibleOnScreen:

False/True

ビデオデバイスに接続されているメイン画面に個人識別番号を表示するかどうか。これが False の場合、管理者はタッチコントローラ画面でその人に個人識別番号を指定する必要があります。

デフォルト値: False

リトライ回数:

整数 (1 ~ 10)

新しい個人識別番号の生成が必要になる前に、無効な試行が許可される回数。

デフォルト値: 3

xCommand Peripherals Pairing PinPairing Stop

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

個人識別番号ペアリングプロセスを停止します。

使用方法:

xCommand Peripherals Pairing PinPairing Stop

xCommand Peripherals Pairing Unpair

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

2 つの連絡先が接続されている場合は、ISDN リンクからビデオ会議デバイスをペアリングします。

使用方法:

xCommand Peripherals Pairing Pair MacAddress: "MacAddress"

説明:

MacAddress:

文字列 (1, 100)

ビデオ会議デバイスのペアリングを解除する ISDN リンクの MAC アドレスを入力します。

xCommand Peripherals Purge

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

接続が失われた場合、ISDN リンクからビデオ会議デバイスのペアリングを強制的に解除します。注: 別のビデオ会議デバイスとペアリングできるように、ISDN リンクもペアリング解除する必要があります。

使用方法:

xCommand Peripherals Purge ID: "ID"

説明:

ID:

文字列 (1, 100)

「xx:xx:xx:xx:xx:xx」形式の ISDN リンクの MAC アドレス。

xCommand Peripherals TouchPanel Configure

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

Room Navigator は、さまざまなモードで動作できます。ビデオ会議デバイス (コントローラ) の標準ユーザーインターフェイスや、ルーム予約デバイス (ルームスケジューラ) として、または永続的な Web アプリを表示します。Room Navigator 画面に表示される情報、ボタン、操作はモードによって異なります。

Room Navigator がデバイスと同じ部屋にあるか、部屋の外にあるかについての情報を追加することもできます。ロケーションに関する情報は、温度や電波品質など、機器からセンサーデータを収集して処理するときに役立ちます。

Controller + InsideRoom、RoomScheduler + OutsideRoom、PersistentWebApp + OutsideRoom が最も一般的な組み合わせです。

ほとんどの場合、Room Navigator のモードと場所は、デバイスを初めて設定するときにスタートアップウィザードに入力されます。このコマンドは、最初の設定後にこれらのパラメータを変更する場合に使用します。

使用方法:

xCommand Peripherals TouchPanel Configure ID: "ID" [Location: Location] [Mode: Mode]

説明:

ID:

文字列 (1, 100)

デバイスに接続されている Room Navigator の一意の ID (通常は MAC アドレス)。「Peripherals ConnectedDevice [n] ID ステータス」を参照してください。

所在地:

InsideRoom/OutsideRoom

InsideRoom: Room Navigator は、ビデオ会議デバイスと同じ部屋にあります。

OutsideRoom: Room Navigator は部屋の外にあります。

Mode:

Controller/PersistentWebApp/RoomScheduler

Controller: Room Navigator は、ビデオ会議デバイスの標準ユーザーインターフェイスです。

PersistentWebApp: サードパーティの Web アプリケーション (永続的な Web アプリ) が Room Navigator で実行されています (Room Navigator がネットワーク経由でデバイスに接続されている場合のみ使用できます)。

RoomScheduler: Room Navigator は、部屋の予約に使用されます。

Phonebook コマンド

xCommand Phonebook Contact Add

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

ローカル電話帳に新しい連絡先を追加します。このコマンドが返す ContactId は連絡先を識別する一意の文字列で、通常の形式は「localContactId-n」です。

xCommand Phonebook ContactMethod Add コマンドを使用すると 1 件の連絡先に複数の連絡方法 (Number、CallRate、CallType、Device および Protocol) を追加できます。最初の連絡方法のみが、タッチコントローラの【お気に入り (Favorites)】リストに表示されます。すべての連絡方法は、その他の UI で使用できます。

使用方法:

```
xCommand Phonebook Contact Add Name: "Name" [Number: "Number"] [CallRate: "CallRate"] [CallType: "CallType"] [Device: "Device"] [FolderId: "FolderId"] [ImageURL: "ImageURL"] [Protocol: Protocol] [Tag: Tag] [Title: "Title"]
```

説明:

Name:

文字列 (0、255)

連絡先の名前。

番号:

文字列 (0、255)

連絡先の番号またはビデオアドレス。

コールレート:

整数 (0 ~ 6000)

この連絡先に通話するとき使用するコールレート (kbps) を設定します。

CallType:

音声/ビデオ/自動

コールタイプを選択します (オーディオまたはビデオ)。自動 (Auto) を選択すると、デバイスは、自動でコールタイプを判断します。

デバイス:

携帯/その他/電話/ビデオ/勤務先

現在の連絡方法を説明する値を選択します。これにより、同じ人に対して複数の連絡方法がある場合に、正しいエントリを見つけやすくなります。

FolderId:

文字列 (0、255)

連絡先を保存するフォルダの一意の識別子です。この識別子は、xCommand Phonebook Search コマンドによって返されます。また、xCommand Phonebook Folder Add コマンドを発行してフォルダを作成したときにも返されます。

ImageURL:

文字列 (0、255)

現在は使用されていません。

Protocol:

Auto/H323/SIP/Spark

リストから会議プロトコルを選択します。

Spark は、Webex インフラストラクチャを使用しているデバイスに使用されます。

Tag:

Untagged/Favorite

連絡先をお気に入りとしてタグ付けするか、すでにタグ付けされた連絡先のタグを解除します。

Title:

文字列 (0、255)

連絡先の役職。

xCommand Phonebook Contact Delete

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

ローカル電話帳から既存の連絡先を削除します。

使用方法:

```
xCommand Phonebook Contact Delete ContactId: "ContactId"
```

説明:

ContactId:

文字列 (0、255)

連絡先の一意の識別子。この ID は xCommand Phonebook Search コマンドによって返されます。また、xCommand Phonebook Contact Add コマンドを発行して連絡先を作成したときにも返されます。

xCommand Phonebook Contact Modify

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

ローカル電話帳の既存の連絡先の連絡先情報を変更します。Name、FolderId、ImageUrl、および Title パラメータは、このコマンドを使用して変更できます。その他の Number、Protocol、CallRate、CallType、および Device パラメータを変更するには、xCommand Phonebook ContactMethod Modify コマンドを使用する必要があります。

使用方法:

```
xCommand Phonebook Contact Modify ContactId: "ContactId" [Name: "Name"]  
[FolderId: "FolderId"] [ImageUrl: "ImageUrl"] [Tag: "Tag"] [Title: "Title"]
```

説明:

ContactId:

文字列 (0、255)

変更する連絡先の一意の識別子。この ID は xCommand Phonebook Search コマンドによって返されます。また、xCommand Phonebook Contact Add コマンドを発行して連絡先を作成したときにも返されます。

Name:

文字列 (0、255)

連絡先の名前。

FolderId:

文字列 (0、255)

フォルダの一意の識別子。この ID は xCommand Phonebook Search コマンドによって返されます。xCommand Phonebook Folder Add コマンドを発行した場合も返されます。

ImageUrl:

文字列 (0、255)

現在は使用されていません。

Tag:

Untagged/Favorite

連絡先をお気に入りとしてタグ付けするか、すでにタグ付けされた連絡先のタグを解除します。

Title:

文字列 (0、255)

連絡先の役職。

xCommand Phonebook ContactMethod Add

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

ローカル電話帳の既存の連絡先の連絡先情報を追加します。このコマンドが返す ContactMethodId は連絡方法を識別する一意の文字列で、通常の形式は「n」です。

1 件の連絡先に複数の連絡方法を追加できます。最初の連絡方法だけがデバイスのユーザ インターフェイスのお気に入りリストに表示されることに注意してください。最初の連絡方法は、xCommand Phonebook Contact Add コマンドを発行して連絡先を作成したときに作成されている場合があります。すべての連絡方法は、API および Web インターフェイスで利用できます。

使用方法:

```
xCommand Phonebook ContactMethod Add ContactId: "ContactId" [CallRate:  
CallRate] [CallType: "CallType"] [Device: "Device"] Number: "Number" [Protocol:  
Protocol]
```

説明:

ContactId:

文字列 (0、255)

連絡方法を追加する連絡先の一意の識別子。この ID は xCommand Phonebook Search コマンドによって返されます。また、xCommand Phonebook Contact Add コマンドを発行して連絡先を作成したときにも返されます。

コールレート:

整数 (0 ~ 6000)

この連絡先に通話するとき使用するコールレート (kbps) を設定します。

CallType:

音声/ビデオ/自動

コールタイプを選択します (オーディオまたはビデオ)。**[自動 (Auto)]** を選択すると、デバイスは、自動でコールタイプを判断します。

デフォルト値: Auto

デバイス:

携帯/その他/電話/ビデオ/勤務先

現在の連絡方法を説明する値を選択します。これにより、同じ人に対して複数の連絡方法がある場合に、正しいエントリを見つけやすくなります。

番号:

文字列 (0、255)

連絡先の番号またはビデオアドレス。

プロトコル

Auto/H323/SIP/Spark

リストから会議プロトコルを選択します。

Spark は、Webex インフラストラクチャを使用しているデバイスで使用されます。

xCommand Phonebook ContactMethod Delete

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

ローカル電話帳の既存の連絡先から連絡方法を削除します。

使用方法:

```
xCommand Phonebook ContactMethod Delete ContactId: "ContactId"  
ContactMethodId: "ContactMethodId"
```

説明:

ContactId:

文字列 (0, 255)

変更する連絡先の一意の識別子。この ID は xCommand Phonebook Search コマンドによって返されます。また、xCommand Phonebook Contact Add コマンドを発行して連絡先を作成したときにも返されます。

ContactMethodId:

文字列 (0, 255)

削除する連絡方法の一意の識別子。この ID は xCommand Phonebook Search コマンドによって返されます。また、xCommand Phonebook ContactMethod Add コマンドを発行して連絡方法を作成したときにも返されます。

xCommand Phonebook ContactMethod Modify

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

ローカル電話帳の既存連絡先の連絡方法に関する詳細を修正します。

使用方法:

```
xCommand Phonebook ContactMethod Modify ContactId: "ContactId"  
ContactMethodId: "ContactMethodId" [Device: Device] [Number: "Number"]  
[Protocol: Protocol] [CallRate: CallRate] [CallType: CallType]
```

説明:

ContactId:

文字列 (0, 255)

連絡先の一意の識別子。この ID は xCommand Phonebook Search コマンドによって返されます。また、xCommand Phonebook Contact Add コマンドを発行して連絡先を作成したときにも返されます。

ContactMethodId:

文字列 (0, 255)

変更する連絡方法の一意の識別子。この ID は xCommand Phonebook Search コマンドによって返されます。また、xCommand Phonebook ContactMethod Add または xCommand Phonebook Contact Add コマンドを発行して連絡方法を作成したときにも返されます。

デバイス:

携帯/その他/電話/ビデオ/勤務先

現在の連絡方法を説明する値を選択します。これにより、同じ人に対して複数の連絡方法がある場合に、正しいエントリを見つけやすくなります。

番号:

文字列 (0, 255)

連絡先の番号またはビデオアドレス。

プロトコル

Auto/H323/SIP/Spark

リストから会議プロトコルを選択します。

Spark は、Webex インフラストラクチャを使用しているデバイスに使用されます。

コールレート:

整数 (0 ~ 6000)

この連絡先に通話するとき使用するコールレート (kbps) を設定します。

CallType:

音声/ビデオ/自動

コールタイプを選択します (オーディオまたはビデオ)。[自動 (Auto)] を選択すると、デバイスは、自動でコールタイプを判断します。

デフォルト値: Auto

xCommand Phonebook Folder Add

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

電話帳エントリはフォルダに保存できます。このコマンドを使用して、ローカル電話帳にフォルダを追加します。このコマンドが返す FolderId はフォルダを識別する一意の文字列で、通常の形式は「LocalGroupId-n」です。

使用方法:

xCommand Phonebook Folder Add Name: "Name" [ParentFolderId: "ParentFolderId"]

説明:

Name:

文字列 (0、255)

フォルダの名前。

ParentFolderId:

文字列 (0、255)

親フォルダの一意の識別子。この ID は xCommand Phonebook Search コマンドによって返されます。また、xCommand Phonebook Folder Add コマンドを発行して親フォルダを作成したときにも返されます。

xCommand Phonebook Folder Delete

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

ローカル電話帳から既存のフォルダを削除します。

使用方法:

xCommand Phonebook Folder Delete FolderId: "FolderId"

説明:

FolderId:

文字列 (0、255)

フォルダの一意の識別子。この ID は xCommand Phonebook Search コマンドによって返されます。また、xCommand Phonebook Folder Add コマンドを発行してフォルダを作成したときにも返されます。

xCommand Phonebook Folder Modify

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

既存の電話帳フォルダを修正します。

使用方法:

xCommand Phonebook Folder Modify FolderId: "FolderId" [Name: "Name"]
[ParentFolderId: "ParentFolderId"]

説明:

FolderId:

文字列 (0、255)

フォルダの一意の識別子。この ID は xCommand Phonebook Search コマンドによって返されます。また、xCommand Phonebook Folder Add コマンドを発行してフォルダを作成したときにも返されます。

Name:

文字列 (0、255)

連絡先の名前。

ParentFolderId:

文字列 (0、255)

親フォルダの一意の識別子。この ID は xCommand Phonebook Search コマンドによって返されます。また、xCommand Phonebook Folder Add コマンドを発行して親フォルダを作成したときにも返されます。

xCommand Phonebook Search

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

Search コマンドで、ローカルおよび社内電話帳のどちらでも検索することができます。検索によって ResultSet が提供されます。

ローカル電話帳を検索した場合、結果セットには常にフォルダと連絡先の総数 (TotalRows) が含まれています。社内電話帳の検索時には、フォルダおよび連絡先の合計数が含まれない場合があります。この合計数が含まれるかどうかは、社内電話帳のバックエンドサービス (Webex、Cisco Unified Communications Manager、VCS、Cisco TelePresence Management Suite (TMS) など) とそのバージョンによって決まります。

使用方法:

```
xCommand Phonebook Search [PhonebookId: "PhonebookId"] [PhonebookType: "PhonebookType"] [SearchString: "SearchString"] [SearchField: "SearchField"] [SearchFilter: "SearchFilter"] [ContactType: "ContactType"] [Offset: "Offset"] [FolderId: "FolderId"] [Limit: Limit] [ContactMethodLimit: ContactMethodLimit] [Recursive: Recursive] [Tag: Tag]
```

説明:

PhonebookId:

文字列 (0、255)

検索する電話帳サーバの ID。xConfiguration Phonebook Server ID 設定を参照してください。

PhonebookType:

Corporate/Local

検索対象がローカル電話帳か社内電話帳かを定義します。

デフォルト値: Local

SearchString:

文字列 (0、255)

この文字列を含むエントリを検索します (エントリの先頭がこの文字列である必要はありません)。FolderId を指定しない場合、すべてのフォルダおよび電話帳ディレクトリが検索されます。

SearchField:

名前/番号

現在は使用されていません。

SearchFilter:

All/People/Pmr/Rooms

表示する結果のタイプを選択して、検索結果をフィルタします。このパラメータは、デバイスが Webex クラウドサービスに登録されているか、または Webex Edge for Devices にリンクされている場合のみ使用できます。

All: すべてのディレクトリを検索します。

People: フィルタの結果に人の見を含めます。

Pmr: フィルタの結果にパーソナル会議室のみを含めます。

Rooms: フィルタの結果に会議室/デバイスのみを含めます。

ContactType:

Any/Folder/Contact

すべての連絡先タイプを検索するか、検索対象をフォルダまたは個々の連絡先に制限します。

デフォルト値: Any

Offset:

整数 (0 ~ 65534)

検索のこのオフセットで始まるレコードを取得します。デフォルト値は 0 です。Offset は、ページングをサポートするために Limit とともに使用されます。

デフォルト値: 0

FolderId:

文字列 (0、255)

指定したフォルダのみを検索します。FolderId (文字列) は、フォルダを含む検索結果の ResultSet にリストされています。

Limit:

整数 (0 ~ 65534)

結果セットのレコード数をこの数値に制限します。デバイスが Webex クラウドサービスに登録されているか、Webex Edge for devices にリンクされている場合、企業電話帳 (PhonebookType: Corporate) の上限は 100 です。そうでない場合の上限は 1000 です。

デフォルト値: 50

ContactMethodLimit:

整数 (0 ~ 10)

結果セットのレコード数をこの数値に制限します。たとえば、Limit を 2 に設定した場合、ResultSet には、ヒットの総数が 2 より多くても、2 エントリだけが含まれます。

デフォルト値: 0

Recursive:

False/True

このパラメータは、ローカル電話帳を検索する場合にのみ有効です。ローカル電話帳検索を特定の FolderId に制限するか、またはそのサブフォルダも再帰的に検索するかどうかを決定します。指定しない場合は、再帰検索になります。

どのパラメータも指定せずにコマンドを発行すると、ローカル電話帳のすべてのフォルダ、連絡先、および連絡方法が返されます。

デフォルト値: True

Tag:

Untagged/Favorite

検索対象を、お気に入りとしてタグ付けされた連絡先またはタグなしの連絡先のいずれかに制限します。

Presentation コマンド

xCommand Presentation Start

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

選択されたプレゼンテーション ソースからのメディア ストリームを開きます。

同じコマンドで ConnectorId または PresentationSource パラメータ を複数追加することにより、単一のプレゼンテーション ビデオ ストリームに複数のプレゼンテーション ソースを混合できます (入力ソースの最大数はビデオ会議デバイスのタイプによって異なります)。コマンドにソースを指定する順序によって、画面にソースが表示される順序が決定します。同じコマンドに複数の識別子タイプを混在させることはできません。ConnectorId または PresentationSource のいずれかを使用してください。

USAGE:

```
xCommand Presentation Start [ConnectorId: ConnectorId] [Instance: Instance]  
[Layout: Layout] [PresentationSource: PresentationSource] [SendingMode:  
SendingMode]
```

説明:

ConnectorID (コネクタID):

整数 (1..6) [CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]

整数 (1..4) [CodecEQ]

整数 (1..3) [RoomBar CodecPlus Room55 Room70/Room55D DeskPro Desk BoardPro]

整数 (1..2) [RoomKit RoomKitMini DeskMini Board]

プレゼンテーションに使用するビデオ入力ソース (connectorid で識別) を選択します。

インスタンス:

New/1/2/3/4/5/6

複数のプレゼンテーションをインスタンスとして同時に実行できます。インスタンス番号は自動的に設定されるか、ユーザーが指定できます。この番号は、特定のプレゼンテーションを停止するために使用できます。

レイアウト:

等しい目立つ

ストリームが複数の入力ソースで構成されている場合は、プレゼンテーションのレイアウトを選択します。

Equal: プレゼンテーションは同じサイズの画像に表示されます。画面には最大 4 つの画像を配置できます。

Prominent: 最初のプレゼンテーション ソースが大きい画像として表示され、次のプレゼンテーション ソースが小さい画像として下に配置されて表示されます。

デフォルト値: Equal

PresentationSource:

None/AirPlay/Miracast/1/2/3/4/5/6 [CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]

None/AirPlay/Miracast/1/2/3/4 [CodecEQ]

None/AirPlay/Miracast/1/2/3 [RoomBar CodecPlus Room55 Room70/Room55D DeskPro Desk BoardPro]

None/AirPlay/Miracast/1/2 [RoomKit RoomKitMini DeskMini Board]

プレゼンテーションに使用するビデオソースを選択します。

n: プレゼンテーションに使用するビデオ入力ソース (ソース番号で識別) を選択します。

Miracast: Miracast を使用したワイヤレス共有。

Airplay: AirPlay を使用したワイヤレス共有。

None: None は、同じコマンドに複数の PresentationSource パラメータがあり、他の PresentationSource パラメータの少なくとも 1 つが None とは異なる値を持つ場合にのみ使用できます。None とは、構成されたストリームに黒いフレームが挿入されることを意味します。

SendingMode:

LocalRemote/LocalOnly

プレゼンテーションをローカルで表示するか、ローカルとリモートの両方またはいずれか一方で表示するかを選択します。

LocalRemote: プレゼンテーションはローカルとリモートの両方で表示されます。

LocalOnly: プレゼンテーションはローカルに表示されます。

デフォルト値: LocalRemote

xCommand Presentation Stop

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

プレゼンテーション ソースからのメディア ストリームを停止します。

使用方法:

```
xCommand Presentation Stop [Instance: Instance] [PresentationSource: PresentationSource]
```

説明:

インスタンス:

1/2/3/4/5/6

複数のプレゼンテーションを実行している場合は、停止するプレゼンテーション インスタンスを指定します。インスタンス番号は、プレゼンテーションの開始時に決定されます。

PresentationSource:

None/AirPlay/Miracast/1/2/3/4/5/6 [CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]

None/AirPlay/Miracast/1/2/3/4 [CodecEQ]

None/AirPlay/Miracast/1/2/3 [RoomBar CodecPlus Room55 Room70/Room55D DeskPro Desk BoardPro]

None/AirPlay/Miracast/1/2 [RoomKit RoomKitMini DeskMini Board]

停止するプレゼンテーション ストリームを選択します。詳細については、Presentation Start コマンドを参照してください。

n: ソース番号で指定したプレゼンテーション入力ソース。

Miracast: Miracast を使用して共有されるストリーム。

Airplay: AirPlay を使用して共有されるストリーム。

None: 構成されたストリームに挿入される黒いフレーム。

Provisioning コマンド

xCommand Provisioning CompleteUpgrade

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

ソフトウェアのアップグレードを設定する前にアップグレードをインストールする必要がある場合に、アップグレードのインストールを開始します。

使用方法:

```
xCommand Provisioning CompleteUpgrade
```

xCommand Provisioning PostponeUpgrade

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

ソフトウェア アップグレードのインストールを延期します。

使用方法:

```
xCommand Provisioning PostponeUpgrade [Reason: "Reason"] SecondsToPostpone: SecondsToPostpone
```

説明:

Reason:

文字列 (0、255)

アップグレードが延期された理由に関する情報を提供します。

SecondsToPostpone:

整数 (0 ~ 65534)

アップグレードを延期する時間を設定します。値は秒単位です。

xCommand Provisioning CUCM ExtensionMobility Login

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

エクステンション モビリティ サービス用のログイン コマンド。エクステンション モビリティ サービスにログインするには、ユーザー名 (UserId) と暗証番号 (Pin) を使用します。このユーザー名と暗証番号は CUCM で設定されます。CUCM では、1 ユーザに対して複数のプロファイルを使用することもできます。

複数のプロファイルを持つユーザーが、ユーザー名と暗証番号のみを指定してログイン コマンドを送信すると、CUCM は使用可能なプロファイルのリストをデバイスに戻します。デバイスは、これに対応する ExtensionMobilityProfileSelection Profile イベントを作成します。その結果、ユーザー名と暗証番号に加えて Profile パラメータも含む新しいログイン コマンドを送信できるようになります。

使用方法:

```
xCommand Provisioning CUCM ExtensionMobility Login UserId: "UserId" Pin: "Pin"  
[Profile: "Profile"]
```

説明:

UserId:

文字列 (1, 255)

CUCM で設定されている正しいユーザー名。

Pin:

文字列 (1, 255)

CUCM で設定されている、そのユーザの正しい暗証番号。

プロファイル:

文字列 (1, 255)

CUCM で設定されている、そのユーザの正しいプロファイル。このパラメータは、ユーザが複数のプロファイルを持っている場合にのみ該当します。

xCommand Provisioning CUCM ExtensionMobility Logout

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

このコマンドを使用すると、エクステンション モビリティからユーザがログアウトされます。

使用方法:

```
xCommand Provisioning CUCM ExtensionMobility Logout
```

xCommand Provisioning RoomType Activate

適用対象: CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

Web インターフェイスから構成されているルーム タイプのテンプレートを有効にします。

使用方法:

```
xCommand Provisioning RoomType Activate Name: Name
```

説明:

Name:

Briefing/Classroom/Standard

Briefing: ブリーフィング ルーム テンプレートを有効化します。

Classroom: クラスルーム テンプレートを有効化します。

Standard: ルーム テンプレートをオフにします。

xCommand Provisioning Service Fetch

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

デバイスのカスタム要素を詳細にするカスタマイズ テンプレートを追加または更新します。カスタム要素の例として、ブランド イメージ、マクロ、お気に入り、サインイン バナーおよびイン ルーム コントロール パネルなどがあります。

使用方法:

```
xCommand Provisioning Service Fetch [Checksum: "Checksum"] [ChecksumType:  
ChecksumType] [Mode: Mode] [Origin: Origin] URL: "URL"
```

説明:

Checksum:

文字列 (0, 128)

チェックサムは、ダウンロードしたカスタマイズ テンプレートの整合性を確認するために使用されます。HTTP を使用する場合は、チェックサムを追加することが必須です。HTTPS の使用中に、署名されていない証明書を表すサーバからテンプレートをダウンロードする場合、またはデバイスの CA (信頼されていない) リストに登録されていない自己署名証明書をダウンロードする場合にのみ、チェックサムを追加することが必須となります。

ChecksumType:

SHA512

チェックサムを計算するために使用されるアルゴリズム。

デフォルト値: SHA512

Mode:

Add/Replace

モードが Add に設定されている場合、アップロードされたファイルに記載されている項目はすべて既存のカスタマイズ テンプレートに追加されます。モードが Replace に設定されている場合、アップロードされた新しいカスタマイズ テンプレートが以前にアップロードされたテンプレートと比較されます。新しいファイルに存在しない項目は削除されます。いずれの場合も、同じ名前の項目が上書きされます。

デフォルト値: Add

Origin:

Other/Provisioning

カスタマイズ テンプレートをプロビジョニング用を使用するか、別の目的用を使用するかを指定します。値がプロビジョニングされている場合、テンプレート内の設定 (xConfiguration) は無視され、プロビジョニング システム (CUCM または TMS) が通常の設定と同じように設定できるようになります。CUCM は、常にこのパラメータがプロビジョニングに設定されているかのように動作します。

設定によっては、1 つのデバイスに固有の設定である場合があり、それらの設定を複数のデバイスにプロビジョニングすると、到達できないデバイスが作成される場合があります。

デフォルト値: Other

URL:

文字列 (0, 2048)

カスタマイズ テンプレートの URL

Proximity コマンド

xCommand Proximity Services Activate

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

xCommand Proximity Services Deactivate によって非アクティブ化されたプロキシミティ サービスを再びアクティブにします。

使用方法:

```
xCommand Proximity Services Activate
```

xCommand Proximity Services Deactivate

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

このコマンドはデバイス上のすべての Proximity サービスを非アクティブ化します。Proximity サービスを再アクティブ化するには、コマンド xCommand Proximity Services Activate を使用します。

使用方法:

```
xCommand Proximity Services Deactivate
```

RoomCleanup コマンド

xCommand RoomCleanup Cancel

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

スケジュールされた会議室の日次クリーンアップをキャンセルします。

使用方法:

```
xCommand RoomCleanup Cancel
```

xCommand RoomCleanup Run

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

必要に応じて、指定されたタイプのデータのクリーンアップを実行します。

使用方法:

```
xCommand RoomCleanup Run [ContentType: ContentType] [Delay: Delay]
```

説明:

ContentType:

TemporaryAccounts/WebData/Whiteboards

削除するデータのタイプ。

TemporaryAccounts: デバイスにログインしている可能性のある一時アカウントサービスを削除します (例: Enterprise Content Management (ECM) サービスを介してアクセスする OneDrive アカウント)。

Whiteboards: デバイスのすべてのホワイトボードを削除します。

WebData: デバイス上のすべての Web 閲覧データを削除します。

デフォルト値: 0

遅延:

整数 (0..60)

クリーンアップが開始されるまでの秒単位の遅延時間。

デフォルト値: 0

RoomPreset コマンド

xCommand RoomPreset Activate

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

ローカルに保存されたプリセットの 1 つをアクティブ化します。

すべてのビデオ入力ソースに関する情報と、すべてのカメラのパン、チルト、ズーム、および焦点の値が同じプリセットに含まれることに注意してください。これに対して、xCommand Camera Preset コマンドは個々のカメラにのみ適用されます。

使用方法:

```
xCommand RoomPreset Activate PresetId: PresetId
```

説明:

PresetId:

整数 (1 ~ 15)

アクティブ化するプリセットの ID。

xCommand RoomPreset Clear

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

プリセットを削除します。

すべてのビデオ入力ソースに関する情報と、すべてのカメラのパン、チルト、ズーム、および焦点の値が同じプリセットに含まれることに注意してください。これに対して、xCommand Camera Preset コマンドは個々のカメラにのみ適用されます。

使用方法:

```
xCommand RoomPreset Clear PresetId: PresetId
```

説明:

PresetId:

整数 (1 ~ 15)

削除するプリセットの ID。

xCommand RoomPreset Store

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

すべてのビデオ入力ソースに対するコネクタの選択、およびすべてのカメラの現在の位置 (パントとチルト)、ズーム、フォーカスに関する値を保存します。

すべてのビデオ入力ソースに関する情報と、すべてのカメラのパン、チルト、ズーム、および焦点の値が同じプリセットに含まれることに注意してください。デバイスは、このような事前定義されたビデオ入力のプリセットを 15 個保持できます。これらのプリセットは遠端制御で使用できません。つまり、FarEndControl Preset Activate コマンドの PresetId パラメータで参照されます。対照的に、Camera Preset コマンドは個々のカメラにのみ適用されます。これらのプリセットは遠端制御で使用できません。

使用方法:

```
xCommand RoomPreset Store [Description: "Description"] PresetId: PresetId
```

Type: Type

説明:

説明:

文字列 (0、255)

カメラ プリセットの説明を入力します。

PresetId:

整数 (1 ~ 15)

このプリセットの ID。

Type:

All/Camera

適用なしカメラ位置に対してのみプリセットが有効になるようにするには、Camera を選択することを推奨します。

Security コマンド

xCommand Security Certificates CA Add

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

このデバイスに CA セキュリティ証明書をアップロードします。これは複数行コマンドです。

使用方法:

```
xCommand Security Certificates CA Add
```

xCommand Security Certificates CA Delete

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

このデバイスから CA セキュリティ証明書を削除します。

使用方法:

```
xCommand Security Certificates CA Delete Fingerprint: "Fingerprint"
```

説明:

Fingerprint:

文字列 (0, 128)

削除される証明書の固有識別子。xCommand Security Certificates CA Show を実行することにより、フィンガープリント ID を取得できます。

xCommand Security Certificates CA Show

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

このデバイス上の CA セキュリティ証明書の詳細を表示します。

使用方法:

```
xCommand Security Certificates CA Show [Format: Format]
```

説明:

Format:

PEM/Text

リストされている証明書、PEM (プライベート拡張メール) またはプレーン テキストの形式を指定します。

デフォルト値: Text

xCommand Security Certificates CUCM CTL Delete

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

api-description all="true"> このデバイスから証明書信頼リスト (CTL) と Identity Trust List (ITL) を削除します。このコマンドは、Cisco Unified Communications Manager に登録されているデバイス のみに適用されます。

使用方法:

```
xCommand Security Certificates CUCM CTL Delete
```

xCommand Security Certificates CUCM CTL Show

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

このデバイスの証明書信頼リスト (CTL) の詳細を表示します。CTL は、Cisco Unified Communications Manager に登録されているデバイスに使用され、デバイスが信頼する Cisco Unified Communications Manager クラスタ内のサービスの証明書のリストが含まれています。

使用方法:

```
xCommand Security Certificates CUCM CTL Show
```

xCommand Security Certificates CUCM ITL Show

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

このデバイスのアイデンティティ トラスト リスト (ITL) の詳細を表示します。ITL は、Cisco Unified Communications Manager に登録されているデバイスに使用され、デバイスが信頼する Cisco Unified Communications Manager クラスタ内のサービスの証明書のリストが含まれています。

使用方法:

```
xCommand Security Certificates CUCM ITL Show
```

xCommand Security Certificates CUCM MIC Show

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

このデバイスの Manufacturing Installed Certificate (MIC; 製造元でインストールされる証明書) の詳細を表示します。MIC は Cisco Manufacturing CA によって署名され、製造中にデバイスにインストールされます。この証明書は不変です。

使用方法:

xCommand Security Certificates CUCM MIC Show [Format: Format]

説明:

Format:

PEM/Text

リストされている証明書、PEM (プライバシー拡張メール) またはプレーンテキストの形式を指定します。

デフォルト値: PEM

xCommand Security Certificates Services Activate

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

このデバイス上のセキュリティ証明書を有効化します。

使用方法:

xCommand Security Certificates Services Activate Fingerprint: "Fingerprint"

Purpose: Purpose

説明:

Fingerprint:

文字列 (0、1024)

有効化される証明書の固有識別子 (ID)。xCommand Security Certificates Services Show を実行することにより、フィンガープリント ID を取得できます。

目的:

802.1X/Audit/HTTPS/HttpClient/HttpProxy/Pairing/SIP/WebexIdentity

この証明書の目的。

802.1X: 802.1x セキュリティ認証を適用します。

Audit: 外部監査ロギングを実行します。

HTTPS: HTTPS セキュリティ認証を適用します。

HttpClient: xcommand HttpClient API の使用時に相互 TLS 認証で使用します。

HttpProxy: このソフトウェアバージョンでは使用されていません。

Pairing: エンドポイントに直接接続されていないタッチデバイスのペアリング用。

SIP: SIP セキュリティ認証を適用します。

WebexIdentity: Webex クラウドのエンドツーエンド暗号化シナリオでデバイスを識別するため。WebexIdentity の特定の証明書をアクティブ化します。この目的のために、このコマンドでは、暗号化するフィンガープリントを特定して JWES BLOB でシリアル化する必要があります。

xCommand Security Certificates Services Add

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

このデバイスにセキュリティ証明書をアップロードします。これは複数行コマンドです。

使用方法:

```
xCommand Security Certificates Services Add [PrivateKeyPassword:  
"PrivateKeyPassword"]
```

説明:

PrivateKeyPassword:

文字列 (0, 128)

パスワードの秘密キーの詳細を保存します。

デフォルト値: ""

xCommand Security Certificates Services Deactivate

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

このデバイス上のセキュリティ証明書を非アクティブ化します。

使用方法:

```
xCommand Security Certificates Services Deactivate Fingerprint: "Fingerprint"  
Purpose: Purpose
```

説明:

Fingerprint:

文字列 (0, 1024)

非アクティブ化される証明書の固有識別子。xCommand Security Certificates Services Show を実行することにより、フィンガープリント ID を取得できます。

目的:

802.1X/Audit/HTTPS/HttpClient/HttpProxy/Pairing/SIP/WebexIdentity

この証明書の目的。

802.1X: 802.1x セキュリティ認証を適用します。

Audit: 外部監査ロギングを実行します。

HTTPS: HTTPS セキュリティ認証を適用します。

HttpClient: xcommand HttpClient API の使用時に相互 TLS 認証で使用します。

HttpProxy: このソフトウェアバージョンでは使用されていません。

Pairing: エンドポイントに直接接続されていないタッチデバイスのペアリング用。

SIP: SIP セキュリティ認証を適用します。

WebexIdentity: Webex クラウドのエンドツーエンド暗号化シナリオでデバイスを識別するため。WebexIdentity の特定の証明書を非アクティブ化します。

この目的のために、このコマンドでは、暗号化するフィンガープリントを特定して JWE BLOB でシリアル化する必要があります。

xCommand Security Certificates Services Delete

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

このデバイスからセキュリティ証明書を削除します。

使用方法:

```
xCommand Security Certificates Services Delete Fingerprint: "Fingerprint"
```

説明:

Fingerprint:

文字列 (0, 128)

削除される証明書の固有識別子。xCommand Security Certificates Services Show を実行することにより、フィンガープリント ID を取得できます。

xCommand Security Certificates Services Show

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

このデバイス上のセキュリティ証明書の詳細を表示します。

使用方法:

```
xCommand Security Certificates Services Show [Filter: Filter]  
[FingerprintAlgorithm: FingerprintAlgorithm] [Format: Format]
```

説明:

Filter:

802.1X/Audit/HTTPS/HttpClient/HttpProxy/Pairing/SIP/WebexIdentity

選択したサービスに基づいて結果をフィルター処理します。

802.1X: 802.1x セキュリティ認証を適用します。

Audit: 外部監査ロギングを実行します。

HTTPS: HTTPS セキュリティ認証を適用します。

HttpClient: xcommand HttpClient API の使用時に相互 TLS 認証で使用します。

HttpProxy: このソフトウェアバージョンでは使用されていません。

Pairing: エンドポイントに直接接続されていないタッチデバイスのペアリング用。

SIP: SIP セキュリティ認証を適用します。

WebexIdentity: Webex クラウドのエンドツーエンド暗号化シナリオでデバイスを識別するため。

FingerprintAlgorithm:

SHA-1/SHA-256

証明書用のフィンガープリントを生成するときに使用するハッシュ関数を指定します。

SHA-1: SHA-1 ハッシュ関数が使用されます。

SHA-256: SHA-256 ハッシュ関数を使用します (ハッシュ関数の SHA-2 群から)。

デフォルト値: SHA-1

Format:

PEM/Text

リストされている証明書、PEM (プライベート拡張メール) またはプレーン テキストの形式を指定します。

デフォルト値: Text

xCommand Security Certificates サードパーティ Disable

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

SMTP および HttpClient に使用されているバンドルされた証明書を無効にします。

このルート証明書で署名された証明書を提供しているサーバが証明書を無効にすると、その結果は拒否されます。

使用方法:

```
xCommand Security Certificates ThirdParty Disable Fingerprint: "Fingerprint"
```

説明:

Fingerprint:

文字列 (0, 128)

無効にされる証明書の固有識別子。xCommand Security Certificates Services Show を実行することにより、フィンガープリント ID を取得できます。

xCommand Security Certificates サードパーティ Enable

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

SMTP および HttpClient に使用されているバンドルされた証明書を有効にします。

使用方法:

```
xCommand Security Certificates ThirdParty Enable Fingerprint: "Fingerprint"
```

説明:

Fingerprint:

文字列 (0, 128)

有効にされる証明書の固有識別子。xCommand Security Certificates Services Show を実行することにより、フィンガープリント ID を取得できます。

xCommand Security Certificates ThirdParty List

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

バンドルされているすべての証明書とその状態を一覧表示します。

使用方法:

```
xCommand Security Certificates ThirdParty List
```

xCommand Security Certificates ThirdParty Show

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

単一のサードパーティ証明書を表示します。

使用方法:

```
xCommand Security Certificates ThirdParty Show Fingerprint: "Fingerprint"  
[Format: Format]
```

説明:

Fingerprint:

文字列 (0, 128)

表示する証明書に対する一意の識別子。xCommand Security Certificates Services Show を実行することにより、フィンガープリント ID を取得できます。

Format:

PEM/Text

リストされている証明書、PEM (プライバシー拡張メール) またはプレーン テキストの形式を指定します。

デフォルト値: Text

xCommand Security Certificates Webex Show

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

このコマンドは、Webex クラウドサービスに登録されているデバイスにのみ適用されます。

Webex クラウドで使用されているサーバーとサービスの証明書を検証する、信頼された CA 証明書のリストを表示します。

使用方法:

```
xCommand Security Certificates Webex Show [Filter: Filter] [Format: Format]
```

説明:

Filter:

シスコ/非 Cisco/TLS プロキシ

Cisco: Cisco が提供するサーバおよびサービスと通信するときに使用される CA 証明書のリストを表示します。

Non-Cisco: Cisco 以外の提供サーバおよびサービスと通信するときに使用される CA 証明書のリストを表示します。

TLS-proxy: TLS を使用して送信トラフィック用のプロキシを検査するときに必要な追加の CA 証明書の一覧が表示されます。

Format:

PEM/Text

リストされている証明書、PEM (プライバシー拡張メール) またはプレーン テキストの形式を指定します。

デフォルト値: Text

xCommand Security Certificates WebexIdentity Show

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

このコマンドは、Webex クラウドサービスに登録されているデバイスにのみ適用されます。Webex Identity のルート認証局 (CA) リストを表示します。

使用方法:

```
xCommand Security Certificates WebexIdentity Show [Filter: Filter] [Format: Format]
```

説明:

Filter:

External/Internal

External: 内部認証局のリストを表示します。

Internal: 外部認証局のリストを表示します。

Format:

PEM/Text

リストされている証明書、PEM (プライバシー拡張メール) またはプレーン テキストの形式を指定します。

デフォルト値: Text

xCommand Security Ciphers List

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

さまざまなサービス (ドメイン) でサポートされている暗号を一覧表示します。結果:

Name: ドメイン名。

* Syslog-TLS: TLS 経由のログインに使用されます。

* HTTPS サーバー: エンドポイント自身の Web サーバーによって使用されます。

* HTTPS クライアント: エンドポイントからのすべての https クライアントトラフィックに使用されます。

* ペアリング: デバイスやマイク/増幅器とタッチデバイスをペアリングする周辺機器に使用されます。

* SIP TLS: トランスポートが TLS の場合、直接 IP SIP 接続、Cisco Unified Communications Manager、VCS またはその他 SIP プロキシへの SIP 接続に使用されます。

Cipherlist: TLS ライブラリに「送信される実際の暗号リストの文字列。

暗号: TLS 標準名による暗号のスペース区切りリスト。

使用方法:

```
xCommand Security Ciphers List
```

xCommand Security ClientSecret Populate

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

このコマンドは、Webex クラウドサービスに登録されているデバイスにのみ適用されます。デバイスにクライアントシークレットを初めてシードするために、base64url でエンコードされたプレーンテキスト値を受け入れます。

初回以降にシークレットを更新するには、古いシークレットによって暗号化された新しいシークレットを含む JWE BLOB を提供する必要があります。

これは複数行コマンドです。

使用方法:

```
xCommand Security ClientSecret Populate Secret: "Secret"
```

説明:

Secret:

文字列 (0, 1024)

First time: base64url でエンコードされたプレーンテキスト値を指定します。

Thereafter: 古いシークレットで暗号化された新しいシークレットを含む JWE blob を指定します。

xCommand Security Persistency

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

以下の機能を永続モードまたは非永続モードに設定します。非永続モードでは、特定の機能によって収集された情報はデバイスの再起動後まで維持されません。デフォルトは永続モードです。このコマンドはデバイスをリブートします。

使用方法:

```
xCommand Security Persistency Configurations: Configurations CallHistory: CallHistory InternalLogging: InternalLogging LocalPhonebook: LocalPhonebook DHCP: DHCP ConfirmAndReboot: ConfirmAndReboot
```

説明:

構成:

NonPersistent/Persistent

非永続モードでは、デバイスを再起動するとすべての設定がデフォルトに戻ります。

CallHistory:

NonPersistent/Persistent

非永続モードでは、デバイスを再起動すると通話履歴が削除されます。

InternalLogging:

NonPersistent/Persistent

非永続モードでは、デバイスを再起動するとイベント ログが削除されます。

LocalPhonebook:

NonPersistent/Persistent

非永続モードでは、デバイスを再起動するとローカルの電話帳が削除されます。

DHCP:

NonPersistent/Persistent

非永続モードでは、デバイスを再起動するとすべての IP 関連の情報が削除されます。

ConfirmAndReboot:

はい

デバイスをリブートします。

xCommand Security Session Get

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, AUDIT, INTEGRATOR, ROOMCONTROL, USER

現在のセッションの詳細を表示します。

使用方法:

```
xCommand Security Session Get
```

xCommand Security Session List

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

アクティブなセッションの一覧を表示します。

使用方法:

```
xCommand Security Session List
```

xCommand Security Session Terminate

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

セッションを終了します。

使用方法:

```
xCommand Security Session Terminate SessionId: "SessionId"
```

説明:

SessionId:

文字列 (0, 32)

セッション ID 番号。

Standby コマンド

xCommand Standby Activate

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

デバイスをスタンバイ モードに設定します。つまり、ビデオ出力をオフにして、カメラをスリープ モードにします。

使用方法:

```
xCommand Standby Activate
```

xCommand Standby Deactivate

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

デバイスをスタンバイ モードから復帰させます。

使用方法:

```
xCommand Standby Deactivate
```

xCommand Standby Halfwake

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, INTEGRATOR

デバイスを「ハーフ ウェイク」の状態に設定します。この状態から起動するにはリモートをピックアップするかタッチ デバイスをタップするよう、UI からユーザに通知されます。

使用方法:

```
xCommand Standby Halfwake
```

xCommand Standby ResetHalfwakeTimer

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

一時的なハーフウェイク タイマー遅延を設定します。リセット タイマーが設定されたときにデバイスがハーフ ウェイク モードである場合、デバイスはハーフ ウェイク モードからウェイクアップされます。指定された遅延時間だけアイドル状態が続くと、デバイスはハーフ ウェイク モードになります。

使用方法:

```
xCommand Standby ResetHalfwakeTimer Delay: Delay
```

説明:

Delay:

整数 (1 ~ 480)

遅延を分単位で設定します。

xCommand Standby ResetTimer

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

スタンバイ遅延タイマーをリセットするか、一時的なスタンバイ遅延を設定します。タイマーが設定されているときにデバイスがスタンバイ モードになっている場合、デバイスは、カウントダウンを開始する前にスタンバイ モードから復帰します。

Delay を指定しない場合、スタンバイ遅延タイマーがリセットされ、スタンバイ遅延設定 (xConfiguration Standby Delay) によって指定された期間が経過した後、デバイスがスタンバイ状態になります。Delay を指定した場合、デバイスは指定された期間アイドル状態のときにスタンバイに入ります。次のスタンバイ遅延は、Standby Delay 設定で設定されたように再び行われます。

使用方法:

```
xCommand Standby ResetTimer [Delay: Delay]
```

説明:

Delay:

整数 (1 ~ 480)

遅延を分単位で設定します。

SystemUnit コマンド

xCommand SystemUnit Boot

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

デバイスをリポートします。

使用方法:

```
xCommand SystemUnit Boot [Action: Action] [Force: Force]
```

説明:

アクション:

再起動/シャットダウン

デフォルトでは、リポート後にデバイスが再起動されます。Shutdown を選択すると、デバイスは再起動しません。

デフォルト値: Restart

Force:

False/True

デフォルトでは、デバイスが使用されているかどうかに関係なく、デバイスはすぐに再起動します。[False] を選択すると、デバイスは使用されていない場合 (つまり、アイドル、スタンバイ、またはハーフウェイクモード) のみ再起動します。

デフォルト値: True

xCommand SystemUnit DeveloperPreview Activate

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

developer preview モードをアクティブ化します。developer preview モードがアクティブな場合で、DeveloperPreview オプションキーがインストールされている場合、public-api-preview xAPI ノードにアクセスできます。

使用方法:

```
xCommand SystemUnit DeveloperPreview Activate
```

xCommand SystemUnit DeveloperPreview Deactivate

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

developer preview モードを非アクティブ化します。

使用方法:

```
xCommand SystemUnit DeveloperPreview Deactivate
```

xCommand SystemUnit FactoryReset

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

工場出荷時設定にコーデックをリセットします。コールのログは削除され、デバイス パラメータはすべてデフォルト値にリセットされます。コーデックにアップロードされていたファイルは、すべて削除されます。オプション キーは影響を受けません。デバイスを工場出荷時状態にリセットするときに保持する設定とファイルを選択するには、Keep パラメータを使用します。

デフォルトでは工場出荷時状態にリセットするとデバイスは再起動しますが、別の TrailingAction の選択によって、他の動作を強制できます。

使用方法:

```
xCommand SystemUnit FactoryReset Confirm: Confirm [Keep: Keep]  
[TrailingAction: TrailingAction]
```

説明:

Confirm:

はい

これを含めると、選択内容を確認します。

Keep:

Certificates/HTTP/LocalSetup/Network/Provisioning/RemoteSupportUser/SerialPort/
Webex

デバイスを初期設定にリセットする際に、保持する設定とファイルを選択します。

Certificates:

クライアントと CA 証明書。

HTTP

xConfiguration NetworkServices HTTP Mode

xConfiguration NetworkServices HTTPS Server MinimumTLSVersion

xConfiguration NetworkServices HTTPS StrictTransportSecurity

xConfiguration NetworkServices HTTPS VerifyClientCertificate

xConfiguration NetworkServices HTTPS VerifyServerCertificate

LocalSetup:

xConfiguration Audio DefaultVolume

xConfiguration Audio SoundsAndAlerts RingVolume

xConfiguration Time Zone

xConfiguration UserInterface Language

xConfiguration Video Output Connector OverscanLevel

xCommand Camera Preset Store

Network:

xConfiguration Network 1 *

xConfiguration NetworkServices Wifi Allowed

xConfiguration NetworkServices Wifi Enabled

Provisioning:

xConfiguration Provisioning Mode

RemoteSupportUser :

リモートサポートユーザー (存在する場合)。

SerialPort:

xConfiguration SerialPort Mode

xConfiguration SerialPort BaudRate

xConfiguration SerialPort LoginRequired

Webex :

xConfiguration Spark ServiceOverrides GdsBaseUrl

xConfiguration Spark ServiceOverrides U2CBaseUrl

xConfiguration Spark ServiceOverrides WdmBaseUrl

TrailingAction:

NoAction/Restart/Shutdown

デフォルトの動作 (Restart) を上書きするには、Shutdown または NoAction を選択します。

デフォルト値 : Restart

xCommand SystemUnit FirstTimeWizard Stop

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

デバイスを初めて起動したときに表示されるウィザードを停止して、ウィザードを使用せずにデバイスをセットアップできるようにします。デバイスを工場出荷時の設定にリセットした場合にのみ、ウィザードが再び表示されます。

使用方法:

```
xCommand SystemUnit FirstTimeWizard Stop
```

xCommand SystemUnit Notifications RemoveAll

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

xStatus SystemUnit Notifications Text/Type によって報告されたシステム通知のリストをクリアします。

使用方法:

```
xCommand SystemUnit Notifications RemoveAll
```

xCommand SystemUnit OptionKey Add

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

追加機能をサポートするオプション キーを追加します。

使用方法:

```
xCommand SystemUnit OptionKey Add Key: "Key"
```

説明:

凡例:

文字列 (16, 24)

オンにするオプションの受信済みキー。

xCommand SystemUnit OptionKey List

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

すべてのオプション キーの一覧を表示します。

使用方法:

```
xCommand SystemUnit OptionKey List
```

xCommand SystemUnit OptionKey Remove

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

指定したオプション キーを削除します。

使用方法:

```
xCommand SystemUnit OptionKey Remove Type: Type
```

説明:

タイプ:

*DeveloperPreview/Encryption/MultiSite/RemoteMonitoring [RoomKit RoomKitMini RoomBar
CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro
DeskMini Desk Board BoardPro]*

AVIntegrator/DeveloperPreview/Encryption/MultiSite/RemoteMonitoring [CodecEQ]

xCommand SystemUnit OptionKey RemoveAll

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

すべてのオプション キーを削除します。

使用方法:

```
xCommand SystemUnit OptionKey RemoveAll Confirm: Confirm
```

説明:

Confirm:

はい

xCommand SystemUnit ProductPlatform Set

適用対象: *CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama*

必要なユーザー ロール: ADMIN

デバイスの製品プラットフォームを選択してください。このコマンドは通常、デバイスが修理された後で、製品プラットフォームが実際の製品に一致していない場合に使用されます。Use with caution.

このコマンドを使用して Room Panorama または Room 70 Panorama の製品プラットフォームを変更すると、Panorama 固有の機能が無効になることに注意してください。有効にするには、有効な Panorama サービス契約についてシスコにお問い合わせください。

使用方法:

```
xCommand SystemUnit ProductPlatform Set Platform: Platform
```

説明:

プラットフォーム:

CODECPRO/ROOM70D/ROOM70S [CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]

CODECPLUS/ROOM55D/ROOM70S/ROOM70D [CodecPlus Room70/Room55D]

CODECPRO:プラットフォームは、Codec Pro に設定されています。

CODECPLUS:プラットフォームは Codec Plus に設定されています。

ROOM55D:プラットフォームは Room 55 Dual に設定されます。

ROOM70S:Codec Plus と Room 70 では、プラットフォームは Room 70 Single に設定されます。Codec Pro と Room 70 G2 では、プラットフォームは Room 70 Single G2 に設定されます。

ROOM70D:Codec Plus と Room 70 では、プラットフォームは Room 70 Dual に設定されます。Codec Pro と Room 70 G2 では、プラットフォームは Room 70 Dual G2 に設定されます。

xCommand SystemUnit SignInBanner Clear

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

xCommand SystemUnit SignInBanner Set で設定されたサインイン バナーをクリアします。

使用方法:

```
xCommand SystemUnit SignInBanner Clear
```

xCommand SystemUnit SignInBanner Get

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

xCommand SystemUnit SignInBanner Set で設定されたカスタム メッセージを取得します。

使用方法:

```
xCommand SystemUnit SignInBanner Get
```

xCommand SystemUnit SignInBanner Set

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

デバイスのユーザー インターフェイスにカスタム メッセージを使用したサインイン バナーを設定します。これは複数行コマンドです。

Use:

```
xCommand SystemUnit SignInBanner Set <enter>
```

```
Banner text <enter>
```

```
. <enter>
```

使用方法:

```
xCommand SystemUnit SignInBanner Set
```

xCommand SystemUnit SoftReset

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

ほとんどのパラメータをデフォルト値にリセットします。これには、ルーム設定に関連するパラメータ (カメラの位置、言語、音量など) は含まれません。

使用方法:

```
xCommand SystemUnit SoftReset Confirm: Confirm
```

説明:

Confirm:

はい

xCommand SystemUnit SoftwareUpgrade

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

指定の URL からソフトウェアを取得し、ソフトウェア アップグレードを実行します。

使用方法:

```
xCommand SystemUnit SoftwareUpgrade URL: "URL" [Forced: Forced]
```

説明:

URL:

文字列 (0、1024)

ソフトウェア パッケージの場所の URL。

Forced:

False/True

更新を確認したり延期したりする機会をユーザーに与えることなく、デバイスでソフトウェア アップグレードを常に即座に受け入れるよう設定できます。

デフォルト値: True

xCommand SystemUnit WelcomeBanner Clear

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

xCommand SystemUnit WelcomeBanner Set で設定されたウェルカム バナーをクリアします。

USAGE:

```
xCommand SystemUnit WelcomeBanner Clear
```

xCommand SystemUnit WelcomeBanner Get

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、AUDIT、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

xCommand SystemUnit WelcomeBanner Set で設定されたカスタム メッセージを取得します。

USAGE:

```
xCommand SystemUnit WelcomeBanner Get
```

xCommand SystemUnit WelcomeBanner Set

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

デバイスの Web インターフェイスまたはコマンドライン インターフェイスに、ユーザがログイン後に表示されるウェルカム バナーを設定します。

バナーには作業開始に必要な情報や、設定の変更時に注意しなければならないことなどが含まれています。これは複数行コマンドです。

Use:

```
xCommand SystemUnit WelcomeBanner Set <enter>
```

```
Banner text <enter>
```

```
. <enter>
```

使用方法:

```
xCommand SystemUnit WelcomeBanner Set
```

Time コマンド

xCommand Time DateTime Get

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

デバイスから時刻と日付を読み出します。

使用方法:

```
xCommand Time DateTime Get
```

xCommand Time DateTime Set

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

NTP (ネットワーク タイム プロトコル) から取得できない場合に、デバイスの時刻と日付を設定します。

使用方法:

```
xCommand Time DateTime Set [Year: Year] [Month: Month] [Day: Day] [Hour: Hour]  
[Minute: Minute] [Second: Second]
```

説明:

平成 年度

整数 (2015 ~ 2037)

Month:

整数 (1 ~ 12)

Day:

整数 (1 ~ 31)

Hour:

整数 (0 ~ 23)

Minute:

整数 (0 ~ 59)

Second:

整数 (0 ~ 59)

UserInterface コマンド

xCommand UserInterface Branding Clear

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

デバイスからカスタム壁紙、ブランド背景画像、およびロゴ ファイルを削除します。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Branding Clear
```

xCommand UserInterface Branding Delete

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

Type パラメータで指定されているイメージ ファイルをデバイスから削除します。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Branding Delete Type: Type
```

説明:

タイプ:

Background/Branding/HalfwakeBackground/HalfwakeBranding

Background: カスタムの壁紙の削除

Branding: デバイスがアクティブになったときに表示されるロゴを削除します。

HalfwakeBackground: デバイスがハーフ ウェイク状態のときに背景として表示されるブランド イメージを削除します。

HalfwakeBranding: デバイスがハーフ ウェイク状態になっているときに表示されるロゴを削除します。

xCommand UserInterface Branding Fetch

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

URL からイメージ ファイルを取得し、デバイスにファイルを保存します。最初に URL を指定します。サポートされる画像形式は BMP、GIF、JPEG および PNG です。最大画像サイズは 16 メガピクセル、最大ファイルサイズは 8 MB です。

Type パラメータで、画像の種類を決定します。背景画像の場合は、関連付けられた機能 (カスタム壁紙、背景とロゴの付いたブランディング) が自動的に適用されます。

このコマンドは、HTTP リクエストを発行します。これは、HTTP リクエストのカウントに含まれません。同時 HTTP(S) リクエストの最大数は制限されています。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Branding Fetch URL: "URL" [Checksum: "Checksum"]  
[ChecksumType: ChecksumType] [CustomId: "CustomId"] Type: Type
```

説明:

URL:

文字列 (5, 250)

画像ファイルの URL を指定します。URL は最初のパラメータである必要があります。

Checksum:

文字列 (0, 128)

取得する画像ファイルのチェックサムを指定します。チェックサムは、ダウンロードしたイメージ ファイルの整合性を確認するために使用されます。HTTP を使用する場合は、チェックサムを追加することが必須です。HTTPS の使用中に、署名されていない証明書を表すサーバからテンプレートをダウンロードする場合、またはデバイスの CA (信頼されていない) リストに登録されていない自己署名証明書をダウンロードする場合にのみ、チェックサムを追加することが必須となります。

ChecksumType:

SHA512

チェックサムを計算するために使用されるアルゴリズムを指定します。

デフォルト値: SHA512

CustomId:

文字列 (0, 128)

この画像のカスタム識別子を指定します。xStatus UserInterface Branding CustomId を使用して、使用される画像の CustomId を取得できます。

タイプ:

Background/Branding/HalfwakeBackground/HalfwakeBranding

この画像の使用法の種類を指定します。

Background: カスタム壁紙として使用できる背景画像を取り出します。

Branding: デバイスがアクティブであるときに表示可能なロゴを取得します。

HalfwakeBackground: デバイスがハーフ ウェイク状態のときに背景として表示できるブランド イメージを取得します。

HalfwakeBranding: デバイスがハーフ ウェイク状態になっているときに表示できるロゴを取得します。

xCommand UserInterface Branding Get

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

このコマンドは、Type パラメータで指定されている画像ファイルを返します。指定したファイルはデバイスに保存されます。ファイルは Base64 でエンコードされています。最初にアップロードされたファイルの形式に関係なく、背景画像は JPG 形式、ロゴは PNG 形式になります。

背景画像は 3 つのサイズで保存されます (メイン画面用のサイズ、タッチコントローラ用のサイズ、および Web インターフェイスのイラスト用サイズ)。Size パラメータを使用して、取得するサイズを選択します。ロゴのサイズは 1 つだけです。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Branding Get [Size: Size] Type: Type
```

説明:

サイズ:

Large/Small/Thumbnail

Large : メイン画面に表示される画像のサイズ。

Small : タッチコントローラに表示される画像のサイズ。

Thumbnail : Web インターフェイスのイラストで使用される画像のサイズ。

デフォルト値: Large

Type:

Background/Branding/HalfwakeBackground/HalfwakeBranding

Background : カスタム壁紙を返します。

Branding : デバイスがアクティブになったときに表示されるロゴを返します。

HalfwakeBackground : デバイスがハーフ ウェイク状態のときに背景として表示されるブランド イメージを返します。

HalfwakeBranding : デバイスがハーフ ウェイク状態になっているときに表示されるロゴを返します。

xCommand UserInterface Branding Updated

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

このコマンドは、新しい画像ファイルがデバイスにアップロードされ、使用可能な状態になったことを通知するイベントを作成します。Type パラメータで、画像の種類を指定します。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Branding Updated Type: Type
```

説明:

タイプ:

Background/Branding/HalfwakeBackground/HalfwakeBranding

Background : カスタム壁紙として使用できる新しい背景画像が使えるようになります。

Branding : デバイスがアクティブになったときに表示できる新しいロゴが使えるようになります。

HalfwakeBackground : デバイスがハーフ ウェイク状態のときに背景として表示できる新しいブランド画像を使用できるようになります。

HalfwakeBranding : デバイスがハーフ ウェイク状態になっているときに表示される新しいロゴを使用できるようになります。

xCommand UserInterface Branding Upload

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

画像ファイルをデバイスにアップロードします。次の画像形式がサポートされています: BMP、GIF、JPEG、および PNG。また、最大画像サイズは 16 メガ ピクセルです。ファイルは Base64 エンコードされている必要があります。最大ファイル サイズは 4 メガ バイト です。

Type パラメータが、画像の使用法を指定します。背景画像の場合は、関連付けられた機能 (カスタム 壁紙、背景とロゴの付いたブランディング) が自動的に適用されます。

これは複数行コマンドです。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Branding Upload [CustomId: "CustomId"] Type: Type
```

説明:

CustomId:

文字列 (0、128)

この画像のカスタム識別子を指定します。xStatus UserInterface Branding CustomId を使用して、使用される画像の CustomId を取得できます。

タイプ:

Background/Branding/HalfwakeBackground/HalfwakeBranding

Background: カスタム壁紙として使用できる背景画像をアップロードします。

Branding: デバイスがアクティブであるときに表示可能なロゴをアップロードします。

HalfwakeBackground: デバイスがハーフ ウェイク状態のときに背景として表示できるブランド イメージをアップロードします。

HalfwakeBranding: デバイスがハーフ ウェイク状態になっているときに表示できるロゴをアップロードします。

xCommand UserInterface Extensions Clear

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL

デバイスからユーザ インターフェイスの拡張機能 (Web アプリ、カスタムボタン、パネル、およびウィジェット) を削除します。ActivityType を指定しない場合は、すべての拡張機能が削除されます。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Extensions Clear [ActivityType: ActivityType]
```

説明:

Activity type:

Custom [RoomKit RoomKitMini RoomBar CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]

Custom/WebApp [DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro]

Custom: カスタムボタン、パネル、およびウィジェットが削除されます。Web アプリは影響を受けません。

WebApp: Web アプリが削除されます。カスタム ボタン、パネル、およびウィジェットは影響を受けません。

xCommand UserInterface Extensions Export

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL

このコマンドの XML 結果として UserInterface Extensions をエクスポートします。

これにより、ローカル Web インターフェイスを介した抽出と同じ結果が得られますが、プログラムで使用できます。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Extensions Export [EmbedData: EmbedData]
```

説明:

EmbedData:

Off/On

Off: XML 出力に base64 でエンコードされたアイコンを埋め込みません。

On: 出力に base64 でエンコードされたアイコンを埋め込みます。

デフォルト値: Off

xCommand UserInterface Extensions Icon Delete

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

デバイスの UI 拡張アイコンのリストからアイコンを削除します。削除するアイコンの ID を指定します。xCommand UserInterface Extensions Icon List を使用すると、ID を持つすべてのアイコンのリストを取得できます。

探しているアイコンがどれかわからない場合は、xcommand UserInterface Icon Get を使用して base64 でエンコードされた値を取得できます。

そして、インターネットツールを使用して base64 を画像に復号化します。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Extensions Icon Delete Id: "Id"
```

説明:

Id:

文字列 (0, 128)

削除するアイコンの ID。

xCommand UserInterface Extensions Icon DeleteAll

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

UI 拡張機能アイコンのすべてまたはサブセットを削除します。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Extensions Icon DeleteAll [Filter: Filter]
```

説明:

Filter:

All/Unused

All: すべての UI 拡張機能アイコンを削除します。

Unused: UI 拡張機能で使用されていないアイコンのみを削除します。

デフォルト値: All

xCommand UserInterface Extensions Icon Download

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

指定された URL からアイコンをダウンロードし、UI 拡張機能アイコンとしてデバイスに保存します。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Extensions Icon Download Url: "Url"
```

説明:

URL:

文字列 (0, 2048)

アイコンの URL。

xCommand UserInterface Extensions Icon Fetch

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

Web サイトで代表的なアイコンを検索し、これをデバイスにダウンロードして、Web アプリやその他の UI 拡張機能で使用します。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Extensions Icon Fetch Url: "Url"
```

説明:

URL:

文字列 (0, 2048)

探している Web サイトの URL およびそれに適したアイコンのダウンロード。

xCommand UserInterface Extensions Icon Get

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

指定された ID を持つ UI 拡張機能アイコンの base64 エンコード表現を取得します。

画像を表示したい場合は、インターネットツールを使用して base64 を画像に復号化できます。

xCommand UserInterface Extensions Icon List を使用して、すべてのアイコン ID のリストを取得します。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Extensions Icon Get Id: "Id"
```

説明:

ID:

文字列 (0, 128)

アイコンに対応する一意の識別子。

xCommand UserInterface Extensions Icon List

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

デバイス上のすべての UI 拡張機能アイコンの一意の識別子のリストを取得します。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Extensions Icon List
```

xCommand UserInterface Extensions Icon Upload

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

デバイスの UI 拡張機能で使用するアイコン画像をアップロードします。

これはマルチライン コマンドです。base64 でエンコードされたバージョンの画像を提供します。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Extensions Icon Upload [Id: "Id"]
```

説明:

ID:

文字列 (0, 128)

アイコンに対応するカスタムの一意の識別子。

xCommand UserInterface Extensions List

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

デバイスにあるユーザ インターフェイス拡張機能 (Web アプリ、カスタムボタン、パネル、およびウィジェット) を一覧表示します。ActivityType を指定しない場合は、すべての拡張機能が一覧表示されます。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Extensions List [ActivityType: ActivityType]
```

説明:

Activity type:

Custom [RoomKit RoomKitMini RoomBar CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]

Custom/WebApp [DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro]

Custom: カスタムボタン、パネル、およびウィジェットが一覧表示されます。Web アプリは含まれません。

WebApp: Web アプリが一覧表示されます。カスタム ボタン、パネル、およびウィジェットは含まれません。

xCommand UserInterface Extensions Panel Clicked

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

ユーザーがカスタムボタン (カスタムパネル、アクションボタン、または Web アプリの場合) をクリックしたときにイベントを作成します。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Extensions Panel Clicked PanelId: "PanelId"
```

説明:

PanelId (ペインID):

文字列 (0, 255)

カスタムパネル、アクションボタンまたは Web アプリの固有の識別子。

xCommand UserInterface Extensions Panel Close

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

開いているカスタムパネルまたは Web アプリを閉じます。

USAGE:

```
xCommand UserInterface Extensions Panel Close
```

xCommand UserInterface Extensions Panel Open

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

指定した PanelID のあるカスタムパネルまたは Web アプリを開きます。パネルに複数のページがある場合は、PageId パラメータを含めることで開くページを指定できます。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Extensions Panel Open PanelId: "PanelId" [PageId: "PageId"]
```

説明:

PanelId (ペインID):

文字列 (0, 255)

カスタムパネルまたは Web アプリの固有の識別子。

PageId:

文字列 (0, 255)

カスタムパネル上のページの一意的 ID。

xCommand UserInterface Extensions Panel Remove

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL

カスタムパネル、アクションボタンまたは Web アプリをこのデバイスのユーザーインターフェイスから削除します。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Extensions Panel Remove PanelId: "PanelId"
```

説明:

PanelId (ペインID):

文字列 (0, 255)

カスタムパネル、アクションボタンまたは Web アプリの固有の識別子。

xCommand UserInterface Extensions Panel Save

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL

カスタムパネル、アクションボタンまたは Web アプリを現在の構成に追加します。同じ パネル ID を持つカスタムパネル、アクションボタンまたは Web アプリが既存する場合は、オーバーライドされず。これは複数行コマンドです。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Extensions Panel Save PanelId: "PanelId"
```

説明:

PanelId (ペインID):

文字列 (1, 255)

カスタムパネル、アクションボタンまたは Web アプリの固有の識別子。

xCommand UserInterface Extensions Panel Update

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

指定した PanelID のあるカスタムパネル、アクションボタンまたは Web アプリを更新します。更新に成功すると、デバイスにすぐに表示されます。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Extensions Panel Update PanelId: "PanelId" [Name: "Name"] [Color: "Color"] [Icon: "Icon"] [IconId: "IconId"] [Location: "Location"] [Visibility: "Visibility"]
```

説明:

PanelId (ペインID):

文字列 (0, 255)

カスタムパネル、アクションボタンまたは Web アプリの固有の識別子。

Name:

文字列 (0, 255)

カスタムパネル、アクションボタンまたは Web アプリの新しい名前。

色:

文字列 (0, 255)

16 進数表記のボタンの色 (例: #4287f5)。

アイコン:

Briefing/Camera/Concierge/Custom/Disc/Handset/Help/Helpdesk/Home/Hvac/Info/ Input/Language/Laptop/Lightbulb/Media/Microphone/Power/Proximity/Record/Spark/ Tv/Webex/General

ボタンのアイコン。リストからプリインストールされているアイコンの 1 つを使用するか、[カスタム (Custom)] を選択してデバイスにアップロードされているカスタムアイコンを使用します。

IconId:

文字列 (0, 255)

アップロードされたカスタムアイコンの一意の識別子。

所在地:

CallControls/Hidden/HomeScreen/HomeScreenAndCallControls

ボタン (カスタムパネル、アクションボタンまたは Web アプリ用) がホーム画面または、呼制御またはその両方にあるか、またはどこにもないかを決定します。

このパラメータは、このソフトウェアバージョンの Room 70 Panorama および Room Panorama では使用できません。

CallControls: ボタンは呼制御にのみあります。これは、通話中にのみ使用できることを意味します。

Hidden: ボタンは常に非表示ですが、API コマンドを使用してパネルまたは Web アプリを開くことができます。

HomeScreen: ボタンはホーム画面のみにあります。

HomeScreenAndCallControls: ボタンはホーム画面と呼制御の両方にあります。

Visibility:

Auto/Hidden

ユーザーインターフェイスでボタン (カスタムパネル、アクションボタンまたは Web アプリ用) を表示するかどうかを選択します。

Auto: ボタンがユーザーインターフェイスで表示されます。

Hidden: ボタンはユーザーインターフェイスで表示されません。

xCommand UserInterface Extensions Set

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL

デバイスのユーザー インターフェイス拡張機能 (ウィジェット) ですでに選択した構成スキームを設定します。UserInterface Extensions ステータス ツリーを更新します。これは複数行コマンドです。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Extensions Set ConfigId: "ConfigId"
```

説明:

ConfigId:

文字列 (0, 40)

その構成の固有識別子。

xCommand UserInterface Extensions WebApp Save

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL

デバイスに Web ページ (Web アプリ) を開くボタンを追加します。同じ パネル ID を持つカスタム パネル、アクションボタンまたは Web アプリが既存する場合は、オーバーライドされます。

デバイスがフォーマットをサポートしている場合、ボタンのアイコンは Web アプリの URL から自動的に取得されます。そうでない場合は、汎用 Web アプリアイコンが使用されます。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Extensions WebApp Save [Location: Location] Name: "Name" [PanelId: "PanelId"] URL: "URL"
```

説明:

所在地:

CallControls/Hidden/HomeScreen/HomeScreenAndCallControls

Web ボタンがホーム画面または、呼制御またはその両方にあるか、またはどこにもないかを決定します。

CallControls: ボタンは呼制御にのみあります。これは、通話中にのみ使用できることを意味します。

Hidden: ボタンは常に非表示ですが、API コマンドを使用して Web アプリを開くことができます。

HomeScreen: ボタンはホーム画面のみにあります。

HomeScreenAndCallControls: ボタンはホーム画面と呼制御の両方にあります。

Name:

文字列 (0, 40)

ユーザーインターフェイスに表示される Web アプリの名前。

PanelId (ペインID):

文字列 (1, 255)

Web アプリの固有の識別子。

URL:

文字列 (0, 2048)

Web アプリ URL。

xCommand UserInterface Extensions Widget Action

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

特定のウィジェットのアクションを設定します。UserInterface Extensions ステータス ツリーを更新します。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Extensions Widget Action [Type: "Type"] [Value: "Value"] WidgetId: "WidgetId"
```

説明:

タイプ:

文字列 (0, 255)

設定されるウィジェットのタイプ。

価値:

文字列 (0, 255)

ウィジェットの値。値の範囲は、ウィジェット タイプによって異なります。

WidgetId (ウィジェットID):

文字列 (0, 255)

ウィジェットの固有識別子。

xCommand UserInterface Extensions Widget SetValue

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL

特定のウィジェットの値を設定します。UserInterface Extensions ステータス ツリーを更新します。値が範囲外の場合は、エラーを返します。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Extensions Widget SetValue Value: "Value" WidgetId: "WidgetId"
```

説明:

価値:

文字列 (0, 255)

ウィジェットの値。値の範囲は、ウィジェット タイプによって異なります。

WidgetId (ウィジェットID):

文字列 (0, 255)

ウィジェットの固有識別子。

xCommand UserInterface Extensions Widget UnsetValue

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL

特定のウィジェットの値を空にします。UserInterface Extensions ステータス ツリーを更新し、このウィジェットが選択されなくなったことをユーザ インターフェイスに通知します。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Extensions Widget UnsetValue WidgetId: "WidgetId"
```

説明:

WidgetId (ウィジェットID):

文字列 (0, 255)

ウィジェットの固有識別子。

xCommand UserInterface LedControl Color Set

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

Room Navigator の壁掛けバージョンには LED ライトが付いています。このコマンドを使用して、色を指定し、LED ライトを On または Off にします。

このコマンドを有効にするには、UserInterface LedControl Mode 設定を [手動 (Manual)] にする必要があります。

使用方法:

```
xCommand UserInterface LedControl Color Set Color: Color
```

説明:

色:

緑/Off/赤/黄

Off: LED ライトを Off にします。

緑/赤/黄: 指定色で LED ライトを On にします。

xCommand UserInterface Message Alert Clear

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

UserInterface Message Alert Display コマンドを使用して表示されたメッセージを削除します。Duration パラメータが設定されていない場合、これは必須です。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Message Alert Clear
```

xCommand UserInterface Message Alert Display

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL

メッセージを画面に表示します。オプションで、メッセージを指定した期間保持することもできます。持続時間を設定しない場合は、このコマンドの後に UserInterface Message Alert Clear コマンドが必要です。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Message Alert Display [Title: "Title"] Text: "Text"  
[Duration: Duration]
```

説明:

Title:

文字列 (0, 255)

メッセージのタイトルを入力します。

デフォルト値: ""

Text:

文字列 (0, 255)

表示されるメッセージ<p> および
 HTML タグを使用すると、通常どおり改行されます。他のタグはプレーン テキストとして表示されます。

期間:

整数 (0 ~ 3600)

メッセージが画面に表示される時間の長さ (秒単位) 0 (ゼロ) に設定すると、UserInterface Message Alert Clear コマンドが送信される時点までメッセージが表示されます。

デフォルト値: 0

xCommand UserInterface Message Prompt Clear

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

UserInterface Message Prompt Display コマンドを使用して、表示されたウィンドウを削除します。Duration パラメータが設定されていない場合、これは必須です。

ユーザからのフィードバックを監視するには、xFeedback コマンドを使用します。このマニュアルの API の概要セクションの xFeedback コマンドに関する説明を参照してください。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Message Prompt Clear [FeedbackId: "FeedbackId"]
```

説明:

FeedbackId:

文字列 (0, 255)

FeedbackId は UserInterface Message Prompt Display コマンドによって指定された FeedbackId に対応します。

デフォルト値: ""

xCommand UserInterface Message Prompt Display

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL

ユーザからの応答のために、画面上で小さなウィンドウにタイトル、テキストおよび最大 5 個のオプションを表示します。メッセージは、ユーザーが応答するか、デバイスが UserInterface Message Prompt Clear コマンドを受信するまで画面に表示されます。

ユーザからのフィードバックを監視するには、xFeedback コマンドを使用します。このマニュアルの API の概要セクションの xFeedback コマンドに関する説明を参照してください。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Message Prompt Display [Title: "Title"] Text: "Text"  
[FeedbackId: "FeedbackId"] [Duration: Duration] [Option.1: "Option.1"]  
[Option.2: "Option.2"] [Option.3: "Option.3"] [Option.4: "Option.4"] [Option.5:  
"Option.5"]
```

説明:

Title:

文字列 (0, 255)

メッセージのタイトルを入力します。

Text:

文字列 (0, 255)

表示されるテキスト行を入力します。<p> および
 HTML タグを使用すると、通常どおり改行されます。他のタグはプレーン テキストとして表示されます。

FeedbackId:

文字列 (0, 255)

フィードバックを識別するには、FeedbackId を入力します。

期間:

整数 (0 ~ 3600)

メッセージ ウィンドウを画面に表示する時間の長さ (秒単位)。0 (ゼロ) に設定すると、UserInterface Message Prompt Clear コマンドが送信される時点までメッセージ ウィンドウが表示されます。

デフォルト値: 0

Option.1:

文字列 (0, 255)

フィードバック オプション 1 に表示するテキスト。

Option.2:

文字列 (0, 255)

フィードバック オプション 2 に表示するテキスト。

Option.3:

文字列 (0, 255)

フィードバック オプション 3 に表示するテキスト。

Option.4:

文字列 (0, 255)

フィードバック オプション 4 に表示するテキスト。

Option.5:

文字列 (0, 255)

フィードバック オプション 5 に表示するテキスト。

xCommand UserInterface Message Prompt Response**適用対象:** すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

UserInterface Message Prompt Display コマンドへの応答を提供します。このコマンドは、ユーザインターフェイスでオプションを選択したときに実行されます。

ユーザからのフィードバックを監視するには、xFeedback コマンドを使用します。このマニュアルの API の概要セクションの xFeedback コマンドに関する説明を参照してください。

使用方法:xCommand UserInterface Message Prompt Response [FeedbackId: "FeedbackId"]OptionId: OptionId

説明:

FeedbackId:

文字列 (0, 255)

FeedbackId は UserInterface Message Prompt Display コマンドによって指定された FeedbackId に対応します。

デフォルト値: ""

OptionId:

整数 (1 ~ 5)

OptionId は UserInterface Message Prompt Display コマンドで可能な応答として指定した OptionId に対応します。

xCommand UserInterface Message Rating Clear**適用対象:** すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

UserInterface Message Rating Display コマンドを使用して表示されたメッセージを削除します。Duration パラメータが設定されていない場合、これは必須です。

使用方法:xCommand UserInterface Message Rating Clear [FeedbackId: "FeedbackId"]

説明:

FeedbackId:

文字列 (0, 255)

FeedbackId は UserInterface Message Rating Display コマンドによって指定された FeedbackId に対応します。FeedbackId が指定されていない場合、すべての UserInterface Message Rating ウィンドウが閉じられます。

デフォルト値: ""

xCommand UserInterface Message Rating Display

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

タイトルとテキストを含む小さなウィンドウを画面に表示します。評価の星は、ユーザーが選択できるようにになっています。メッセージは、ユーザーが応答するか、デバイスが UserInterface Message Rating Clear コマンドを受信するまで画面に表示されます。

ユーザからのフィードバックを監視するには、xFeedback コマンドを使用します。このマニュアルの API の概要セクションの xFeedback コマンドに関する説明を参照してください。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Message Rating Display [Title: "Title"] Text:
"Text" [FeedbackId: "FeedbackId"] [Duration: Duration] [SubmitReceiptText:
"SubmitReceiptText"] [SubmitReceiptTitle: "SubmitReceiptTitle"]
```

説明:

Title:

文字列 (0, 40)

[評価表示 (Rating Display)] ウィンドウにタイトルとして表示されるテキスト。このテキストは、Text パラメータで指定されたテキスト上に大きなフォントで表示されます。タイトルにテキストが指定されていない場合、省略され、[評価表示 (Rating Display)] ウィンドウが小さくなります。

Text:

文字列 (0, 128)

表示されるテキスト行を入力します。<p> および
 HTML タグを使用すると、通常どおり改行されます。他のタグはプレーン テキストとして表示されます。

FeedbackId:

文字列 (0, 255)

フィードバックを識別するには、FeedbackId を入力します。

期間:

整数 (0 ~ 3600)

メッセージ ウィンドウを画面に表示する時間の長さ (秒単位)。これが空欄か 0 に設定されている場合、UserInterface Message Rating Clear コマンドが送信されるまで、メッセージウィンドウが表示されます。

デフォルト値: 0

SubmitReceiptText:

文字列 (0, 128)

ユーザーが評価した後に (例: 「ありがとう」)、メッセージ本文として表示されるテキスト。このテキストは、Text パラメータで指定された元のテキストを置き換え、メッセージが消える前に 1 秒間表示されます。

SubmitReceiptTitle:

文字列 (0, 40)

ユーザーが評価した後に (例: 「ありがとう」)、メッセージタイトルとして表示されるテキスト。このテキストは、Title パラメータで指定される元のタイトルを置き換えます。title パラメータが指定されていない場合、無視されます。

xCommand UserInterface Message Rating Response

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

UserInterface Message Rating Display コマンドへの応答を指定します。このコマンドは、ユーザインターフェイスでオプションを選択したときに実行されます。

ユーザからのフィードバックを監視するには、xFeedback コマンドを使用します。このマニュアルの API の概要セクションの xFeedback コマンドに関する説明を参照してください。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Message Rating Response [FeedbackId: "FeedbackId"]
Rating: Rating
```

説明:

FeedbackId:

文字列 (0, 255)

FeedbackId は UserInterface Message Rating Display コマンドによって指定された FeedbackId に対応します。

デフォルト値: ""

評価:

整数 (1 ~ 5)

評価は、1 が最も左にある UserInterface Message Rating Display ウィンドウで可能な応答として指定された評価に対応します。

xCommand UserInterface Message TextInput Clear

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

UserInterface Message TextInput Display コマンドを使用して表示されたテキスト入力メッセージを削除します。Duration パラメータが設定されていない場合、これは必須です。

ユーザからのフィードバックを監視するには、xFeedback コマンドを使用します。このマニュアルの API の概要セクションの xFeedback コマンドに関する説明を参照してください。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Message TextInput Clear [FeedbackId: "FeedbackId"]
```

説明:

FeedbackId:

文字列 (0, 255)

FeedbackId は UserInterface Message TextInput Display コマンドによって指定された FeedbackId に対応します。

デフォルト値: ""

xCommand UserInterface Message TextInput Display

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL

ユーザが応答できる入力ダイアログボックスを表示します。この機能は、タッチ ベースのユーザ インターフェイスを備えたデバイスでのみサポートされています。メッセージは、ユーザが応答するか、デバイスが UserInterface Message TextInput Clear コマンドを受信するまで画面に表示されます。

ユーザからのフィードバックを監視するには、xFeedback コマンドを使用します。このマニュアルの API の概要セクションの xFeedback コマンドに関する説明を参照してください。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Message TextInput Display [Duration: Duration]  
[FeedbackId: "FeedbackId"] [InputText: "InputText"] [InputType: InputType]  
[KeyboardState: KeyboardState] [Placeholder: "Placeholder"] [SubmitText: "SubmitText"]  
Text: "Text" [Title: "Title"]
```

説明:

期間:

整数 (0 ~ 3600)

メッセージが画面に表示される時間の長さ (秒単位) 0 (ゼロ) に設定すると、UserInterface Message TextInput Clear コマンドが送信される時点までメッセージが表示されます。

デフォルト値: 0

FeedbackId:

文字列 (0, 255)

フィードバックを識別するには、FeedbackId を入力します。

InputText:

文字列 (0, 255)

ダイアログボックスが開かれたときにテキスト入力フィールドに事前設定されているテキスト。返信を送信する前に、このテキストを編集するか、またはテキストを削除して、自身のテキストを入力します。

このパラメータが含まれていない場合、ダイアログボックスが開くと、プレースホルダーパラメータのコンテンツがテキスト入力フィールドに表示されます。

デフォルト値: ""

InputType:

SingleLine/Numeric/Password/PIN

表示されるテキスト入力ダイアログボックスの種類。これにより、表示されるキーボードレイアウトも決定されます。

デフォルト値: SingleLine

KeyboardState:

Open/Closed

テキスト入力メッセージが表示されるときにデバイスのキーボードを開くかどうかを指定します。

デフォルト値: Open

Placeholder:

文字列 (0, 255)

入力を開始するまで、テキスト入力フィールドに表示されるプレースホルダーテキスト。InputText パラメータが含まれている場合、プレースホルダーパラメータは無効です。

デフォルト値: ""

SubmitText:

文字列 (0, 32)

[送信 (Submit)] ボタンに表示されるテキスト。

デフォルト値: "OK"

Text:

文字列 (0, 128)

ユーザに表示されるメッセージ。<p> および
 HTML タグを使用すると、通常どおり改行されます。他のタグはプレーンテキストとして表示されます。

Title:

文字列 (0, 40)

入力ダイアログボックスのタイトル。

デフォルト値: ""

xCommand UserInterface Message TextInput Response

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

UserInterface Message TextInput Display コマンドへの応答を提供します。このコマンドは、ユーザがユーザ インターフェイスのテキスト入力フィールドに入力した返信をユーザが送信したときに実行されます。

ユーザからのフィードバックを監視するには、xFeedback コマンドを使用します。このマニュアルの API の概要セクションの xFeedback コマンドに関する説明を参照してください。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Message TextInput Response [FeedbackId: "FeedbackId"]  
Text: "Text"
```

説明:

FeedbackId:

文字列 (0, 255)

フィードバックを識別するには、FeedbackId を入力します。

Text:

文字列 (0, 255)

ユーザに表示されるメッセージ。

xCommand UserInterface Message TextLine Clear

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

UserInterface Message TextLine Display コマンドで表示されたテキスト行を削除します。Duration パラメータが設定されていない場合、これは必須です。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Message TextLine Clear
```

xCommand UserInterface Message TextLine Display

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL

画面上にテキスト行を表示します。オプションとして、指定した場所に、指定した時間のテキスト行を表示できます。持続時間を設定しない場合は、このコマンドの後に UserInterface Message TextLine Clear コマンドが必要です。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Message TextLine Display Text: "Text" [X: X] [Y: Y]  
[Duration: Duration]
```

説明:

Text:

文字列 (0, 140)

表示されるテキスト行。<p> および
 HTML タグを使用すると、通常どおり改行されます。他のタグはプレーン テキストとして表示されます。

X:

整数 (1 ~ 10000)

画面上の X 座標 (水平) を入力します。X=0 では左上隅に表示されます。

デフォルト値: 0

Y:

整数 (1 ~ 10000)

画面上の Y 座標 (垂直) を入力します。Y=0 では左上隅に表示されます。

デフォルト値: 0

期間:

整数 (0 ~ 3600)

テキスト行が画面に表示される時間 (秒単位) 0 (ゼロ) に設定すると、UserInterface Message TextLine Clear コマンドが送信される時点までテキスト行が表示されます。

デフォルト値: 0

xCommand UserInterface Presentation ExternalSource Add

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL

外部スイッチ経由でデバイスに接続される入力ソースを確立し、設定します。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Presentation ExternalSource Add ConnectorId:  
ConnectorId SourceIdentifier: "SourceIdentifier" Name: "Name" Type: Type
```

説明:

ConnectorID (コネクタID):

整数 (1..6) [CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]

整数 (1..4) [CodecEQ]

整数 (1..3) [RoomBar CodecPlus Room55 Room70/Room55D DeskPro Desk BoardPro]

整数 (1..2) [RoomKit RoomKitMini DeskMini Board]

外部スイッチに接続されるデバイス コネクタの ID。

SourceIdentifier (ソース識別子):

文字列 (0, 40)

入力ソースを識別する一意の文字列。この識別子は、この特定の入力ソースのアドレッシング時に他のコマンドやイベントによって使用されます。

Name:

文字列 (0, 40)

入力ソースの名前。この名前がユーザ インターフェイスに表示されます。

Type:

camera/desktop/document_camera/mediaplayer/PC/whiteboard/other

入力ソースのタイプ。このタイプにより、ユーザ インターフェイスに表示されるアイコンが決まります。

xCommand UserInterface Presentation ExternalSource List

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL

現在の外部入力ソースのリストを返します。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Presentation ExternalSource List
```

xCommand UserInterface Presentation ExternalSource Remove

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, INTEGRATOR, ROOMCONTROL

外部入力ソースのリストから、SourceIdentifier で指定した入力ソースを削除します。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Presentation ExternalSource Remove SourceIdentifier:  
"SourceIdentifier"
```

説明:

SourceIdentifier (ソース識別子):

文字列 (0, 40)

この入力ソースを識別する一意の文字列。これは、UserInterface Presentation ExternalSource Add コマンドでソースが作成されたときに定義されたものです。

xCommand UserInterface Presentation ExternalSource RemoveAll

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, INTEGRATOR, ROOMCONTROL

外部入力ソースのリストから、すべての入力ソースを削除します。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Presentation ExternalSource RemoveAll
```

xCommand UserInterface Presentation ExternalSource Select

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, INTEGRATOR, ROOMCONTROL, USER

SourceIdentifier で指定した入力ソースが Ready 状態である場合に、そのソースを表示し始めます (UserInterface Presentation ExternalSource State Set コマンドを参照)。入力ソースは、ユーザーインターフェイスの共有メニューに「Presenting」と表示されます。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Presentation ExternalSource Select SourceIdentifier:  
"SourceIdentifier"
```

説明:

SourceIdentifier (ソース識別子):

文字列 (0, 40)

この入力ソースを識別する一意の文字列。これは、UserInterface Presentation ExternalSource Add コマンドでソースが作成されたときに定義されたものです。

xCommand UserInterface Presentation ExternalSource State Set

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, INTEGRATOR, ROOMCONTROL

SourceIdentifier で指定された入力ソースの状態を設定または変更します。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Presentation ExternalSource State Set  
SourceIdentifier: "SourceIdentifier" State: State [ErrorReason: "ErrorReason"]
```

説明:

SourceIdentifier (ソース識別子):

文字列 (0, 40)

この入力ソースを識別する一意の文字列。これは、UserInterface Presentation ExternalSource Add コマンドでソースが作成されたときに定義されたものです。

状態:

Hidden/Ready/NotReady/Error

Ready: いずれかのユーザが (ユーザ インターフェイスでタップするか UserInterface Presentation ExternalSource Select コマンドを発行することにより) 入力ソースを選択すると、それが表示されます。

NotReady: 入力ソースの準備ができていないため、選択できません。

Error: 入力ソースが誤った状態です。障害の理由をユーザに通知するために ErrorReason パラメータを使用できます。

Hidden: この入力ソースは、ユーザーインターフェイスの共有メニューに表示されません。

ErrorReason:

文字列 (0, 80)

State パラメータが Error に設定されている場合、この文字列がユーザーインターフェイスの共有メニューに表示されます。

デフォルト値: ""

xCommand UserInterface Translation Override Clear

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

すべての翻訳オーバーライドをクリアします。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Translation Override Clear
```

xCommand UserInterface Translation Override Get

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

翻訳オーバーライド情報を JSON 形式で返します。

翻訳オーバーライドが設定されていない場合、エラーが返されます。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Translation Override Get
```

xCommand UserInterface Translation Override Set

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

ユーザーインターフェイスのテキストの翻訳オーバーライドを設定します。

たとえば、「ホワイトボード」というタイトルを「ホワイトボードコレクション」などに変更します。

これは、JSON 形式のオーバーライドセットが必要な複数行コマンドです。

例:

```
{
  "version": 1,
  "translations": [
    {
      "sourceText": "Whiteboard",
      "translated": "WB",
      "language": "English"
    }
  ]
}
```

sourceText: 置き換えられるテキストの英語バージョン。

translated: 指定した言語の代わりとして使用するテキスト。

language: 翻訳の言語。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Translation Override Set
```

xCommand UserInterface WallpaperBundle Clear

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

壁紙バンドルの表示を停止し、デフォルトの背景に戻します。現在のリリースでは、バックグラウンドバンドルは、Desk および Board Series、Room Bar、Room 55 Dual、Room 70、Room 70 G2、Room 70 Panorama、および Room Panorama のデバイスに適用されます。

使用方法:

```
xCommand UserInterface WallpaperBundle Clear
```

xCommand UserInterface WallpaperBundle List

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

プリインストールされている壁紙バンドルを一覧表示します。バンドルの名前と設定タイプの両方が返されます。現在のリリースでは、バックグラウンドバンドルは、Desk および Board Series、Room Bar、Room 55 Dual、Room 70、Room 70 G2、Room 70 Panorama、および Room Panorama のデバイスに適用されます。

使用方法:

```
xCommand UserInterface WallpaperBundle List
```

xCommand UserInterface WallpaperBundle Set

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

プリインストールされている壁紙バンドルを選択します。壁紙バンドルは、システムが起動状態のときに表示されます。

壁紙バンドルには、いくつかのセットアップタイプの壁紙が含まれる場合があります。複数の画面にまたがる画像を提供することで、複数画面での使用を想定したバンドルや、タッチコントローラ用の壁紙を含むバンドルもあります。画面設定に一致するセットアップタイプを提供するバンドルを選択する必要があります。UserInterface WallpaperBundle List コマンドを実行すると、バンドルのリストを表示できます。

壁紙バンドルを使用する場合は、UserInterface Wallpaper 設定を [自動 (Auto)] にする必要があります。ことに注意してください。

現在のリリースでは、バックグラウンドバンドルは、Desk および Board Series、Room Bar、Room 55 Dual、Room 70、Room 70 G2、Room 70 Panorama、および Room Panorama のデバイスに適用されます。

使用方法:

```
xCommand UserInterface WallpaperBundle Set Name: "Name"
```

説明:

Name:

文字列 (0, 255)

壁紙バンドルの名前。

xCommand UserInterface WebView Clear

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

Web ビューを閉じます。

使用方法:

```
xCommand UserInterface WebView Clear [Target: Target]
```

説明:

ターゲット:

Controller/OSD/PersistentWebApp

Controller: シスコの内部使用のみ。

OSD: デバイスの画面に表示されている Web ビューを閉じます。

PersistentWebApp: シスコの内部使用のみ。

xCommand UserInterface WebView Display

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

Web ビューを開いて、URL によって指定された Web ページを表示します。

使用方法:

```
xCommand UserInterface WebView Display [Header: "Header"] [Mode: Mode]  
[Options: "Options"] [Target: Target] [Title: "Title"] Url: "Url"
```

説明:

ヘッダー:

文字列 (0, 8192)

HTTP ヘッダー フィールド1 つのコマンドに 15 個の Header パラメータを追加できます。各パラメータは 1 つの [HTTP ヘッダー (HTTP header)] フィールドを保持しています。

Mode:

Fullscreen/Modal

Fullscreen: Web ページを画面全体に表示します。

Modal: Web ページをウィンドウに表示します。

オプション:

文字列 (0, 255)

このパラメータは、UI 拡張エディタを内部で使用するのためのものです。

ターゲット:

Controller/OSD/PersistentWebApp

Controller: シスコの内部使用のみ。

OSD: デバイスの画面に表示されている Web ビューを閉じます。

PersistentWebApp: シスコの内部使用のみ。

Title:

文字列 (0, 255)

Web ページのタイトル

URL:

文字列 (0, 2000)

Web ページの URL。

UserManagement コマンド

xCommand UserManagement RemoteSupportUser Create

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

テクニカル アシスタンス センター (TAC) がトラブルシューティングの際にデバイスにアクセスするために使用できる、リモート サポート ユーザ パスフレーズを作成します。

使用方法:

```
xCommand UserManagement RemoteSupportUser Create [ExpiryDays: ExpiryDays]
```

説明:

ExpiryDays:

整数 (1 ~ 31)

パスフレーズの有効性の期間を定義します。デフォルトは 7 日間です。

xCommand UserManagement RemoteSupportUser Delete

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

コマンド xCommand UserManagement RemoteSupportUser Create で作成したリモート サポート ユーザを削除します。

使用方法:

```
xCommand UserManagement RemoteSupportUser Delete
```

xCommand UserManagement RemoteSupportUser DisablePermanently

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

新しいリモート サポート ユーザの作成をディセーブルにします。リモート サポート ユーザーを再び有効にするには、デバイスを工場出荷時の状態にリセットする必要があります。

使用方法:

```
xCommand UserManagement RemoteSupportUser DisablePermanently Confirm: Confirm
```

説明:

Confirm:

はい

xCommand UserManagement RemoteSupportUser GetState

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

リモート サポート ユーザが生成されている場合にその状態を取得します。

使用方法:

```
xCommand UserManagement RemoteSupportUser GetState
```

xCommand UserManagement User Add

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

このデバイスに新しいユーザを追加します。

使用方法:

```
xCommand UserManagement User Add [Active: Active] [ClientCertificateDN: "ClientCertificateDN"] Passphrase: "Passphrase" [PassphraseChangeRequired: "PassphraseChangeRequired"] Role: Role [ShellLogin: "ShellLogin"] Username: "Username" [YourPassphrase: "YourPassphrase"]
```

説明:

アクティブ:

False/True

このユーザがアクティブ ユーザかどうかを指定します。

ClientCertificateDN:

文字列 (0, 255)

ユーザ名とパスワードではなくクライアント証明書を使用してログインするユーザを識別します。

パスフレーズ:

文字列 (0, 255)

ユーザーのパスフレーズ。

PassphraseChangeRequired:

False/True

ユーザーが次回のサインイン時にパスフレーズを変更する必要があるかどうかを指定します。

権限:

Admin/Audit/Integrator/RoomControl/User

ユーザーのロールを設定します。複数の Role パラメータを追加することで、ユーザーに複数のロールを割り当てることができます。

ShellLogin:

False/True

ユーザがシェル ログインを必要とするかどうかを指定します。

Username:

文字列 (0, 127)

ユーザのユーザ名

YourPassphrase:

文字列 (0, 255)

このコマンドの実行時にログインしているユーザーのパスフレーズ。

xCommand UserManagement User Delete

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

このデバイスからユーザを削除します。

使用方法:

```
xCommand UserManagement User Delete Username: "Username" [YourPassphrase: "YourPassphrase"]
```

説明:

Username:

文字列 (0, 127)

削除するユーザーのユーザー名。

YourPassphrase:

文字列 (0, 255)

このコマンドの実行時にログインしているユーザーのパスフレーズ。

xCommand UserManagement User Get

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

このデバイス上のユーザーの詳細を表示します。ユーザーを識別するために、Username または ClientCertificateDN のいずれかを指定する必要があります。

使用方法:

```
xCommand UserManagement User Get [ClientCertificateDN: "ClientCertificateDN"] [Username: "Username"]
```

説明:

ClientCertificateDN:

文字列 (0, 255)

ユーザ名とパスワードではなくクライアント証明書を使用してログインするユーザを識別します。

Username:

文字列 (0, 127)

ユーザ名を指定すると、特定のユーザの詳細を表示します。

xCommand UserManagement User List

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

このデバイス上のユーザの一覧を表示します。

使用方法:

xCommand UserManagement User List [Limit: Limit] [Offset: Offset]

説明:

Limit:

整数 (0 ~ 65536)

表示されるユーザー数をこの数に制限します。0 は、制限がないことを意味します。つまり、すべてのユーザーがリストされます。

デフォルト値: 0

Offset:

整数 (0 ~ 65536)

指数 X から始まるレコードのリストを表示します。X は補正值です。つまり、最初の X-1 ユーザーは表示されません。

デフォルト値: 0

xCommand UserManagement User Modify

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

特定のユーザの詳細を変更します。

使用方法:

xCommand UserManagement User Modify [Active: Active] [AddRole: AddRole]
[ClientCertificateDN: "ClientCertificateDN"] [PassphraseChangeRequired:
PassphraseChangeRequired] [RemoveRole: RemoveRole] [ShellLogin: ShellLogin]
Username: "Username" [YourPassphrase: "YourPassphrase"]

説明:

アクティブ:

False/True

このユーザがアクティブ ユーザかどうかを指定します。

AddRole:

Admin/Audit/Integrator/RoomControl/User

指定したユーザに新しいロールを追加します。

ClientCertificateDN:

文字列 (0, 255)

ユーザ名とパスワードではなくクライアント証明書を使用してログインするユーザを識別します。

PassphraseChangeRequired:

False/True

ユーザーが次回のサインイン時にパスワードを変更する必要があるかどうかを指定します。

RemoveRole:

Admin/Audit/Integrator/RoomControl/User

指定したユーザからロールを削除します。

ShellLogin:

False/True

ユーザがシェル ログインを必要とするかどうかを指定します。

Username:

文字列 (0, 127)

ユーザのユーザ名

YourPassphrase:

文字列 (0, 255)

このコマンドの実行時にログインしているユーザーのパスワード。

xCommand UserManagement User Passphrase Change

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, AUDIT, INTEGRATOR, ROOMCONTROL, USER

ログイン時に使用するユーザーのパスフレーズを変更します。管理者としてログインしている場合、これによって管理者パスフレーズが変更されます。

使用方法:

```
xCommand UserManagement User Passphrase Change NewPassphrase: "NewPassphrase"  
OldPassphrase: "OldPassphrase"
```

説明:

NewPassphrase:

文字列 (0, 255)

(新規) に変更するパスフレーズ。

OldPassphrase:

文字列 (0, 255)

(古いもの) から変更するパスフレーズ。

xCommand UserManagement User Passphrase Set

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

指定したユーザーのパスフレーズを設定します。パスフレーズを設定するには、管理者としてログインする必要があります。

使用方法:

```
xCommand UserManagement User Passphrase Set NewPassphrase: "NewPassphrase"  
Username: "Username" [YourPassphrase: "YourPassphrase"]
```

説明:

NewPassphrase:

文字列 (0, 255)

(新規) に変更するパスフレーズ。

Username:

文字列 (0, 127)

新しいパスフレーズを設定するユーザーのユーザー名。

YourPassphrase:

文字列 (0, 255)

このコマンドの実行時にログインしているユーザーのパスフレーズ。

xCommand UserManagement User Unblock

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

ログイン試行回数が多すぎるためにブロックされているユーザのブロックを解除します。

USAGE:

```
xCommand UserManagement User Unblock Username: "Username" [YourPassphrase:  
"YourPassphrase"]
```

説明:

Username:

文字列 (0, 127)

ブロックが解除されるユーザーのユーザー名。

YourPassphrase:

文字列 (0, 255)

このコマンドの実行時にログインしているユーザーのパスフレーズ。

Video コマンド

xCommand Video ActiveSpeakerPIP Set

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

通話中のスピーカーの PIP (ピクチャ イン ピクチャ) の位置を設定します。

使用方法:

xCommand Video ActiveSpeakerPIP Set Position: Position

説明:

対象:

*CenterLeft/CenterRight/DockCenterLeft/DockLowerLeft/LowerLeft/LowerRight/
UpperCenter/UpperLeft/UpperRight*

事前定義された位置のいずれか 1 つを選択します。

xCommand Video CEC Input KeyClick

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

入力デバイスからリモート コントロール キー クリック イベントを模倣します。

使用方法:

xCommand Video CEC Input KeyClick ConnectorId: ConnectorId [Key: Key]
[LogicalAddress: LogicalAddress] [NamedKey: NamedKey]

説明:

ConnectorID (コネクタID):

整数 (1..5) [CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]

整数 (1..4) [CodecEQ]

整数 (1..3) [RoomBar CodecPlus Room70/Room55D]

整数 (2..2) [RoomKit RoomKitMini DeskMini Board]

整数 (2..3) [Room55 DeskPro Desk BoardPro]

コネクタの固有識別子。

凡例:

整数 (0 ~ 255)

CEC は、リモート制御で押された場合と同じようにデバイスの論理アドレスに送信されるキーのキー コードを指定します。

LogicalAddress:

整数 (0 ~ 15)

接続デバイスの論理アドレス。

NamedKey:

Up/Down/Right/Left/Ok/Back/Stop/Play

リモート制御で押された場合と同じようにデバイスの論理アドレスに送信されるキーの名前。

xCommand Video CEC Output KeyClick

適用先: RoomKit RoomKitMini RoomBar CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

このデバイスからのリモート コントロール キー クリック イベントを模倣します。

使用方法:

xCommand Video CEC Output KeyClick ConnectorId: ConnectorId [Key: Key]

LogicalAddress: LogicalAddress [NamedKey: NamedKey]

説明:

ConnectorID (コネクタID):

整数 (1 ~ 3)

コネクタの固有識別子。

凡例:

整数 (0 ~ 255)

CEC は、リモート制御で押された場合と同じようにデバイスの論理アドレスに送信されるキーのキー コードを指定します。

LogicalAddress:

整数 (0 ~ 15)

接続デバイスの論理アドレス。

NamedKey:

Up/Down/Right/Left/Ok/Back/Stop/Play

リモート制御で押された場合と同じようにデバイスの論理アドレスに送信されるキーの名前。

xCommand Video CEC Output SendActiveSourceRequest

適用先: RoomKit RoomKitMini RoomBar CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

指定された出力コネクタに接続されている画面 (デバイス) のアクティブソースになるためのビデオ会議デバイスからの要求。

使用方法:

xCommand Video CEC Output SendActiveSourceRequest [ConnectorId: ConnectorId]

説明:

ConnectorID (コネクタID):

整数 (1..1) [RoomKitMini]

整数 (1..3) [RoomKit RoomBar CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D

Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro]

コネクタの固有識別子。

xCommand Video CEC Output SendInactiveSourceRequest

適用先: RoomKit RoomKitMini RoomBar CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

指定された出力コネクタに接続されている画面 (デバイス) のアクティブソースにならないためのビデオ会議デバイスからの要求。リクエストにどのように応答するかは画面次第です。それ自体がアクティブなソースになることもあれば、別のソースをアクティブなソースにすることもでき、何もしないこともできます。

使用方法:

xCommand Video CEC Output SendInactiveSourceRequest [ConnectorId: ConnectorId]

ConnectorId

説明:

ConnectorID (コネクタID):

整数 (1..1) [RoomKitMini RoomBar]

整数 (1..3) [RoomKit CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2

RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro]

コネクタの固有識別子。

xCommand Video Graphics Clear

適用先: RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2
RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro Desk

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

Video Graphics Text Display コマンドを使用して、メインビデオストリーム、プレゼンテーション ストリーム、またはローカル出力に追加されたテキスト文字列を削除します。これらすべての場所からテキスト文字列を削除したくない場合は、複数の Target パラメータを使用してサブセットを選択できます。

使用方法:

```
xCommand Video Graphics Clear [Target: Target]
```

説明:

ターゲット:

LocalOutput/MainSource/PresentationSource

テキスト文字列をどこから削除するかを指定します。ローカル出力、メインビデオ ストリーム、プレゼンテーション ストリームから選択します。

xCommand Video Graphics Text Display

適用先: RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2
RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro Desk

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

メインビデオストリーム、プレゼンテーション ストリーム、およびローカル出力に追加されるテキスト文字列を作成します。これらすべての場所にテキスト文字列を追加したくない場合は、複数の Target パラメータを使用してサブセットを選択できます。

使用方法:

```
xCommand Video Graphics Text Display [Date: Date] [Duration: Duration]  
[Target: Target] [Text: "Text"] [Time: Time]
```

説明:

日付:

On/Off

テキスト文字列に日付を含めるかどうかを指定します。

期間:

整数 (0 ~ 3600)

このバージョンでは適用されません。

ターゲット:

LocalOutput/MainSource/PresentationSource

テキスト文字列を追加する場所を指定します。ローカル出力、メインビデオストリーム、プレゼンテーション ストリームから選択します。

Text:

文字列 (0, 1024)

テキスト文字列に含めるカスタムテキストを指定します。

時間:

On/Off

テキスト文字列に時刻を含めるかどうかを指定します。

xCommand Video Input MainVideo Mute

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

デバイスからのビデオ送信を停止します。Selfview もオフになっています。このコマンドはプレゼンテーション チャンネルには影響を与えません。

使用方法:

```
xCommand Video Input MainVideo Mute
```

xCommand Video Input MainVideo Unmute

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

デバイスからビデオを送信する前に、Video Input MainVideo Mute command コマンド (または、使用可能である場合、ユーザ インタフェースの「ビデオを停止」ボタン) を使用します。Selfview も使用できます。

使用方法:

xCommand Video Input MainVideo Unmute

xCommand Video Input SetMainVideoSource

適用先: RoomKit RoomKitMini RoomBar CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

メイン ビデオ ソースとなる入力ソースを設定します。入力ソースは、接続先の物理コネクタ (ConnectorId) または論理ソース識別子 (SourceId) で識別できます。

同じコマンドで ConnectorId または SourceId を複数追加することにより、単一のメインビデオストリームに複数の入力ソースを組み合わせることができます (入力ソースの最大数はビデオ会議デバイスのタイプによって異なります)。同じコマンドに複数の識別子タイプを混在させることはできません。ConnectorId か SourceId のいずれかを使用してください。

使用方法:

xCommand Video Input SetMainVideoSource [ConnectorId: ConnectorId] [Layout: Layout] [PIPPosition: PIPPosition] [PIPSize: PIPSize] [SourceId: SourceId]

説明:

ConnectorID (コネクタID):

整数 (1..6) [CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]

整数 (1..4) [CodecEQ]

整数 (1..3) [RoomBar CodecPlus Room55 Room70/Room55D DeskPro Desk BoardPro]

整数 (1..2) [RoomKit RoomKitMini DeskMini]

コネクタの一意的識別子 (ID)。コネクタ [n] には ID n が付いています。ID を検索するには、API コマンド xStatus Video Input Connector を実行します。

レイアウト:

Equal/PIP/Prominent

メイン ビデオ ソースが複数の入力ソースで構成される場合、メイン ビデオ ソースのレイアウトを設定します。

Equal: 入力ソースは、同じサイズの画像で表示されます。画面には最大 4 つの画像を配置できます。

PIP: 入力ソースの 1 つをピクチャインピクチャとして表示します (2 つの入力ソースを構成する場合のみ使用できます)。

Prominent: 最初の入力ソースが大きい画像として表示され、次のソースが小さい画像として下に配置されて表示されます。

PIPPosition:

左下/右下/UpperLeft/UpperRight

メイン ビデオ ソースが複数の入力ソースで構成される場合、メイン ビデオ ソースの PIP ポジションを選択します。

Pip サイズ:

自動/大

メイン ビデオ ソースが複数の入力ソースで構成される場合、メイン ビデオ ソースの PIP サイズを選択します。

SourceId:

整数 (1..6) [CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]

整数 (1..4) [CodecEQ]

整数 (1..3) [RoomBar CodecPlus Room55 Room70/Room55D DeskPro Desk BoardPro]

整数 (1..2) [RoomKit RoomKitMini DeskMini]

入力ソースの識別子 (ID)。入力ソース [n] には ID n が付いています。ID を検索するには、API コマンド `xStatus Video Input Source` を実行します。

xCommand Video Layout LayoutFamily Set

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

ローカルで使用するビデオ レイアウト ファミリーを選択します。この設定は、デバイスに搭載された MultiSite 機能 (オプション) を使用してマルチポイントのビデオ会議をホストする場合にのみ適用されます。

使用方法:

```
xCommand Video Layout LayoutFamily Set [CustomLayoutName: "CustomLayoutName"]  
[LayoutFamily: LayoutFamily] [Target: Target]
```

説明:

CustomLayoutName:

文字列 (1, 128)

カスタムレイアウトを使用するには、このパラメータとレイアウト名を指定します。

LayoutFamily:

auto/custom/equal/overlay/prominent_/l/single

レイアウト ファミリーを選択します。

Auto: デバイスによって提供されるローカル レイアウト データベースの指定に従って、デフォルトのレイアウト ファミリーがローカル レイアウトとして使用されます。

Custom: 保存したカスタムレイアウトの名前。

Equal: Grid レイアウトファミリーがローカルレイアウトとして使用されます。参加者は同じサイズのビデオのグリッド内に表示されます。共有コンテンツがある場合、それはグリッドの横に表示されます。

Overlay: [オーバーレイ (Overlay)] レイアウト ファミリーがローカル レイアウトとして使用されます。通話中のスピーカーが全画面で表示され、他の参加者はサムネイルで下部にオーバーレイ表示されます。コンテンツがある場合は、通話中のスピーカーがサムネイルで上部にオーバーレイされた状態でコンテンツが全画面表示で表示されます。通話中のスピーカーが遷移するとき、音声切り替えられます。

Prominent: [スタック (Stack)] レイアウトファミリーがローカルレイアウトとして使用されます。通話中のスピーカーまたは共有コンテンツは大きい画像となり、他の参加者は小さい画像として上部に表示されます。通話中のスピーカーが遷移するとき、音声切り替えられます。

Prominent_L: [対象拡大表示 (Prominent)] レイアウトファミリーがローカルレイアウトとして使用されます。通話中のスピーカーが画面の左上部分に表示され、他の参加者は下部および右側の横に表示されます。

Single: Focus レイアウトファミリーがローカルレイアウトとして使用されます。通話中のスピーカー、または (存在する場合) プレゼンテーションは全画面表示となります。他の参加者は表示されません。通話中のスピーカーが遷移するとき、音声切り替えられます。

ターゲット:

ローカル/リモート

ターゲットがローカルレイアウト (現在のデバイスのユーザーに表示されるもの) かリモートレイアウト (リモートの参加者に表示されるもの) を選択します。

xCommand Video Layout SetLayout

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

ローカルで使用するビデオ レイアウト ファミリを選択します。Video Layout CurrentLayouts AvailableLayouts[n] LayoutName ステータスが返す、リストから値を選択する必要があります。

使用方法:

```
xCommand Video Layout SetLayout LayoutName: "LayoutName"
```

説明:

LayoutName:

文字列 (0, 128)

レイアウトファミリの名前。

xCommand Video Matrix Assign

適用先: RoomKit RoomBar CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

Video Matrix コマンドは xCommand Video Layout コマンドへのスマート オーバーレイで、シンプルな映像合成を容易にします。

使用方法:

```
xCommand Video Matrix Assign [Layout: Layout] [Mode: Mode] Output: Output [RemoteMain: RemoteMain] [SourceId: SourceId]
```

説明:

レイアウト:

等しい目立つ

ビデオ コンポジションに使用するレイアウトを選択します。

Equal: すべてのソースが同じサイズのイメージとして出力に表示されます。

Prominent: 最初のソースが大きい画像として表示され、次のソースが小さい画像として下に配置されて表示されます。

Mode:

Add/Replace

既存のソースをその出力が表示される全画面に戻すか、追加するかを選択します。Add を使用すると、レイアウト エンジンが自動的に複数のソースを再構成します。デフォルトは Replace です。

出力:

整数 (1..2) [RoomKit RoomBar CodecPlus]

整数 (1..3) [CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]

このレイアウトで使用する出力を選択します。

RemoteMain:

整数 (1 ~ 4)

リモート サイトをレイアウトに追加します。

SourceId:

整数 (1..6) [CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]

整数 (1..4) [RoomKit CodecEQ CodecPlus]

整数 (1..3) [RoomBar]

入力ソースの識別子 (ID)。入力ソース [n] には ID n が付いています。ID を検索するには、API コマンド xStatus Video Input Source を実行します。1 つのコマンドに最大 4 つの SourceId を使用できます。

xCommand Video Matrix Reset

適用先: [RoomKit](#) [RoomBar](#) [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#)
[RoomPanorama/Room70Panorama](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

出力のコンテンツをデフォルト レイアウトにリセットします

xCommand Video Matrix コマンドは、xCommand Video Layout コマンドのスマート オーバーレイです。シンプルなビデオ構成を簡単に行えるようにします。

使用方法:

xCommand Video Matrix Reset [Output: [Output](#)]

説明:

出力:

整数 (1..2) [[RoomKit](#) [RoomBar](#) [CodecPlus](#)]

整数 (1..3) [[CodecEQ](#) [CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

リセットする出力を選択します。

xCommand Video Matrix Swap

適用先: [RoomKit](#) [RoomBar](#) [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#)
[RoomPanorama/Room70Panorama](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

xCommand Video Matrix Assign によって定義したコンテンツを 2 つの出力間でスワップします。

xCommand Video Matrix コマンドは、xCommand Video Layout コマンドのスマート オーバーレイです。シンプルなビデオ構成を簡単に行えるようにします。

使用方法:

xCommand Video Matrix Swap OutputA: [OutputA](#) OutputB: [OutputB](#)

説明:

OutputA:

整数 (1..2) [[RoomKit](#) [RoomBar](#) [CodecPlus](#)]

整数 (1..3) [[CodecEQ](#) [CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

切り替え元の出力。

OutputB:

整数 (1..2) [[RoomKit](#) [RoomBar](#) [CodecPlus](#)]

整数 (1..3) [[CodecEQ](#) [CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

スワッピング先の出力。

xCommand Video Matrix Unassign

適用先: [RoomKit](#) [RoomBar](#) [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#)
[RoomPanorama/Room70Panorama](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

出力からソースを削除します。xCommand Video Matrix Assign の場合と同様に、レイアウト エンジンが自動的に残りのソースを再構成します。

xCommand Video Matrix コマンドは、xCommand Video Layout コマンドのスマート オーバーレイです。シンプルなビデオ構成を簡単に行えるようにします。

使用方法:

xCommand Video Matrix Unassign Output: [Output](#) [RemoteMain: [RemoteMain](#)]
[SourceId: [SourceId](#)]

説明:

出力:

整数 (1..2) [[RoomKit](#) [RoomBar](#) [CodecPlus](#)]

整数 (1..3) [[CodecEQ](#) [CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

ソースを削除する出力を選択します。

RemoteMain:

整数 (1 ~ 4)

レイアウトからリモート サイトを削除します。

SourceId:

整数 (1..2) [[RoomKit](#)]

整数 (1..3) [[RoomBar](#) [CodecPlus](#)]

整数 (1..4) [[CodecEQ](#)]

整数 (1..6) [[CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)]

入力ソースの識別子 (ID)。入力ソース [n] には ID n が付いています。ID を検索するには、API コマンド xStatus Video Input Source を実行します。

xCommand Video Output HDMI Passthrough Start

適用対象: [RoomKit](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room55](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

HDMI-to-USB コンバータを介して、デバイスのカメラとマイクからラップトップにビデオとオーディオを送信します。

このコマンドは、[ラップトップから会議 (Call from laptop)] が有効になっている場合、つまり、Video Output HDMI Passthrough Allowed が True に設定されている場合にのみ適用されます。

このコマンドは、Room 55 Dual および Room 70 Dual には適用されません。

使用方法:

xCommand Video Output HDMI Passthrough Start

xCommand Video Output HDMI Passthrough Stop

適用対象: [RoomKit](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room55](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

HDMI-to-USB コンバータを介した、デバイスのカメラとマイクからのラップトップへのビデオとオーディオの送信を停止します。

このコマンドは、[ラップトップから会議 (Call from laptop)] が有効になっている場合、つまり、Video Output HDMI Passthrough Allowed が True に設定されている場合にのみ適用されます。

このコマンドは、Room 55 Dual および Room 70 Dual には適用されません。

使用方法:

```
xCommand Video Output HDMI Passthrough Stop
```

xCommand Video Output Monitor Backlight Set

適用先: [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [DeskPro](#) [Board](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN

デバイスの統合画面のバックライトを調整します。これは、Room Panorama には適用されません。

使用方法:

```
xCommand Video Output Monitor Backlight Set Position: Position Value: Value
```

説明:

位置: [[Room70/Room55D](#) [Room70G2](#)]

Left/Right

左側または右側のどちらの統合画面にコマンドを適用するかを選択します。このパラメータは、統合された画面を 2 つ使用するデバイス (デュアル スクリーン デバイス) でのみ表示されます。

値:

整数 (0 ~ 100)

バックライトのレベルを選択します。

xCommand Video Output Monitor Color Select

適用先: [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN

モニタの色温度を調整します。これは、Room Panorama には適用されません。

使用方法:

```
xcommand Video Output Monitor Color Select position: position value: value
```

説明:

対象:

Left/Right

左側または右側のどちらの統合画面にコマンドを適用するかを選択します。

このパラメータは、統合された画面を 2 つ使用するデバイス (デュアル スクリーン デバイス) でのみ表示されます。

値:

4900 K/5500 K/6500 K/7200 K/9300 K/10500 K/12000 K

xCommand Video Output Monitor Reset

適用先: [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [Board](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN

モニタの設定をリセットします。

使用方法:

```
xCommand Video Output Monitor Reset Position: Position
```

説明:

位置: [[Room70/Room55D](#) [Room70G2](#)]

Left/Right

左側または右側のどちらの統合画面にコマンドを適用するかを選択します。このパラメータは、統合された画面を 2 つ使用するデバイス (デュアル スクリーン デバイス) でのみ表示されます。

xCommand Video PresentationPIP Set

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

プレゼンテーションの PIP (ピクチャインピクチャ) の位置を設定します。

使用方法:

xCommand Video PresentationPIP Set Position: Position

説明:

対象:

*CenterLeft/CenterRight/DockCenterLeft/DockLowerLeft/LowerLeft/LowerRight/
UpperCenter/UpperLeft/UpperRight*

事前定義された位置のいずれか 1 つを選択します。

xCommand Video PresentationView Set

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

プレゼンテーション ビュー モードを設定します。

使用方法:

xCommand Video PresentationView Set View: View

説明:

表示

Default/Maximized/Minimized

コーデックのデフォルト設定でプレゼンテーションを表示するには、[デフォルト (Default)] を選択します。プレゼンテーションをフル スクリーンで表示する場合、Maximized を選択します。プレゼンテーションを小さい画像で画面上に表示するには、[縮小 (Minimized)] を選択します。

xCommand Video Selfview Set

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

セルフビューをオンまたはオフに設定してサイズと位置を指定します。パラメータを指定しない場合は現在の値が使用されます。

使用方法:

xCommand Video Selfview Set [Mode: Mode] [FullscreenMode: FullscreenMode]
[PIPPosition: PIPPosition] [OnMonitorRole: OnMonitorRole]

説明:

Mode:

On/Off

セルフビューをオンまたはオフに設定します。

FullscreenMode:

On/Off

セルフビューを全画面表示するか、ピクチャ イン ピクチャで表示するかを選択します。

PIPPosition:

*CenterLeft/CenterRight/DockCenterLeft/DockLowerLeft/LowerLeft/LowerRight/
UpperCenter/UpperLeft/UpperRight*

セルフビュー イメージの位置を選択します。

OnMonitorRole:

First/Second/Third

このロールのモニタにセルフビューを表示します。

WebEngine コマンド

xCommand WebEngine DeleteStorage

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

デジタル サイネージや Web アプリなど、Web ビュー タイプのセッション データを削除します。

使用方法:

```
xCommand WebEngine DeleteStorage [Type: Type]
```

説明:

タイプ:

All/PersistentWebApp/Signage/WebApps

All: すべての Web ビュー タイプのセッション データを削除します。

PersistentWebApp: 永続的な Web アプリに関連するセッションデータを削除します。

Signage: デジタル サイネージに関連するセッション データを削除します。

WebApps: デジタルサイネージと永続的な Web アプリ以外のすべての Web ビューに関連するセッションデータを削除します。

デフォルト値: All

xCommand WebEngine MediaAccess Add

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN

デフォルトのプロンプトダイアログをバイパスして、デバイスのカメラやマイクへの永続的アクセスを許可されている Web サイトのリストを設定できます。これは、キオスクや Web アプリなどのカスタム設定で役立ちます。ユーザーは、通話が行われるたびにダイアログを介してカメラとマイクへのアクセスを許可する必要がないためです。

このコマンドを使用して、Web サイトを永続アクセスリストに追加します。

使用方法:

```
xCommand WebEngine MediaAccess Add Device: Device Hostname: "Hostname"
```

説明:

デバイス:

Camera/Microphone

カメラまたはマイクへのアクセスを許可するかどうかを選択します。両方へのアクセスを許可する場合は、このパラメータを 2 回追加します。1 回はマイク用、もう 1 回はカメラ用です。

ホスト名:

文字列 (0, 1024)

Web サイトの URL またはホスト名。

xCommand WebEngine MediaAccess List

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN

永続的アクセスリストのすべての Web サイトを一覧します。つまり、デバイスのカメラとマイクまたはその両方に永続的なアクセスを持つすべての Web サイトです。詳細については、「WebEngine MediaAccess Add コマンド」を参照してください。

使用方法:

```
xCommand WebEngine MediaAccess List
```

xCommand WebEngine MediaAccess Remove

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN

永続的アクセスリストから Web サイトを削除します。つまり、今後、ユーザーはダイアログを介してこのサイトへのカメラとマイクのアクセスを許可する必要があります。詳細については、「WebEngine MediaAccess Add コマンド」を参照してください。

使用方法:

```
xCommand WebEngine MediaAccess Remove Id: Id
```

説明:

ID:

整数 (0 ~ 65534)

リスト内のエントリに対する固有の識別子。WebEngine MediaAccess List コマンドを使用して、識別子を見つけます。これらの識別子は、要素がリストに追加またはリストから削除されると再定義されます。

xCommand WebEngine MediaAccess RemoveAll

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN

永続的なアクセスリストを空欄にします。つまり、すべての Web サイトへのデバイスのカメラとマイクの永続的アクセスを削除します。

使用方法:

```
xCommand WebEngine MediaAccess RemoveAll
```

Webex コマンド

xCommand Webex Hotdesking SetSupport

適用先: *DeskPro DeskMini Desk*

必要なユーザー ロール: ADMIN

デバイスにホットデスク機能の設定されている場合、デバイスを予約して、サインインし、特定の期間デバイスを予約することで、個人デバイスであるかのようなメリットを得ることができます。

ほとんどの場合、ホットデスク機能は、ワークスペースや Control Hub のデバイスの作成時に構成されます。これにより、このコマンドを明示的に発行する必要がなくなります。ただし、すでに [共有モード (Shared mode)] でデバイスを登録している場合、このコマンドを使用して、ホットデスク機能を有効化または無効化します。

ホットデスク機能は、Webex クラウドサービスに登録されているデバイス、または Webex Edge for Devices にリンクされているデバイスが [共有モード (Shared mode)] の場合のみ利用できます。

使用方法:

```
xCommand Webex Hotdesking SetSupport Mode: Mode
```

説明:

Mode:

Off/On

Off: デバイスのホットデスク機能を無効にします。

On: デバイスのホットデスク機能を有効にします。

xCommand Webex Join

適用対象: *すべての製品*

パーソナルモードデバイスの *Webex Devices Cloud* xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

会議番号で指定した Webex 会議に参加します。

会議で最初に割り当てるロール、会議名、会議履歴で会議を特定するタグなど、任意の情報を追加します。個人識別番号コードでロックされている会議に参加する場合は、Pin パラメータにコードを追加できます。

使用方法:

```
xCommand Webex Join [DisplayName: "DisplayName"] Number: "Number"  
[ParticipantRole: ParticipantRole] [Pin: "Pin"] [TrackingData: "TrackingData"]
```

説明:

DisplayName:

文字列 (0, 255)

会議の名前。

番号:

文字列 (0, 255)

会議番号、会議リンク、ビデオアドレスまたはパーソナル会議室 ID。

ParticipantRole:

Guest/Host/Panelist

会議に参加する際のロールを決定します。会議ホストは、会議中にロールを変更できます。

Pin:

文字列 (0, 32)

会議の個人識別番号コード。参加者のロールが異なると、個人識別番号コードが異なる場合があります。含まれる場合は、会議に直接参加します。個人識別番号コードが含まれない場合、または間違ったコードを入力した場合、ユーザーインターフェイスで個人識別番号コードのプロンプトが表示されます。

TrackingData:

文字列 (0, 255)

会議履歴に保存されるタグまたはラベル。

xCommand Webex Registration Cancel

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

Webex へのデバイスの登録をキャンセルします。

このコマンドは、xCommand Webex Registration Start を使用して登録が開始された後の短期間
にのみ機能します。

使用方法:

```
xCommand Webex Registration Cancel
```

xCommand Webex Registration ConvertToCloud

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN

デバイスを Webex クラウドサービスが管理するように変換します。

これは、Webex Edge for Devices にリンクされているシステムのみで使用できます。Calling と ディ
レクトリ用のすべてのオンプレミスサービスへの現在の接続は、クラウドデータソースによって置き換
えられます。

再度オンプレミスに戻すには、デバイスを出荷時の状態にリセットする必要があります。

使用方法:

```
xCommand Webex Registration ConvertToCloud Confirm: Confirm
```

説明:

Confirm:

はい

大文字と小文字を区別しないで [Yes] を入力すると、コマンドの続行を確認できます。それ以
外のテキストを入力すると、リクエストがキャンセルされます。

xCommand Webex Registration Logout

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN

パーソナライズされたシステム (通常は、ホットデスク共有システムまたはパーソナライズされた
Webex Edge デバイス) からユーザーをログアウトします。

使用方法:

```
xCommand Webex Registration Logout
```

xCommand Webex Registration Start

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

デバイスのアクティベーションコードを入力すると、デバイスを Webex クラウドサービスに登録また
は Webex Edge for Devices にリンクできます。また、既存のローカルユーザーおよびマクロを維持
または無効化することもできます。

AccountLinkMode パラメータを追加しない限り、登録が成功したか失敗したかの確認が表示され
ます。

使用方法:

```
xCommand Webex Registration Start [AccountLinkMode: AccountLinkMode]  
ActivationCode: "ActivationCode" [RegistrationType: RegistrationType]  
SecurityAction: SecurityAction
```

説明:

AccountLinkMode:

非同期

このパラメータを追加すると、アカウントがリンクされるのを待たずにコマンドはすぐに返さ
れます。これは、[共有モード (Shared mode)] のデバイスが [パーソナルモード (Personal
mode)] モードになった際に便利です。そうしないと、アカウントのリンクが完了する前にコマ
ンドがタイムアウトになるか「failed」と返されます。

このパラメータは、Web クラウドに登録されているデバイスまたは Webex Edge for Devices
にリンクしているデバイスのみにも適用されます。

アクティ:

文字列 (0, 128)

デバイスのアクティベーションコード。

RegistrationType:

Hotdesk/Manual/Personalization

登録タイプは、アクティベーションコードの取得方法を記録します。このパラメータは主に
Control Hub によって使用され、より正確な構成検証とエラー応答を可能にします。

Hotdesk: Control Hub は、デバイスに一時的な個人の Webex アカウントを指定します。これ
は、Web クラウドに登録されているデバイスまたは Webex Edge for Devices にリンクしてい
るデバイスのみにも適用されます。

Manual: 管理者またはユーザーは、デバイス設定時にアクティベーションコードを手動入力し
ます。つまり、[設定アシスタント (Setup assistant)] を使用します。

Personalization: Control Hub は、Webex Edge for Devices にリンクされているデバイスに
永続的な個人用 Webex アカウントを提供します。

SecurityAction:

Harden/NoAction

Harden: デバイス登録時にすべての既存ローカルユーザーとマクロを無効化します。

NoAction: そのままの状態でのデバイスを登録します。ローカルユーザーとマクロに変更はあり
ません。

WebRTC コマンド

xCommand WebRTC Join

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

WebRTC 会議 (Microsoft Teams や Google Meet など) に参加します。

WebRTC は、オンプレミスのサービスに登録され、Webex Edge for Devices にリンクされているデバイスでのみ使用できます。

および Webex クラウドサービスに登録されているデバイスでのみ使用できます。

使用方法:

```
xCommand WebRTC Join [BookingId: "BookingId"] [MeetingNumber: "MeetingNumber"] [Title: "Title"] [Type: Type] [Url: "Url"]
```

説明:

BookingId:

文字列 (0, 255)

BookingId は、デバイスでスヌーズと無視を正しく機能させるために必要です。

これは、Cisco TelePresence Management Suite (TMS) や CTS-MAN などの外部予約システムが予定されている会議と予約システムの会議用の内部識別子を照合する際に使用する自己参照用の識別子です。これは、GUID など任意の文字列です。予約 ID はコールのコール ログ、コール イベントなどで提供されます。

MeetingNumber:

文字列 (0, 255)

Google Meet 限定で、会議コードを指定して会議に参加することができます。

Title:

文字列 (0, 255)

会議に表示されるタイトル。

次のように入力します。

GoogleMeet/MSTeams

GoogleMeet: 会議は Google Meet 会議です。

MSTeams: 会議は Microsoft Teams 会議です。

デフォルト値: MSTeams

URL:

文字列 (0, 2000)

会議に参加するための URL。この URL を指定すると、Google Meet と Microsoft Teams の両方の会議に参加できます。

xCommand WebRTC Provider Current Diagnostics Send

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

WebRTC ミーティング アプリケーション (Microsoft Teams など) から会議プロバイダー (Microsoft など) に診断を送信します。

これらの診断は、シスコでは利用できません。

WebRTC は、オンプレミスのサービスに登録され、Webex Edge for Devices にリンクされているデバイス、および Webex クラウドサービスに登録されているデバイスでのみ使用できます。

使用方法:

```
xCommand WebRTC Provider Current Diagnostics Send
```

xCommand WebRTC Provider GoogleMeet MeetingNumber Validate

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN

Google Meet 会議用に指定された会議番号を検証します。

WebRTC は、オンプレミスのサービスに登録され、Webex Edge for Devices にリンクされているデバイスでのみ使用できます。

および Webex クラウドサービスに登録されているデバイスでのみ使用できます。現在、Desk では Google Meet を利用できません。

使用方法:

```
xCommand WebRTC Provider GoogleMeet MeetingNumber Validate MeetingNumber: "MeetingNumber"
```

説明:

MeetingNumber:

文字列 (0, 255)

Google Meet 会議の招待によって生成された会議コード。

Zoom コマンド

xCommand Zoom Join

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

このコマンドは、コマンドのパラメータの情報、Zoom DefaultDomain、Zoom DialStringOptions 設定に基づいて、Zoom ダイアル文字列を構築します。参加する Zoom 会議は、Zoom または BookingID が指定した MeetingID で識別されます。これらのパラメータには、いかのいずれかを含める必要があります。

BookingID を使用している場合、デバイスは予約から参加情報を取得します。参加情報にパスコードが含まれている場合、MeetingPasscode パラメータにパスコードが指定されていない場合にのみ、ダイアル文字列に追加されます。ドメインは常に参加情報に含まれているため、Zoom DefaultDomain 設定は無視されます。フォーマットが <meetingid>@<domain> 以外の参加情報から uri をフェッチした場合、Zoom DialStringOptions 設定は無視されます。

MeetingID を使用する場合、ドメインとダイアル文字列オプションは、常に Zoom DefaultDomain および Zoom DialStringOptions 設定からフェッチされます。

Zoom のダイアル文字列フォーマットに関する詳細は、「<https://support.zoom.us/hc/en-us/articles/202405539-SIP-H-323-Room-Connector-Dial-Strings>」を参照してください。

使用方法:

```
xCommand Zoom Join [BookingID: "BookingID"] [MeetingID: "MeetingID"] [HostKey: "HostKey"] [MeetingPasscode: "MeetingPasscode"] [TrackingData: "TrackingData"]
```

説明:

BookingID:

文字列 (0, 255)

予約を表す固有の識別子。これは、Bookings List コマンドによって返される識別子です。

MeetingID:

文字列 (0, 255)

Zoom 会議の会議番号。通常、カレンダー招待または会議リンクで指定されます。

HostKey:

文字列 (0, 255)

ホストとして会議に参加するために必要なキー。

MeetingPasscode:

文字列 (0, 255)

会議のパスコード。通常、カレンダー招待または会議リンクで指定されます。

TrackingData:

文字列 (0, 255)

会議履歴に保存されるタグまたはラベル。

デフォルト値: ZoomJoin_command

第 5 章

xStatus コマンド

xStatus コマンドの説明

この章では、すべての xStatus コマンドと応答を示します。ステータス タイプのコマンドは、システムおよびシステム プロセスに関する情報を返します。すべての情報や一部の情報を照会できます。

Audio ステータス	374	xStatus Audio Output Connectors HDMI [n] DelayMs	379
xStatus Audio Devices Bluetooth ActiveProfile	374	xStatus Audio Output Connectors HDMI [n] MicPassthrough	380
xStatus Audio Devices HandsetUSB ConnectionStatus	374	xStatus Audio Output Connectors HDMI [n] Mode	380
xStatus Audio Devices HandsetUSB Cradle	374	xStatus Audio Output Connectors InternalSpeaker [n] DelayMs	380
xStatus Audio Devices HeadsetAnalog ConnectionStatus	375	xStatus Audio Output Connectors InternalSpeaker [n] Mode	380
xStatus Audio Devices HeadsetUSB ConnectionStatus	375	xStatus Audio Output Connectors Line [n] ConnectionStatus	380
xStatus Audio Devices HeadsetUSB Description	375	xStatus Audio Output Connectors Line [n] DelayMs	381
xStatus Audio Devices HeadsetUSB Manufacturer	375	xStatus Audio Output LocalOutput [n] AutoconnectRemote	381
xStatus Audio Input Connectors Ethernet [n] Mute	375	xStatus Audio Output LocalOutput [n] Channels	381
xStatus Audio Input Connectors Ethernet [n] PeripheralId	375	xStatus Audio Output LocalOutput [n] Connector [n]	381
xStatus Audio Input Connectors HDMI [n] Mute	376	xStatus Audio Output LocalOutput [n] Input [n] Gain	382
xStatus Audio Input コネクタ Line [n] Mute	376	xStatus Audio Output LocalOutput [n] Loudspeaker	382
xStatus Audio Input Connectors Microphone [n] ConnectionStatus	376	xStatus Audio Output LocalOutput [n] Name	382
xStatus Audio Input Connectors Microphone [n] EcReferenceDelay	376	xStatus Audio Output LocalOutput [n] VolumeControlled	382
xStatus Audio Input Connectors Microphone [n] Mute	377	xStatus Audio Output MeasuredHdmiArcDelay	383
xStatus Audio Input Connectors USBC [n] Mute	377	xStatus Audio Output MeasuredHdmiDelay	383
xStatus Audio Input LocalInput [n] AGC	377	xStatus Audio Output ReportedHdmiCecDelay	383
xStatus Audio Input LocalInput [n] Channels	377	xStatus Audio Output RemoteOutput [n] CallId	383
xStatus Audio Input LocalInput [n] Connector [n]	377	xStatus Audio Output RemoteOutput [n] Input [n] Gain	384
xStatus Audio Input LocalInput [n] Direct	378	xStatus Audio SelectedDevice	384
xStatus Audio Input LocalInput [n] MixerMode	378	xStatus Audio Ultrasound Volume	384
xStatus Audio Input LocalInput [n] Mute	378	xStatus Audio Volume	384
xStatus Audio Input LocalInput [n] Name	378	xStatus Audio VolumeHandsetUsb	384
xStatus Audio Input RemoteInput [n] CallId	378	xStatus Audio VolumeHeadsetAnalog	384
xStatus Audio Microphones MusicMode	379	xStatus Audio VolumeHeadsetBluetooth	385
xStatus Audio Microphones Mute	379	xStatus Audio VolumeHeadsetUsb	385
xStatus Audio Microphones NoiseRemoval	379	xStatus Audio VolumeInternal	385
xStatus Audio Output Connectors ARC [n] DelayMs	379	xStatus Audio VolumeMute	385
xStatus Audio Output Connectors ARC [n] Mode	379		

Bookings ステータス	386	xStatus Cameras Camera [n] Position Focus	393
xStatus Bookings Availability Status.....	386	xStatus Cameras Camera [n] Position Lens	393
xStatus Bookings Availability TimeStamp	386	xStatus Cameras Camera [n] Position Pan.....	393
xStatus Bookings Current Id.....	386	xStatus Cameras Camera [n] Position Roll	393
Call ステータス	387	xStatus Cameras Camera [n] Position Tilt	393
xStatus Call [n] AnswerState	387	xStatus Cameras Camera [n] Position Zoom	394
xStatus Call [n] AttendedTransferFrom.....	387	xStatus Cameras Camera [n] SerialNumber.....	394
xStatus Call [n] CallbackNumber	387	xStatus Cameras Camera [n] SoftwareID.....	394
xStatus Call [n] CallType	387	xStatus Cameras PresenterTrack Availability	394
xStatus Call [n] DeviceType	388	xStatus Cameras PresenterTrack PresenterDetected	394
xStatus Call [n] Direction	388	xStatus Cameras PresenterTrack Status.....	395
xStatus Call [n] DisplayName.....	388	xStatus Cameras SpeakerTrack ActiveConnector	395
xStatus Call [n] Duration	388	xStatus Cameras SpeakerTrack Availability	395
xStatus Call [n] Encryption Type	388	xStatus Cameras SpeakerTrack BackgroundMode.....	395
xStatus Call [n] FacilityServiceId	389	xStatus Cameras SpeakerTrack Frames Availability	396
xStatus Call [n] HoldReason	389	xStatus Cameras SpeakerTrack Frames Status	396
xStatus Call [n] Ice	389	xStatus Cameras SpeakerTrack Status.....	396
xStatus Call [n] PlacedOnHold.....	389	xStatus Cameras SpeakerTrack ViewLimits Pan.....	396
xStatus Call [n] Protocol	390	xStatus Cameras SpeakerTrack ViewLimits Status.....	397
xStatus Call [n] ReceiveCallRate.....	390	xStatus Cameras SpeakerTrack ViewLimits Tilt	397
xStatus Call [n] RemoteNumber	390	xStatus Cameras SpeakerTrack ViewLimits Zoom.....	397
xStatus Call [n] Status.....	390	Capabilities ステータス	398
xStatus Call [n] TransmitCallRate.....	390	xStatus Capabilities Conference MaxActiveCalls	398
Cameras ステータス	391	xStatus Capabilities Conference MaxAudioCalls.....	398
xStatus Cameras Background Image.....	391	xStatus Capabilities Conference MaxCalls	398
xStatus Cameras Background Mode.....	391	xStatus Capabilities Conference MaxVideoCalls.....	398
xStatus Cameras Camera [n] Capabilities Options	391	Conference ステータス	399
xStatus Cameras Camera [n] Connected.....	391	xStatus Conference ActiveSpeaker CallId	399
xStatus Cameras Camera [n] DetectedConnector.....	391	xStatus 会議コール [n] AuthenticationRequest	399
xStatus Cameras Camera [n] Flip	392	xStatus Conference Call [n] BookingId.....	399
xStatus Cameras Camera [n] Framerate	392	xStatus Conference Call [n] Capabilities Caption.....	400
xStatus Cameras Camera [n] HardwareId.....	392	xStatus Conference Call [n] Capabilities EmergencyCallCapability	400
xStatus Cameras Camera [n] LightingConditions.....	392	xStatus Conference Call [n] Capabilities FarendMessage Mode	400
xStatus Cameras Camera [n] MacAddress	392	xStatus Conference Call [n] Capabilities FECC Mode.....	400
xStatus Cameras Camera [n] Manufacturer	392	xStatus Conference Call [n] Capabilities FECC NumberOfPresets.....	400
xStatus Cameras Camera [n] Model.....	393	xStatus Conference Call [n] Capabilities FECC NumberOfSources.....	400

xStatus Conference Call [n] Capabilities FECC Source [n] Name	401	xStatus Conference EndToEndEncryption Externalldentity CertificateChain Certificate [n] SignatureAlgorithm	407
xStatus Conference Call [n] Capabilities FECC Source [n] Options	401	xStatus Conference EndToEndEncryption Externalldentity CertificateChain Certificate [n] Subject [n] Name.....	407
xStatus Conference Call [n] Capabilities FECC Source [n] Sourceld	401	xStatus Conference EndToEndEncryption Externalldentity CertificateChain Certificate [n] Validity.....	407
xStatus Conference Call [n] Capabilities Hold.....	401	xStatus Conference EndToEndEncryption Externalldentity Identity.....	408
xStatus Conference Call [n] Capabilities lxChannel Status.....	401	xStatus Conference EndToEndEncryption Externalldentity Status	408
xStatus Conference Call [n] Capabilities MeetingAssistant Start	401	xStatus Conference EndToEndEncryption Externalldentity Verification	408
xStatus Conference Call [n] Capabilities MeetingAssistant Stop.....	401	xStatus Conference EndToEndEncryption Internalldentity CertificateChain Certificate [n] Fingerprint.....	408
xStatus Conference Call [n] Capabilities ParticipantDisconnect.....	402	xStatus Conference EndToEndEncryption Internalldentity CertificateChain Certificate [n] NotAfter	409
xStatus Conference Call [n] Capabilities ParticipantList	402	xStatus Conference EndToEndEncryption Internalldentity CertificateChain Certificate [n] NotBefore.....	409
xStatus Conference Call [n] Capabilities ParticipantMute.....	402	xStatus Conference EndToEndEncryption Internalldentity CertificateChain Certificate [n] PrimaryName	409
xStatus Conference Call [n] Capabilities Presentation.....	402	xStatus Conference EndToEndEncryption Internalldentity CertificateChain Certificate [n] PublicKeyAlgorithm.....	409
xStatus Conference Call [n] Capabilities Recording Start.....	402	xStatus Conference EndToEndEncryption Internalldentity CertificateChain Certificate [n] SerialNumber	410
xStatus Conference Call [n] Capabilities SelfMute.....	402	xStatus Conference EndToEndEncryption Internalldentity CertificateChain Certificate [n] SignatureAlgorithm	410
xStatus 会議コール [n] EventCenter モード	403	xStatus Conference EndToEndEncryption Internalldentity CertificateChain Certificate [n] Subject [n] Name.....	410
xStatus Conference Call [n] Manufacturer	403	xStatus Conference EndToEndEncryption Internalldentity CertificateChain Certificate [n] Validity.....	410
xStatus Conference Call [n] MeetingAssistantEnabled	403	xStatus Conference EndToEndEncryption Internalldentity Identity.....	411
xStatus Conference Call [n] Meeting.....	403	xStatus Conference EndToEndEncryption Internalldentity Status	411
xStatus Conference Call [n] MicrophonesMuted.....	403	xStatus Conference EndToEndEncryption Internalldentity Verification.....	411
xStatus Conference Call [n] Recording	403	xStatus Conference Line [n] Mode.....	411
xStatus Conference Call [n] SimultaneousInterpretation MixerLevel	404	xStatus Conference Multipoint Mode.....	412
xStatus Conference Call [n] SimultaneousInterpretation SelectedLanguage	404	xStatus Conference Presentation Callld	412
xStatus Conference Call [n] Sip Sessionld.....	404	xStatus Conference Presentation LocalInstance [n] DirectShare	412
xStatus Conference Call [n] Softwareld.....	404	xStatus Conference Presentation LocalInstance [n] SendingMode.....	412
xStatus Conference Call [n] Streamed.....	404	xStatus Conference Presentation LocalInstance [n] Source.....	413
xStatus Conference Call [n] Transcoded.....	405	xStatus Conference Presentation Mode	413
xStatus Conference DoNotDisturb.....	405	xStatus Conference SelectedCallProtocol.....	413
xStatus Conference EndToEndEncryption Availability	405	xStatus Conference SpeakerLock Callld	413
xStatus Conference EndToEndEncryption Externalldentity CertificateChain Certificate [n] Fingerprint.....	405	xStatus Conference SpeakerLock Mode	413
xStatus Conference EndToEndEncryption Externalldentity CertificateChain Certificate [n] NotAfter	406		
xStatus Conference EndToEndEncryption Externalldentity CertificateChain Certificate [n] NotBefore.....	406		
xStatus Conference EndToEndEncryption Externalldentity CertificateChain Certificate [n] PrimaryName	406		
xStatus Conference EndToEndEncryption Externalldentity CertificateChain Certificate [n] PublicKeyAlgorithm	406		
xStatus Conference EndToEndEncryption Externalldentity CertificateChain Certificate [n] SerialNumber	407		

Diagnostics ステータス	414	xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat MaxJitter.....	421
xStatus Diagnostics Message [n] Description.....	414	xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat Packets.....	421
xStatus Diagnostics Message [n] Level.....	414	xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Netstat RoundTripTime.....	422
xStatus Diagnostics Message [n] References.....	414	xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] ParticipantId.....	422
xStatus Diagnostics Message [n] Type.....	415	xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Type.....	422
GPIO ステータス	416	xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Video ChannelRole.....	422
xStatus GPIO Pin [n] State.....	416	xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Video FrameRate.....	423
H323 ステータス	416	xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Video Protocol.....	423
xStatus H323 Gatekeeper Address.....	416	xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Video ResolutionX.....	423
xStatus H323 Gatekeeper Port.....	416	xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Video ResolutionY.....	423
xStatus H323 Gatekeeper Reason.....	416	xStatus MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Audio Channels.....	424
xStatus H323 Gatekeeper Status.....	417	xStatus MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Audio Protocol.....	424
xStatus H323 Mode Reason.....	417	xStatus MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Encryption.....	425
xStatus H323 Mode Status.....	417	xStatus MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Netstat Bytes.....	425
HttpFeedback ステータス	418	xStatus MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Netstat ChannelRate.....	425
xStatus HttpFeedback [n] Expression [n].....	418	xStatus MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Netstat Jitter.....	425
xStatus HttpFeedback [n] Format.....	418	xStatus MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Netstat LastIntervalLost.....	425
xStatus HttpFeedback [n] Status.....	418	xStatus MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Netstat LastIntervalReceived.....	426
xStatus HttpFeedback [n] URL.....	418	xStatus MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Netstat Loss.....	426
MediaChannels ステータス	419	xStatus MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Netstat MaxJitter.....	426
xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Audio ChannelRole.....	419	xStatus MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Netstat Packets.....	426
xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Audio Channels.....	419	xStatus MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Video FrameRate.....	426
xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Audio Mute.....	419	xStatus MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Video Protocol.....	427
xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Audio Protocol.....	419	xStatus MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Video ResolutionX.....	427
xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Direction.....	420	xStatus MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Video ResolutionY.....	427
xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Encryption.....	420	Network ステータス	428
xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat Bytes.....	420	xStatus Network [n] CDP Address.....	428
xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat ChannelRate.....	420	xStatus Network [n] CDP Capabilities.....	428
xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Netstat EndToEndDelay.....	420	xStatus Network [n] CDP DeviceId.....	428
xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat Jitter.....	421	xStatus Network [n] CDP Duplex.....	428
xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat LastIntervalLost.....	421	xStatus Network [n] CDP Platform.....	428
xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat LastIntervalReceived.....	421	xStatus Network [n] CDP PortID.....	428
xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat Loss.....	421	xStatus Network [n] CDP PrimaryMgmtAddress.....	429
		xStatus Network [n] CDP SysName.....	429
		xStatus Network [n] CDP SysObjectID.....	429
		xStatus Network [n] CDP Version.....	429

xStatus Network [n] CDP VoIPApplianceVlanID	429
xStatus Network [n] CDP VTPMgmtDomain	429
xStatus Network [n] DNS Domain Name	430
xStatus Network [n] DNS Server [n] Address	430
xStatus Network [n] Ethernet MacAddress	430
xStatus Network [n] Ethernet Speed	430
xStatus Network [n] IPv4 Address	430
xStatus Network [n] IPv4 Gateway	430
xStatus Network [n] IPv4 SubnetMask	431
xStatus Network [n] IPv6 Address	431
xStatus Network [n] IPv6 Gateway	431
xStatus Network [n] IPv6 LinkLocalAddress	431
xStatus Network [n] VLAN Voice VlanId	431
xStatus Network [n] Wifi BSSID	431
xStatus Network [n] Wifi Channel	432
xStatus Network [n] Wifi Connectivity	432
xStatus Network [n] Wifi Frequency	432
xStatus Network [n] Wifi InterfaceEnabled	432
xStatus Network [n] Wifi InterfaceReason	432
xStatus Network [n] Wifi KeyMgmt	432
xStatus Network [n] Wifi MacAddress	433
xStatus Network [n] Wifi Noise	433
xStatus Network [n] Wifi Phase2Method	433
xStatus Network [n] Wifi RawSSID	433
xStatus Network [n] Wifi Reason	433
xStatus Network [n] Wifi Region	433
xStatus Network [n] Wifi RSSI	434
xStatus Network [n] Wifi ScanResult [n] AuthType	434
xStatus Network [n] Wifi ScanResult [n] RawSSID	434
xStatus Network [n] Wifi ScanResult [n] SignalLevel	434
xStatus Network [n] Wifi ScanResult [n] SSID	434
xStatus Network [n] Wifi SNR	434
xStatus Network [n] Wifi Speed	435
xStatus Network [n] Wifi SSID	435
xStatus Network [n] Wifi Status	435
xStatus Network [n] Wifi Type	435

NetworkServices ステータス	436
xStatus NetworkServices NTP CurrentAddress	436
xStatus NetworkServices NTP Server [n] Address	436
xStatus NetworkServices NTP Status	436
xStatus NetworkServices UPnP Status	436
Peripherals ステータス	437
xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] HardwareInfo	437
xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] ID	437
xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] Location	437
xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] Name	437
xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] NetworkAddress	438
xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] RoomAnalytics AirQuality Index	438
xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] RoomAnalytics AmbientTemperature	438
xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] RoomAnalytics RelativeHumidity	438
xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] SerialNumber	438
xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] SoftwareInfo	439
xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] Status	439
xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] Type	439
xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] UpgradeFailureReason	439
xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] UpgradeStatus	440
xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] UpgradeURL	440
xStatus Peripherals PinPairing PinVisibleOnScreen	440
xStatus Peripherals PinPairing RetriesRemaining	440
xStatus Peripherals PinPairing TimeRemaining	440
xStatus Peripherals Stylus [n] Presence	440
Provisioning ステータス	441
xStatus Provisioning CUCM Customization Checksum	441
xStatus Provisioning CUCM ExtensionMobility Enabled	441
xStatus Provisioning CUCM ExtensionMobility LastLoggedInUserld	441
xStatus Provisioning CUCM ExtensionMobility LoggedIn	441
xStatus Provisioning RoomType	441
xStatus Provisioning Software Current CompletedAt	442
xStatus Provisioning Software Current URL	442
xStatus Provisioning Software Current VersionId	442
xStatus Provisioning Software UpgradeStatus LastChange	442
xStatus Provisioning Software UpgradeStatus Message	442

xStatus Provisioning Software UpgradeStatus Phase	442
xStatus Provisioning Software UpgradeStatus SessionId	443
xStatus Provisioning Software UpgradeStatus Status	443
xStatus Provisioning Software UpgradeStatus Urgency	443
xStatus Provisioning Software UpgradeStatus URL	443
xStatus Provisioning Software UpgradeStatus VersionId	443
xStatus Provisioning Status	444
xStatus Provisioning WebexCalling Status	444
Proximity ステータス	444
xStatus Proximity Services Availability	444
RoomAnalytics ステータス	445
xStatus RoomAnalytics AmbientNoise Level A	445
xStatus RoomAnalytics AmbientTemperature	445
xStatus RoomAnalytics Engagement CloseProximity	445
xStatus RoomAnalytics PeopleCount Capacity	445
xStatus RoomAnalytics PeopleCount Current	446
xStatus RoomAnalytics PeoplePresence	446
xStatus RoomAnalytics RelativeHumidity	446
xStatus RoomAnalytics ReverberationTime LastRun	446
xStatus RoomAnalytics ReverberationTime Middle RT60	446
xStatus RoomAnalytics ReverberationTime Octaves [n] CenterFrequency	447
xStatus RoomAnalytics ReverberationTime Octaves [n] RT60	447
xStatus RoomAnalytics Sound Level A	447
xStatus RoomAnalytics T3Alarm Detected	447
RoomPreset ステータス	448
xStatus RoomPreset [n] Defined	448
xStatus RoomPreset [n] Description	448
xStatus RoomPreset [n] Type	448
Security ステータス	448
xStatus Security Persistency CallHistory	448
xStatus Security Persistency Configurations	448
xStatus Security Persistency DHCP	449
xStatus Security Persistency InternalLogging	449
xStatus Security Persistency LocalPhonebook	449

SIP ステータス	449
xStatus SIP AlternateURI Alias [n] URI	449
xStatus SIP AlternateURI Primary URI	449
xStatus SIP Authentication	449
xStatus SIP CallForward DisplayName	450
xStatus SIP CallForward Mode	450
xStatus SIP CallForward URI	450
xStatus SIP Mailbox MessagesWaiting	450
xStatus SIP Mailbox URI	450
xStatus SIP Proxy [n] Address	450
xStatus SIP Proxy [n] Status	451
xStatus SIP Registration [n] Authentication	451
xStatus SIP Registration [n] Reason	451
xStatus SIP Registration [n] Status	451
xStatus SIP Registration [n] URI	451
xStatus SIP Secure	452
xStatus SIP Verified	452
Standby ステータス	452
xStatus Standby Level	452
xStatus Standby State	452
SystemUnit ステータス	453
xStatus SystemUnit BroadcastName	453
xStatus SystemUnit DeveloperPreview Mode	453
xStatus SystemUnit Hardware HasWifi	453
xStatus SystemUnit Hardware Module CompatibilityLevel	453
xStatus SystemUnit Hardware Module SerialNumber	453
xStatus SystemUnit Hardware Monitoring Fan [n] Status	454
xStatus SystemUnit Hardware Monitoring Temperature Status	454
xStatus SystemUnit Hardware USB-C [n] Connected	454
xStatus SystemUnit Notifications Notification [n] Text	454
xStatus SystemUnit Notifications Notification [n] Type	454
xStatus SystemUnit ProductId	455
xStatus SystemUnit ProductPlatform	455
xStatus SystemUnit ProductType	456
xStatus SystemUnit Software DisplayName	456
xStatus SystemUnit Software Name	456

xStatus SystemUnit Software OptionKeys AVIntegrator.....	456	xStatus UserInterface Features Call VideoMute	464
xStatus SystemUnit Software OptionKeys Encryption.....	456	xStatus UserInterface Features Call Webcam	464
xStatus SystemUnit Software OptionKeys MultiSite.....	456	xStatus UserInterface Features Files Start	464
xStatus SystemUnit Software OptionKeys RemoteMonitoring	457	xStatus UserInterface Features Share Start	465
xStatus SystemUnit Software ReleaseDate.....	457	xStatus UserInterface Features Whiteboard Start	465
xStatus SystemUnit Software Version	457	xStatus UserInterface LedControl Color.....	465
xStatus SystemUnit State CameraLid.....	457	xStatus UserInterface OSD Output	465
xStatus SystemUnit State NumberOfActiveCalls.....	457	xStatus UserInterface SettingsMenu Visibility	466
xStatus SystemUnit State NumberOfInProgressCalls	457	xStatus UserInterface Translation Override Checksum	466
xStatus SystemUnit State NumberOfSuspendedCalls	458	xStatus UserInterface WebView [n] Status.....	466
xStatus SystemUnit Uptime	458	xStatus UserInterface WebView [n] Type.....	467
Time ステータス.....	458	xStatus UserInterface WebView [n] URL.....	467
xStatus Time SystemTime.....	458	Video ステータス	467
UserInterface ステータス.....	459	xStatus Video ActiveSpeaker PIPPosition.....	467
xStatus UserInterface Branding CustomId Background.....	459	xStatus Video Input AirPlay Activity	467
xStatus UserInterface Branding CustomId Branding	459	xStatus Video Input AirPlay Status.....	468
xStatus UserInterface Branding CustomId HalfwakeBackground.....	459	xStatus Video Input Connector [n] Connected.....	468
xStatus UserInterface Branding CustomId HalfwakeBranding.....	459	xStatus Video Input Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] DeviceType	468
xStatus UserInterface ContactInfo ContactMethod [n] Number	460	xStatus Video Input Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] LogicalAddress.....	468
xStatus UserInterface ContactInfo Name	460	xStatus Video Input Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] Name	468
xStatus UserInterface Extensions Widget [n] Value	460	xStatus Video Input Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] PowerStatus	469
xStatus UserInterface Extensions Widget [n] WidgetId	460	xStatus Video Input Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] VendorId	469
xStatus UserInterface Features Call Breakouts	461	xStatus Video Input Connector [n] SignalState	469
xStatus UserInterface Features Call End	461	xStatus Video Input Connector [n] SourceId	469
xStatus UserInterface Features Call HdmiPassthrough.....	461	xStatus Video Input Connector [n] Type.....	470
xStatus UserInterface Features Call JoinGoogleMeet.....	461	xStatus Video Input DirectShare [n] Peer Address	470
xStatus UserInterface Features Call JoinWebex.....	462	xStatus Video Input DirectShare [n] Peer PeripheralId	470
xStatus UserInterface Features Call JoinZoom	462	xStatus Video Input DirectShare [n] Type.....	470
xStatus UserInterface Features Call Keypad.....	462	xStatus Video Input MainVideoMute	470
xStatus UserInterface Features Call LayoutControls	462	xStatus Video Input MainVideoSource.....	471
xStatus UserInterface Features Call MidCallControls.....	463	xStatus Video Input Miracast Channel.....	471
xStatus UserInterface Features Call MusicMode.....	463	xStatus Video Input Miracast PinAttemptsLeft.....	471
xStatus UserInterface Features Call ParticipantList.....	463	xStatus Video Input Miracast Status	471
xStatus UserInterface Features Call SelfviewControls	463	xStatus Video Input Source [n] ConnectorId	472
xStatus UserInterface Features Call Start.....	464	xStatus Video Input Source [n] FormatStatus	472
		xStatus Video Input Source [n] MediaChannelId.....	472

xStatus Video Input Source [n] Resolution Height.....	472
xStatus Video Input Source [n] Resolution RefreshRate	472
xStatus Video Input Source [n] Resolution Width.....	473
xStatus Video Layout CurrentLayouts ActiveLayout.....	473
xStatus Video Layout CurrentLayouts AvailableLayouts [n] LayoutName.....	473
xStatus Video Layout CurrentLayouts DefaultLayout.....	473
xStatus Video Layout LayoutFamily Local.....	474
xStatus Video Layout LayoutFamily Remote	474
xStatus Video Monitors	474
xStatus Video Output Connector [n] Connected.....	474
xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] DeviceType	475
xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] LogicalAddress.....	475
xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] Name	475
xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] PowerStatus	475
xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] VendorId	475
xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice Name	476
xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice PreferredFormat	476
xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice ScreenSize	476
xStatus Video Output Connector [n] Connected.....	476
xStatus Video Output Connector [n] HDCP State	476
xStatus Video Output Connector [n] MonitorRole	477
xStatus Video Output Connector [n] Resolution Height	477
xStatus Video Output Connector [n] Resolution RefreshRate.....	477
xStatus Video Output Connector [n] Resolution Width	477
xStatus Video Output Connector [n] Type.....	477
xStatus Video Output HDMI Passthrough Status.....	478
xStatus Video Output Monitor [n] Backlight.....	478
xStatus Video Output Monitor [n] Calibrated	478
xStatus Video Output Monitor [n] ColorTemperature Selected.....	478
xStatus Video Output Monitor [n] Configured	478
xStatus Video Output Monitor [n] FirmwareVersion	479
xStatus Video Output Monitor [n] IpAddress	479
xStatus Video Output Monitor [n] Manufacturer.....	479
xStatus Video Output Monitor [n] MDC Id	479
xStatus Video Output Monitor [n] MDC Port.....	479
xStatus Video Output Monitor [n] ModelName.....	479
xStatus Video Output Monitor [n] Position.....	480

xStatus Video Output Monitor [n] SerialNumber	480
xStatus Video Output Monitor [n] Temperature.....	480
xStatus Video Output Webcam Mode.....	480
xStatus Video Output Webcam Status.....	481
xStatus Video Presentation PIPPosition.....	481
xStatus Video Selfview FullscreenMode.....	481
xStatus Video Selfview Mode	481
xStatus Video Selfview OnMonitorRole	481
xStatus Video Selfview PIPPosition	482

WebEngine ステータス482

xStatus WebEngine の機能の表示	482
xStatus WebEngine Features WebEngine.....	482
xStatus WebEngine Features WebRTC.....	483

Webex ステータス483

xStatus Webex DeveloperId.....	483
xStatus Webex DevicePersonalization Hotdesking SessionStatus	483
xStatus Webex Meetings JoinProtocol	484
xStatus Webex Services Proximity GuestToken	484
xStatus Webex status.....	484

WebRTC ステータス485

xStatus WebRTC Provider GoogleMeet Availability	485
xStatus WebRTC Provider MicrosoftTeams Availability	485

ソフトウェアバージョン: RoomOS 11.1.2

対象製品:

- ・ 取締役会
- ・ BoardPro
- ・ CodecEQ
- ・ CodecPlus
- ・ CodecPro
- ・ DeskPro
- ・ DeskMini
- ・ Desk
- ・ Room55
- ・ Room70/Room55D
- ・ Room70G2
- ・ RoomBar
- ・ RoomKit
- ・ RoomKitMini
- ・ RoomPanorama/Room70Panorama

Audio ステータス

xStatus Audio Devices Bluetooth ActiveProfile

適用先: RoomBar DeskPro DeskMini Desk BoardPro

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

現在使用中の Bluetooth® ヘッドセットプロファイルを表示します。

返される結果の値スペース:

None/HFP/A2DP

HFP (ハンズフリー プロファイル)、A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)、または None、使用中のプロファイルなし

例:

```
xStatus Audio Devices Bluetooth ActiveProfile
*s Audio Devices Bluetooth ActiveProfile: None
** end
```

xStatus Audio Devices HandsetUSB ConnectionStatus

適用先: RoomKit RoomKitMini RoomBar Room55 DeskPro DeskMini Desk BoardPro

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

USB ハンドセットが接続されているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

Connected/NotConnected

例:

```
xStatus Audio Devices HandsetUSB ConnectionStatus
*s Connected
** end
```

xStatus Audio Devices HandsetUSB Cradle

適用先: RoomKit RoomKitMini RoomBar Room55 DeskPro DeskMini Desk BoardPro

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

USB ハンドセットが、オンフックか、オフフックかを示します。

返される結果の値スペース:

OnHook/OffHook

例:

```
xStatus Audio Devices HandsetUSB Cradle
*s OnHook
** end
```

xStatus Audio Devices HeadsetAnalog ConnectionStatus

適用先: [DeskPro](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

アナログ ヘッドセットが接続されているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

Connected/NotConnected

例:

```
xStatus Audio Devices HeadsetAnalog Connection Status
*s Connected
** end
```

xStatus Audio Devices HeadsetUSB ConnectionStatus

適用先: [RoomKit](#) [RoomKitMini](#) [RoomBar](#) [Room55](#) [DeskPro](#) [DeskMini](#) [Desk](#) [BoardPro](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

USB ヘッドセットが接続されているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

Connected/NotConnected

例:

```
xStatus Audio Devices HeadsetUSB ConnectionStatus
*s Connected
** end
```

xStatus Audio Devices HeadsetUSB Description

適用先: [RoomKit](#) [RoomKitMini](#) [RoomBar](#) [Room55](#) [DeskPro](#) [DeskMini](#) [Desk](#) [BoardPro](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

接続された USB ヘッドセットに関する説明を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Audio Devices HeadsetUSB Description
*s HeadsetUSB Description: "Description of USB headset."
** end
```

xStatus Audio Devices HeadsetUSB Manufacturer

適用先: [RoomKit](#) [RoomKitMini](#) [RoomBar](#) [Room55](#) [DeskPro](#) [DeskMini](#) [Desk](#) [BoardPro](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

USB ヘッドセットの製造者をリストします。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Audio Devices HeadsetUSB Manufacturer
*s HeadsetUSB Manufacturer: "CompanyName"
** end
```

xStatus Audio Input Connectors Ethernet [n] Mute

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

イーサネットコネクタのオーディオ チャンネル ユーザーをミュートにするかどうかを表示します。

返される結果の値スペース:

Off/On

例:

```
xStatus Audio Input Connectors Ethernet 1 Mute
*s Audio Input Connectors Ethernet 1 Mute: Off
** end
```

xStatus Audio Input Connectors Ethernet [n] PeripheralId

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

論理イーサネット入力コネクタに関連付けられた周辺機器識別子を一覧表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Audio Input Connectors Ethernet 1 PeripheralId
*s Audio Input Connectors Ethernet 1 PeripheralId: "MyEthernetDevice"
** end
```

xStatus Audio Input Connectors HDMI [n] Mute

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

HDMI 入力コネクタのオーディオ チャンネルがミュートされているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus Audio Input Connectors HDMI 1 Mute
*s Audio Input Connectors HDMI 1 Mute: Off
** end
```

xStatus Audio Input コネクタ Line [n] Mute

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

回線入力コネクタの音声ミュートされているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus Audio Input Connectors Line 1 Mute
*s Audio Input Connectors Line 1 Mute: Off
** end
```

xStatus Audio Input Connectors Microphone [n] ConnectionStatus

適用先: RoomKit RoomKitMini RoomBar CodecEQ CodecPlus Room55 Room70/Room55D BoardPro

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

マイクがマイク入力コネクタで検出されるかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

Connected/NotConnected/Unknown

Connected: マイクが接続されています。

NotConnected: 何も接続されていません。

Unknown: ビデオ会議デバイスは、マイクが接続されているかどうかを検出することができません。

例:

```
xStatus Audio Input Connectors Microphone ConnectionStatus
*s Audio Input Connectors Microphone 1 ConnectionStatus: NotConnected
*s Audio Input Connectors Microphone 2 ConnectionStatus: Connected
** end
```

xStatus Audio Input Connectors Microphone [n] EcReferenceDelay

適用先: RoomKit RoomKitMini CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama Board

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

マイク パスに対して各ラウドスピーカーで検出された遅延を返します。結果はミリ秒単位です。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Audio Input Connectors Microphone 1 EcReferenceDelay
*s Audio Input Connectors Microphone 1 EcReferenceDelay: 120
** end
```

xStatus Audio Input Connectors Microphone [n] Mute

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

マイク入力コネクタの音声がミュートされているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus Audio Input Connectors Microphone 1 Mute
*s Audio Input Connectors Microphone 1 Mute: Off
** end
```

xStatus Audio Input Connectors USBC [n] Mute

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

USB-C 入力コネクタのオーディオチャンネルがミュートになっているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus Audio Input Connectors USBC 1 Mute
*s Audio Input Connectors USBC 1 Mute: Off
** end
```

xStatus Audio Input LocalInput [n] AGC

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [DeskPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

ローカル入力上の AGC (オート ゲイン コントロール) モードを示します。xStatus Audio Input LocalInput コマンドを使用して、入力の ID [n] を確認できます。

Codec EQ: AVIntegrator オプションが必要です。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus Audio Input LocalInput 1 AGC
*s Audio Input LocalInput 1 AGC: "On"
** end
```

xStatus Audio Input LocalInput [n] Channels

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [DeskPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

ローカル入力チャンネルがモノラル信号 (1) またはステレオ信号 (2) のどちらかにミキシングされるかを示します。xStatus Audio Input LocalInput コマンドを使用して、入力の ID [n] を確認できます。

Codec EQ: AVIntegrator オプションが必要です。

返される結果の値スペース:

1 ~ 2

例:

```
xStatus Audio Input LocalInput 1 Channels
*s Audio Input LocalInput 1 Channels: 1
** end
```

xStatus Audio Input LocalInput [n] Connector [n]

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [DeskPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

ローカル入力に接続されたコネクタをリストします。xStatus Audio Input LocalInput コマンドを使用して、入力の ID [n] を確認できます。

Codec EQ: AVIntegrator オプションが必要です。

返される結果の値スペース:

Microphone.n/Line.n/HDMI.n/Ethernet.n/ARC.n/WebView.n/AirPlay.n/USBC.n/USBInterface.n

例:

```
xStatus Audio Input LocalInput 1 Connector
*s Audio Input LocalInput 1 Connector: "Microphone.1"
** end
```

xStatus Audio Input LocalInput [n] Direct

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [DeskPro](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

このローカル入力においてアコースティック エコー キャンセレーションやノイズ リダクションなどの入力処理がバイパスされるかどうかを示します。入力処理をバイパスすると、オーディオ入力遅延が減り、ローカルの音声を強化している場合に便利です。xStatus Audio Input LocalInput コマンドを使用して、入力の ID [n] を確認できます。

Codec EQ: AVIntegrator オプションが必要です。

返される結果の値スペース:

Off/On

Off: すべての定期的な入力処理が各コネクタの構成に従って実施されます。

On: 接続されている各入力コネクタの設定に関係なく、アコースティック エコー キャンセレーションやノイズ リダクションなどの入力処理をバイパスします。

例:

```
xStatus Audio Input LocalInput 1 Direct
*s Audio Input LocalInput 1 Mute: "Off"
** end
```

xStatus Audio Input LocalInput [n] MixerMode

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [DeskPro](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ローカル入力コネクタのミキシング方法を示します。xStatus Audio Input LocalInput コマンドを使用して、入力の ID [n] を確認できます。

Codec EQ: AVIntegrator オプションが必要です。

返される結果の値スペース:

Auto/Fixed/GainShared

Auto: 音声最大のスピーカーのマイクがアクティブになり、他のマイクは著しく減衰されます。

Fixed: 入力コネクタの信号は同等ゲインでミキシングされます。

GainShared: ミキシングの前に、音声最大のスピーカーに対して正規化されたゲイン ファクタがマイクに提供されます。

例:

```
xStatus Audio Input LocalInput 1 MixerMode
*s Audio Input LocalInput 1 MixerMode: "Auto"
** end
```

xStatus Audio Input LocalInput [n] Mute

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [DeskPro](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ローカル入力のミュート モードを表示します。ローカル入力とは入力コネクタのミキシングです。xStatus Audio Input LocalInput コマンドを使用して、入力の ID [n] を確認できます。

Codec EQ: AVIntegrator オプションが必要です。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus Audio Input LocalInput 1 Mute
*s Audio Input LocalInput 1 Mute: "Off"
** end
```

xStatus Audio Input LocalInput [n] Name

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [DeskPro](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ローカル入力の名前を表示します。ローカル入力とは入力コネクタのミキシングです。xStatus Audio Input LocalInput コマンドを使用して、入力の ID [n] を確認できます。

Codec EQ: AVIntegrator オプションが必要です。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Audio Input LocalInput 1 Name
*s Audio Input LocalInput 1 Name: "Microphone"
** end
```

xStatus Audio Input RemoteInput [n] CallId

適用対象: [すべての製品](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

リモート音声入力の CallId を示します。xStatus Audio Input RemoteInput コマンドを使用して、入力の ID [n] を確認できます。

返される結果の値スペース:

0 ~ 65534

例:

```
xStatus Audio Input RemoteInput 8 CallId
*s Audio Input RemoteInput 8 CallId: 28
** end
```

xStatus Audio Microphones MusicMode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

MusicMode が On か Off かを示します。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus Audio Microphones MusicMode
*s Audio Microphones MusicMode: Off
** end
```

xStatus Audio Microphones Mute

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

マイクがミュートになっているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus Audio Microphones Mute
*s Audio Microphones Mute: Off
** end
```

xStatus Audio Microphones NoiseRemoval

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

返される結果の値スペース:

Off/On

[バックグラウンドノイズ除去 (background noise removal)] 機能が有効 (On) か無効 (Off) かを示します。詳細については、「Audio Microphones NoiseRemoval Mode 設定」を参照してください。

例:

```
xStatus Audio Microphones NoiseRemoval
*s Audio Microphones NoiseRemoval: On
** end
```

xStatus Audio Output Connectors ARC [n] DelayMs

適用先: *CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

ARC 出力の遅延を示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

遅延 (ミリ秒)。

例:

```
xStatus Audio Output Connectors ARC 1 DelayMs
*s Audio Output Connectors ARC 1 DelayMs: 60
** end
```

xStatus Audio Output Connectors ARC [n] Mode

適用先: *CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

ARC 出力コネクタの音声チャンネルを有効または無効にするかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus Audio Output Connectors ARC 1 Mode
*s Audio Output Connectors ARC 1 Mode: Off
** end
```

xStatus Audio Output Connectors HDMI [n] DelayMs

適用先: *RoomKit RoomKitMini RoomBar CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

HDMI 出力の遅延を示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

遅延 (ミリ秒)。

例:

```
xStatus Audio Output Connectors HDMI 1 DelayMs
*s Audio Output Connectors Line 1 DelayMs: 60
** end
```

xStatus Audio Output Connectors HDMI [n] MicPassthrough

適用対象: [RoomKit](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room55](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

デバイスが、HDMI [n] 出力のマイクからオーディオをストリーミングするように設定されているかどうかを報告します。ステータスは、Video Output HDMI Passthrough Start/Stop および Audio Microphones Passthrough Start/Stop コマンドの両方によって変化します。

[ラップトップから会議 (Call from laptop)] 機能は、HDMI-to-USB コンバータが接続されている出力のマイクのパススルーの On/Off を切り替えるため、このステータスに影響します。詳細については、「Video Output HDMI Passthrough Allowed 構成」を参照してください。

このステータスは、Room 55 Dual および Room 70 Dual には適用されません。

返される結果の値スペース:

Manual/Off/On

On: デバイスは、HDMI 出力でオーディオをストリーミングするように設定されています。

Off: デバイスは、HDMI 出力でオーディオをストリーミングしないよう設定されています。

Manual: Audio Output ConnectorSetup 構成は [手動 (Manual)] です。つまり、オーディオチェーンは、Audio Console application or API コマンドを使用して手動設定します。

例:

```
xStatus Audio Output Connectors HDMI 2 MicPassthrough
*s Audio Output Connectors HDMI 3 MicPassthrough: On
** end
```

xStatus Audio Output Connectors HDMI [n] Mode

適用先: [RoomKit](#) [RoomKitMini](#) [RoomBar](#) [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room55](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

HDMI 出力コネクタのオーディオ チャンネルが有効になっているか、無効になっているか、またはコネクタが、接続されたビデオ ディスプレイでの音声遅延測定に使用されているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

オン/オフ/DelayMeasurement

On: HDMI 出力コネクタのオーディオ チャンネルが有効になっています。

Off: HDMI 出力コネクタのオーディオ チャンネルが無効になっています。

DelayMeasurement: コネクタは、接続されたビデオディスプレイでオーディオの遅延を測定するために使用されます。

例:

```
xStatus Audio Output Connectors HDMI 1 Mode
*s Audio Output Connectors HDMI 1 Mode: On
** end
```

xStatus Audio Output Connectors InternalSpeaker [n] DelayMs

適用先: [RoomKit](#) [RoomKitMini](#) [RoomBar](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

内部ラウド スピーカの遅延を示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

遅延 (ミリ秒)。

例:

```
xStatus Audio Output Connectors InternalSpeaker 1 DelayMS
*s Audio Output Connectors InternalSpeaker 1 DelayMs: 0
** end
```

xStatus Audio Output Connectors InternalSpeaker [n] Mode

適用先: [RoomKitMini](#) [RoomBar](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

デバイスの統合スピーカが有効が無効を示します。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus Audio Output Connectors InternalSpeaker 1 Mode
*s Audio Output Connectors InternalSpeaker 1 Mode: On
** end
```

xStatus Audio Output Connectors Line [n] ConnectionStatus

適用先: [RoomKit](#) [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [Room55](#) [Room70/Room55D](#) [Board](#) [BoardPro](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

オーディオ出力回線が接続されているかどうかを表示します。

返される結果の値スペース:

Connected/NotConnected/Unknown

Connected: デバイスが接続されています。

NotConnected: 何も接続されていません。

Unknown: デバイスは何か接続されているかを検出できません。

例:

```
xStatus Audio Output Connectors Line 1 ConnectionStatus
*s Audio Output Connectors Line 1 ConnectionStatus: Connected
** end
```

xStatus Audio Output Connectors Line [n] DelayMs

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

遅延をミリ秒単位で表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (0 ~ 290)

例:

```
xStatus Audio Output Connectors Line 1 DelayMs
*s Audio Output Connectors Line 1 DelayMs: 60
** end
```

xStatus Audio Output LocalOutput [n] AutoconnectRemote

適用先: CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

ローカル出力にリモート入力信号 (遠端から) を自動的に追加するかどうかを示します。Audio LocalOutput ConnectInput コマンドを使用して、いつでも手動で追加できます。

Codec EQ: AVIntegrator オプションが必要です。

返される結果の値スペース:

On/Off

On: コール時に、リモート入力信号がすべてのローカル出力に自動的に追加されます。
Off: リモート入力信号はローカル出力に自動で追加されません。

例:

```
xStatus Audio Output LocalOutput 4 AutoconnectRemote
* s Audio Output LocalOutput 4 AutoconnectRemote: "On"
** end
```

xStatus Audio Output LocalOutput [n] Channels

適用先: CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

ローカル出力チャンネルがモノラル信号 (1) またはステレオ信号 (2) のどちらかにミキシングされるかを示します。xStatus Audio Output LocalOutput コマンドを使用して、出力の ID [n] を確認できます。

Codec EQ: AVIntegrator オプションが必要です。

返される結果の値スペース:

1 ~ 2

例:

```
xStatus Audio Output LocalOutput 4 Channels
*s Audio Output LocalOutput 4 Channels: "1"
** end
```

xStatus Audio Output LocalOutput [n] Connector [n]

適用先: CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

ローカル出力に接続されたコネクタをリストします。xStatus Audio Output LocalOutput コマンドを使用して、出力の ID [n] を確認できます。

Codec EQ: AVIntegrator オプションが必要です。

返される結果の値スペース:

InternalSpeaker.n/Line.n/HDMI.n/Ethernet.n/ARC.n/WebView.n/USBC.n/USBInterface.n

例:

```
xStatus Audio Output LocalOutput 4 Connector
*s Audio Output LocalOutput 4 Connector: "Line.1"
** end
```

xStatus Audio Output LocalOutput [n] Input [n] Gain

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [DeskPro](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ローカル出力に接続している場合に、入力のゲイン (dB) を示します。xStatus Audio Output LocalOutput コマンドを使用して、出力と入力の ID [n] を確認できます。

Codec EQ: AVIntegrator オプションが必要です。

返される結果の値スペース:

-54 ~ 15

範囲は -54 dB ~ 15 dB で、-54 dB の場合はオフと同じです。

例:

```
xStatus Audio Output LocalOutput 4 Input 2 Gain
*s Audio Output LocalOutput 4 Input 2 Gain: 0
** end
```

xStatus Audio Output LocalOutput [n] Loudspeaker

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [DeskPro](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ローカル出力のラウドスピーカー モードを示します。ローカル出力に接続された 1 つ以上の出力コネクタをラウドスピーカーに接続する場合、この信号がエコー キャンセラの基準信号となるため、ラウドスピーカーを On に設定する必要があります。xStatus Audio Output LocalOutput コマンドを使用して、出力の ID [n] を確認できます。

Codec EQ: AVIntegrator オプションが必要です。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus Audio Output LocalOutput 4 Loudspeaker
*s Audio Output LocalOutput 4 Loudspeaker: "Off"
** end
```

xStatus Audio Output LocalOutput [n] Name

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [DeskPro](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ローカル出力の名前を表示します。xStatus Audio Output LocalOutput コマンドを使用して、出力の ID [n] を確認できます。

Codec EQ: AVIntegrator オプションが必要です。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Audio Output LocalOutput 4 Name
*s Audio Output LocalOutput 4 Name: "MyLocalOutput1"
** end
```

xStatus Audio Output LocalOutput [n] VolumeControlled

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [DeskPro](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

この出力の音量がどこから制御されているかを示します。

Codec EQ: AVIntegrator オプションが必要です。

返される結果の値スペース:

On/Off

Off: この出力の音量はグローバル オーディオ制御によって制御されます。

On: この出力の音量は、xCommand Audio Volume Set で定義されたレベルです。

例:

```
xStatus Audio Output LocalOutput 5 VolumeControlled
*s Audio Output LocalOutput 5 VolumeControlled: "On"
** end
```

xStatus Audio Output MeasuredHdmiArcDelay

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

HDMI コネクタに接続されたデバイスの測定されたオーディオ遅延を示します。この遅延は HDMI オーディオ リターン チャンネルを介して測定され、オーディオとビデオとの間の適切なリップ同期を確保します。

返される結果の値スペース:

整数 (*Integer*)

測定されたオーディオ遅延 (ミリ秒)。

例:

```
xStatus Audio Output MeasuredHdmiArcDelay
*s Audio Output MeasuredHdmiArcDelay: 85
** end
```

xStatus Audio Output MeasuredHdmiDelay

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

HDMI コネクタに接続されたデバイスの測定されたオーディオ遅延を示します。この遅延は HDMI 出力から、いずれかのマイクまで測定されます。

返される結果の値スペース:

整数 (*Integer*)

測定されたオーディオ遅延 (ミリ秒)。

例:

```
xStatus Audio Output MeasuredHdmiDelay
*s Audio Output MeasuredHdmiDelay:134
** end
```

xStatus Audio Output ReportedHdmiCecDelay

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

HDMI コネクタに接続されたデバイスの報告されたビデオ遅延を示します。この遅延は、Consumer Electronics Control (CEC) プロトコルを介して報告され、オーディオとビデオとの間の適切なリップ同期を確保します。

返される結果の値スペース:

整数 (*Integer*)

測定されたオーディオ遅延 (ミリ秒)。

例:

```
xStatus Audio Output ReportedHdmiCecDelay
*s Audio Output ReportedHdmiCecDelay:39
** end
```

xStatus Audio Output RemoteOutput [n] CallId

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [DeskPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

リモート音声出力の CallId を示します。xStatus Audio Output RemoteOutput コマンドを使用して、出力の ID [n] を確認できます。

返される結果の値スペース:

1 ~ 65534

例:

```
xStatus Audio Output RemoteOutput 9 CallId
*s Audio Output RemoteOutput 9 CallId: 28
** end
```

xStatus Audio Output RemoteOutput [n] Input [n] Gain

適用先: *CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

リモート出力に接続されている入力のゲイン (dB) を示します。範囲は -54 dB ~ 15 dB で、-54 dB の場合はオフと同じです。

xStatus Audio Output RemoteOutput コマンドを使用して、出力と入力の ID [n] を確認できます。

返される結果の値スペース:

-54 ~ 15

例:

```
xStatus Audio Output RemoteOutput 9 Input 1 Gain
*s Audio Output RemoteOutput 9 Input 1 Gain: 0
** end
```

xStatus Audio SelectedDevice

適用先: *RoomKit RoomKitMini RoomBar Room55 DeskPro DeskMini Desk BoardPro*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

選択されているオーディオ デバイスを示します。Bluetooth ヘッドセットは、Desk Series、Board Pro、および Room Bar でのみサポートされています。アナログヘッドセットは Desk Pro でのみサポートされています。

返される結果の値スペース:

Internal/HeadsetUSB/HeadsetAnalog/HeadsetBluetooth/HandsetUSB

例:

```
xStatus Audio SelectedDevice
*s Audio SelectedDevice: Internal
** end
```

xStatus Audio Ultrasound Volume

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

超音波の音量を表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Audio Ultrasound Volume
*s Audio Ultrasound Volume: 70
** end
```

xStatus Audio Volume

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

スピーカー出力の音量レベル (dB) を示します。

返される結果の値スペース:

0 ~ 100

例:

```
xStatus Audio Volume
*s Audio Volume: 70
** end
```

xStatus Audio VolumeHandsetUsb

適用先: *RoomKit RoomKitMini RoomBar Room55 DeskPro DeskMini Desk BoardPro*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

USB ハンドセット音量レベルを示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Audio VolumeHandsetUsb
*s6
** end
```

xStatus Audio VolumeHeadsetAnalog

適用先: *RoomKit RoomKitMini RoomBar Room55 DeskPro*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

アナログヘッドセットの音量を表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Audio VolumeHeadsetAnalog
*s6
** end
```

xStatus Audio VolumeHeadsetBluetooth

適用先: [RoomBar](#) [DeskPro](#) [DeskMini](#) [Desk](#) [BoardPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

Bluetooth ヘッドセットの音量レベルを示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Audio VolumeHeadsetBluetooth
*s Audio VolumeHeadsetBluetooth: 50
** end
```

xStatus Audio VolumeHeadsetUsb

適用先: [DeskPro](#) [DeskMini](#) [Desk](#) [BoardPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

USB ヘッドセット音量レベルを示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Audio VolumeHeadsetUsb
*s6
** end
```

xStatus Audio VolumeInternal

適用先: [RoomKit](#) [RoomKitMini](#) [RoomBar](#) [Room55](#) [DeskPro](#) [DeskMini](#) [Desk](#) [BoardPro](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

内部音量レベルを示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Audio VolumeInternal
*s6
** end
```

xStatus Audio VolumeMute

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

デバイスの音量がミュートに設定されているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

Off/On

例:

```
xStatus Audio VolumeMute
*s Audio VolumeMute: Off
** end
```

Bookings ステータス

xStatus Bookings Availability Status

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

部屋がいつ、どのくらいの期間予約されているかを示します。

返される結果の値スペース:

BookedUntil/Free/FreeUntil

Free: 部屋は当面予約されておらず、Bookings Availability TimeStamp ステータスは空値 (" ") です。

FreeUntil: 部屋は現在空室ですが、後で予約されています。予約開始は、Bookings Availability TimeStamp ステータスになっています。

BookedUntil: 部屋は現在予約されており、現在の予約終了は、Bookings Availability TimeStamp ステータスになっています。

例:

```
xStatus Bookings Availability Status
*s Bookings Availability Status: Free
** end
```

xStatus Bookings Availability TimeStamp

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

部屋の現在の Bookings Availability ステータスに基づいたタイムスタンプまたは空値の文字列。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Bookings Availability TimeStamp
*s Bookings Availability TimeStamp: ""
** end
```

xStatus Bookings Current Id

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

継続中の予約イベントがある場合、その ID。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Bookings Current Id
*s Bookings Current Id: "123"
** end
```

Call ステータス

xStatus Call [n] AnswerState

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

コールが応答されたのか、無視されたのか、デバイスによって自動的に応答されたのかを示します。

返される結果の値スペース:

Unanswered/Ignored/Autoanswered/Answered

例:

```
xStatus Call AnswerState
*s Call 5 AnswerState: Answered
** end
```

xStatus Call [n] AttendedTransferFrom

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

現在のコールの転送先のコールの CallId を表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Call 1 AttendedTransferFrom
*s Call 1 AttendedTransferFrom: 1234
** end
```

xStatus Call [n] CallbackNumber

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

コールバック用に、着信または発信コールのリモート (遠端) 番号または URI とコール プロトコルを示します。コール ID を検索するためには、xStatus Call コマンドを実行できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Call 27 CallbackNumber
*s Call 27 CallbackNumber: "h323:firstname.lastname@company.com"
** end
```

xStatus Call [n] CallType

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

着信または発信コールのコール タイプを示します。コール ID を検索するためには、xStatus Call コマンドを実行できます。

返される結果の値スペース:

Video/Audio/AudioCanEscalate/ForwardAllCall/Unknown

例:

```
xStatus Call 27 CallType
*s Call 27 CallType: Video
** end
```

xStatus Call [n] DeviceType

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

コールの接続先を示します。

返される結果の値スペース:

Endpoint/MCU

Endpoint:別のデバイスへのポイントツーポイント コールです。

MCU:ネットワーク内のマルチポイント会議ユニット (MCU) へのコール、またはデバイスでホストされているマルチサイト通話です。

例:

```
xStatus Call DeviceType
*s Call 4 DeviceType: Endpoint
** end
```

xStatus Call [n] Direction

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

コールを開始する方向を示します。コール ID を検索するためには、xStatus Call コマンドを実行できます。

返される結果の値スペース:

Incoming/Outgoing

例:

```
xStatus Call 27 Direction
*s Call 27 Direction: Outgoing
** end
```

xStatus Call [n] DisplayName

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

着信または発信コールのリモート (遠端) 参加者の名前を示します。コール ID を検索するためには、xStatus Call コマンドを実行できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Call 27 DisplayName
*s Call 27 DisplayName: "firstname.lastname@company.com"
** end
```

xStatus Call [n] Duration

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

コールの継続時間を示します (秒単位)。コール ID を検索するためには、xStatus Call コマンドを実行できます。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Call 27 Duration
*s Call 27 Duration: 2354
** end
```

xStatus Call [n] Encryption Type

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

コールの暗号化タイプを示します。コール ID を検索するためには、xStatus Call コマンドを実行できます。

返される結果の値スペース:

None/Aes-128

例:

```
xStatus Call 27 Encryption Type
*s Call 27 Encryption Type: "None"
** end
```

xStatus Call [n] FacilityServiceId

適用先: RoomKit RoomKitMini RoomBar CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/ Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro Desk Board

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

ファシリティ サービスを呼び出すと、ファシリティ サービス ID が表示されます。それ以外の場合、値 0 が返されます。

返される結果の値スペース:

0 ~ 5

例:

```
xStatus Call FacilityServiceId
*s Call 3 FacilityServiceId: 1
** end
```

xStatus Call [n] HoldReason

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

現在の発信コールが保留されている理由を示します。

返される結果の値スペース:

Conference/Transfer/None

Conference: コールが電話会議にマージされている間、保留になっています。

Transfer: コールが転送されている間、保留になっています。

None: その他のすべての事例。

例:

```
xStatus Call 2 HoldReason
*s Call 2 HoldReason: None
** end
```

xStatus Call [n] Ice

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

ICE は、ICE ネゴシエーションによって直接ネットワークパスが見つかった場合に、コールの両サイドを有効にして、メディア (ビデオと音声) を相互に直接送信する機能です。このステータスは、ネゴシエーションの結果を反映しています。

返される結果の値スペース:

無効/成功/失敗

Disable: ICE は無効です。

Passed: 直接ネットワーク パスが見つかり、使用できるようになります。

Failed: 直接ネットワーク パスが見つかりませんでした。メディアが中間コンポーネントを介して流れてくる可能性があります。

例:

```
xStatus Call 2 Ice
*s Call 2 Ice: Passed
** end
```

xStatus Call [n] PlacedOnHold

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

コールの保留中ステータスを表示します。コール ID を検索するためには、xStatus Call コマンドを実行できます。

返される結果の値スペース:

true/false (True/False)

例:

```
xStatus Call 27 PlacedOnHold
*s Call 27 PlacedOnHold: False
** end
```

xStatus Call [n] Protocol

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

着信または発信コールのコール プロトコルを示します。コール ID を検索するためには、xStatus Call コマンドを実行できます。

返される結果の値スペース:

H323/SIP/Spark/Unknown/WebRTC

例:

```
xStatus Call 27 Protocol
*s Call 27 Protocol: "SIP"
** end
```

xStatus Call [n] ReceiveCallRate

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

コールの受信帯域幅をキロビット/秒 (kbps) で示します。コール ID を検索するためには、xStatus Call コマンドを実行できます。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Call 27 ReceiveCallRate
*s Call 27 ReceiveCallRate: 4000
** end
```

xStatus Call [n] RemoteNumber

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

着信または発信コールのリモート (遠端) 番号または URI を示します。コール ID を検索するためには、xStatus Call コマンドを実行できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Call 27 RemoteNumber
*s Call 27 RemoteNumber: "5585232"
** end
```

xStatus Call [n] Status

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

コールのステータスを表示します。コール ID を検索するためには、xStatus Call コマンドを実行できます。

返される結果の値スペース:

Idle/Dialling/Ringing/Connecting/Connected/Disconnecting/OnHold/EarlyMedia/Preserved/RemotePreserved

例:

```
xStatus Call 27 Status
*s Call 27 Status: Connected
** end
```

xStatus Call [n] TransmitCallRate

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

コールの送信帯域幅をキロビット/秒 (kbps) で示します。コール ID を検索するためには、xStatus Call コマンドを実行できます。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Call 27 TransmitCallRate
*s Call 27 TransmitCallRate: 768
** end
```

Cameras ステータス

xStatus Cameras Background Image

適用先: [DeskPro](#) [DeskMini](#) [Desk](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, ROOMCONTROL, USER

プリインストールされている 3 つの画像のうち、どれが背景画像として選択されているかを示します。

返される結果の値スペース:

```
Image1/Image2/Image3/Image4/Image5/Image6/Image7/User1/User2/User3
```

Image1 ~ Image7: プリインストールされた画像のスロット。

User1 ~ User3: アップロードされた画像をインストールできるスロット。

例:

```
xStatus Cameras Background Image
*s Cameras Background Image: Image3
** end
```

xStatus Cameras Background Mode

適用先: [DeskPro](#) [DeskMini](#) [Desk](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, ROOMCONTROL, USER

カメラビューの背景をマスクするために任意の画像または効果が選択されているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

```
Disabled/Blur/BlurMonochrome/DepthOfField/Hdmi/Monochrome/Image/UsbC
```

Disabled: 表示される背景画像や効果はありません。

Blur: 背景をぼかします。

BlurMonochrome: ぼかしとモノクロの組み合わせ (色なしでぼかし)。

DepthOfField: ぼかしが少ないぼかしのバリエーション。

Hdmi: HDMI 入力はライブ背景を提供します。

Monochrome: 画像をグレースケールで表示します。

Image: 画像が背景を提供します。

UsbC: USB-C はライブ背景を提供します。

例:

```
xStatus Cameras Background Mode
*s Cameras Background Mode: Image
** end
```

xStatus Cameras Camera [n] Capabilities Options

適用対象: [すべての製品](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER, ROOMCONTROL

カメラ機能 (ptzf = パン、傾斜、ズーム、焦点) を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Cameras Camera 1 Capabilities Options
*s Camera 1 Capabilities Options: "ptzf"
** end
```

xStatus Cameras Camera [n] Connected

適用対象: [すべての製品](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, ROOMCONTROL, USER

カメラが接続されているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

true/false (True/False)

例:

```
xStatus Cameras Camera 1 Connected
*s Camera 1 Connected: True
** end
```

xStatus Cameras Camera [n] DetectedConnector

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [BoardPro](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, ROOMCONTROL, USER

カメラの接続が検出されたコネクタ番号を示します。接続が検出されない場合は 0 を示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Cameras Camera 1 DetectedConnector
*s Cameras Camera 1 DetectedConnector: 1
** end
```

xStatus Cameras Camera [n] Flip

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [BoardPro](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

画像が上下反転しているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

Off/On

例:

```
xStatus Cameras Camera 1 Flip
*s Camera 1 Flip: "Off"
** end
```

xStatus Cameras Camera [n] Framerate

適用先: [RoomKit](#) [RoomKitMini](#) [RoomBar](#) [Room55](#) [DeskPro](#) [DeskMini](#) [Desk](#) [BoardPro](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

カメラのフレームレートを表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

1 秒あたりのフレーム数。

例:

```
xStatus Cameras Camera Framerate
*s Cameras Camera 1 Framerate: 30
** end
```

xStatus Cameras Camera [n] HardwareID

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [BoardPro](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER、ROOMCONTROL

カメラのハードウェア ID を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Cameras Camera 1 HardwareID
*s Camera 1 HardwareID: "50000000"
** end
```

xStatus Cameras Camera [n] LightingConditions

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

カメラが部屋の明るさをどのように認識しているかを示します。

返される結果の値スペース:

Unknown/Good/Dark/Backlight

Unknown: カメラがオフになっているか、この機能をサポートしていません。

Good: 明るさは適切なレベルです。

Dark: 暗すぎます。

Backlight: 画像に高レベルの逆光があります。

例:

```
xStatus Cameras Camera 1 LightingConditions
*s Camera 1 LightingConditions: Good
** end
```

xStatus Cameras Camera [n] MacAddress

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [BoardPro](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER、ROOMCONTROL

カメラの MAC (メディア アクセス コントロール) アドレスを示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Cameras Camera 1 MacAddress
*s Camera 1 MacAddress: ""
** end
```

xStatus Cameras Camera [n] Manufacturer

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER、ROOMCONTROL

カメラの製造業者を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Cameras Camera 1 Manufacturer
*s Camera 1 Manufacturer: "Cisco"
** end
```

xStatus Cameras Camera [n] Model

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER、ROOMCONTROL

カメラのモデルを示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Cameras Camera 1 Model
*s Camera 1 Model: "Precision 40"
** end
```

xStatus Cameras Camera [n] Position Focus

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [BoardPro](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER、ROOMCONTROL

カメラの現在の焦点位置を示します。値の範囲は、カメラのタイプによって異なります。

返される結果の値スペース:

0 ~ 65535

例:

```
xStatus Cameras Camera 1 Position Focus
*s Camera 1 Position Focus: 4597
** end
```

xStatus Cameras Camera [n] Position Lens

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [BoardPro](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER、ROOMCONTROL

カメラの現在のレンズの位置を示します。

返される結果の値スペース:

Default/Wide/Center/Left/Right

例:

```
xStatus Cameras Camera 1 Position Lens
*s Cameras Camera 1 Position Lens: Center
** end
```

xStatus Cameras Camera [n] Position Pan

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER、ROOMCONTROL

カメラの現在のパン (左右移動) 位置を示します。値の範囲は、カメラのタイプによって異なります。

返される結果の値スペース:

-10000..10000

例:

```
xStatus Cameras Camera 1 Position Pan
*s Camera 1 Position Pan: 412
** end
```

xStatus Cameras Camera [n] Position Roll

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER、ROOMCONTROL

カメラビューの現在の回転 (ロール) を表示します。観測された画像は、値が正数の場合反時計回りに回転します。また、値が負数の場合は時計回りに回転します。単位は 1/100 度で、値 300 は 3 度に対応しています。

返される結果の値スペース:

-300..300

例:

```
xStatus Cameras Camera 1 Position Roll
*s Camera 1 Position Roll: 20
** end
```

xStatus Cameras Camera [n] Position Tilt

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER、ROOMCONTROL

カメラの現在のチルト (上下移動) 位置を示します。値の範囲は、カメラのタイプによって異なります。

返される結果の値スペース:

-2500..2500

例:

```
xStatus Cameras Camera 1 Position Tilt
*s Camera 1 Position Tilt: 106
** end
```

xStatus Cameras Camera [n] Position Zoom

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER、ROOMCONTROL

カメラの現在のズーム (拡大縮小) 位置を示します。値の範囲は、カメラのタイプによって異なります。

返される結果の値スペース:

0..11800

例:

```
xStatus Cameras Camera 1 Position Zoom
*s Camera 1 Position Zoom: 828
** end
```

xStatus Cameras Camera [n] SerialNumber

適用先: *CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER、ROOMCONTROL

カメラのシリアル番号を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Cameras Camera 1 SerialNumber
*s Camera 1 SerialNumber: "B1AB26B00010"
** end
```

xStatus Cameras Camera [n] SoftwareID

適用先: *CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama Board BoardPro*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER、ROOMCONTROL

カメラのソフトウェア ID を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Cameras Camera 1 SoftwareID
*s Camera 1 SoftwareID: "S01718-4.0FINAL [ID:40063] 2014-10-20"
** end
```

xStatus Cameras PresenterTrack Availability

適用先: *CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 BoardPro*

パーソナルモードデバイスの *Webex Devices Cloud* xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

プレゼンター トラッキングが使用可能かどうかを示します。

返される結果の値スペース:

Off/Unavailable/Available

Off: プレゼンター トラッキングは無効です。

Unavailable: 発言者追跡が正常に構成されていない、カメラが切断されているまたはマルチサイトまたはマルチストリーム会議が進行中です。

Available: プレゼンター トラッキングが利用可能です。

例:

```
xStatus Cameras PresenterTrack Availability
*s Cameras PresenterTrack Availability: Available
** end
```

xStatus Cameras PresenterTrack PresenterDetected

適用先: *CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 BoardPro*

パーソナルモードデバイスの *Webex Devices Cloud* xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

プレゼンター トラッキングが現在使用中かどうかを示します。

返される結果の値スペース:

False/True

例:

```
xStatus Cameras PresenterTrack PresenterDetected
*s Cameras PresenterTrack PresenterDetected: False
** end
```

xStatus Cameras PresenterTrack Status

適用先: [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [BoardPro](#)

パーソナルモードデバイスの *Webex Devices Cloud* xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

プレゼンター トラッキングの現在の状態を返します。

返される結果の値スペース:

Off/Follow/Diagnostic/Background/Setup/Persistent

Off: 実行されていません。

Follow: トラッキングが進行中で正常に動作しています。

Diagnostics: 診断モードです。このモードは、トラブルシューティングに使用されます。

Background: PresenterTrack カメラがメイン カメラとして選択されていないときに、アルゴリズムが実行されています。これはブリーフィング ルームの設定で、異なるカメラ間の自動切り替えを有効化するために使用されます。

Setup: SpeakerTrack カメラを設定する Web ウィザードがアクティブです。

Persistent: カメラはアクティブで、メイン カメラとして選択されています。

例:

```
xStatus Cameras PresenterTrack Status
*s Cameras PresenterTrack Status: Off
** end
```

xStatus Cameras SpeakerTrack ActiveConnector

適用対象: [すべての製品](#)

パーソナルモードデバイスの *Webex Devices Cloud* xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER、ROOMCONTROL

スピーカー トラッキングをサポートするカメラに接続されているコネクタの番号が表示されます。SpeakerTrack 60 カメラの場合、SpeakerTrack アルゴリズムが現在選択しているカメラのコネクタ番号になります。

このステータスは、Room Kit Mini、Desk Series デバイス、Board Pro、または Board には適用されません。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Cameras SpeakerTrack ActiveConnector
*s Cameras SpeakerTrack ActiveConnector: 1
** end
```

xStatus Cameras SpeakerTrack Availability

適用対象: [すべての製品](#)

パーソナルモードデバイスの *Webex Devices Cloud* xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER、ROOMCONTROL

この製品には、スピーカー トラッキング (ベスト オーバービューも含まれます) がサポートされているか、ベスト オーバービュー機能のみが含まれています。このステータスは、その機能が使用可能かどうかを表示します。

返される結果の値スペース:

Off/Unavailable/Available

Off: スピーカー トラッキングとベスト オーバービューは、コマンド `xConfiguration Cameras SpeakerTrack Mode`: Off でオフになっています。

Unavailable: スピーカー トラッキングとベスト オーバービューのためのハードウェアが見つかりません。

Available: スピーカー トラッキングとベスト オーバービューのハードウェアが検出され、ユーザ インターフェイスからこの機能を有効または無効にすることができます。

例:

```
xStatus Cameras SpeakerTrack Availability
*s Cameras SpeakerTrack Availability: Available
** end
```

xStatus Cameras SpeakerTrack BackgroundMode

適用対象: [すべての製品](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

発言者追跡/best overview アルゴリズムがバックグラウンドで現在実行されているかどうかを報告します。

返される結果の値スペース:

Active/Inactive

アクティブ: SpeakerTrack がバックグラウンドで実行されています。

非アクティブ: SpeakerTrack はバックグラウンドで実行されていません。

例:

```
xStatus Cameras SpeakerTrack BackgroundMode
*s Cameras SpeakerTrack BackgroundMode: Inactive
** end
```

xStatus Cameras SpeakerTrack Frames Availability

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

Frames camera framing Mode がデバイスで利用できるかどうかを報告します。

返される結果の値スペース:

Available/Off/Unavailable

Available: カメラはフレームをサポートしており、この機能は無効になっていません。

Unavailable: カメラはフレームをサポートしていません。

Off: カメラはフレームをサポートしていますが、この機能は無効になっています (Cameras SpeakerTrack Frames Mode が Off に設定されています)。

例:

```
xStatus Cameras SpeakerTrack Frames Availability
*s Cameras SpeakerTrack Frames Availability: Available
** end
```

xStatus Cameras SpeakerTrack Frames Status

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

現在選択されているカメラフレーミングモードがフレームかどうかを報告します。

返される結果の値スペース:

Active/Inactive

Active: フレームが使用中です。

Inactive: フレームは使用されていません。

例:

```
xStatus Cameras SpeakerTrack Frames Status
*s Cameras SpeakerTrack Frames Status: Inactive
** end
```

xStatus Cameras SpeakerTrack Status

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER、ROOMCONTROL

この製品には、スピーカー トラッキング (ベスト オーバービューも含まれます) がサポートされているか、ベスト オーバービュー機能のみが含まれています。このステータスは、その機能がアクティブかどうかを表示します。

返される結果の値スペース:

Active/Inactive

Active: スピーカー トラッキングとベスト オーバービューがアクティブです。

Inactive: スピーカー トラッキングとベスト オーバービューが非アクティブです。

例:

```
xStatus Cameras SpeakerTrack Status
*s Cameras SpeakerTrack Status: Active
** end
```

xStatus Cameras SpeakerTrack ViewLimits Pan

適用先: [RoomKit](#) [RoomKitMini](#) [RoomBar](#) [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room55](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [Board](#) [BoardPro](#)

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER、ROOMCONTROL

Cameras SpeakerTrack ViewLimits StorePosition コマンドが設定した制限付き最大カメラビューのパン値を返します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Cameras SpeakerTrack ViewLimits Pan
*s Cameras SpeakerTrack ViewLimits Pan: -88
** end
```

xStatus Cameras SpeakerTrack ViewLimits Status

適用先: [RoomKit](#) [RoomKitMini](#) [RoomBar](#) [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room55](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [Board](#) [BoardPro](#)

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER、ROOMCONTROL

発言者追跡に制限付き最大カメラビューを使用するかどうかを表示します (「Cameras SpeakerTrack ViewLimits StorePosition コマンド」を参照してください)。

返される結果の値スペース:

Active/Inactive

アクティブ: 制限された最大ビューが使用されています。

非アクティブ: 制限された最大ビューは使用されていないため、最大ビューは、完全にズームアウトされたカメラビューです。

例:

```
xStatus Cameras SpeakerTrack ViewLimits Status
*s Cameras SpeakerTrack ViewLimits Status: Active
** end
```

xStatus Cameras SpeakerTrack ViewLimits Tilt

適用先: [RoomKit](#) [RoomKitMini](#) [RoomBar](#) [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room55](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [Board](#) [BoardPro](#)

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER、ROOMCONTROL

Cameras SpeakerTrack ViewLimits StorePosition コマンドが設定した制限付き最大カメラビューのチルト値を返します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Cameras SpeakerTrack ViewLimits Tilt
*s Cameras SpeakerTrack ViewLimits Tilt: -425
** end
```

xStatus Cameras SpeakerTrack ViewLimits Zoom

適用先: [RoomKit](#) [RoomKitMini](#) [RoomBar](#) [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room55](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [Board](#) [BoardPro](#)

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER、ROOMCONTROL

Cameras SpeakerTrack ViewLimits StorePosition コマンドが設定した制限付き最大カメラビューのズーム値を返します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Cameras SpeakerTrack ViewLimits Zoom
*s Cameras SpeakerTrack ViewLimits Zoom: 5121
** end
```

Capabilities ステータス

xStatus Capabilities Conference MaxActiveCalls

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

同時アクティブ コールの最大数を示します。保留/転送に設定されたコールはアクティブとしてカウントされません。

返される結果の値スペース:

0 ~ 5

例:

```
xStatus Capabilities Conference MaxNumberOfActiveCalls
*s Capabilities Conference MaxNumberOfActiveCalls: 3
** end
```

xStatus Capabilities Conference MaxAudioCalls

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

サポートされる同時音声コールの最大数を示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Capabilities Conference MaxAudioCalls
*s Capabilities Conference MaxAudioCalls: 3
** end
```

xStatus Capabilities Conference MaxCalls

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

同時コールの最大数を示します。

返される結果の値スペース:

0 ~ 5

例:

```
xStatus Capabilities Conference MaxCalls
*s Capabilities Conference MaxCalls: 3
** end
```

xStatus Capabilities Conference MaxVideoCalls

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

サポートされる同時ビデオ コールの最大数を示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Capabilities Conference MaxVideoCalls
*s Capabilities Conference MaxVideoCalls: 3
** end
```

Conference ステータス

xStatus Conference ActiveSpeaker CallId

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

現在のアクティブなスピーカーの CallId を表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Conference ActiveSpeaker CallId
*s Conference ActiveSpeaker CallId: 3
** end
```

xStatus 会議コール [n] AuthenticationRequest

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

このステータスは、Webex に登録されているデバイスのみ関連します。このステータスに [なし (None)] 以外の別の値がある場合、デバイスはユーザーからの認証応答を待機します。Conference Call AuthenticationResponse コマンドを使用して応答します。

返される結果の値スペース:

AnyHostPinOrGuestPin/GuestPin/None/HostPinOrGuest/HostPinOrGuestPin/PanelistPin/
PanelistPinOrAttendeePin

AnyHostPinOrGuestPin: 参加者は、ホストかゲストかを聞かれることはありません。ロールは不要です。ホスト用個人識別番号またはゲスト用個人識別番号のどちらかを指定する必要があります。

GuestPin: 参加者はゲスト用個人識別番号を指定する必要があります。

None: デバイスは認証応答を待機していません (認証要求なし)。

HostPinOrGuest: 参加者は、ホストとして参加するかゲストとして参加するかを尋ねられます。対応するホスト用個人識別番号を指定するか個人用識別番号なしでゲストとして参加します。

HostPinOrGuestPin: 参加者は、ホストとして参加するかゲストとして参加するかを尋ねられます。対応するホスト用個人識別番号か個人用識別番号を指定する必要があります。

PanelistPin: 参加者は、Webex ウェビナーをパネリストとして参加するためのパネリスト用個人識別番号を指定する必要があります。このウェビナーでは、出席者としての参加はサポートされていません。

PanelistPinOrAttendeePin: 参加者は、パネリストまたは出席者として Webex ウェビナーに参加するかどうかを尋ねられます。対応するパネリスト用個人識別番号または出席者用個人識別番号を指定する必要があります。

例:

```
xStatus 会議コール 2 AuthenticationRequest
* s 電話会議 2 AuthenticationRequest: なし
** end
```

xStatus Conference Call [n] BookingId

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

会議の予約 ID を示します (割り当てられている場合)。予約 ID は、コールや会議を簡単に識別するために使用できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference Call 2 BookingId
*s Conference Call 2 BookingId: "MyConference"
** end
```

xStatus Conference Call [n] Capabilities Caption

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

このリリースでは適用外です。

返される結果の値スペース:

使用可能/使用不可

例:

```
xStatus Conference Call 1 Capabilities Caption
*s Conference Call 1 Capabilities Caption: Unavailable
** end
```

xStatus Conference Call [n] Capabilities EmergencyCallCapability

適用先: [RoomKit](#) [RoomKitMini](#) [RoomBar](#) [CodecEQ](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room55](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [DeskPro](#) [DeskMini](#) [Desk Board](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

EmergencyCallCapability が有効かどうかを示します。有効にすると、緊急通報中に、参加者を追加したり通話を終了したりするためのボタンが非表示になります。

返される結果の値スペース:

False/True

例:

```
xStatus Conference Call 1 Capabilities EmergencyCallCapability
*s Conference Call 1 Capabilities EmergencyCallCapability: False
** end
```

xStatus Conference Call [n] Capabilities FarendMessage Mode

適用対象: すべての製品

このリリースでは適用外です。

xStatus Conference Call [n] Capabilities FECC Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

遠端サイトの入力ソースを制御する権限があるかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

On/Off

On: 遠端入力ソースの制御は許可されています。

Off: 遠端入力ソースの制御は許可されていません。

例:

```
xStatus Conference Call 2 Capabilities FECC Mode
*s Conference Call 2 Capabilities FECC Mode: On
** end
```

xStatus Conference Call [n] Capabilities FECC NumberOfPresets

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

遠端サイトで入力ソースに使用可能なプリセットの数を示します。

返される結果の値スペース:

1 ~ 15

例:

```
xStatus Conference Call 2 Capabilities FECC NumberOfPresets
*s Conference Call 2 Capabilities FECC NumberOfPresets: 15
** end
```

xStatus Conference Call [n] Capabilities FECC NumberOfSources

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

遠端サイトに接続できる入力ソースの数を示します。

返される結果の値スペース:

1 ~ 5

例:

```
xStatus Conference Call 2 Capabilities FECC NumberOfSources
*s Conference Call 2 Capabilities FECC NumberOfSources: 5
** end
```

xStatus Conference Call [n] Capabilities FECC Source [n] Name

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

遠端サイトに接続できる入力ソースの名前を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference Call 2 Capabilities FECC Source 1 Name
*s Conference Call 2 Capabilities FECC Source 1 Name: "Main camera"
** end
```

xStatus Conference Call [n] Capabilities FECC Source [n] Options

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

遠端のサイトに接続できる入力ソースに使用可能なオプションを示します (カメラ用: p=pan、t=tilt、z=zoom、f=focus)。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference Call 2 Capabilities FECC Source 1 Options
*s Conference Call 2 Capabilities FECC Source 1 Options: "ptzf"
** end
```

xStatus Conference Call [n] Capabilities FECC Source [n] SourceId

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

遠端サイトに接続できる入力ソースの ID を示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Conference Call 2 Capabilities FECC Source 1 SourceId
*s Conference Call 2 Capabilities FECC Source 1 SourceId: 6
** end
```

xStatus Conference Call [n] Capabilities Hold

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

遠端サイトを保留にできるかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

true/false True/False

例:

```
xStatus Conference Call 2 Capabilities Hold
*s Conference Call 2 Capabilities Hold: True
** end
```

xStatus Conference Call [n] Capabilities IxChannel Status

適用対象: すべての製品

このリリースでは適用外です。

xStatus Conference Call [n] Capabilities MeetingAssistant Start

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

このバージョンでは適用されません。

返される結果の値スペース:

使用可能/使用不可

xStatus Conference Call [n] Capabilities MeetingAssistant Stop

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

このバージョンでは適用されません。

返される結果の値スペース:

使用可能/使用不可

xStatus Conference Call [n] Capabilities ParticipantDisconnect

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

通話の参加者を切断できるかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

使用可能/使用不可

例:

```
xStatus Conference Call 2 Capabilities ParticipantDisconnect
* s 会議コール2機能 ParticipantDisconnect: 使用可能
** end
```

xStatus Conference Call [n] Capabilities ParticipantList

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

この会議で参加者リストを表示できるかどうか、またはリストが同期中かどうかを示します。

返される結果の値スペース:

Available/Syncing/Unavailable

例:

```
xStatus Conference Call 2 Capabilities ParticipantList
*s Conference Call 2 Capabilities ParticipantList: Available
** end
```

xStatus Conference Call [n] Capabilities ParticipantMute

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

別のデバイス (会議参加者) のサーバーでミュート状態を変更できるか表示します。サーバー上でデバイスがミュートされると、デバイス自体が自動的にミュートされます。サーバー上でデバイスのミュートが解除されると、[オーディオのミュートを解除してください (You are requested to unmute your audio)] という通知が届きます。プライバシー上の理由から、ローカルでミュートが解除されるまで、デバイスは常にミュートされたままになります。

返される結果の値スペース:

使用可能/使用不可

利用可能: サーバー上の別のデバイスのミュート状態を変更できます。
利用不可: サーバー上で別のデバイスのミュート状態を変更できません。

例:

```
xStatus Conference Call 2 Capabilities ParticipantMute
*s Conference Call 2 Capabilities ParticipantMute: Available
** end
```

xStatus Conference Call [n] Capabilities Presentation

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

会議の他の参加者のプレゼンテーション機能をリストします。

返される結果の値スペース:

true/false (True/False)

例:

```
xStatus Conference Call 2 Capabilities Presentation
*s Conference Call 2 Capabilities Presentation: True
** end
```

xStatus Conference Call [n] Capabilities Recording Start

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

この会議で録音を開始できるかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

使用可能/使用不可

例:

```
xStatus Conference Call 2 Capabilities Recording Start
*s Conference Call 2 Capabilities Recording Start: Unavailable
** end
```

xStatus Conference Call [n] Capabilities SelfMute

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

サーバー上で自分のミュート状態を変更できるかどうかを示します。このステータスは、CMS がホストする会議にのみ関連します。

返される結果の値スペース:

使用可能/使用不可

利用可能: サーバー上でミュート状態を変更できます。
利用不可: サーバーでミュート状態を変更できません。

例:

```
xStatus Conference Call 2 Capabilities SelfMute
*s Conference Call 2 Capabilities SelfMute: Unavailable
** end
```

xStatus 会議コール [n] EventCenter モード

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

このコールは、[練習セッション (Practice Session)] モードが現在使用中であるかどうかを示します。このステータスは、クラウドに登録されているデバイスのみ使用できます。

返される結果の値スペース:

通常/PracticeSession

例:

```
xStatus 会議コール 2 EventCenter モード
* s 会議コール 2 EventCenter モード: Normal
** end
```

xStatus Conference Call [n] Manufacturer

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

遠端サイトのデバイスの製造業者を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference Call 2 Manufacturer
*s Conference Call 2 Manufacturer: "Cisco"
** end
```

xStatus Conference Call [n] MeetingAssistantEnabled

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

このバージョンでは適用されません。

返される結果の値スペース:

False/True

xStatus Conference Call [n] Meeting

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

デバイスが Webex 会議中かどうかを表示します。

返される結果の値スペース:

False/True

False: デバイスは Webex 会議中ではありません。

True: デバイスは Webex 会議中です。

例:

```
xStatus Conference Call Meeting
*s Conference Call 8 Meeting: True
** end
```

xStatus Conference Call [n] MicrophonesMuted

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

会議の他の参加者の音声ミュート ステータスが表示されます。

返される結果の値スペース:

true/false (True/False)

例:

```
xStatus Conference Call 2 MicrophonesMuted
*s Conference Call 2 MicrophonesMuted: True
** end
```

xStatus Conference Call [n] Recording

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

会議が録音されているかどうかを表示します。

返される結果の値スペース:

なし/記録中/一時停止

なし: 録音できません。

記録中: 録音中です。

一時停止: 録音が一時停止中です。

例:

```
xStatus Conference Call 2 Recording
*s Conference Call 2 Recording: None
** end
```

xStatus Conference Call [n] SimultaneousInterpretation MixerLevel

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

ホストが Webex Meetings の同時通訳を有効にしている場合、通訳者からの音声は、元のプレゼンタからの音声と混合されます。ユーザーは、必要に応じて 2 つのオーディオフィード間のバランスを調整できます。

このステータスは、0 ~ 100 までの数値を返します。例の一部: 100 は、通訳者の音声だけが聞こえる状態で、0 は、元のプレゼンターの音声だけが聞こえる状態です。80 は、通訳者の音声は 80%、元のプレゼンターの音声は 20% の割合で、バックグラウンドで元のプレゼンターの音声を聞くことができます。

Webex Edge for Devices にリンクされていないオンプレミス サービスに登録されているデバイスでは、同時通訳はサポートされていません。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Conference Call 8 SimultaneousInterpretation MixerLevel
*s Cameras Call 8 SimultaneousInterpretation MixerLevel: 80
** end
```

xStatus Conference Call [n] SimultaneousInterpretation SelectedLanguage

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

ホストが Webex 会議に対して同時通訳を有効にした場合、ユーザーは、デバイスのユーザーインターフェイスで希望言語を選択できます。このステータスは、固有の言語 ID で識別される選択した言語を返します。

Webex Edge for Devices にリンクされていないオンプレミスサービスに登録されているデバイスでは、同時通訳はサポートされていません。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Conference Call 8 SimultaneousInterpretation SelectedLanguage
*s Cameras Call 8 SimultaneousInterpretation SelectedLanguage: 24
** end
```

xStatus Conference Call [n] Sip SessionId

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

SIP セッション識別子を表示します。これは、会議で特定の会議レックを識別するために使用される Cisco Unified Communications Manager 識別子です。

返される結果の値スペース:

文字列

SIP セッション識別子。

例:

```
xStatus Conference Call 2 Sip SessionId
*s Conference Call 2 Sip SessionId: "8833d0863ac15b0083ce5aa417eb6609;remote=b3a9603e7aef6f2e6a818c815307c4f1"
** end
```

xStatus Conference Call [n] SoftwareID

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

遠端サイトのデバイスで実行中のソフトウェアの ID を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference Call 2 SoftwareID
*s Conference Call 2 SoftwareID: "CE8"
** end
```

xStatus Conference Call [n] Streamed

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

会議がライブストリームされているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

False/True

例:

```
xStatus Conference Call 2 Streamed
* 会議コール2のストリーミング: False
** end
```

xStatus Conference Call [n] Transcoded

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

会議がトランスコードされているかどうかを示します。会議がトランスコードされている場合は、True が報告されます。

返される結果の値スペース:

False/True

例:

```
xStatus Conference Call 2 Transcoded
*s Conference Call 2 Transcoded: False
** end
```

xStatus Conference DoNotDisturb

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

DoNotDisturb モードがオンにされているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

Active/Inactive

例:

```
xStatus Conference DoNotDisturb
*s Conference DoNotDisturb: Inactive
** end
```

xStatus Conference EndToEndEncryption Availability

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

デバイスがエンドツーエンド暗号化 (E2EE) 会議に参加できるかどうかを示します。

クラウド API はそれを呼び出し、ペアリングされたアプリがデバイスを使用して参加できるかどうかを認識できるようにします。

デバイスが Webex クラウドサービスに登録されているか、または Webex Edge for Devices にリンクされている場合にのみ使用できます。

返される結果の値スペース:

使用可能/使用不可

利用可能: デバイスは E2EE 会議で使用できます。

利用不可: デバイスは E2EE 会議で使用できません。

例:

```
xStatus Conference EndToEndEncryption Availability
*s Conference EndToEndEncryption Availability: Available
** end
```

xStatus Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain Certificate [n] Fingerprint

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

証明書のフィンガープリントを表示します。デバイスが Webex クラウドサービスに登録されているか、または Webex Edge for Devices にリンクされている場合にのみ使用できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 Fingerprint
*s Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 Fingerprint: "562c3c33d96eafd8ab2d08d278ad45783e3234ea"
** end
```

xStatus Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain Certificate [n] NotAfter

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

証明書が無効になる日付を示します。

デバイスが Webex クラウドサービスに登録されているか、または Webex Edge for Devices にリンクされている場合にのみ使用できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 NotAfter
*s Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 NotAfter: "2021-06-13T05:53:08.000000000+0000"
** end
```

xStatus Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain Certificate [n] NotBefore

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

証明書が有効になる日付を表示します。

デバイスが Webex クラウドサービスに登録されているか、または Webex Edge for Devices にリンクされている場合にのみ使用できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 NotBefore
*s Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 NotBefore: "2021-03-15T05:53:08.000000000+0000"
** end
```

xStatus Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain Certificate [n] PrimaryName

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

証明書の表示と識別に使用される名前を示します。これは、証明書の種類に応じて、さまざまな場所から取得される場合があります。

デバイスが Webex クラウドサービスに登録されているか、または Webex Edge for Devices にリンクされている場合にのみ使用できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 PrimaryName
*s Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 PrimaryName: "example.com"
** end
```

xStatus Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain Certificate [n] PublicKeyAlgorithm

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

証明書の公開キーアルゴリズムを表示します。

デバイスが Webex クラウドサービスに登録されているか、または Webex Edge for Devices にリンクされている場合にのみ使用できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 PublicKeyAlgorithm
*s Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 PublicKeyAlgorithm: "ECDSA P256 SHA-256"
** end
```

xStatus Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain Certificate [n] SerialNumber

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

証明書のシリアル番号を表示します。

デバイスが Webex クラウドサービスに登録されているか、または Webex Edge for Devices にリンクされている場合にのみ使用できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 SerialNumber
*s Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 SerialNumber: "033CAF1B5B63CE4A72DD653949CF089FF589"
** end
```

xStatus Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain Certificate [n] SignatureAlgorithm

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

証明書の署名アルゴリズムを表示します。

デバイスが Webex クラウドサービスに登録されているか、または Webex Edge for Devices にリンクされている場合にのみ使用できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 SignatureAlgorithm
*s Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 SignatureAlgorithm: "RSA SHA-256"
** end
```

xStatus Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain Certificate [n] Subject [n] Name

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

証明書のサブジェクトのリストを表示します (例: E メールアドレスやドメイン名)。

デバイスが Webex クラウドサービスに登録されているか、または Webex Edge for Devices にリンクされている場合にのみ使用できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 Subject 1 Name
*s Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 Subject 1 Name: "example.com"
** end
```

xStatus Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain Certificate [n] Validity

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

証明書の有効性ステータス (有効、解析エラー、不明な発行者、無効な署名、期限切れ、不明なエラーなど) を示します。

デバイスが Webex クラウドサービスに登録されているか、または Webex Edge for Devices にリンクされている場合にのみ使用できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 Validity
*s Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 Validity: "Valid"
** end
```

xStatus Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity Identity

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

外部で発行された証明書の Common Name から読み取られたデバイスの ID を示します。
デバイスが Webex クラウドサービスに登録されているか、または Webex Edge for Devices にリンクされている場合にのみ使用できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity Identity
*s Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity Identity: "example.com"
** end
```

xStatus Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity Status

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

デバイスの ID のステータス (有効、エラー、不明なエラーなど) を示します。
デバイスが Webex クラウドサービスに登録されているか、または Webex Edge for Devices にリンクされている場合にのみ使用できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity Status
*s Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity Status: "Valid"
** end
```

xStatus Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity Verification

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

デバイスに外部で発行された有効な証明書 (例: 外部またはなし) があるかどうかを示します。
デバイスが Webex クラウドサービスに登録されているか、または Webex Edge for Devices にリンクされている場合にのみ使用できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity Verification
*s Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity Verification: "External"
** end
```

xStatus Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain Certificate [n] Fingerprint

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

証明書のフィンガープリントを表示します。
デバイスが Webex クラウドサービスに登録されているか、または Webex Edge for Devices にリンクされている場合にのみ使用できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 Fingerprint
*s Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 Fingerprint: "cdc421244e596a929812db6ddab3a139eb148ac7"
** end
```

xStatus Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain Certificate [n] NotAfter

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

証明書が無効になる日付を示します。

デバイスが Webex クラウドサービスに登録されているか、または Webex Edge for Devices にリンクされている場合にのみ使用できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 NotAfter
*s Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 NotAfter: "2021-10-21T06:24:17.000000000+0000"
** end
```

xStatus Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain Certificate [n] NotBefore

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

証明書が有効になる日付を表示します。

デバイスが Webex クラウドサービスに登録されているか、または Webex Edge for Devices にリンクされている場合にのみ使用できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 NotBefore
*s Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 NotBefore: "2021-10-14T06:23:17.000000000+0000"
** end
```

xStatus Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain Certificate [n] PrimaryName

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

証明書の表示と識別に使用される名前を示します。これは、証明書の種類に応じて、さまざまな場所から取得される場合があります。

デバイスが Webex クラウドサービスに登録されているか、または Webex Edge for Devices にリンクされている場合にのみ使用できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 PrimaryName
*s Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 PrimaryName: "cisco.com"
** end
```

xStatus Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain Certificate [n] PublicKeyAlgorithm

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

証明書の公開キーアルゴリズムを表示します。

デバイスが Webex クラウドサービスに登録されているか、または Webex Edge for Devices にリンクされている場合にのみ使用できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 PublicKeyAlgorithm
*s Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 PublicKeyAlgorithm: "ECDSA P256 SHA-256"
** end
```

xStatus Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain Certificate [n] SerialNumber

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

証明書のシリアル番号を表示します。

デバイスが Webex クラウドサービスに登録されているか、または Webex Edge for Devices にリンクされている場合にのみ使用できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 SerialNumber
*s Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 SerialNumber: "018EC98BFBD03162E3"
** end
```

xStatus Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain Certificate [n] SignatureAlgorithm

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

証明書の公開キーアルゴリズムを表示します。

デバイスが Webex クラウドサービスに登録されているか、または Webex Edge for Devices にリンクされている場合にのみ使用できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 SignatureAlgorithm
*s Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 SignatureAlgorithm: "ECDSA P256 SHA-256"
** end
```

xStatus Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain Certificate [n] Subject [n] Name

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

証明書のサブジェクトのリストを表示します (例: E メールアドレスやドメイン名)。

デバイスが Webex クラウドサービスに登録されているか、または Webex Edge for Devices にリンクされている場合にのみ使用できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 Subject 1 Name
*s Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 Subject 1 Name: "machine: 3a616c16-bb51-4b25-9113-c521b821d566"
** end
```

xStatus Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain Certificate [n] Validity

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

証明書の有効性ステータス (有効、解析エラー、不明な発行者、無効な署名、期限切れ、不明なエラーなど) を示します。

デバイスが Webex クラウドサービスに登録されているか、または Webex Edge for Devices にリンクされている場合にのみ使用できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 Validity
*s Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 Validity: "Valid"
** end
```

xStatus Conference EndToEndEncryption InternalIdentity Identity

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

Webex で発行された証明書の Common Name から読み取られたデバイスの ID を示します。組織にドメインがある場合は、ドメイン名が含まれます。ない場合は空値です。

デバイスが複数のドメインを持つ組織にある場合、この値は PreferredDomain からの値です。

デバイスが Webex クラウドサービスに登録されているか、または Webex Edge for Devices にリンクされている場合のみ使用できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference EndToEndEncryption InternalIdentity Identity
*s Conference EndToEndEncryption InternalIdentity Identity: "cisco.com"
** end
```

xStatus Conference EndToEndEncryption InternalIdentity Status

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

デバイスの ID のステータス (有効、エラー、不明なエラーなど) を示します。

デバイスが Webex クラウドサービスに登録されているか、または Webex Edge for Devices にリンクされている場合のみ使用できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference EndToEndEncryption InternalIdentity Status
*s Conference EndToEndEncryption InternalIdentity Status: "Valid"
** end
```

xStatus Conference EndToEndEncryption InternalIdentity Verification

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

デバイスに Webex CA によって発行された有効な証明書があるかどうかを示します (例: Webex 検証済みまたは Webex 未検証)。

デバイスが Webex クラウドサービスに登録されているか、または Webex Edge for Devices にリンクされている場合のみ使用できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference EndToEndEncryption InternalIdentity Verification
*s Conference EndToEndEncryption InternalIdentity Verification:
"WebexVerified"
** end
```

xStatus Conference Line [n] Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

デバイスが CUCM 上でプライベート回線として設定されているのか、共有電話として設定されているかを示します。

返される結果の値スペース:

Shared/Private

例:

```
xStatus Conference Line Mode
*s Conference Line 1 Mode: Private
** end
```

xStatus Conference Multipoint Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

マルチ ポイント ステータスは、Conference Multipoint Mode の設定と MultiSite オプション キーに依存します。MultiSite オプション キーがないデバイスは、Conference Multipoint Mode の設定に関係なく、マルチ サイト会議をホストすることはできません。

返される結果の値スペース:

CUCMMediaResourceGroupList/MultiSite/Off/Spark

Off: デバイスによる会議への参加者の追加 (直接リモート追加) を許可している MCU をコールする場合、MCU を介してマルチ パーティ会議がセットアップされます。すべての製品は、音声のみの追加デバイスを 1 つのみ呼び出せます。また、MultiSite オプション キーがないデバイスで、Conference Multipoint Mode が MultiSite に設定されている場合は、音声のみの動作に対して「デバイスを 1 つ追加」が適用されます。

MultiSite: Conference Multipoint Mode が MultiSite に設定されている場合は、組み込み MultiSite 機能を使用して、マルチ パーティ会議が設定されます。Conference Multipoint Mode が Auto に設定されている場合、組み込み MultiSite 機能は、他のビデオデバイスを呼び出す場合のみマルチ パーティ会議に使用されます。デバイスによる会議への参加者の追加 (直接リモート追加) を許可している MCU をコールする場合、MCU を介してマルチ パーティ会議がセットアップされます。

CUCMMediaResourceGroupList: マルチ パーティ会議は、CUCM で設定された会議ブリッジ (アドホック会議) によってホストされます。

Spark: 多人数会議は、Webex クラウドサービスを介して設定されます。

例:

```
xStatus Conference Multipoint Mode
* s 会議マルチポイントモード: 「CUCMMediaResourceGroupList」
** end
```

xStatus Conference Presentation CallId

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER, ROOMCONTROL

プレゼンテーションを送信するデバイスの識別子を示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Conference Presentation CallId
*s Conference Presentation CallId: 0
** end
```

xStatus Conference Presentation LocalInstance [n] DirectShare

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN, INTEGRATOR, ROOMCONTROL, USER

DirectShare は、ソフトウェアクライアントがローカル Wi-Fi 経由でビデオデバイスにプレゼンテーションを送信する場合です。

このステータスは、直接共有の識別子である directshareid を示します。アクティブな直接共有の数は現在 1 に制限されているため、進行中の直接共有がある場合は常に 1 が返されます。

LocalInstance Directshare が設定されている場合は、xStatus Video Input DirectShare [directshareid] で詳細情報 (Peer Address、Peer PeripheralID、Type など) を検索できます。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Conference Presentation LocalInstance 1 DirectShare
*s Conference Presentation LocalInstance 1 DirectShare: 1
** end
```

xStatus Conference Presentation LocalInstance [n] SendingMode

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN, INTEGRATOR, ROOMCONTROL, USER

プレゼンテーション ソースがローカルで共有されているか、リモート参加者と共有されているかを示します。それぞれが独自のインスタンスを持つ複数のローカル プレゼンテーションを存在させることができます。

返される結果の値スペース:

LocalOnly/LocalRemote/Off

例:

```
xStatus Conference Presentation LocalInstance 1 SendingMode
*s Conference Presentation LocalInstance 1 SendingMode: LocalOnly
** end
```

xStatus Conference Presentation LocalInstance [n] Source

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

現在のプレゼンテーションのソース識別子である SourceId を示します。それぞれが独自のインスタンスを持つ複数のローカル プレゼンテーションを存在させることができます。

sourceid を使用すると、xStatus Video Input Source [sourceid] で詳細情報 (ConnectorId、FormatType など) を探すことができます。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Conference Presentation LocalInstance 1 Source
*s Conference Presentation LocalInstance 1 Source: 1
** end
```

xStatus Conference Presentation Mode

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

セカンダリ ビデオ ストリームのステータスを表示します。

返される結果の値スペース:

Off/Sending/Receiving

例:

```
xStatus Conference Presentation Mode
*s Conference Presentation Mode: Off
** end
```

xStatus Conference SelectedCallProtocol

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

デフォルトとして使用されるコール プロトコルを示します。

返される結果の値スペース:

H323/SIP/Spark

例:

```
xStatus Conference SelectedCallProtocol
*s Conference SelectedCallProtocol: SIP
** end
```

xStatus Conference SpeakerLock CallId

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

会議でプロミネント スピーカーとしてロックされた参加者の CallId を表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Conference SpeakerLock CallId
*s Conference SpeakerLock CallId: 0
** end
```

xStatus Conference SpeakerLock Mode

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

スピーカー ロックが有効かどうかを表示します。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus Conference SpeakerLock Mode
*s Conference SpeakerLock Mode: Off
** end
```

Diagnostics ステータス

xStatus Diagnostics Message [n] Description

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

現在の診断アラートに関する説明を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Diagnostics Message Description
*s DiagnosticsResult Message 1 Description: "IP configuration incomplete"
** end
```

xStatus Diagnostics Message [n] Level

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

診断メッセージの重要性レベルを表示します。

返される結果の値スペース:

Error/Warning/Critical

Error: デバイスにエラーがあります。デバイスは引き続き使用できますが、一部制限される可能性があります。

Warning: 問題が検出され、より具体的なレポートに問題の詳細が示されます。

Critical: 重大な警告レベルです。デバイスは使用できません。

例:

```
xStatus Diagnostics Message 4 Level
*s Diagnostics Message 4 Level: Warning
** end
```

xStatus Diagnostics Message [n] References

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

診断アラートに関する追加情報 (使用可能な場合)。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Diagnostics Message 10 References
*s Diagnostics Message 10 References: "delay=190"
** end
```

xStatus Diagnostics Message [n] Type

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

デバイスでの最新の診断結果に関する情報を表示します。

返される結果の値スペース:

*ANATOnVCS/AbnormalCallTermination/AirPlayBeacon/AirPlayConfiguration/
 AirPlayProvisioning/AirPlayProvisioningCertificates/AmplifierDetection/
 AmplifierFanStatus/AudioInternalSpeakerDisabled/AudioPairingInterference/
 AudioPairingNoise/AudioPairingRate/AudioPairingSNR/AudioPairingTokenDecode/
 BluetoothAudioInterference/BluetoothHardware/CAPFOperationState/CTLInstallation/
 CUCMAndCloudConfigurability/CUCMVendorConfigurationFile/CallHistoryConfiguration/
 CallProtocolDualStackConfig/CallProtocolIPStackPlatformCompatibility/
 CallProtocolInvalidCloudProv/CallProtocolVcsProvisioningCompatibility/
 CameraDetected/CameraId/CameraPairing/CameraSerial/CameraSoftwareVersion/
 CameraStatus/CamerasDetected/CapsetFilterConfiguration/CaptivePortalDetected/
 CertificateExpiry/CloudAwareConfigInvalid/CloudConfigurationWriteback/
 CompanionModelIncompatibilityLocal/CompanionModelIncompatibilityRemote/
 ConceptCompositor/ConfigurationFile/ContactInfoMismatch/ControlSystemConnection/
 CurrentNetworkQuality/DefaultCallProtocolRegistered/DeveloperPreview/
 DigitalMicrophoneStatus/ECReferenceDelay/EmbeddedWebViewFailedToLoad/
 EmbeddedWebViewTerminatedUnexpectedly/EthernetDuplexMatches/FanStatus/
 FirstTimeWizardNotCompleted/H323EncrAes256AndDHSize/H323GatekeeperStatus/
 HTTPFeedbackFailed/HTTPSMODESecurity/HasActiveCallProtocol/HasValidReleaseKey/
 HdmiCecModeNoSound/HologramCameras/HotdeskConfiguration/
 HotdeskKioskExclusivity/HttpProxyStatus/IPv4Assignment/IPv6Assignment/IPv6Mtu/
 ITLInstallation/InternalXapiAccessDenied/InternalXapiUsage/InvalidSIPTransportConfig/
 IpCameraStatus/KioskSettingsMenuLockConfiguration/KioskURLConfiguration/
 KioskWebEngineModeConfiguration/KioskWebViewPageLoadStatus/
 KioskWebViewStatus/LockDown/LowBattery/MacrosErrorLogged/
 MacrosProvisioningStatus/MacrosRuntimeActive/MacrosRuntimeHasHadCrash/
 MacrosRuntimeResponsiveness/MacrosRuntimeStopped/MediaBlockingDetected/
 MediaPortRangeNegative/MediaPortRangeOdd/MediaPortRangeOverlap/
 MediaPortRangeTooSmall/MediaPortRangeValueSpace/MicrophoneMuteOverride/
 MicrophoneOverloaded/MicrophonePower/MicrophonesConnected/
 MiracastConfiguration/MiracastWiredOnlyStatus/MiracastWpsPinLocked/MissingDisplay/
 MissingThirdDisplay/MonitorDelay/MonitorFirmwareVersion/NTPStatus/NetLinkStatus/
 NetSpeedAutoNegotiated/NetworkConnectivity/NetworkQuality/NetworkSwitch/
 OSDVideoOutput/OutputConnectorLocations/PIILoggingMode/PanoramaCameraHdmi/
 PanoramaView/PeripheralSoftwareUpgrade/PeripheralSoftwareVersion/
 PersistentWebAppFailedToLoad/PersistentWebAppTerminatedUnexpectedly/
 PersistentWebAppURLConfiguration/PlatformSanity/PoEStatus/
 PresentationSourceSelection/PresenterTrack/ProvModeWebexAndWebexEdgeEnabled/
 ProvisioningDeveloperOptions/ProvisioningModeAndStatus/ProvisioningStatus/
 RoomControl/RoomSchedulingConfiguration/SIPEncryption/SIPListenPortAndRegistration/
 SIPProfileRegistration/SIPProfileType/SelectedVideoInputSourceConnected/
 SignageFailedToLoad/SignageTerminatedUnexpectedly/SipLceAndAnatConflict/
 SipOrH323ButNotBothEnabled/SoftwareUpgrade/SoftwareUpgradeAvailability/*

*SoftwareUpgradeKeepsFailing/SpeakerTrackEthernetConnection/
 SpeakerTrackFrontPanelMountedCorrectly/SpeakerTrackMicrophoneConnection/
 SpeakerTrackVideoInputs/StandbyCtrlOfficeHoursConfiguration/StylusBattery/
 TCPMediaFallback/TLSVerifyRequiredCerts/TemperatureCheck/TouchPanelConnection/
 USBAudioSeparation/USBCameraMode/USBInterfaceType/USBMicType/
 UltrasoundConfigSettings/UltrasoundSpeakerAvailability/ValidPasswords/
 VideoFromInternalCamera/VideoInputSignalQuality/VideoInputStability/
 VideoPortRangeNegative/VideoPortRangeOdd/VideoPortRangeTooSmall/
 VideoPortRangeValueSpace/WebRTCCalling/WebexAccountPlusWebexEdgeEnabled/
 WebexActivationRequired/WebexAudioProximityConnectivity/WebexConnectivity/
 WebexEdgeAccountPendingCloudRegistration/WebexEdgeAccountPlusProvModeWebex/
 WebexLyraConnectivity/WebexMustUpgradeCeSoftware/WebexNfcProximityConnectivity/
 WebexNotificationConnectivity/WebexOffline/WebexQRCodeProximityConnectivity/
 WebexShouldUpgradeCeSoftware/WebexUsbcProximityConnectivity/WifiCARequired/
 WirelessCharging/WirelessConnectionStatus/XapiApiKeyWebsocketHttpsDisabled*

例:

```

xStatus Diagnostics Message Type
*s Diagnostics Message 1 Type: CamerasDetected
** end

```

GPIO ステータス

xStatus GPIO Pin [n] State

適用対象: CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

4 つの GPIO ピンのそれぞれの現在の状態を示します。

返される結果の値スペース:

High/Low

High: +12V、デフォルト状態。

Low: 0V、有効化時。

例:

```
xStatus GPIO Pin 1 State
*s GPIO Pin 1 State: High
** end
```

H323 ステータス

xStatus H323 Gatekeeper Address

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

デバイスが登録されているゲートキーパーの IP アドレスが表示されます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus H323 Gatekeeper Address
*s H323 Gatekeeper Address: "192.0.1.20"
** end
```

xStatus H323 Gatekeeper Port

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

ゲートキーパーに接続するときに使用されるポートを示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus H323 Gatekeeper Port
*s H323 Gatekeeper Port: 1719
** end
```

xStatus H323 Gatekeeper Reason

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

登録が拒否された理由を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus H323 Gatekeeper Reason
*s H323 Gatekeeper Reason: ""
** end
```

xStatus H323 Gatekeeper Status

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

ゲートキーパー登録ステータスが表示されます。

返される結果の値スペース:

*Required/Discovering/Discovered/Authenticated/Authenticated/Registering/Registered/
Inactive/Rejected*

例:

```
xStatus H323 Gatekeeper Status
*s H323 Gatekeeper Status: Registered
** end
```

xStatus H323 Mode Reason

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

H.323 の設定と xStatus H323 Mode Status との間に競合があるかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

文字列

"" : H.323 がオンに設定されており、H.323 モード設定と他のデバイス設定の間に競合は発生していません。

"SIP is enabled" : 2 つを同時にサポートしないデバイスで H.323 モードが On に設定され、SIP が有効になっている場合。

"Not available" : デバイスは H.323 をサポートしていません。

例:

```
xStatus H323 Mode Reason
*s H323 Mode Reason: ""
** end
```

xStatus H323 Mode Status

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

H.323 登録のステータスを示します。

返される結果の値スペース:

Enabled/Disabled

Enabled : 登録はイネーブルです。

Disabled : SIP が有効になっているため、登録は無効です。

例:

```
xStatus H323 Mode Status
*s H323 Mode Status: "Disabled"
** end
```

HttpFeedback ステータス

xStatus HttpFeedback [n] Expression [n]

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

HTTP サーバからのフィードバックを示します。HTTP フィードバックを要求するサーバのためのスロットは最大 4 個、各 URL の表現式は最大 15 個まで使用できます。詳細については、xCommand HttpFeedback コマンドを参照してください。

返される結果の値スペース:

文字列

xStatus HttpFeedback [n] Format

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

HTTP サーバからの HTTP Feedback フィードバックのフォーマットを表示します。

返される結果の値スペース:

XML/JSON

例:

```
xStatus HttpFeedback 1 Format
*s HttpFeedback 1 Format: XML
** end
```

xStatus HttpFeedback [n] Status

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

HTTP サーバに送信されたフィードバックの状態を示します。

返される結果の値スペース:

OK/Failed

OK: フィードバックが正常に送信されたことを示します。

Failed: フィードバックが正常に送信されていないことを示します。

例:

```
xStatus HttpFeedback 1 Status
*s HttpFeedback 1 Status: OK
** end
```

xStatus HttpFeedback [n] URL

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

HTTP サーバの URL (ユニフォーム リソース ロケータ) を示します。URL で指定される、最大 3 台の HTTP サーバが存在する場合があります。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus HttpFeedback 1 URL
*s HttpFeedback 1 URL: "http://tms.company.com/tms/public/feedback/code.aspx"
** end
```

MediaChannels ステータス

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Audio ChannelRole

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

着信または発信音声チャンネルのロールを表示します。

返される結果の値スペース:

Main/Presentation

Main: メイン ビデオからの音声に着信または発信する音声チャンネルに存在します。

Presentation: プレゼンテーションからの音声に着信または発信する音声チャンネルに存在します。

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 Audio ChannelRole
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 Audio ChannelRole: Main
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Audio Channels

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

着信または発信オーディオ チャンネルの数を表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 Audio Channels
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 Audio Channels: 1
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Audio Mute

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

着信オーディオの音声ミュートの状態。

返される結果の値スペース:

true/false (True/False)

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 Audio Mute
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 Audio Mute: False
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Audio Protocol

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

着信または発信オーディオのオーディオ アルゴリズムを表示します。

返される結果の値スペース:

AACLD/G711A/G711Mu/G722/G7221/G7221C/G723_1/G728/G729/G729A/G729AB/Off/Opus

AACLD: AAC-LD は MPEG-4 低遅延オーディオコーデック音声圧縮形式です。

G711A: G.711 A-law アルゴリズムはオーディオ圧縮に関する ITU-T 標準規格です。

G711Mu: G.711 μ -law アルゴリズムはオーディオ圧縮に関する ITU-T 標準規格です。

G722: G.722 アルゴリズムはオーディオ圧縮に関する ITU-T 標準規格です。

G7221: G.722.1 アルゴリズムはオーディオ圧縮に関する ITU-T 標準規格です。

G7221C: G.722.1 Annex C アルゴリズムはオーディオ圧縮に関する ITU-T 標準規格です。

G723_1: G.723.1 アルゴリズムはオーディオ圧縮に関する ITU-T 標準規格です。

G728: G.728 アルゴリズムはオーディオ圧縮に関する ITU-T 標準規格です。

G729: G.729 アルゴリズムはオーディオ圧縮に関する ITU-T 標準規格です。

G729A: G.729 Annex A アルゴリズムはオーディオ圧縮に関する ITU-T 標準規格です。

G729AB: G.729 Annex A および B アルゴリズムはオーディオ圧縮に関する ITU-T 標準規格です。

Off: オーディオなし。

Opus: Opus は著作権使用料無料のオーディオ圧縮用 IETF 標準規格です。

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 Audio Protocol
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 Audio Protocol: AACLD
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Direction

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

通話の方向を表示します。

返される結果の値スペース:

Incoming/Outgoing

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 Direction
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 Direction: Incoming
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Encryption

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

着信コールまたは発信コールのオーディオまたはビデオの暗号化の状態を表示します。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 Encryption
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 Encryption: On
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat Bytes

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

着信チャンネルまたは発信チャンネルのオーディオ、ビデオ、データのバイト数を表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 NetStat Bytes
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 NetStat Bytes: 496640
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat ChannelRate

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

着信チャンネルまたは発信チャンネルのオーディオ、ビデオ、データの帯域幅を表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 NetStat ChannelRate
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 NetStat ChannelRate: 128000
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Netstat EndToEndDelay

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

着信チャンネルの最後の間隔中のオーディオ、ビデオ、またはデータのエンドツーエンドの遅延をミリ秒で返します。エンドツーエンドの遅延とは、遠端がメディアを送信してから、メディアが受信され、デバイスでローカルに表示されるまでにかかる時間です。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

エンドツーエンドの遅延はミリ秒単位です。

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 Netstat EndToEndDelay
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 Netstat EndToEndDelay: 0
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat Jitter

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

RFC 3550 で指定されている、着信または発信チャンネルでの現時点のオーディオ、ビデオ、またはデータのジッターを表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 NetStat Jitter
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 NetStat Jitter: 2
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat LastIntervalLost

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

着信または送信チャンネルで最後のインターバル中に失われたオーディオ、ビデオ、またはデータの packets 数を表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 NetStat LastIntervalLost
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 NetStat LastIntervalLost: 0
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat LastIntervalReceived

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

着信または送信チャンネルで最後のインターバル中に受け取ったオーディオ、ビデオ、またはデータの packets 数を表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 NetStat LastIntervalReceived
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 NetStat LastIntervalReceived: 289
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat Loss

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

オーディオ、ビデオ、またはデータの送受信チャンネルで失われたパケットの True 数を表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 NetStat Loss
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 NetStat Loss: 0
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat MaxJitter

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

最後のインターバル (約 5 秒) で測定されたオーディオ、ビデオ、またはデータの最大ジッターを表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 NetStat MaxJitter
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 NetStat MaxJitter: 2
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat Packets

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

着信または発信チャンネルで受信または送信されたオーディオ、ビデオ、またはデータの packets 数を表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 NetStat Packets
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 NetStat Packets: 1551
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Netstat RoundTripTime

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

発信 (および場合によっては着信) チャンネルの最後の間隔中の往復時間をミリ秒単位で返します。往復時間とは、最初のメディアホップでの双方向ネットワーク遅延です。たとえば、ローカルデバイスから遠端デバイスへの往復、またはローカルデバイスから Webex クラウドへの往復などです。これはネットワーク設定に依存します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

ミリ秒単位の往復時間。

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 328 Netstat RoundTripTime
*s MediaChannels Call 27 Channel 328 Netstat RoundTripTime: 31
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] ParticipantId

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

着信オーディオまたはビデオ チャンネル上のアクティブ コントロール参加者の ID を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 ParticipantId
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 ParticipantId: ""
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Type

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

着信または発信チャンネル上のメディア タイプを表示します。

返される結果の値スペース:

Audio, Video, Data

Audio: 着信または発信チャンネルのメディア タイプはオーディオです。

Video: 着信または発信チャンネルのメディア タイプはビデオです。

Data: 着信または発信チャンネルのメディア タイプはデータです。

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 Type
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 Type: Audio
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Video ChannelRole

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

着信または発信ビデオ チャンネルのロールを表示します。

返される結果の値スペース:

Main/Presentation

Main: メイン ビデオが着信または発信ビデオ チャンネルに存在します。

Presentation: プレゼンテーションが着信または発信ビデオ チャンネルに存在します。

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 Video ChannelRole
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 Video ChannelRole: Main
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Video FrameRate

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

着信または発信ビデオ チャンネルのフレーム レートを表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 Video FrameRate
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 Video FrameRate: 30
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Video Protocol

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

着信または発信ビデオ チャンネルのビデオ アルゴリズムを表示します。

返される結果の値スペース:

H261/H263/H263p/H263pp/H264/HEVC/JPEG/MP4V/Off

H261: H.261 アルゴリズムはビデオ圧縮の ITU-T 標準です。

H263: H.263 アルゴリズムはビデオ圧縮の ITU-T 標準です。

H263p: H263p (H.263+) アルゴリズムはビデオ圧縮に関する ITU-T 標準規格です。

H263pp: H263pp (H.263++) アルゴリズムはビデオ圧縮に関する ITU-T 標準規格です。

H264: H.264 アルゴリズム (MPEG-4 AVC) はビデオ圧縮に関する ITU-T および ISE/IEC 標準規格です。

HEVC: HEVC (H.265) アルゴリズム (MPEG-H Part 2) はビデオ圧縮に関する ITU-T および ISE/IEC 標準規格です。

JPEG: JPEG アルゴリズムはビデオ圧縮に関する ISO/IEC 標準規格です。

MP4V: MP4V フォーマットはビデオ圧縮に関する ISO/IEC ファイル形式です。

Off: ビデオなし。

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 Video Protocol
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 Video Protocol: H264
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Video ResolutionX

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

着信または発信ビデオの幅 (X 方向の解像度) を表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 Video ResolutionX
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 Video ResolutionX: 1920
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Video ResolutionY

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

着信または発信ビデオの高さ (Y 方向の解像度) を示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 Video ResolutionY
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 Video ResolutionY: 1080
** end
```

xStatus MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Audio Channels

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

問題のチャンネルで受信したオーディオチャンネル数 (なし、モノラル、ステレオ) を示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

0: なし

1: モノ

2: ステレオ

例:

```
xStatus MediaChannels DirectShare 27 Channel 327 Audio Channels
*s MediaChannels DirectShare 27 Channel 327 Audio Channels: 1
** end
```

xStatus MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Audio Protocol

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

アクティブな着信共有セッションに使用されるオーディオコーデックを表示します。

返される結果の値スペース:

AACLC/AACLD/AMR/CiscoPCM16/L16-768/ComfortNoise/G711A/G711Mu/G722/G7221/G7221C/G723_1/G728/G729/G729A/G729AB/Off/Opus/Raw

サポートされているオーディオ規格は基本的に通話でサポートされているものと同じですが、クライアントは通常、Opus (または AAC) のみを使用します。

AACLD: AAC-LD は MPEG-4 低遅延オーディオコーデック音声圧縮形式です。

G711A: G.711 A-law アルゴリズムはオーディオ圧縮に関する ITU-T 標準規格です。

G711Mu: G.711 μ -law アルゴリズムはオーディオ圧縮に関する ITU-T 標準規格です。

G722: G.722 アルゴリズムはオーディオ圧縮に関する ITU-T 標準規格です。

G7221: G.722.1 アルゴリズムはオーディオ圧縮に関する ITU-T 標準規格です。

G7221C: G.722.1 Annex C アルゴリズムはオーディオ圧縮に関する ITU-T 標準規格です。

G723_1: G.723.1 アルゴリズムはオーディオ圧縮に関する ITU-T 標準規格です。

G728: G.728 アルゴリズムはオーディオ圧縮に関する ITU-T 標準規格です。

G729: G.729 アルゴリズムはオーディオ圧縮に関する ITU-T 標準規格です。

G729A: G.729 Annex A アルゴリズムはオーディオ圧縮に関する ITU-T 標準規格です。

G729AB: G.729 Annex A および B アルゴリズムはオーディオ圧縮に関する ITU-T 標準規格です。

Off: オーディオなし。

Opus: Opus は著作権使用料無料のオーディオ圧縮用 IETF 標準規格です。

例:

```
xStatus MediaChannels DirectShare 27 Channel 327 Audio Protocol
*s MediaChannels DirectShare 27 Channel 327 Audio Protocol: AACLD
** end
```

xStatus MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Encryption

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

問題の着信オーディオ/ビデオチャンネルの暗号化ステータスを表示します。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus MediaChannels DirectShare 27 Channel 327 Encryption
*s MediaChannels DirectShare 27 Channel 327 Encryption: On
** end
```

xStatus MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Netstat Bytes

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

問題のチャンネルで受信した累積バイト数を表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus MediaChannels DirectShare 27 Channel 327 NetStat Bytes
*s MediaChannels DirectShare 27 Channel 327 NetStat Bytes: 496640
** end
```

xStatus MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Netstat ChannelRate

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

問題のチャンネルの現在の着信オーディオ/ビデオ帯域幅を表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus MediaChannels DirectShare 27 Channel 327 NetStat ChannelRate
*s MediaChannels DirectShare 27 Channel 327 NetStat ChannelRate: 128000
** end
```

xStatus MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Netstat Jitter

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

RFC 3550 で指定されているように、着信チャンネルで受信したオーディオ/ビデオについて現在測定されているジッターを示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus MediaChannels DirectShare 27 Channel 327 NetStat Jitter
*s MediaChannels DirectShare 27 Channel 327 NetStat Jitter: 2
** end
```

xStatus MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Netstat LastIntervalLost

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

問題の着信チャンネルの最後の間隔中に失われたオーディオ/ビデオパケットの数を表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus MediaChannels DirectShare 27 Channel 327 NetStat LastIntervalLost
*s MediaChannels DirectShare 27 Channel 327 NetStat LastIntervalLost: 0
** end
```

xStatus MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Netstat LastIntervalReceived

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

問題のチャンネルでの最後の間隔中に受信したオーディオ/ビデオパケットの数を表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus MediaChannels DirectShare 27 Channel 327 NetStat LastIntervalReceived
*s MediaChannels DirectShare 27 Channel 327 NetStat LastIntervalReceived: 289
** end
```

xStatus MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Netstat Loss

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

問題のチャンネルで失われたオーディオ/ビデオパケットの数を表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus MediaChannels DirectShare 27 Channel 327 NetStat Loss
*s MediaChannels DirectShare 27 Channel 327 NetStat Loss: 0
** end
```

xStatus MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Netstat MaxJitter

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

問題のチャンネルで最後の間隔 (約 5 秒) に測定された最大ジッターを表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus MediaChannels DirectShare 27 Channel 327 NetStat MaxJitter
*s MediaChannels DirectShare 27 Channel 327 NetStat MaxJitter: 2
** end
```

xStatus MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Netstat Packets

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

問題のチャンネルで受信したパケット総数を示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus MediaChannels DirectShare 27 Channel 327 NetStat Packets
*s MediaChannels DirectShare 27 Channel 327 NetStat Packets: 1551
** end
```

xStatus MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Video FrameRate

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

問題のチャンネルの受信フレームレートを表示します。注: ビデオチャンネルにのみ適用されます。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus MediaChannels DirectShare 27 Channel 327 Video FrameRate
*s MediaChannels DirectShare 27 Channel 327 Video FrameRate: 30
** end
```

xStatus MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Video Protocol

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

問題のチャンネルに使用されているビデオコーデックを表示します。

返される結果の値スペース:

```
H261/H263/H263p/H263pp/H264/HEVC/AV1/JPEG/MP4V/Off/Raw/RDP
```

サポートされているビデオ規格は基本的に通話でサポートされているものと同じですが、クライアントは通常、H264 のみを使用します。

H261: H.261 アルゴリズムはビデオ圧縮の ITU-T 標準です。

H263: H.263 アルゴリズムはビデオ圧縮の ITU-T 標準です。

H263p: H.263p (H.263+) アルゴリズムはビデオ圧縮に関する ITU-T 標準規格です。

H263pp: H.263pp (H.263++) アルゴリズムはビデオ圧縮に関する ITU-T 標準規格です。

H264: H.264 アルゴリズム (MPEG-4 AVC) はビデオ圧縮に関する ITU-T および ISE/IEC 標準規格です。

HEVC: HEVC (H.265) アルゴリズム (MPEG-H Part 2) はビデオ圧縮に関する ITU-T および ISE/IEC 標準規格です。

JPEG: JPEG アルゴリズムはビデオ圧縮に関する ISO/IEC 標準規格です。

MP4V: MP4V フォーマットはビデオ圧縮に関する ISO/IEC ファイル形式です。

Off: ビデオなし。

例:

```
xStatus MediaChannels DirectShare 27 Channel 327 Video Protocol
*s MediaChannels DirectShare 27 Channel 327 Video Protocol: H264
** end
```

xStatus MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Video ResolutionX

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

受信したビデオストリームの幅 (x 方向の解像度) を示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus MediaChannels DirectShare 27 Channel 327 Video ResolutionX
*s MediaChannels DirectShare 27 Channel 327 Video ResolutionX: 1920
** end
```

xStatus MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Video ResolutionY

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

受信したビデオストリームの高さ (y 方向の解像度) を示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus MediaChannels DirectShare 27 Channel 327 Video ResolutionY
*s MediaChannels DirectShare 27 Channel 327 Video ResolutionY: 1080
** end
```

Network ステータス

xStatus Network [n] CDP Address

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

受信デバイスと送信デバイスの両方の最初のネットワーク アドレスを返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network CDP Address
*s Network 1 CDP Address: "192.0.1.20"
** end
```

xStatus Network [n] CDP Capabilities

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

デバイス タイプの形式でスイッチの機能を示します。詳細については、CDP プロトコルのマニュアルを参照してください。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network CDP Capabilities
*s Network 1 CDP Capabilities: "0x0029"
** end
```

xStatus Network [n] CDP DeviceId

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

文字列の形式でスイッチの名前を識別します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network CDP DeviceId
*s Network 1 CDP DeviceId: "123456.company.com"
** end
```

xStatus Network [n] CDP Duplex

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

CDP ブロードキャスト インターフェイスのステータス (デュプレックス設定) を示します。ネットワーク オペレータが、隣接するネットワーク要素間の接続の問題を診断するときに使用します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network CDP Duplex
*s Network 1 CDP Duplex: "Full"
** end
```

xStatus Network [n] CDP Platform

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

デバイスに接続されたスイッチのハードウェア プラットフォーム名を返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network CDP Platform
*s Network 1 CDP Platform: "cisco WS-C3750X-48P"
** end
```

xStatus Network [n] CDP PortID

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

スイッチが使用する、デバイスの接続先のポートの ID を返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network CDP PortID
*s Network 1 CDP PortID: "GigabitEthernet1/0/23"
** end
```

xStatus Network [n] CDP PrimaryMgmtAddress

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

デバイスの接続先のスイッチの設定と監視に使用される管理アドレスを返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network CDP PrimaryMgmtAddress
*s Network 1 CDP PrimaryMgmtAddress: "10.1.1.2"
** end
```

xStatus Network [n] CDP SysName

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

デバイスの接続先のスイッチで設定された SysName を返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network CDP SysName
*s Network 1 CDP SysName: ""
** end
```

xStatus Network [n] CDP SysObjectID

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

デバイスの接続先のスイッチで設定された SysObjectID を返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network CDP SysObjectID
*s Network 1 CDP SysObjectID: ""
** end
```

xStatus Network [n] CDP Version

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

スイッチが実行しているソフトウェア リリース バージョンに関する情報を返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network 1 CDP Version
*s Network 1 CDP Version: "Cisco IOS Software, C3560CX Software (C3560CX-
UNIVERSALK9-M), Version 15.2(3)E, RELEASE SOFTWARE (fc4)*Technical Support:
http://www.cisco.com/techsupport*Copyright (c) 1986-2014 by Cisco Systems,
Inc.*Compiled Sun 07-Dec-14 13:15 by prod_rel_team"
** end
```

xStatus Network [n] CDP VoIPApplianceVlanID

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

デバイスからスイッチへの VoIP トラフィックに使用される VLAN を識別します。詳細については、IEEE 802.1Q プロトコルのマニュアルを参照してください。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network CDP VoIPApplianceVlanID
*s Network 1 CDP VoIPApplianceVlanID: "300"
** end
```

xStatus Network [n] CDP VTPMgmtDomain

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

スイッチの設定済み VTP 管理ドメイン名の文字列を返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network CDP VTPMgmtDomain
*s Network 1 CDP VTPMgmtDomain: "anyplace"
** end
```

xStatus Network [n] DNS Domain Name

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

ドメイン名を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network 1 DNS Domain Name
*s Network 1 DNS Domain Name: "www.example.com www.example.int"
** end
```

xStatus Network [n] DNS Server [n] Address

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

DNS サーバの IP アドレスを示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network 1 DNS Server 1. アドレス (Address)
*s Network 1 DNS Server 1 Address: "192.0.2.60"
** end
```

xStatus Network [n] Ethernet MacAddress

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

イーサネット インターフェイスの MAC (メディア アクセス コントロール) アドレスを示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network 1 Ethernet MacAddress
*s Network 1 Ethernet MacAddress: "00:50:60:02:FD:C7"
** end
```

xStatus Network [n] Ethernet Speed

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

イーサネット速度を Mbps 単位で示します。速度は、全二重または半二重の場合があります。

返される結果の値スペース:

10half/10full/100half/100full/1000full

例:

```
xStatus Network 1 Ethernet Speed
*s Network 1 Ethernet Speed: "100full"
** end
```

xStatus Network [n] IPv4 Address

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

このデバイスを一意に識別する IPv4 アドレスを示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network 1 IPv4 Address
*s Network 1 IPv4 Address: "192.0.2.149"
** end
```

xStatus Network [n] IPv4 Gateway

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

IPv4 ゲートウェイのアドレスを示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network 1 IPv4 Gateway
*s Network 1 IPv4 Gateway: "192.0.2.10"
** end
```

xStatus Network [n] IPv4 SubnetMask

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

IPv4 アドレスが属するサブネットを決定するサブネット マスクを示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network 1 IPv4 SubnetMask
*s Network 1 IPv4 SubnetMask: "255.255.255.0"
** end
```

xStatus Network [n] IPv6 Address

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

このデバイスを一意に識別する IPv6 アドレスを示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network 1 IPv6 Address
*s Network 1 IPv6 Address: ""
** end
```

xStatus Network [n] IPv6 Gateway

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

IPv6 ゲートウェイのアドレスを示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network 1 IPv6 Gateway
*s Network 1 IPv6 Gateway: ""
** end
```

xStatus Network [n] IPv6 LinkLocalAddress

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

プライマリ ユーザ インターフェイスに表示されている IPv6 リンク ローカル アドレスを示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network 1 IPv6 LinkLocalAddress
*s Network 1 IPv6 LinkLocalAddress: "2001:DB8:0000:0000:0000:0000:0000:0001"
** end
```

xStatus Network [n] VLAN Voice VlanId

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

フィードバックは、VLAN 音声 ID を示します。

返される結果の値スペース:

Off/1 ~ 4094

Off:VLAN 音声モードは有効になっていません。

1 ~ 4094:VLAN 音声 ID

例:

```
xStatus Network 1 VLAN Voice VlanId
*s Network 1 VLAN Voice VlanId: "Off"
** end
```

xStatus Network [n] Wifi BSSID

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

Wi-Fi 接続に使用される Basic Service Set Identifiers (BSSID) を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network 1 Wifi BSSID
*s Network 1 Wifi BSSID: "xx:xx:xx:xx:xx:xx"
** end
```

xStatus Network [n] Wifi Channel

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

Wi-Fi 接続に使用されるチャンネルを表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Network 1 Wifi Channel
*s Network 1 Wifi Channel: 13
** end
```

xStatus Network [n] Wifi Connectivity

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

返される結果の値スペース:

False/True

デバイスが現在 Wi-Fi に接続しているかどうかを示します。

例:

```
xStatus Network 1 Wifi Connectivity
*s Network 1 Wifi Connectivity: False
** end
```

xStatus Network [n] Wifi Frequency

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

Wi-Fi チャンネルに対応する周波数を表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Network 1 Wifi frequency
*s Network 1 Wifi Frequency: nnnn
** end
```

xStatus Network [n] Wifi InterfaceEnabled

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

Wi-Fi が有効 (On) か無効 (Off) かを示します。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus Network Wifi InterfaceEnabled
*s Network 1 Wifi InterfaceEnabled: Off
** end
```

xStatus Network [n] Wifi InterfaceReason

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

Wi-Fi インターフェイスが有効または無効になっている理由を説明します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network Wifi InterfaceReason
*s Network 1 Wifi InterfaceReason: "wlan=Down, config=true"
** end
```

xStatus Network [n] Wifi KeyMgmt

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

ステータスは、Wi-Fi ネットワークの接続されたセキュリティアルゴリズムを表す省略された文字列を返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network 1 Wifi KeyMgmt
*s Network 1 Wifi KeyMgmt: " WPA2/IEEE 802.1X/EAP"
** end
```

xStatus Network [n] Wifi MacAddress

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

Wi-Fi 接続に使用される MAC アドレスを表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network 1 Wifi MacAddress
*s Network 1 Wifi MacAddress: "xx:xx:xx:xx:xx:xx"
** end
```

xStatus Network [n] Wifi Noise

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

Wi-Fi 接続のノイズレベル (dBm) を示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Network 1 Wifi Noise
*s Network 1 Wifi Noise: -92
** end
```

xStatus Network [n] Wifi Phase2Method

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

該当する場合、Wi-Fi 接続に使用される Phase2Method を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network 1 Wifi Phase2Method
*s Network 1 Wifi Phase2Method: ""
** end
```

xStatus Network [n] Wifi RawSSID

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

Wi-Fi 接続の Raw SSID を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network 1 Wifi RawSSID
*s Network 1 Wifi RawSSID: "Aurora"
** end
```

xStatus Network [n] Wifi Reason

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

該当する場合、Wi-Fi 接続に定義された理由を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network 1 Wifi Reason
*s Network 1 Wifi Reason: ""
** end
```

xStatus Network [n] Wifi Region

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

Wi-Fi 接続の地域を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

リージョンコード。デバイスがアクセスポイントからリージョンコードを受信しない場合、値は「00」になります。

例:

```
xStatus Network 1 Wifi Region
*s Network 1 Wifi Region: "US"
** end
```

xStatus Network [n] Wifi RSSI

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

Wi-Fi 接続で使用される受信信号強度 (RSSI) を示します。

返される結果の値スペース:

整数 (*Integer*)

例:

```
xStatus Network 1 Wifi RSSI
*s Network 1 Wifi RSSI: -62
** end
```

xStatus Network [n] Wifi ScanResult [n] AuthType

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

ネットワークスキャンで見つかったすべての Wi-Fi ネットワークの認証タイプを返します。

結果を得るには、スキャン (Network Wifi Scan Start) を実行する必要があります。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network 1 Wifi ScanResult 2 AuthType
*s Network 1 Wifi ScanResult 2 AuthType: "Personal"
** end
```

xStatus Network [n] Wifi ScanResult [n] RawSSID

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

スキャン結果で見つかったすべての RawSSID 値を返します。

結果を得るには、スキャン (Network Wifi Scan Start) を実行する必要があります。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network 1 Wifi ScanResult 1 RawSSID
*s Network 1 Wifi ScanResult 1 RawSSID: "Aurora"
** end
```

xStatus Network [n] Wifi ScanResult [n] SignalLevel

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

スキャン結果で見つかったすべての SignalLevel 値を返します。

結果を得るには、スキャン (Network Wifi Scan Start) を実行する必要があります。

返される結果の値スペース:

整数 (*Integer*)

例:

```
xStatus Network 1 Wifi ScanResult 1 SignalLevel
*s Network 1 Wifi ScanResult 1 SignalLevel: -61
** end
```

xStatus Network [n] Wifi ScanResult [n] SSID

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

スキャン結果で見つかったすべての SSID 値を返します。

結果を得るには、スキャン (Network Wifi Scan Start) を実行する必要があります。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network 1 Wifi ScanResult 1 SSID
*s Network 1 Wifi ScanResult 1 SSID: "Aurora"
** end
```

xStatus Network [n] Wifi SNR

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

Wi-Fi 接続の信号雑音比 (dB) を示します。

返される結果の値スペース:

整数 (*Integer*)

例:

```
xStatus Network 1 Wifi SNR
*s Network 1 Wifi SNR: 32
** end
```

xStatus Network [n] Wifi Speed

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

Wi-Fi 接続の送信速度 (アップリンク) を表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

速度単位は、Mbps です。

例:

```
xStatus Network 1 Wifi Speed
*s Network 1 Wifi Speed: 39
** end
```

xStatus Network [n] Wifi SSID

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

Wi-Fi 接続のサービスセット識別子 (SSID) を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network 1 Wifi SSID
*s Network 1 Wifi SSID: "Aurora"
** end
```

xStatus Network [n] Wifi Status

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

Wi-Fi ネットワーク接続の状態を表示します。

返される結果の値スペース:

Associated/Associating/AuthFailed/Connected/Connecting/Disconnected/Failed/Other

Associated: デバイスは Wi-Fi ネットワークに関連付けられています。

Associating: デバイスを Wi-Fi ネットワークに関連付けようとしています。

AuthFailed: Wi-Fi ネットワークに接続しようとしたときに認証に失敗しました。

Connected: デバイスが Wi-Fi ネットワークに接続されています。

Connecting: デバイスを Wi-Fi ネットワークに接続中です。

Disconnected: デバイスが Wi-Fi ネットワークから切断されています。

Failed: 認証失敗以外の理由で、デバイスを Wi-Fi ネットワークに接続できませんでした。

Other: その他のシナリオ。

例:

```
xStatus Network 1 Wifi Status
*s Network 1 Wifi Status: Connected
** end
```

xStatus Network [n] Wifi Type

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

Wi-Fi ネットワーク接続の暗号化タイプを表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network 1 Wifi Type
*s Network 1 Wifi Type: "Wpa2-psk"
** end
```

NetworkServices ステータス

xStatus NetworkServices NTP CurrentAddress

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

現在使用されている NTP サーバのアドレスを返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus NetworkServices NTP CurrentAddress
*s NetworkServices NTP CurrentAddress: "123.254.15.121"
** end
```

xStatus NetworkServices NTP Server [n] Address

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

デバイスが使用している NTP サーバのアドレスを返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus NetworkServices NTP Address
*s NetworkServices NTP Address: "12.104.193.12 64.104.222.16 144.254.15.121"
** end
```

xStatus NetworkServices NTP Status

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

NTP サーバと同期しているデバイスのステータスを返します。

返される結果の値スペース:

Discarded/Synced/NotSynced/Unknown/Off

Discarded: NTP の結果が廃棄されました。

Synced: デバイスは NTP サーバと同期しています。

NotSynced: デバイスは NTP サーバと同期していません。

Unknown: 同期の状態が不明です。

Off: NTP サーバとの同期なし。

例:

```
xStatus NetworkServices NTP Status
*s NetworkServices NTP Status: Synced
** end
```

xStatus NetworkServices UPnP Status

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

UPnP サービスがネットワーク上でデバイスのプレゼンスをアドバタイズしているかどうかを報告します。このアドバタイズによって、タッチコントローラはデバイスを自動的に検出できるようになります。タッチコントローラとペアリングするために、手動でデバイスの IP アドレスを入力する必要はありません。

返される結果の値スペース:

実行/停止

Running: デバイスのプレゼンスがネットワーク上でアドバタイズされています。

Stopped: デバイスのプレゼンスがネットワーク上にアドバタイズされていません。

例:

```
xStatus NetworkServices UPnP Status
* s ネットワークサービス UPnP ステータス: 実行中
** end
```

Peripherals ステータス

xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] HardwareInfo

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

接続されたデバイスのハードウェア情報を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Peripherals ConnectedDevice 1007 HardwareInfo
*s Peripherals ConnectedDevice 1007 HardwareInfo: "1122330-0"
** end
```

xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] ID

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

接続されたデバイスの MAC アドレスを表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Peripherals ConnectedDevice 1007 ID
*s Peripherals ConnectedDevice 1007 ID: "00:10:20:20:be:21"
** end
```

xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] Location

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

Room Navigator の接続をサポートするデバイスの場合、これはロケーションを示します。Room Navigator は多くの場合、室内に設置されていますが、部屋の予約を簡易化するために室外にも設置できます。

返される結果の値スペース:

InsideRoom/OutsideRoom/NotSet

InsideRoom: Room Navigator は、ビデオ会議デバイスと同じ部屋にあります。

OutsideRoom: Room Navigator は部屋の外にあります。

NotSet: Room Navigator の場所に関する情報はありません。

例:

```
xStatus Peripherals ConnectedDevice 1007 Location
*s Peripherals ConnectedDevice 1007 Location: InsideRoom
** end
```

xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] Name

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

接続されたデバイスの製品名を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Peripherals ConnectedDevice 1007 Name"
*s Peripherals ConnectedDevice 1007 Name: "Cisco Room Navigator"
** end
```

xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] NetworkAddress

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

コネクテッドデバイスのネットワークアドレスを表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Peripherals ConnectedDevice 1007 NetworkAddress
*s Peripherals ConnectedDevice 1004 NetworkAddress: "192.0.1.20"
** end
```

xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] RoomAnalytics AirQuality Index

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

指定されたデバイス ID を持つ Room Navigator によって報告された大気質指標を表示します。値は、ドイツ連邦環境庁 (UBA) の定義によるものです。

返される結果の値スペース:

文字列

- 0-1.9 : 清潔で衛生的な電波品質。
- 2.0-2.9 : 良好な電波品質。換気が推奨されます。
- 3.0-3.9 : 快適性に著しい懸念あり。12 か月以上の曝露は推奨されません。換気が必要です。
- 4.0-4.9 : 快適性に重要な問題あり。1 か月以上の曝露は推奨されません。可能な場合は換気をしてください。換気の回数を増やします。
- 5.0 以降 : 容認できない状態。

例:

```
xStatus Peripherals ConnectedDevice 1007 RoomAnalytics AirQuality Index
*s Peripherals ConnectedDevice 1007 RoomAnalytics AirQuality Index: "1.3"
** end
```

xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] RoomAnalytics AmbientTemperature

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

指定されたデバイス ID を持つ Room Navigator によって報告された周囲温度を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Peripherals ConnectedDevice 1007 RoomAnalytics AmbientTemperature
*s Peripherals ConnectedDevice 1007 RoomAnalytics AmbientTemperature: "20.7"
** end
```

xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] RoomAnalytics RelativeHumidity

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

指定されたデバイス ID を持つ Room Navigator によって報告された相対湿度を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Peripherals ConnectedDevice 1007 RoomAnalytics RelativeHumidity
*s Peripherals ConnectedDevice 1007 RoomAnalytics RelativeHumidity: 26
** end
```

xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] SerialNumber

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

タッチコントローラなどの接続済み周辺機器のシリアル番号を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Peripherals ConnectedDevice 1001 SerialNumber
*s Peripherals ConnectedDevice 1001 SerialNumber: "ABC123..."
** end
```

xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] SoftwareInfo

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

接続されたデバイス上で実行しているソフトウェア バージョンの情報を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Peripherals ConnectedDevice 1007 SoftwareInfo
*s Peripherals ConnectedDevice 1007 SoftwareInfo: "T17.2.0"
** end
```

xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] Status

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

ビデオ会議デバイスに現在接続されている周辺装置を表示します。

返される結果の値スペース:

Connected/ResponseTimedOut

例:

```
xStatus Peripherals ConnectedDevice 1001 Status
*s Peripherals ConnectedDevice 1001 Status: Connected
** end
```

xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] Type

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

ビデオ会議デバイスに接続されている周辺機器の種類を表示します。

注: Precision 60 および Quad Camera は Camera という値を返します。SpeakerTrack 60 カメラは、SpeakerTracker という値を返します。認識された Cisco ヘッドセットのみが Headset という値を返します。

返される結果の値スペース:

AudioAmplifier/AudioMicrophone/Byod/Camera/ControlSystem/Headset/InputDevice/Other/PersistentWebApp/RoomScheduler/SpeakerTrack/TouchPanel

周辺機器の種類。Precision 60 および Quad Camera は Camera という値を返します。SpeakerTrack 60 カメラは、SpeakerTracker という値を返します。認識された Cisco ヘッドセットのみが Headset という値を返します。

例:

```
xStatus Peripherals ConnectedDevice 1001 Type
*s Peripherals ConnectedDevice 1001 Type: TouchPanel
** end
```

xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] UpgradeFailureReason

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

接続デバイスでアップグレードが失敗したことを示し、理由を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

アップグレードの失敗の理由を示します。

例:

```
xStatus Peripherals ConnectedDevice 1001 UpgradeFailureReason
*s Peripherals ConnectedDevice 1001 UpgradeFailureReason: "[c:404] 'HTTP 404'"
** end
```

xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] UpgradeStatus

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

現在接続されている周辺装置での前回のソフトウェア アップグレードのステータスを表示します。

返される結果の値スペース:

```
Downloading/Failed/Installing/InstallationReady/None/Succeeded/Rebooting/Retrying/  
Aborted/Paused
```

例:

```
xStatus Peripherals ConnectedDevice 1001 UpgradeStatus  
*s Peripherals ConnectedDevice 1001 UpgradeStatus: Retrying  
** end
```

xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] UpgradeURL

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

接続デバイスのアップグレード URL を示します。

返される結果の値スペース:

文字列
URL の全文字列を指定します。

例:

```
xStatus Peripherals ConnectedDevice 1001 UpgradeURL  
*s Peripherals ConnectedDevice 1001 UpgradeURL: ""  
** end
```

xStatus Peripherals PinPairing PinVisibleOnScreen

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

ペアリング中の場合、個人識別番号が画面に表示されるかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

```
False/True  
True: 個人識別番号が画面に表示されます。False: 個人識別番号は画面に表示されません。
```

例:

```
xStatus Peripherals PinPairing PinVisibleOnScreen  
*s Peripherals PinPairing PinVisibleOnScreen: True  
** end
```

xStatus Peripherals PinPairing RetriesRemaining

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

Peripherals Pairing PinPairing Start で指定されているように、ユーザーは無効な個人識別番号が入力された後に再試行を許可される場合があります。このステータスは、残りの再試行回数を示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Peripherals PinPairing RetriesRemaining  
*s Peripherals PinPairing RetriesRemaining: 2  
** end
```

xStatus Peripherals PinPairing TimeRemaining

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

Peripherals Pairing PinPairing Start で指定されているように、個人識別番号のペアリングプロセスは特定の期間アクティブになります。これは、ペアリングプロセスがアクティブになる分単位の時間を示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Peripherals PinPairing TimeRemaining  
*s Peripherals PinPairing TimeRemaining: 278  
** end
```

xStatus Peripherals Stylus [n] Presence

適用先: DeskPro BoardPro

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

スタイラスがあるかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

```
NotPresent/Present  
Present: スタイラスがあります。  
NotPresent: スタイラスはありません
```

例:

```
xStatus Peripherals Stylus 1 Presence  
*s Peripherals Stylus 1 Presence: NotPresent  
** end
```

Provisioning ステータス

xStatus Provisioning CUCM Customization Checksum

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

カスタマイズ テンプレート (バックアップ ファイル) を使用して、カスタム要素を複数のデバイスにプロビジョニングすることができます。このステータスには、デバイスにアップロードされた前回のカスタマイズ テンプレートのチェックサムが報告されます。XCommand Provisioning Service Fetch コマンドも参照してください。

返される結果の値スペース:

文字列

カスタマイズ テンプレートのチェックサム。

例:

```
xStatus Provisioning CUCM Customization Checksum
* s Provisioning CUCM Customization Checksum: "633e163e2694b89ce37103b244
8c36a..."
** end
```

xStatus Provisioning CUCM ExtensionMobility Enabled

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

CUCM 登録デバイスに対してエクステンション モビリティが有効かどうかを表示します。

返される結果の値スペース:

true/false (True/False)

例:

```
xStatus Provisioning CUCM ExtensionMobility Enabled
*s Provisioning CUCM ExtensionMobility Enabled: False
** end
```

xStatus Provisioning CUCM ExtensionMobility LastLoggedInUserId

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

デバイスに最後にログインしたユーザー ID を返します。CUCM エクステンション モビリティが有効になっており、デバイスで最後にログインしたユーザーを記録するように CUCM が設定されている場合にのみ、これが使用されます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Provisioning CUCM ExtensionMobility LastLoggedInUserId
*s Provisioning CUCM ExtensionMobility LastLoggedInUserId: "User 1"
** end
```

xStatus Provisioning CUCM ExtensionMobility LoggedIn

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

エクステンション モビリティに誰かがログインしているかどうかを表示します。

返される結果の値スペース:

true/false (True/False)

例:

```
xStatus Provisioning CUCM ExtensionMobility LoggedIn
*s Provisioning CUCM ExtensionMobility LoggedIn: False
** end
```

xStatus Provisioning RoomType

適用対象: [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

このデバイスに設定されるルーム タイプの設定を指定します。

返される結果の値スペース:

Briefing/Classroom/Standard

Briefing: このデバイスは、ブリーフィング ルームのセットアップを使用しています。

Classroom: このデバイスは、教室のセットアップを使用しています。

Standard: このデバイスはデフォルトのルーム設定を使用しています。

例:

```
xStatus Provisioning RoomType
*s Provisioning RoomType: Briefing
** end
```

xStatus Provisioning Software Current CompletedAt

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

現在のソフトウェア アップグレードが完了した日時を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Provisioning Software Current CompletedAt
*s Provisioning Software Current CompletedAt: "2011-06-07T07:20:03Z"
** end
```

xStatus Provisioning Software Current URL

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

現在のソフトウェアのアップロード元の URL を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Provisioning Software Current URL
*s Provisioning Software Current URL: "http://.../s52020ce8_0_0.pkg"
** end
```

xStatus Provisioning Software Current VersionId

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

現在のソフトウェアのバージョン ID を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Provisioning Software Current VersionId
*s Provisioning Software Current VersionId: "s52020ce8_0_0.pkg"
** end
```

xStatus Provisioning Software UpgradeStatus LastChange

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

最新のソフトウェア アップグレードの日時を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Provisioning Software UpgradeStatus LastChange
*s Provisioning Software UpgradeStatus LastChange: "2011-06-07T07:20:03Z"
** end
```

xStatus Provisioning Software UpgradeStatus Message

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

ソフトウェア アップグレードのシステム メッセージを表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Provisioning Software UpgradeStatus Message
*s Provisioning Software UpgradeStatus Message: ""
** end
```

xStatus Provisioning Software UpgradeStatus Phase

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

ソフトウェア アップグレードのフェーズを示します。

返される結果の値スペース:

None/AboutToInstallUpgrade/DownloadDone/DownloadPaused/DownloadPending/Downloading/Installing/InstallingPeripherals/Postponed/UpgradingPeripherals

例:

```
xStatus Provisioning Software UpgradeStatus Phase
*s Provisioning Software UpgradeStatus Phase: None
** end
```

xStatus Provisioning Software UpgradeStatus SessionId

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

ソフトウェア アップグレードのセッション ID を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Provisioning Software UpgradeStatus SessionId
*s Provisioning Software UpgradeStatus SessionId: ""
** end
```

xStatus Provisioning Software UpgradeStatus Status

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

ソフトウェア アップグレードのステータスを表示します。

返される結果の値スペース:

None/InProgress/Failed/InstallationFailed/Succeeded

例:

```
xStatus Provisioning Software UpgradeStatus Status
*s Provisioning Software UpgradeStatus Status: None
** end
```

xStatus Provisioning Software UpgradeStatus Urgency

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

ソフトウェアのアップグレードの必要性の緊急性を示します。

返される結果の値スペース:

Low/Medium/Critical

ソフトウェア アップグレードの緊急性を指定します。

例:

```
xStatus Provisioning Software UpgradeStatus Urgency
*s Provisioning Software UpgradeStatus Urgency: Low
** end
```

xStatus Provisioning Software UpgradeStatus URL

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

現在アップロードおよびインストール中の新しいソフトウェアのアップロード元/インストール元 URL を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Provisioning Software UpgradeStatus URL
*s Provisioning Software UpgradeStatus URL: "http://.../s52020ce8_0_0.pkg"
** end
```

xStatus Provisioning Software UpgradeStatus VersionId

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

現在アップロードおよびインストール中のソフトウェアのバージョン ID を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Provisioning Software UpgradeStatus VersionId
*s Provisioning Software UpgradeStatus VersionId: "s52010ce8_0_0.pkg"
** end
```

xStatus Provisioning Status

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

プロビジョニングのステータスを示します。

返される結果の値スペース:

Failed/AuthenticationFailed/Provisioned/Idle/NeedConfig/ConfigError

Failed: プロビジョニングが失敗しました。

AuthenticationFailed: 認証に失敗しました。

Provisioned: デバイスがプロビジョニングされています。

Idle: プロビジョニングは非アクティブです。

NeedConfig: デバイスを設定する必要があります。

ConfigError: 設定時にエラーが発生しました。

例:

```
xStatus Provisioning Status
*s Provisioning Status: Provisioned
** end
```

xStatus Provisioning WebexCalling Status

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

このソフトウェアリリースでは適用されません。

返される結果の値スペース:

AuthenticationFailed/ConfigError/Failed/Idle/NeedConfig/Provisioned/Provis

Proximity ステータス

xStatus Proximity Services Availability

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

デバイスで Proximity サービスが使用可能かどうかを示します。

返される結果の値スペース:

Available/Deactivated/Disabled

Available: xConfiguration Proximity Mode コマンドによってプロキシミティ モードが有効になっており、xConfiguration Proximity Services コマンドによって 1 つ以上のプロキシミティ サービスが有効になっています。

Deactivated: xCommand Proximity Services Deactivate コマンドによって、プロキシミティ サービスが非アクティブになっています。

Disabled: xConfiguration Proximity Mode コマンドによってプロキシミティ モードが無効になっているか、xConfiguration Proximity Services コマンドによって有効になっているプロキシミティ サービスがありません。

例:

```
xStatus Proximity Services Availability
*s Proximity Services Availability: Disabled
** end
```

RoomAnalytics ステータス

xStatus RoomAnalytics AmbientNoise Level A

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

デバイスは、ルーム内にある固定アンビエント ノイズ レベルを見積もるように設定できます (RoomAnalytics AmbientNoiseEstimation Mode 設定を参照してください)。結果はこのステータスで報告されます。

値は重み付けデシベル値 (dBA) です。値は相対値であるため、絶対値 SPL (音圧レベル) として扱うことはできません。特にデバイスが感度を認識できないサードパーティのマイクには対応していません。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

DBA の固定アンビエント ノイズ レベルです。

例:

```
xStatus RoomAnalytics AmbientNoise Level A
* s RoomAnalytics AmbientNoise Level A:30
** end
```

xStatus RoomAnalytics AmbientTemperature

適用先: DeskPro DeskMini Desk BoardPro

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

デバイスの周囲温度を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus RoomAnalytics AmbientTemperature
*s RoomAnalytics AmbientTemperature: "20.7"
** end
```

xStatus RoomAnalytics Engagement CloseProximity

適用先: RoomKit RoomKitMini RoomBar Room55 DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

このデバイスは、近くにいる人の存在を検出できます。

このステータスは、実行中のカメラによって異なります。使用するには、「RoomAnalytics PeopleCountOutOfCall」の構成を On にすることが推奨されます。

これにより、カメラが定期的に On になり、CloseProximity が更新されます。

On にしない場合、ステータスは会話中またはセルフビューが On の場合にのみ更新されます。

返される結果の値スペース:

False/True

False: カメラが実行されていない場合、または True の条件が満たされていない場合、ステータスは False になります。

True: 少なくとも 1 人が次の条件を満たす場合、ステータスは True になります。

- カメラから 1 メートル以内
- 顔に向いているカメラがある
- 比較的静止している

人物がカメラから 1.5 メートル以上離れた場合、またはカメラビューから離れた場合、ステータスは再び True から False になります。

例:

```
xStatus RoomAnalytics Engagement
*s RoomAnalytics Engagement CloseProximity: False
** end
```

xStatus RoomAnalytics PeopleCount Capacity

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

想定されるデバイスの最大使用人数を表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus RoomAnalytics PeopleCount Capacity
*s RoomAnalytics PeopleCount Capacity: 1
** end
```

xStatus RoomAnalytics PeopleCount Current

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

室内の人数を表示します。デバイスは、頭部検出を使用して正しい人数を見つけます。室内に物体や写真がある場合、これらも頭部して検知され、カウントされる可能性があります。信頼性の高い平均数を得るために、コール時間の長さは最低 2 分必要です。このデバイスでは、室内に誰がいたかは記録として保持されず、検知された人数の平均のみが保持されます。

デバイスがスタンバイ状態の場合、またはこの機能が無効になっている場合、返される数値は -1 です。

Codec Plus の場合、このステータスは、Quad Camera がある場合に適用されます。Codec Pro の場合、このステータスは、Quad Camera または SpeakerTrack 60 カメラがある場合に適用されます。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus RoomAnalytics PeopleCount Current
*s RoomAnalytics PeopleCount Current: 2
** end
```

xStatus RoomAnalytics PeoplePresence

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

ルーム (室内) に人がいるかどうかを表示します。この機能は、入力ソースとしての超音波および頭部検出に基づいています。もっとも正確な人の存在ステータスを取得するには、RoomAnalytics PeopleCountOutOfCall を On に設定します。

デバイスは、室内にいた人物の記録を保持することではなく、人がいたかどうかのみを記録します。他のユーザーがルームに入ると、ステータスは直ちに更新されます。空室になると、ステータスが変更されるまで最大 2 分かかる場合があります。

返される結果の値スペース:

Yes/No/Unknown

例:

```
xStatus RoomAnalytics PeoplePresence
*s RoomAnalytics PeoplePresence: No
** end
```

xStatus RoomAnalytics RelativeHumidity

適用先: DeskPro DeskMini Desk BoardPro

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

デバイスの相対湿度を表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus RoomAnalytics RelativeHumidity
*s RoomAnalytics RelativeHumidity: 26
** end
```

xStatus RoomAnalytics ReverberationTime LastRun

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

True; 直近の残響解析が測定された日時。ReverberationTime 分析を有効にするには、xconfig RoomAnalytics ReverberationTime Mode を On に設定します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus RoomAnalytics ReverberationTime LastRun
*s RoomAnalytics ReverberationTime LastRun: "2021-04-27T14:26:19Z"
** end
```

xStatus RoomAnalytics ReverberationTime Middle RT60

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

500 Hz と 1000 Hz の値の平均である中央の RT60 を返します。これはミリ秒単位で報告されます。ReverberationTime 分析を有効にするには、xconfig RoomAnalytics ReverberationTime Mode を On に設定します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus RoomAnalytics ReverberationTime Middle RT60
*s RoomAnalytics ReverberationTime Middle RT60: 200
** end
```

xStatus RoomAnalytics ReverberationTime Octaves [n] CenterFrequency

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

125 Hz から 4000 Hz までの各オクターブバンドの中心周波数を返します。

残響時間解析を有効にするには、RoomAnalytics ReverberationTime Mode 設定を On に設定します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

Hz 単位の中心周波数。

例:

```
xStatus RoomAnalytics ReverberationTime Octaves CenterFrequency
*s RoomAnalytics ReverberationTime Octaves 1 CenterFrequency: 125
*s RoomAnalytics ReverberationTime Octaves 2 CenterFrequency: 250
*s RoomAnalytics ReverberationTime Octaves 3 CenterFrequency: 500
*s RoomAnalytics ReverberationTime Octaves 4 CenterFrequency: 1000
*s RoomAnalytics ReverberationTime Octaves 5 CenterFrequency: 2000
*s RoomAnalytics ReverberationTime Octaves 6 CenterFrequency: 4000
** end
```

xStatus RoomAnalytics ReverberationTime Octaves [n] RT60

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

125 Hz から 4000 Hz までの各オクターブバンドの RT60 値を返します。

残響時間解析を有効にするには、RoomAnalytics ReverberationTime Mode 設定を On に設定します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

RT60 値はミリ秒です。

例:

```
xStatus RoomAnalytics ReverberationTime Octaves RT60
*s RoomAnalytics ReverberationTime Octaves 1 RT60: 310
*s RoomAnalytics ReverberationTime Octaves 2 RT60: 270
*s RoomAnalytics ReverberationTime Octaves 3 RT60: 180
*s RoomAnalytics ReverberationTime Octaves 4 RT60: 210
*s RoomAnalytics ReverberationTime Octaves 5 RT60: 200
*s RoomAnalytics ReverberationTime Octaves 6 RT60: 190
** end
```

xStatus RoomAnalytics Sound Level A

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

RoomAnalytics AmbientNoiseEstimation Mode の設定がオンになっている場合、デバイスは、アンビエント ノイズに加えてルーム内のサウンド レベルも測定します。このステータスでは、10 秒ごとに結果が報告されます。

値はデシベル (dBA) での重み付けされた平均のサウンド レベルです。値は相対値であるため、絶対値 SPL (音圧レベル) として扱うことはできません。特にデバイスが感度を認識できないサードパーティのマイクには対応していません。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

DBA の平均サウンド レベル。

例:

```
xStatus RoomAnalytics Sound Level A
* s RoomAnalytics Sound Level A:33
** end
```

xStatus RoomAnalytics T3Alarm Detected

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

T3 アラーム検出が有効になっている場合 (RoomAnalytics T3AlarmDetection Mode が On に設定されている場合)、システムがアラームを検出すると、このステータスは False から True に切り替わります。RoomAnalytics T3AlarmDetection Timeout 設定で定義された秒数の間にアラームが検出されなかった場合、このステータスは、False になります。

返される結果の値スペース:

False/True

False :T3 アラームは検出されません。

True :T3 アラームが検出されました。

例:

```
xStatus RoomAnalytics T3Alarm
*s RoomAnalytics T3Alarm Detected: True
** end
```

RoomPreset ステータス

xStatus RoomPreset [n] Defined

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

カメラ プリセットがこの位置で保存されるかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

true/false (True/False)

例:

```
xStatus RoomPreset 1 Defined
*s RoomPreset 1 Defined: True
** end
```

xStatus RoomPreset [n] Description

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

特定のプリセットに設定された名前をリストします。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus RoomPreset 1 Description
*s RoomPreset 1 Description: "Zoom in"
** end
```

xStatus RoomPreset [n] Type

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

カメラ プリセットのタイプを示します。

返される結果の値スペース:

All/Camera

例:

```
xStatus RoomPreset 1 Type
*s RoomPreset 1 Type: All
** end
```

Security ステータス

xStatus Security Persistency CallHistory

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

通話履歴ロギングが永続モードまたは非永続モードのどちらに設定されているかを示します。Persistent がデフォルト モードです。

返される結果の値スペース:

NonPersistent/Persistent

例:

```
xStatus Security Persistency CallHistory
*s Security Persistency CallHistory: Persistent
** end
```

xStatus Security Persistency Configurations

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

すべてのデバイス設定が永続モードに設定されているのか、非永続モードに設定されているのかを表示します。Persistent がデフォルト モードです。

返される結果の値スペース:

NonPersistent/Persistent

例:

```
xStatus Security Persistency Configurations
*s Security Persistency Configurations: Persistent
** end
```

xStatus Security Persistency DHCP

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

DHCP ログインが永続モードまたは非永続モードのどちらに設定されているかを示します。Persistent がデフォルト モードです。

返される結果の値スペース:

NonPersistent/Persistent

例:

```
xStatus Security Persistency DHCP
*s Security Persistency DHCP: Persistent
** end
```

xStatus Security Persistency InternalLogging

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

内部ログインが永続モードまたは非永続モードのどちらに設定されているかを示します。Persistent がデフォルト モードです。

返される結果の値スペース:

NonPersistent/Persistent

例:

```
xStatus Security Persistency InternalLogging
*s Security Persistency InternalLogging: Persistent
** end
```

xStatus Security Persistency LocalPhonebook

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

ローカル電話帳が永続モードまたは非永続モードのどちらに設定されているかを示します。Persistent がデフォルト モードです。

返される結果の値スペース:

NonPersistent/Persistent

例:

```
xStatus Security Persistency LocalPhonebook
*s Security Persistency LocalPhonebook: Persistent
** end
```

SIP ステータス

xStatus SIP AlternateURI Alias [n] URI

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SIP AlternateURI Alias
*s SIP AlternateURI Alias URI: ""
** end
```

xStatus SIP AlternateURI Primary URI

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SIP AlternateURI Primary
*s SIP AlternateURI Primary URI: ""
** end
```

xStatus SIP Authentication

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

SIP プロキシ サーバへの登録時に使用される認証メカニズムを示します。

返される結果の値スペース:

Digest/Off

Digest: RFC 2069 で指定されているダイジェスト アクセス認証方式を使用します。
Off: 認証メカニズムは使用されません。

例:

```
xStatus SIP Authentication
*s SIP Authentication: Off
** end
```

xStatus SIP CallForward DisplayName

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

転送されたコールのユーザ インターフェイス上に表示される URI を返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SIP CallForward DisplayName
*s SIP CallForward DisplayName: ""
** end
```

xStatus SIP CallForward Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

SIP のコール転送モードがオンに設定されているのか、オフに設定されているのかを表示します。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus SIP CallForward Mode
*s SIP CallForward Mode: Off
** end
```

xStatus SIP CallForward URI

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

コール転送モードがオンに設定されている場合に着信コールが転送されるアドレスを示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SIP CallForward URI
*s SIP CallForward URI: "]"
** end
```

xStatus SIP Mailbox MessagesWaiting

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

メールボックス内の新しいメッセージの数を示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus SIP Mailbox MessagesWaiting
*s SIP Mailbox MessagesWaiting: 0
** end
```

xStatus SIP Mailbox URI

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

SIP メールボックスの URI を返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SIP Mailbox URI
*s SIP Mailbox URI: "12345678"
** end
```

xStatus SIP Proxy [n] Address

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

デバイスが通信する SIP プロキシのアドレスを示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SIP Proxy 1 Address
*s SIP Proxy 1 Address: "192.0.2.50"
** end
```

xStatus SIP Proxy [n] Status

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

デバイスと SIP プロキシ サーバ間の通信のステータスを示します。

返される結果の値スペース:

Active/AuthenticationFailed/DNSFailed/Off/Timeout/UnableTCP/UnableTLS/Unknown

Active: デバイスと SIP プロキシ間の通信はアクティブです。

DNSFailed: DNS サーバとの通信の確立に失敗しました。

Off: デバイスと SIP プロキシ間に通信がありません。

Timeout: SIP プロキシとの通信の確立がタイムアウトになりました。

UnableTCP: デバイスは転送方式として TCP を使用できません。

UnableTLS: デバイスは転送方式として TLS を使用できません。

Unknown: 通信のステータスが不明です。

AuthenticationFailed: ユーザー名またはパスワードが正しくありません。

例:

```
xStatus SIP Proxy 1 Status
*s SIP Proxy 1 Status: Active
** end
```

xStatus SIP Registration [n] Authentication

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

SIP プロキシ サーバへの登録時に使用される認証メカニズムを示します。

返される結果の値スペース:

Digest/Off

Digest: RFC 2069 で指定されているダイジェスト アクセス認証方式を使用します。

Off: 認証メカニズムは使用されません。

例:

```
xStatus SIP Registration 1 Authentication
*s SIP Registration 1 Authentication: Off
** end
```

xStatus SIP Registration [n] Reason

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

SIP 登録が失敗した理由を説明するメッセージを表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SIP Registration 1 Reason
*s SIP Registration 1 Reason: "404 Not Found"
** end
```

xStatus SIP Registration [n] Status

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

SIP プロキシ サーバへの登録ステータスを示します。

返される結果の値スペース:

Deregister/Failed/Inactive/Registered/Registering

Deregister: デバイスは SIP プロキシへの登録を解除中です。

Failed: デバイスは SIP プロキシへの登録に失敗しました。

Inactive: デバイスはどの SIP プロキシにも登録されていません。

Registered: デバイスは SIP プロキシに登録されています。

Registering: デバイスは SIP プロキシへの登録処理中です。

例:

```
xStatus SIP Registration 1 Status
*s SIP Registration 1 Status: Registered
** end
```

xStatus SIP Registration [n] URI

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

SIP プロキシ サーバへの登録に使用する URI を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SIP Registration 1 URI
*s SIP Registration 1 URI: "firstname.lastname@company.com"
** end
```

xStatus SIP Secure

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

SIP プロキシ サーバとのシグナリングの暗号化ステータスを表示します。

返される結果の値スペース:

```
true/false (True/False)
```

例:

```
xStatus SIP Secure
*s SIP Secure: True
** end
```

xStatus SIP Verified

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

デバイスが登録を試行するサーバの SSL 証明書が、デバイスの信頼できる CA リストに含まれているかどうかを示します。サーバは通常、Cisco VCS または CUCM です。

返される結果の値スペース:

```
true/false (True/False)
```

True:サーバの SIP 証明書は、デバイスの信頼できる CA リストと照合され、有効であると見なされました。また、サーバの完全修飾ドメイン名は有効な証明書と一致しています。

False:SIP 証明書の検証に失敗したか、ドメイン名が一致しなかったため、TLS 接続がセットアップされていません。TLS が使用されない (xConfiguration SIP DefaultTransport が TLS に設定されていない) 場合や、証明書の検証がオフになっている (SIP TlsVerify: Off。この設定にはお使いの製品の Web インターフェイスからアクセス可能) 場合は、ステータスでも False が返されることに注意してください。

例:

```
xStatus SIP Verified
*s SIP Verified: False
** end
```

Standby ステータス

xStatus Standby Level

適用先:RoomBar DeskMini Desk BoardPro

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

スタンバイモードには複数のレベルがあり、それぞれ異なる電力消費プロファイルを提供します。これは、デバイスのスタンバイモードの現在のレベルを示します。

返される結果の値スペース:

```
None/Standby/Networked/DisplayOff
```

None:デバイスはスタンバイモードではありません。

DisplayOff:スタンバイの最初の段階です。ディスプレイはオフです。

Networked:スタンバイの第 2 段階です。デバイスは引き続きネットワーク経由でアクセスできます。

Standby:今後の使用向け。

例:

```
xStatus Standby Level
*s Standby Level: DisplayOff
** end
```

xStatus Standby State

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

デバイスがスタンバイ モードになっているかどうかを表示します。

返される結果の値スペース:

```
Standby/EnteringStandby/Halfwake/Off
```

Standby:デバイスはスタンバイ状態です。

EnteringStandby:デバイスはスタンバイ状態に移行中です。

Halfwake:デバイスはスタンバイ状態ですが、モーション (動き) または Proximity ペアリング アプリによって在室が検出されると、ユーザーに応答します。

Off:デバイスはスタンバイ状態ではありません。

例:

```
xStatus Standby State
*s Standby State: Off
** end
```

SystemUnit ステータス

xStatus SystemUnit BroadcastName

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

Miracast や Bluetooth などのサービスの送信側デバイスのスキャンリストに表示されるビデオ会議デバイスの名前を返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SystemUnit BroadcastName
*s SystemUnit BroadcastName: "Board Room Codec Pro"
** end
```

xStatus SystemUnit DeveloperPreview Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

デベロッパー プレビュー モードが On か Off かを示します。これは、SystemUnit DeveloperPreview Activate および SystemUnit DeveloperPreview Activate コマンドによって制御されます。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatusSystemUnit DeveloperPreview Mode
*s SystemUnit DeveloperPreview Mode: Off
** end
```

xStatus SystemUnit Hardware HasWifi

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

デバイスにワイヤレスインターネット (Wi-Fi) 機能があるかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

False/True

例:

```
xStatus SystemUnit Hardware HasWiFi
*s SystemUnit Hardware HasWiFi: True
** end
```

xStatus SystemUnit Hardware Module CompatibilityLevel

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

デバイスが異なる互換性レベルのセットを持っています。リリース ノートを参照して、製品に必要な互換性レベルとソフトウェアの最小バージョンを確認してください。

返される結果の値スペース:

文字列

デバイスの互換性レベルを示します。

例:

```
xStatus SystemUnit Hardware Module CompatibilityLevel
*s SystemUnit Hardware Module CompatibilityLevel: 1
** end
```

xStatus SystemUnit Hardware Module SerialNumber

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

デバイスのハードウェア モジュールのシリアル番号を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SystemUnit Hardware MainBoard SerialNumber
*s SystemUnit Hardware MainBoard SerialNumber: "FOC99999999"
** end
```

xStatus SystemUnit Hardware Monitoring Fan [n] Status

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

フィードバックには指定したファンの速度 (rpm) が表示されます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SystemUnit Hardware Monitoring Fan 1 Status
*s SystemUnit Hardware Monitoring Fan 1 Status: "locked on 1096 rpm"
** end
```

xStatus SystemUnit Hardware Monitoring Temperature Status

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

現在の温度アラーム レベルを表示します。「高 (High)」は、動作温度が通常よりも高いため、温度傾向に注意を向けることを示しています。「致命的 (Critical)」レベルでは、デバイスが損傷しないようにプロセスとプロセッサがシャットダウンされます。動作中の高温度を回避するには、換気している環境でデバイスが動作していることを確認してください。

返される結果の値スペース:

Unknown, Normal, High, Critical

例:

```
xStatus SystemUnit Hardware Monitoring Temperature Status
*s SystemUnit Hardware Monitoring Temperature Status: Normal
** end
```

xStatus SystemUnit Hardware USBC [n] Connected

適用先: [RoomBar](#) [CodecEQ](#) [DeskPro](#) [DeskMini](#) [Desk](#) [BoardPro](#)

パーソナルモードデバイスの [Webex Devices Cloud xAPI](#) サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

指定した USB-C ポートの接続状態を表示します。

返される結果の値スペース:

False/True

例:

```
xStatus SystemUnit Hardware USBC 1 Connected
*s SystemUnit Hardware USBC 1 Connected: False
** end
```

xStatus SystemUnit Notifications Notification [n] Text

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

重要なシステム通知に関連するテキストを一覧表示します。通知は、ソフトウェアのアップグレードのためにデバイスが再起動したときや、ファクトリリセットが実行されたときなどに発行されます。すべての通知は、SystemUnit Notifications RemoveAll コマンドを発行して、リストから削除できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SystemUnit Notifications Notification 1 Text
*s SystemUnit Notifications Notification 1 Text: "OK"
** end
```

xStatus SystemUnit Notifications Notification [n] Type

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

システム通知のタイプを一覧表示します。通知は、ソフトウェアのアップグレードのためにデバイスが再起動したときや、ファクトリリセットが実行されたときなどに発行されます。

すべての通知は、SystemUnit Notifications RemoveAll コマンドを発行して、リストから削除できます。

返される結果の値スペース:

ソフトウェアアップグレード Ok/SoftwareUpgradeFailed/RebootRequired/Other

SoftwareUpgradeOK: この値は、ソフトウェア アップグレードの成功後に返されます。

SoftwareUpgradeFailed: この値は、ソフトウェア アップグレードの試行失敗後に返されます。

RebootRequired: この値は、再起動が必要な場合に返されます。

Other: この値は、他のすべての通知に対して返されます。

例:

```
xStatus SystemUnit Notifications Notification 1 Type
*s SystemUnit Notifications Notification 1 Type: SoftwareUpgradeOK
** end
```

xStatus SystemUnit ProductId

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

製品の識別情報を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

"Cisco Webex Board 55" : Cisco Webex Board 55
"Cisco Webex Board 55S" : Cisco Webex Board 55S (第 2 世代 / S シリーズ)
"Cisco Webex Board 70" : Cisco Webex Board 70
"Cisco Webex Board 70S" : Cisco Webex Board 70S (第 2 世代 / S シリーズ)
"Cisco Webex Board 85S" : Cisco Webex Board 85S
"Cisco Webex Board Pro 55" : Cisco Webex Board Pro 55
"Cisco Webex Board Pro 75" : Cisco Webex Board Pro 75
"Cisco Webex Codec Plus" : Cisco Webex Codec plus
"Cisco Webex Codec Pro" : Cisco Webex Codec Pro
"Cisco Webex Desk" : Cisco Webex Desk
"Cisco Webex Desk Mini" : Cisco Webex Desk Mini
"Cisco Webex Desk Pro" : Cisco Webex Desk Pro
"Cisco Webex Room Bar" : Cisco Webex Room Bar
"Cisco Webex Room Kit" : Cisco Webex Room Kit
"Cisco Room Kit EQ" : Cisco Codec EQ
"Cisco Webex Room Kit Mini" : Cisco Webex Room Kit Mini
"Cisco Webex Room 55" : Cisco Webex Room 55
"Cisco Webex Room 55 Dual" : Cisco Webex Room 55 Dual (Codec Plus ベース)
"Cisco Webex Room 70 Dual" : Cisco Webex Room 70 Dual (Codec Plus ベース)
"Cisco Webex Room 70 Dual G2" : Cisco Webex Room 70 Dual G2 (Codec Plus ベース)
"Cisco Webex Room 70 Single" : Cisco Webex room 70 Single (Codec Plus ベース)
"Cisco Webex Room 70 Single G2" : Cisco Webex room 70 Single G2 (Codec Pro ベース)
"Cisco Webex Room 70 Panorama" : Cisco Webex Room 70 Panorama
"Cisco Webex Room Panorama" : Cisco Webex Room Panorama
"Cisco Webex Room USB" : Cisco Webex Room USB

例:

```
xStatus SystemUnit ProductId
*s SystemUnit ProductId: "Cisco Webex Room Bar"
** end
```

xStatus SystemUnit ProductPlatform

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

製品プラットフォームを示します。

返される結果の値スペース:

文字列

"Board 55" : Cisco Webex Board 55
"Board 55S" : Cisco Webex Board 55S (第 2 世代 / S シリーズ)
"Board 70" : Cisco Webex Board 70
"Board 70S" : Cisco Webex Board 70S (第 2 世代 / S シリーズ)
"Board 85S" : Cisco Webex Board 85S
"Board Pro 55" : Cisco Webex Board Pro 55
"Board Pro 75" : Cisco Webex Board Pro 75
"Codec Plus" : Cisco Webex Codec Plus
"Codec Pro" : Cisco Webex Codec Pro
"Desk" : Cisco Webex Desk
"Desk Mini" : Cisco Webex Desk Mini
"Desk Pro" : Cisco Webex Desk Pro
"Room Bar" : Cisco Webex Room Bar
"Room Kit" : Cisco Webex Room Kit
"Room Kit EQ" : Cisco Codec EQ
"Room Kit Mini" : Cisco Webex Room Kit Mini
"Room 55" : Cisco Webex Room 55
"Room 55D" : Cisco Webex Room 55 Dual (Codec Plus ベース)
"Room 70D" : Cisco Webex Room 70 Dual (Codec Plus ベース)
"Room 70D G2" : Cisco Webex Room 70 Dual G2 (Codec Pro ベース)
"Room 70S" : Cisco Webex Room 70 Single (Codec Plus ベース)
"Room 70S G2" : Cisco Webex Room 70 Single G2 (Codec Pro ベース)
"Room 70 Panorama" : Cisco Webex Room 70 Panorama
"Room Panorama" : Cisco Webex Room Panorama
"Room USB" : Cisco Webex Room USB

例:

```
xStatus SystemUnit ProductPlatform
*s SystemUnit ProductPlatform: "Room Bar"
** end
```

xStatus SystemUnit ProductType

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

製品タイプを示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SystemUnit ProductType
*s SystemUnit ProductType: "Cisco Codec"
** end
```

xStatus SystemUnit Software DisplayName

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

デバイスにインストールされているソフトウェアの名前を、UI に表示されるとおりに示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SystemUnit Software DisplayName
*s SystemUnit Software DisplayName: "Display Name"
** end
```

xStatus SystemUnit Software Name

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

デバイスにインストールされているソフトウェアの名前を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SystemUnit Software Name
*s SystemUnit Software Name: "s53200"
** end
```

xStatus SystemUnit Software OptionKeys AVIntegrator

適用先: CodecEQ

必要なユーザー ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

AVIntegrator オプションキーがデバイスにインストールされているかどうかを示します。このオプションキーを使用すると、Audio Console アプリケーションと完全なインテグレーターオーディオ API を使用できます。

返される結果の値スペース:

False/True

例:

```
xStatus SystemUnit Software OptionKeys AVIntegrator
*s SystemUnit Software OptionKeys AVIntegrator: "true"
** end
```

xStatus SystemUnit Software OptionKeys Encryption

適用先: RoomKit RoomKitMini RoomBar CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

暗号化オプションキーがデバイスにインストールされているかどうかを示します。このオプションキーは、暗号化機能を有効にします。

返される結果の値スペース:

False/True

例:

```
xStatus SystemUnit Software OptionKeys Encryption
*s SystemUnit Software OptionKeys Encryption: "true"
** end
```

xStatus SystemUnit Software OptionKeys MultiSite

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

MultiSite オプションキーがデバイスにインストールされているかどうかを表示します。このオプションキーを使用すると、デバイスに組み込まれたマルチポイントスイッチを使用して会議をホストできます。

返される結果の値スペース:

False/True/NotApplicable

例:

```
xStatus SystemUnit Software OptionKeys MultiSite
*s SystemUnit Software OptionKeys MultiSite: "true"
** end
```

xStatus SystemUnit Software OptionKeys RemoteMonitoring

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

RemoteMonitoring オプションキーがデバイスにインストールされているかどうかを表示します。このオプションを使用すると、Web インターフェイスからおよびリモートでペアリングされたタッチコントローラからのスナップショットを有効にします。

返される結果の値スペース:

False/True

例:

```
xStatus SystemUnit Software OptionKeys RemoteMonitoring
*s SystemUnit Software OptionKeys RemoteMonitoring: "true"
** end
```

xStatus SystemUnit Software ReleaseDate

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

デバイスにインストールされているソフトウェアのリリース日付を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SystemUnit Software ReleaseDate
*s SystemUnit Software ReleaseDate: "2015/05/05"
** end
```

xStatus SystemUnit Software Version

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

デバイスにインストールされたソフトウェアのバージョンを示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SystemUnit Software Version
*s SystemUnit Software Version: "CE8.0.0"
** end
```

xStatus SystemUnit State CameraLid

適用先: DeskPro DeskMini Desk

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

カメラのふたの位置を表示します (閉じた状態または開いた状態)。

返される結果の値スペース:

Closed/Open

Closed: カメラのふたが閉じています。

Open: カメラのふたが開いています。

例:

```
xStatus SystemUnit State CameraLid
*s SystemUnit State CameraLid: Closed
** end
```

xStatus SystemUnit State NumberOfActiveCalls

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

アクティブなコールの数を示します。

返される結果の値スペース:

0 ~ 5

例:

```
xStatus SystemUnit State NumberOfActiveCalls
*s SystemUnit State NumberOfActiveCalls: 0
** end
```

xStatus SystemUnit State NumberOfInProgressCalls

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

進行中のコールの数を示します。

返される結果の値スペース:

0 ~ 5

例:

```
xStatus SystemUnit State NumberOfInProgressCalls
*s SystemUnit State NumberOfInProgressCalls: 0
** end
```

xStatus SystemUnit State NumberOfSuspendedCalls

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

一時停止中のコールの数を示します。

返される結果の値スペース:

0 ~ 5

例:

```
xStatus SystemUnit State NumberOfSuspendedCalls
*s SystemUnit State NumberOfSuspendedCalls: 0
** end
```

xStatus SystemUnit Uptime

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

デバイスの最後の再起動以降の秒数を示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus SystemUnit Uptime
*s SystemUnit Uptime: 597095
** end
```

Time ステータス

xStatus Time SystemTime

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

デバイスに設定された日時を返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Time SystemTime
*s Time SystemTime: "2014-04-25T10:04:03Z"
** end
```

UserInterface ステータス

xStatus UserInterface Branding CustomId Background

適用先: RoomKit RoomKitMini RoomBar CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/ Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

該当する場合、背景に使用される画像の customid を返します。ビデオシステムが起動している場合、背景画像はメイン画面とタッチコントローラの両方に背景として表示されます。

返される結果の値スペース:

文字列

起動状態で使用される背景画像の識別子。

例:

```
xStatus UserInterface Branding CustomId Background
*s UserInterface Branding CustomId Background: "building_front"
** end
```

xStatus UserInterface Branding CustomId Branding

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

該当する場合、ブランディングロゴの customid を返します。ブランディングロゴは、メイン画面と起動状態のタッチパネルの両方の右下隅の明るい背景に表示されます。

返される結果の値スペース:

文字列

起動状態で使用されるロゴの識別子。

例:

```
xStatus UserInterface Branding CustomId Branding
*s UserInterface Branding CustomId Branding: "dark_brand_logo"
** end
```

xStatus UserInterface Branding CustomId HalfwakeBackground

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

該当する場合、ハーフウェイクの背景に使用される画像の customid を返します。ビデオシステムがハーフウェイク状態の場合、ハーフウェイクの背景画像は、メイン画面とタッチコントローラの両方に背景として表示されます。

返される結果の値スペース:

文字列

ハーフウェイクの背景画像の識別子。

例:

```
xStatus UserInterface Branding CustomId HalfwakeBackground
*s UserInterface Branding CustomId HalfwakeBackground: "reception"
** end
```

xStatus UserInterface Branding CustomId HalfwakeBranding

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

該当する場合、ハーフウェイクロゴに使用される画像の customid を返します。ハーフウェイク状態の間、メイン画面とタッチコントローラの両方の右下隅の暗い背景にハーフウェイクロゴが表示されます。

返される結果の値スペース:

文字列

ハーフウェイクロゴの識別子。

例:

```
xStatus UserInterface Branding CustomId HalfwakeBranding
*s UserInterface Branding CustomId HalfwakeBranding: "light_brand_logo"
** end
```

xStatus UserInterface ContactInfo ContactMethod [n] Number

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

デバイスのアクティブな連絡先の情報を返します。このアドレスは、このデバイスに到達するために使用されます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus UserInterface ContactInfo ContactMethod Number
*s UserInterface ContactInfo ContactMethod 1 Number: "12345678"
** end
```

xStatus UserInterface ContactInfo Name

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

デバイスのアクティブな連絡先の名前を返します。デバイスがプロトコルに登録されている場合は、そのプロトコルに応じて結果が異なります。自動的に設定された連絡先名は、コマンド xConfiguration UserInterface ContactInfo Type によって上書きされている場合があります。その場合は、連絡先の不一致に関する診断警告が表示されます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus UserInterface ContactInfo Name
*s UserInterface ContactInfo Name: "MySystem"
** end
```

xStatus UserInterface Extensions Widget [n] Value

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

ウィジェットの値を返します。ウィジェットは、ユーザ インターフェイスに追加されるカスタム パネル (室内制御など) で使用されます。値スペースはウィジェット タイプによって異なります。UserInterface Extensions Widget SetValue コマンドを使って値が設定される時点まで、値は空の文字列です。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
UserInterface Extensions Value
*s UserInterface Extensions Widget 1 Value: "on"
*s UserInterface Extensions Widget 2 Value: "255"
*s UserInterface Extensions Widget 3 Value: "Blinds"
*s UserInterface Extensions Widget 4 Value: "inactive"
*s UserInterface Extensions Widget 5 Value: "2"
*s UserInterface Extensions Widget 6 Value: "Projector is ready"
** end
```

xStatus UserInterface Extensions Widget [n] WidgetId

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

ウィジェットの固有識別子を返します。ウィジェットは、ユーザ インターフェイスに追加されるカスタム パネル (室内制御など) で使用されます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
UserInterface Extensions WidgetId
*s UserInterface Extensions Widget 1 WidgetId: "togglebutton"
*s UserInterface Extensions Widget 2 WidgetId: "slider"
*s UserInterface Extensions Widget 3 WidgetId: "spinner"
*s UserInterface Extensions Widget 4 WidgetId: "button"
*s UserInterface Extensions Widget 5 WidgetId: "groupbutton"
*s UserInterface Extensions Widget 6 WidgetId: "textfield"
** end
```

xStatus UserInterface Features Call Breakouts

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

Webex 会議には、ブレイクアウトセッションが含まれる場合があります。ここでは、会議参加者が一時的に小さなグループに分かれてディスカッションを行います。このステータスは、このようなブレイクアウトセッションにデバイスからの参加が許可されているかどうかを報告します。

この機能は、デバイスが Webex クラウドサービスに登録されているか、または Webex Edge for Devices にリンクされている場合にのみ使用できます。

返される結果の値スペース:

Disabled/Enabled

Disabled: デバイスからブレイクアウトセッションに参加することはできません。

Enabled: デバイスからブレイクアウトセッションに参加できます。

例:

```
xStatus UserInterface Features Call Breakouts
*s UserInterface Features Call Breakouts: Enabled
** end
```

xStatus UserInterface Features Call End

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

このステータスは、デフォルトの [通話終了 (End call)] ボタンをユーザーインターフェイスに表示するかどうかを報告します。

返される結果の値スペース:

表示/非表示

表示: ボタンがユーザーインターフェイスに表示されます。

非表示: ボタンはユーザーインターフェイスから削除されます。

例:

```
xStatus UserInterface Features Call End
*s UserInterface Features Call End: Visible
** end
```

xStatus UserInterface Features Call HdmiPassthrough

適用対象: RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

このステータスは、タッチコントローラに [ラップトップから会議 (Call from laptop)] ボタンが表示されているかどうかを報告します。

[HDMI パススルー (HDMI passthrough)] と [ラップトップから会議 (Call from laptop)] 機能についての詳細は、「Video Output HDMI Passthrough Allowed 設定」を参照してください。[ラップトップから会議 (Call from laptop)] 機能は、Room 55 Dual および Room 70 Dual ではサポートされていません。

返される結果の値スペース:

表示/非表示

表示: ボタンはタッチコントローラに表示されます。

非表示: ボタンはタッチコントローラに表示されません。

例:

```
xStatus UserInterface Features Call HdmiPassthrough
*s UserInterface Features Call HdmiPassthrough: Visible
** end
```

xStatus UserInterface Features Call JoinGoogleMeet

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

このステータスは、[Google Meet] ボタンをユーザーインターフェイスに表示するかどうかを報告します。

返される結果の値スペース:

表示/非表示

表示: ボタンがユーザーインターフェイスに表示されます。

非表示: ボタンはユーザーインターフェイスに表示されません。

例:

```
xStatus UserInterface Features Call JoinGoogleMeet
*s UserInterface Features Call JoinGoogleMeet: Visible
** end
```

xStatus UserInterface Features Call JoinWebex

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

このステータスは、[Webex] ボタンをユーザーインターフェイスに表示するかどうかを報告します。

返される結果の値スペース:

表示/非表示

表示: ボタンがユーザーインターフェイスに表示されます。

非表示: ボタンはユーザーインターフェイスから削除されます。

例:

```
xStatus UserInterface Features Call JoinWebex
*s UserInterface Features Call JoinWebex: Visible
** end
```

xStatus UserInterface Features Call JoinZoom

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

このステータスは、[Zoom] ボタン (Zoom 会議に参加するボタン) をユーザーインターフェイスに表示するかどうかを報告します。

返される結果の値スペース:

表示/非表示

表示: ボタンがユーザーインターフェイスに表示されます。

非表示: ボタンはユーザーインターフェイスに表示されません。

例:

```
xStatus UserInterface Features Call JoinZoom
*s UserInterface Features Call JoinZoom: Visible
** end
```

xStatus UserInterface Features Call Keypad

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

このステータスは、デフォルトの [キーパッド (Keypad)] ボタンをユーザーインターフェイスに表示するかどうかを報告します。

返される結果の値スペース:

表示/非表示

表示: ボタンがユーザーインターフェイスに表示されます。

非表示: ボタンはユーザーインターフェイスから削除されます。

例:

```
xStatus UserInterface Features Call Keypad
*s UserInterface Features Call Keypad: Visible
** end
```

xStatus UserInterface Features Call LayoutControls

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

このステータスは、会議中に [レイアウト (Layout)] ボタンをユーザーインターフェイスに表示するかどうかを報告します。

返される結果の値スペース:

表示/非表示

表示: ボタンはユーザーインターフェイスに表示されません。

非表示: ボタンがユーザーインターフェイスに表示されます。

例:

```
xStatus UserInterface Features Call LayoutControls
*s UserInterface Features Call LayoutControls: Visible
** end
```

xStatus UserInterface Features Call MidCallControls

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

このステータスは、ユーザーインターフェイスからデフォルトの [保留 (Hold)]、[転送 (Transfer)] および [通話再開 (Resume in-call)] ボタンを表示するかどうかを報告します。

返される結果の値スペース:

表示/非表示

表示: ボタンがユーザーインターフェイスに表示されます。

非表示: ボタンはユーザーインターフェイスから削除されます。

例:

```
xStatus UserInterface Features MidCallControls
*s UserInterface Features MidCallControls: Visible
** end
```

xStatus UserInterface Features Call MusicMode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

このステータスは、[音楽モード (Music Mode)] ボタンをユーザーインターフェイスに表示するかどうかを報告します。

返される結果の値スペース:

表示/非表示

表示: ボタンがユーザーインターフェイスに表示されます。

非表示: デフォルトボタンはユーザーインターフェイスに表示されません。

例:

```
xStatus UserInterface Features Call MusicMode
*s UserInterface Features Call MusicMode: Visible
** end
```

xStatus UserInterface Features Call ParticipantList

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

このステータスは、会議中に [参加者 (Participants)] ボタンをユーザーインターフェイスに表示するかどうかを報告します。

返される結果の値スペース:

表示/非表示

非表示: ボタンはユーザーインターフェイスに表示されません。

表示: ボタンがユーザーインターフェイスに表示されます。

例:

```
xStatus UserInterface Features Call ParticipantList
*s UserInterface Features Call ParticipantList: Visible
** end
```

xStatus UserInterface Features Call SelfviewControls

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

このステータスは、セルフビューコントロールがユーザーインターフェイスにあるかどうかを報告します。

このステータスは、このソフトウェアバージョンの Room 70 Panorama および Room Panorama では使用できません。

返される結果の値スペース:

表示/非表示

非表示: ユーザーインターフェイスにセルフビューコントロールを表示しません。

表示: ユーザーインターフェイスにセルフビューコントロールを表示します。

例:

```
xStatus UserInterface Features Call SelfviewControls
*s UserInterface Features Call SelfviewControls: Visible
** end
```

xStatus UserInterface Features Call Start

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

このステータスは、デフォルトの [通話 (Call)] ボタンおよび [参加者の追加 (Add participant)] ボタンがユーザーインターフェイスに表示されるかどうかを報告します。

返される結果の値スペース:

表示/非表示

表示: ボタンがユーザーインターフェイスに表示されます。

非表示: ボタンはユーザーインターフェイスから削除されます。

例:

```
xStatus UserInterface Features Call Start
*s UserInterface Features Call Start: Visible
** end
```

xStatus UserInterface Features Call VideoMute

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

このステータスは、[ビデオミュート (Video Mute)] ボタンをユーザーインターフェイスに表示するかどうかを報告します。

返される結果の値スペース:

表示/非表示

表示: ボタンがユーザーインターフェイスに表示されます。

非表示: ボタンはユーザーインターフェイスに表示されません。

例:

```
xStatus UserInterface Features Call VideoMute
*s UserInterface Features Call VideoMute: Visible
** end
```

xStatus UserInterface Features Call Webcam

適用先: RoomKitMini RoomBar BoardPro

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

このステータスは、タッチコントローラに [ラップトップから会議 (Call from laptop)] ボタンが表示されているかどうかを報告します。

返される結果の値スペース:

表示/非表示

表示: ボタンはタッチコントローラに表示されます。

非表示: ボタンはタッチコントローラに表示されません。

例:

```
xStatus UserInterface Features Call Webcam
*s UserInterface Features Call Webcam: Visible
** end
```

xStatus UserInterface Features Files Start

適用先: RoomKitMini RoomBar DeskPro DeskMini Desk Board

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

このステータスは、デフォルトの [ファイル (Files)] ボタンがユーザーインターフェイスから削除されているかどうかを報告します。

返される結果の値スペース:

表示/非表示

表示: ボタンがユーザーインターフェイスに表示されます。

非表示: ボタンはユーザーインターフェイスから削除されます。

例:

```
xStatus UserInterface Features Files Start
*s UserInterface Features Files Start: Visible
** end
```

xStatus UserInterface Features Share Start

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

このステータスは、ユーザ インターフェイスからコンテンツの共有とコール発信の両方で、コンテンツを共有およびプレビューするためのデフォルトボタンやその他の UI 要素を削除するかどうかを報告します。

返される結果の値スペース:

表示/非表示

表示: ボタンがユーザーインターフェイスに表示されます。

非表示: ボタンはユーザーインターフェイスから削除されます。

例:

```
xStatus UserInterface Features Share Start
*s UserInterface Features Share Start: Visible
** end
```

xStatus UserInterface Features Whiteboard Start

適用先: RoomKitMini DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

このステータスは、デフォルトの [ホワイトボード (Whiteboard)] ボタンがユーザ インターフェイスから削除されているかどうかを報告します。

返される結果の値スペース:

表示/非表示

表示: ボタンがユーザーインターフェイスに表示されます。

非表示: ボタンはユーザーインターフェイスから削除されます。

例:

```
xStatus UserInterface Features Whiteboard Start
*s UserInterface Features Whiteboard Start: Visible
** end
```

xStatus UserInterface LedControl Color

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

Room Navigator の壁掛けバージョンには LED ライトが付いています。このステータスは、LED ライトの状態を返します。

返される結果の値スペース:

緑/Off/赤/黄

Off: LED ライトを Off にします。

緑/赤/黄: 指定色で LED ライトを On にします。

例:

```
xStatus UserInterface LedControl Color
*s UserInterface LedControl Color: Green
** end
```

xStatus UserInterface OSD Output

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

どのモニタにオンスクリーン用の情報とインジケータ (OSD) を表示するかを示します。

返される結果の値スペース:

整数 (*Integer*)

例:

```
xStatus UserInterface OSD Output
*s UserInterface OSD Output: 1
** end
```

xStatus UserInterface SettingsMenu Visibility

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR

このステータスには、ユーザ インターフェイスの左上隅にデバイス名 (または連絡先情報) および、関連するドロップダウン メニューと設定パネルが、ユーザ インターフェイスに表示されているかどうかを報告します。

返される結果の値スペース:

表示/非表示

Visible: デバイス名、ドロップダウン メニューおよび設定パネルを、ユーザインターフェイスの左上隅に表示します。

Hidden: ドロップダウン メニューのあるデバイス名は表示されません。

例:

```
xStatus UserInterface SettingsMenu Visibility
*s UserInterface SettingsMenu Visibility: Visible
** end
```

xStatus UserInterface Translation Override Checksum

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

xcommand Translation Override Set で設定した翻訳のチェックサムを返します。
オーバーライドがない場合、チェックサムは空欄です。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus UserInterface Translation Override Checksum
*s UserInterface Translation Override Checksum:
"7be246418d4b675313eccdc267b28b7057d08f3e4fc1d172155c9f30b3b4da9b"
** end
```

xStatus UserInterface WebView [n] Status

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの *Webex Devices Cloud* xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

Web ビューが現在表示されているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

Visible/Error/NotVisible

Visible: Web ビューが表示されます。

NonVisible: Web ビューは表示されません。

Error: Web ビューの表示中にエラーが発生しました。

例:

```
xStatus UserInterface WebView
*s UserInterface WebView 8 Status: Visible
** end
```

xStatus UserInterface WebView [n] Type

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

現在表示されている Web ビューのタイプを示します。

返される結果の値スペース:

ECM/ECMSignIn/EmbeddedApp/Integration/Kiosk/None/PersistentWebApp/Signage/
WebApp/WebRTCMeeting

ECM: Web ビューは、ファイルブラウザから起動し、エンタープライズコンテンツ管理 (ECM) サービスでホストされているファイルを閲覧します。

ECMSignIn: Web ビューはシステムによって起動され、ECM サービスでユーザー (OAuth2) を認証します。

Integration: Web ビューは、UserInterface WebView Display API コマンドによって起動されます。

Kiosk: Web ビューは、キオスクアプリケーションによって使用されます。

None: Web ビューは、表示されません。

PersistentWebApp: Web ビューは、永続的な Web アプリに対して使用されます。

Signage: Web ビューは、デジタル サイネージ アプリケーションに対して使用されます。

WebApp: Web ビューは、Web アプリに対して使用されます。

WebRTCMeeting: Web ビューは、WebRTC Meeting に対して使用されます (レイアウト: Google Meet や Microsoft Teams)。

例:

```
xStatus UserInterface WebView
*s UserInterface WebView 8 Type: Integration
** end
```

xStatus UserInterface WebView [n] URL

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

現在表示されている Web ビューの URL を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus UserInterface WebView
*s UserInterface WebView 8 URL: "http://www.yr.no/"
** end
```

Video ステータス

xStatus Video ActiveSpeaker PIPPosition

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

画面上での通話中のスピーカーの画像の位置を示します。

返される結果の値スペース:

CenterLeft/CenterRight/DockCenterLeft/DockLowerLeft/LowerLeft/LowerRight/
UpperCenter/UpperLeft/UpperRight

例:

```
xStatus Video ActiveSpeaker PIPPosition
*s Video ActiveSpeaker PIPPosition: UpperCenter
** end
```

xStatus Video Input AirPlay Activity

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

AirPlay アクティビティ、つまり、ビデオデバイスで表示/再生される AirPlay コンテンツの種類を報告します。

返される結果の値スペース:

Audio/Curtain/Idle/Screen/Settings/Video

Audio: デバイスがオーディオを再生しています。

Curtain: デバイスが AirPlay ホームページを表示しています。

Idle: AirPlay は現在使用されていません。

Screen: Apple デバイスが画面をビデオデバイスに共有しています (画面のミラーリング)。

Settings: デバイスが、AirPlay ホームページからアクセスできるページの 1 つを表示していません ([カーテン (Curtain)] サブメニュー)。

Video: デバイスは、ビデオを再生しています。

例:

```
xStatus Video Input AirPlay Activity
*s Video Input AirPlay Activity: Curtain
** end
```

xStatus Video Input AirPlay Status

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

AirPlay サービスの状態を報告します。

返される結果の値スペース:

Active/Disabled/Error/Off/Starting/Stopped

Active: AirPlay が使用されています (Video Input AirPlay Mode が On で、UI の AirPlay メニューで AirPlay が Off になっていません)。

Disabled: UI の AirPlay メニューから AirPlay が無効になっています。

Error: AirPlay の起動中にエラーが発生しました。

Off: AirPlay が Off になっています (Video Input AirPlay Mode が Off になっています)。

Starting: AirPlay を起動しています。

Stopped: AirPlay は現在停止しています。無効でも Off でもなく、単に使用されていないだけです。

例:

```
xStatus Video Input AirPlay Status
*s Video Input AirPlay Status: Active
** end
```

xStatus Video Input Connector [n] Connected

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

指定したコネクタに接続されているものがあるかどうかを示します。すべての接続を検出することはできません。

返される結果の値スペース:

False/True/Unknown

例:

```
xStatus Video Input Connector 1 Connected
*s Video Input Connector 1 Connected: True
** end
```

xStatus Video Input Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] DeviceType

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

接続されている入力デバイスの種類を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Video Input Connector 2 ConnectedDevice CEC 5 DeviceType
*s Video Input Connector 2 ConnectedDevice CEC 5 DeviceType: "Playback"
** end
```

xStatus Video Input Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] LogicalAddress

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

接続されている入力デバイスの CEC 論理アドレスを表示します。アドレスは 0 に固定されています。

返される結果の値スペース:

整数 (*Integer*)

例:

```
xStatus Video Input Connector 1 ConnectedDevice CEC 1 LogicalAddress
*s Video Input Connector 1 ConnectedDevice CEC 1 LogicalAddress: 0
** end
```

xStatus Video Input Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] Name

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

接続されている入力デバイスの名前を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Video Input Connector 2 ConnectedDevice CEC 5 Name
*s Video Input Connector 2 ConnectedDevice CEC 5 Name: "Device-2"
** end
```

xStatus Video Input Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] PowerStatus

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

HDMI 入力に接続されている CEC 対応デバイスの状態を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Video Input Connector 2 ConnectedDevice CEC 5 PowerStatus
*s Video Input Connector 2 ConnectedDevice CEC 5 PowerStatus: "Standby"
** end
```

xStatus Video Input Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] VendorId

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

接続されている入力デバイスのベンダー ID を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Video Input Connector 2 ConnectedDevice CEC 5 VendorId
*s Video Input Connector 2 ConnectedDevice CEC 5 VendorId: "20576"
** end
```

xStatus Video Input Connector [n] SignalState

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

デバイスが指定された入力で入力信号を検出したかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

NotFound/OK/Unknown/Unstable/Unsupported

NotFound: デバイスは入力信号を検出しません。通常、これはケーブルが接続されていない場合、または接続されたソースがビデオを出力しない場合です。

OK: デバイスは有効なビデオ入力信号を検出し、信号フォーマットのサポートは Video Input Source [n] FormatStatus ステータスで報告されます。

Unstable: デバイスは不安定な信号を検出します。通常、これは、ケーブルを接続した後、つまりハードウェアがビデオ形式を検出しようとしている間、数秒間発生します。この値は、デバイスが信号形式を判別できない場合、または信号形式が一貫していない場合にも返されます。

例:

```
xStatus Video Input Connector 1 SignalState
*s Video Input Connector 1 SignalState: OK
** end
```

xStatus Video Input Connector [n] SourceId

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

コネクタが関連付けられている入力ソースの識別子を表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Video Input Connector 1 SourceId
*s Video Input Connector 1 SourceId: 1
** end
```

xStatus Video Input Connector [n] Type

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

コネクタ タイプを表示します。

返される結果の値スペース:

```
Camera/3G-SDI/HD-SDI/HDMI/USB/USBC-DP/Unknown
```

例:

```
xStatus Video Input Connector 1 Type
*s Video Input Connector 1 Type: HDMI
** end
```

xStatus Video Input DirectShare [n] Peer Address

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

接続された直接共有ピアの IP アドレスを表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Video Input DirectShare 27 Peer Address
*s Video Input DirectShare 27 Peer Address: xxx.xxx.xx.xx
** end
```

xStatus Video Input DirectShare [n] Peer PeripheralID

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

問題の直接共有ピアの一意的識別子を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Video Input DirectShare 27 Peer PeripheralID
*s Video Input DirectShare 27 Peer PeripheralID: byod-5
** end
```

xStatus Video Input DirectShare [n] Type

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

直接共有ピアのタイプを示します。

返される結果の値スペース:

プロキシミティ

Proximity: 近接接続による共有。

例:

```
xStatus Video Input DirectShare 27 Type
*s Video Input DirectShare 27 Type: Proximity
** end
```

xStatus Video Input MainVideoMute

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの *Webex Devices Cloud xAPI* サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

メイン ビデオの送信が、Video Input MainVideo Mute コマンド (または、ユーザ インターフェイスの [ビデオを停止 (Turn video off)]) がある場合) で停止されているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

On/Off

On: ビデオが停止されました。

Off: ビデオは停止されていません。

例:

```
xStatus Video Input MainVideoMute
* s Video Input MainVideoMute: Off
** end
```

xStatus Video Input MainVideoSource

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

現在メイン ソースとして使用されているローカル ビデオ入力を返します。メイン ソースが複数のローカル入力で構成されている場合、値 `Composed` が返されます。デフォルトのメイン ビデオ ソースは `xConfiguration Video DefaultMainSource` コマンドで設定されます。 `xCommand Video Input SetMainVideoSource` を使用して変更できます。

返される結果の値スペース:

`1/2/3/4/5/6/Composed`

例:

```
xStatus Video Input MainVideoSource
*s Video Input MainVideoSource: 1
** end
```

xStatus Video Input Miracast Channel

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

送信側デバイス (通常、会議参加者のラップトップ) とビデオ会議デバイス間の直接接続に、Miracast がどの Wi-Fi チャンネルを使用しているかを報告します。

Miracast が有効になっていない場合、ステータスは「-1」を返します。詳細については、「Video Input Miracast Mode 設定」を参照してください。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Video Input Miracast Channel
*s Video Input Miracast Channel: 1
** end
```

xStatus Video Input Miracast PinAttemptsLeft

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

Miracast 共有を開始するとき、ユーザーはラップトップで個人識別番号コードを入力する必要があります。このステータスは、Miracast の個人識別番号認証が所定の期間ブロックされるまでの試行回数を示します。有効な個人識別番号コードが入力されると、カウンタがリセットされます。試行の連続した失敗が多いほど、ブロック期間は長くなります。

ブロックされた場合、デバイス画面のポップアップまたは [設定 (Settings)] メニューから個人識別番号認証を再度有効にすることができます。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Video Input Miracast PinAttemptsLeft
*s Video Input Miracast PinAttemptsLeft: 7
** end
```

xStatus Video Input Miracast Status

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

送信側デバイス (通常、会議参加者のラップトップ) とビデオ会議デバイス間で、Miracast 用の直接 Wi-Fi 接続が確立されたか、または確立できるかを報告します。詳細については、「Video Input Miracast Mode 設定」を参照してください。

返される結果の値スペース:

Started/Stopped

Started: Miracast が有効で、2 つのデバイス間の直接 Wi-Fi 接続が確立されているか、確立される可能性があります。デバイスは、Miracast ビーコンを送信します。

Stopped: Miracast が無効になっているため、2 つのデバイス間の直接 Wi-Fi 接続は不可能です。デバイスが Miracast ビーコンを送信しない

例:

```
xStatus Video Input Miracast Status
*s Video Input Miracast Status: Started
** end
```

xStatus Video Input Source [n] ConnectorId

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

入力ソースに関連付けられたコネクタの識別子を表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (*Integer*)

例:

```
xStatus Video Input Source 1 ConnectorId
*s Video Input Source 1 ConnectorId: 1
** end
```

xStatus Video Input Source [n] FormatStatus

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

指定されたビデオ入力信号のビデオ フォーマット ステータスとサポートを表示します。Ok のみが有効でサポートされているビデオ入力形式を示します。他のすべての状態はエラーを示します。

返される結果の値スペース:

Ok/OutOfRange/NotFound/Interlaced/Error/Unknown

OK: ビデオ入力フォーマットはサポートされています。解像度とフレームレートは、Video Input Source [n] Resolution ステータスで報告されます。

OutOfRange: ビデオ入力形式は、指定された入力に対してデバイスがサポートするよりも高い解像度またはフレームレート (あるいはその両方) です。すべてのビデオ入力コネクタがこのタイプのエラーを報告できるわけではありません。

Interlaced: ビデオ入力形式はインターレースされており、サポートされていません。デバイスは、プログレッシブ形式のみをサポートします。すべてのビデオ入力コネクタがこのタイプのエラーを報告できるわけではありません。

NotFound: 指定された入力にビデオフォーマットがありません。欠落している理由については、「Video Input Connector [n] SignalState ステータス」を参照してください。

Error: ビデオ入力フォーマットにエラーがあります。これは、ビデオ入力信号が不安定な場合 (SignalState: Unstable) またはビデオ入力信号フォーマットを判別できない場合 (および他のエラー状態のいずれも使用できない場合) に該当します。

例:

```
xStatus Video Input Source 1 FormatStatus
*s Video Input Source 1 FormatStatus: Ok
** end
```

xStatus Video Input Source [n] MediaChannelId

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

シスコ内部使用のみ。

返される結果の値スペース:

整数 (*Integer*)

例:

```
xStatus Video Input Source MediaChannelId
*s Video Input Source 1 MediaChannelId: 2
*s Video Input Source 2 MediaChannelId: 3
** end
```

xStatus Video Input Source [n] Resolution Height

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

ビデオ入力ソースの解像度の高さ (ピクセル単位) を示します。

返される結果の値スペース:

0 ~ 3000

例:

```
xStatus Video Input Source 1 Resolution Height
*s Video Input Source 1 Resolution Height: 1080
** end
```

xStatus Video Input Source [n] Resolution RefreshRate

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

ビデオ入力ソースの解像度のリフレッシュ レート (Hz) を示します。

返される結果の値スペース:

0 ~ 300

例:

```
xStatus Video Input Source 1 Resolution RefreshRate
*s Video Input Source 1 Resolution RefreshRate: 50
** end
```

xStatus Video Input Source [n] Resolution Width

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

ビデオ入力ソースの解像度の幅 (ピクセル単位) を示します。

返される結果の値スペース:

0 ~ 4000

例:

```
xStatus Video Input Source 1 Resolution Width
*s Video Input Source 1 Resolution Width: 1920
** end
```

xStatus Video Layout CurrentLayouts ActiveLayout

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

ローカル画面で現在使用されているレイアウトファミリー名を返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Video Layout CurrentLayouts ActiveLayout
*s Video Layout CurrentLayouts ActiveLayout: "Prominent"
** end
```

xStatus Video Layout CurrentLayouts AvailableLayouts [n] LayoutName

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

ローカル画面で現在使用可能なすべてのレイアウトファミリー名を一覧表示します。参加者数と共有コンテンツの存在が変化すると、ステータスが動的に更新されます。レイアウトファミリーがリストに含まれている場合は、Video Layout SetLayout コマンドで変更することができます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Video Layout CurrentLayouts AvailableLayouts LayoutName
*s Video Layout CurrentLayouts AvailableLayouts 1 LayoutName: "Prominent"
*s Video Layout CurrentLayouts AvailableLayouts 2 LayoutName: "Grid"
*s Video Layout CurrentLayouts AvailableLayouts 3 LayoutName: "Focus"
*s Video Layout CurrentLayouts AvailableLayouts 4 LayoutName: "Overlay"
** end
```

xStatus Video Layout CurrentLayouts DefaultLayout

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

トランスコードされていない会議のデフォルトとしてローカル画面で使用されるレイアウトファミリーを返します。デフォルトのレイアウトファミリーは、Video DefaultLayoutFamily Local 構成で設定されます。この構成が [自動 (Auto)] に設定されている場合、ステータスには、解決される実際のレイアウトファミリーが表示されます。これは、部屋の設定でレイアウトが異なる画面数と、画面がプレゼンテーション用に予約されているかどうかによって決まります (「Video Monitors 設定」を参照)。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Video Layout CurrentLayouts DefaultLayout
*s Video Layout CurrentLayouts DefaultLayout: "Prominent"
** end
```

xStatus Video Layout LayoutFamily Local

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

ローカルの画面レイアウト ファミリを表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Video Layout LayoutFamily Local
*s Video Layout LayoutFamily Local: "equal"
** end
```

xStatus Video Layout LayoutFamily Remote

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

リモートの画面レイアウト ファミリを表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Video Layout LayoutFamily Remote
*s Video Layout LayoutFamily Remote: "equal"
** end
```

xStatus Video Monitors

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

モニタのレイアウト モードを返します。

返される結果の値スペース:

Single/Dual/DualPresentationOnly/Triple/TriplePresentationOnly

Single: 同じレイアウトがすべてのモニタに表示されます。

Dual: レイアウトは 2 台のモニタに分散されます。

DualPresentationOnly: 最初のモニタにはコールのすべての参加者、2 番目のモニタにはプレゼンテーション (存在する場合) が表示されます。

Triple: レイアウトは 3 台のモニタに分散されます。

TriplePresentationOnly: 1 番目と 2 番目のモニタにはコールのすべての参加者が、3 番目のモニタにはプレゼンテーション (存在する場合) が表示されます。

例:

```
xStatus Video Monitors
*s Video Monitors: Single
** end
```

xStatus Video Output Connector [n] Connected

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

デバイス (ディスプレイなど) が出力コネクタに接続されているかどうかを示します。ディスプレイがスタンバイ モードになると、ビデオ会議デバイスでは検出できない可能性があります。ディスプレイが物理的に接続されていても、コネクタのステータスでは False または Unknown が返されます。

返される結果の値スペース:

true/false (True/False)

True: デバイスはビデオ出力コネクタに接続されています。

False: ビデオ出力コネクタには何も接続されていません。

例:

```
xStatus Video Output Connector 1 Connected
*s Video Output Connector 1 Connected: True
** end
```

xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] DeviceType

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

ビデオ会議デバイスが検出した、HDMI に接続されている CEC 対応デバイスのタイプを示します。この情報は、HDMI 出力に接続されたデバイスで CEC 機能が設定されており、ビデオ会議デバイスの構成で xConfiguration Video Output Connector [n] CEC Mode がオンに設定されている場合にのみ入手できます。

返される結果の値スペース:

Unknown/TV/Reserved/Recorder/Tuner/Playback/Audio

例:

```
xStatus Video Output Connector 1 ConnectedDevice CEC DeviceType
*s Video Output Connector 1 ConnectedDevice CEC DeviceType: TV
** end
```

xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] LogicalAddress

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

デバイスの CEC 論理アドレスを表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Video Output Connector 1 ConnectedDevice CEC 1 LogicalAddress
*s Video Output Connector 1 ConnectedDevice CEC 1 LogicalAddress: 4
** end
```

xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] Name

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

接続デバイスの名前を返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Video Output Connector 1 ConnectedDevice CEC Name
*s Video Output Connector 1 ConnectedDevice CEC 1 Name: "LG SIGNAGE TV"
** end
```

xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] PowerStatus

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

HDMI 出力に接続している CEC 対応デバイスのステータスを示します。

この情報は、HDMI 出力に接続されたデバイスで CEC 機能が設定されており、ビデオ会議デバイスの構成で xConfiguration Video Output Connector CEC Mode がオンに設定されている場合にのみ入手できます。

返される結果の値スペース:

Unknown/Ok/In progress/Failed to power on/Failed to standby

例:

```
xStatus Video Output Connector 1 ConnectedDevice CEC PowerStatus
*s Video Output Connector 1 ConnectedDevice CEC PowerStatus: Ok
** end
```

xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] VendorId

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

接続デバイスのベンダー ID を返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Video Output Connector 1 ConnectedDevice CEC VendorId
*s Video Output Connector 1 ConnectedDevice CEC 1 VendorId: "57489"
** end
```

xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice Name

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

モニタ EDID で定義された HDMI ポートに接続されたモニタの名前を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Video Output Connector 1 ConnectedDevice Name
*s Video Output Connector 1 ConnectedDevice Name: "G2420HDBL"
** end
```

xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice PreferredFormat

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

HDMI ポートに接続されているモニタの優先入力形式 (モニタ EDID で定義) を示します。これは、必ずしもビデオ会議デバイスが送信している形式ではありません。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Video Output Connector 1 ConnectedDevice PreferredFormat
*s Video Output Connector 1 ConnectedDevice PreferredFormat: "1920x1080@60Hz"
** end
```

xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice ScreenSize

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

接続デバイスの画面サイズをインチ単位で表示します。この情報を入手できない場合、デフォルト値は 0 に設定されます。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Video Output Connector 1 ConnectedDevice ScreenSize
*s Video Output Connector 1 ConnectedDevice ScreenSize: 55
** end
```

xStatus Video Output Connector [n] Connected

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

デバイス (ディスプレイなど) が出力コネクタに接続されているかどうかを示します。ディスプレイがスタンバイ モードになると、ビデオ会議デバイスでは検出できない可能性があります。ディスプレイが物理的に接続されていても、コネクタのステータスでは False または Unknown が返されます。

返される結果の値スペース:

true/false (True/False)

True: デバイスはビデオ出力コネクタに接続されています。

False: ビデオ出力コネクタには何も接続されていません。

例:

```
xStatus Video Output Connector 1 Connected
*s Video Output Connector 1 Connected: True
** end
```

xStatus Video Output Connector [n] HDCP State

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

ステータスは、出力が HDCP をサポートしているかどうかを報告し、サポートしている場合は、接続された画面への HDCP リンクの状態を報告します。

返される結果の値スペース:

Authenticated/Inactive/Unauthenticated/Unsupported

Authenticated: HDCP リンクが確立されており、リンクは安定しています。コネクタは、HDCP で保護されたコンテンツを送信できます。

Inactive: コネクタは HDCP をサポートしている可能性がありますが、現在 HDCP で保護されたコンテンツを許可しないように構成されています (「Video Output Connector [n] HDCPPolicy 設定を参照」)。

Unauthenticated: コネクタは HDCP で保護されたコンテンツを許可するように設定されていますが、コネクタに画面が接続されていないか、デバイスが画面へのリンクを確立中です。リンクが不安定な場合、デバイスはこの状態のままになるか、[非アクティブ (Inactive)] に戻る可能性があります。

Unsupported: コネクタは HDCP をサポートしていないため、サポートするように設定できません。

例:

```
xStatus Video Output Connector 2 HDCP State
*s Video Output Connector 2 HDCP State: Unauthenticated
** end
```

xStatus Video Output Connector [n] MonitorRole

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

ビデオ出力コネクタに接続しているデバイスで表示するビデオ ストリームを示します。

返される結果の値スペース:

First/Second/Third/PresentationOnly/Recorder

First/Second/Third: マルチモニタ設定でのモニタのロール。シングルモニタ設定では、First、Second、および Third の間に違いはありません。

PresentationOnly: プレゼンテーション ビデオ ストリーム (アクティブな場合) を表示します。

Recorder: ローカル メイン ビデオを含めて、すべての参加者を表示します。アクティブであれば、プレゼンテーションも表示されます。

例:

```
xStatus Video Output Connector 1 MonitorRole
*s Video Output Connector 1 MonitorRole: First
** end
```

xStatus Video Output Connector [n] Resolution Height

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

ビデオ出力コネクタの解像度の高さ (ピクセル単位) を表示します。

返される結果の値スペース:

120 ~ 3000

例:

```
xStatus Video Output Connector 1 Resolution Height
*s Video Output Connector 1 Resolution Height: 1080
** en
```

xStatus Video Output Connector [n] Resolution RefreshRate

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

ビデオ出力コネクタの解像度のリフレッシュ レート (Hz) を表示します。

返される結果の値スペース:

1 ~ 300

例:

```
xStatus Video Output Connector 1 Resolution RefreshRate
*s Video Output Connector 1 Resolution RefreshRate: 60
** end
```

xStatus Video Output Connector [n] Resolution Width

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

ビデオ出力コネクタの解像度の幅 (ピクセル単位) を表示します。

返される結果の値スペース:

176 ~ 4000

例:

```
xStatus Video Output Connector 1 Resolution Width
*s Video Output Connector 1 Resolution Width: 1920
** end
```

xStatus Video Output Connector [n] Type

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

コネクタのタイプを示します。

返される結果の値スペース:

HDMI/Internal/LCD/Legacy/USBC-D

例:

```
xStatus Video Output Connector 1 Type
*s Video Output Connector 1 Type: HDMI
** end
```

xStatus Video Output HDMI Passthrough Status

適用対象: [RoomKit](#) [CodecPlus](#) [CodecPro](#) [Room55](#) [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

HDMI-to-USB コンバータが接続されている HDMI 出力のマイクとカメラからオーディオとビデオをストリーミングするようにデバイスが設定されているかどうかを報告します (「Video Output HDMI Passthrough OutputConnector 設定」を参照)。Video Output HDMI Passthrough Start/Stop コマンドによりステータスが変化します。

このステータスは、[ラップトップから会議 (Call from laptop)] 機能に関連しています。詳細については、「Video Output HDMI Passthrough Allowed 構成」を参照してください。

このステータスは、Room 55 Dual および Room 70 Dual には適用されません。

返される結果の値スペース:

Active/Inactive

Active: デバイスは、関連する HDMI 出力でオーディオまたはビデオをストリーミングするように設定されています。

Inactive: デバイスは、関連する HDMI 出力でオーディオまたはビデオをストリーミングするように設定されていません。

例:

```
xStatus Video Output HDMI Passthrough Status
*s Video Output HDMI Passthrough Status: Active
** end
```

xStatus Video Output Monitor [n] Backlight

適用先: [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#) [DeskPro](#) [Board](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

統合画面のバックライトレベルを返します。レベルは、xCommand Video Output Monitor Backlight Set で設定します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Video Output Monitor 1 Backlight
*s Video Output Monitor 1 Backlight: 80
** end
```

xStatus Video Output Monitor [n] Calibrated

適用対象: [RoomPanorama/Room70Panorama](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

ディスプレイの校正ステータスを表示します。

返される結果の値スペース:

true/false (True/False)

True: ディスプレイは調整されています。

False: ディスプレイは調整されていません。

例:

```
xStatus Video Output Monitor 1 Calibrated
*s Video Output Monitor 1 Calibrated: True
** end
```

xStatus Video Output Monitor [n] ColorTemperature Selected

適用先: [Room70/Room55D](#) [Room70G2](#) [RoomPanorama/Room70Panorama](#)

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

xCommand Video Output Monitor Color Select で設定された、モニタの色温度を返します。

返される結果の値スペース:

4900/5500/6500/7200/9300/10500/12000/User

例:

```
xStatus Video Output Monitor 1 ColorTemperature Selected
*s Video Output Monitor 1 ColorTemperature Selected: 6500
** end
```

xStatus Video Output Monitor [n] Configured

適用対象: [RoomPanorama/Room70Panorama](#)

必要なユーザー ロール: ADMIN, USER

ディスプレイの構成ステータスを表示します。

返される結果の値スペース:

true/false (True/False)

True: ディスプレイは構成されています。

False: ディスプレイは構成されていません。

例:

```
xStatus Video Output Monitor 1 Configured
*s Video Output Monitor 1 Configured: True
** end
```

xStatus Video Output Monitor [n] FirmwareVersion

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

モニタのファームウェア バージョンを示します。このステータス フィールドは、サポートされている LG モニタに接続しているときのみ入力されます。

返される結果の値スペース:

文字列

モニタのファームウェア バージョン。

例:

```
xStatus Video Output Monitor 1 FirmwareVersion
*s Video Output Monitor 1 FirmwareVersion: ""
** end
```

xStatus Video Output Monitor [n] IpAddress

適用対象: RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

ディスプレイの IP アドレスを表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Video Output Monitor 1 IpAddress
*s Video Output Monitor 1 IpAddress: "xxxxxxxxx"
** end
```

xStatus Video Output Monitor [n] Manufacturer

適用対象: RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

ディスプレイの製造業者を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Video Output Monitor 1 Manufacturer
*s Video Output Monitor 1 Manufacturer: "CompanyName"
** end
```

xStatus Video Output Monitor [n] MDC Id

適用対象: RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

ディスプレイの MDC Id を表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Video Output Monitor 1 MDC Id
*s Video Output Monitor 1 MDC Id: xxxxxxxx
** end
```

xStatus Video Output Monitor [n] MDC Port

適用対象: RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

ディスプレイの MDC ポートを表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Video Output Monitor 1 MDC Port
*s Video Output Monitor 1 MDC Port: xxxxxxxx
** end
```

xStatus Video Output Monitor [n] ModelName

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

モニタのモデル名を示します。このステータス フィールドは、サポートされている LG モニタに接続しているときのみ入力されます。

返される結果の値スペース:

文字列

モニタのモデル名。

例:

```
xStatus Video Output Monitor 1 ModelName
*s Video Output Monitor 1 ModelName: ""
** end
```

xStatus Video Output Monitor [n] Position

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

モニタが左右どちらに配置されているかを示します。デュアル スクリーン デバイスだけに適用されます。

返される結果の値スペース:

Left/Right

例:

```
xStatus Video Output Monitor 1 Position
*s Video Output Monitor 1 Position: Left
** end
```

xStatus Video Output Monitor [n] SerialNumber

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

モニタのシリアル番号を示します。このステータス フィールドは、サポートされている LG モニタに接続しているときのみ入力されます。

返される結果の値スペース:

文字列

モニタのシリアル番号。

例:

```
xStatus Video Output Monitor 1 SerialNumber
*s Video Output Monitor 1 SerialNumber: ""
** end
```

xStatus Video Output Monitor [n] Temperature

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

モニタの温度を示します。このステータス フィールドは、サポートされている LG モニタに接続しているときのみ入力されます。

返される結果の値スペース:

Normal/High

Normal: モニタの温度は正常です。

High: モニタの温度が高すぎます。

例:

```
xStatus Video Output Monitor 1 Temperature
*s Video Output Monitor 1 Temperature: Normal
** end
```

xStatus Video Output Webcam Mode

適用先: [RoomKitMini](#) [RoomBar](#) [DeskPro](#) [DeskMini](#) [Desk](#) [BoardPro](#)

パーソナルモードデバイスの [Webex Devices Cloud xAPI](#) サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

システムを Web カメラとして使用するには、USB 接続を確立する必要があります。このステータスは、USB 接続の現在のステータスと、オーディオまたはビデオがストリーミングされているかどうかを示します。「ビデオストリーミング」とは、デバイスのカメラによってキャプチャされたフレームが、ビデオストリームとして USB 接続を介して継続的に送信されることを意味します。

返される結果の値スペース:

Connected/Disconnected/Streaming/StreamingAudioOnly

Connected: USB 接続は確立されていますが、コンテンツはストリーミングされていません。

Disconnected: USB 接続が確立されていません。

Streaming: ビデオがストリーミングされています。

StreamingAudioOnly: ビデオはストリーミングされていませんが、オーディオはストリーミングされています。

例:

```
xStatus Video Output Webcam Mode
*s Video Output Webcam Mode: StreamingAudioOnly
** end
```

xStatus Video Output Webcam Status

適用先: RoomKitMini RoomBar DeskPro DeskMini Desk BoardPro

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

このステータスは、デバイスが現在 Web カメラとして動作しているかどうかを示します。Web カメラとして動作している場合、デバイスはサイレントモードに設定されます。

Room Kit Mini では、Video Output Webcam USBMode 設定を使用して、ビデオを接続するとき、またはビデオのストリーミングを開始するときに、USB モード (およびサイレントモード) にするかどうかを制御できます。他のデバイスでは、ビデオが USB 接続を介してストリーミングされている場合のみ、このステータスになります。

返される結果の値スペース:

Active/Inactive

例:

```
xStatus Video Output Webcam Status
*s Video Output Webcam Status: Inactive
** end
```

xStatus Video Presentation PIPPosition

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

画面上のプレゼンテーション画像の位置を表示します。

返される結果の値スペース:

*CenterLeft/CenterRight/DockCenterLeft/DockLowerLeft/LowerLeft/LowerRight/
UpperCenter/UpperLeft/UpperRight*

例:

```
xStatus Video Presentation PIPPosition
*s Video PIP Presentation Position: CenterLeft
** end
```

xStatus Video Selfview FullscreenMode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

セルフビューがフル スクリーン モードで設定されているかどうかを表示します。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus Video Selfview FullscreenMode
*s Video Selfview FullscreenMode: Off
** end
```

xStatus Video Selfview Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

セルフビュー モードがオンに設定されているかどうかを表示します。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus Video Selfview Mode
*s Video Selfview Mode: Off
** end
```

xStatus Video Selfview OnMonitorRole

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

セルフビューを含むモニタ (存在する場合) を識別します。

返される結果の値スペース:

First/Second/Third

例:

```
xStatus Video Selfview OnMonitorRole
*s Video Selfview OnMonitorRole: First
** end
```

xStatus Video Selfview PIPPosition

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

画面上のセルフビュー画像の位置を表示します。

返される結果の値スペース:

```
CenterLeft/CenterRight/DockCenterLeft/DockLowerLeft/LowerLeft/LowerRight/  
UpperCenter/UpperLeft/UpperRight
```

例:

```
xStatus Video Selfview PIPPosition  
*s Video Selfview PIPPosition: LowerRight  
** end
```

WebEngine ステータス

xStatus WebEngine の機能の表示

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

デジタル サイネージ機能が有効になっているかどうか報告されます。有効 (On) になるのは、WebEngine Mode と Standby Signage Mode の両方の設定がオンになっている場合のみです。

返される結果の値スペース:

```
On/Off
```

例:

```
xStatus WebEngine の機能の表示  
* s WebEngine 機能の看板: On  
** end
```

xStatus WebEngine Features WebEngine

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

Web エンジンが有効であるかどうかを報告します。これは、WebEngine Mode 設定がオンの場合に有効 (On) になっています。

返される結果の値スペース:

```
On/Off
```

例:

```
xStatus WebEngine Features WebEngine  
* s WebEngine Features WebEngine: On  
** end
```

xStatus WebEngine Features WebRTC

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

デバイスで WebRTC が有効になっているかどうかを示します。

WebRTC を介して、Webex デバイスとパーソナルモードのデバイスを使用する参加者は、WebRTC 会議 (Microsoft Teams や Google Meet など) に招待されたときに、ワンボタン機能 (OBTP) を使用してデバイスから直接会議に参加できます。

返される結果の値スペース:

Off/On

例:

```
xStatus WebEngine Features WebRTC
*s WebEngine Features WebRTC: On
** end
```

Webex ステータス

xStatus Webex DeveloperId

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

この ID は、developer.webex.com を介してデバイスに cloud xAPI コールを送信するために使用できます。

cloud xAPI を使用すると、Webex クラウドサービスまたはオンプレミスサービスに登録され、Webex Edge for Devices にリンクされているデバイスにコマンドとステータスリクエストを送信できます。ほとんどの xAPI リクエストには、このステータスを使用して取得できる deviceId が必要です。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Webex DeveloperId
*s Webex DeveloperId: "*****"
** end
```

xStatus Webex DevicePersonalization Hotdesking SessionStatus

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

このステータスは、ホットデスクングが設定されているデバイスに適用されます。デバイスが予約されているかどうかを報告します。

返される結果の値スペース:

Available/Reserved

例:

```
xStatus Webex DevicePersonalization Hotdesking SessionStatus
*s Webex DevicePersonalization Hotdesking SessionStatus: Reserved
** end
```

xStatus Webex Meetings JoinProtocol

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

デバイスが Webex クラウドサービスを使用して Webex Meetings に参加できるかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

SIP/Webex

SIP: デバイスは常にオンプレミスのインフラストラクチャを使用して会議を行います。会議プロトコルは SIP です。

Webex: すべての要件が満たされている場合、デバイスは Webex クラウドサービスを使用して会議を行います。(「Webex Meetings JoinProtocol 設定」を参照)。そうでない場合は、会議プロトコルは SIP です。

例:

```
xStatus Webex Meetings JoinProtocol
*s Webex Meetings JoinProtocol: SIP
** end
```

xStatus Webex Services Proximity GuestToken

適用対象: すべての製品

パーソナルモードデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは使用できません。

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

devices.webex.com で使用できるデバイス固有のコードを提供します。コードは定期的に変更されることに注意してください。

ステータスは、クラウドに登録されたデバイスでのみ使用できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Webex Services Proximity GuestToken
*s Webex Services Proximity GuestToken: "6K2-WEC-7UZ"
** end
```

xStatus Webex status

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

デバイスと Webex クラウドサービス間の接続ステータスを報告します。サービスが起動して実行されている場合、ステータス レポートが登録されます。デバイスが CUCM または VCS などのオンプレミス サービスに登録されている場合、ステータス レポートは無効になります。

返される結果の値スペース:

Disabled/Error/登録/登録/停止

例:

```
xStatus Webex status
*s Webex Status: Disabled
** end
```

WebRTC ステータス

xStatus WebRTC Provider GoogleMeet Availability

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

デバイスが [GoogleMeet] ボタンまたは会議招待から GoogleMeet 会議に参加できるかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

使用可能/使用不可

例:

```
xStatus WebRTC Provider GoogleMeet Availability
*s WebRTC Provider GoogleMeet Availability: Available
** end
```

xStatus WebRTC Provider MicrosoftTeams Availability

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、USER

[MSTeams] ボタンまたは会議招待から、デバイスが Microsoft Teams 会議に参加できるかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

使用可能/使用不可

例:

```
xStatus WebRTC Provider MicrosoftTeams Availability
*s WebRTC Provider MicrosoftTeams Availability: Available
** end
```

第 6 章

コマンドの概要

サポートされているコマンド マトリックス

ここでは RoomOS 11.1 を実行するデバイスでサポートされている構成、コマンド、およびステータスの完全なリストを示したテーブルを確認できます。

設定	488
コマンド	510
ステータス	526

テーブルの詳細について

1. 設定、ステータス、またはコマンドをサポートしているデバイス

すべてのタイプのデバイスでサポートされているエントリもあれば、より小さいサブセットについてのみ存在するエントリもあります。

デバイスは、次のとおりです。

- Desk series : Desk Pro, Desk, Desk Mini
- Room Series : Codec EQ, Codec Pro, Codec Plus, Room Bar, Room Kit, Room Kit Mini, Room 55, Room 55 Dual, Room 70, Room 70 G2, Room Panorama, Room 70 Panorama
- Board series : Board 55/55S/70/70S/85S および Board Pro 55/75

2. 設定、ステータス、またはコマンドをサポートしているコール サービス

API で使用できる設定、コマンド、およびステータスの一部は、オンプレミスの登録済みデバイスにのみ適用されます。これらは、Webex に登録されているデバイスには適用されません。これらの項目は、「オンプレミスのみ」でマークされています。

適用できない構成、コマンド、ステータスの中には、H.323、SIP、NTP、Cisco Unified Communications Manager、LDAP、近接、および遠端カメラ制御に関連するすべてのものが含まれます。

3. 各設定、ステータス、またはコマンドにアクセスする方法

Configurations : デバイスの Web インターフェイスからすべての構成にアクセスできます。サブセットは、デバイスの API の一部でもあります。

Commands : デバイスの API からのみコマンドを発行できます。

Statuses : デバイスの API から一覧されたステータスをリクエストできます。デバイスの Web インターフェイスからすべてのステータスにアクセスできます。

4. 設定、ステータス、またはコマンドを使用するために必要なユーザー ロール

1 つのユーザ アカウントは、以下の 1 つのユーザ ロールまたは複数の組み合わせを保持できます。

- ADMIN (A)
- AUDIT (Au)
- INTEGRATOR (I)
- ROOMCONTROL (R)
- USER (U)

設定	Desk Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Kit	Room Kit Mini	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board 55/55S、70/70S-g1、85S	Board Pro 55/75	オンプレミスのみ	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
Apps WallpaperBundles HalfwakeImage	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Audio DefaultVolume	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I U
Audio Input ARC [n] Mode	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	X	X	-	-	-	-	Web、API	A I
Audio Input Ethernet [n] Channel [1..8] Level	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	-	-	-	Web、API	A I
Audio Input Ethernet [n] Channel [1..8] Gain	-	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web、API	A I
Audio Input Ethernet [n] Channel [1..8] Mode	-	-	-	-	-	-	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	Web、API	A I
Audio Input Ethernet [n] Channel [1..8] Pan	-	-	-	-	-	-	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	Web、API	A I
Audio Input Ethernet [n] EchoControl Mode	-	-	-	-	-	-	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	Web、API	A I
Audio Input Ethernet [n] EchoControl NoiseReduction	-	-	-	-	-	-	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	Web、API	A I
Audio Input Ethernet [n] Equalizer ID	-	-	-	-	-	-	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	Web、API	A I
Audio Input Ethernet [n] Equalizer Mode	-	-	-	-	-	-	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	Web、API	A I
Audio Input Ethernet [n] Mode	-	-	-	-	-	-	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	Web、API	A I
Audio Input HDMI [n] Level	X	-	X	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I
Audio Input HDMI [n] Gain	-	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web、API	A I
Audio Input HDMI [n] Mode	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I
Audio Input HDMI [n] VideoAssociation MuteOnInactiveVideo	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I
オーディオ入力マイク [n] チャンネル	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	-	-	-	Web、API	A I
Audio Input Microphone [n] EchoControl Mode	-	-	-	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	-	X	-	Web、API	A I
Audio Input Microphone [n] EchoControl Dereverberation	-	-	-	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	-	-	-	Web、API	A I
Audio Input Microphone [n] EchoControl NoiseReduction	-	-	-	-	X	-	X	X	X	X	X	X	X	-	X	-	Web、API	A I
Audio Input Microphone [n] Equalizer ID	-	-	-	-	-	-	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	Web、API	A I
Audio Input Microphone [n] Equalizer Mode	-	-	-	-	-	-	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	Web、API	A I
Audio Input Microphone [n] Level	-	-	-	X	X	-	-	X	X	X	X	X	X	-	X	-	Web、API	A I
Audio Input Microphone [n] Gain	-	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web、API	A I
Audio Input Microphone [n] Mode	-	-	-	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	-	X	-	Web、API	A I
Audio Input Microphone [n] MuteOverride	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	-	-	-	Web、API	A I

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

設定	Desk Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Kit	Room Kit Mini	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board 55/55S, 70/70S-g1, 85S	Board Pro 55/75	オンプレミスのみ	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
Audio Input Microphone [n] PhantomPower	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	-	-	-	Web, API	AI
Audio Input Microphone [n] VideoAssociation MuteOnInactiveVideo	-	-	-	-	-	-	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	Web, API	AI
Audio Input Microphone [n] VideoAssociation VideoInputSource	-	-	-	-	-	-	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	Web, API	AI
Audio Input MicrophoneMode	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web, API	AI
Audio Input USBC [n] Level	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	Web, API	AI
Audio Input USBC [n] Gain	-	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web, API	AI
Audio Input USBC [n] Mode	X	X	X	X	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	X	-	Web, API	AI
Audio Input USBC [n] VideoAssociation MuteOnInactiveVideo	X	X	X	X	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	X	-	Web, API	A
Audio Input USBInterface [n] EchoControl Mode	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	-	-	-	-	Web, API	AI
Audio Input USBInterface [n] Level	-	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	-	-	-	-	Web, API	AI
Audio Input USBInterface [n] Gain	-	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web, API	AI
Audio Input USBInterface [n] Mode	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	-	-	-	-	Web, API	AI
Audio Input USBMicrophone [n] EchoControl Mode	X	X	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	X	-	X	-	Web, API	AI
Audio Input USBMicrophone [n] Level	X	X	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	X	-	X	-	Web, API	AI
Audio Input WebView [n] Mode	-	-	-	-	-	-	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	Web, API	AI
オーディオ マイク AGC	-	-	-	-	X	-	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	Web, API	AI
Audio Microphones HdmiPassthrough MuteButton	-	-	-	-	X	-	-	X	X	X	X	-	X	-	-	-	Web, API	AI
オーディオ マイク ノイズ除去 モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	AI
Audio Microphones Mute Enabled	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	X	-	Web, API	AI
オーディオマイクのファントム電源	-	-	-	-	X	-	X	X	-	X	-	-	X	-	X	-	Web, API	A
Audio Microphones UsbPassthrough MuteButton	X	X	X	X	-	X	X	-	-	-	-	-	-	-	X	-	Web, API	AI
Audio Output ARC [n] Delay DelayMs	-	-	-	-	-	-	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	Web, API	AI
Audio Output ARC [n] Delay Mode	-	-	-	-	-	-	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	Web, API	AI
Audio Output ARC [n] Mode	-	-	-	-	-	-	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	Web, API	AI

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

設定	Desk Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Kit	Room Kit Mini	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board 55/55S、70/70S-g1、85S	Board Pro 55/75	オンプレミスのみ	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
オーディオ出力コネクタ設定	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	-	-	-	Web、API	A I
Audio Output Ethernet [n] Mode	-	-	-	-	-	-	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	Web、API	A I
Audio Output HDMI [n] Delay DelayMs	-	-	-	-	-	-	X	-	X	-	-	-	-	-	-	-	Web、API	A I
Audio Output HDMI [n] Delay Mode	-	-	-	-	-	-	X	-	X	-	-	-	-	-	-	-	Web、API	A I
Audio Output HDMI [n] Level	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	-	-	-	Web、API	A I
Audio Output HDMI [n] Gain	-	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web、API	A I
Audio Output HDMI [n] Mode	-	-	-	-	-	-	X	X	X	-	X	X	-	-	-	-	Web、API	A I
Audio Output InternalSpeaker Mode	-	-	-	-	X	-	-	X	-	X	X	X	X	-	X	-	Web、API	A I
オーディオ 出力 ライン [n] チャンネル	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	-	-	-	Web、API	A I
Audio Output Line [n] Delay DelayMs	-	-	-	-	-	-	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	Web、API	A I
Audio Output Line [n] Delay Mode	-	-	-	-	-	-	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	Web、API	A I
Audio Output Line [n] Equalizer ID	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	-	-	-	Web、API	A I
Audio Output Line [n] Equalizer Mode	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	-	-	-	Web、API	A I
Audio Output Line [n] Level	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	-	-	-	-	Web、API	A I
Audio Output Line [n] Gain	-	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web、API	A I
Audio Output Line [n] Mode	-	-	-	-	X	-	X	X	X	X	X	X	X	-	X	-	Web、API	A I
Audio Output Line [n] OutputType	-	-	-	-	X	-	X	X	-	X	-	-	X	-	X	-	Web、API	A I
Audio Output USBInterface [n] Mode	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	-	-	-	-	Web、API	A I
Audio Panning Mode	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	-	Web	A
Audio Panning HeadsetAnalog BinauralProcessing	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web、API	A
Audio Panning HeadsetAnalog Mode	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web、API	A
Audio Panning HeadsetUSB BinauralProcessing	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	Web、API	A
Audio Panning HeadsetUSB Mode	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	Web、API	A
オーディオの配置	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	Web、API	A
Audio SoundsAndAlerts RingTone	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I U
Audio SoundsAndAlerts RingVolume	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I U

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

設定	Desk Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Kit	Room Kit Mini	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board 55/55S、70/70S-g1、85S	Board Pro 55/75	オンプレミスのみ	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
Audio Ultrasound Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A I
Audio Ultrasound MaxVolume	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I
Audio Ultrasound Ru1Protocol	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A I
Audio Ultrasound RzssProtocol	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A I
オーディオ USB モード	X	X	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	X	-	X	-	Web、API	A I
Bluetooth Allowed	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	Web、API	A
Bluetooth Enabled	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	Web、API	A
Bookings ProtocolPriority	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
BYOD HidForwarding Enabled	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web、API	A I
BYOD QRCodePairing	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web、API	A
BYOD TouchForwarding の有効化	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	-	Web、API	A I
BYOD USBXapi	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web、API	A
CallHistory Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I
CallHistory Recents DisplayName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A
Cameras Background Enabled	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web、API	A U
Cameras Background UserImagesAllowed	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web、API	A
カメラ カメラ [n] シリアル番号の割り当て	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	-	-	X	-	Web、API	A I
Cameras Camera [n] Backlight DefaultMode	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	-	-	X	-	Web、API	A I
Cameras Camera [n] Brightness Algorithm	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	-	-	X	-	Web、API	A I
Cameras Camera [n] Brightness DefaultLevel	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	X	-	Web、API	A I
Cameras Camera [n] Brightness Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	X	-	Web、API	A I
Cameras Camera [n] IrCutFilter Mode	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	-	-	X	-	Web、API	A I
Cameras Camera [n] IrCutFilter Threshold	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	-	-	X	-	Web、API	A I
Cameras Camera ExposureCompensation Level	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web、API	A I
Cameras Camera [n] Flip	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	-	-	X	-	Web、API	A I
Cameras Camera [n] Focus Mode	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	-	-	X	-	Web、API	A I

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

設定	Desk Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Kit	Room Kit Mini	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board 55/55S, 70/70S-g1, 85S	Board Pro 55/75	オンプレミスのみ	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
Cameras Camera [n] Gamma Level	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	-	-	X	-	Web, API	A I
Cameras Camera [n] Gamma Mode	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	-	-	X	-	Web, API	A I
カメラ カメラ [n] ミラー	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	-	-	X	-	Web, API	A I
Cameras Camera [n] Whitebalance Mode	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	-	-	X	-	Web, API	A I
Cameras Camera [n] Whitebalance Level	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	-	-	X	-	Web, API	A I
Cameras Camera Framerate	-	-	-	-	X	X	-	-	-	-	-	-	X	-	-	-	Web, API	A
Cameras PowerLine Frequency	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	X	-	Web, API	A I
Cameras PresenterTrack CameraPosition Pan	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	-	-	-	X	-	Web, API	A I
Cameras PresenterTrack CameraPosition Tilt	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	-	-	-	X	-	Web, API	A I
Cameras PresenterTrack CameraPosition Zoom	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	-	-	-	X	-	Web, API	A I
Cameras PresenterTrack Connector	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	-	-	-	X	-	Web, API	A I
Cameras PresenterTrack Enabled	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	-	-	-	X	-	Web, API	A I
Cameras PresenterTrack PresenterDetectedStatus	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	-	-	-	X	-	Web, API	A I
Cameras PresenterTrack TriggerZone	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	-	-	-	X	-	Web, API	A I
Cameras SpeakerTrack DefaultBehavior	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Cameras SpeakerTrack Frames Mode	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Cameras SpeakerTrack Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
Cameras SpeakerTrack Closeup	-	-	-	-	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Cameras SpeakerTrack TrackingMode	-	-	-	-	-	-	X	X	X	-	-	-	-	-	X	-	Web, API	A I
Cameras SpeakerTrack ConnectorDetection Mode	-	-	-	-	-	-	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	Web, API	A I
Cameras SpeakerTrack ConnectorDetection CameraLeft	-	-	-	-	-	-	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	Web, API	A I
Cameras SpeakerTrack ConnectorDetection CameraRight	-	-	-	-	-	-	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	Web, API	A I
Cameras SpeakerTrack Whiteboard Mode	-	-	-	-	X	-	X	X	X	X	X	X	X	-	-	-	Web, API	A I U
Conference ActiveControl Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A
Conference AutoAnswer Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
Conference AutoAnswer Mute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

設定	Desk Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Kit	Room Kit Mini	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board 55/55S、70/70S-g1、85S	Board Pro 55/75	オンプレミスのみ	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
Conference AutoAnswer Delay	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Conference CallProtocolIPStack	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A
Conference CapsetFilter	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web、API	A
Conference DefaultCall Protocol	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Conference DefaultCall Rate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I
Conference DefaultCall Webex Rate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I
Conference DoNotDisturb DefaultTimeout	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I
Conference EmbeddedApp NotificationsOnly	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	Web、API	A I
Conference Encryption Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web、API	A
Conference EndToEndEncryption Identity PreferredDomain	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Conference EndToEndEncryption Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A
Conference FarEndControl Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Conference FarEndControl SignalCapability	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web、API	A
Conference FarendMessage Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web、API	A
Conference JoinLeaveNotifications	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Conference MaxReceiveCallRate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Conference MaxTransmitCallRate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Conference MaxMultisiteReceiveRate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Conference MaxMultisiteTransmitRate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Conference MicUnmuteOnDisconnect Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Conference Multipoint Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web、API	A
Conference MultiStream Mode	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	-	-	Web、API	A
Conference IncomingMultisiteCall Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A
Conference PeopleFocus OnCall Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Conference Presentation OnPlacedOnHold	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A
Conference Presentation RelayQuality	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

設定	Desk Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Kit	Room Kit Mini	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board 55/55S、70/70S-g1、85S	Board Pro 55/75	オンプレミスのみ	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
FacilityService Service [n] CallType	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	-	Web、API	AI
FacilityService Service [n] Name	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	-	Web、API	AI
FacilityService Service [n] Number	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	-	Web、API	AI
FacilityService Service [n] Type	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	-	Web、API	AI
Files Services OneDrive TemporaryPersonalSignIn	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	AI
GPIO Pin [n] Mode	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	-	-	-	Web、API	AI
H323 Authentication Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web、API	A
H323 Authentication LoginName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web、API	A
H323 Authentication Password	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web、API	A
H323 CallSetup Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web、API	A
H323 Encryption AES256Support	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web、API	A
H323 Encryption KeySize	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web、API	A
H323 Gatekeeper Address	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web、API	A
H323 H323Alias E164	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web、API	A
H323 H323Alias ID	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web、API	A
H323 NAT Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web、API	A
H323 NAT Address	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web、API	A
H323 PortAllocation	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web	A
HttpClient モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
HttpClient AllowHTTP	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
HttpClient AllowInsecureHTTPS	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
HttpClient Http プロキシの使用	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
HttpFeedback Tls 検証	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
HttpFeedback Http プロキシの使用	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
ログイン クラウドアップロード モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web、API	A
Logging Debug Bluetooth	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

設定	Desk Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Kit	Room Kit Mini	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board 55/55S、70/70S-g1、85S	Board Pro 55/75	オンプレミスのみ	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
デバッグ Wifi をログに記録する	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A
Logging External Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Logging External Protocol	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Logging External Server Address	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Logging External Server Port	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
ロギング 外部 Tls 検証	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
内部モードをログに記録する	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Logging Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A
Macros Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Macros AutoStart	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Macros Diagnostics JavascriptErrors	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Macros QuickJSEngine	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A
マクロ 無応答タイムアウト	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
マクロ XAPI トランスポート	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A
Network [n] DNS DNSSEC Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Network [n] DNS Domain Name	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Network [n] DNS Server [m] Address	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Network [n] IEEE8021X Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Network [n] IEEE8021X TlsVerify	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Network [n] IEEE8021X UseClientCertificate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Network [n] IEEE8021X Identity	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Network [n] IEEE8021X Password	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Network [n] IEEE8021X AnonymousIdentity	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Network [n] IEEE8021X Eap Md5	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Network [n] IEEE8021X Eap Tls	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Network [n] IEEE8021X Eap Tls	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

設定	Desk Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Kit	Room Kit Mini	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board 55/55S、70/70S-g1、85S	Board Pro 55/75	オンプレミスのみ	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
Network [n] IEEE8021X Eap Peap	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Network [n] IPStack	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Network [n] IPv4 Assignment	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Network [n] IPv4 Address	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Network [n] IPv4 Gateway	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Network [n] IPv4 InterfacelIdentifier	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Network [n] IPv4 SubnetMask	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Network [n] IPv6 Assignment	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Network [n] IPv6 Address	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Network [n] IPv6 Gateway	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Network [n] IPv6 DHCPOptions	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
ネットワーク [n] IPv6 インターフェイス ID	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Network [n] MTU	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Network [n] QoS Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Network [n] QoS Diffserv Audio	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Network [n] QoS Diffserv Video	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Network [n] QoS Diffserv Data	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Network [n] QoS Diffserv Signalling	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Network [n] QoS Diffserv ICMPv6	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Network [n] QoS Diffserv NTP	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Network [n] RemoteAccess Allow	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Network [n] Speed	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I
Network [n] TrafficControl Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A
Network [n] VLAN Voice Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Network [n] VLAN Voice VlanId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
NetworkServices CDP Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

設定	Desk Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Kit	Room Kit Mini	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board 55/55S、70/70S-g1、85S	Board Pro 55/75	オンプレミスのみ	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
NetworkServices H323 Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A
NetworkServices HTTP Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
NetworkServices HTTP Proxy LoginName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
NetworkServices HTTP Proxy Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
NetworkServices HTTP Proxy PACUrl	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
NetworkServices HTTP Proxy Password	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
NetworkServices HTTP Proxy Url	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
NetworkServices HTTPS OCSP Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A
NetworkServices HTTPS OCSP URL	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A
NetworkServices HTTPS Server MinimumTLSVersion	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
NetworkServices HTTPS StrictTransportSecurity	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
NetworkServices HTTPS VerifyClientCertificate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
NetworkServices NTP Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A
NetworkServices NTP Server [n] Address	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A
NetworkServices NTP Server [n] Key	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A
ネットワークサービス NTP サーバ [n] キーID	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A
NetworkServices NTP Server [n] KeyAlgorithm	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A
NetworkServices SIP Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
ネットワークサービス SMTP モード	X	X	X	X	-	X	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	Web, API	A
ネットワークサービス SMTP サーバ	X	X	X	X	-	X	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	Web, API	A
ネットワークサービス SMTP ポート	X	X	X	X	-	X	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	Web, API	A
ネットワークサービス SMTP ユーザ名	X	X	X	X	-	X	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	Web, API	A
ネットワークサービス SMTP パスワード	X	X	X	X	-	X	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	Web, API	A
ネットワークシステム SMTP 送信元	X	X	X	X	-	X	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	Web, API	A
ネットワークサービス SMTP セキュリティ	X	X	X	X	-	X	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	Web, API	A
NetworkServices SNMP CommunityName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

設定	Desk Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Kit	Room Kit Mini	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board 55/55S、70/70S-g1、85S	Board Pro 55/75	オンプレミスのみ	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
NetworkServices SNMP Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I
NetworkServices SNMP SystemContact	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I
NetworkServices SNMP SystemLocation	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I
NetworkServices SSH Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
NetworkServices SSH HostKeyAlgorithm	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
NetworkServices SSH AllowPublicKey	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A
NetworkServices UPnP Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
NetworkServices UPnP Timeout	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A
ネットワークサービス Websocket	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
NetworkServices WelcomeText	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
NetworkServices Wifi Allowed	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A U
NetworkServices Wifi Settings A_MPDU	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A
NetworkServices Wifi Settings FrequencyBand	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
ネットワーク サービス WiFi 有効	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
NetworkServices XMLAPI Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A
Peripherals ActivePen Enabled	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	Web	A
Peripherals InputDevice Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	X	-	Web、API	A
Peripherals Pairing CiscoTouchPanels EmcResilience	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A
Peripherals Pairing CiscoTouchPanels HttpProxy	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Peripherals Pairing CiscoTouchPanels RemotePairing	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Peripherals Profile Cameras	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	X	-	Web、API	A I
Peripherals Profile Cameras	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	-	Web	A I
Peripherals Profile ControlSystems	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I
Peripherals Profile NetworkSwitches	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	Web	A I
Peripherals Profile TouchPanels	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	X	-	Web、API	A I
Phonebook Server [n] ID	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

設定	Desk Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Kit	Room Kit Mini	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board 55/55S、70/70S-g1、85S	Board Pro 55/75	オンプレミスのみ	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
電話帳サーバ [n] 改ページ調整	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web、API	A
電話帳 サーバ [n] TLS 検証	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web、API	A
Phonebook Server [n] Type	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Phonebook Server [n] URL	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Provisioning Connectivity	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web、API	A U
プロビジョニング CUCM コール管理レコード コール診断	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A U
Provisioning ExternalManager Address	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web、API	A U
Provisioning ExternalManager AlternateAddress	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web、API	A U
Provisioning ExternalManager Protocol	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web、API	A U
Provisioning ExternalManager Path	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web、API	A U
Provisioning ExternalManager Domain	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web、API	A U
Provisioning Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A U
Provisioning LoginName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web、API	A U
Provisioning Password	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web、API	A U
プロビジョニング Tls 検証	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A U
プロビジョニング WebexEdge	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A U
プロキシミティ 代替ポート 有効	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Proximity Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web、API	A U
Proximity Services CallControl	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A U
Proximity Services ContentShare FromClients	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A U
Proximity Services ContentShare ToClients	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A U
ルーム分析 環境雑音の予測 間隔	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I U
ルーム分析 環境雑音の予測 モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I U
RoomAnalytics PeopleCountOutOfCall	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I U
RoomAnalytics PeoplePresenceDetector	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I U
RoomAnalytics ReverberationTime Interval	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I U

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

設定	Desk Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Kit	Room Kit Mini	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board 55/55S、70/70S-g1、85S	Board Pro 55/75	オンプレミスのみ	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
RoomAnalytics ReverberationTime Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I U
RoomAnalytics T3AlarmDetection Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I
RoomAnalytics T3AlarmDetection Timeout	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I
RoomCleanup AutoRun ContentType TemporaryAccounts	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
ルームクリーンアップ 自動実行 コンテンツタイプ Web データ	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
ルームクリーンアップ 自動実行 コンテンツタイプ ホワイトボード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
ルームクリーンアップ 自動実行 時間	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
RoomReset Control	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A
RoomScheduler BookingTimeout	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A
ルームスケジューラ 有効	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
RTP Ports Range Start	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A
RTP Ports Range Stop	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A
RTP Video Ports Range Start	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A
RTP Video Ports Range Stop	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A
Security Audit Logging Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	Au
Security Audit OnError Action	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	Au
Security Audit Server Address	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	Au
Security Audit Server Port	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	Au
Security Audit Server PortAssignment	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	Au
セキュリティ Fips モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Security Session FailedLoginsLockoutTime	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Security Session InactivityTimeout	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Security Session MaxFailedLogins	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Security Session MaxSessionsPerUser	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

設定	Desk Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Kit	Room Kit Mini	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board 55/55S、70/70S-g1、85S	Board Pro 55/75	オンプレミスのみ	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
Security Session MaxTotalSessions	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Security Session ShowLastLogon	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Security Xapi WebSocket ApiKey Allowed	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
SerialPort Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I
SerialPort BaudRate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I
SerialPort LoginRequired	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
SIP ANAT	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
SIP Authentication UserName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
SIP Authentication Password	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
SIP DefaultTransport	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
SIP DisplayName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
SIP Ice DefaultCandidate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web、API	A
SIP Ice Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web、API	A
SIP Line	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A
SIP ListenPort	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
SIP Mailbox	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A
SIP MinimumTLSVersion	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
SIP PreferredIPSignaling	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A
SIP Proxy [n] Address	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
SIP TlsVerify	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
SIP Turn Server	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web、API	A
SIP Turn UserName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web、API	A
SIP Turn Password	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web、API	A
SIP Type	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A
SIP URI	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Standby BootAction	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I U

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

設定	Desk Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Kit	Room Kit Mini	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board 55/55S、70/70S-g1、85S	Board Pro 55/75	オンプレミスのみ	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
Standby Control	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I
Standby Delay	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I
Standby Level Networked Delay	-	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web、API	A I
Standby Level Networked Mode	-	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web、API	A I
Standby Halfwake Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
スタンバイ サイネージ オーディオ	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I
スタンバイの看板 InteractionMode	X	X	X	X	-	X	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	Web、API	A I
スタンバイ サイネージ モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I
スタンバイ サイネージ 更新間隔	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I
スタンバイ サイネージ Url	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I
Standby StandbyAction	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	X	-	Web、API	A I
Standby WakeupAction	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I U
Standby WakeupAtMeetingStart	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A I
Standby WakeupOnMotionDetection	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I
SystemUnit Name	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
SystemUnit BroadcastName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
SystemUnit CrashReporting Advanced	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A
SystemUnit CrashReporting Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
SystemUnit CrashReporting URL	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
システムユニット カスタムデバイス ID	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I
Time DateFormat	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A U
Time TimeFormat	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A U
Time Zone	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I U
Time OfficeHours Enabled	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Time OfficeHours OutsideOfficeHours Standby AutoWakeup	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Time OfficeHours OutsideOfficeHours Standby Delay	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

設定	Desk Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Kit	Room Kit Mini	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board 55/55S、70/70S-g1、85S	Board Pro 55/75	オンプレミスのみ	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
Time OfficeHours WorkDay End	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A U
Time OfficeHours WorkDay Start	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A U
Time OfficeHours WorkWeek Monday	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Time OfficeHours WorkWeek Tuesday	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Time OfficeHours WorkWeek Wednesday	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Time OfficeHours WorkWeek Thursday	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Time OfficeHours WorkWeek Friday	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Time OfficeHours WorkWeek Saturday	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Time OfficeHours WorkWeek Sunday	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
ユーザインタラクション 挙手 CMS	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web	A U
UserInterface Accessibility IncomingCallNotification	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I U
ユーザインターフェイス アシスタント モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
ユーザインターフェイス アシスタント 会議参加確認	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
UserInterface Bookings Visibility TentativeMeetings	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I U
ユーザインターフェイス 予約 可視性 タイトル	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I U
ユーザーインターフェイス ブランド AwakeBranding 色	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I
UserInterface ContactInfo Type	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
UserInterface CustomMessage	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I
UserInterface CustomWallpaperOverlay	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
ユーザインターフェイス 診断 通知	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
ユーザーインターフェイス機能コール終了	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I
UserInterface Features Call HdmiPassthrough	-	-	-	-	X	-	-	X	X	X	X	-	X	-	-	-	Web、API	A I
UserInterface Features Call JoinGoogleMeet	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I
UserInterface Features Call JoinZoom	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I
ユーザインターフェイス 機能 コール Webexに参加	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I
ユーザインターフェイス 機能 コール キーパッド	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

設定	Desk Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Kit	Room Kit Mini	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board 55/55S、70/70S-g1、85S	Board Pro 55/75	オンプレミスのみ	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
UserInterface Features Call LayoutControls	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I
ユーザーインターフェース機能コールの MidCallControls	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I
ユーザインターフェイス 機能 コール 音楽モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I
UserInterface Features Call ParticipantList	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I
UserInterface Features Call SelfviewControls	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I
ユーザーインターフェース機能コール開始	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I
ユーザーインターフェース機能コールビデオミュート	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I
UserInterface Features Call Webcam	-	-	-	X	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	Web、API	A I
UserInterface Features Files Start	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	Web、API	A I
ユーザーインターフェース機能すべて非表示	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I
ユーザインターフェース機能共有開始	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I
ユーザーインターフェイス ホワイトボード 開始	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	Web、API	A I
UserInterface Help Tips	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
UserInterface HomeScreen Dashboard	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
UserInterface HomeScreen Peripherals WebApp URL	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
UserInterface KeyTones Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A U
UserInterface Kiosk Mode	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	Web、API	A I
UserInterface Kiosk URL	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	Web、API	A I
UserInterface Language	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A U
UserInterface LedControl Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
UserInterface MuteWarning	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
UserInterface NameAndSiteLabels Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
UserInterface OSD EncryptionIndicator	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
UserInterface OSD HalfwakeMessage	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	X	-	Web、API	A I
ユーザインターフェイス OSD モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
UserInterface OSD Output	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

設定	Desk Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Kit	Room Kit Mini	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board 55/55S, 70/70S-g1, 85S	Board Pro 55/75	オンプレミスのみ	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
UserInterface Phonebook DefaultSearchFilter	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
ユーザーインターフェース電話帳モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
ユーザインターフェイス プロキシミティ 通知	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
UserInterface RoomScheduler AmbientTemperature Show	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
UserInterface RoomScheduler PeopleCount Current	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
UserInterface RoomScheduler StatusWhenInUse	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
UserInterface Security Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
UserInterface SettingsMenu Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
ユーザーインターフェース設定メニュー可視性	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
ユーザインターフェイス サウンドエフェクト モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
UserInterface Theme Name	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
UserInterface Wallpaper	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A I U
ユーザーインターフェース UsbPromotion	-	-	-	X	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web, API	A
ユーザーインターフェース WebcamOnlyMode	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web, API	A
ユーザインターフェイス ホワイトボード アクティビティインジケータ	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
ユーザインターフェイス ホワイトボード デフォルトテーマ	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A
UserManagement LDAP Admin Filter	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A
UserManagement LDAP Admin Group	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A
UserManagement LDAP Attribute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A
UserManagement LDAP BaseDN	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A
UserManagement LDAP Encryption	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A
UserManagement LDAP MinimumTLSVersion	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A
UserManagement LDAP Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A
UserManagement LDAP Server Address	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A
UserManagement LDAP Server Port	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

設定	Desk Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Kit	Room Kit Mini	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board 55/55S、70/70S-g1、85S	Board Pro 55/75	オンプレミスのみ	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
UserManagement LDAP VerifyServerCertificate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web、API	A
ユーザ管理 パスワードポリシー 複雑度 数字の最小数	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
ユーザ管理 パスワードポリシー 複雑度 最小文字数	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
ユーザ管理 パスワードポリシー 複雑度 小文字の最小数	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
ユーザ管理 パスワードポリシー 複雑度 特殊文字の最小数	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
ユーザ管理 パスワードポリシー 複雑度 大文字の最小数	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
ユーザ管理 パスワードポリシー 最大有効期間	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
ユーザ管理 パスワードポリシー 再使用制限	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Video ActiveSpeaker DefaultPIPPosition	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A I
Video DefaultLayoutFamily Local	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
ビデオ デフォルトレイアウトファミリ ローカルコンテンツ	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Video DefaultLayoutFamily Remote	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A
Video DefaultMainSource	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A U
Video Input AirPlay Beacon	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Video Input AirPlay DiscoveryInstructions NetworkName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Video Input AirPlay DiscoveryInstructions ShowNetworkInfo	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Video Input AirPlay Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Video Input AirPlay Password	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Video Input AirPlay SecurityMode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Video Input Connector [n] CameraControl CameraId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I
Video Input Connector [n] CameraControl Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I
Video Input Connector [n] CEC Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I
Video Input Connector [n] HDCP Mode	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	-	X	-	Web、API	A I
Video Input Connector [n] InputSourceType	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I
Video Input Connector [n] Name	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I
Video Input Connector [n] OptimalDefinition Profile	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A I

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

設定	Desk Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Kit	Room Kit Mini	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board 55/55S, 70/70S-g1, 85S	Board Pro 55/75	オンプレミスのみ	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
Video Input Connector [n] OptimalDefinitionThreshold60fps	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A
Video Input Connector [n] PreferredResolution	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
Video Input Connector [n] PresentationSelection	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
Video Input Connector [n] Quality	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
Video Input Connector [n] RGBQuantizationRange	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
Video Input Connector [n] Visibility	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
Video Input Miracast Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
Video Input Miracast Pin Length	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
Video Monitors	X	X	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	-	X	-	Web, API	A I
Video Output Connector [n] Brightness	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	-	Web	A U
Video Output Connector [n] BrightnessMode	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web, API	A U
Video Output Connector [n] CEC Mode	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	X	-	Web, API	A I
Video Output Connector [n] HDCPPolicy	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	X	-	Web, API	A I U
Video Output Connector [n] Location HorizontalOffset	X	-	-	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	-	X	-	Web, API	A I
Video Output Connector [n] Location VerticalOffset	X	-	-	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	-	X	-	Web, API	A I
Video Output Connector [n] MonitorRole	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	X	-	Web, API	A I
Video Output Connector [n] Resolution	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Video Output Connector [n] RGBQuantizationRange	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	X	-	Web, API	A I
Video Output HDMI Passthrough Allowed	-	-	-	-	X	-	-	X	X	X	X	-	X	-	-	-	Web, API	A
Video Output HDMI Passthrough HdmiUsbConverter Mode	-	-	-	-	X	-	-	X	X	-	X	-	X	-	-	-	Web	A I
Video Output HDMI Passthrough HdmiUsbConverter Name	-	-	-	-	X	-	-	X	X	-	X	-	X	-	-	-	Web	A I
Video Output HDMI Passthrough OutputConnector	-	-	-	-	X	-	-	X	X	X	X	-	X	-	-	-	Web, API	A I
Video Output HDMI Passthrough AutoDisconnect Enabled	-	-	-	-	X	-	-	X	X	X	X	-	X	-	-	-	Web, API	A I
Video Output HDMI Passthrough AutoDisconnect Delay	-	-	-	-	X	-	-	X	X	X	X	-	X	-	-	-	Web, API	A I

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

設定	Desk Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Kit	Room Kit Mini	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board 55/55S、70/70S-g1、85S	Board Pro 55/75	オンプレミスのみ	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
Video Output Webcam USBMode	-	-	-	X	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	Web、API	A I
Video Output Connector [n] Whitebalance Level	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	-	Web	A U
Video Presentation DefaultPIPPosition	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A I
Video Presentation DefaultSource	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A U
ビデオプレゼンテーション優先順位	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Video Selfview Default FullscreenMode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I
Video Selfview Default Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I
Video Selfview Default OnMonitorRole	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I
Video Selfview Default PIPPosition	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I
Video Selfview OnCall Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I
Video Selfview OnCall Duration	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I
音声制御 ウェイクワード モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A I
WebEngine Features LocalWebAppManagement	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	Web、API	A
Webエンジン 機能 WebGL	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Web エンジン 機能 SIP URL ハンドラ	X	X	X	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	Web、API	A
WebEngine Features Xapi Peripherals AllowedHosts Hosts	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
WebEngine FpsCounter	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A
Web エンジン 最小 TLS バージョン	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Web エンジン モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Web エンジン リモートデバッグ	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Web エンジン Http プロキシの使用	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Webex クラウドプロキシミティ ゲスト共有	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web、API	A
Webex クラウドプロキシミティ モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web、API	A
Webex クラウドアップグレード モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web、API	A
Webex Hotdesking DefaultBookingEndTime	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web、API	A
Webex Meetings 参加プロトコル	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web、API	A

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

設定	Desk Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Kit	Room Kit Mini	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board 55/55S、70/70S-g1、85S	Board Pro 55/75	オンプレミスのみ	Web インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
WebRTC コール終了タイムアウト	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A
WebRTC 対話モード	X	X	X	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	Web	A
WebRTC Provider MicrosoftTeams CompatibilityMode	X	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	-	Web, API	A
Zoom DefaultDomain	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
Zoom DialStringOptions	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

コマンド	Desk Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Kit	Room Kit Mini	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board 55/55S、70/70S-g1、85S	Board Pro 55/75	オンプレミスのみ	Web インターフェイス または API	ユーザー ロール
AirPlay KeyEvent Back	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
AirPlay KeyEvent Click	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
AirPlay KeyEvent Down	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
AirPlay KeyEvent FastForward	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
AirPlay KeyEvent FastReverse	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
AirPlay KeyEvent Left	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
AirPlay KeyEvent Play	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
AirPlay KeyEvent Right	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
AirPlay KeyEvent Up	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
AirPlay ResetPairedDevices	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
オーディオ診断の高度な実行	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Audio Diagnostics AecReverb Reset	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Audio Diagnostics AecReverb Run	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Audio Diagnostics MeasureDelay	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Audio Equalizer List	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	-	-	-	API	A
Audio Equalizer Update	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	-	-	-	API	A
Audio LocalInput Add	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	-	-	-	API	A
Audio LocalInput AddConnector	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	-	-	-	API	A
Audio LocalInput Remove	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	-	-	-	API	A
Audio LocalInput RemoveConnector	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	-	-	-	API	A
Audio LocalInput Update	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	-	-	-	API	A
Audio LocalInput Ethernet Deregister	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	-	-	-	API	A I
Audio LocalInput Ethernet Register	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	-	-	-	API	A I
Audio LocalOutput Add	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	-	-	-	API	A
Audio LocalOutput AddConnector	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	-	-	-	API	A
Audio LocalOutput ConnectInput	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	-	-	-	API	A

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

コマンド	Desk Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Kit	Room Kit Mini	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board 55/55S, 70/70S-g1, 85S	Board Pro 55/75	オンプレミスのみ	Web インターフェイス または API	ユーザー ロール
Audio LocalOutput DisconnectInput	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	-	-	-	API	A
Audio LocalOutput Remove	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	-	-	-	API	A
Audio LocalOutput RemoveConnector	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	-	-	-	API	A
Audio LocalOutput Update	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	-	-	-	API	A
Audio LocalOutput UpdateInputGain	X	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	-	-	-	API	A
Audio Microphones MusicMode Start	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
Audio Microphones MusicMode Stop	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
Audio Microphones Mute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
Audio Microphones NoiseRemoval Activate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
Audio Microphones NoiseRemoval Deactivate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
Audio Microphones Passthrough Start	-	-	-	-	X	-	-	X	X	X	X	-	X	-	-	-	API	A I
Audio Microphones Passthrough Stop	-	-	-	-	X	-	-	X	X	X	X	-	X	-	-	-	API	A I
Audio Microphones ToggleMute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
Audio Microphones Unmute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
Audio RemoteOutput ConnectInput	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	-	-	-	API	A
Audio RemoteOutput DisconnectInput	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	-	-	-	API	A
Audio RemoteOutput UpdateInputGain	X	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	-	-	-	API	A
Audio Select	X	X	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	X	-	X	-	API	A U
Audio Setup Clear	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	-	-	-	API	A
オーディオセットアップのリセット	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	-	-	-	API	A
Audio Sound Play	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
Audio Sound Stop	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
Audio SpeakerCheck	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X	X	-	-	-	-	API	A I U
Audio SoundsAndAlerts Ringtone List	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
Audio SoundsAndAlerts Ringtone Play	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
Audio SoundsAndAlerts Ringtone Stop	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

コマンド	Desk Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Kit	Room Kit Mini	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board 55/55S, 70/70S-g1, 85S	Board Pro 55/75	オンプレミスのみ	Web インターフェイス または API	ユーザー ロール
Audio Volume Decrease	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Audio Volume Increase	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Audio Volume Mute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Audio Volume Set	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Audio Volume SetToDefault	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Audio Volume ToggleMute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Audio Volume Unmute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Audio VuMeter Start	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Audio VuMeter Stop	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Audio VuMeter StopAll	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Bluetooth Streaming Next	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	API	A I U
Bluetooth Streaming Pause	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	API	A I U
Bluetooth Streaming Play	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	API	A I U
Bluetooth Streaming Previous	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	API	A I U
Bookings Book	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Bookings Clear	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Bookings Delete	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Bookings Get	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Bookings List	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Bookings NotificationSnooze	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Bookings Respond	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Bookings Put	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Call Accept	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Call Disconnect	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
Call DTMFSend	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Call FarEndControl Camera Move	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

コマンド	Desk Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Kit	Room Kit Mini	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board 55/55S, 70/70S-g1, 85S	Board Pro 55/75	オンプレミスのみ	Web インターフェイス または API	ユーザ ロール
Call FarEndControl Camera Stop	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Call FarEndControl RequestCapabilities	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Call FarEndControl RoomPreset Activate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Call FarEndControl RoomPreset Store	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Call FarEndControl Source Select	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Call FarEndMessage Send	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	API	A U
Call Forward	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	API	A U
Call Hold	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Call Ignore	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Call Join	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Call Reject	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Call Resume	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Call UnattendedTransfer	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	API	A U
CallHistory AcknowledgeAllMissedCalls	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
CallHistory AcknowledgeMissedCall	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
CallHistory DeleteAll	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
CallHistory DeleteEntry	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
CallHistory Get	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
CallHistory Recents	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Camera PositionReset	X	X	X	X	-	-	-	X	X	X	X	X	-	-	X	-	API	A I U
Camera PositionSet	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
Camera Preset Activate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Camera Preset ActivateDefaultPosition	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Camera Preset Edit	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Camera Preset List	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Camera Preset Remove	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

コマンド	Desk Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Kit	Room Kit Mini	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board 55/55S, 70/70S-g1, 85S	Board Pro 55/75	オンプレミスのみ	Web インターフェイス または API	ユーザー ロール
Camera Preset Show	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Camera Preset Store	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Camera Ramp	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
Camera TriggerAutofocus	-	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	-	-	X	-	API	A U
Camera TriggerWhitebalance	-	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	-	-	X	-	API	A U
Cameras AutoFocus Diagnostics Start	-	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	-	-	-	-	API	A I
Cameras AutoFocus Diagnostics Stop	-	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	-	-	-	-	API	A I
Cameras Background Clear	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	API	A I U
Cameras Background Delete	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	API	A I U
Cameras Background Fetch	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	API	A I U
Cameras Background ForegroundParameters Reset	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	API	A I U
Cameras Background ForegroundParameters Set	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	API	A I U
Cameras Background Get	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	API	A I U
Cameras Background List	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	API	A I U
Cameras Background Set	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	API	A I U
Cameras Background Upload	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	API	A I U
Cameras PresenterTrack ClearPosition	-	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	-	-	-	X	-	API	A I U
Cameras PresenterTrack Set	-	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	-	-	-	X	-	API	A I U
Cameras PresenterTrack StorePosition	-	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	-	-	-	X	-	API	A I U
Cameras SpeakerTrack Activate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Cameras SpeakerTrack Deactivate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Cameras SpeakerTrack BackgroundMode Activate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Cameras SpeakerTrack BackgroundMode Deactivate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Cameras SpeakerTrack Diagnostics Start	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
Cameras SpeakerTrack Diagnostics Stop	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
Cameras SpeakerTrack Frames Activate	-	-	-	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

コマンド	Desk Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Kit	Room Kit Mini	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board 55/55S, 70/70S-g1, 85S	Board Pro 55/75	オンプレミスのみ	Web インターフェイス または API	ユーザー ロール
Cameras SpeakerTrack Frames Deactivate	-	-	-	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Cameras SpeakerTrack ViewLimits Activate	-	-	-	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I
Cameras SpeakerTrack ViewLimits Deactivate	-	-	-	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I
Cameras SpeakerTrack ViewLimits StorePosition	-	-	-	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I
Cameras SpeakerTrack Whiteboard ActivatePosition	-	-	-	X	X	-	-	X	X	X	X	X	X	-	-	-	API	A U
Cameras SpeakerTrack Whiteboard AlignPosition	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	-	-	-	-	-	-	API	A U
Cameras SpeakerTrack Whiteboard SetDistance	-	-	-	X	X	-	-	X	X	X	X	X	X	-	-	-	API	A U
Cameras SpeakerTrack Whiteboard StorePosition	-	-	-	X	X	-	-	X	X	X	X	X	X	-	-	-	API	A U
Conference AdmitAll	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
会議コール認証応答	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Conference DoNotDisturb Activate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
Conference DoNotDisturb Deactivate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
Conference EndMeeting	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Conference Hand Lower	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Conference Hand Raise	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Conference HardMute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Conference Lock	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Conference LowerAllHands	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Conference MeetingAssistant Start	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Conference MeetingAssistant Stop	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Conference MuteAll	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Conference MuteOnEntry	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Conference Participant Admit	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
会議参加者の接続解除	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Conference Participant LowerHand	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
会議参加者のミュート	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

コマンド	Desk Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Kit	Room Kit Mini	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board 55/55S, 70/70S-g1, 85S	Board Pro 55/75	オンプレミスのみ	Web インターフェイス または API	ユーザー ロール
Conference ParticipantList Search	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Conference Reaction Disable	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Conference Reaction Enable	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Conference Reaction Send	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
会議の録音の一時停止	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
会議の録画再開	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Conference Recording Start	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
会議の録音停止	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Conference SkinTone	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Conference SpeakerLock Release	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	API	A U
Conference SpeakerLock Set	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	API	A U
Conference TransferHostAndLeave	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Diagnostics Run	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Dial	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
GPIO ManualState Set	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	-	-	-	API	A U
HttpClient Allow Hostname Add	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
HttpClient Allow Hostname Clear	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
HttpClient Allow Hostname List	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
HttpClient Allow Hostname Remove	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
HttpClient の削除	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
HttpClient Get	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
HttpClient パッチ	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
HttpClient Post	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
HttpClient Put	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
HttpFeedback Deregister	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
HttpFeedback Enable	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

コマンド	Desk Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Kit	Room Kit Mini	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board 55/55S, 70/70S-g1, 85S	Board Pro 55/75	オンプレミスのみ	Web インターフェイス または API	ユーザー ロール
HttpFeedback Register	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Logging ExtendedLogging Start	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Logging ExtendedLogging Stop	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
SendLogs のロギング	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Macros Log Clear	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Macros Log Get	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Macros Macro Activate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Macros Macro Deactivate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Macros Macro Get	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Macros Macro Remove	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Macros Macro RemoveAll	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Macros Macro Rename	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Macros Macro Roles Set	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Macros Macro Save	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Macros Runtime Restart	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Macros Runtime Start	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Macros Runtime Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Macros Runtime Stop	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Message Send	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I
Network SMTP VerifyConfig	X	X	X	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	API	A U
Network SNMP USM User Add	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Network SNMP USM User Delete	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Network SNMP USM User List	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Network Wifi Configure	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Network Wifi Delete	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Network Wifi List	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

コマンド	Desk Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Kit	Room Kit Mini	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board 55/55S, 70/70S-g1, 85S	Board Pro 55/75	オンプレミスのみ	Web インターフェイス または API	ユーザー ロール
Network Wifi Scan Start	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Network Wifi Scan Stop	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Peripherals Connect	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R U
Peripherals HeartBeat	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R U
Peripherals List	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R
Peripherals Pairing Pair	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Peripherals Pairing PinPairing Start	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Peripherals Pairing PinPairing Stop	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Peripherals Pairing Unpair	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Peripherals Purge	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Peripherals TouchPanel Configure	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I
Phonebook Contact Add	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Phonebook Contact Delete	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Phonebook Contact Modify	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Phonebook ContactMethod Add	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Phonebook ContactMethod Delete	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Phonebook ContactMethod Modify	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Phonebook Folder Add	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Phonebook Folder Delete	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Phonebook Folder Modify	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Phonebook Search	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Presentation Start	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Presentation Stop	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Provisioning CompleteUpgrade	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Provisioning PostponeUpgrade	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Provisioning CUCM ExtensionMobility Login	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	API	A U

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

コマンド	Desk Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Kit	Room Kit Mini	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board 55/55S, 70/70S-g1, 85S	Board Pro 55/75	オンプレミスのみ	Web インターフェイス または API	ユーザー ロール
Provisioning CUCM ExtensionMobility Logout	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	API	A U
Provisioning RoomType Activate	-	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	-	-	-	-	API	A I
Provisioning Service Fetch	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Proximity Services Activate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Proximity Services Deactivate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
RoomCleanup Cancel	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
RoomCleanup Run	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
RoomPreset Activate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
RoomPreset Clear	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
RoomPreset Store	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Security Certificates CA Add	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Security Certificates CA Delete	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Security Certificates CA Show	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Security Certificates CUCM CTL Delete	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Security Certificates CUCM CTL Show	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Security Certificates CUCM ITL Show	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Security Certificates CUCM MIC Show	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Security Certificates Services Activate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Security Certificates Services Add	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Security Certificates Services Deactivate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Security Certificates Services Delete	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Security Certificates Services Show	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Security Certificates サードパーティ Disable	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Security Certificates サードパーティ Enable	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
セキュリティ証明書のサードパーティリスト	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Security Certificates ThirdParty Show	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

コマンド	Desk Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Kit	Room Kit Mini	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board 55/55S, 70/70S-g1, 85S	Board Pro 55/75	オンプレミスのみ	Web インターフェイス または API	ユーザー ロール
Security Certificates Webex Show	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Security Certificates WebexIdentity Show	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Security Ciphers List	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Security ClientSecret Populate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Security Persistency	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	API	A
セキュリティセッションの取得	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A Au I R U
Security Session List	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Security Session Terminate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Standby Activate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
Standby Deactivate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
Standby Halfwake	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I
Standby ResetHalfwakeTimer	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Standby ResetTimer	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
SystemUnit Boot	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
SystemUnit DeveloperPreview Activate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
SystemUnit DeveloperPreview Deactivate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
SystemUnit FactoryReset	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
SystemUnit FirstTimeWizard Stop	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
SystemUnit Notifications RemoveAll	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
SystemUnit OptionKey Add	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
SystemUnit OptionKey List	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
SystemUnit OptionKey Remove	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
SystemUnit OptionKey RemoveAll	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
SystemUnit ProductPlatform Set	-	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	-	-	-	-	API	A
SystemUnit SignInBanner Clear	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
SystemUnit SignInBanner Get	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

コマンド	Desk Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Kit	Room Kit Mini	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board 55/55S, 70/70S-g1, 85S	Board Pro 55/75	オンプレミスのみ	Web インターフェイス または API	ユーザーロール
SystemUnit SignInBanner Set	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
SystemUnit SoftReset	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
SystemUnit SoftwareUpgrade	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
SystemUnit WelcomeBanner Clear	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
SystemUnit WelcomeBanner Get	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A Au I R U
SystemUnit WelcomeBanner Set	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Time DateTime Get	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Time DateTime Set	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
UserInterface Branding Clear	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I
UserInterface Branding Delete	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
UserInterface Branding Fetch	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
UserInterface Branding Get	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
UserInterface Branding Updated	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
UserInterface Branding Upload	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
UserInterface Extensions Clear	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R
UserInterface Extensions Export	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R
UserInterface Extensions Icon Delete	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R U
UserInterface Extensions Icon DeleteAll	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R U
UserInterface Extensions Icon Download	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R U
UserInterface Extensions Icon Fetch	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R U
UserInterface Extensions Icon Get	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R U
UserInterface Extensions Icon List	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R U
UserInterface Extensions Icon Upload	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R U
UserInterface Extensions List	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	I R U
UserInterface Extensions Panel Clicked	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R U
UserInterface Extensions Panel Close	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R U

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

コマンド	Desk Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Kit	Room Kit Mini	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board 55/55S, 70/70S-g1, 85S	Board Pro 55/75	オンプレミスのみ	Web インターフェイス または API	ユーザーロール
UserInterface Extensions Panel Open	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	AIRU
UserInterface Extensions Panel Remove	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	AIR
UserInterface Extensions Panel Save	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	AIR
UserInterface Extensions Panel Update	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	AIRU
UserInterface Extensions Set	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	AIR
UserInterface Extensions WebApp Save	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	AIR
UserInterface Extensions Widget Action	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	AIRU
UserInterface Extensions Widget SetValue	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	AIR
UserInterface Extensions Widget UnsetValue	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	AIR
UserInterface LedControl Color Set	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	AI
UserInterface Message Alert Clear	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	AIRU
UserInterface Message Alert Display	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	AIR
UserInterface Message Prompt Clear	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	AIRU
UserInterface Message Prompt Display	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	AIR
UserInterface Message Prompt Response	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	AIRU
UserInterface Message Rating Clear	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	AIRU
UserInterface Message Rating Display	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	AIRU
UserInterface Message Rating Response	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	AIRU
UserInterface Message TextInput Clear	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	AIRU
UserInterface Message TextInput Display	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	AIR
UserInterface Message TextInput Response	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	AIRU
UserInterface Message TextLine Clear	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	AIRU
UserInterface Message TextLine Display	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	AIR
UserInterface Presentation ExternalSource Add	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	AIR
UserInterface Presentation ExternalSource List	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	AIR
UserInterface Presentation ExternalSource Remove	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	AIR

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

コマンド	Desk Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Kit	Room Kit Mini	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board 55/55S, 70/70S-g1, 85S	Board Pro 55/75	オンプレミスのみ	Web インターフェイス または API	ユーザー ロール
UserInterface Presentation ExternalSource RemoveAll	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R
UserInterface Presentation ExternalSource Select	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R U
UserInterface Presentation ExternalSource State Set	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R
UserInterface Translation Override Clear	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
UserInterface Translation Override Get	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
UserInterface Translation Override Set	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
UserInterface WallpaperBundle Clear	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
UserInterface WallpaperBundle List	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
UserInterface WallpaperBundle Set	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
UserInterface WebView Clear	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
UserInterface WebView の表示	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
UserManagement RemoteSupportUser Create	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
UserManagement RemoteSupportUser Delete	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
UserManagement RemoteSupportUser DisablePermanently	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
UserManagement RemoteSupportUser GetState	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
UserManagement User Add	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
UserManagement User Delete	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
UserManagement User Get	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
UserManagement User List	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
UserManagement User Modify	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
UserManagement User Passphrase Change	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A Au I R U
UserManagement User Passphrase Set	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
UserManagement User Unblock	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Video ActiveSpeakerPIP Set	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Video CEC Input KeyClick	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

コマンド	Desk Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Kit	Room Kit Mini	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board 55/55S, 70/70S-g1, 85S	Board Pro 55/75	オンプレミスのみ	Web インターフェイス または API	ユーザー ロール
Video CEC Output KeyClick	X	X	X	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	-	X	-	API	A I
Video CEC Output SendActiveSourceRequest	X	X	X	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	-	X	-	API	A I
Video CEC Output SendInactiveSourceRequest	X	X	X	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	-	X	-	API	A I
Video Graphics Clear	X	-	X	-	X	X	-	X	X	X	X	X	-	-	-	-	API	A I U
Video Graphics Text Display	X	-	X	-	X	X	-	X	X	X	X	X	-	-	-	-	API	A I U
ビデオ入力 MainVideo Mute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
ビデオ入力メインビデオミュート解除	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
Video Input SetMainVideoSource	X	X	X	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	-	X	-	API	A I U
Video Layout LayoutFamily Set	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Video Layout SetLayout	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Video Matrix Assign	-	-	-	X	X	-	-	X	X	X	X	X	-	-	-	-	API	A I U
Video Matrix Reset	-	-	-	X	X	-	-	X	X	X	X	X	-	-	-	-	API	A I U
Video Matrix Swap	-	-	-	X	X	-	-	X	X	X	X	X	-	-	-	-	API	A I U
Video Matrix Unassign	-	-	-	X	X	-	-	X	X	X	X	X	-	-	-	-	API	A I U
Video Output HDMI Passthrough Start	-	-	-	-	X	-	-	X	X	X	X	-	X	-	-	-	API	A U
Video Output HDMI Passthrough Stop	-	-	-	-	X	-	-	X	X	X	X	-	X	-	-	-	API	A U
Video Output Monitor Backlight Set	X	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X	X	-	X	-	-	API	A
Video Output Monitor Color Select	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X	X	-	-	-	-	API	A
Video Output Monitor Reset	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	-	X	-	-	API	A
Video PresentationPIP Set	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Video PresentationView Set	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Video Selfview Set	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
WebEngine DeleteStorage	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
WebEngine MediaAccess Add	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
WebEngine MediaAccess List	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
WebEngine MediaAccess Remove	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

コマンド	Desk Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Kit	Room Kit Mini	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board 55/55S, 70/70S-g1, 85S	Board Pro 55/75	オンプレミスのみ	Web インターフェイス または API	ユーザ ロール
WebEngine MediaAccess RemoveAll	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Webex Hotdesking SetSupport	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	API	A
Webex Join	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
Webex 登録のキャンセル	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Webex Registration ConvertToCloud	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	API	A
Webex Registration Logout	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Webex 登録の開始	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
WebRTC Join	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
WebRTC Provider Current Diagnostics Send	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
WebRTC Provider GoogleMeet MeetingNumber Validate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Zoom Join	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	Desk Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Kit	Room Kit Mini	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board 55/55S, 70/70S-g1, 85S	Board Pro 55/75	オンプレミスのみ	Web インターフェイス または API	ユーザー ロール
Audio Devices Bluetooth ActiveProfile	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	Web, API	A U
Audio Devices HandsetUSB ConnectionStatus	X	X	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	X	-	X	-	Web, API	A U
Audio Devices HandsetUSB Cradle	X	X	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	X	-	X	-	Web, API	A U
Audio Devices HeadsetAnalog ConnectionStatus	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web, API	A U
Audio Devices HeadsetUSB ConnectionStatus	X	X	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	X	-	X	-	Web, API	A U
Audio Devices HeadsetUSB Description	X	X	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	X	-	X	-	Web, API	A U
Audio Devices HeadsetUSB Manufacturer	X	X	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	X	-	X	-	Web, API	A U
Audio Input Connectors Ethernet [n] Mute	-	-	-	-	-	-	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	Web, API	A U
Audio Input Connectors Ethernet [n] PeripheralId	-	-	-	-	-	-	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	Web, API	A U
Audio Input Connectors HDMI [n] Mute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Audio Input connector Line [n] Mute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Audio Input Connectors Microphone [n] ConnectionStatus	-	-	-	X	X	X	X	X	-	X	-	-	X	-	X	-	Web, API	A I U
Audio Input Connectors Microphone [n] EcReferenceDelay	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	X	-	-	Web, API	A U
Audio Input Connectors Microphone [n] Mute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Audio Input Connectors USBC [n] Mute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Audio Input LocalInput [n] AGC	X	-	-	-	-	-	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	Web, API	A U
Audio Input LocalInput [n] Channels	X	-	-	-	-	-	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	Web, API	A U
Audio Input LocalInput [n] Connector [n]	X	-	-	-	-	-	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	Web, API	A U
Audio Input LocalInput [n] Direct	X	-	-	-	-	-	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	Web, API	A U
Audio Input LocalInput [n] MixerMode	X	-	-	-	-	-	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	Web, API	A U
Audio Input LocalInput [n] Mute	X	-	-	-	-	-	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	Web, API	A U
Audio Input LocalInput [n] Name	X	-	-	-	-	-	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	Web, API	A U
Audio Input RemoteInput [n] CallId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Audio Microphones MusicMode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Audio Microphones Mute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	Desk Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Kit	Room Kit Mini	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board 55/55S, 70/70S-g1, 85S	Board Pro 55/75	オンプレミスのみ	Web インターフェイス または API	ユーザー ロール
Audio Microphones NoiseRemoval	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Audio Output Connectors ARC [n] DelayMs	-	-	-	-	-	-	X	X	X	-	X	X	-	-	-	-	Web, API	A I U
Audio Output Connectors ARC [n] Mode	-	-	-	-	-	-	X	X	X	-	X	X	-	-	-	-	Web, API	A I U
Audio Output Connectors HDMI [n] DelayMs	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	-	-	Web, API	A I U
Audio Output Connectors HDMI [n] MicPassthrough	-	-	-	-	X	-	-	X	X	X	X	-	X	-	-	-	Web, API	A I
Audio Output Connectors HDMI [n] Mode	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	-	-	Web, API	A I U
Audio Output Connectors InternalSpeaker [n] DelayMs	-	-	-	X	X	X	-	X	X	-	-	-	-	-	-	-	Web, API	A I U
Audio Output Connectors InternalSpeaker [n] Mode	-	-	-	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	-	-	-	Web, API	A I U
Audio Output Connectors Line [n] ConnectionStatus	-	-	-	-	X	-	X	X	-	X	-	-	X	X	X	-	Web, API	A I U
Audio Output Connectors Line [n] DelayMs	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Audio Output LocalOutput [n] AutoconnectRemote	X	-	-	-	-	-	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	Web, API	A U
Audio Output LocalOutput [n] Channels	X	-	-	-	-	-	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	Web, API	A U
Audio Output LocalOutput [n] Connector [n]	X	-	-	-	-	-	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	Web, API	A U
Audio Output LocalOutput [n] Input [n] Gain	X	-	-	-	-	-	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	Web, API	A U
Audio Output LocalOutput [n] Loudspeaker	X	-	-	-	-	-	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	Web, API	A U
Audio Output LocalOutput [n] Name	X	-	-	-	-	-	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	Web, API	A U
Audio Output LocalOutput [n] VolumeControlled	X	-	-	-	-	-	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	Web, API	A U
Audio Output MeasuredHdmiArcDelay	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Audio Output MeasuredHdmiDelay	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Audio Output ReportedHdmiCecDelay	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Audio Output RemoteOutput [n] CallId	X	-	-	-	-	-	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	Web, API	A U
Audio Output RemoteOutput [n] Input [n] Gain	X	-	-	-	-	-	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	Web, API	A U
Audio SelectedDevice	X	X	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	X	-	X	-	Web, API	A U
Audio Ultrasound Volume	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Audio Volume	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Audio VolumeHandsetUsb	X	X	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	X	-	X	-	Web, API	A U

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	Desk Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Kit	Room Kit Mini	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board 55/55S, 70/70S-g1, 85S	Board Pro 55/75	オンプレミスのみ	Web インターフェイス または API	ユーザー ロール
Audio VolumeHeadsetAnalog	X	-	-	X	X	X	-	-	-	-	-	-	X	-	-	-	Web, API	A U
Audio VolumeHeadsetBluetooth	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	Web, API	A U
Audio VolumeHeadsetUsb	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	Web, API	A U
Audio VolumeInternal	X	X	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	X	-	X	-	Web, API	A U
Audio VolumeMute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Bluetooth Streaming Album	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	Web, API	A U
Bluetooth Streaming Artist	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	Web, API	A U
Bluetooth Streaming Duration	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	Web, API	A U
Bluetooth Streaming State	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	Web, API	A U
Bluetooth Streaming Title	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	Web, API	A U
Bookings Availability Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Bookings Availability TimeStamp	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Bookings Current Id	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Call [n] AnswerState	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Call [n] AttendedTransferFrom	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
Call [n] CallbackNumber	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Call [n] CallType	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Call [n] DeviceType	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Call [n] Direction	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Call [n] DisplayName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Call [n] Duration	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Call [n] Encryption Type	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Call [n] FacilityServiceId	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	X	Web, API	A I U
Call [n] HoldReason	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Call [n] Ice	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Call [n] PlacedOnHold	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	Desk Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Kit	Room Kit Mini	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board 55/55S, 70/70S-g1, 85S	Board Pro 55/75	オンプレミスのみ	Web インターフェイス または API	ユーザー ロール
Call [n] Protocol	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Call [n] ReceiveCallRate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Call [n] RemoteNumber	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Call [n] Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Call [n] TransmitCallRate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Cameras Background Image	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web, API	A I R U
Cameras Background Mode	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web, API	A I R U
Cameras Camera [n] Capabilities Options	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I R U
Cameras Camera [n] Connected	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I R U
Cameras Camera [n] DetectedConnector	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	-	-	X	-	Web, API	A I R U
Cameras Camera [n] Flip	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	-	-	X	-	Web, API	A I R U
Cameras Camera [n] Framerate	X	X	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	X	-	X	-	Web, API	A I R U
Cameras Camera [n] HardwareID	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	-	-	X	-	Web, API	A I R U
Cameras Camera [n] LightingConditions	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I R U
Cameras Camera [n] MacAddress	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	-	-	X	-	Web, API	A I R U
Cameras Camera [n] Manufacturer	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I R U
Cameras Camera [n] Model	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I R U
Cameras Camera [n] Position Focus	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	-	-	X	-	Web, API	A I R U
Cameras Camera [n] Position Lens	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	-	-	X	-	Web, API	A I R U
Cameras Camera [n] Position Pan	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I R U
Cameras Camera [n] Position Roll	-	-	-	-	-	-	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	Web, API	A I R U
Cameras Camera [n] Position Tilt	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I R U
Cameras Camera [n] Position Zoom	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I R U
Cameras Camera [n] SerialNumber	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	-	-	X	-	Web, API	A I R U
Cameras Camera [n] SoftwareID	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	-	X	X	-	Web, API	A I R U
Cameras PresenterTrack Availability	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	-	-	-	X	-	Web, API	A I R U

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	Desk Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Kit	Room Kit Mini	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board 55/55S, 70/70S-g1, 85S	Board Pro 55/75	オンプレミスのみ	Web インターフェイス または API	ユーザー ロール
Cameras PresenterTrack PresenterDetected	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	-	-	-	X	-	Web, API	AIRU
Cameras PresenterTrack Status	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	-	-	-	X	-	Web, API	AIRU
Cameras SpeakerTrack ActiveConnector	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	AIRU
Cameras SpeakerTrack Availability	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	AIRU
Cameras SpeakerTrack BackgroundMode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	AIRU
Cameras SpeakerTrack Frames Availability	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	AIRU
Cameras SpeakerTrack Frames Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	AIRU
Cameras SpeakerTrack Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	AIRU
Cameras SpeakerTrack ViewLimits Pan	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	AIRU
Cameras SpeakerTrack ViewLimits Status	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	AIRU
Cameras SpeakerTrack ViewLimits Tilt	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	AIRU
Cameras SpeakerTrack ViewLimits Zoom	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	AIRU
Capabilities Conference MaxActiveCalls	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	AU
Capabilities Conference MaxAudioCalls	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	AU
Capabilities Conference MaxCalls	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	AU
Capabilities Conference MaxVideoCalls	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	AU
Conference ActiveSpeaker CallId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	AU
会議コール [n] AuthenticationRequest	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	AU
Conference Call [n] BookingId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	AU
Conference Call [n] Capabilities Caption	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	AU
Conference Call [n] Capabilities EmergencyCallCapability	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	-	Web, API	AU
Conference Call [n] Capabilities FarendMessage Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	
Conference Call [n] Capabilities FECC Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	AU
Conference Call [n] Capabilities FECC NumberOfPresets	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	AU
Conference Call [n] Capabilities FECC NumberOfSources	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	AU

X: サポートされます - : サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	Desk Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Kit	Room Kit Mini	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board 55/55S, 70/70S-g1, 85S	Board Pro 55/75	オンプレミスのみ	Web インターフェイス または API	ユーザー ロール
Conference Call [n] Capabilities FECC Source [n] Name	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Conference Call [n] Capabilities FECC Source [n] Options	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
Conference Call [n] Capabilities FECC Source [n] Sourceld	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
Conference Call [n] Capabilities Hold	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Conference Call [n] Capabilities IxChannel Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	
Conference Call [n] Capabilities MeetingAssistant Start	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Conference Call [n] Capabilities MeetingAssistant Stop	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
会議コール [n] 機能 ParticipantDisconnect	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Conference Call [n] Capabilities ParticipantList	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Conference Call [n] Capabilities ParticipantMute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Conference Call [n] Capabilities Presentation	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Conference Call [n] Capabilities Recording Start	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Conference Call [n] Capabilities SelfMute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
会議コール [n] EventCenter モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Conference Call [n] Manufacturer	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Conference Call [n] MeetingAssistantEnabled	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Conference Call [n] Meeting	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Conference Call [n] MicrophonesMuted	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Conference Call [n] Recording	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Conference Call [n] SimultaneousInterpretation MixerLevel	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Conference Call [n] SimultaneousInterpretation SelectedLanguage	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Conference Call [n] Sip SessionId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Conference Call [n] SoftwareID	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
電話会議 [n] がストリーミングされる	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	Desk Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Kit	Room Kit Mini	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board 55/55S, 70/70S-g1, 85S	Board Pro 55/75	オンプレミスのみ	Web インターフェイス または API	ユーザー ロール
Conference Call [n] Transcoded	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Conference DoNotDisturb	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Conference EndToEndEncryption Availability	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Conference EndToEndEncryption Externalldentity CertificateChain Certificate [n] Fingerprint	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Conference EndToEndEncryption Externalldentity CertificateChain Certificate [n] NotAfter	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Conference EndToEndEncryption Externalldentity CertificateChain Certificate [n] NotBefore	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Conference EndToEndEncryption Externalldentity CertificateChain Certificate [n] PrimaryName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Conference EndToEndEncryption Externalldentity CertificateChain Certificate [n] PublicKeyAlgorithm	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Conference EndToEndEncryption Externalldentity CertificateChain Certificate [n] SerialNumber	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Conference EndToEndEncryption Externalldentity CertificateChain Certificate [n] SignatureAlgorithm	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Conference EndToEndEncryption Externalldentity CertificateChain Certificate [n] Subject [n] Name	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Conference EndToEndEncryption Externalldentity CertificateChain Certificate [n] Validity	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Conference EndToEndEncryption Externalldentity Identity	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Conference EndToEndEncryption Externalldentity Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Conference EndToEndEncryption Externalldentity Verification	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Conference EndToEndEncryption Internalldentity CertificateChain Certificate [n] Fingerprint	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Conference EndToEndEncryption Internalldentity CertificateChain Certificate [n] NotAfter	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	Desk Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Kit	Room Kit Mini	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board 55/55S, 70/70S-g1, 85S	Board Pro 55/75	オンプレミスのみ	Web インターフェイス または API	ユーザー ロール
Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain Certificate [n] NotBefore	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain Certificate [n] PrimaryName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain Certificate [n] PublicKeyAlgorithm	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain Certificate [n] SerialNumber	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain Certificate [n] SignatureAlgorithm	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain Certificate [n] Subject [n] Name	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain Certificate [n] Validity	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Conference EndToEndEncryption InternalIdentity Identity	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Conference EndToEndEncryption InternalIdentity Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Conference EndToEndEncryption InternalIdentity Verification	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Conference Line [n] Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
Conference Multipoint Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Conference Presentation CallId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I R U
Conference Presentation LocalInstance [n] DirectShare	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I R U
Conference Presentation LocalInstance [n] SendingMode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I R U
Conference Presentation LocalInstance [n] Source	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I R U
Conference Presentation Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I R U
Conference SelectedCallProtocol	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Conference SpeakerLock CallId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Conference SpeakerLock Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	Desk Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Kit	Room Kit Mini	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board 55/55S, 70/70S-g1, 85S	Board Pro 55/75	オンプレミスのみ	Web インターフェイス または API	ユーザー ロール
Diagnostics Message [n] Description	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Diagnostics Message [n] Level	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Diagnostics Message [n] References	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Diagnostics Message [n] Type	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
GPIO Pin [n] State	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	-	-	-	Web, API	A I U
H323 Gatekeeper Address	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
H323 Gatekeeper Port	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
H323 Gatekeeper Reason	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
H323 Gatekeeper Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
H323 Mode Reason	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
H323 Mode Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
HttpFeedback [n] Expression [n]	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
HttpFeedback [n] Format	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
HttpFeedback [n] Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
HttpFeedback [n] URL	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
ICE Call [n] MediaLine [n] Local Candidate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
ICE Call [n] MediaLine [n] Local IP	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
ICE Call [n] MediaLine [n] Local Transport	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
ICE Call [n] MediaLine [n] Remote Candidate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
ICE Call [n] MediaLine [n] Remote IP	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
ICE Call [n] MediaLine [n] Remote XtlsFqdnHost	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
ICE コール [n] MediaPath	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
ICE Call [n] NegotiationTime	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
ICE Call [n] Result	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Audio ChannelRole	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Audio Channels	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	Desk Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Kit	Room Kit Mini	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board 55/55S, 70/70S-g1, 85S	Board Pro 55/75	オンプレミスのみ	Web インターフェイス または API	ユーザー ロール
MediaChannels Call [n] Channel [n] Audio Mute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Audio Protocol	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Direction	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Encryption	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat Bytes	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat ChannelRate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Netstat EndToEndDelay	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat Jitter	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat LastIntervalLost	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat LastIntervalReceived	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat Loss	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat MaxJitter	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat Packets	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Netstat RoundTripTime	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] ParticipantId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Type	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Video ChannelRole	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Video FrameRate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Video Protocol	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Video ResolutionX	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Video ResolutionY	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Audio Channels	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	Desk Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Kit	Room Kit Mini	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board 55/55S, 70/70S-g1, 85S	Board Pro 55/75	オンプレミスのみ	Web インターフェイス または API	ユーザー ロール
MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Audio Protocol	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Encryption	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Netstat Bytes	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Netstat ChannelRate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Netstat Jitter	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Netstat LastIntervalLost	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Netstat LastIntervalReceived	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Netstat Loss	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Netstat MaxJitter	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Netstat Packets	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Video FrameRate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Video Protocol	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Video ResolutionX	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Video ResolutionY	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] CDP Address	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] CDP Capabilities	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] CDP Deviceld	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] CDP Duplex	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] CDP Platform	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	Desk Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Kit	Room Kit Mini	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board 55/55S, 70/70S-g1, 85S	Board Pro 55/75	オンプレミスのみ	Web インターフェイス または API	ユーザー ロール
Network [n] CDP PortID	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] CDP PrimaryMgmtAddress	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] CDP SysName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] CDP SysObjectID	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] CDP Version	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] CDP VoIPApplianceVlanID	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] CDP VTPMgmtDomain	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] DNS Domain Name	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] DNS Server [n] Address	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] Ethernet MacAddress	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] Ethernet Speed	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] IPv4 Address	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] IPv4 Gateway	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] IPv4 SubnetMask	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] IPv6 Address	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] IPv6 Gateway	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] IPv6 LinkLocalAddress	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] VLAN Voice VlanId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] Wifi BSSID	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] Wifi Channel	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] Wifi Connectivity	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] Wifi Frequency	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] Wifi InterfaceEnabled	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] Wifi InterfaceReason	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] Wifi KeyMgmt	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] Wifi MacAddress	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	Desk Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Kit	Room Kit Mini	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board 55/55S, 70/70S-g1, 85S	Board Pro 55/75	オンプレミスのみ	Web インターフェイス または API	ユーザー ロール
Network [n] Wifi Noise	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] Wifi Phase2Method	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] Wifi RawSSID	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] Wifi Reason	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] Wifi Region	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] Wifi RSSI	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] Wifi ScanResult [n] AuthType	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] Wifi ScanResult [n] RawSSID	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] Wifi ScanResult [n] SignalLevel	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] Wifi ScanResult [n] SSID	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] Wifi SNR	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] Wifi Speed	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] Wifi SSID	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] Wifi Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] Wifi Type	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
NetworkServices NTP CurrentAddress	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
NetworkServices NTP Server [n] Address	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
NetworkServices NTP Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
NetworkServices UPnP Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Peripherals ConnectedDevice [n] HardwareInfo	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I R U
Peripherals ConnectedDevice [n] ID	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I R U
Peripherals ConnectedDevice [n] Location	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I R U
Peripherals ConnectedDevice [n] Name	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I R U
Peripherals ConnectedDevice [n] NetworkAddress	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I R U
Peripherals ConnectedDevice [n] RoomAnalytics AirQuality Index	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I R U

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	Desk Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Kit	Room Kit Mini	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board 55/55S, 70/70S-g1, 85S	Board Pro 55/75	オンプレミスのみ	Web インターフェイス または API	ユーザー ロール
Peripherals ConnectedDevice [n] RoomAnalytics AmbientTemperature	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	AIRU
Peripherals ConnectedDevice [n] RoomAnalytics RelativeHumidity	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	AIRU
Peripherals ConnectedDevice [n] SerialNumber	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	AIRU
Peripherals ConnectedDevice [n] SoftwareInfo	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	AIRU
Peripherals ConnectedDevice [n] Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	AIRU
Peripherals ConnectedDevice [n] Type	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	AIRU
Peripherals ConnectedDevice [n] UpgradeFailureReason	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	AIRU
Peripherals ConnectedDevice [n] UpgradeStatus	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	AIRU
Peripherals ConnectedDevice [n] UpgradeURL	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	AIRU
Peripherals PinPairing PinVisibleOnScreen	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	AIRU
Peripherals PinPairing RetriesRemaining	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	AIRU
Peripherals PinPairing TimeRemaining	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	AIRU
Peripherals Stylus [n] Presence	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	Web, API	AIRU
Provisioning CUCM Customization Checksum	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	AU
Provisioning CUCM ExtensionMobility Enabled	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	AU
Provisioning CUCM ExtensionMobility LastLoggedInUserId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	AU
Provisioning CUCM ExtensionMobility LoggedIn	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	AU
Provisioning RoomType	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	X	X	-	-	-	-	Web, API	AU
Provisioning Software Current CompletedAt	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	AU
Provisioning Software Current URL	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	AU
Provisioning Software Current VersionId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	AU
Provisioning Software UpgradeStatus LastChange	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	AU
Provisioning Software UpgradeStatus Message	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	AU
Provisioning Software UpgradeStatus Phase	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	AU

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	Desk Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Kit	Room Kit Mini	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board 55/55S, 70/70S-g1, 85S	Board Pro 55/75	オンプレミスのみ	Web インターフェイス または API	ユーザー ロール
Provisioning Software UpgradeStatus SessionId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Provisioning Software UpgradeStatus Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Provisioning Software UpgradeStatus Urgency	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Provisioning Software UpgradeStatus URL	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Provisioning Software UpgradeStatus VersionId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Provisioning Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Provisioning WebexCalling Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Proximity Services Availability	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
RoomAnalytics AmbientNoise レベル A	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
RoomAnalytics AmbientTemperature	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	Web, API	A U
RoomAnalytics Engagement CloseProximity	X	X	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	X	X	X	-	Web, API	A I U
RoomAnalytics PeopleCount Capacity	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
RoomAnalytics PeopleCount Current	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
RoomAnalytics PeoplePresence	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
RoomAnalytics RelativeHumidity	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	Web, API	A U
RoomAnalytics ReverberationTime LastRun	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
RoomAnalytics ReverberationTime Middle RT60	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
RoomAnalytics ReverberationTime Octaves [n] CenterFrequency	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
RoomAnalytics ReverberationTime Octaves [n] RT60	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
RoomAnalytics 音レベル A	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
RoomAnalytics T3Alarm Detected	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
RoomPreset [n] Defined	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
RoomPreset [n] Description	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
RoomPreset [n] Type	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Security Persistency CallHistory	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
Security Persistency Configurations	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	Desk Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Kit	Room Kit Mini	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board 55/55S, 70/70S-g1, 85S	Board Pro 55/75	オンプレミスのみ	Web インターフェイス または API	ユーザー ロール
Security Persistency DHCP	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
Security Persistency InternalLogging	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
Security Persistency LocalPhonebook	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
SIP AlternateURI Alias [n] URI	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
SIP AlternateURI Primary URI	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
SIP Authentication	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
SIP CallForward DisplayName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
SIP CallForward Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
SIP CallForward URI	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
SIP Mailbox MessagesWaiting	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
SIP Mailbox URI	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
SIP Proxy [n] Address	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
SIP Proxy [n] Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
SIP Registration [n] Authentication	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
SIP Registration [n] Reason	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
SIP Registration [n] Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
SIP Registration [n] URI	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
SIP Secure	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
SIP Verified	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
スタンバイレベル	-	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	Web, API	A I R U
Standby State	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I R U
SystemUnit BroadcastName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
SystemUnit DeveloperPreview Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
SystemUnit Hardware HasWifi	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
SystemUnit Hardware Module CompatibilityLevel	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
SystemUnit Hardware Module SerialNumber	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	Desk Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Kit	Room Kit Mini	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board 55/55S, 70/70S-g1, 85S	Board Pro 55/75	オンプレミスのみ	Web インターフェイス または API	ユーザー ロール
SystemUnit Hardware Monitoring Fan [n] Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
SystemUnit Hardware Monitoring Temperature Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
SystemUnit Hardware USBC [n] Connected	X	X	X	X	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	X	-	Web, API	A U
SystemUnit Notifications Notification [n] Text	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
SystemUnit Notifications Notification [n] Type	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
SystemUnit ProductId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
SystemUnit ProductPlatform	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
SystemUnit ProductType	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
SystemUnit Software DisplayName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
SystemUnit Software Name	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
SystemUnit Software OptionKeys AVIntegrator	-	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web, API	A I U
SystemUnit Software OptionKeys Encryption	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	X	X	-	-	Web, API	A U
SystemUnit Software OptionKeys MultiSite	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
SystemUnit Software OptionKeys RemoteMonitoring	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
SystemUnit Software ReleaseDate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
SystemUnit Software Version	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
SystemUnit State CameraLid	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web, API	A U
SystemUnit State NumberOfActiveCalls	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I R U
SystemUnit State NumberOfInProgressCalls	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I R U
SystemUnit State NumberOfSuspendedCalls	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
SystemUnit Uptime	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Time SystemTime	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
UserInterface Branding CustomId Background	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	X	-	Web, API	A I U
UserInterface Branding CustomId Branding	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
UserInterface Branding CustomId HalfwakeBackground	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
UserInterface Branding CustomId HalfwakeBranding	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	Desk Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Kit	Room Kit Mini	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board 55/55S, 70/70S-g1, 85S	Board Pro 55/75	オンプレミスのみ	Web インターフェイス または API	ユーザーロール
UserInterface ContactInfo ContactMethod [n] Number	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
UserInterface ContactInfo Name	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
UserInterface Extensions Widget [n] Value	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I R U
UserInterface Extensions Widget [n] WidgetId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I R U
UserInterface Features Call Breakouts	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
ユーザーインターフェース機能コール終了	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
UserInterface Features Call HdmiPassthrough	-	-	-	-	X	-	-	X	X	X	X	-	X	-	-	-	Web, API	A I
UserInterface Features Call JoinGoogleMeet	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
ユーザインターフェイス 機能 コール Webexに参加	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
UserInterface Features Call JoinZoom	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
ユーザインターフェイス 機能 コール キーボード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
UserInterface Features Call LayoutControls	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
ユーザーインターフェース機能コールの MidCallControls	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
ユーザインターフェイス 機能 コール 音楽モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
UserInterface Features Call ParticipantList	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
UserInterface Features Call SelfviewControls	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
ユーザーインターフェース機能コール開始	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
ユーザーインターフェース機能コールビデオミュート	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
UserInterface Features Call Webcam	-	-	-	X	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	Web, API	A I
UserInterface Features Files Start	X	X	X	X	-	X	-	-	-	-	-	-	-	X	-	-	Web, API	A I
ユーザインターフェイス機能共有開始	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
ユーザーインターフェイス ホワイトボード 開始	X	X	X	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	Web, API	A I
UserInterface LedControl Color	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
UserInterface OSD Output	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
ユーザーインターフェース設定メニュー可視性	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
UserInterface Translation Override Checksum	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	Desk Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Kit	Room Kit Mini	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board 55/55S, 70/70S-g1, 85S	Board Pro 55/75	オンプレミスのみ	Web インターフェイス または API	ユーザー ロール
UserInterface WebView [n] Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
UserInterface WebView [n] Type	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
UserInterface WebView [n] URL	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Video ActiveSpeaker PIPPosition	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Video Input AirPlay Activity	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Video Input AirPlay Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Video Input Connector [n] Connected	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Video Input Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] DeviceType	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Video Input Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] LogicalAddress	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Video Input Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] Name	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Video Input Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] PowerStatus	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Video Input Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] VendorId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Video Input Connector [n] SignalState	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Video Input Connector [n] SourceId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Video Input Connector [n] Type	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Video Input DirectShare [n] Peer Address	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Video Input DirectShare [n] Peer PeripheralId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Video Input DirectShare [n] Type	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
ビデオ入力 MainVideoMute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Video Input MainVideoSource	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Video Input Miracast Channel	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Video Input Miracast PinAttemptsLeft	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Video Input Miracast Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	Desk Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Kit	Room Kit Mini	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board 55/55S, 70/70S-g1, 85S	Board Pro 55/75	オンプレミスのみ	Web インターフェイス または API	ユーザー ロール
Video Input Source [n] ConnectorId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Video Input Source [n] FormatStatus	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Video Input Source [n] MediaChannelId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Video Input Source [n] Resolution Height	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Video Input Source [n] Resolution RefreshRate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Video Input Source [n] Resolution Width	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Video Layout CurrentLayouts ActiveLayout	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Video Layout CurrentLayouts AvailableLayouts [n] LayoutName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Video Layout CurrentLayouts DefaultLayout	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Video Layout LayoutFamily Local	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Video Layout LayoutFamily Remote	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Video Monitors	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Video Output Connector [n] Connected	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Video Output Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] DeviceType	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Video Output Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] LogicalAddress	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Video Output Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] Name	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Video Output Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] PowerStatus	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Video Output Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] VendorId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Video Output Connector [n] ConnectedDevice Name	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Video Output Connector [n] ConnectedDevice PreferredFormat	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Video Output Connector [n] ConnectedDevice ScreenSize	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U

X: サポートされます - : サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	Desk Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Kit	Room Kit Mini	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board 55/55S, 70/70S-g1, 85S	Board Pro 55/75	オンプレミスのみ	Web インターフェイス または API	ユーザー ロール
Video Output Connector [n] Connected	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Video Output Connector [n] HDCP State	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Video Output Connector [n] MonitorRole	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Video Output Connector [n] Resolution Height	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Video Output Connector [n] Resolution RefreshRate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Video Output Connector [n] Resolution Width	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Video Output Connector [n] Type	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Video Output HDMI Passthrough Status	-	-	-	-	X	-	-	X	X	X	X	-	X	-	-	-	Web, API	A U
Video Output Monitor [n] Backlight	X	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X	X	-	X	-	-	Web, API	A U
Video Output Monitor [n] Calibrated	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	Web, API	A U
Video Output Monitor [n] ColorTemperature Selected	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X	X	-	-	-	-	Web, API	A U
Video Output Monitor [n] Configured	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	Web, API	A U
Video Output Monitor [n] FirmwareVersion	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Video Output Monitor [n] IpAddress	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	Web, API	A U
Video Output Monitor [n] Manufacturer	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	Web, API	A U
Video Output Monitor [n] MDC Id	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	Web, API	A U
Video Output Monitor [n] MDC Port	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	Web, API	A U
Video Output Monitor [n] ModelName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Video Output Monitor [n] Position	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Video Output Monitor [n] SerialNumber	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Video Output Monitor [n] Temperature	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Video Output Webcam Mode	X	X	X	X	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	Web, API	A U
Video Output Webcam Status	X	X	X	X	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	Web, API	A U
Video Presentation PIPPosition	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Video Selfview FullscreenMode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Video Selfview Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	Desk Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Kit	Room Kit Mini	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board 55/55S, 70/70S-g1, 85S	Board Pro 55/75	オンプレミスのみ	Web インターフェイス または API	ユーザー ロール
Video Selfview OnMonitorRole	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Video Selfview PIPPosition	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
WebEngine 機能の看板	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
WebEngine 機能 WebEngine	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
WebEngine Features WebRTC	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Webex DeveloperId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Webex DevicePersonalization Hotdesking SessionStatus	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Webex Meetings 参加プロトコル	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Webex Services Proximity GuestToken	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Webex ステータス	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
WebRTC Provider GoogleMeet Availability	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
WebRTC Provider MicrosoftTeams Availability	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

第 7 章

付録

接続解除原因タイプ

コールが切断された場合、次のパラメータが記録されます。接続解除原因タイプは、接続解除イベント (xEvent) で使用されます。

CauseType	会議が切断された理由の説明に使用する文字列値。考えられる値は多数あり、これらはダウンストリームで変更できません。例: OtherLocal、LocalDisconnect、UnknownRemoteSite、LocalBusy、LocalReject、InsufficientSecurity、OtherRemote、RemoteDisconnect、RemoteBusy、RemoteRejected、RemoteNoAnswer、CallForwarded、NetworkRejected。
CauseString	切断の原因に関する追加情報を提供するために使用できる文字列。これは空値の場合があります。
OrigCallDirection	元の会議の方向 (つまり、着信か発信か)。
RemoteURI	会議のリモートアドレス。
CallId	会議の固有の識別子。
CauseCode	SIP と Q.850 が定義した切断原因コードを指定します。
CauseOrigin	SIP、Q.850、internal。
CauseValue	独自仕様。代わりに、 <i>CauseType</i> と <i>CauseCode</i> を使用してください。

例:

```
xEvent DisconnectEvent

*e CallDisconnect CauseValue: 1
  CauseType: "LocalDisconnect"
  CauseString: ""
  OrigCallDirection: "outgoing"
  RemoteURI: "firstname.lastname@company.com"
  CallId: 89
  CauseCode: 0
  CauseOrigin: SIP
** end
```

シスコ Web サイト内のユーザマニュアル

通常、すべてのシスコ コラボレーション デバイスのユーザーマニュアルは、[▶ https://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints](https://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints) で参照できます。

次のショートリンクを使用して、RoomOS ソフトウェアを実行するデバイスのマニュアルを検索することを推奨します。

Room シリーズ:

[▶ https://www.cisco.com/go/room-docs](https://www.cisco.com/go/room-docs)

Desk Series:

[▶ https://www.cisco.com/go/desk-docs](https://www.cisco.com/go/desk-docs)

Board Series:

[▶ https://www.cisco.com/go/board-docs](https://www.cisco.com/go/board-docs)

特定のドキュメントを見つけるには、[\[ドキュメント \(Documentation\)\]](#) をクリックして、そのドキュメントが属するカテゴリを探します。

たとえば、API ガイドを見つけるには、[\[ドキュメント \(Documentation\)\]](#) をクリックし、[\[リファレンス \(Reference\)\]](#) > [\[コマンドリファレンス \(Command References\)\]](#) の順に選択します。

カテゴリとドキュメントの種類

これらのリストは、ドキュメントタイプが属するカテゴリを示します。すべてのタイプのドキュメントが、すべてのタイプのデバイスで使用できるわけではありません。

インストールとアップグレード > インストールとアップグレード ガイド

- ・ **設置ガイド:**
デバイスの組み立てと設置方法
- ・ **スタートアップガイド:**
初めてデバイスを動作させるために必要な初期設定
- ・ **RCSI ガイド:** 法規制の遵守および安全に関する情報

保守と運用 > メンテナンスとオペレーション ガイド

- ・ **スタートアップガイド:**
初めてデバイスを動作させるために必要な初期設定
- ・ **アドミニストレーション ガイド:**
デバイスの設定と管理に必要な情報
- ・ **スペア部品の概要、スペア部品の交換ガイド、ケーブルスキーマ:** ケーブルの接続や、スペア部品を交換するときに役立つ情報

保守と運用 > エンドユーザー ガイド

- ・ **ユーザーガイド:**
デバイスの使用方法
- ・ **クイックリファレンスガイド:**
デバイスの主要機能の使用法

[リファレンス (Reference)] > [コマンドリファレンス (Command references)]

- ・ **API リファレンスガイド:**
デバイスの公開 API のリファレンスガイド

[リファレンス (Reference)] > [テクニカルリファレンス (Technical References)]

- ・ **CAD 図面:**
デバイスの測定値付き 2D CAD 図面

[構成 (Configuration)] > [構成ガイド (Configuration Guides)]

- ・ **カスタマイズガイド:**
ユーザーインターフェイスのカスタマイズ方法、デバイスの API を使用した室内制御のプログラミング方法、マクロの作成方法、オーディオコンソールを使用した高度な音声設定の設定方法などのカスタマイズ。

[リリースと互換性 (Release and Compatibility)] > [リリースノート (Release Notes)]

- ・ **ソフトウェア リリース ノート**

Cisco のお問い合わせ先

Cisco のウェブサイトでは、Cisco の世界各地のお問い合わせ先を確認できます。

アクセス先: ▶ <https://www.cisco.com/go/offices>

本社

Cisco Systems, Inc.
170 West Tasman Dr.
San Jose, CA 95134 USA

知的財産

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザー側の責任となります。

対象製品のソフトウェア ライセンスと限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

Cisco が採用している TCP ヘッダー圧縮機能は、UNIX オペレーティングシステムの UCB (University of California, Berkeley) のパブリックドメインバージョンとして、UCB が開発したプログラムを採用したものです。All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよび上記代理店は、商品性、特定目的適合、および非侵害の保証、もしくは取り引き、使用、または商慣行から発生する保証を含み、これらに限定することなく、明示または黙示のすべての保証を放棄します。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアルの中の例、コマンド出力、ネットワーク トポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際の IP アドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

印刷版と複製ソフトは公式版とみなされません。最新版はオンライン版を参照してください。

シスコは世界各国 200 箇所にオフィスを開設しています。各オフィスの住所、電話番号、FAX 番号は当社の Web サイト (www.cisco.com/go/offices) をご覧ください。

Cisco および Cisco ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。シスコの商標の一覧については、https://www.cisco.com/c/ja_jp/about/legal/trademarks.html をご覧ください。Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. 「パートナー」という言葉が使用されていても、シスコと他社の間にパートナーシップ関係が存在することを意味するものではありません。(1110R)。